設　計　書

工事名称　松戸市立総合医療センター附属看護専門学校
給排水管改修工事

工事場所　松戸市上本郷４，１８２番地

工　　期　令和７年　　月　　日　から
令和８年１０月３０日　まで

設計年月日　令和７年　８月　　日

（工事価格　　）

前払金及工事出来高の内払回数については松戸市財務規則による。

参　考

名　　称	数　量	単位	金　　額	備　　考
直接工事費				
建築工事	1	式		
電気設備工事	1	式		
機械設備工事	1	式		
計				
共通費				
共通仮設費	1	式		
現場管理費	1	式		
一般管理費等	1	式		
計				
工事価格	1	式		
消費税等相当額	1	式		消費税率 10 %
工事費	1	式		

名　　称	数　量	単位	金　　額	備　　考
建築工事	1	式		
電気設備工事	1	式		
機械設備工事	1	式		
計				

名　　称	数　　量	単位	金　　額	備　　考
建築工事（その１）	1	式		
建築工事（その２）	1	式		
計				

名　　称	数　　量	単位	金　　額	備　　考
看護専門学校	1	式		
計				

名　　称	数　　量	単位	金　　額	備　　考
機械設備工事（その１_校舎）	1	式		
機械設備工事（その１_屋外）	1	式		
機械設備工事（その２）	1	式		
計				

建築工事（その１）

名　　称	数　　量	単位	金　　額	備　　考
直接仮設	1	式		
建具改修	1	式		
内外装改修	1	式		
塗装改修	1	式		
環境配慮改修	1	式		
発生材処理	1	式		
計				

建築工事（その２）

名　　称	数　　量	単位	金　　額	備　　考
直接仮設	1	式		
建具改修	1	式		
内外装改修	1	式		
塗装改修	1	式		
発生材処理	1	式		
計				

看護専門学校

名　　称	数　量	単位	金　　額	備　　考
電灯設備	1	式		
動力設備	1	式		
受変電設備	1	式		
構内交換設備	1	式		
拡声設備	1	式		
テレビ共同受信設備	1	式		
防犯・入退室管理設備	1	式		
火災報知設備	1	式		
発生材処理	1	式		
計				

機械設備工事（その１_校舎）

名　　称	数　　量	単位	金　　額	備　　考
換気設備	1	式		
衛生器具設備	1	式		
給水設備	1	式		
排水設備	1	式		
給湯設備	1	式		
消火設備	1	式		
ガス設備	1	式		
撤去工事	1	式		
発生材処分	1	式		
計				

機械設備工事（その１_屋外）

名　　称	数　　量	単位	金　　額	備　　考
給水設備	1	式		
撤去工事	1	式		
計				

機械設備工事（その２）

名　　称	数　　量	単位	金　　額	備　　考
衛生器具設備	1	式		
給水設備	1	式		
排水設備	1	式		
給湯設備	1	式		
ガス設備	1	式		
撤去工事	1	式		
発生材処理	1	式		
計				

建築工事（その１）

科　目　名　称	中　科　目　名　称	数　量	単位	金　　額	備　　考
直接仮設		1	式		
計					
建具改修	撤去	1	式		
建具改修	改修	1	式		
計					
内外装改修	撤去	1	式		
内外装改修	改修	1	式		
計					
塗装改修	改修	1	式		
計					
環境配慮改修	撤去	1	式		
計					
発生材処理	積込・運搬・処分	1	式		
計					

建築工事（その２）

科目名称	中科目名称	数量	単位	金額	備考
直接仮設		1	式		
計					
建具改修	撤去	1	式		
建具改修	改修	1	式		
計					
内外装改修	撤去	1	式		
内外装改修	改修	1	式		
計					
塗装改修	改修	1	式		
計					
発生材処理	積込・運搬・処分	1	式		
計					

看護専門学校

科目名称	中科目名称	数量	単位	金額	備考
電灯設備	電灯分岐	1	式		
電灯設備	コンセント分岐	1	式		
計					
動力設備	動力幹線	1	式		
動力設備	動力分岐	1	式		
計					
受変電設備		1	式		
計					
構内交換設備		1	式		
計					
拡声設備		1	式		
計					
テレビ共同受信設備		1	式		
計					
防犯・入退室管理設備	防犯	1	式		
計					
火災報知設備	自動火災報知	1	式		
火災報知設備	ガス漏れ火災警報	1	式		
計					
発生材処理		1	式		

看護専門学校

科目名称	中科目名称	数量	単位	金額	備考
計					

機械設備工事（その１_校舎）

科目名称	中科目名称	数量	単位	金額	備考
換気設備	換気設備	1	式		
換気設備	ダクト設備	1	式		
換気設備	総合調整	1	式		
計					
衛生器具設備	衛生器具設備	1	式		
計					
給水設備	給水設備	1	式		
給水設備	仮設工事	1	式		
給水設備	総合調整	1	式		
計					
排水設備	排水設備	1	式		
排水設備	仮設工事	1	式		
計					
給湯設備		1	式		
計					
消火設備	屋内消火栓設備	1	式		
計					
ガス設備	ガス設備	1	式		
計					
撤去工事	撤去工事	1	式		

機械設備工事（その１_校舎）

科　目　名　称	中　科　目　名　称	数　量	単位	金　　額	備　　考
計					
発生材処分	発生材処分	1	式		
計					

機械設備工事（その１_屋外）

科目名称	中科目名称	数量	単位	金額	備考
給水設備		1	式		
計					
撤去工事		1	式		
計					

機械設備工事（その２）

科目名称	中科目名称	数量	単位	金額	備考
衛生器具設備		1	式		
計					
給水設備		1	式		
給水設備	仮設工事	1	式		
計					
排水設備		1	式		
計					
給湯設備		1	式		
計					
ガス設備	都市ガス設備	1	式		
計					
撤去工事		1	式		
計					
発生材処理		1	式		
計					

建築工事（その１）		直接仮設				
名　　称	摘　　要	数　量	単位	単　価	金　　額	備　　考
墨出し		1	式			別紙 00-0001
養生		1	式			別紙 00-0002
整理清掃後片付け		1	式			別紙 00-0003
内部足場		1	式			別紙 00-0004
仮設間仕切り		1	式			別紙 00-0005
計						

建築工事（その１）	建具改修			撤去		
名　　称	摘　　要	数　量	単位	単　価	金　　額	備　　考
鋼製戸撤去	片開き戸 枠共　集積共	10.3	㎡			
ｱﾙﾐ製ｶﾞﾗﾘ撤去	枠共　集積共	0.8	㎡			
ﾄｲﾚﾌﾞｰｽ撤去	耐水ﾍﾞﾆﾔ　集積共	45.5	㎡			
建具周囲はつり	RC 15cm 集積共	28	m			
計						

建築工事（その１）	建具改修			改修		
名　　称	摘　　要	数　量	単位	単　価	金　　額	備　　考
1)木製建具						
WD-1 片開きﾌﾗｯｼｭﾄﾞｱ	W 800×H2000 ｶﾞﾗﾘ、型板ｶﾞﾗｽt=4 150×830共	3	か所			
2)鋼製建具						
SD-1 片開きﾌﾗｯｼｭﾄﾞｱ	W 600×H1800	3	か所			
SD-2 両開きﾌﾗｯｼｭﾄﾞｱ	W1700×H1700	1	か所			
3)軽量鋼製建具						
LSD-1 片引きｱｳﾄｾｯﾄﾄﾞｱ	W 800×H2000　ｶﾞﾗﾘ付	1	か所			
4)ｽﾃﾝﾚｽ製建具						
SUS-1 三方枠	W 800×H2000	2	か所			
5)ﾄｲﾚﾌﾞｰｽ						
TB-1 ﾄｲﾚﾌﾞｰｽ	W1875　　×H2000	2	か所			
TB-2 ﾄｲﾚﾌﾞｰｽ	W3380×D1200×4×H2000	2	か所			
TB-2 ﾄｲﾚﾌﾞｰｽ	W3380×D1200×4×H2000	1	か所			
6)ｶﾞﾗｽ						
型板ｶﾞﾗｽ	厚さ4　150×830 ｼｰﾘﾝｸﾞ　清掃共	3	か所			
7)その他						
建具周囲防水 ﾓﾙﾀﾙ充填	外部建具	6.8	m			
建具周囲 ﾓﾙﾀﾙ充填	内部建具	9.6	m			
建具廻りｼｰﾘﾝｸﾞ	変成ｼﾘｺｰﾝ系(MS-2) 20×10	6.8	m			
SD-2下枠用 ｻｯｼｱﾝｶｰ	@450	1	式			

建築工事（その１）	建具改修	改修

名　　称	摘　　要	数　量	単位	単　価	金　　額	備　　考
計						

建築工事（その１）	内外装改修			撤去		
名　　称	摘　　要	数　量	単位	単　価	金　　額	備　　考
和便器廻り ｺﾝｸﾘｰﾄ撤去	鉄筋切断共 ｺﾝｸﾘｰﾄﾌﾞﾚｰｶ 集積共	0.4	m3			
床ﾓﾙﾀﾙ撤去	W=100　集積共	8.5	m			
床ﾓﾙﾀﾙ撤去	1000×1000　集積共	18	か所			
ﾋﾞﾆﾙ床ｼｰﾄ撤去	W=100　集積共	6.4	m			
ﾋﾞﾆﾙ床ｼｰﾄ撤去	1000×1000　集積共	18	か所			
ﾋﾞﾆﾙ幅木撤去	一般　　集積共	4.6	m			
壁ｺﾝｸﾘｰﾄ撤去	鉄筋切断共 ｺﾝｸﾘｰﾄﾌﾞﾚｰｶ 集積共	0.8	m3			
壁CB撤去	ｺﾝｸﾘｰﾄﾌﾞﾚｰｶ 集積共	4.9	m3			
壁LGS下地撤去	片面ﾎﾞｰﾄﾞ一重張り共　集積共	6.3	㎡			
壁ﾀｲﾙ撤去	集積共	130	㎡			
壁ﾓﾙﾀﾙ撤去	W=50、100　集積共	107	m			
壁ﾎﾞｰﾄﾞ撤去	一重張り 一般　　集積共	2.3	㎡			
壁ｸﾛｽ撤去	集積共	6.1	㎡			
天井LGS下地撤去	ﾎﾞｰﾄﾞ一重張り共　集積共	10.4	㎡			
天井LGS下地撤去	ﾎﾞｰﾄﾞ二重張り共　集積共	12.6	㎡			
天井LGS下地撤去	集積共	82.7	㎡			
下り壁LGS下地撤去	H=200　集積共	10.5	m			

建築工事（その１）	内外装改修			撤去		
名　　称	摘　　要	数　量	単位	単　価	金　　額	備　　考
沓摺撤去	ｽﾃﾝﾚｽ　集積共	4	m			
甲板撤去	W=150　ｽﾃﾝﾚｽ　集積共	12	m			
ﾕﾆｯﾄﾊﾞｽ撤去		1	か所			
ﾕﾆｯﾄﾊﾞｽ戸撤去	730×1940　四方枠共　集積共	1	か所			
洗面化粧台撤去	750×600×H1800　集積共	1	か所			
室名札撤去	250×100　集積共	5	か所			
外部床 土間ｺﾝｸﾘｰﾄ撤去	1400×1000　鉄筋切断、地業共 人力　集積共	1	か所			
伐採抜根	高木H=5.0m C=0.3m　人力	2	本			
伐採抜根	ﾂﾂｼﾞ H=1.0m W=0.6m　人力	6	本			
ｶｯﾀｰ入れ	ｺﾝｸﾘｰﾄ面 厚さ20～30mm	50.4	m			
ｶｯﾀｰ入れ	ﾓﾙﾀﾙ面　厚さ20～30mm	326	m			
計						

建築工事（その１）	内外装改修			改修		
名　　称	摘　　要	数　量	単位	単　価	金　　額	備　　考
1)躯体						
和便器跡 ｺﾝｸﾘｰﾄ穴埋め	500×700 鉄筋、型枠、ｺﾝｸﾘｰﾄ強度補正共	5	か所			
床 嵩上ｺﾝｸﾘｰﾄ	FC21N/mm2　ｽﾗﾝﾌﾟ18cm 打設手間、ｺﾝｸﾘｰﾄ強度補正共共	5.6	m3			
嵩上ｺﾝ用 溶接金網敷	径6.0 100×100	55.3	㎡			
2)準躯体						
壁ALCﾊﾟﾈﾙ	厚100　縦型HDR構法	4.3	㎡			
壁ALC 土台定規ｱﾝｸﾞﾙ		1.4	m			
壁ALC 上部定規ｱﾝｸﾞﾙ		3.1	m			
壁ALC 開口補強ｱﾝｸﾞﾙ		6.4	m			
軽量鉄骨壁下地	90形 下地張りなし @300	6.2	㎡			
軽量鉄骨壁 開口部補強	90形	1	式			別紙 00-0006
軽量鉄骨壁下地	65形 下地張りなし @300	46.6	㎡			
軽量鉄骨壁 開口部、天端補強	65形	1	式			別紙 00-0007
軽量鉄骨天井下地	19形(屋内) ふところ1.5m未満 下地張りなし @225 ｲﾝｻｰﾄ別途	54.6	㎡			
軽量鉄骨天井下地	19形(屋内) ふところ1.5m未満 下地張りなし @300 ｲﾝｻｰﾄ別途	40.9	㎡			
軽量鉄骨天井下地	19形(屋内) ふところ1.5m未満 下地張りあり @360 ｲﾝｻｰﾄ別途	12.6	㎡			
軽量鉄骨天井 開口部補強	19形(屋内)	1	式			別紙 00-0008
軽量鉄骨下がり壁 下地	19形(屋内) H=100	10.5	m			
3)床・幅木						

建築工事（その１）	内外装改修			改修		
名　　称	摘　　要	数　量	単位	単　価	金　　額	備　　考
床ｺﾝｸﾘｰﾄ直均し仕上げ	金ごて 張物下地	53	㎡			
床ﾓﾙﾀﾙ塗り	金ごて 張物下地 1000×1000	18	か所			
床ﾓﾙﾀﾙ塗り	金ごて 張物下地 W=100	8.5	m			
幅木ﾓﾙﾀﾙ塗り	金ごて 目地切り 高さ100 L=50､100	12	か所			
床汚垂ﾀｲﾙ	W=600 厚6.0	1.7	m			
防汚性ﾋﾞﾆﾙ床ｼｰﾄ	厚さ2.0 多湿部 熱溶接工法	50	㎡			
防汚性ﾋﾞﾆﾙ床ｼｰﾄ	厚さ2.0 多湿部 熱溶接工法 W=100	6.4	m			
防汚性ﾋﾞﾆﾙ床ｼｰﾄ	厚さ2.0 一般床 熱溶接工法 1000×1000	18	か所			
ﾋﾞﾆﾙ幅木	高さ60	78.9	m			
4)壁						
壁薄塗りﾓﾙﾀﾙ塗り	金ごて 厚5 既調合品 既存ﾀｲﾙ撤去跡	113	㎡			
壁ﾓﾙﾀﾙ塗り	金ごて 内壁 厚20	16.9	㎡			
壁ﾓﾙﾀﾙ塗り	金ごて 内壁 厚20 W=50(建具廻り)	48.5	m			
壁ﾓﾙﾀﾙ塗り	金ごて 内壁 厚20 W=100	63.6	m			
ALC下立上り天端ﾓﾙﾀﾙ塗り	金ごて W=150	3.1	m			
天井ﾓﾙﾀﾙ塗り	金ごて W=100	2.1	m			
壁 せっこうﾎﾞｰﾄﾞ 張り(GB-R)	厚12.5 不燃 鋼製､木､ﾎﾞｰﾄﾞ下地 突付け - -	8.4	㎡			
壁 せっこうﾎﾞｰﾄﾞ 張り(GB-R)	厚12.5 不燃 鋼製､木､ﾎﾞｰﾄﾞ下地 継目処理 - -	11.8	㎡			
壁 ｼｰｼﾞﾝｸﾞ せっこうﾎﾞｰﾄﾞ 張り(GB-S)	厚12.5 不燃 鋼製､木､ﾎﾞｰﾄﾞ下地 突付け - -	7.9	㎡			
壁 ｼｰｼﾞﾝｸﾞ せっこうﾎﾞｰﾄﾞ 張り(GB-S)	厚12.5 不燃 鋼製､木､ﾎﾞｰﾄﾞ下地 継目処理 - -	15.7	㎡			

建築工事（その１）	内外装改修			改修		
名　　称	摘　　要	数　量	単位	単　価	金　　額	備　　考
壁　けい酸 ｶﾙｼｳﾑ板張り	ﾀｲﾌﾟ2(ﾉﾝｱｽ)0.8FK 厚 6 鋼製､木､ﾎﾞｰﾄﾞ下地 目透かし -　　-	11.2	㎡			
壁ﾎﾞｰﾄﾞ出隅ｼﾞｮｲﾅ -		2	m			
壁　合板張り	厚24	4	㎡			
壁　合板張り	厚36	7.3	㎡			
衛生器機取付下地 補強		1	式			別紙 00-0009
4)天井						
天井　化粧 せっこうﾎﾞｰﾄﾞ 張り(GB-D)	厚 9.5　準不燃 ﾄﾗﾊﾞｰﾁﾝ 突付け	54.6	㎡			
天井 せっこうﾎﾞｰﾄﾞ 張り(GB-R)	厚 9.5　準不燃 継目処理	7.3	㎡			
天井 せっこうﾎﾞｰﾄﾞ 張り(GB-R)	厚12.5×2不燃　敷目張り	12.6	㎡			
天井 ﾌﾚｷｼﾌﾞﾙﾎﾞｰﾄﾞ	厚 6　目透かし	4.4	㎡			
天井　けい酸 ｶﾙｼｳﾑ板張り	ﾀｲﾌﾟ2(ﾉﾝｱｽ)0.8FK 厚 6 目透かし	29.1	㎡			
天井廻縁	塩化ﾋﾞﾆﾙ製	164	m			
下り壁 ｼｰｼﾞﾝｸﾞ せっこうﾎﾞｰﾄﾞ 張り(GB-S)	厚12.5　不燃　継目処理	1.1	㎡			
下り壁見切縁	ｱﾙﾐ製	10.5	m			
5)その他						
壁ﾋﾞﾆﾙｸﾛｽ張り		5.8	㎡			
天井ﾋﾞﾆﾙｸﾛｽ張り		7.3	㎡			
WD-1枠	ｽﾌﾟｽﾙ　220×25　800×2000	3	か所			
天井点検口	一般ﾀｲﾌﾟ　ｱﾙﾐ製 内外枠共額縁 450角	18	か所			
ﾗｲﾆﾝｸﾞ甲板	ﾒﾗﾐﾝﾎﾟｽﾄﾌｫｰﾑ　W=400	3.2	m			

建築工事（その１）	内外装改修			改修		
名　称	摘　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
ﾗｲﾆﾝｸﾞ甲板	ﾒﾗﾐﾝﾎﾟｽﾄﾌｫｰﾑ　W=225	5.7	m			
ﾗｲﾆﾝｸﾞ甲板	ﾒﾗﾐﾝﾎﾟｽﾄﾌｫｰﾑ　W=150	1.4	m			
男子便所 隔て板	750×1500	2	か所			
管理人洗面所 洗面化粧台	750×560×H1060 化粧棚付き	1	か所			
ｼｰﾘﾝｸﾞ	甲板取合 ｼﾘｺｰﾝ系(SR-1)防ｶﾋﾞ　10×10	25.9	m			
ｼｰﾘﾝｸﾞ	汚垂ﾀｲﾙ取合 ｼﾘｺｰﾝ系(SR-1)防ｶﾋﾞ　10×10	5.8	m			
ｼｰﾘﾝｸﾞ	ﾎﾞｰﾄﾞ・ﾓﾙﾀﾙ取合 ｼﾘｺｰﾝ系(SR-1)防ｶﾋﾞ　10×10	27.7	m			
ｼｰﾘﾝｸﾞ	ﾎﾞｰﾄﾞ・ﾓﾙﾀﾙ取合 変成ｼﾘｺｰﾝ系(MS-2)　10×10	10.1	m			
ﾋﾟｸﾄｻｲﾝ	200×200　ｱﾙﾐ製 杉田ｴｰｽFT200同等品	5	か所			
6)外部						
外部床 土間ｺﾝｸﾘｰﾄ	1400×1000　厚170 地業、鉄筋共	1	か所			
計						

建築工事（その１）	塗装改修			改修		
名　　称	摘　　要	数　量	単位	単　価	金　　額	備　　考
ＥＰ－Ｇ塗り	ﾓﾙﾀﾙ面　　工程B種(一般) 素地ごしらえB種(新規面)	136	㎡			
ＥＰ－Ｇ塗り	ﾎﾞｰﾄﾞ面　　工程B種(一般) 素地ごしらえB種(新規面)	26.7	㎡			
ＥＰ－Ｇ塗り	けい酸ｶﾙｼｳﾑ板面　工程B種(一般) 素地ごしらえB種(新規面)	10.4	㎡			
ＥＰ－Ｇ塗り	けい酸ｶﾙｼｳﾑ板面　工程B種(見上) 素地ごしらえB種(新規面)	29.1	㎡			
ＥＰ－Ｇ塗り	ﾌﾚｷｼﾌﾞﾙﾎﾞｰﾄﾞ面　工程B種(見上) 素地ごしらえB種(新規面)	4.4	㎡			
ＥＰ－Ｇ塗り	ﾓﾙﾀﾙ面　　工程B種(一般) 素地ごしらえB種(新規面) 細幅物　W≦100	29.2	m			
ＥＰ－Ｇ塗り	ﾓﾙﾀﾙ面　　工程B種(一般) 素地ごしらえB種(新規面) 巾木　W≦100　L=50､100	12	か所			
ＥＰ－Ｇ塗り	ﾎﾞｰﾄﾞ面　　工程B種(見上) 素地ごしらえB種(新規面) 下り壁　H=100	10.5	m			
ＡＥＰ塗り	ﾎﾞｰﾄﾞ面　　工程B種(見上) 素地ごしらえB種(新規面)	12.6	㎡			
ＳＯＰ塗り	鉄鋼面 錆止め 塗料A種 工程A種 現場1回(現場2回目) 工程B種 塗料1種 錆止め1回目及び素地ごしらえ別途	9.4	㎡			
ＳＯＰ塗り	木部 工程B種 塗料1種 素地ごしらえA種	2.4	㎡			
ＤＰ塗り	鉄鋼面 錆止め 塗料D種 現場2回(現場2,3回目) 上塗り等級1級 錆止め1回目及び素地ごしらえ別途	7.5	㎡			
複層塗材 E	ALCﾊﾟﾈﾙ面 凹凸状　吹付け ｱｸﾘﾙ系 水系 つやあり 上塗2回 下地調整費(C-1)共	3.3	㎡			
計						

建築工事（その１）	環境配慮改修			撤去		
名　　称	摘　　要	数　量	単位	単　価	金　　額	備　　考
天井ﾌﾚｷｼﾌﾞﾙﾎﾞｰﾄﾞ撤去	一重張り 石綿含有 集積共	82.7	㎡			
下り壁ﾌﾚｷｼﾌﾞﾙﾎﾞｰﾄﾞ撤去	H=200　一重張り 石綿含有 集積共	2.1	㎡			
壁吹付ﾀｲﾙ撤去	石綿含有 集積共	6.2	㎡			
計						

建築工事（その１）	発生材処理			積込・運搬・処分		
名　　称	摘　　要	数　量	単位	単　価	金　　額	備　　考
発生材積込		1	式			別紙 00-0010
発生材運搬		1	式			別紙 00-0011
発生材処分		1	式			別紙 00-0012
計						

建築工事（その２）		直接仮設				
名　　称	摘　　要	数　量	単位	単　価	金　　額	備　　考
墨出し		1	式			別紙 00-0013
養生		1	式			別紙 00-0014
整理清掃後片付け		1	式			別紙 00-0015
内部足場		1	式			別紙 00-0016
仮設間仕切り		1	式			別紙 00-0017
計						

建築工事（その２）	建具改修			撤去		
名　　称	摘　　要	数　量	単位	単　価	金　　額	備　　考
ｶﾞﾗｽ撤去	W795～720×H460　集積共	12	か所			
ｶﾞﾗｽ撤去	W1050×H1475　ﾋﾞｰﾄ共　集積共	3	か所			
ｱﾙﾐﾊﾟﾈﾙ撤去	W1050×H1475　集積共	3	か所			
計						

建築工事（その２）	建具改修			改修		
名　　称	摘　　要	数　量	単位	単　価	金　　額	備　　考
1)金属ﾊﾟﾈﾙ						
ｽﾁｰﾙﾊﾟﾈﾙ	厚3　　795×　460	6	か所			
ｽﾁｰﾙﾊﾟﾈﾙ	厚3　　770×　460	5	か所			
ｽﾁｰﾙﾊﾟﾈﾙ	厚3　　720×　460	1	か所			
ｽﾁｰﾙﾊﾟﾈﾙ	厚3　　1050×1475	3	か所			
2)ｶﾞﾗｽ						
網入磨き板ｶﾞﾗｽ	厚さ6.8　1050×1475 ﾋﾞｰﾄ共　　清掃共	3	か所			
計						

建築工事（その２）	内外装改修			撤去		
名　　称	摘　　要	数　量	単位	単　価	金　　額	備　　考
床ﾓﾙﾀﾙ撤去	集積共	1	㎡			
床ﾓﾙﾀﾙ撤去	W=100　集積共	16.1	m			
床ﾓﾙﾀﾙ撤去	300×300　集積共	8	か所			
床ﾓﾙﾀﾙ撤去	900×900　集積共	9	か所			
ﾋﾞﾆﾙ床ｼｰﾄ撤去	集積共	90.1	㎡			
ﾋﾞﾆﾙ床ｼｰﾄ撤去	W=100　集積共	16.1	m			
ﾋﾞﾆﾙ幅木撤去	一般　　集積共	52.1	m			
壁CB撤去	ｺﾝｸﾘｰﾄﾌﾞﾚｰｶ 集積共	2.3	m3			
壁LGS下地撤去	片面ﾎﾞｰﾄﾞ一重張り共　集積共	10	㎡			
壁木軸組撤去	ﾎﾞｰﾄﾞ・合板二重張り共　集積共	1.5	㎡			
壁ﾓﾙﾀﾙ撤去	W=100　集積共	25.3	m			
天井LGS下地撤去	ﾎﾞｰﾄﾞ一重張り共　集積共	108	㎡			
天井LGS下地撤去	ﾎﾞｰﾄﾞ二重張り共　集積共	56.1	㎡			
天井ｸﾞﾗｽｳｰﾙ撤去	厚25　集積共	19.6	㎡			
甲板撤去	W=150　ｽﾃﾝﾚｽ　集積共	14.2	m			
洗面化粧台撤去	1000×600×H1800　集積共	1	か所			
ｶｳﾝﾀｰ撤去	1000×600×H 700　集積共	1	か所			

建築工事（その２）	内外装改修		撤去			
名　　称	摘　　要	数　量	単位	単　価	金　　額	備　　考
教員調理台撤去	1000×600×H 700　集積共	1	か所			
生徒調理台撤去	2100×900×H 800　集積共	7	か所			
ｶｯﾀｰ入れ	ﾓﾙﾀﾙ面　厚さ20～30㎜	130	m			
軒天LGS下地撤去	ｱﾙﾐｽﾊﾟﾝﾄﾞﾚﾙ共　集積共	24.9	㎡			
軒天 廻り縁撤去	ｱﾙﾐｽﾊﾟﾝﾄﾞﾚﾙ用　集積共	27.4	m			
計						

建築工事（その２）	内外装改修			改修		
名　　称	摘　　要	数　量	単位	単　価	金　　額	備　　考
1)準躯体						
在宅看護実習室 押入壁木下地	45×45	1.5	㎡			
軽量鉄骨壁下地	65形 下地張りなし @300	35.7	㎡			
軽量鉄骨壁 天端補強	65形	1	式			別紙 00-0018
軽量鉄骨天井下地	19形(屋内) ふところ1.5m未満 下地張りなし @225 ｲﾝｻｰﾄ別途	108	㎡			
軽量鉄骨天井下地	19形(屋内) ふところ1.5m未満 下地張りあり @360 ｲﾝｻｰﾄ別途	56.1	㎡			
軽量鉄骨天井 開口部補強	19形(屋内)	1	式			別紙 00-0019
2)床・幅木						
床ﾓﾙﾀﾙ塗り	金ごて 張物下地	1	㎡			
床ﾓﾙﾀﾙ塗り	金ごて 張物下地 W=100	11.3	m			
床ﾓﾙﾀﾙ塗り	金ごて 張物下地 900×900	9	か所			
床ﾓﾙﾀﾙ塗り	金ごて 張物下地 300×300	8	か所			
防汚性ﾋﾞﾆﾙ床ｼｰﾄ	厚さ2.0 多湿部 熱溶接工法	90.1	㎡			
防汚性ﾋﾞﾆﾙ床ｼｰﾄ	厚さ2.0 多湿部 熱溶接工法 W=100	11.3	m			
ﾋﾞﾆﾙ幅木	高さ60	55.1	m			
3)壁						
壁ﾓﾙﾀﾙ塗り	金ごて 内壁　　厚20 W=100	12.8	m			
壁 せっこうﾎﾞｰﾄﾞ 張り(GB-R)	厚12.5　不燃 鋼製､木､ﾎﾞｰﾄﾞ下地 突付け -　　-	2.3	㎡			

建築工事（その２）	内外装改修			改修		
名　　称	摘　　要	数　量	単位	単　価	金　　額	備　　考
壁 せっこうﾎﾞｰﾄﾞ 張り(GB-R)	厚12.5　不燃 鋼製､木､ﾎﾞｰﾄﾞ下地 継目処理 -　　-	7.7	㎡			
壁　ｼｰｼﾞﾝｸﾞ せっこうﾎﾞｰﾄﾞ 張り(GB-S)	厚12.5　不燃 鋼製､木､ﾎﾞｰﾄﾞ下地 継目処理 -　　-	1.5	㎡			
壁ﾎﾞｰﾄﾞ出隅ｼﾞｮｲﾅ -		5.2	m			
壁　ﾒﾗﾐﾝ化粧板	厚 3	17.7	㎡			
同上 端部ｼﾞｮｲﾅｰ		17	m			
同上 出隅ｼﾞｮｲﾅｰ		8	m			
壁　ｼﾅ合板	厚6	17.7	㎡			
壁　合板張り	厚36	10.2	㎡			
衛生器機取付下地 補強		1	式			別紙 00-0020
4)天井						
天井 せっこうﾎﾞｰﾄﾞ 張り(GB-R)	厚12.5×2不燃　敷目張り	55.1	㎡			
天井　化粧 せっこうﾎﾞｰﾄﾞ 張り(GB-D)	厚 9.5　準不燃 ﾄﾗﾊﾞｰﾁﾝ 突付け	108	㎡			
天井　ﾛｯｸｳｰﾙ 化粧吸音板張り (DR)	ﾌﾗｯﾄ内部用 厚12　不燃 下張GB-R　厚 9.5共	1	㎡			
天井廻縁	塩化ﾋﾞﾆﾙ製	140	m			
天井見切縁	塩化ﾋﾞﾆﾙ製	4.7	m			
5)その他						
天井ｸﾞﾗｽｳｰﾙﾈｯﾄ押 え		19.6	㎡			
天井ﾋﾞﾆﾙｸﾛｽ張り		14.9	㎡			

建築工事（その２）	内外装改修			改修		
名　　称	摘　　要	数　量	単位	単　価	金　　額	備　　考
天井点検口	一般ﾀｲﾌﾟ　ｱﾙﾐ製　内外枠共額縁 450角	50	か所			
ﾗｲﾆﾝｸﾞ甲板	ﾒﾗﾐﾝﾎﾟｽﾄﾌｫｰﾑ　W=325	3.6	m			
ﾗｲﾆﾝｸﾞ甲板	ﾒﾗﾐﾝﾎﾟｽﾄﾌｫｰﾑ　W=150	10.6	m			
校長室 洗面化粧台	1000×560×H1900 三面鏡付き	1	か所			
ﾄｲﾚ ｶｳﾝﾀｰ	750×560×H1060 化粧棚付き	1	か所			
調理実習室棚 取外し・再取付	1500×600×H1800	2	か所			
調理実習室食器棚 取外し・再取付	1800×450×H1100	1	か所			
調理実習室ﾛｯｶｰ 取外し・再取付	500×600×H1800	1	か所			
調理実習室冷蔵庫 移動・再設置		1	か所			
在宅看護実習室押 入天袋襖 取外し・再取付	1720×990	2	か所			
ｼｰﾘﾝｸﾞ	甲板取合 ｼﾘｺｰﾝ系(SR-1)防ｶﾋﾞ　10×10	31.5	m			
ｼｰﾘﾝｸﾞ	ﾎﾞｰﾄﾞ・ﾓﾙﾀﾙ取合 ｼﾘｺｰﾝ系(SR-1)防ｶﾋﾞ　10×10	17	m			
ｼｰﾘﾝｸﾞ	ﾎﾞｰﾄﾞ・ﾓﾙﾀﾙ取合 ﾎﾟﾘｳﾚﾀﾝ系(PU-2)　10×10	11.3	m			
6)外部						
軽量鉄骨天井下地	25形(屋外) ふところ1.0m未満 金属成形板用 @360 ｲﾝｻｰﾄ別途	24.9	㎡			
軒天 ｱﾙﾐｽﾊﾟﾝﾄﾞﾚﾙ	W=150　ﾌﾗｯﾄﾀｲﾌﾟ	24.9	㎡			
軒天廻り縁	ｱﾙﾐｽﾊﾟﾝﾄﾞﾚﾙ用	27.4	m			
計						

建築工事（その２）	塗装改修			改修		
名　　称	摘　　要	数　量	単位	単　価	金　　額	備　　考
ＥＰ－Ｇ塗り 改修仕様	ﾎﾞｰﾄﾞ面　　工程B種(一般) 素地ごしらえB種(新規面)	7.7	㎡			
ＥＰ－Ｇ塗り替え 改修仕様	既存ﾓﾙﾀﾙ面　　工程B種(一般) 下地調整rB種(塗替え面)	2	㎡			
ＥＰ－Ｇ塗り 改修仕様	ﾓﾙﾀﾙ面　　工程B種(一般) 素地ごしらえB種(新規面) 細幅物　W≦100	11.5	m			
ＡＥＰ塗り	ﾎﾞｰﾄﾞ面　　工程B種(見上) 素地ごしらえB種(新規面)	40.2	㎡			
計						

建築工事（その２）	発生材処理			積込・運搬・処分		
名　　称	摘　　要	数　量	単位	単　価	金　　額	備　　考
発生材積込		1	式			別紙 00-0021
発生材運搬		1	式			別紙 00-0022
発生材処分		1	式			別紙 00-0023
計						

看護専門学校		電灯設備			電灯分岐	
名　称	摘　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
LED照明器具	A202　ﾍﾞｰｽﾗｲﾄ　20形　下面開放型 W300　1600LM	9	個			
LED照明器具	LRS20　-4 -48　LN	118	個			A402
LED照明器具	B201　ﾍﾞｰｽﾗｲﾄ　20形　下面開放型 W150　800LM	5	個			
LED照明器具	B401 ﾍﾞｰｽﾗｲﾄ40形 下面開放型 W300 2500LM	65	個			
LED照明器具	LRS8　-4 -26　LN	14	個			C401
LED照明器具	LRS1　-　-08　LN	19	個			D100
LED照明器具	LRS1　-　-13　LN	5	個			D150
LED照明器具	E201　ﾍﾞｰｽﾗｲﾄ　20形　富士型 W150　800LM	1	個			
LED照明器具	F401　ﾍﾞｰｽﾗｲﾄ　40形　ｺｰﾅｰﾗｲﾄ W120　2000LM	5	個			
LED照明器具	F60　LEDｼｰﾘﾝｸﾞﾗｲﾄ　60形電球相当	6	個			
LED照明器具	G201　LEDｷｯﾁﾝﾗｲﾄ 直管型蛍光灯FL20形1灯相当	9	個			
LED照明器具	G406 ｽｸｴｱﾍﾞｰｽﾗｲﾄ 埋込 乳白ﾊﾟﾈﾙ	2	個			
LED照明器具	LRS9　-6 -84　LN	4	個			G404
LED照明器具	ﾌﾞﾗｹｯﾄﾗｲﾄ LEDﾗﾝﾌﾟ含む	2	個			H201
LED照明器具	LBF3MP/RP　-2 -06　LN	7	個			J201
LED照明器具	K101　LEDｷｯﾁﾝﾗｲﾄ 直管型蛍光灯FL15形1灯相当	3	個			
LED照明器具	LSS1　-2 -15　LN	7	個			L202
配線器具		1	式			別紙 00-0024
ケーブル		1	式			別紙 00-0025
金属線ぴ		1	式			別紙 00-0026

看護専門学校	電灯設備	電灯分岐				
名　称	摘　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
ボックス類		1	式			別紙 00-0027
取外し再取付け		1	式			別紙 00-0028
撤去		1	式			別紙 00-0029
計						

看護専門学校		電灯設備			コンセント分岐	
名　称	摘　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
電灯分電盤改修	LM-1A	1	面			
電灯分電盤改修	L-2A	1	面			
電灯分電盤改修	L-3	1	面			
配線器具		1	式			別紙 00-0030
ケーブル		1	式			別紙 00-0031
電線管		1	式			別紙 00-0032
金属線ぴ		1	式			別紙 00-0033
ボックス類		1	式			別紙 00-0034
防火区画 貫通処理等		1	式			別紙 00-0035
はつり工事		1	式			別紙 00-0036 非公開
撤去		1	式			別紙 00-0037
計						

看護専門学校		動力設備			動力幹線	
名　称	摘　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
動力分電盤改修	LM-1A	1	面			
ケーブル		1	式			別紙 00-0038
電線管		1	式			別紙 00-0039
ボックス類		1	式			別紙 00-0040
はつり工事		1	式			別紙 00-0041 非公開
撤去		1	式			別紙 00-0042
計						

看護専門学校	動力設備			動力分岐		
名　称	摘　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
動力操作盤改修	P-1	1	面			
警報盤改修	名称変更	1	面			
電動機等接続		1	式			別紙 00-0043 非公開
電線		1	式			別紙 00-0044
ケーブル		1	式			別紙 00-0045
電線管		1	式			別紙 00-0046
ボックス類		1	式			別紙 00-0047
支持材		1	式			別紙 00-0048 非公開
はつり工事		1	式			別紙 00-0049 非公開
撤去		1	式			別紙 00-0050
計						

看護専門学校		受変電設備				
名　称	摘　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
ｷｭｰﾋﾞｸﾙ改修		1	式			
立会検査		1	式			別紙 00-0051 非公開
計						

看護専門学校		構内交換設備				
名　称	摘　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
ﾌﾗｯｼｭﾌﾟﾚｰﾄ (金属製)	角型 ﾊﾄﾒ	1	個			
撤去		1	式			別紙 00-0052
計						

看護専門学校		拡声設備				
名　称	摘　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
ｽﾋﾟｰｶ	SC4Hi-1(3) VO	1	個			
ｱｯﾃﾈｰﾀ	1W S(金属製)	1	個			
ケーブル		1	式			別紙 00-0053
電線管		1	式			別紙 00-0054
ボックス類		1	式			別紙 00-0055
撤去		1	式			別紙 00-0056
計						

看護専門学校		テレビ共同受信設備				
名　称	摘　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
テレビ端子		1	式			別紙 00-0057
撤去		1	式			別紙 00-0058
計						

看護専門学校		防犯・入退室管理設備		防犯		
名　称	摘　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
取外し再取付け		1	式			別紙 00-0059
計						

看護専門学校	火災報知設備			自動火災報知		
名　称	摘　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
ｽﾎﾟｯﾄ形感知器	差動式 2種　露出	4	個			
ｽﾎﾟｯﾄ形感知器	定温式 1種　防水	1	個			
ｽﾎﾟｯﾄ形感知器	定温式 特種 露出	2	個			
ボックス類		1	式			別紙 00-0060
撤去		1	式			別紙 00-0061
計						

看護専門学校	火災報知設備			ガス漏れ火災警報		
名　称	摘　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
取外し再取付		1	式			別紙 00-0062
計						

看護専門学校		発生材処理				
名　称	摘　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
発生材運搬		1	式			別紙 00-0063
発生材処分		1	式			別紙 00-0064
計						

機械設備工事（その１_校舎）	換気設備			換気設備		
名　　称	摘　　要	数　量	単位	単　価	金　　額	備　　考
天井埋込形換気扇 低騒音形	樹脂製　300m3	3	台			
天井埋込形換気扇 低騒音形	樹脂製　200m3	2	台			
天井埋込形換気扇 低騒音形	樹脂製　120m3	1	台			
機器固定用ア ンカー		1	式			別紙 00-0065 非公開
計						

機械設備工事（その１_校舎）	換気設備			ダクト設備		
名　　称	摘　　要	数　量	単位	単　価	金　　額	備　　考
ｽﾊﾟｲﾗﾙﾀﾞｸﾄ （低圧ﾀﾞｸﾄ）	ｲﾝｻｰﾄ無 150mm	14	m			
深型ﾍﾞﾝﾄﾞｷｬｯﾌﾟ	ｽﾃﾝﾚｽ製　150φ指定色塗装	5	個			
軒下型ﾍﾞﾝﾄﾞｷｬｯﾌﾟ	ｽﾃﾝﾚｽ製　150φ指定色塗装	1	個			
保温工事		1	式			別紙 00-0066
あと施工アンカー		1	式			別紙 00-0067 非公開
外部足場		1	式			別紙 00-0068
災害防止		1	式			別紙 00-0069
計						

機械設備工事（その１_校舎）	換気設備			総合調整		
名　　称	摘　　要	数　量	単位	単　価	金　　額	備　　考
総合調整費		1	式			別紙 00-0070 非公開
計						

機械設備工事（その１_校舎）	衛生器具設備			衛生器具設備		
名　　称	摘　　要	数　量	単位	単　価	金　　額	備　　考
大便器	C810S　タンク式（電気開閉式（タッチスイッチ））ふたなし温水洗浄便座	13	組			
紙巻器	棚付二連紙巻器(SUS製)	13	組			
小便器	U620　節水装置小便器一体型	2	組			
洗面器	L210C　自動式単水栓、床排水	6	組			
洗面器	L210C　自動式単水栓、床排水	4	組			
洗面器	L210C　自動式混合水栓、床排水	1	組			
鏡	450mm×600mm	11	枚			
洗面化粧台	一面境共	1	組			
掃除流し		2	組			
洗濯機ﾊﾟﾝ	縦引ﾄﾗｯﾌﾟ、洗濯用横水栓	2	組			
混合水栓	ｼﾝｸﾞﾙﾚﾊﾞｰ	2	個			
横水栓	F 4　－　20A	1	個			
キー式横水栓	キー式	2	個			
計						

機械設備工事（その１_校舎）	給水設備			給水設備		
名　　称	摘　　要	数　量	単位	単　価	金　　額	備　　考
受水ﾀﾝｸ	FRP製ﾊﾟﾈﾙﾀﾝｸ(単板)中間仕切付 耐震1.0G　3000x2000x2000H(1000+2000)架台、他付属品 不断水工法 解体費含	1	基			
給水ﾎﾟﾝﾌﾟﾕﾆｯﾄ	推定末端圧力一定制御(並列運転) 65φx50φx500L/minx500KPa 制御盤、防振架台　共	1	台			
給水・塩ﾋﾞﾗｲﾆﾝｸﾞ鋼管(SGP-VB)改修	ねじ接合　屋内一般 100A	48	m			
給水・塩ﾋﾞﾗｲﾆﾝｸﾞ鋼管(SGP-VB)改修	ねじ接合　屋内一般 80A	17	m			
給水・塩ﾋﾞﾗｲﾆﾝｸﾞ鋼管(SGP-VB)改修	ねじ接合　屋内一般 65A	30	m			
給水・塩ﾋﾞﾗｲﾆﾝｸﾞ鋼管(SGP-VB)改修	ねじ接合　屋内一般 50A	12	m			
給水・塩ﾋﾞﾗｲﾆﾝｸﾞ鋼管(SGP-VB)改修	ねじ接合　屋内一般 40A	11	m			
給水・塩ﾋﾞﾗｲﾆﾝｸﾞ鋼管(SGP-VB)改修	ねじ接合　屋内一般 25A	18	m			
給水・塩ﾋﾞﾗｲﾆﾝｸﾞ鋼管(SGP-VB)改修	ねじ接合　屋内一般 20A	132	m			
給水・塩ﾋﾞﾗｲﾆﾝｸﾞ鋼管(SGP-VB)改修	ねじ接合　機械室・便所 100A	6	m			
給水・塩ﾋﾞﾗｲﾆﾝｸﾞ鋼管(SGP-VB)改修	ねじ接合　機械室・便所 80A	2	m			
給水・塩ﾋﾞﾗｲﾆﾝｸﾞ鋼管(SGP-VB)改修	ねじ接合　機械室・便所 65A	3	m			
給水・塩ﾋﾞﾗｲﾆﾝｸﾞ鋼管(SGP-VB)改修	ねじ接合　機械室・便所 50A	31	m			
給水・塩ﾋﾞﾗｲﾆﾝｸﾞ鋼管(SGP-VB)改修	ねじ接合　機械室・便所 40A	7	m			
給水・塩ﾋﾞﾗｲﾆﾝｸﾞ鋼管(SGP-VB)改修	ねじ接合　機械室・便所 32A	4	m			
給水・塩ﾋﾞﾗｲﾆﾝｸﾞ鋼管(SGP-VB)改修	ねじ接合　機械室・便所 25A	33	m			
給水・塩ﾋﾞﾗｲﾆﾝｸﾞ鋼管(SGP-VB)改修	ねじ接合　機械室・便所 20A	56	m			
ﾗｲﾆﾝｸﾞ仕切弁	10K(ﾌﾗﾝｼﾞ)　65A	3	個			
仕切弁(管端防食ｺｱ)	10K(ねじ・給水用) 50A	9	個			

機械設備工事（その１_校舎）	給水設備			給水設備		
名　称	摘　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
仕切弁 （管端防食ｺｱ）	10K(ねじ･給水用) 25A	5	個			
仕切弁 （管端防食ｺｱ）	10K(ねじ･給水用) 20A	12	個			
ﾎﾞｰﾙ弁 （管端防食ｺｱ）	10K(ねじ･給水用) 15A	1	個			
逆止弁 （管端防食ｺｱ）	10K(ねじ･給水用) 25A	1	個			
定水位調整弁	ｱﾝｸﾞﾙ型(副弁無し)　25A	2	個			
ﾎﾞｰﾙﾀｯﾌﾟ	25A	2	個			
水位制御用電極棒	5P	2	個			
直読式量水器 （乾式ﾃﾞｼﾞﾀﾙ式）	20A	1	個			
SUS製ﾒｰﾀｰﾎﾞｯｸｽ	鍵付　450x200x300H	1	個			
Y形ｽﾄﾚｰﾅ （管端防食ｺｱ）	10K　20A	2	個			
ﾌﾚｷｼﾌﾞﾙﾁｭｰﾌﾞ	ｽﾃﾝﾚｽ製　20A	2	本			
自動ｴｱ抜弁	20A	1	個			
ﾌﾚｷｼﾌﾞﾙｼﾞｮｲﾝﾄ	合成ｺﾞﾑ製　　65A	1	個			
ﾌﾚｷｼﾌﾞﾙｼﾞｮｲﾝﾄ	合成ｺﾞﾑ製　　50A	2	個			
ﾌﾚｷｼﾌﾞﾙｼﾞｮｲﾝﾄ	合成ｺﾞﾑ製　　25A	5	個			
ﾌﾚｷｼﾌﾞﾙｼﾞｮｲﾝﾄ	合成ｺﾞﾑ製　　20A	3	個			
防振継手	合成ｺﾞﾑ製　50A	2	個			
保温工事		1	式			別紙 00-0071
文字標識等		1	式			別紙 00-0072 非公開
搬入・据付費		1	式			別紙 00-0073 非公開

機械設備工事（その１_校舎）	給水設備			給水設備		
名　称	摘　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
架台類		1	式			別紙 00-0074 非公開
形鋼振れ止め支持		1	式			別紙 00-0075 非公開
あと施工アンカー		1	式			別紙 00-0076 非公開
機器固定用ｱﾝｶｰ		1	式			別紙 00-0077 非公開
はつり補修		1	式			別紙 00-0078 非公開
清掃消毒	6m3	1	回			
清掃消毒	4m3	1	回			
清掃消毒	12m3	1	回			
水質検査		2	回			
計						

機械設備工事（その１_校舎）	給水設備			仮設工事		
名　　称	摘　　要	数　量	単位	単　価	金　　額	備　　考
給水・耐衝撃性ﾎﾟﾘ塩ﾋﾞ管(HIVP)改修	屋内一般　65A	25	m			
給水・耐衝撃性ﾎﾟﾘ塩ﾋﾞ管(HIVP)改修	屋内一般　30A	30	m			
給水・耐衝撃性ﾎﾟﾘ塩ﾋﾞ管(HIVP)改修	屋内一般　25A	15	m			
給水・耐衝撃性ﾎﾟﾘ塩ﾋﾞ管(HIVP)改修	屋内一般　20A	53	m			
ﾗｲﾆﾝｸﾞﾊﾞﾀﾌﾗｲ弁	10K(ｳｴﾊｰ)　65A	2	個			
はつり補修		1	式			別紙 00-0079 非公開
配管分岐・閉塞		1	式			別紙 00-0080 非公開
直接仮設		1	式			別紙 00-0081
計						

機械設備工事（その１_校舎）	給水設備			総合調整		
名　　称	摘　　要	数　量	単位	単　価	金　　額	備　　考
総合調整費		1	式			別紙 00-0082 非公開
計						

機械設備工事（その１_校舎）	排水設備			排水設備		
名　　称	摘　　要	数　量	単位	単　価	金　　額	備　　考
排水・硬質ﾎﾟﾘ塩化ﾋﾞﾆﾙ耐火二層管(VP)改修	機械室・便所　100A	40	m			
排水・硬質ﾎﾟﾘ塩化ﾋﾞﾆﾙ耐火二層管(VP)改修	機械室・便所　75A	33	m			
排水・硬質ﾎﾟﾘ塩化ﾋﾞﾆﾙ耐火二層管(VP)改修	機械室・便所　65A	19	m			
排水・硬質ﾎﾟﾘ塩化ﾋﾞﾆﾙ耐火二層管(VP)改修	機械室・便所　50A	26	m			
排水・硬質ﾎﾟﾘ塩化ﾋﾞﾆﾙ耐火二層管(VP)改修	機械室・便所　40A	24	m			
排水・硬質ﾎﾟﾘ塩化ﾋﾞﾆﾙ管(VP)改修	屋内一般　50A	5	m			
排水・硬質ﾎﾟﾘ塩化ﾋﾞﾆﾙ管(VP)改修	屋内一般　40A	1	m			
排水・硬質ﾎﾟﾘ塩化ﾋﾞﾆﾙ管(VP)改修	屋内一般　25A	1	m			
通気・硬質ﾎﾟﾘ塩化ﾋﾞﾆﾙ耐火二層管(VP)改修	機械室・便所　100A	1	m			
通気・硬質ﾎﾟﾘ塩化ﾋﾞﾆﾙ耐火二層管(VP)改修	機械室・便所　75A	11	m			
通気・硬質ﾎﾟﾘ塩化ﾋﾞﾆﾙ耐火二層管(VP)改修	機械室・便所　50A	36	m			
通気・硬質ﾎﾟﾘ塩化ﾋﾞﾆﾙ耐火二層管(VP)改修	機械室・便所　40A	1	m			
床上掃除口(非防水形)	COA 100A	8	個			
床上掃除口(非防水形)	COA　65A	3	個			
床上掃除口(非防水形)	COA　50A	5	個			
床排水ﾄﾗｯﾌﾟ(防水形)	T 5B　65A	1	個			
青銅仕切弁	5K(ねじ)　40A	2	個			
青銅仕切弁	5K(ねじ)　25A	1	個			
満水継手	100A	2	個			
満水継手	75A	2	個			

機械設備工事（その１_校舎）	排水設備			排水設備		
名　　称	摘　　要	数　量	単位	単　価	金　　額	備　　考
配管用防虫網	50A	2	個			
排水ﾎｯﾊﾟｰ	排水用硬質ﾎﾟﾘ塩化ﾋﾞﾆﾙ管継手(DV継手)100x50	1	個			
排水通気金物	ｱﾙﾐ製　埋込型　50A	1	個			
排水通気金物	ｱﾙﾐ製　埋込型 100A	1	個			
塗装工事		1	式			別紙 00-0083
形鋼振れ止め支持		1	式			別紙 00-0084 非公開
あと施工アンカー		1	式			別紙 00-0085 非公開
はつり補修		1	式			別紙 00-0086 非公開
計						

機械設備工事（その１_校舎）	排水設備			仮設工事		
名　称	摘　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
排水・硬質ﾎﾟﾘ塩化ﾋﾞﾆﾙ管(VP)改修	屋内一般　100A	22	m			
排水・硬質ﾎﾟﾘ塩化ﾋﾞﾆﾙ管(VP)改修	屋内一般　75A	3	m			
排水・硬質ﾎﾟﾘ塩化ﾋﾞﾆﾙ管(VP)改修	屋内一般　50A	15	m			
はつり補修		1	式			別紙 00-0087 非公開
計						

機械設備工事（その１_校舎）　給湯設備

名　称	摘　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
給湯・一般配管用 ｽﾃﾝﾚｽ鋼鋼管 改修	圧縮・ﾌﾟﾚｽ接合 屋内一般　20SU	1	m			
ﾌﾚｷｼﾌﾞﾙﾁｭｰﾌﾞ	ｽﾃﾝﾚｽ製　20A	1	本			
保温工事		1	式			別紙 00-0088
ﾊﾞﾗﾝｽ釜開口塞ぎ	ｽﾃﾝﾚｽ綱　360x500x1.0t(1.43Kg)	1	枚			
あと施工アンカー		1	式			別紙 00-0089 非公開
計						

機械設備工事（その１_校舎）	消火設備			屋内消火栓設備		
名　称	摘　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
消火用充水ﾀﾝｸ	TF-200	1	基			
溝形鋼	150x75x2100L(溶融亜鉛ﾒｯｷ)	2	本			
消火・配管用 炭素鋼鋼管(白) 改修	ねじ接合 屋内一般　50A	2	m			
保温工事		1	式			別紙 00-0090
ﾌﾚｷｼﾌﾞﾙｼﾞｮｲﾝﾄ (消防認定品)	ﾍﾞﾛｰｽﾞ形 50A	1	個			
青銅逆止弁	10K(ねじ・ｽｲﾝｸﾞ) 50A	1	個			
青銅仕切弁	10K(ねじ)　50A	1	個			
計						

機械設備工事（その１_校舎）	ガス設備				ガス設備	
名　　称	摘　　要	数　量	単位	単　価	金　　額	備　　考
都市ガス設備	諸経費含む	1	式			
計						

機械設備工事（その１_校舎）	撤去工事				撤去工事	
名　　称	摘　　要	数　量	単位	単　価	金　　額	備　　考
機器類撤去		1	式			別紙 00-0091 非公開
配管類撤去		1	式			別紙 00-0092
はつり補修		1	式			別紙 00-0093 非公開
直接仮設		1	式			別紙 00-0094
計						

機械設備工事（その１_校舎）	発生材処分				発生材処分	
名　　称	摘　　要	数　量	単位	単　価	金　　額	備　　考
発生材積込み		1	式			別紙 00-0095
発生材運搬		1	式			別紙 00-0096
発生材処分		1	式			別紙 00-0097
計						

機械設備工事（その１_屋外）　給水設備

名　称	摘　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
給水・塩ﾋﾞﾗｲﾆﾝｸﾞ鋼管(SGP-VD)改修	ねじ接合　地中配管 25A	5	m			
弁桝	人 力　VC-P(550H)	1	組			
地中埋設標	ｺﾝｸﾘｰﾄ製	1	個			
埋設標識ﾃｰﾌﾟ	150幅	5	m			
配管分岐・閉塞		1	式			別紙 00-0098 非公開
土工事		1	式			別紙 00-0099
計						

機械設備工事（その１_屋外）　撤去工事

名　称	摘　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
配管類撤去		1	式			別紙 00-0100
計						

機械設備工事（その２）　衛生器具設備

名　称	摘　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
洋風大便器	C810S　タンク式（電気開閉式（タッチスイッチ））ふたなし温水洗浄便座	1	組			
洋風大便器	C810S　タンク式（手動式）ふたなし温水洗浄便座	1	組			
紙巻器	棚付二連紙巻器（SUS製）	2	個			
洗面器	L531　自動式混合水栓　床排水	1	組			
洗面器	L531　自動式混合水栓　床排水	1	組			
シャワー水栓	TBV03402J1/BF-KA145TSJM	1	個			
洗面化粧台	LDSFB120BJGDN1M/RBH-1205SY-AM　YS2HA　一面境、電気温水器共	1	組			
洗面器	L210C　自動式単水栓　床排水	1	組			
化粧鏡	YM4560F/KF-4560A	1	枚			
手術用手洗器	L112/L-A101KAE ｻｰﾓ付自動水栓、Pﾄﾗｯﾌﾟ共	8	組			
洗髪器	S305DNU ｻｰﾓ付混合水栓、立水栓、Pﾄﾗｯﾌﾟ共	1	組			
乳児ﾊﾞｽ	BH27/B-2E ｻｰﾓ付混合水栓、Pﾄﾗｯﾌﾟ共	1	組			
汚物流し	SKL330HNNN/S207NM1NNRP 既設取替用	1	組			
立水栓	T131SUN13C/LF-16F-13-U	8	個			
混合水栓	ｼﾝｸﾞﾙﾚﾊﾞｰ	10	個			
キー式横水栓	キー式	1	個			
計						

機械設備工事（その２）			給水設備				
名　　称	摘　　要		数　量	単位	単　価	金　　額	備　　考
給水・塩ﾋﾞﾗｲﾆﾝｸﾞ鋼管(SGP-VB)改修	ねじ接合 50A	屋内一般	7	m			
給水・塩ﾋﾞﾗｲﾆﾝｸﾞ鋼管(SGP-VB)改修	ねじ接合 40A	屋内一般	42	m			
給水・塩ﾋﾞﾗｲﾆﾝｸﾞ鋼管(SGP-VB)改修	ねじ接合 40A	機械室・便所	2	m			
給水・塩ﾋﾞﾗｲﾆﾝｸﾞ鋼管(SGP-VB)改修	ねじ接合 32A	屋内一般	15	m			
給水・塩ﾋﾞﾗｲﾆﾝｸﾞ鋼管(SGP-VB)改修	ねじ接合 25A	屋内一般	48	m			
給水・塩ﾋﾞﾗｲﾆﾝｸﾞ鋼管(SGP-VB)改修	ねじ接合 25A	機械室・便所	7	m			
給水・塩ﾋﾞﾗｲﾆﾝｸﾞ鋼管(SGP-VB)改修	ねじ接合 20A	機械室・便所	14	m			
給水・塩ﾋﾞﾗｲﾆﾝｸﾞ鋼管(SGP-VB)改修	ねじ接合 20A	屋内一般	88	m			
給水・塩ﾋﾞﾗｲﾆﾝｸﾞ鋼管(SGP-VB)改修	ねじ接合 20A	機械室・便所	7	m			
保温工事			1	式			別紙 00-0101
仕切弁(管端防食ｺｱ)	10K(ねじ・給水用) 50A		1	個			
仕切弁(管端防食ｺｱ)	10K(ねじ・給水用) 40A		1	個			
仕切弁(管端防食ｺｱ)	10K(ねじ・給水用) 25A		2	個			
仕切弁(管端防食ｺｱ)	10K(ねじ・給水用) 20A		2	個			
ﾌﾚｷｼﾌﾞﾙﾁｭｰﾌﾞ	ｽﾃﾝﾚｽ製　20A		2	本			
土工事			1	式			別紙 00-0102
架台類			1	式			別紙 00-0103 非公開
形鋼振れ止め支持			1	式			別紙 00-0104 非公開
あと施工アンカー			1	式			別紙 00-0105 非公開
はつり補修			1	式			別紙 00-0106 非公開

機械設備工事（その２）　給水設備

名　称	摘　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
計						

機械設備工事（その２）	給水設備			仮設工事		
名　称	摘　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
給水・耐衝撃性ﾎﾟﾘ塩ﾋﾞ管(HIVP)改修	屋内一般　40A	20	m			
給水・耐衝撃性ﾎﾟﾘ塩ﾋﾞ管(HIVP)改修	屋内一般　150A	38	m			
仮設換気扇	一般形　電気式　400φ以下	1	式			
外部足場		1	式			別紙 00-0107
災害防止		1	式			別紙 00-0108
計						

機械設備工事（その２）　排水設備

名　称	摘　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
排水・硬質ﾎﾟﾘ塩化ﾋﾞﾆﾙ耐火二層管(VP)改修	屋内一般　100A	28	m			
排水・硬質ﾎﾟﾘ塩化ﾋﾞﾆﾙ耐火二層管(VP)改修	屋内一般　75A	38	m			
排水・硬質ﾎﾟﾘ塩化ﾋﾞﾆﾙ耐火二層管(VP)改修	機械室・便所　75A	8	m			
排水・硬質ﾎﾟﾘ塩化ﾋﾞﾆﾙ耐火二層管(VP)改修	屋内一般　65A	17	m			
排水・硬質ﾎﾟﾘ塩化ﾋﾞﾆﾙ耐火二層管(VP)改修	屋内一般　50A	35	m			
排水・硬質ﾎﾟﾘ塩化ﾋﾞﾆﾙ耐火二層管(VP)改修	機械室・便所　50A	3	m			
排水・硬質ﾎﾟﾘ塩化ﾋﾞﾆﾙ耐火二層管(VP)改修	機械室・便所　40A	2	m			
排水・硬質ﾎﾟﾘ塩化ﾋﾞﾆﾙ耐火二層管(VP)改修	屋内一般　40A	19	m			
排水・硬質ﾎﾟﾘ塩化ﾋﾞﾆﾙ管(VP)改修	地中配管　100A	38	m			
排水・硬質ﾎﾟﾘ塩化ﾋﾞﾆﾙ管(VP)改修	地中配管　75A	1	m			
排水・硬質ﾎﾟﾘ塩化ﾋﾞﾆﾙ管(VP)改修	地中配管　50A	1	m			
排水・硬質ﾎﾟﾘ塩化ﾋﾞﾆﾙ管(VP)改修	地中配管　30A	6	m			
排水管　ｶﾗ-VP	屋内一般　100A	15	m			
通気管　ｶﾗ-VP	屋内一般　100A	5	m			
通気管　ｶﾗ-VP	屋内一般　50A	3	m			
通気・硬質ﾎﾟﾘ塩化ﾋﾞﾆﾙ耐火二層管(VP)改修	屋内一般　50A	41	m			
通気・硬質ﾎﾟﾘ塩化ﾋﾞﾆﾙ耐火二層管(VP)改修	屋内一般　40A	1	m			
床上掃除口(非防水形)	COA 100A	2	個			
床上掃除口(非防水形)	COA　80A	2	個			
床上掃除口(非防水形)	COA　65A	2	個			

機械設備工事（その２）　排水設備

名　称	摘　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ桝	桝径200φ 最大排水管径100φ 90Y、45Y、45YS 塩ﾋﾞふた付 ～500	1	組			
ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ桝	桝径200φ 最大排水管径100φ WLS 塩ﾋﾞふた付 501～800	1	組			
ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ桝	桝径200φ 最大排水管径100φ 90Y、45Y、45YS 塩ﾋﾞふた付 501～800	2	組			
通気金具(VA2) 取付		2	個			
土工事		1	式			別紙 00-0109
形鋼振れ止め支持		1	式			別紙 00-0110 非公開
あと施工アンカー		1	式			別紙 00-0111 非公開
はつり補修		1	式			別紙 00-0112 非公開
直接仮設		1	式			別紙 00-0113
計						

機械設備工事（その２）　給湯設備

名　称	摘　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
給湯・一般配管用 ｽﾃﾝﾚｽ鋼鋼管 改修	圧縮・ﾌﾟﾚｽ接合 機械室・便所　30SU	1	m			
給湯・一般配管用 ｽﾃﾝﾚｽ鋼鋼管 改修	圧縮・ﾌﾟﾚｽ接合 屋内一般　30SU	21	m			
給湯・一般配管用 ｽﾃﾝﾚｽ鋼鋼管 改修	圧縮・ﾌﾟﾚｽ接合 機械室・便所　25SU	4	m			
給湯・一般配管用 ｽﾃﾝﾚｽ鋼鋼管 改修	圧縮・ﾌﾟﾚｽ接合 屋内一般　25SU	33	m			
給湯・一般配管用 ｽﾃﾝﾚｽ鋼鋼管 改修	圧縮・ﾌﾟﾚｽ接合 屋内一般　20SU	37	m			
給湯・一般配管用 ｽﾃﾝﾚｽ鋼鋼管 改修	圧縮・ﾌﾟﾚｽ接合 機械室・便所　20SU	1	m			
ﾌﾚｷｼﾌﾞﾙﾁｭｰﾌﾞ	ｽﾃﾝﾚｽ製　20A	1	本			
保温工事		1	式			別紙 00-0114
EM-CEE-Sｹｰﾌﾞﾙ	1.25mm2-　2C ﾋﾟｯﾄ・天井	30	m			
EM-CEE-Sｹｰﾌﾞﾙ	1.25mm2-　2C 管内	1	m			
1種金属線ぴ(MM1)	A型(25.4mm)	1	m			
金属製 ｽｲｯﾁﾎﾞｯｸｽ(ｶﾊﾞｰ付)	2個用	2	個			
あと施工アンカー		1	式			別紙 00-0115 非公開
計						

機械設備工事（その２）	ガス設備			都市ガス設備		
名　　称	摘　　要	数　量	単位	単　価	金　　額	備　　考
都市ガス設備		1	式			
諸経費		1	式			
計						

機械設備工事（その２）	撤去工事					
名　称	摘　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
機器類撤去		1	式			別紙 00-0116 非公開
配管類撤去		1	式			別紙 00-0117
計						

機械設備工事（その２）		発生材処理				
名　　称	摘　　要	数　量	単位	単　価	金　　額	備　　考
発生材積込み		1	式			別紙 00-0118
発生材運搬		1	式			別紙 00-0119
発生材処分		1	式			別紙 00-0120
計						

建築工事（その１）		直接仮設				
名　称	摘　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
墨出し		1	式			別紙 00-0001
墨出し(内部改修)	個別改修	37.1	㎡			
墨出し(内部改修)	複合改修	120	㎡			
計						
養生		1	式			別紙 00-0002
養生(内部改修)	個別改修	55.1	㎡			
養生(内部改修)	複合改修	125	㎡			
養生(内部改修)	搬出入路部分	603	㎡			
床養生	二重張り　隔離ｼｰﾄt=0.15mm	119	㎡			
壁養生	一重張り　隔離ｼｰﾄt=0.08mm	230	㎡			
計						
整理清掃後片付け		1	式			別紙 00-0003
整理清掃後片付け(内部改修)	個別改修	55.1	㎡			
整理清掃後片付け(内部改修)	複合改修	125	㎡			
整理清掃後片付け(内部改修)	搬出入路部分	603	㎡			
計						

建築工事（その１）		直接仮設				
名　　称	摘　　要	数　量	単位	単　価	金　　額	備　　考
内部足場		1	式			別紙 00-0004
内部仕上足場 (改修)	階高4.0m以下 脚立足場　一般 運搬費共	160	㎡			
計						
仮設間仕切り		1	式			別紙 00-0005
仮設間仕切り下地	B種 LGS下地石膏ﾎﾞｰﾄﾞ t=9.5(片面) 運搬費共	5.3	㎡			
仮設間仕切り用 木製片開き戸	W800×H1800 運搬費共	3	か所			
計						

建築工事（その１）	内外装改修			改修		
名　称	摘　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
軽量鉄骨壁 開口部補強	90形	1	式			別紙 00-0006
軽量鉄骨壁 開口部補強	90形 扉等三方補強 900×2000mm程度	1	か所			
計						
軽量鉄骨壁 開口部、天端補強	65形	1	式			別紙 00-0007
軽量鉄骨壁 開口部補強	65形 扉等三方補強 900×2000mm程度	3	か所			
軽量鉄骨壁 天端補強	65形	10.3	m			
計						
軽量鉄骨天井 開口部補強	19形(屋内)	1	式			別紙 00-0008
軽量鉄骨天井 開口部補強	19形(屋内)　450×　450mm程度 ﾎﾞｰﾄﾞ等切込み共	18	か所			
計						
衛生器機取付下地 補強		1	式			別紙 00-0009
小便器取付 下地補強	合板t=24　　400×900	2	か所			
洗面器取付 下地補強	合板t=36　　600×300	10	か所			
計						

建築工事（その１）	発生材処理			積込・運搬・処分		
名　称	摘　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
発生材積込		1	式			別紙 00-0010
発生材積込み	ｺﾝｸﾘｰﾄ類　人力	7.8	m3			
発生材積込み	木材類 人力	1.8	m3			
発生材積込み	木材類以外 人力	12.3	m3			
発生材積込み	ｱｽﾍﾞｽﾄ含有材 人力	0.5	m3			
計						
発生材運搬		1	式			別紙 00-0011
撤去材運搬	ﾀﾞﾝﾌﾟﾄﾗｯｸ　4t積級 ﾊﾞｯｸﾎｳ0.28m3 有筋ｺﾝｸﾘｰﾄ類 DID区間有り 27.0km以下	1.3	m3			
撤去材運搬	ﾀﾞﾝﾌﾟﾄﾗｯｸ　4t積級 ﾊﾞｯｸﾎｳ0.28m3 無筋ｺﾝｸﾘｰﾄ類 DID区間有り 27.0km以下	6.5	m3			
撤去材運搬	2tﾀﾞﾝﾌﾟﾄﾗｯｸ 木材・石こうﾎﾞｰﾄﾞ類 片道距離概ね25km	1	台			
撤去材運搬	2tﾀﾞﾝﾌﾟﾄﾗｯｸ 廃ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ類 片道距離概ね25km	1	台			
撤去材運搬	2tﾀﾞﾝﾌﾟﾄﾗｯｸ ｶﾞﾗｽ・陶磁器類 片道距離概ね25km	1	台			
撤去材運搬	2tﾀﾞﾝﾌﾟﾄﾗｯｸ 金属くず 片道距離概ね25km	1	台			
撤去材運搬	4tｺﾝﾃﾅ車 混合廃棄物 片道距離概ね25km	1	台			
撤去材運搬	4tｺﾝﾃﾅ車 ｱｽﾍﾞｽﾄ含有材 片道距離概ね75km	1	台			
計						

建築工事（その１）	発生材処理			積込・運搬・処分		
名　　称	摘　　要	数　量	単位	単　価	金　　額	備　　考
発生材処分		1	式			別紙 00-0012
建設廃材処分費	鉄筋ｺﾝｸﾘｰﾄ廃材　処分地区：東葛	3.2	t			
建設廃材処分費	無筋ｺﾝｸﾘｰﾄ廃材　処分地区：東葛	15.3	t			
発生材処分費	木くず	1.8	m3			
発生材処分費	廃石膏ﾎﾞｰﾄﾞ	0.5	m3			
発生材処分費	廃ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ	0.1	m3			
発生材処分費	ｶﾞﾗｽくず	0.1	m3			
発生材処分費	陶磁器くず	1.1	m3			
発生材処分費	安定型混合廃棄物	5.3	m3			
発生材処分費	金属くず	5.2	m3			
発生材処分費	ｱｽﾍﾞｽﾄ含有建材(ﾚﾍﾞﾙ3相当)	0.5	m3			
計						

建築工事（その２）		直接仮設				
名　　称	摘　　要	数　量	単位	単　価	金　　額	備　　考
墨出し		1	式			別紙 00-0013
墨出し(外部改修)	軒天改修	26.3	㎡			
墨出し(内部改修)	個別改修	267	㎡			
墨出し(内部改修)	複合改修	6.1	㎡			
計						
養生		1	式			別紙 00-0014
養生(外部改修)	軒天改修	26.3	㎡			
養生(内部改修)	個別改修	438	㎡			
養生(内部改修)	複合改修	22	㎡			
養生(内部改修)	搬出入路部分	572	㎡			
計						
整理清掃後片付け		1	式			別紙 00-0015
整理清掃後片付け(外部改修)	軒天改修	26.3	㎡			
整理清掃後片付け(内部改修)	個別改修	438	㎡			
整理清掃後片付け(内部改修)	複合改修	22	㎡			
整理清掃後片付け(内部改修)	搬出入路部分	572	㎡			
計						

建築工事（その２）		直接仮設				
名　　称	摘　　要	数　量	単位	単　価	金　　額	備　　考
内部足場		1	式			別紙 00-0016
内部仕上足場 (改修)	階高4.0m以下 脚立足場　一般 仮設材運搬費共	254	㎡			
計						
仮設間仕切り		1	式			別紙 00-0017
仮設間仕切り下地	B種 LGS下地石膏ﾎﾞｰﾄﾞ t=9.5(片面) 仮設材運搬費共	39.8	㎡			
仮設間仕切り用 木製片開き戸	W800×H1800 仮設材運搬費共	2	か所			
計						

建築工事（その２）	内外装改修			改修		
名　称	摘　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
軽量鉄骨壁 天端補強	65形	1	式			別紙 00-0018
軽量鉄骨壁 天端補強	65形	14.2	m			
計						
軽量鉄骨天井 開口部補強	19形(屋内)	1	式			別紙 00-0019
軽量鉄骨天井 開口部補強	19形(屋内)　450×　450㎜程度 ﾎﾞｰﾄﾞ等切込み共	50	か所			
計						
衛生器機取付下地 補強		1	式			別紙 00-0020
化粧鏡取付 下地補強	合板t=12　　480×610	1	か所			
洗面器取付 下地補強	合板t=36　　600×300	11	か所			
洗面器取付 下地補強	合板t=36　　1000×400	1	か所			
計						

建築工事（その２）	発生材処理			積込・運搬・処分		
名　称	摘　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
発生材積込		1	式			別紙 00-0021
発生材積込み	ｺﾝｸﾘｰﾄ類　人力	3	m3			
発生材積込み	木材類 人力	0.03	m3			
発生材積込み	木材類以外 人力	21.7	m3			
計						
発生材運搬		1	式			別紙 00-0022
撤去材運搬	ﾀﾞﾝﾌﾟﾄﾗｯｸ　4t積級 ﾊﾞｯｸﾎｳ0.28m3 無筋ｺﾝｸﾘｰﾄ類 DID区間有り 27.0km以下	3	m3			
撤去材運搬	ﾀﾞﾝﾌﾟﾄﾗｯｸ　4t積級 ﾊﾞｯｸﾎｳ0.28m3 木材類 DID区間有り 27.0km以下	0.03	m3			
撤去材運搬	ﾀﾞﾝﾌﾟﾄﾗｯｸ　4t積級 ﾊﾞｯｸﾎｳ0.28m3 石こうﾎﾞｰﾄﾞ類 DID区間有り 27.0km以下	2.5	m3			
撤去材運搬	ﾀﾞﾝﾌﾟﾄﾗｯｸ　4t積級 ﾊﾞｯｸﾎｳ0.28m3 廃ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ類 DID区間有り 27.0km以下	0.2	m3			
撤去材運搬	ﾀﾞﾝﾌﾟﾄﾗｯｸ　4t積級 ﾊﾞｯｸﾎｳ0.28m3 ｶﾞﾗｽ類 DID区間有り 27.0km以下	0.1	m3			
撤去材運搬	ﾀﾞﾝﾌﾟﾄﾗｯｸ　4t積級 ﾊﾞｯｸﾎｳ0.28m3 混合廃棄物 DID区間有り 27.0km以下	10.5	m3			
撤去材運搬	ﾀﾞﾝﾌﾟﾄﾗｯｸ　4t積級 ﾊﾞｯｸﾎｳ0.28m3 金属くず DID区間有り 27.0km以下	8.4	m3			
計						

建築工事（その２）	発生材処理			積込・運搬・処分		
名　称	摘　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
発生材処分		1	式			別紙 00-0023
建設廃材処分費	無筋ｺﾝｸﾘｰﾄ廃材　処分地区：東葛	7.1	t			
発生材処分費	木材類	1	m3			
発生材処分費	廃石こうﾎﾞｰﾄﾞ類	2.5	m3			
発生材処分費	廃ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ	1	m3			
発生材処分費	ｶﾞﾗｽ	1	m3			
発生材処分費	混合廃棄物	10.5	m3			
発生材処分費	金属くず	8.4	m3			
計						

看護専門学校	電灯設備			電灯分岐		
名　称	摘　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
配線器具		1	式			別紙 00-0024
ｾﾝｻｰｽｲｯﾁ	親機　8A　広角	5	個			
ｾﾝｻｰｽｲｯﾁ	子機　換気扇連動	5	個			
操作ﾕﾆｯﾄ	2回路用	5	個			
ﾌﾗｯｼｭﾌﾟﾚｰﾄ（金属製）	角型 ﾌﾞﾗﾝｸ	8	個			
ﾌﾗｯｼｭﾌﾟﾚｰﾄ（金属製）	2個用　角型 ﾌﾞﾗﾝｸ	5	個			
計						
ケーブル		1	式			別紙 00-0025
600Vﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝ絶縁耐燃性ﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝｼｰｽｹｰﾌﾞﾙ平形 EM-EEF	1.6mm- 2C ﾋﾟｯﾄ・天井	19	m			
600Vﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝ絶縁耐燃性ﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝｼｰｽｹｰﾌﾞﾙ平形 EM-EEF	1.6mm- 3C 管内	13	m			
600Vﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝ絶縁耐燃性ﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝｼｰｽｹｰﾌﾞﾙ平形 EM-EEF	1.6mm- 3C ﾋﾟｯﾄ・天井	90	m			
計						
金属線ぴ		1	式			別紙 00-0026
1種金属線ぴ(MM1)	B型(40.4mm)	6	m			
1種金属線ぴ(MM1)附属品	B型(40.4mm) ｺｰﾅｰﾎﾞｯｸｽ	5	個			
1種金属線ぴ(MM1)附属品	B型(40.4mm) 1個用ｽｲｯﾁﾎﾞｯｸｽ	5	個			
1種金属線ぴ(MM1)附属品(材料費)	B型(40.4mm) ﾌﾞｯｼﾝｸﾞ	10	個			
計						

看護専門学校		電灯設備			電灯分岐	
名　称	摘　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
ボックス類		1	式			別紙 00-0027
合成樹脂製 ｱｳﾄﾚｯﾄﾎﾞｯｸｽ(ｶﾊﾞｰ付)	中四角 浅型　D44	10	個			
計						
取外し再取付け		1	式			別紙 00-0028
LED照明器具 取外し	ﾍﾞｰｽﾗｲﾄ　再取付する A402	1	個			
LED照明器具 取外し	ﾍﾞｰｽﾗｲﾄ　再取付する E402	1	個			
LED照明器具 取外し	ﾀﾞｳﾝﾗｲﾄ　再取付する	3	個			
ｻｲｸﾙﾌｧﾝ 取外し	再使用する	1	個			
分電盤扉 取外し	L-2B　再使用する	1	面			
計						

看護専門学校		電灯設備			電灯分岐	
名　　称	摘　　要	数　量	単位	単　価	金　　額	備　　考
撤去		1	式			別紙 00-0029
蛍光灯器具 撤去	露出形　　FL 10W　×1 再使用しない	11	個			
蛍光灯器具 撤去	露出形　　FL 20W　×1 再使用しない	19	個			
蛍光灯器具 撤去	埋込形　　FL 20W　×1 再使用しない	5	個			
蛍光灯器具 撤去	露出形　　FL 20W　×2 再使用しない	7	個			
蛍光灯器具 撤去	埋込形　　FL 20W　×2 再使用しない	8	個			
蛍光灯器具 撤去	露出形　　FL 40W　×1 再使用しない	8	個			
蛍光灯器具 撤去	埋込形　　FL 40W　×1 再使用しない	84	個			
蛍光灯器具 撤去	埋込形　　FL 40W　×2 再使用しない	118	個			
蛍光灯器具 撤去	つり下げ形 FL 40W　×2 再使用しない	2	個			
蛍光灯器具 撤去	埋込形　　FL 40W　×4 再使用しない	4	個			
蛍光灯器具 撤去	埋込形　　FL 40W　×6 再使用しない	2	個			
白熱灯器具 撤去	ﾌﾞﾗｹｯﾄﾗｲﾄ　　再使用しない	1	個			
白熱灯器具 撤去	ｼｰﾘﾝｸﾞﾗｲﾄ　　再使用しない	4	個			
白熱灯器具 撤去	埋込灯　　再使用しない	1	個			
ｽｲｯﾁ 撤去	1P 15A x 3 + PL 再使用しない	5	個			
600V絶縁電線 撤去	1.6mm　× 1本 再使用しない	3	m			
600V絶縁電線 撤去	2.0mm　× 1本 再使用しない	151	m			
ねじなし電線管 撤去	（E19）再使用しない	23	m			
ねじなし電線管 撤去	（E25）再使用しない	10	m			

看護専門学校		電灯設備			電灯分岐	
名　　称	摘　　要	数　量	単位	単　価	金　　額	備　　考
撤去		1	式			別紙 00-0029
位置ﾎﾞｯｸｽ　撤去	再使用しない	10	個			
計						

看護専門学校	電灯設備			コンセント分岐		
名　　称	摘　　要	数　量	単位	単　価	金　　額	備　　考
配線器具		1	式			別紙 00-0030
ｺﾝｾﾝﾄ (金属ﾌﾟﾚｰﾄ付)	連用形2P15A×1 (接地極 接地端子付 一体形) 125V	22	個			
ｺﾝｾﾝﾄ (金属ﾌﾟﾚｰﾄ付)	連用形2P15A×2 - 125V	2	個			
ｺﾝｾﾝﾄ (金属ﾌﾟﾚｰﾄ付)	連用形2P15A×2 (接地極×2 接地端子×1付 一体形) 125V	6	個			
ｺﾝｾﾝﾄ (金属ﾌﾟﾚｰﾄ付)	連用形2P15A×1 (抜止め) 125V	2	個			
ｽｲｯﾁ･ｺﾝｾﾝﾄ (金属ﾌﾟﾚｰﾄ付)	1P 15A x 1 + PL + 2P 15A x 1	1	個			
ﾌﾗｯｼｭﾌﾟﾚｰﾄ (金属製)	角型 ﾌﾞﾗﾝｸ	2	個			
計						
ケーブル		1	式			別紙 00-0031
600Vﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝ絶縁 耐燃性ﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝｼｰｽ ｹｰﾌﾞﾙ平形 EM-EEF	1.6mm- 2C 管内	2	m			
600Vﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝ絶縁 耐燃性ﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝｼｰｽ ｹｰﾌﾞﾙ平形 EM-EEF	1.6mm- 2C FEP内(PF･CD)	3	m			
600Vﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝ絶縁 耐燃性ﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝｼｰｽ ｹｰﾌﾞﾙ平形 EM-EEF	1.6mm- 3C 管内	10	m			
600Vﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝ絶縁 耐燃性ﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝｼｰｽ ｹｰﾌﾞﾙ平形 EM-EEF	1.6mm- 3C ﾋﾟｯﾄ・天井	9	m			
600Vﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝ絶縁 耐燃性ﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝｼｰｽ ｹｰﾌﾞﾙ平形 EM-EEF	1.6mm- 3C FEP内(PF･CD)	12	m			
600Vﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝ絶縁 耐燃性ﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝｼｰｽ ｹｰﾌﾞﾙ平形 EM-EEF	2.0mm- 2C 管内	7	m			
600Vﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝ絶縁 耐燃性ﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝｼｰｽ ｹｰﾌﾞﾙ平形 EM-EEF	2.0mm- 3C 管内	158	m			
600Vﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝ絶縁 耐燃性ﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝｼｰｽ ｹｰﾌﾞﾙ平形 EM-EEF	2.0mm- 3C ﾋﾟｯﾄ・天井	125	m			
600Vﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝ絶縁 耐燃性ﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝｼｰｽ ｹｰﾌﾞﾙ平形 EM-EEF	2.6mm- 3C ﾋﾟｯﾄ・天井	139	m			
計						

看護専門学校		電灯設備			コンセント分岐	
名　称	摘　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
電線管		1	式			別紙 00-0032
合成樹脂製可とう電線管（PF単層）	隠ぺい・埋込配管 16mm	15	m			
計						
金属線ぴ		1	式			別紙 00-0033
1種金属線ぴ(MM1)	A型(25.4mm)	36	m			
1種金属線ぴ(MM1)	B型(40.4mm)	18	m			
1種金属線ぴ(MM1)	C型(60.0mm)	18	m			
1種金属線ぴ(MM1)附属品	A型(25.4mm) ｺｰﾅｰﾎﾞｯｸｽ	17	個			
1種金属線ぴ(MM1)附属品	A型(25.4mm) ｼﾞｬﾝｸｼｮﾝﾎﾞｯｸｽ	4	個			
1種金属線ぴ(MM1)附属品	A型(25.4mm) 1個用ｽｲｯﾁﾎﾞｯｸｽ	13	個			
1種金属線ぴ(MM1)附属品	B型(40.4mm) ｺｰﾅｰﾎﾞｯｸｽ	8	個			
1種金属線ぴ(MM1)附属品	B型(40.4mm) ｼﾞｬﾝｸｼｮﾝﾎﾞｯｸｽ	7	個			
1種金属線ぴ(MM1)附属品	B型(40.4mm) 1個用ｽｲｯﾁﾎﾞｯｸｽ	3	個			
1種金属線ぴ(MM1)附属品	C型(60.0mm) ｺｰﾅｰﾎﾞｯｸｽ	8	個			
1種金属線ぴ(MM1)附属品	C型(60.0mm) ｼﾞｬﾝｸｼｮﾝﾎﾞｯｸｽ	6	個			
1種金属線ぴ(MM1)附属品(材料費)	A型(25.4mm) ﾌﾞｯｼﾝｸﾞ	24	個			
1種金属線ぴ(MM1)附属品(材料費)	B型(40.4mm) ﾌﾞｯｼﾝｸﾞ	18	個			
1種金属線ぴ(MM1)附属品(材料費)	C型(60.0mm) ﾌﾞｯｼﾝｸﾞ	14	個			
計						

看護専門学校		電灯設備			コンセント分岐	
名　称	摘　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
ボックス類		1	式			別紙 00-0034
合成樹脂製 ｱｳﾄﾚｯﾄﾎﾞｯｸｽ(ｶﾊﾞｰ付)	中四角 浅型　D44	16	個			
ﾌﾟﾙﾎﾞｯｸｽSS形	200 x 200 x 150	2	個			
ﾌﾟﾙﾎﾞｯｸｽ用 接地端子(ET)		2	個			
計						
防火区画 貫通処理等		1	式			別紙 00-0035
丸形貫通処理 (壁・床共用)	φ100	3	か所			
計						
はつり工事		1	式			別紙 00-0036

看護専門学校	電灯設備	コンセント分岐				
名　称	摘　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
撤去		1	式			別紙 00-0037
ｺﾝｾﾝﾄ 撤去	2P 15A x 2　再使用しない	2	個			
ｺﾝｾﾝﾄ 撤去	2P 15A x 1　抜止型 再使用しない	2	個			
ｽｲｯﾁ･ｺﾝｾﾝﾄ 撤去	1P 15A x 1 + PL + 2P 15A x 1 再使用しない	1	個			
ﾌﾞﾗﾝｸﾌﾟﾚｰﾄ 撤去	再使用しない	2	個			
600V絶縁電線 撤去	2.0mm　× 1本 再使用しない	252	m			
600V絶縁ｹｰﾌﾞﾙ 撤去	1.6mm- 2C 管内 再使用しない	4	m			
ねじなし電線管 撤去	（E19）再使用しない	7	m			
ねじなし電線管 撤去	（E25）再使用しない	3	m			
位置ﾎﾞｯｸｽ　撤去	再使用しない	10	個			
計						

看護専門学校		動力設備			動力幹線	
名　称	摘　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
ケーブル		1	式			別紙 00-0038
EM-CETｹｰﾌﾞﾙ	14mm2 管内	1	m			
EM-CETｹｰﾌﾞﾙ	14mm2 ﾋﾟｯﾄ・天井	57	m			
計						
電線管		1	式			別紙 00-0039
ねじなし電線管(E)	露出配管　39mm	1	m			
計						
ボックス類		1	式			別紙 00-0040
ﾌﾟﾙﾎﾞｯｸｽSS形	200 x 200 x 150	1	個			
ﾌﾟﾙﾎﾞｯｸｽ用接地端子(ET)		1	個			
計						
はつり工事		1	式			別紙 00-0041

看護専門学校		動力設備			動力幹線	
名　称	摘　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
撤去		1	式			別紙 00-0042
600V絶縁電線 撤去	5.5mm2 × 1本 再使用しない	162	m			
計						

看護専門学校	動力設備	動力分岐				
名　称	摘　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
電動機等接続		1	式			別紙 00-0043
電線		1	式			別紙 00-0044
600V耐燃性ﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝ絶縁電線(EM-IE)	5.5mm2	4	m			
計						
ケーブル		1	式			別紙 00-0045
EM-CEｹｰﾌﾞﾙ	8mm2- 3C 管内	4	m			
EM-CEEｹｰﾌﾞﾙ	2mm2- 4C 管内	6	m			
EM-CEEｹｰﾌﾞﾙ	2mm2- 5C 管内	21	m			
EM-CEEｹｰﾌﾞﾙ	2mm2- 10C 管内	4	m			
計						
電線管		1	式			別紙 00-0046
厚鋼電線管(G)	露出配管　22mm	6	m			
厚鋼電線管(G)	露出配管　28mm	15	m			
厚鋼電線管(G)	露出配管　36mm	9	m			
計						

看護専門学校		動力設備			動力分岐	
名　称	摘　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
ボックス類		1	式			別紙 00-0047
ﾌﾟﾙﾎﾞｯｸｽSS形	150 x 150 x 100	2	個			
ﾌﾟﾙﾎﾞｯｸｽSS形	200 x 200 x 200	1	個			
ﾌﾟﾙﾎﾞｯｸｽ用 接地端子(ET)		3	個			
計						
支持材		1	式			別紙 00-0048
はつり工事		1	式			別紙 00-0049

看護専門学校	動力設備	動力分岐				
名　称	摘　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
撤去		1	式			別紙 00-0050
600V絶縁電線 撤去	1.6mm　× 1本 再使用しない	75	m			
600V絶縁電線 撤去	2.0mm　× 1本 再使用しない	27	m			
ｹｰﾌﾞﾙ 撤去	CVV 2mm2 - 4C　管内 再使用しない	7	m			
厚鋼電線管 撤去	（G22）　再使用しない	32	m			
ﾌﾟﾙﾎﾞｯｸｽ 撤去	150 x 150 x 100 再使用しない	1	個			
計						

看護専門学校		受変電設備				
名　称	摘　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
立会検査		1	式			別紙 00-0051

看護専門学校		構内交換設備				
名　称	摘　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
撤去		1	式			別紙 00-0052
ﾌﾗｯｼｭﾌﾟﾚｰﾄ 撤去	角型 ﾊﾄﾒ　再使用しない	1	個			
計						

看護専門学校		拡声設備				
名　称	摘　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
ケーブル		1	式			別紙 00-0053
EM-AEｹｰﾌﾞﾙ	1.2 mm-　3C 管内	3	m			
EM-AEｹｰﾌﾞﾙ	1.2 mm-　3C FEP内(PF･CD)	3	m			
計						
電線管		1	式			別紙 00-0054
合成樹脂製可とう電線管（PF単層）	隠ぺい・埋込配管 16mm	3	m			
計						
ボックス類		1	式			別紙 00-0055
合成樹脂製 ｱｳﾄﾚｯﾄﾎﾞｯｸｽ(ｶﾊﾞｰ付)	中四角 浅型　　D44	1	個			
計						
撤去		1	式			別紙 00-0056
天井埋込ｽﾋﾟｰｶ 撤去	3W　再使用しない	1	個			
ｱｯﾃﾈｰﾀ 撤去	3W　再使用しない	1	個			
ｹｰﾌﾞﾙ 撤去	AE 1.2 - 3C　管内 再使用しない	6	m			
ねじなし電線管 撤去	（E19）再使用しない	3	m			
位置ﾎﾞｯｸｽ　撤去	再使用しない	1	個			
計						

看護専門学校		テレビ共同受信設備				
名　称	摘　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
テレビ端子		1	式			別紙 00-0057
ﾃﾚﾋﾞ端子 (金属ﾌﾟﾚｰﾄ)	SH-　7F	1	個			
ﾃﾚﾋﾞ端子 (金属ﾌﾟﾚｰﾄ)	SH-　7FS	1	個			
計						
撤去		1	式			別紙 00-0058
直列ﾕﾆｯﾄ撤去	中間 再使用しない	1	個			
直列ﾕﾆｯﾄ撤去	端末 再使用しない	1	個			
計						

看護専門学校		防犯・入退室管理設備		防犯		
名　称	摘　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
取外し再取付け		1	式			別紙 00-0059
ﾊﾟｯｼﾌﾞｾﾝｻｰ 取り外し	再使用する	1	式			
計						

看護専門学校		火災報知設備			自動火災報知	
名　称	摘　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
ボックス類		1	式			別紙 00-0060
金属製 ｱｳﾄﾚｯﾄﾎﾞｯｸｽ(ｶﾊﾞｰ付)	中四角 浅型 D44	1	個			
計						
撤去		1	式			別紙 00-0061
ｽﾎﾟｯﾄ感知器 撤去	差動式 2種　露出 再使用しない	4	個			
ｽﾎﾟｯﾄ感知器 撤去	定温式 1種　防水 再使用しない	1	個			
ｽﾎﾟｯﾄ形感知器 撤去	定温式 特種 露出 再使用しない	2	個			
計						

看護専門学校		火災報知設備			ガス漏れ火災警報	
名　称	摘　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
取外し再取付		1	式			別紙 00-0062
ｶﾞｽ漏れ中継器 取外し再取付	再使用する	3	個			
ｶﾞｽ漏れ検知器 取外し再取付	再使用する	3	個			
計						

看護専門学校		発生材処理				
名　称	摘　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
発生材運搬		1	式			別紙 00-0063
2t・3tダンプトラック	～25km程度	5	台・回			
2t・3tダンプトラック	～75km程度	1	台・回			
計						
発生材処分		1	式			別紙 00-0064
安定型混合廃棄物	廃ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ類、ｺﾞﾑくず、金属くず、ｶﾞﾗｽくず・ｺﾝｸﾘｰﾄくず及び陶磁器くず、がれき類（法定20種中5種類）	0.8	m3			
金属くず		3	m3			
蛍光管処分費		16	kg			
水銀使用製品産業廃棄物		1	kg			
石綿含有産業廃棄物(安定型)		0.5	m3			
計						

機械設備工事（その１_校舎）	換気設備			換気設備		
名　　称	摘　　要	数　量	単位	単　価	金　　額	備　　考
機器固定用アンカー		1	式			別紙 00-0065

機械設備工事（その１_校舎）	換気設備			ダクト設備		
名　　称	摘　　要	数　量	単位	単　価	金　　額	備　　考
保温工事		1	式			別紙 00-0066
ｽﾊﾟｲﾗﾙﾀﾞｸﾄ保温 (32K)	ｸﾞﾗｽｳｰﾙ　屋内隠ぺい,ﾀﾞｸﾄｼｬﾌﾄ内 ｱﾙﾐｶﾞﾗｽｸﾛｽ　150㎜ 保温厚25	5	m			
計						
あと施工アンカー		1	式			別紙 00-0067
外部足場		1	式			別紙 00-0068
枠組本足場 (手すり先行方式)	建枠 900×1700　布枠500+240 22m未満　6ヶ月未満 一部2期兼用 仮設材運搬費共	233	㎡			
安全手すり (手すり先行方式)	枠組本足場用 6ヶ月未満 一部2期兼用 仮設材運搬費共	21.6	m			
計						
災害防止		1	式			別紙 00-0069
養生ｼｰﾄ張り	防炎性能 JIS A 8952 Ⅰ類 6ヶ月未満 仮設材運搬費共	233	㎡			
計						

機械設備工事（その１_校舎）	換気設備			総合調整		
名　　称	摘　　要	数　量	単位	単　価	金　　額	備　　考
総合調整費		1	式			別紙 00-0070

機械設備工事（その１_校舎）	給水設備			給水設備		
名　称	摘　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
保温工事		1	式			別紙 00-0071
給水管 保温	ﾎﾟﾘｽﾁﾚﾝ 屋外露出, 浴室 ｽﾃﾝﾚｽ鋼板 100A	48	m			
給水管 保温	ｸﾞﾗｽｳｰﾙ 機械室, 書庫, 倉庫 ｱﾙﾐｶﾞﾗｽ化粧原紙 100A	6	m			
給水管 保温	ﾎﾟﾘｽﾁﾚﾝ 屋外露出, 浴室 ｽﾃﾝﾚｽ鋼板 80A	1	m			
給水管 保温	ｸﾞﾗｽｳｰﾙ 天井内, ﾊﾟｲﾌﾟｼｬﾌﾄ内 ｱﾙﾐｶﾞﾗｽ化粧筒 80A	2	m			
給水管 保温	ｸﾞﾗｽｳｰﾙ 屋内露出 合成樹脂製ｶﾊﾞｰ1 80A	5	m			
給水管 保温	ｸﾞﾗｽｳｰﾙ 天井内, ﾊﾟｲﾌﾟｼｬﾌﾄ内 ｱﾙﾐｶﾞﾗｽｸﾛｽ 80A	10	m			
給水管 保温	ﾎﾟﾘｽﾁﾚﾝ 屋外露出, 浴室 ｽﾃﾝﾚｽ鋼板 65A	11	m			
給水管 保温	ｸﾞﾗｽｳｰﾙ 天井内, ﾊﾟｲﾌﾟｼｬﾌﾄ内 ｱﾙﾐｶﾞﾗｽ化粧筒 65A	6	m			
給水管 保温	ｸﾞﾗｽｳｰﾙ 屋内露出 合成樹脂製ｶﾊﾞｰ1 50A	10	m			
給水管 保温	ｸﾞﾗｽｳｰﾙ 天井内, ﾊﾟｲﾌﾟｼｬﾌﾄ内 ｱﾙﾐｶﾞﾗｽ化粧筒 50A	18	m			
給水管 保温	ｸﾞﾗｽｳｰﾙ 機械室, 書庫, 倉庫 ｱﾙﾐｶﾞﾗｽｸﾛｽ 50A	14	m			
給水管 保温	ﾎﾟﾘｽﾁﾚﾝ 屋外露出, 浴室 ｽﾃﾝﾚｽ鋼板 50A	1	m			
給水管 保温	ﾎﾟﾘｽﾁﾚﾝ 屋外露出, 浴室 ｽﾃﾝﾚｽ鋼板 40A	1	m			
給水管 保温	ｸﾞﾗｽｳｰﾙ 天井内, ﾊﾟｲﾌﾟｼｬﾌﾄ内 ｱﾙﾐｶﾞﾗｽ化粧筒 40A	7	m			
給水管 保温	ｸﾞﾗｽｳｰﾙ 屋内露出 合成樹脂製ｶﾊﾞｰ1 40A	10	m			
給水管 保温	ｸﾞﾗｽｳｰﾙ 天井内, ﾊﾟｲﾌﾟｼｬﾌﾄ内 ｱﾙﾐｶﾞﾗｽｸﾛｽ 32A	4	m			
給水管 保温	ﾎﾟﾘｽﾁﾚﾝ 屋外露出, 浴室 ｽﾃﾝﾚｽ鋼板 25A	17	m			
給水管 保温	ｸﾞﾗｽｳｰﾙ 機械室, 書庫, 倉庫 ｱﾙﾐｶﾞﾗｽ化粧原紙 25A	12	m			
給水管 保温	ｸﾞﾗｽｳｰﾙ 天井内, ﾊﾟｲﾌﾟｼｬﾌﾄ内 ｱﾙﾐｶﾞﾗｽ化粧筒 25A	22	m			

機械設備工事（その１_校舎）	給水設備			給水設備		
名　　称	摘　　要	数　量	単位	単　価	金　　額	備　　考
保温工事		1	式			別紙 00-0071
給水管 保温	ﾎﾟﾘｽﾁﾚﾝ 屋外露出,浴室 ｽﾃﾝﾚｽ鋼板 20A	53	m			
給水管 保温	ｸﾞﾗｽｳｰﾙ 屋内露出 合成樹脂製ｶﾊﾞｰ1 20A	59	m			
給水管 保温	ｸﾞﾗｽｳｰﾙ 天井内,ﾊﾟｲﾌﾟｼｬﾌﾄ内 ｱﾙﾐｶﾞﾗｽ化粧筒 20A	16	m			
給水管 保温	ｸﾞﾗｽｳｰﾙ 屋外露出,浴室 ｽﾃﾝﾚｽ鋼板 20A	4	m			
給水管 保温	ｸﾞﾗｽｳｰﾙ 天井内,ﾊﾟｲﾌﾟｼｬﾌﾄ内 ｱﾙﾐｶﾞﾗｽ化粧筒 20A	40	m			
給水管 保温	ｸﾞﾗｽｳｰﾙ 屋内露出 合成樹脂製ｶﾊﾞｰ1 20A	1	m			
給水管 保温	ｸﾞﾗｽｳｰﾙ 機械室,書庫,倉庫 ｱﾙﾐｶﾞﾗｽ化粧原紙 20A	13	m			
給水用弁類 保温	ﾎﾟﾘｽﾁﾚﾝ 屋外露出 ｽﾃﾝﾚｽ鋼板 65A	2	個			
給水用弁類 保温	ﾎﾟﾘｽﾁﾚﾝ 天井内,ﾊﾟｲﾌﾟｼｬﾌﾄ内 ｱﾙﾐｶﾞﾗｽｸﾛｽ 65A	1	個			
計						
文字標識等		1	式			別紙 00-0072
搬入・据付費		1	式			別紙 00-0073

機械設備工事（その１_校舎）	給水設備			給水設備		
名　　称	摘　　要	数　量	単位	単　価	金　　額	備　　考
架台類		1	式			別紙 00-0074
形鋼振れ止め支持		1	式			別紙 00-0075
あと施工アンカー		1	式			別紙 00-0076
機器固定用ｱﾝｶｰ		1	式			別紙 00-0077

機械設備工事（その１_校舎）	給水設備			給水設備		
名　　称	摘　　要	数　量	単位	単　価	金　　額	備　　考
はつり補修		1	式			別紙 00-0078

機械設備工事（その１_校舎）	給水設備			仮設工事		
名　称	摘　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
はつり補修		1	式			別紙 00-0079
配管分岐・閉塞		1	式			別紙 00-0080
直接仮設		1	式			別紙 00-0081
枠組本足場 （手すり先行方式）	建枠W900×H1700 仮設材運搬共	36.7	㎡			
安全手すり （手すり先行方式）	枠組本足場用 仮設材運搬共	12.6	m			
ﾈｯﾄ状養生ｼｰﾄ張り	防炎Ｉ類 仮設材運搬共	42.8	㎡			
小幅ﾈｯﾄ張り	防炎ﾎﾟﾘｴｽﾃﾙ 仮設材運搬共	10.8	m			
ｶﾞｰﾄﾞﾌｪﾝｽ	H=1.8m 柱脚固定具共	12.6	m			
計						

機械設備工事（その１_校舎）	給水設備			総合調整		
名　　称	摘　　要	数　量	単位	単　価	金　　額	備　　考
総合調整費		1	式			別紙 00-0082

機械設備工事（その１_校舎）	排水設備			排水設備		
名　　称	摘　　要	数　量	単位	単　価	金　　額	備　　考
塗装工事		1	式			別紙 00-0083
配管塗装	硬質塩化ﾋﾞﾆﾙ管　50A	5	m			
配管塗装	硬質塩化ﾋﾞﾆﾙ管　40A	1	m			
配管塗装	硬質塩化ﾋﾞﾆﾙ管　25A	1	m			
計						
形鋼振れ止め支持		1	式			別紙 00-0084
あと施工アンカー		1	式			別紙 00-0085

機械設備工事（その１_校舎）	排水設備			排水設備		
名　　称	摘　　要	数　量	単位	単　価	金　　額	備　　考
はつり補修		1	式			別紙 00-0086

機械設備工事（その１_校舎）	排水設備			仮設工事		
名　称	摘　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
はつり補修		1	式			別紙 00-0087

機械設備工事（その１_校舎）　給湯設備

名　称	摘　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
保温工事		1	式			別紙 00-0088
給湯管 保温	ｸﾞﾗｽｳｰﾙ 屋外露出，浴室 ｽﾃﾝﾚｽ鋼板 20A	1	m			
計						
あと施工アンカー		1	式			別紙 00-0089

機械設備工事（その１_校舎）	消火設備			屋内消火栓設備		
名　　称	摘　　要	数　量	単位	単　価	金　　額	備　　考
保温工事		1	式			別紙 00-0090
給水管 保温	ﾎﾟﾘｽﾁﾚﾝ 屋外露出，浴室 ｽﾃﾝﾚｽ鋼板 50A	2	m			
計						

機械設備工事（その１_校舎）	撤去工事				撤去工事	
名　　称	摘　　要	数　量	単位	単　価	金　　額	備　　考
機器類撤去		1	式			別紙 00-0091

機械設備工事（その１_校舎）	撤去工事			撤去工事		
名　　称	摘　　要	数　量	単位	単　価	金　　額	備　　考
機器類撤去		1	式			別紙 00-0091

機械設備工事（その１_校舎）	撤去工事			撤去工事		
名　称	摘　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
配管類撤去		1	式			別紙 00-0092
（給水設備）						
給水管撤去	機械室･便所配管　SGP-VB100A	1	m			
給水管撤去	屋内一般配管　SGP-VB100A	4	m			
給水管撤去	屋外配管　SGP-VB100A	18	m			
給水管撤去	機械室･便所配管　SGP-VB80A	1	m			
給水管撤去	機械室･便所配管　SGP-VB65A	4	m			
給水管撤去	屋外配管　SGP-VB50A	19	m			
給水管撤去	屋内一般配管　SGP-VB50A	5	m			
給水管撤去	機械室･便所配管　SGP-VB50A	35	m			
給水管撤去	機械室･便所配管　SGP-VB40A	10	m			
給水管撤去	機械室･便所配管　SGP-VB32A	6	m			
給水管撤去	屋外配管　SGP-VB25A	6	m			
給水管撤去	機械室･便所配管　SGP-VB25A	37	m			
給水管撤去	機械室･便所配管　SGP-VB20A	46	m			
給水管撤去	屋内一般配管　SGP-VB20A	2	m			
給水管撤去	屋外配管　SGP-VB20A	2	m			
給水管撤去	機械室･便所配管　ﾌﾞﾚｲﾄﾞﾎｰｽ	5	m			
給水管 保温撤去	ｸﾞﾗｽｳｰﾙ 天井内,ﾊﾟｲﾌﾟｼｬﾌﾄ内 ｱﾙﾐｶﾞﾗｽ化粧筒 100A 再使用しない	4	m			
給水管 保温撤去	ﾎﾟﾘｽﾁﾚﾝ 屋外露出,浴室 ｽﾃﾝﾚｽ鋼板 100A 再使用しない	18	m			

機械設備工事（その１_校舎）	撤去工事				撤去工事	
名　　称	摘　　要	数　量	単位	単　価	金　　額	備　　考
配管類撤去		1	式			別紙 00-0092
給水管 保温撤去	ｸﾞﾗｽｳｰﾙ 天井内,ﾊﾟｲﾌﾟｼｬﾌﾄ内 ｱﾙﾐｶﾞﾗｽ化粧筒 80A 再使用しない	1	m			
給水管 保温撤去	ｸﾞﾗｽｳｰﾙ 天井内,ﾊﾟｲﾌﾟｼｬﾌﾄ内 ｱﾙﾐｶﾞﾗｽ化粧筒 65A 再使用しない	4	m			
給水管 保温撤去	ﾎﾟﾘｽﾁﾚﾝ 屋外露出,浴室 ｽﾃﾝﾚｽ鋼板 50A 再使用しない	19	m			
給水管 保温撤去	ｸﾞﾗｽｳｰﾙ 天井内,ﾊﾟｲﾌﾟｼｬﾌﾄ内 ｱﾙﾐｶﾞﾗｽ化粧筒 50A 再使用しない	29	m			
給水管 保温撤去	ｸﾞﾗｽｳｰﾙ 機械室,書庫,倉庫 ｱﾙﾐｶﾞﾗｽｸﾛｽ 50A 再使用しない	11	m			
給水管 保温撤去	ｸﾞﾗｽｳｰﾙ 天井内,ﾊﾟｲﾌﾟｼｬﾌﾄ内 ｱﾙﾐｶﾞﾗｽ化粧筒 40A 再使用しない	3	m			
給水管 保温撤去	ｸﾞﾗｽｳｰﾙ 機械室,書庫,倉庫 ｱﾙﾐｶﾞﾗｽ化粧原紙 40A 再使用しない	7	m			
給水管 保温撤去	ｸﾞﾗｽｳｰﾙ 天井内,ﾊﾟｲﾌﾟｼｬﾌﾄ内 ｱﾙﾐｶﾞﾗｽ化粧筒 32A 再使用しない	6	m			
給水管 保温撤去	ﾎﾟﾘｽﾁﾚﾝ 屋外露出,浴室 ｽﾃﾝﾚｽ鋼板 25A 再使用しない	6	m			
給水管 保温撤去	ｸﾞﾗｽｳｰﾙ 天井内,ﾊﾟｲﾌﾟｼｬﾌﾄ内 ｱﾙﾐｶﾞﾗｽ化粧筒 25A 再使用しない	26	m			
給水管 保温撤去	ｸﾞﾗｽｳｰﾙ 機械室,書庫,倉庫 ｱﾙﾐｶﾞﾗｽｸﾛｽ 25A 再使用しない	12	m			
給水管 保温撤去	ｸﾞﾗｽｳｰﾙ 機械室,書庫,倉庫 ｱﾙﾐｶﾞﾗｽｸﾛｽ 20A 再使用しない	13	m			
給水管 保温撤去	ｸﾞﾗｽｳｰﾙ 天井内,ﾊﾟｲﾌﾟｼｬﾌﾄ内 ｱﾙﾐｶﾞﾗｽ化粧筒 20A 再使用しない	35	m			
給水管 保温撤去	ﾎﾟﾘｽﾁﾚﾝ 屋外露出,浴室 ｽﾃﾝﾚｽ鋼板 20A 再使用しない	2	m			
仕切弁撤去	10K-100A	2	個			
ﾌﾟﾗｸﾞ止め	ﾗｲﾆﾝｸﾞ鋼管用ねじ込み式管端防食継手　ﾌﾟﾗｸﾞP　15mm	7	個			
ﾌﾚｷｼﾌﾞﾙｼﾞｮｲﾝﾄ撤去	100A	2	個			
配管切断 (鋼管類) ・手間のみ	配管切断　25A 保温無	1	か所			
配管切断 (鋼管類) ・手間のみ	配管切断　20A 保温無	2	か所			

機械設備工事（その１_校舎）	撤去工事			撤去工事		
名　　称	摘　　要	数　量	単位	単　価	金　　額	備　　考
配管類撤去		1	式			別紙 00-0092
量水器撤去	20mm量水器･量水器桝MC-1	1	組			
(排水設備)						
排水管撤去	機械室･便所配管　CIP-100A	42	m			
排水管撤去	屋内一般配管　CIP-100A	8	m			
排水管撤去	機械室･便所配管　CIP-80A	16	m			
排水管撤去	機械室･便所配管　CIP-50A	2	m			
排水管撤去	機械室･便所配管　SGP白-100A	11	m			
排水管撤去	屋内一般配管　SGP白-100A	1	m			
排水管撤去	屋外配管　SGP白-100A	12	m			
排水管撤去	機械室･便所配管　SGP白-80A	10	m			
排水管撤去	機械室･便所配管　SGP白-65A	25	m			
排水管撤去	機械室･便所配管　SGP白-50A	16	m			
排水管撤去	屋外配管　SGP白-50A	3	m			
排水管撤去	機械室･便所配管　SGP白-40A	17	m			
排水管撤去	屋外配管　SGP白-40A	1	m			
排水管撤去	屋外配管　SGP白-25A	1	m			
排水管撤去	機械室･便所配管　VP-40A	3	m			
排水管撤去	屋内一般配管　VP-40A	1	m			
通気管撤去	機械室･便所配管　SGP白-100A	4	m			

機械設備工事（その１_校舎）	撤去工事			撤去工事		
名　　称	摘　　要	数　量	単位	単　価	金　　額	備　　考
配管類撤去		1	式			別紙 00-0092
通気管撤去	機械室･便所配管　SGP白-80A	12	m			
通気管撤去	機械室･便所配管　SGP白-50A	35	m			
通気管撤去	機械室･便所配管　SGP白-40A	3	m			
排水管 保温撤去	ｸﾞﾗｽｳｰﾙ 天井内,ﾊﾟｲﾌﾟｼｬﾌﾄ内 ｱﾙﾐｶﾞﾗｽ化粧筒 100A 再使用しない	50	m			
排水管 保温撤去	ｸﾞﾗｽｳｰﾙ 天井内,ﾊﾟｲﾌﾟｼｬﾌﾄ内 ｱﾙﾐｶﾞﾗｽ化粧筒 80A 再使用しない	16	m			
排水管 保温撤去	ｸﾞﾗｽｳｰﾙ 天井内,ﾊﾟｲﾌﾟｼｬﾌﾄ内 ｱﾙﾐｶﾞﾗｽ化粧筒 50A 再使用しない	2	m			
排水管 保温撤去	ｸﾞﾗｽｳｰﾙ 天井内,ﾊﾟｲﾌﾟｼｬﾌﾄ内 ｱﾙﾐｶﾞﾗｽ化粧筒 100A 再使用しない	11	m			
排水管 保温撤去	ｸﾞﾗｽｳｰﾙ 天井内,ﾊﾟｲﾌﾟｼｬﾌﾄ内 ｱﾙﾐｶﾞﾗｽ化粧筒 80A 再使用しない	10	m			
排水管 保温撤去	ｸﾞﾗｽｳｰﾙ 天井内,ﾊﾟｲﾌﾟｼｬﾌﾄ内 ｱﾙﾐｶﾞﾗｽ化粧筒 65A 再使用しない	25	m			
排水管 保温撤去	ｸﾞﾗｽｳｰﾙ 天井内,ﾊﾟｲﾌﾟｼｬﾌﾄ内 ｱﾙﾐｶﾞﾗｽ化粧筒 50A 再使用しない	16	m			
排水管 保温撤去	ｸﾞﾗｽｳｰﾙ 天井内,ﾊﾟｲﾌﾟｼｬﾌﾄ内 ｱﾙﾐｶﾞﾗｽ化粧筒 40A 再使用しない	17	m			
排水管 保温撤去	ｸﾞﾗｽｳｰﾙ 天井内,ﾊﾟｲﾌﾟｼｬﾌﾄ内 ｱﾙﾐｶﾞﾗｽ化粧筒 50A 再使用しない	1	m			
排水管 保温撤去	ｸﾞﾗｽｳｰﾙ 天井内,ﾊﾟｲﾌﾟｼｬﾌﾄ内 ｱﾙﾐｶﾞﾗｽ化粧筒 40A 再使用しない	1	m			
掃除口撤去	COB-100A	7	個			
掃除口撤去	COB-80A	2	個			
掃除口撤去	COB-65A	4	個			
掃除口撤去	COB-50A	1	個			
床排水ﾄﾗｯﾌﾟ撤去	T5B-50A	5	個			
床排水ﾄﾗｯﾌﾟ撤去	T5B-65A	1	個			

機械設備工事（その１_校舎）	撤去工事			撤去工事		
名　　称	摘　　要	数　量	単位	単　価	金　　額	備　　考
配管類撤去		1	式			別紙 00-0092
仕切弁撤去	5K-50A	2	個			
仕切弁撤去	5K-25A	1	個			
ﾎｯﾊﾟｰ撤去	150x100	2	個			
ﾎｯﾊﾟｰ撤去	100x50	1	個			
通気金物撤去	100A	1	個			
（給湯設備）						
給湯管撤去	屋内一般配管　HTLP-20A	1	m			
給湯管 保温撤去	ｸﾞﾗｽｳｰﾙ 天井内,ﾊﾟｲﾌﾟｼｬﾌﾄ内 ｱﾙﾐｶﾞﾗｽ化粧筒 20A 再使用しない	1	m			
ﾌﾟﾗｸﾞ止め	ﾗｲﾆﾝｸﾞ鋼管用ねじ込み式管端防食継手　ﾌﾟﾗｸﾞP　15㎜	6	個			
（消火設備）						
消火管撤去	屋外配管　SGP白-50A	1	m			
給水管 保温撤去	ﾎﾟﾘｽﾁﾚﾝ 屋外露出,浴室 ｽﾃﾝﾚｽ鋼板 50A 再使用しない	1	m			
（ガス設備）						
ガス管撤去	屋内一般配管　SGP白-20A ※京葉ガス工事範囲外	13	m			
ガスコック撤去	20A	21	個			
給排気ﾄｯﾌﾟ切断撤去		15	個			
ｶﾞｽ管はつり補修		21	か所			
ｶﾞｽ管はつり補修		21	か所			
配管切断 （鋼管類） ・手間のみ	配管切断　20A 保温無	21	か所			

機械設備工事（その１_校舎）	撤去工事				撤去工事	
名　称	摘　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
配管類撤去		1	式			別紙 00-0092
化粧ﾌﾟﾚｰﾄ取付	115φ　ﾎﾟﾘｽﾁﾚﾝ製	15	枚			
（仮設配管）						
仮設給水管撤去	屋外配管　HIVP65A	23	m			
仮設給水管撤去	屋内一般配管　HIVP65A	2	m			
仮設給水管撤去	屋内一般配管　HIVP30A	5	m			
仮設給水管撤去	屋外配管　HIVP30A	25	m			
仮設給水管撤去	屋外配管　HIVP25A	15	m			
仮設給水管撤去	屋外配管　HIVP20A	53	m			
仮設排水管撤去	屋外配管　VP100A	22	m			
仮設排水管撤去	屋外配管　VP75A	3	m			
仮設排水管撤去	屋外配管　VP50A	15	m			
計						

機械設備工事（その１_校舎）	撤去工事			撤去工事		
名　　称	摘　　要	数　量	単位	単　価	金　　額	備　　考
はつり補修		1	式			別紙 00-0093
直接仮設		1	式			別紙 00-0094
枠組本足場 （手すり先行方式）	建枠W900×H1700 仮設材運搬共	55.1	㎡			
安全手すり （手すり先行方式）	枠組本足場用 仮設材運搬共	18	m			
ﾈｯﾄ状養生ｼｰﾄ張り	防炎Ｉ類 仮設材運搬共	61.2	㎡			
小幅ﾈｯﾄ張り	防炎ﾎﾟﾘｴｽﾃﾙ 仮設材運搬共	16.2	m			
ｶﾞｰﾄﾞﾌｪﾝｽ	H=1.8m 柱脚固定具共	18	m			
計						

機械設備工事（その１_校舎）	発生材処分				発生材処分	
名　　称	摘　　要	数　量	単位	単　価	金　　額	備　　考
発生材積込み		1	式			別紙 00-0095
発生材積込み	ｺﾝｸﾘｰﾄ類　　人力	7.8	m3			
発生材積込み	木材類 人力	1.8	m3			
発生材積込み	木材類以外 人力	48.7	m3			
発生材積込み	ｱｽﾍﾞｽﾄ含有材 人力	0.5	m3			
計						
発生材運搬		1	式			別紙 00-0096
4tダンプトラック	～25km程度	7	台・回			
2t・3tダンプトラック	～25km程度	7	台・回			
2t・3tダンプトラック	～75km程度	1	台・回			
計						

機械設備工事（その１_校舎）	発生材処分				発生材処分	
名　称	摘　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
発生材処分		1	式			別紙 00-0097
ｺﾝｸﾘｰﾄ塊	無筋　30cm以下	15.3	t			
ｺﾝｸﾘｰﾄ塊	有筋　30cm以下	3.2	t			
その他がれき類		0.1	m3			
ｶﾞﾗｽくず、Coくず、陶磁器くず		5.4	m3			
廃プラスチック		1.1	m3			
金属くず		19	m3			
木くず		1.8	m3			
廃石膏ボード		0.5	m3			
安定型混合廃棄物	廃ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ類、ｺﾞﾑくず、金属くず、ｶﾞﾗｽくず・ｺﾝｸﾘｰﾄくず及び陶磁器くず、がれき類（法定20種中5種類）	18.2	m3			
水銀使用製品産業廃棄物		1	kg			
蛍光管処分費		4	kg			
石綿含有産業廃棄物(安定型)		0.5	m3			
計						

機械設備工事（その１_屋外）　給水設備

名　称	摘　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
配管分岐・閉塞		1	式			別紙 00-0098
土工事		1	式			別紙 00-0099
根切り(人力)		0.7	m3			
埋戻し	人 力 根切り土 -	0.7	m3			
計						

機械設備工事（その１_屋外）　　撤去工事

名　　称	摘　　要	数　量	単位	単　価	金　　額	備　　考
配管類撤去		1	式			別紙 00-0100
給水管撤去	地中配管　SGP-VD25A	5	m			
弁桝撤去		1	個			
計						

機械設備工事（その２）　給水設備

名　称	摘　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
保温工事		1	式			別紙 00-0101
給水管 保温	ｸﾞﾗｽｳｰﾙ 天井内,ﾊﾟｲﾌﾟｼｬﾌﾄ内 ｱﾙﾐｶﾞﾗｽ化粧筒 50A	5	m			
給水管 保温	ｸﾞﾗｽｳｰﾙ 屋内露出 合成樹脂製ｶﾊﾞｰ1 50A	2	m			
給水管 保温	ｸﾞﾗｽｳｰﾙ 天井内,ﾊﾟｲﾌﾟｼｬﾌﾄ内 ｱﾙﾐｶﾞﾗｽ化粧筒 40A	3	m			
給水管 保温	ｸﾞﾗｽｳｰﾙ 屋内露出 合成樹脂製ｶﾊﾞｰ1 40A	39	m			
給水管 保温	ｸﾞﾗｽｳｰﾙ 機械室,書庫,倉庫 ｱﾙﾐｶﾞﾗｽｸﾛｽ 40A	2	m			
給水管 保温	ｸﾞﾗｽｳｰﾙ 屋内露出 合成樹脂製ｶﾊﾞｰ1 32A	13	m			
給水管 保温	ｸﾞﾗｽｳｰﾙ 天井内,ﾊﾟｲﾌﾟｼｬﾌﾄ内 ｱﾙﾐｶﾞﾗｽ化粧筒 32A	2	m			
給水管 保温	ｸﾞﾗｽｳｰﾙ 屋内露出 合成樹脂製ｶﾊﾞｰ1 25A	43	m			
給水管 保温	ｸﾞﾗｽｳｰﾙ 屋外露出,浴室 ｽﾃﾝﾚｽ鋼板 25A	2	m			
給水管 保温	ｸﾞﾗｽｳｰﾙ 天井内,ﾊﾟｲﾌﾟｼｬﾌﾄ内 ｱﾙﾐｶﾞﾗｽ化粧筒 25A	3	m			
給水管 保温	ｸﾞﾗｽｳｰﾙ 屋内露出 合成樹脂製ｶﾊﾞｰ1 25A	2	m			
給水管 保温	ｸﾞﾗｽｳｰﾙ 機械室,書庫,倉庫 ｱﾙﾐｶﾞﾗｽｸﾛｽ 25A	5	m			
給水管 保温	ｸﾞﾗｽｳｰﾙ 屋内露出 合成樹脂製ｶﾊﾞｰ1 20A	7	m			
給水管 保温	ｸﾞﾗｽｳｰﾙ 機械室,書庫,倉庫 ｱﾙﾐｶﾞﾗｽｸﾛｽ 20A	7	m			
給水管 保温	ｸﾞﾗｽｳｰﾙ 天井内,ﾊﾟｲﾌﾟｼｬﾌﾄ内 ｱﾙﾐｶﾞﾗｽｸﾛｽ 20A	16	m			
給水管 保温	ｸﾞﾗｽｳｰﾙ 屋内露出 合成樹脂製ｶﾊﾞｰ1 20A	54	m			
給水管 保温	ｸﾞﾗｽｳｰﾙ 屋外露出,浴室 ｽﾃﾝﾚｽ鋼板 20A	19	m			
給水管 保温	ﾎﾟﾘｽﾁﾚﾝ 屋外露出,浴室 ｽﾃﾝﾚｽ鋼板 20A	7	m			
計						

機械設備工事（その２）		給水設備				
名　　称	摘　　要	数　量	単位	単　価	金　　額	備　　考
土工事		1	式			別紙 00-0102
根切り(人力)		4.97	m3			
埋戻し	人 力 根切り土 -	4.97	m3			
計						
架台類		1	式			別紙 00-0103
形鋼振れ止め支持		1	式			別紙 00-0104
あと施工アンカー		1	式			別紙 00-0105

機械設備工事（その２）　給水設備

名　称	摘　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
はつり補修		1	式			別紙 00-0106

機械設備工事（その２）	給水設備			仮設工事		
名　称	摘　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
外部足場		1	式			別紙 00-0107
枠組本足場 （手すり先行方式）	建枠1200×1700　布枠500×2枚 12m未満　3ヶ月未満 仮設材運搬費共	86.6	㎡			
梁枠	2ｽﾊﾟﾝ用　3ヵ月未満 仮設材運搬費共	1	か所			
安全手すり （手すり先行方式）	枠組本足場用 3ヶ月未満 仮設材運搬費共	16.2	m			
計						
災害防止		1	式			別紙 00-0108
養生ｼｰﾄ張り	防炎性能 JIS A 8952 Ⅰ類 3ヶ月未満 仮設材運搬費共	86.6	㎡			
計						

機械設備工事（その２）		排水設備				
名　　称	摘　　要	数　量	単位	単　価	金　　額	備　　考
土工事		1	式			別紙 00-0109
根切り(機械)	ﾊﾞｯｸﾎｳ 0.13m3 排出ｶﾞｽ対策型 油圧式ｸﾛｰﾗ型	12.22	m3			
埋戻し	機 械 ﾊﾞｯｸﾎｳ 0.13m3 排出ｶﾞｽ対策型 油圧式ｸﾛｰﾗ型	12.22	m3			
計						
形鋼振れ止め支持		1	式			別紙 00-0110
あと施工アンカー		1	式			別紙 00-0111
はつり補修		1	式			別紙 00-0112

機械設備工事（その２）　排水設備

名　称	摘　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
直接仮設		1	式			別紙 00-0113
枠組本足場 （手すり先行方式）	建枠W900×H1700 仮設材運搬共	159.1	㎡			
安全手すり （手すり先行方式）	枠組本足場用 仮設材運搬共	14.4	m			
ﾈｯﾄ状養生ｼｰﾄ張り	防炎Ｉ類 仮設材運搬共	159.1	㎡			
小幅ﾈｯﾄ張り	防炎ﾎﾟﾘｴｽﾃﾙ 仮設材運搬共	39.6	m			
ｶﾞｰﾄﾞﾌｪﾝｽ	H=1.8m 柱脚固定具共	14.4	m			
計						

機械設備工事（その２）　給湯設備

名　称	摘　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
保温工事		1	式			別紙 00-0114
給湯管 保温	ｸﾞﾗｽｳｰﾙ 屋外露出,浴室 ｽﾃﾝﾚｽ鋼板 32A	1	m			
給湯管 保温	ｸﾞﾗｽｳｰﾙ 屋内露出 合成樹脂製ｶﾊﾞｰ1 32A	21	m			
給湯管 保温	ｸﾞﾗｽｳｰﾙ 屋外露出,浴室 ｽﾃﾝﾚｽ鋼板 25A	5	m			
給湯管 保温	ｸﾞﾗｽｳｰﾙ 屋内露出 合成樹脂製ｶﾊﾞｰ1 25A	26	m			
給湯管 保温	ｸﾞﾗｽｳｰﾙ 天井内,ﾊﾟｲﾌﾟｼｬﾌﾄ内 ｱﾙﾐｶﾞﾗｽ化粧筒 25A	5	m			
給湯管 保温	ｸﾞﾗｽｳｰﾙ 屋外露出,浴室 ｽﾃﾝﾚｽ鋼板 20A	7	m			
給湯管 保温	ｸﾞﾗｽｳｰﾙ 屋内露出 合成樹脂製ｶﾊﾞｰ1 20A	21	m			
給湯管 保温	ｸﾞﾗｽｳｰﾙ 天井内,ﾊﾟｲﾌﾟｼｬﾌﾄ内 ｱﾙﾐｶﾞﾗｽ化粧筒 20A	9	m			
給湯管 保温	ｸﾞﾗｽｳｰﾙ 機械室,書庫,倉庫 ｱﾙﾐｶﾞﾗｽ化粧原紙 20A	10	m			
計						
あと施工アンカー		1	式			別紙 00-0115

機械設備工事（その２）	撤去工事					
名　　称	摘　　要	数　量	単位	単　価	金　　額	備　　考
機器類撤去		1	式			別紙 00-0116

機械設備工事（その２）	撤去工事					
名　　称	摘　　要	数　量	単位	単　価	金　　額	備　　考
配管類撤去		1	式			別紙 00-0117
(給水設備)						
給水管撤去	屋内一般配管　SGP-VB65A	1	m			
給水管撤去	屋内一般配管　SGP-VB50A	5	m			
給水管撤去	屋内一般配管　SGP-VB40A	19	m			
給水管撤去	屋内一般配管　SGP-VB32A	15	m			
給水管撤去	屋内一般配管　SGP-VB25A	14	m			
給水管撤去	機械室･便所配管　SGP-VB25A	2	m			
給水管撤去	機械室･便所配管　SGP-VB20A	20	m			
給水管撤去	屋内一般配管　SGP-VB20A	46	m			
給水管 保温撤去	ｸﾞﾗｽｳｰﾙ 天井内,ﾊﾟｲﾌﾟｼｬﾌﾄ内 ｱﾙﾐｶﾞﾗｽ化粧筒 65A 再使用しない	1	m			
給水管 保温撤去	ｸﾞﾗｽｳｰﾙ 屋内露出 合成樹脂製ｶﾊﾞｰ1及び2 50A 再使用しない	5	m			
給水管 保温撤去	ｸﾞﾗｽｳｰﾙ 天井内,ﾊﾟｲﾌﾟｼｬﾌﾄ内 ｱﾙﾐｶﾞﾗｽ化粧筒 40A 再使用しない	8	m			
給水管 保温撤去	ｸﾞﾗｽｳｰﾙ 屋内露出 合成樹脂製ｶﾊﾞｰ1及び2 40A 再使用しない	3	m			
給水管 保温撤去	ｸﾞﾗｽｳｰﾙ 天井内,ﾊﾟｲﾌﾟｼｬﾌﾄ内 ｱﾙﾐｶﾞﾗｽ化粧筒 40A 再使用しない	8	m			
給水管 保温撤去	ｸﾞﾗｽｳｰﾙ 天井内,ﾊﾟｲﾌﾟｼｬﾌﾄ内 ｱﾙﾐｶﾞﾗｽ化粧筒 32A 再使用しない	15	m			
給水管 保温撤去	ｸﾞﾗｽｳｰﾙ 天井内,ﾊﾟｲﾌﾟｼｬﾌﾄ内 ｱﾙﾐｶﾞﾗｽ化粧筒 25A 再使用しない	58	m			
給水管 保温撤去	ｸﾞﾗｽｳｰﾙ 機械室,書庫,倉庫 ｱﾙﾐｶﾞﾗｽｸﾛｽ 25A 再使用しない	2	m			
給水管 保温撤去	ｸﾞﾗｽｳｰﾙ 機械室,書庫,倉庫 ｱﾙﾐｶﾞﾗｽｸﾛｽ 20A 再使用しない	19	m			
給水管 保温撤去	ｸﾞﾗｽｳｰﾙ 天井内,ﾊﾟｲﾌﾟｼｬﾌﾄ内 ｱﾙﾐｶﾞﾗｽ化粧筒 20A 再使用しない	45	m			

機械設備工事（その２）　撤去工事

名　称	摘　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
配管類撤去		1	式			別紙 00-0117
給水管 保温撤去	ｸﾞﾗｽｳｰﾙ 屋内露出 合成樹脂製ｶﾊﾞｰ1及び2 20A 再使用しない	3	m			
止水栓撤去		1	個			
配管はつり補修		10	か所			
配管跡ﾓﾙﾀﾙ埋め		10	か所			
配管切断 （鋼管類） ・手間のみ	配管切断　40A 保温有	2	か所			
配管切断 （鋼管類） ・手間のみ	配管切断　20A 保温無	8	か所			
ﾌﾟﾗｸﾞ止め	ﾗｲﾆﾝｸﾞ鋼管用ねじ込み式管端防食継手　ﾌﾟﾗｸﾞP　20mm	18	個			
配管切断 （鋼管類） ・手間のみ	配管切断　40A 保温有	4	か所			
配管切断 （鋼管類） ・手間のみ	配管切断　32A 保温有	1	か所			
ﾓﾙﾀﾙ埋め		1	か所			
根切り（機械）	ﾊﾞｯｸﾎｳ 0.13m3 排出ｶﾞｽ対策型 油圧式ｸﾛｰﾗ型	0.06	m3			
埋戻し	機 械 ﾊﾞｯｸﾎｳ 0.13m3 排出ｶﾞｽ対策型 油圧式ｸﾛｰﾗ型	0.06	m3			
（排水設備）						
排水管撤去	屋内一般配管　CIP-100A	16	m			
排水管撤去	機械室・便所配管　CIP-100A	3	m			
排水管撤去	屋内一般配管　CIP-80A	3	m			
排水管撤去	屋内一般配管　SGP白-100A	17	m			
排水管撤去	機械室・便所配管　SGP白-80A	7	m			
排水管撤去	屋内一般配管　SGP白-80A	29	m			

機械設備工事（その２）		撤去工事				
名　　称	摘　　要	数　量	単位	単　価	金　　額	備　　考
配管類撤去		1	式			別紙 00-0117
排水管撤去	屋内一般配管　SGP白-65A	15	m			
排水管撤去	機械室･便所配管　SGP白-65A	9	m			
排水管撤去	屋内一般配管　SGP白-50A	14	m			
排水管撤去	機械室･便所配管　SGP白-50A	3	m			
排水管撤去	屋内一般配管　SGP白-40A	19	m			
排水管撤去	機械室･便所配管　SGP白-40A	9	m			
排水管撤去	屋内一般配管　SGP白-32A	8	m			
排水管撤去	地中配管　VP-100A	38	m			
排水管撤去	地中配管　VP-50A	1	m			
排水管撤去	屋外配管　ｶﾗｰVP-100A	4	m			
通気管撤去	屋内一般配管　SGP白-65A	2	m			
通気管撤去	屋内一般配管　SGP白-50A	37	m			
通気管撤去	機械室･便所配管　SGP白-50A	9	m			
通気管撤去	屋内一般配管　SGP白-40A	30	m			
通気管撤去	屋外配管　ｶﾗｰVP-100A	4	m			
排水管 保温撤去	ｸﾞﾗｽｳｰﾙ 天井内,ﾊﾟｲﾌﾟｼｬﾌﾄ内 ｱﾙﾐｶﾞﾗｽ化粧筒 100A 再使用しない	19	m			
排水管 保温撤去	ｸﾞﾗｽｳｰﾙ 天井内,ﾊﾟｲﾌﾟｼｬﾌﾄ内 ｱﾙﾐｶﾞﾗｽ化粧筒 80A 再使用しない	3	m			
排水管 保温撤去	ｸﾞﾗｽｳｰﾙ 天井内,ﾊﾟｲﾌﾟｼｬﾌﾄ内 ｱﾙﾐｶﾞﾗｽ化粧筒 100A 再使用しない	17	m			
排水管 保温撤去	ｸﾞﾗｽｳｰﾙ 機械室,書庫,倉庫 ｱﾙﾐｶﾞﾗｽｸﾛｽ 80A 再使用しない	7	m			

機械設備工事（その２）　撤去工事

名　称	摘　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
配管類撤去		1	式			別紙 00-0117
排水管 保温撤去	ｸﾞﾗｽｳｰﾙ 天井内,ﾊﾟｲﾌﾟｼｬﾌﾄ内 ｱﾙﾐｶﾞﾗｽ化粧筒 80A 再使用しない	29	m			
排水管 保温撤去	ｸﾞﾗｽｳｰﾙ 天井内,ﾊﾟｲﾌﾟｼｬﾌﾄ内 ｱﾙﾐｶﾞﾗｽ化粧筒 65A 再使用しない	15	m			
排水管 保温撤去	ｸﾞﾗｽｳｰﾙ 機械室,書庫,倉庫 ｱﾙﾐｶﾞﾗｽｸﾛｽ 65A 再使用しない	9	m			
排水管 保温撤去	ｸﾞﾗｽｳｰﾙ 天井内,ﾊﾟｲﾌﾟｼｬﾌﾄ内 ｱﾙﾐｶﾞﾗｽ化粧筒 50A 再使用しない	14	m			
排水管 保温撤去	ｸﾞﾗｽｳｰﾙ 機械室,書庫,倉庫 ｱﾙﾐｶﾞﾗｽｸﾛｽ 50A 再使用しない	3	m			
排水管 保温撤去	ｸﾞﾗｽｳｰﾙ 天井内,ﾊﾟｲﾌﾟｼｬﾌﾄ内 ｱﾙﾐｶﾞﾗｽ化粧筒 40A 再使用しない	19	m			
排水管 保温撤去	ｸﾞﾗｽｳｰﾙ 機械室,書庫,倉庫 ｱﾙﾐｶﾞﾗｽｸﾛｽ 40A 再使用しない	9	m			
排水管 保温撤去	ｸﾞﾗｽｳｰﾙ 天井内,ﾊﾟｲﾌﾟｼｬﾌﾄ内 ｱﾙﾐｶﾞﾗｽ化粧筒 32A 再使用しない	8	m			
掃除口撤去	COA-100A	3	個			
掃除口撤去	COA-80A	1	個			
掃除口撤去	COA-65A	1	個			
配管はつり補修		8	か所			
配管跡ﾓﾙﾀﾙ埋め		8	か所			
配管切断 （鋼管類） ・手間のみ	配管切断　50A 保温有	8	か所			
通気金物撤去	100A	1	個			
通気金物撤去	50A	1	個			
汚水桝撤去	ｺﾝｸﾘｰﾄ桝　450□x490H 鋳鉄製ﾏﾝﾎｰﾙ蓋	1	組			
汚水桝撤去	ｺﾝｸﾘｰﾄ桝　450□x580H 鋳鉄製ﾏﾝﾎｰﾙ蓋	1	組			
汚水桝撤去	ｺﾝｸﾘｰﾄ桝　450□x710H 鋳鉄製ﾏﾝﾎｰﾙ蓋	1	組			

機械設備工事（その２）　撤去工事

名　称	摘　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
配管類撤去		1	式			別紙 00-0117
汚水桝撤去	ｺﾝｸﾘｰﾄ桝　450□x720H 鋳鉄製ﾏﾝﾎｰﾙ蓋	1	組			
汚水桝撤去	ｺﾝｸﾘｰﾄ桝　450□x740H 鋳鉄製ﾏﾝﾎｰﾙ蓋	1	組			
ｸﾞﾘｰｽﾄﾗｯﾌﾟ撤去	現場打ちｺﾝｸﾘｰﾄ製　2270x]910x800H ﾄﾗｯﾌﾟ、縞鋼板蓋x3枚	1	組			
根切り(機械)	ﾊﾞｯｸﾎｳ 0.13m3 排出ｶﾞｽ対策型 油圧式ｸﾛｰﾗ型	9.95	m3			
埋戻し	機 械 ﾊﾞｯｸﾎｳ 0.13m3 排出ｶﾞｽ対策型 油圧式ｸﾛｰﾗ型	9.95	m3			
(給湯設備)						
給湯管撤去	機械室･便所配管　HTLP-32A	1	m			
給湯管撤去	屋内一般配管　HTLP-32A	1	m			
給湯管撤去	機械室･便所配管　HTLP-25A	3	m			
給湯管撤去	屋内一般配管　HTLP-25A	9	m			
給湯管撤去	屋内一般配管　HTLP-20A	60	m			
給湯管撤去	機械室･便所配管　HTLP-20A	8	m			
追焚管撤去	機械室･便所配管　被覆銅管M 15Ax2	7	m			
仕切弁撤去	5K-20A	1	個			
ﾌﾟﾗｸﾞ止め	ﾗｲﾆﾝｸﾞ鋼管用ねじ込み式管端防食継 手　ﾌﾟﾗｸﾞP　15mm	10	個			
(ガス設備)						
ガス管撤去	屋内一般配管　SGP白-25A ※京葉ガス工事範囲外	8	m			
ガス管撤去	機械室･便所配管　SGP白-20A ※京葉ガス工事範囲外	15	m			
ガス管撤去	屋内一般配管　SGP白-20A ※京葉ガス工事範囲外	2	m			

機械設備工事（その２）	撤去工事					
名　称	摘　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
配管類撤去		1	式			別紙 00-0117
ガスコック撤去	25A	2	個			
ガスコック撤去	20A	1	個			
配管はつり補修		9	か所			
配管跡ﾓﾙﾀﾙ埋め		9	か所			
配管切断 （鋼管類） ・手間のみ	配管切断　25A 保温無	2	か所			
配管切断 （鋼管類） ・手間のみ	配管切断　20A 保温無	8	か所			
計						

機械設備工事（その２）　発生材処理

名　称	摘　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
発生材積込み		1	式			別紙 00-0118
発生材積込み	ｺﾝｸﾘｰﾄ類　人力	1.6	m3			
発生材積込み	ﾎﾞｰﾄﾞ・木材類 人力	1.5	m3			
計						
発生材運搬		1	式			別紙 00-0119
4tダンプトラック	～25km程度	2	台・回			
2t・3tダンプトラック	～25km程度	3	台・回			
計						
発生材処分		1	式			別紙 00-0120
ｺﾝｸﾘｰﾄ塊	無筋　30cm超	2.9	t			
ｶﾞﾗｽくず、Coくず、陶磁器くず		2.6	m3			
廃プラスチック		0.4	m3			
金属くず		1.3	m3			
安定型混合廃棄物	廃ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ類、ｺﾞﾑくず、金属くず、ｶﾞﾗｽくず・ｺﾝｸﾘｰﾄくず及び陶磁器くず、がれき類（法定20種中5種類）	0.7	m3			
計						

名　称	摘　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
その１						
仮囲い	ｶﾗｰｺﾝｰ+ｺｰﾝﾊﾞｰ 10ヶ月賃貸 2期兼用	82.7	m			
交通誘導員Ｂ	交通誘導員Ｂ（その他率含む）	5	人			
化学物質測定費	ﾎﾙﾑｱﾙﾃﾞﾋﾄﾞ等６品目	6	か所			
床養生ｺﾞﾑﾏｯﾄ	1000×2000 運搬費共	23	枚			
仮設ﾄｲﾚ	運搬費共	14	棟			
仮設流し	L=1200 運搬費共	3	か所			
仮設台 （材工共）	仮設ﾄｲﾚ用 木製	1	式			
その２						
交通誘導員Ｂ	交通誘導員Ｂ（その他率含む）	2	人			
化学物質測定費	ﾎﾙﾑｱﾙﾃﾞﾋﾄﾞ等６品目	6	か所			
駐車場		1	式			
計						

現場説明書

1. 工事名称　　松戸市立総合医療センター附属看護専門学校給排水管改修工事
2. 工事場所　　松戸市上本郷４，１８２番地
3. 説明事項
   - 本工事は、週休２日工事（発注者指定方式）である。
   - 受注者は、現場閉所（休息）による週休２日工事として取り組むこと。
     なお、予定価格には４週８休達成相当の経費を補正している。
   - 週休２日制の実施にあたっては、「松戸市営繕工事週休２日工事
     試行実施要領」に基づき行うこと。
   - 受水槽の設置については、令和７年度中に出来高検査を受検すること。

松戸市立総合医療センター附属看護専門学校
給排水管改修工事

図面番号	図面名称	縮尺
	その１	
M-01	案内図・配置図	1/200･2500
M-02	機械設備特記仕様書（１）	No Scale
M-03	機械設備特記仕様書（２）	No Scale
M-04	【改修前】衛生設備　機器表・器具表・凡例	No Scale
M-05	【改修後】衛生設備　機器表・器具表・凡例	No Scale
M-06	【改修前】衛生設備　系統図	No Scale
M-07	【改修後】衛生設備　系統図	No Scale
M-08	【改修前】衛生設備　1階平面図	1/100
M-09	【改修後】衛生設備　1階平面図	1/100
M-10	【改修前】衛生設備　2階平面図	1/100,1/50
M-11	【改修後】衛生設備　2階平面図	1/100
M-12	【改修前】衛生設備　3階平面図	1/100,1/50
M-13	【改修後】衛生設備　3階平面図	1/100
M-14	【改修後】衛生設備　屋上平面図	1/100
M-15	【改修前】衛生設備　屋上平面図	1/100
M-16	【改修前後】衛生設備　便所詳細図	1/50
M-17	【改修前後】衛生設備　機械室・PH階詳細図	1/50
M-18	【改修前後】衛生設備　管理人室･湯沸室・教務室詳細図	1/50
M-19	【改修前後】換気設備　便所詳細図	1/50
M-20	受水タンク・消防用補給タンク構造図	1/30,1/10
M-21	仮設工事　受水槽更新手順図	1/50
M-22	仮設１～３階平面図	1/100
M-23	仮設屋上・ＰＨ階平面図	1/100,1/50
M-24	仮設トイレ配管図	1/60
	その２	
M-01	案内図・配置図	1/200･2500
M-02	機械設備特記仕様書（１）	No Scale
M-03	機械設備特記仕様書（２）	No Scale
M-04	【改修前】衛生設備　機器表・器具表	No Scale
M-05	【改修後】衛生設備　機器表・器具表	No Scale
M-06	【改修前】衛生設備　系統図	No Scale
M-07	【改修後】衛生設備　系統図	No Scale
M-08	【改修前】衛生設備　1階平面図	1/100
M-09	【改修後】衛生設備　1階平面図	1/100
M-10	【改修前】衛生設備　2階平面図	1/100
M-11	【改修後】衛生設備　2階平面図	1/100
M-12	【改修前】衛生設備　3階平面図	1/100
M-13	【改修後】衛生設備　3階平面図	1/100
M-14	【改修後】衛生設備　屋上平面図	1/100
M-15	【改修前】衛生設備　屋上平面図	1/100
M-16	【改修前後】衛生設備　職員便所･保健室･在宅看護実習室詳細図	1/50
M-17	【改修前後】衛生設備　調理室･準備室(1)･看護実習室(1)詳細図	1/50
M-18	【改修前後】衛生設備　看護実習室(1)･(2)詳細図	1/50
M-19	仮設１～３階平面図	1/100

図面番号	図面名称	縮尺
	その１	
A-01	特記仕様書（１）	No Scale
A-02	特記仕様書（２）	No Scale
A-03	特記仕様書（３）	No Scale
A-04	特記仕様書（４）	No Scale
A-05	案内図・配置図	1/200･2500
A-06	【改修前】各階平面図	1/200
A-07	【改修後】各階平面図	1/200
A-08	【改修前・後】矩計図	1/30
A-09	【改修前】１・２階便所平面詳細図・天井伏図・展開図	1/50
A-10	【改修後】１・２階便所平面詳細図・天井伏図・展開図	1/50
A-11	【改修前】３階便所平面詳細図・天井伏図・展開図	1/50
A-12	【改修後】３階便所平面詳細図・天井伏図・展開図	1/50
A-13	【改修前・後】管理人室平面詳細図・展開図	1/50
A-14	【改修前】１階天井伏図	1/100
A-15	【改修後】１階天井伏図	1/100
A-16	【改修前・後】２・３階天井伏図	1/50
A-17	【改修前・後】建具キープラン	1/50
A-18	【改修前・後】建具表	1/50
A-19	雑詳細図	1/3･10･20
A-20	仮設計画図（参考図）	1/200
	その２	
A-21	特記仕様書（１）	No Scale
A-22	特記仕様書（２）	No Scale
A-23	特記仕様書（３）	No Scale
A-24	特記仕様書（４）	No Scale
A-25	【改修前】各階平面図	1/200
A-26	【改修後】各階平面図	1/200
A-27	【改修前・後】調理室平面詳細図・家具図	1/50
A-28	【改修前・後】１階天井伏図	1/100
A-29	【改修前・後】２階天井伏図	1/100
A-30	【改修前・後】３階天井伏図	1/100
A-31	【改修】建具キープラン・建具表	1/50・150
A-32	【改修前・後】各部詳細図－１	1/20・50
A-33	【改修前・後】各部詳細図－２	1/50
A-34	仮設計画図（参考図）	1/200

図面番号	図面名称	縮尺
E-01	案内図・配置図・工事概要	1/300 1/2500
E-02	電気設備工事特記仕様書	No-scale
E-03	受変電設備単線結線図（改修後）	No-scale
E-04	盤図１（改修前・改修後）	No-scale
E-05	盤図２（改修前・改修後）	No-scale
E-06	盤図３（改修前・改修後）・照明器具姿図	No-scale
E-07	盤図４（改修前・改修後）・照明器具姿図	1/100
E-08	電灯設備１階平面図（改修前）	1/100
E-09	電灯設備２階平面図（改修前）	1/100
E-10	電灯設備３階平面図（改修前）	1/100
E-11	電灯設備屋上平面図（改修前）	1/100
E-12	電灯設備１階平面図（改修後）	1/100
E-13	電灯設備２階平面図（改修後）	1/100
E-14	電灯設備３階平面図（改修後）	1/100
E-15	電灯設備屋上平面図（改修後）	1/100
E-16	動力・弱電設備１階平面図（改修前）	1/50
E-17	動力・弱電設備２階平面図（改修前）	1/50
E-18	動力・弱電設備３階平面図（改修前）	1/50
E-19	動力・弱電設備屋上平面図（改修前）	1/100
E-20	動力・弱電設備１階平面図（改修後）	1/100
E-21	動力・弱電設備２階平面図（改修後）	1/100
E-22	動力・弱電設備３階平面図（改修後）	1/100
E-23	動力設備屋上平面図（改修後）	1/100
E-24	電灯設備１階便所平面図（改修前・改修後）	1/50
E-25	電灯設備２階便所平面図（改修前・改修後）	1/50
E-26	電灯設備３階便所平面図（改修前・改修後）	1/50

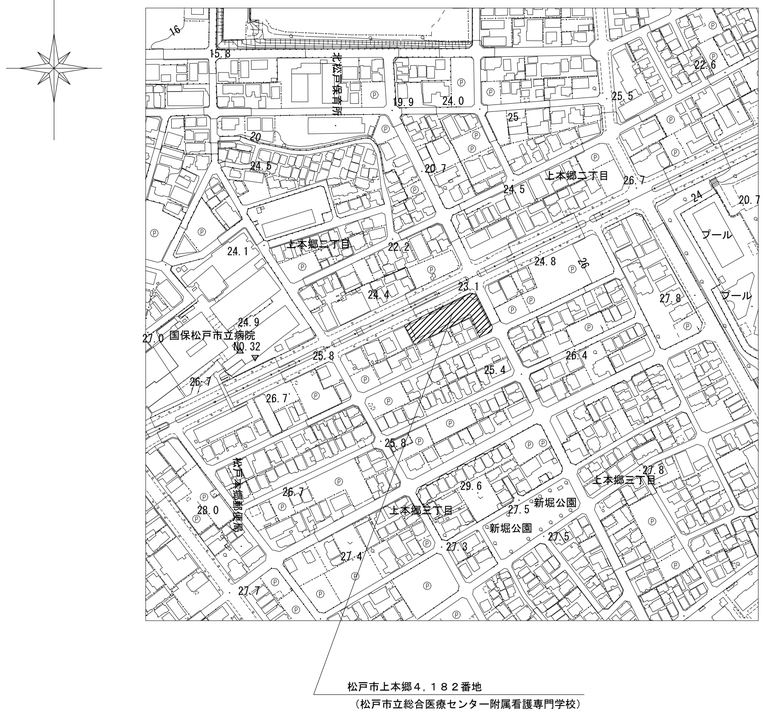
工事名	松戸市立総合医療センター附属看護専門学校 給排水管改修工事		
図面名	表紙・図面リスト		
作成年月日	令和7年2月21日	変更年月日	
縮 尺	No Scale	図面番号	
設 計	株式会社　山岡設計事務所 千葉県知事登録　第1-2306-2686号 山岡　治 一級建築士大臣登録第272498号		
松戸市 街づくり部 建築保全課			

松戸市立総合医療センター附属看護専門学校
給排水管改修機械設備工事（その１）

図 面 リ ス ト		
図面番号	図面名称	縮尺
	【意匠図】	
M-00	表紙・図面リスト	No Scale
M-01	案内図・配置図	1/200･2500
M-02	機械設備特記仕様書（１）	No Scale
M-03	機械設備特記仕様書（２）	No Scale
M-04	【改修前】衛生設備　機器表・器具表・凡例	No Scale
M-05	【改修後】衛生設備　機器表・器具表・凡例	No Scale
M-06	【改修前】衛生設備　系統図	No Scale
M-07	【改修後】衛生設備　系統図	No Scale
M-08	【改修前】衛生設備　1階平面図	1/100
M-09	【改修後】衛生設備　1階平面図	1/100
M-10	【改修前】衛生設備　2階平面図	1/100,1/50
M-11	【改修後】衛生設備　2階平面図	1/100
M-12	【改修前】衛生設備　3階平面図	1/100,1/50
M-13	【改修後】衛生設備　3階平面図	1/100
M-14	【改修後】衛生設備　屋上平面図	1/100
M-15	【改修前】衛生設備　屋上平面図	1/100
M-16	【改修前後】衛生設備　便所詳細図	1/50
M-17	【改修前後】衛生設備　機械室・PH階詳細図	1/50
M-18	【改修前後】衛生設備　管理人室･湯沸室・教務室詳細図	1/50
M-19	【改修前後】換気設備　便所詳細図	1/50
M-20	受水タンク・消防用補給タンク構造図	1/30,1/10
M-21	仮設工事　受水槽更新手順図	1/50
M-22	仮設１～３階平面図	1/100
M-23	仮設屋上・ＰＨ階平面図	1/100,1/50
M-24	仮設トイレ関係図	1/50

工事名	松戸市立総合医療センター附属看護専門学校 給排水管改修機械設備工事（その１）		
図面名	表紙・図面リスト		
作成年月日	令和7年2月21日	変更年月日	
縮 尺	No Scale	図面番号	M-00
設 計	株式会社　山岡設計事務所 千葉県知事登録　第1-2306-2686号 山岡　治 一級建築士大臣登録第272498号		
松戸市 街づくり部 建築保全課			

真北

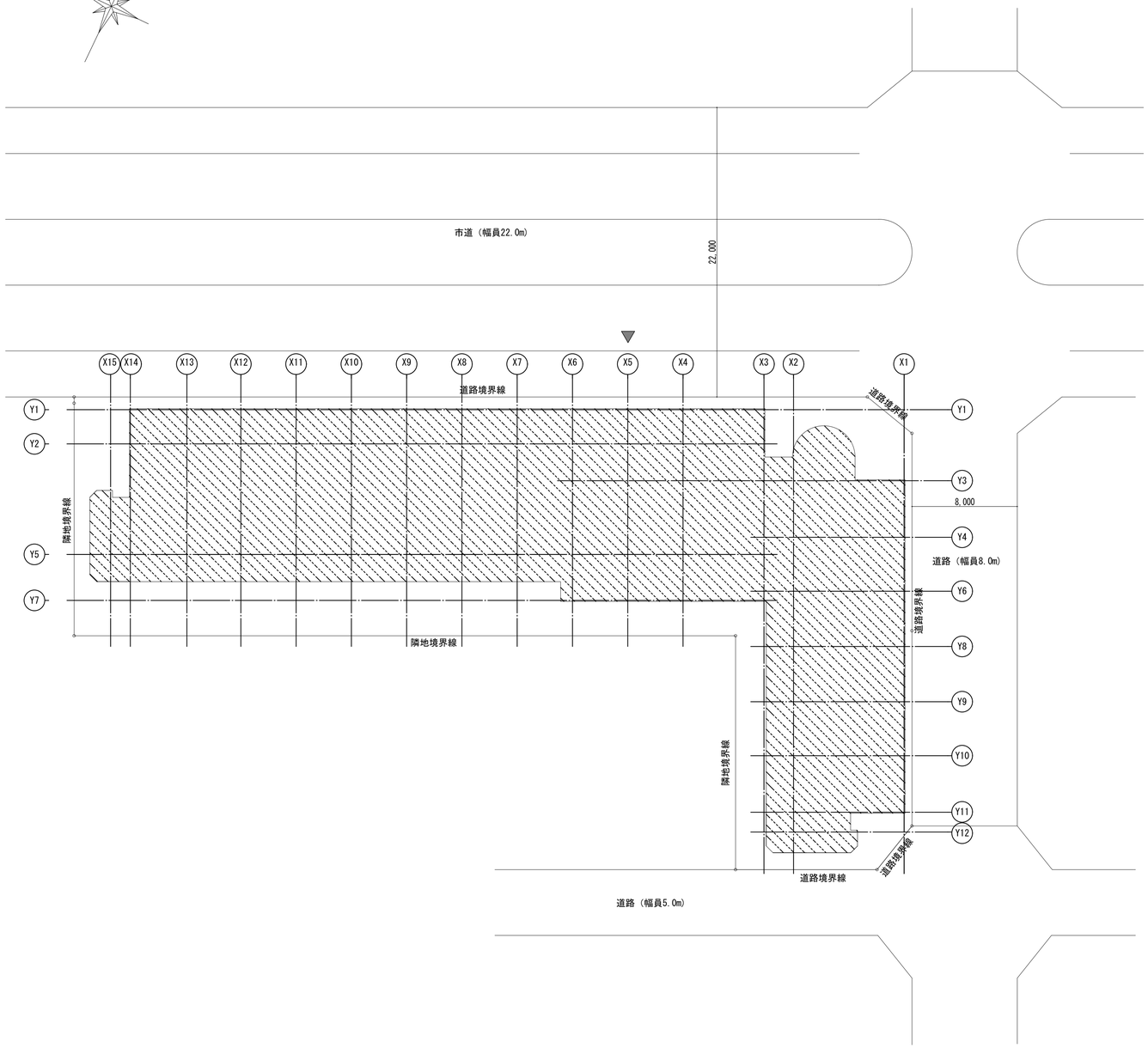


松戸市上本郷４，１８２番地
（松戸市立総合医療センター附属看護専門学校）

案内図　1/2500

工事場所を示す

真北



配置図　1/200

工事箇所を示す

▼　搬入口

工事概要

衛生器具設備工事

建物中央にあるトイレの衛生器具の更新を行う。管理人室、ロッカー室の給水管の更新を同時に行う。

給水設備工事

受水槽更新に伴い、高置タンク方式からポンプ圧送方式に変更する。建物中央にあるトイレ、管理人室、ロッカー室等を第1期工事対象とする。

また、給水方式変更に伴い、実習室系統を第２期工事までの間使用可能となるよう接続工事を行う。

排水設備工事

上記同様に、トイレ内の排水管の更新を行う。

換気設備工事

上記同様に、トイレ内の換気扇の更新を行う。ダクト及びベンドキャップも更新とする。

工事名	松戸市立総合医療センター附属看護専門学校 給排水管改修機械設備工事（その１）		
図面名	案内図・配置図		
作成年月日	令和7年2月21日	変更年月日	
縮　尺	A1:1/200、1/2500 A3:1/400、1/5000	図面番号	M-01
設　計	株式会社　山岡設計事務所 千葉県知事登録　第1-2306-2686号 山岡　治 一級建築士大臣登録第272498号		
松戸市 街づくり部 建築保全課			

松戸市機械設備工事特記仕様書

第6版(2023.4.)

1. 工事概要

1. 工事場所　松戸市上本郷４，１８２番地（松戸市立総合医療センター附属看護専門学校）
2. 建物概要

建物名称	構造	階数	延べ面積(m2)	消防法施行令別表第一	備考
松戸市立総合医療センター附属看護専門学校	ＲＣ造	地上４階	2,516.03	７項	専門学校

（備考中の特定の施設，一般の施設とは耐震安全性の分類を示す）

3. 工事種目　（ ●印の付いたものを適用する。）

建物別及び屋外 ＼ 工事種目	工事種別						
	看護専門学校	棟	棟	棟	棟	棟	屋外
○ 空気調和設備	○ 一式						○ 一式
● 換気設備	● 一式						○ 一式
○ 排煙設備	○ 一式						○ 一式
○ 自動制御設備	○ 一式						○ 一式
● 衛生器具設備	● 一式						○ 一式
● 給水設備	● 一式						● 一式
● 排水設備	● 一式						● 一式
● 給湯設備	● 一式						○ 一式
○ 消火設備	○ 一式						○ 一式
○ 厨房設備	○ 一式						○ 一式
○ ガス設備	○ 一式						○ 一式
○ 排水処理設備	○ 一式						○ 一式
○ 雨水利用設備	○ 一式						○ 一式
● 撤去工事	● 一式						○ 一式
○ 昇降機設備※	○ 一式						○ 一式
○ 建築工事※	○ 一式						○ 一式
○ 電気設備工事※	○ 一式						○ 一式

4. 指定部分　●無　○有（　　：指定部分工期 令和　年　月　日）

5. 設備概要（●印の付いたものを適用する。）

方式及び種類	設備概要
○ 空調方式	○個別空調方式
○ 主要熱源機器	○パッケージ形空気調和機
燃料※	○電気　○都市ガス　○液化石油ガス
○ 自動制御方式	○電気式　○電子式　○デジタル式
● 給水方式	○高置タンク方式　●ポンプ直送方式　○水道直結方式
水源※	●県水　○市水
受水槽※	●有　○無
● 排水方式	建物内の汚水と雑排水（○合流式　●分流式　）
	ポンプ排水　○有（○汚物　○雑排水　○湧水　○雨水　）　○無
	建物外放流先　(1) 汚水　●直放流下水管　○
	(2) 雑排水　●直放流下水管　○
● 給湯方式※	○中央式　（○直接給湯　○間接給湯）
	●局所式　（●貯湯式湯沸器　○瞬間湯沸器）
燃料※	○都市ガス　○液化石油ガス　●電気
○ 消火設備の種類	○屋内消火栓設備　○スプリンクラー設備　○泡消火設備
	○連結散水設備　○連結送水管　○不活性ガス消火設備（○　　）

2. 工事仕様

1. 共通仕様

※(1) 図面及び本特記仕様書に記載されていない事項は、国土交通大臣官房官庁営繕部制定の下記仕様書等を適用する。
公共建築工事標準仕様書（機械設備工事編）（令和4年版）（以下「標準仕様書」という。）
公共建築改修工事標準仕様書（機械設備工事編）（令和4年版）（以下「改修標準仕様書」という。）
公共建築設備工事標準図（機械設備工事編）（令和4年版）（以下「標準図」という。）

(2) 電気設備工事及び建築工事を本工事に含む場合は、電気設備工事及び建築工事はそれぞれの特記仕様書を適用する。

※2. 現場の納り等の関係による協議
現場の納り、取り合い等の関係で設計図書（配管、配線、器具の位置、方法）による施工が困難、不都合な場合、または図面及び仕様書に明記なくとも技術上、安全上当然施工しなければならない工事は、施工図により監督職員との協議の上、請負金額の範囲内において変更を行うものとする。

3. 特記仕様
章、項目及び特記事項は、● 印の付いたものを適用する。

章	項目	特記事項
一般共通事項	● 特定調達品目	※(1) 松戸市で定める「松戸市グリーン購入等に係る基本方針」に基づき環境に配慮した物品を最優先に使用する。 (2) 国等による環境物品等の推進等に関する法律(平成12年法律第100号)（以下「グリーン購入法」という。）の特定調達品目の判断基準は，「環境物品等の調達の推進に関する基本方針（平成28年2月）」による。 (3) グリーン購入法に基づく環境物品等の調達の推進に関する基本方針における公共工事の配慮事項（「資材の梱包及び容器は，可能な限り簡易であって，再生利用の容易さ及び廃棄時の負荷低減に配慮されていること。」）に留意すること。
	● 機材等	(1) 本工事に使用する機材等は，設計図書に定める品質及び性能を有するもの又は同等以上のものとする。ただし，同等以上のものとする場合は，あらかじめ監督職員の承諾を受ける。 (2) 別表－１に機材等名が記載された製造業者等は，次の①から⑥すべての事項を満たすものとし，この証明となる資料又は外部機関が発行する品質及び性能等が評価されたことを示す書面を提出して監督職員の承諾を受ける。ただし，製造業者等名が記載されているものは，証明となる資料等の提出を省略することができる。 ① 品質及び性能に関する試験データを整備していること。 ② 生産施設及び品質の管理を適切に行っていること。 ③ 安定的な供給が可能であること。 ④ 法令等で定めて許可、認可、認定又は免許を取得していること。 ⑤ 製造又は施工の実績があり、その信頼性があること。 ⑥ 販売、保守等の営業体制を整えていること。
	○ 室内空気中の化学物質の濃度測定	室内空気中のホルムアルデヒド、トルエン、キシレン、エチルベンゼン、スチレンの濃度を測定し、監督職員に報告する。測定はパッシブ型採集機器により行う。 測定時期　○工事着手前　○施工終了時 測定対象室　○図示　○ 測定箇所数　○図示　○
	○ 電気保安技術者	工事現場に置く電気保安技術者は、千葉県自家用電気工作物保安規程第三条に定める工事管理者 （　　）の任命する監督職員の職務を補佐し、電気工作物の保安業務を行う。
	● 技能士の適用	●配管施工(配管工事)　○建築板金施工(ダクト製作及び取付け) ●熱絶縁施工(保温工事)　○冷凍空気調和機器施工(冷凍空調機器の据付)
	○ 監督職員事務所※	○設置する（○費用は請負業者の負担とする。　○発注者の負担）
	● 工事用電力・水・その他	●本工事に必要な工事用電力、水及び諸手続等の費用はすべて受注者の負担とする。 工事用水　構内の施設　○　利用できない　●利用できる（●有償　○無償　） 工事電力　構内の施設　○　利用できない　●利用できる（●有償　○無償　）

章	項目	特記事項
	● 足場その他	○　別契約の関係受注者が定置したものは，無償で使用できる。 （○　建築工事　○　電気設備工事　で設置する。）
	●	本工事で設置とする。 「手すり先行工法に関するガイドライン」に基づく足場の設置に当たっては，同ガイドラインの別紙１「手すり先行工法による足場の組立て等に関する基準」における２の(2)手すり据置方式又は(3)手すり先行専用足場方式により行う。
	● 建設副産物※	本工事により発生する建設廃棄物の計画量は以下のとおり 1) アスコン塊　（　　t）　8) 混合廃棄物　（　　m3） 2) コンクリート塊　（　　t）　9) 飛散性アスベスト　（　　m3） 3) 建設発生木材　（　　t）　10) 非飛散性アスベスト　（　　m3） 4) 建設汚泥　（　　t） 5) ガラスくず及び陶器くず　（　　m3） 6) 金属くず　（　　m3） 7) 廃プラスチック　（　　m3）
	○ 建設発生土の処理※	○有　○構内敷きならし（監督職員が指示する構内の場所） ○建設発生土搬出処理（　　） 搬出先名称　（　　） 搬出先住所　（　　） 片道運搬距離　（　　） 工事発注後、上記の指定処理により難い場合は，監督職員と協議するものとする。 片道運搬距離は積算上処理分区ごとに代表地点から算出した距離であり、実際の運搬距離と差異が生じた場合においては設計変更の対象としない。 搬出の際には、平成３年環境庁告示第４６号付表に定める方法により検液を作成し、計量した結果の結果証明書を提出しなければならない。なお、計量する対象は，付表に定める溶出試験２６項目に「クロロエチレン」と「１，４－ジオキサン」を含めた２８項目、含有量試験２項目とする。
	● 石綿含有前調査※	●元請業者にて行う。
	● 石綿含有品	石綿含有分析調査　○本工事　○別途 撤去方法　○図示による
	● 発生材の処理	●　金属類　（●機器類　●ダクト　●配管　○その他金属類）の処理は （○　構外搬出適切処理　○　　）とする。 ○　特別管理産業廃棄物　（　○　　○　　）の処理は （○　構外搬出適切処理　○　別途　）とする。 ○　石綿含有産業廃棄物（○配管用成形保温材　○フランジ用ガスケット）の処理は （○　構外搬出適切処理　○　別途　）とする。 ●　上記以外のもの（○　　○　　）の処理は （●　構外搬出適切処理　○　別途　）とする。 ○　建設リサイクル法における再資源化等を行う特定建設資材の構外搬出処理を本工事とする。
	○ 冷媒（フロン類）の回収	○　本工事　○　別途 冷凍機等の撤去に伴う冷媒の回収方法は、改修標準仕様書第３編２．４．３により、次の書類を監督職員に提出する。 ●　フロン回収行程管理表の写し　○　特定家庭用機器廃棄物管理票（家電リサイクル券）の写し
	○ 埋め戻し土・盛土	○　根切り土の中の良質土　○　山砂の類
	● 工事写真	国土交通省大臣官房官庁営繕部制定の「営繕工事写真撮影要領（平成31年版）」による。 土質調査　○要　○不要（　　）
	○ 運転操作説明板	系統図、機器等の取り扱い方及び重要な定期点検項目を記載したアクリル樹脂製の板を機械室に設ける。
	● 総合調整※	●　本工事　○　別途 調整項目（測定箇所等は監督職員の指示による。） ○風量調整　○風量測定　○水量調整　○水量測定　○飲料水の水質の測定　○騒音の測定 ○気密試験　○初期運転状態の記録　○エアコン調整 ○室内気流及びじんあいの測定　○室内外空気の温湿度の測定
	● 容量等の表示	1) 機器類の能力、容量等は表示された数値以上とする。 2) 電動機出力、燃料消費量、圧力損失は，原則として表示された数値以下とする。
	● 耐震措置	耐震措置の計算及び施工方法は次によるほか、建築設備耐震設計・施工指針2014年版（独立行政法人建築研究所監修）による。 (1) 機器の据付け及び取付け 設計用水平地震力は、機器の質量（自由表面を有する水槽その他の貯槽にあっては有効質量）に、地域係数1.0及び次に示す設計用標準水平震度を乗じたものとする。 設計用標準水平震度

設置場所	機器種別	●特定の施設		○一般の施設	
		重要機器	一般機器	重要機器	一般機器
上層階、屋上及び塔屋	機器	2.0	1.5	1.5	1.0
	防振支持の機器	2.0	2.0	2.0	1.5
	水槽類	2.0	1.5	1.5	1.0
中間階	機器	1.5	1.0	1.0	0.6
	防振支持の機器	1.5	1.5	1.5	1.0
	水槽類	1.5	1.0	1.0	0.6
地階・１階	機器	1.0	0.6	0.6	0.4
	防振支持の機器	1.0	1.0	1.0	0.6
	水槽類	1.5	1.0	1.0	0.6

・上層階とは2～6階建の場合は最上階、7～9階建の場合は上層2階、10～12階建の場合は上層3階、13階建以上の場合は上層4階とする。
・中間階とは地階、1階を除く各階で上層階に該当しないもの
・重要機器は次のものを示す。
○給水機器（　　）
○排水機器（　　）
○換気機器　○空調機器　○熱源機器　○防災設備
○監視制御設備　○危険物貯蔵装置　○火を使用する設備　○避難経路上に設置する機器

(2) 設計用鉛直地震力は、設計用水平地震力の１／２とする。
※(3) 100kg以下の軽量な機器においても耐震を考慮し、同等な施工または機器メーカーの指示する方法を確実に行うこと。ただし、機器は建物構造体より取付、天井材（軽量鉄骨等）には取付ないこと。落下や転倒が生じた場合に災害が起こる場所に設置する場合は落下、転倒防止措置を行うこと。

章	項目	特記事項
空気調和設備	● 配管	(1) ステンレス鋼管の接合は，下記による。※ 呼び径60Su以下 ○SAS322規格の継手 （○プレス式　○拡管式　○ナット式　○転造ねじ式　○差込式　○カップリング式） ○ハウジング形管継手　○管端つば出しステンレス鋼管継手 呼び径75Su以上 ○溶接接合　○ハウジング形管継手 (2) 建築物導入部の変位吸収方法は、標準図（建築物導入部の変位吸収配管要領）による。 ○（ａ フレキシブルジョイント ）　○（ｂ ボールジョイント ） ○（ｃ スリークッション） ※(3) 土間スラブ等の下が土中埋設配管となる場合は、その土間スラブからステンレス製等の防食を考慮した吊り金物にて支持をとること。 ※(4) 床下、ピット内、及び屋外露出配管の吊り及び支持金物（バンド・吊金物類）及びアンカー類はステンレス製又は溶融亜鉛メッキ製とする。 屋内露出の支持金物類はステンレス製又は溶融亜鉛メッキ製、防錆処理が施されたものとする。
	● 設計用温湿度	●　下表による。　○（　　）の温度条件による。

	外気		屋内					
			一般系統					
	温度(DB)	湿度(RH)	温度(DB)	湿度(RH)	温度(DB)	湿度(RH)	温度(DB)	湿度(RH)
夏期	34.7℃	%	28.0℃	50%	℃	%	℃	%
冬期	1.8℃	%	22.0℃	40%	℃	%	℃	%

	● ○ ダクト	○低圧ダクト　（○コーナーボルト工法（長辺の長さが1,500mm以下の部分） ○アングルフランジ工法　○スパイラルダクト）とする。 ○高圧ダクトの適用範囲は図示による。 ○ステンレスダクト及び塩化ビニルダクトの仕様及び適用範囲は図示による。
	○ 風量測定口※	取り付け箇所は ○図示した位置　○外調機SA、OAダクト ○外気取り入れダクト　○送風機出口チャンバーの分岐ダクト
	○ チャンバー	(1) 内貼りを施すチャンバーの表示寸法は外法を示す。 (2) 空気調和機に取り付けるサプライチャンバー、レタンチャンバー及びダクト系で消音内貼りしたチャンバーには点検口を設け、点検口の大きさは図示による。 (3) ガラリに直接取り付けるチャンバー及びホッパーは雨水の滞留のないように施工する。
	○ ダンパー	(1) 防煙ダンパー　復帰方式（○遠隔　○　）定格入力は○DC24V、○．７A以下とする。 (2) ピストンダンパー　復帰方式（○遠隔　○　）
	● 配管材料	(1) 冷温水管　○ (2) 冷却水管　○ (3) 油　管　○ (4) 蒸気管　給気管　○ 還　管　○ (5) 高温水管　○ (6) 膨張管、空気抜き管、膨張タンクよりボイラ等への補給水管　○ (7) ドレン管　●保温材内封ドレン管、硬質塩化ビニル管、耐熱性硬質塩化ビニル管 (8) 冷媒管　●断熱材被覆銅管

章	項目	特記事項
	○ 弁類	JIS 又は JV　（○5K　○10K（図示部分）） 65A以上の冷温水・冷却水用弁装置の仕切弁はバタフライ弁とする。 ○鋼管用伸縮継手の種類は図示による。 ○ステンレス鋼管に使用する弁類は，ステンレス製とする。 ○ファンコイルユニットと冷温水管の接続部（往・還）には、ボール弁を取付ける。 ○ファンコイルユニットには、○流量調整弁　を設置する。
	○ 絶縁継手	図示の位置に取付ける。
	● 保温及び消音内貼り	○還りダクトの保温　範囲は（○図示による　○　　） ○外気ダクトの保温　範囲は（○図示による　○　　） ○膨張タンクよりボイラ等への補給水管の保温は、標準仕様書第２編 3.1.4 の温水管の項による。 ○建物内の空気抜き管の保温は、標準仕様書第２編 3.1.4 温水管の項による。 ○空気調和機及びファンコイルの排水管の保温は、標準仕様書第２編 3.1.5 の排水管の項による。 ●冷媒管の保温外装は別表－２による。
	● 冷媒配管※	冷媒用被覆銅管が外壁を貫通する場合は、塩ビ管をさや管として傾斜をつけて挿入し雨水の浸入を防止すること。また、外壁貫通部の内側及び外側の直近に支持金具を付け、冷媒管を堅固に固定すること。
	○ 保温付フレキシブルダクト※	国土交通省認定による不燃材料とし、構造は不織布、補強材、グラスウール、フィルムにより構成されていて、端末は加工されているものとする。
	● ダクト	●低圧ダクト　（○コーナーボルト工法（長辺の長さが 1500 mm以下の部分） ○アングルフランジ工法　●スパイラルダクト）とする。 ○高圧1ダクトの適用範囲は図示による。 ○ステンレスダクト及び塩化ビニルダクトの仕様及び適用範囲は図示による。 ○建築基準法による厨房の火気使用室の換気ダクトの板厚は下表による。※ （松戸市火災予防条例 第３条の４ 第１項 第１号） （松戸市火災予防条例施行規則 第３条） （単位）mm

○スパイラルダクト

ダクトの内径A	○亜鉛鉄板	○ステンレス鋼板
A ≦ 750	0.6以上	0.5以上
750＜ A ≦1000	0.8以上	0.6以上
1000＜ A ≦1250	1.0以上	0.8以上
1250＜ A	1.2以上	

○矩形ダクト（厨房設備の入力が21Kwh以下のもの）

ダクトの長辺A	○亜鉛鉄板	○ステンレス鋼板
A ≦ 300	0.6以上	0.5以上
300＜ A ≦ 450	0.6以上	
450＜ A ≦1200	0.8以上	0.6以上
1200＜ A ≦1800	1.0以上	0.8以上
1800＜ A	1.2以上	

○矩形ダクト（厨房設備の入力が21Kwhを超えるもの）

ダクトの長辺A	○亜鉛鉄板	○ステンレス鋼板
A ≦ 450	0.6以上	0.6以上
450＜ A ≦1200	0.8以上	0.6以上
1200＜ A ≦1800	1.0以上	0.8以上
1800＜ A	1.2以上	

（上表によるダクト板厚、及び板の材質の適用範囲は図示による。）

	○ 換気設備	○ 全熱交換ユニット用のOAダクト ○保温の厚さ25mm、範囲は図示による。 ○保温範囲は外壁吸込口から全熱交換ユニット間、保温仕様は別表-2による。 ○ 一般のOAダクト ○保温の厚さ25mm、範囲は図示による。 ○保温範囲はすべてとし、保温仕様は別表-2による。 ○ 全熱交換ユニット用のEAダクト ○保温の厚さ25mm、範囲は図示による。 ○保温範囲は外壁排気口から全熱交換ユニット間、保温仕様は別表-2による。 ○ 一般のEAダクト ○保温の厚さ25mm、範囲は図示による。 ○保温範囲は外壁から1m、保温仕様は別表-2による。 ○ 多湿箇所のダクトの保温要 （○保温の厚さ25mm、範囲は図示による。○　　） ○ （○厨房　○湯沸室　○調理室）の保温要 （保温範囲は屋内系統ダクトすべてとし、保温仕様は別表-2による。） ○ 換気用ダクト（保温厚25mm）※ ○ 外気取り入れ用（保温厚25mm）※ ● 給気排気用ダクト（保温の厚さ25mm・外壁より１m）※ ○ ロックウール（厚さ50mm）（厨房等で火気使用機器用の排気ダクト）※
	● 保温	

（備考）　※印の特記内容は、松戸市仕様である。

工事名	松戸市立総合医療センター附属看護専門学校 給排水管改修機械設備工事（その１）		
図面名	機械設備特記仕様書（１）		
作成年月日	令和7年2月21日	変更年月日	
縮尺	A1:N.S A3:N.S	図面番号	M-02
設計	株式会社　山岡設計事務所 千葉県知事登録　第1-2306-2686号 山岡　治 一級建築士大臣登録第272498号		
松戸市 街づくり部 建築保全課			

章	項目	特記事項
●給水設備	● 配管材料	(1) 一般配管　●水道用硬質塩化ビニルライニング鋼管（SGP-VB） ○ (2) 地中埋設配管　●水道用硬質塩化ビニルライニング鋼管（SGP-VD） ○ (3) 給水引込管　○ 引き込みは水道事業者の指定により、量水器以降の地中配管は、（○　　）とし、他の部分は(1)による。
	○ 絶縁継手	図示の位置に取付ける。
	● 弁類	JIS 又は JV　● 水道直結部分（● 10K　○　） ● その他の部分（○ 5K　●10K　）
	○ ステンレス配管を使用する場合の材質はステンレス製とする。	
●排水設備	● 配管材料	(1) 屋内 汚水管　○硬質塩化ビニル管（ＶＰ） ●耐火二層管 ○ 雑排水管　○硬質塩化ビニル管（ＶＰ） ●耐火二層管 ○ 通気管　○硬質塩化ビニル管（ＶＰ） ●耐火二層管 ○ ポンプアップ排水管　○ ○ ○ (2) 屋外 第一桝まで　●硬質ポリ塩化ビニル管(VP) ●屋外露出：カラーVP、●埋設：硬質ポリ塩化ビニル管(VP) 桝間　○ ○
	● 洗面器等の排水管	洗面器に直結する排水管は、器具トラップより１サイズアップとする。
	● 満水試験継手	○ 標準仕様書第２編 2.4.8(f)による。　● 図示の箇所に取り付ける。
	○ インバート桝 ・ため桝※	○ プラスチック桝　（○　　○ 標準図による。） ○ コンクリート桝　（○　　○ 標準図による。） ○
	○ 雨水抑制施設※	○ 雨水浸透桝　（○　　○　　）
		○ 雨水浸透管　（○　　○　　） ・松戸市雨水流出抑制施設設置指導要綱に準じる。
●給湯設備	● 配管材料	● ステンレス鋼管（SUS304） ○
	○ 弁類	JIS 又は JV　（○ 5K　○ 10K（図示部分）） ○ ステンレス配管を使用する場合の材質はステンレス製とする。
	○ 保温	湯沸器の給排気筒（二重管）の隠ぺい箇所は保温を行う。なお、保温の種別は標準仕様書第２編 3.1.5表 2.3.5のｈ・（イ）・Ⅸとする。
○消火設備	○ 配管材料	(1) 屋内消火栓　一般　○ 地中　○ (2) 連結送水管　一般　○ 地中　○ (3)
	○ 屋内消火栓種別	○易操作性１号消火栓　○１号消火栓　○２号消火栓
	○ 屋内消火栓開閉弁	○１０ｋ
	○ 保温	屋外露出配管は標準仕様書第２編 3.1.5 e2・(ハ)・Ⅷによる保温を行う。
	○ 建物導入部配管	標準図(建物導入部の変位吸収配管要領)による。
	○ 不活性ｶﾞｽ消火設備	別図による。
	○ 泡消火設備	別図による。
○ガス設備	● ガス種別	● 都市ガス ○ 液化石油ガス
	● 配管材料	●都市ガス　ガス事業者の供給規定による。 ○液化石油ガス　(1) 一般　○ (2) 地中　○
	○ 充てん容器	別途（ ○50kg　○　　○　　）×　本
	○ 集合装置	○標準図（液化石油ガス容器廻り配管要領）による　　本組。
	○ 転倒防止等	○標準図（液化石油ガス容器転倒防止施工要領）による。
	○ メーター	○親メーター（貸与品）　（○直読式　○パルス式（パルス発信器は　○買い取り ） ○子メーター（買い取り）（○直読式　○パルス式）
	○ ガス漏れ警報器	○本工事（図示による）　○別途工事 ○外部警報端子（○　無　○　有　）
	○ 漏洩検知装置	○要　○不要
	○ 電気防食	○要　○不要
	○ 引込負担金等	○要（　○別途工事　○本工事）　○不要
	○ バルク貯槽	○横型　○竪型　（液化石油ガス貯蔵能力　　ｋｇ）
●撤去工事	● 保温材	保温材は、配管・ダクト等より分離する。
	● 支持金物等	ダクト及び配管等の支持金物及び吊り金物は本工事にて撤去する。
	● 撤去跡処理※	撤去跡は、塗装及び防食処理等を行うこと。また雨水の浸入などが生じる場所及び部分については防水処理を行うこと。
●衛生器具設備	●自動洗浄装置及びその組み込み小便器	●個別感知フラッシュ方式（●AC電源　○自己発電）
	○標記板	○要（材質：　　）　（○大便器　○小便器　○　　）
	●自動水栓の電源供給方式	●AC電源　○自己発電
	○衛生器具ユニット	○図示による。
	●衛生器具付属水栓	水抜栓を使用する場合は、水栓は固定こま式とする。

別表-1

機材等	

別表－２
保温工事仕様　　＊ 適用する保温区分 （ ● 印の付いたものを適用し、○ 印のものは適用しない。）

区分	項目	施工箇所	保温材 GW	保温材 RW	保温材 PSF	保温仕様	外装材 カラ-SUS	外装材 AL
給排水衛生設備配管	給水管		○	○	●	保温筒＋鉄線(PSFの場合粘着テープ)＋合成樹脂製カバー	—	—
給水管	排水管・通気管	屋内露出(一般居室、廊下)	○	○	○		—	—
排水管（屋外露出、床下、暗渠内は除く。）（空調機等の排水管含む。）	給湯管		○	○	—		—	—
	給水管	機械室、書庫、倉庫	○	○	●	保温筒＋鉄線(PSFの場合粘着テープ)＋原紙＋アルミガラスクロス	—	—
	排水管・通気管		○	○	○		—	—
	給湯管		●	○	—		—	—
通気管（屋外露出、床下、暗渠内は除く。）（排水管の分岐点より100mm以下の部分）	給水管	天井内、パイプシャフト内、空隙壁中	●	○	○	アルミガラスクロス化粧保温筒＋アルミガラスクロス粘着テープ	—	—
	排水管・通気管		○	○	○		—	—
	給湯管		●	○	—		—	—
消火管（屋外露出部分のみ）	給水管・消火管	屋外露出（バルコニー、開放廊下含む）浴室、厨房等の多湿箇所（厨房の天井内は含まない）	○	○	●	保温筒＋鉄線(PSFの場合粘着テープ)＋ポリエチレンフィルム＋外装材	○	○
	給湯管		○	○	—		○	○
給湯管（膨張管含む）	給水管	暗渠内(ピット内含む)	○	○	●	保温筒＋鉄線(PSFの場合粘着テープ)＋ポリエチレンフィルム＋着色アルミガラスクロス	—	—
	給湯管		○	○	—		—	—
	保温厚	グラスウール保温筒(GW) ロックウール保温筒(RW)	80A以下：20mm、100A～150A：25mm、200A以上：40mm					
		ポリスチレンフォーム保温筒(PSF)	80A以下：20mm、100A 以上：25mm					
給排水衛生設備機器 鋼製タンク 排気筒 貯湯タンク	鋼製タンク	屋内	○	○	○	鋲(PSFの場合鋲又は接着剤)＋保温板(厚さ25mm)＋ポリスチレンフィルム＋鉄線＋外装材	○	—
		屋外	○	○	○		—	○
	貯湯タンク	屋内	○	○	—	鋲＋保温板(厚さ25mm)＋鉄線＋外装材	○	—
		屋外	○	○	—		—	○
	排気筒	隠ぺい箇所	—	○	—	保温帯(厚さ50mm)＋鉄線＋アルミガラスクロス＋金網	—	—
冷媒管（断熱材被覆銅管）	ガス管保温厚※	20mm以上				液管保温厚　10mm以上		
	外装材	屋内露出(一般居室、廊下)	○ 合成樹脂カバー　○ 保温化粧ケース（ ○　　製 ）					
		機械室、書庫、倉庫	○ 合成樹脂カバー　○ 保温化粧ケース（ ○　　製 ）					
		屋外露出	○ ステンレス鋼板　○ ○ 合成樹脂カバー　○ 保温化粧ケース（ ○　　製 ）					
空気調和設備機器 冷温水ヘッダー 冷水ヘッダー 冷温水タンク 冷水タンク 温水ヘッダー 蒸気ヘッダー 温水タンク 還水タンク 熱交換器 膨張タンク	冷温水ヘッダー 冷水ヘッダー 冷温水タンク 冷水タンク	屋内	○	○	○	鋲(PSFの場合鋲又は接着剤)＋保温板(厚さ50mm)＋ポリスチレンフィルム＋鉄線＋外装材	○	—
		屋外	○	○	○		—	○
	温水ヘッダー 蒸気ヘッダー 温水タンク 還水タンク 熱交換器	屋内	○	○	—	鋲＋保温板(厚さ50mm)＋鉄線＋外装材	○	—
		屋外	○	○	—		—	○
	膨張タンク	屋内	○	○	—	鋲＋保温板(厚さ25mm)＋鉄線＋外装材	○	—
		屋外	○	○	—		—	○
空気調和設備ダクト		屋内露出(一般居室、廊下)	○	○	—	鋲＋保温板(厚さ50mm)＋外装材	○	—
	長方形ダクト（全熱交換器用ダクトは、保温厚25mmとする）	機械室、書庫、倉庫、屋内隠ぺい、ダクトシャフト内	○	○	—	鋲＋アルミガラスクロス化粧保温板(厚さ25mm)＋アルミガラスクロス粘着テープ	—	—
		屋外露出（バルコニー、開放廊下含む）浴室、厨房等の多湿箇所（厨房の天井内は含まない）	○	○	—	鋲＋保温板(厚さ50mm)＋ポリスチレンフィルム＋鉄線＋外装材	○	○
	スパイラルダクト（全熱交換器用ダクトは、保温厚25mmとする）	屋内露出(一般居室、廊下)	○	○	—	保温板(厚さ50mm)＋外装材	○	—
		機械室、書庫、倉庫、屋内隠ぺい、ダクトシャフト内	○	○	—	アルミガラスクロス化粧保温板(厚さ25mm)＋アルミガラスクロス粘着テープ	—	—
		屋外露出（バルコニー、開放廊下含む）浴室、厨房等の多湿箇所（厨房の天井内は含まない）	○	○	—	保温板(厚さ50mm)＋ポリスチレンフィルム＋鉄線＋外装材	○	○
消音内張り	サプライチャンバー		○	○	—	鋲＋保温板(厚さ50mm)＋ガラスクロス＋鋼きっ甲金網	—	—
	消音チャンバー・消音エルボ		○	○	—	鋲＋保温板(厚さ25mm)＋ガラスクロス	—	—

※ 凡例　保温材　GW ：グラスウール保温材　RW ：ロックウール保温材　PSF：ポリスチレンホーム保温材
外装材　ｶﾗｰ：カラー亜鉛鉄板　SUS：ステンレス鋼板　AL ：溶融アルミニウム－亜鉛鉄板
※ 不燃材以外の配管が建築基準法施行令第112条第15項に規定する準耐火構造等の防火区画を貫通する場合貫通部より 1m 以上はロックウール保温材を使用すること
※ 配管の保温は、継手及び弁類を含む。図面及び本特記仕様書に記載されていない事項は、標準仕様書による。

（備考）　※印の特記内容は、松戸市仕様である。

工事名	松戸市立総合医療センター附属看護専門学校 給排水管改修機械設備工事（その１）		
図面名	機械設備特記仕様書 （２）		
作成年月日	令和7年2月21日	変更年月日	
縮尺	A1:N.S A3:N.S	図面番号	M-03
設計	株式会社　山岡設計事務所 千葉県知事登録　第1-2306-2686号 山岡　治 一級建築士大臣登録第272498号		
松戸市 街づくり部 建築保全課			

機器表（撤去）

記号	機器名称	仕様	電気 φ	電気 V	電気 Kw	台数	設置場所	備考
T-1 撤去	受水タンク	型式　ＦＲＰ製パネルタンク（単板）中間仕切付　耐震　2/3G 3000　Ｗ　x　2000　Ｄ　x　2000　Ｈ　（有効容量　9.0m3） 付属品　ﾏﾝﾎｰﾙ600φ，内外ﾀﾗｯﾌﾟ，架台H=150（溶融亜鉛ﾒｯｷ），電極棒4P 通気口100(SUS製防虫網付)，電極座，他付属品一式 ※電極棒4Pは電気工事				1基	1階　機械室	ｺﾝｸﾘｰﾄ基礎 H=500
T-2 撤去	高置タンク	型式　ＦＲＰ製パネルタンク（複合板）中間仕切付　耐震　1.0G 2000　Ｗ　x　1500　Ｄ　x　2000　Ｈ　（有効容量　4.5m3） 付属品　ﾏﾝﾎｰﾙ，架台H=1500（溶融亜鉛ﾒｯｷ），電極棒5P 通気口100(SUS製防虫網付)，電極座，他付属品一式 ※電極棒5Pは電気工事				1基	屋上	ｺﾝｸﾘｰﾄ基礎 H=500
T-3 撤去	消防用補給水槽	型式　ＦＲＰ製一体型タンク（単板）　耐震　1.0G 600　Ｗ　x　600　Ｄ　x　645　Ｈ　（有効容量　0.2m3） 付属品　ﾏﾝﾎｰﾙ，架台H=100（溶融亜鉛ﾒｯｷ），電極棒3P 通気口50(SUS製防虫網付)，電極座，他付属品一式 ※電極棒3Pは電気工事				1基	屋上	ｺﾝｸﾘｰﾄ基礎 H=500
P-1 撤去	揚水ポンプ	型式　多段タービンポンプ（自動交互単独運転） 40　φ　x　40　φ　x　150　L/min　x　320 Kpa 付属品　制御盤（電気工事） 他付属品一式	3	200	2.2	2	1階　機械室	ｺﾝｸﾘｰﾄ基礎 H=300
P-2 再利用	消火ポンプ	型式　消火ポンプユニット（消防適合品） 65　φ　x　65　φ　x　300　L/min　x　310 Kpa 付属品　制御盤、呼水槽、共通ﾍﾞｰｽ 付属品一式	3	200	5.4	1	1階　機械室	ｺﾝｸﾘｰﾄ基礎 H=300
HB-1 再利用	屋内消火栓設備	型式　埋込型屋内消火栓ホース格納箱（総合盤併設型） 鋼板製ボックス 750　Ｗ　x　180　Ｄ　x　1350　Ｈ 付属品　開閉弁40A，40A15mmﾎｰｽx2，ﾉｽﾞﾙ，ﾎｰｽ架 他付属品一式				7	1～3階　廊下 4階　階段室	
ST-1 撤去	滅菌装置	型式　ダイヤフラム型定量ポンプ 最大吐出量　28.0　cc/min 最大吐出圧力　10　Kg/cm2 付属品　ｹﾐｶﾙﾀﾝｸ100L、ｸﾛﾙﾃｽﾀｰ、ﾋﾞｭｰﾗｯｸｽ6%　18L				1	1階　機械室	ｺﾝｸﾘｰﾄ基礎（残置） H=300
撤去	ガスファンヒーター	型式　ガスクリーンヒーター （VGB-90M）				7	2階　在宅看護実習室 情報科学室、ﾐｰﾃｨﾝｸﾞﾙｰﾑ	
撤去	ガスファンヒーター	型式　ガスクリーンヒーター （GFH-4002S）				6	2階　第一　～　第三教室	

器具表（撤去）

器具名称	仕様	1期工事 1階 女子便所	男子便所	倉庫	湯沸室	教務室	女性ロッカー室	男性ロッカー室	管理人室DK	管理人室洗面	2階 女子便所	男子便所	湯沸室	3階 女子便所	S K	前室	屋外	合計	備考
洋風大便器	C21　TV750JL(ﾌﾗｯｼｭﾊﾞﾙﾌﾞ)，紙巻器，温水便座	2									2			3				7	
洋風大便器	C21　TV750JL(ﾌﾗｯｼｭﾊﾞﾙﾌﾞ)，紙巻器，普通便座	1	1								1							3	
和風大便器	C375ＶＦ　TV750C,紙巻器	1	1								1	1		1				5	
壁掛小便器	U307　T60P		1									1						2	
洗面器	L220　T20S(立水栓)、Pﾄﾗｯﾌﾟ	2	1				1	1			2	1		2				10	
洗面器	L220　TL307AH(混合栓)、Pﾄﾗｯﾌﾟ 湯沸室5号給湯器より					1												1	
化粧鏡		2	1			1	1	1			2	1		2				11	
掃除用流し	SK22A　T23AEQ20C(横水栓)、TK22、TN114、T9R、HH0460x2、T375GEP			1								1			1			3	
洗濯機ﾊﾟﾝ	PW20　排水ﾄﾗｯﾌﾟ、横水栓									1						1		2	
湯水混合栓	T133BS13 ﾊﾞﾗﾝｽ釜より(管理人室洗面)				1				1									2	
洗面化粧台	L=600									1								1	
バランス釜										1								1	
散水栓	T27-13　鋳鉄製ﾎﾞｯｸｽ共																2	2	
自在水栓	T130AR13												2					2	

凡例

記号	名称	施工区分	仕様 改修前
——— - ———	給水管	地中埋設、土間	水道用硬質塩化ビニルライニング鋼管（ＳＧＰ-ＶＤ）
——— - ———	給水管	床下ピット内，コンクリート内	水道用硬質塩化ビニルライニング鋼管（ＳＧＰ-ＶＢ）
——— - ———	給水管	天井内，ＰＳ内，空隙壁内，屋外露出	水道用硬質塩化ビニルライニング鋼管（ＳＧＰ-ＶＢ）
———< ———	排水管	土間,床下ピット内，コンクリート内	排水用鋳鉄管
———< ———	排水管	天井内，ＰＳ内，空隙壁内，耐火要求箇所	排水用鋳鉄管
——— ———	排水管	土間,床下ピット内，コンクリート内	配管用炭素鋼鋼管(白)
——— ———	排水管	天井内，ＰＳ内，空隙壁内，耐火要求箇所	配管用炭素鋼鋼管(白)　硬質塩化ビニール管（ＶＰ）(VP表示のある配管)
----- -----	通気管	土間,床下ピット内，コンクリート内	配管用炭素鋼鋼管(白)
----- -----	通気管	天井内，ＰＳ内，空隙壁内，耐火要求箇所	硬質塩化ビニール管（ＶＰ）
——— I ———	給湯管	天井内，ＰＳ内，空隙壁内，屋外露出	耐熱性硬質塩化ﾋﾞﾆﾙﾗｲﾆﾝｸﾞ鋼管（ＨＴＬＰ）
——— BH ———	追焚管（往・返管）	天井内，ＰＳ内，空隙壁内，屋外露出	被覆鋼管(M)
——— G ———	ガス管	天井内，ＰＳ内，空隙壁内，露出	配管用炭素鋼鋼管（白管）
——— X ———	消火管	天井内，ＰＳ内，空隙壁内，露出	配管用炭素鋼鋼管（白管）
—▷◁— —▷◁—	仕切弁		ＪＩＳ１０Ｋ
—⊓⊔—	フレキシブル継手		ベローズ型 ステンレス製
◎	汚水桝		コンクリート製インバート桝（既設）
	排気ダクト		亜鉛鉄板製スパイラルダクト
	風量調整ダンパー		
	吸込口		

工事名	松戸市立総合医療センター附属看護専門学校 給排水管改修機械設備工事（その１）		
図面名	【改修前】衛生設備　機器表・器具表・凡例		
作成年月日	令和7年2月21日	変更年月日	
縮尺	A1:N.S A3:N.S	図面番号	M-04
設計	株式会社　山岡設計事務所 千葉県知事登録　第1-2306-2686号 山岡　治 一級建築士大臣登録第272498号		
松戸市 街づくり部 建築保全課			

機器表(新設)

記号	機器名称	仕様	電気 φ	電気 V	電気 Kw	台数	設置場所	備考
TW-1	受水タンク	型式　ＦＲＰ製パネルタンク（単板）中間仕切付　耐震　1.0G 3000 W x 2000 D x 2000 H　(有効容量 9.0m3) 付属品　ﾏﾝﾎｰﾙ600φ,内外ﾀﾗｯﾌﾟ,架台H=150（溶融亜鉛ﾒｯｷ）,電極棒5P 通気口100(SUS製防虫網付),電極座,他付属品一式 ※水槽は不断水工法による更新				1基	1階　機械室	参考型番　積水ｱｸｱｼｽﾃﾑ PSFA-12-10N ｺﾝｸﾘｰﾄ基礎（既設再利用） H=500
TF-1	消防用補給タンク	型式　ＦＲＰ製一体型タンク(複合板)　耐震　1.5G 700 W x 700 D x 600 H　(有効容量 0.2m3) 付属品　ﾏﾝﾎｰﾙ,,架台H=100（溶融亜鉛ﾒｯｷ）,電極棒4P 通気口50(SUS製防虫網付),電極座,他付属品一式				1基	屋上	参考型番　積水ｱｸｱｼｽﾃﾑ SED-200 ｺﾝｸﾘｰﾄ基礎（既設再利用） H=600
PWU-1	給水ポンプユニット	型式　推定末端圧力一定制御（自動交互並列運転） 65 φx50 φx500 L/minx 500Kpa 付属品　制御盤（一括警報務電圧a接点端子付）,防振架台 他付属品一式	3	200	3.7x2	1組	1階　機械室	参考型番　テラル NX-65VFC502-3.7W-e ｺﾝｸﾘｰﾄ基礎（既設再利用） H=300
EW-1	電気温水器	型式　電気温水器　手洗い用 貯湯量　3 L 付属品　密閉式排水ﾎﾞｯﾊﾞｰ、他付属品一式	1	100	0.6	(1)	1階　教務室	※衛生器具に付属 (REAH03B1RS28SK)

凡例

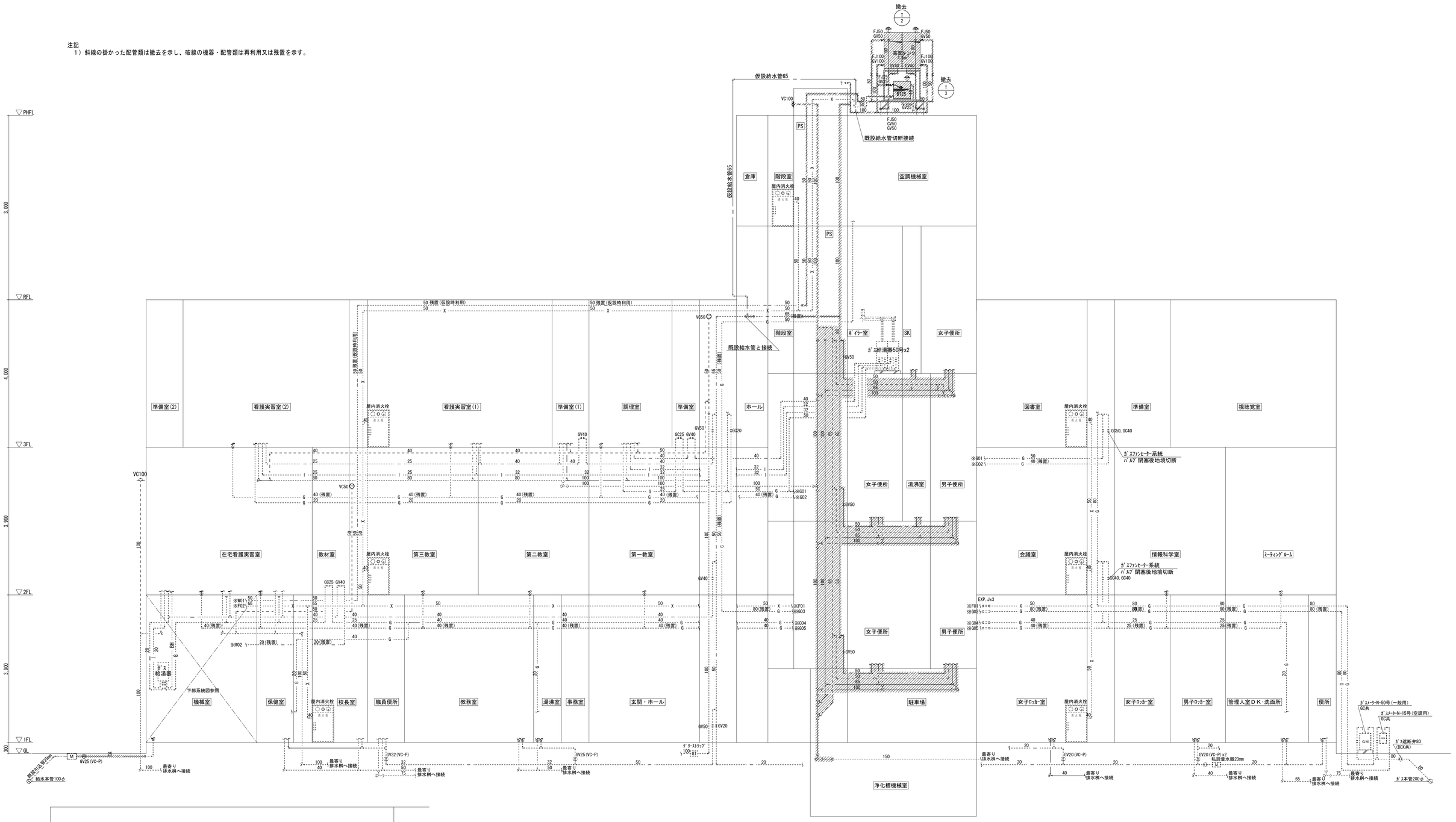
記号	名称	施工区分	仕様 改修後
―――-――――	給水管	地中埋設・土間	水道用硬質塩化ビニルライニング鋼管（ＳＧＰ-ＶＤ）
―――-――――	給水管	床下ピット内、コンクリート内	水道用硬質塩化ビニルライニング鋼管（ＳＧＰ-ＶＢ）
―――-――――	給水管	天井内，ＰＳ内，空隙壁内，屋外露出	水道用硬質塩化ビニルライニング鋼管（ＳＧＰ-ＶＢ）
―――<――――	排水管	土間,床下ピット内，コンクリート内	硬質塩化ビニール管（ＶＰ）
―――<――――	排水管	天井内，ＰＳ内，空隙壁内，耐火要求箇所	耐火二層管(内管ＶＰ)
――――――――	排水管	土間,床下ピット内，コンクリート内	硬質塩化ビニール管（ＶＰ）
――――――――	排水管	天井内，ＰＳ内，空隙壁内，耐火要求箇所	耐火二層管(内管ＶＰ)
----------	通気管	土間,床下ピット内，コンクリート内	硬質塩化ビニール管（ＶＰ）
----------	通気管	天井内，ＰＳ内，空隙壁内，耐火要求箇所	耐火二層管(内管ＶＰ)
―――― H ――――	給湯管	天井内，ＰＳ内，空隙壁内，屋外露出	耐熱性硬質塩化ﾋﾞﾆﾙﾗｲﾆﾝｸﾞ鋼管（ＨＴＬＰ）
―――― BH ――――	追焚管（往･返管）	天井内，ＰＳ内，空隙壁内，屋外露出	被覆鋼管(M)
―――― G ――――	ガス管	天井内，ＰＳ内，空隙壁内，露出	配管用炭素鋼鋼管（白管）
―――― X ――――	消火管	天井内，ＰＳ内，空隙壁内，露出	配管用炭素鋼鋼管（白管）
―▷◁― ―+▷◁+―	仕切弁		ＪＩＳ１０Ｋ
―∩∪―	フレキシブル継手		ベローズ型 ステンレス製
◎	汚水桝		コンクリート製インバート桝（既設）
	排気ダクト		亜鉛鉄板製スパイラルダクト
	風量調整ダンパー		
	吸込口		

器具表（新設）

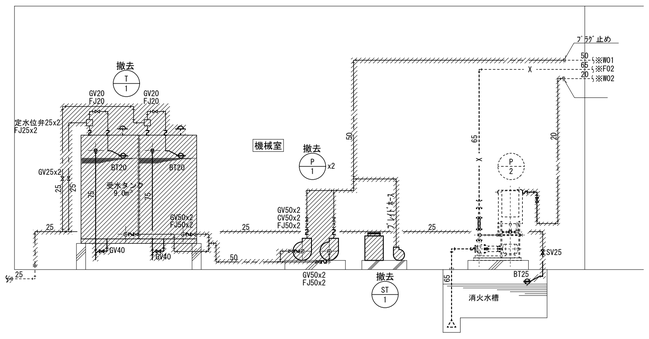
器具名称	仕様（上段／ＴＯＴＯ，　下段／ＬＩＸＩＬ）	1期工事 1階 女子便所	男子便所	倉庫	湯沸室	教務室	女性ロッカー室	男性ロッカー室	管理人室ＤＫ	管理人洗面	2階 女子便所	男子便所	湯沸室	3階 女子便所	S K	前室	屋外	合計	備考
洋風大便器	CFS498BM　TCF5831AU(ｳｫｼｭﾚｯﾄ連動自動洗浄ｼｽﾃﾑ)	4	1								4	1		3				13	
	BC-P110H　DQ-PA150CH(ｸｲｯｸｶﾝｸﾞ)、CW-PA21LQE-NEC-R1(発電式洗浄ﾘﾓｺﾝ･ﾀｯﾁｽｲｯﾁ)他																	13	AC100V
紙巻器	YH701　棚付き二連	4	1								4	1		3				13	
	CF-63HST　棚付き二連																		
小便器	UFS900R　自動洗浄		1									1						2	AC100V
	U-A51MP　自動洗浄																		
洗面器	L210C　TLE28SS1A(自動水栓)、TLDP2105JA、TL250D		1				1	1				1		2				6	AC100V
	L-132AG　AM-300CV1(自動水栓)、LF-4PAL、LF-6L、SF-10E																		
洗面器	L210C　TLE28SS1A(自動水栓)、TLDS2105JA、TL250D	2									2							4	AC100V
	L-132AG　AM-300CV1(自動水栓)、LF-4SAL、LF-6L、SF-10E																		
洗面器	L210C　REAH03B1RS28SK(電気温水器付自動水栓),TLDP2105JA、TL250D					1												1	AC100V
	L-132AG　EHMS-CA6SC1-300C(電気温水器付自動水栓),LF-3VK、LF4PAL、SF-10E、LF-6L、EFH-HM1																		
化粧鏡	YM456QF　450x600	2	1			1	1	1			2	1		2				11	
	KF-456QA　457ｘ610																		
洗面化粧台	LDBA060BAGDS1A　L=600　LMBA060B1GDC1G									1								1	AC100V
	FTV1N-603/VP1W　L=600　MFTX1-601XPJU																		
マルチシンク	SK500　T200BSQ13C(横水栓)、T220D、T6PMR、795-001			1											1			2	
	S-17　LF-7E-19-U(横水栓)、SF-25SAP、SF-10E、KF-300N、795-001																		
洗濯機パン	PWP80ON2W　PJ2009NW(縦引ﾄﾗｯﾌﾟ)、TW1R(洗濯機用横水栓)								1							1		2	
	PF-8064AC/FW1-BL　TP-51/FW1(縦引ﾄﾗｯﾌﾟ)、LF-WJ50K0A(洗濯機用横水栓)																		
ｼﾝｸﾞﾙﾚﾊﾞｰ混合水栓	TKS05312J				1								1					2	
	SF-WM435SY																		
キー式横水栓	T200CSNR13																2	2	
	LF-7RG-13-U																		
単水栓	T23AE20C（横水栓、F4-20A）								1									1	

工事名	松戸市立総合医療センター附属看護専門学校 給排水管改修機械設備工事（その１）		
図面名	【改修後】衛生設備　機器表・器具表・凡例		
作成年月日	令和7年2月21日	変更年月日	
縮尺	A1:N.S A3:N.S	図面番号	M-05
設計	株式会社　山岡設計事務所 千葉県知事登録　第1-2306-2686号 山岡　治 一級建築士大臣登録第272498号		
松戸市 街づくり部 建築保全課			

注記
1）斜線の掛かった配管類は撤去を示し、破線の機器・配管類は再利用又は残置を示す。

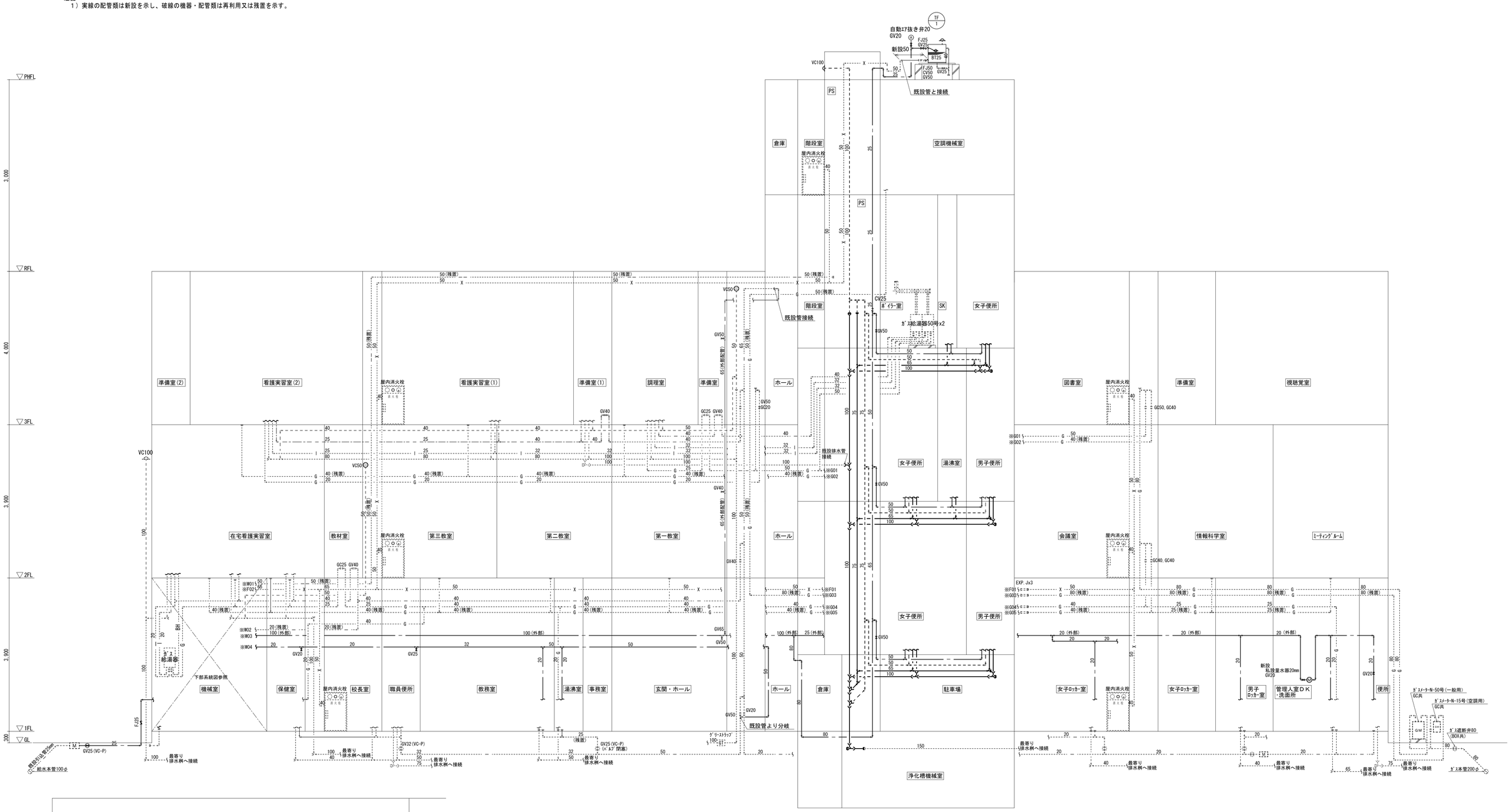


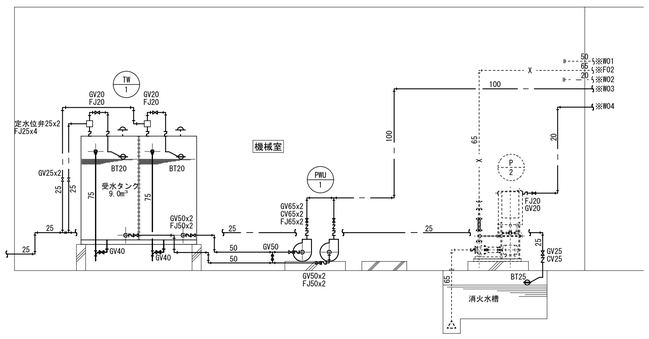
系統図



工事名	松戸市立総合医療センター附属看護専門学校 給排水管改修機械設備工事（その１）		
図面名	【改修前】衛生設備　系統図		
作成年月日	令和7年2月21日	変更年月日	
縮 尺	A1:N.S A3:N.S	図面番号	M-06
設 計	株式会社　山岡設計事務所 千葉県知事登録　第1-2306-2686号 山岡　治 一級建築士大臣登録第272498号		
松戸市 街づくり部 建築保全課			

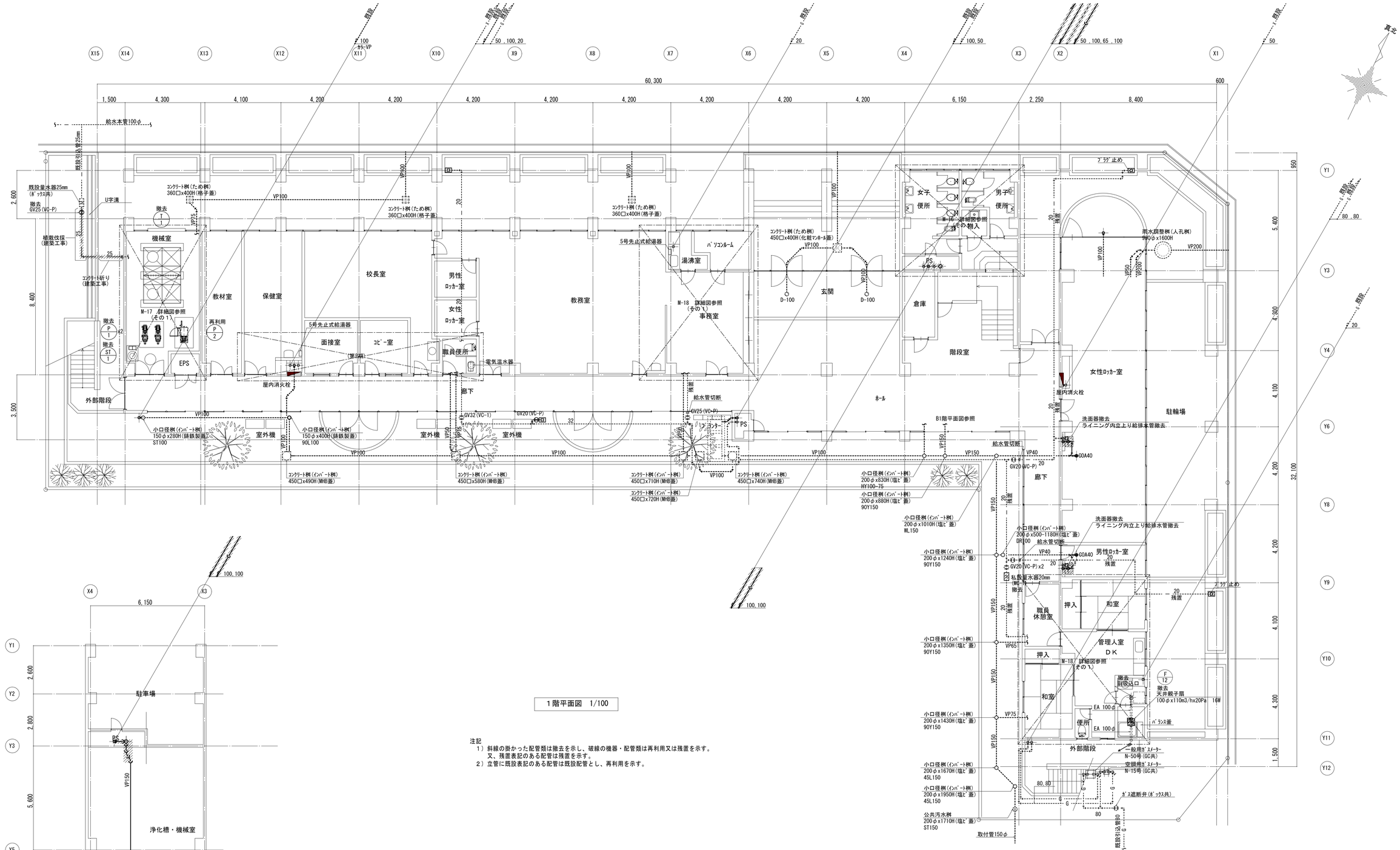
注記
1）実線の配管類は新設を示し、破線の機器・配管類は再利用又は残置を示す。

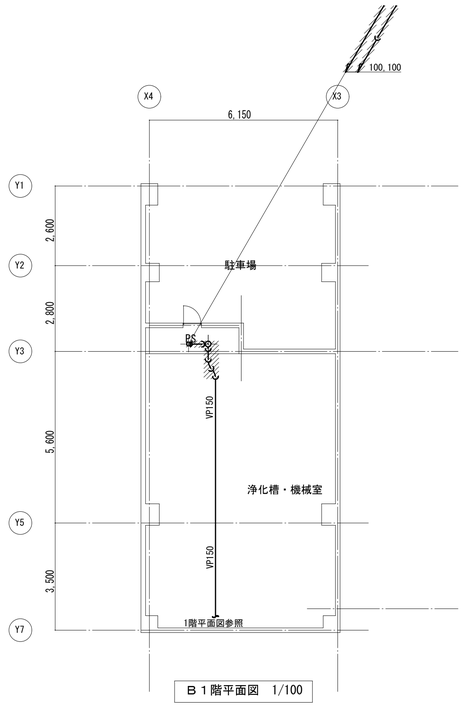




系統図

工事名	松戸市立総合医療センター附属看護専門学校 給排水管改修機械設備工事（その１）		
図面名	【改修後】衛生設備　系統図		
作成年月日	令和7年2月21日	変更年月日	
縮　尺	A1:N.S A3:N.S	図面番号	M-07
設　計	株式会社　山岡設計事務所 千葉県知事登録　第1-2306-2686号 山岡　治 一級建築士大臣登録第272498号		
松戸市 街づくり部 建築保全課			





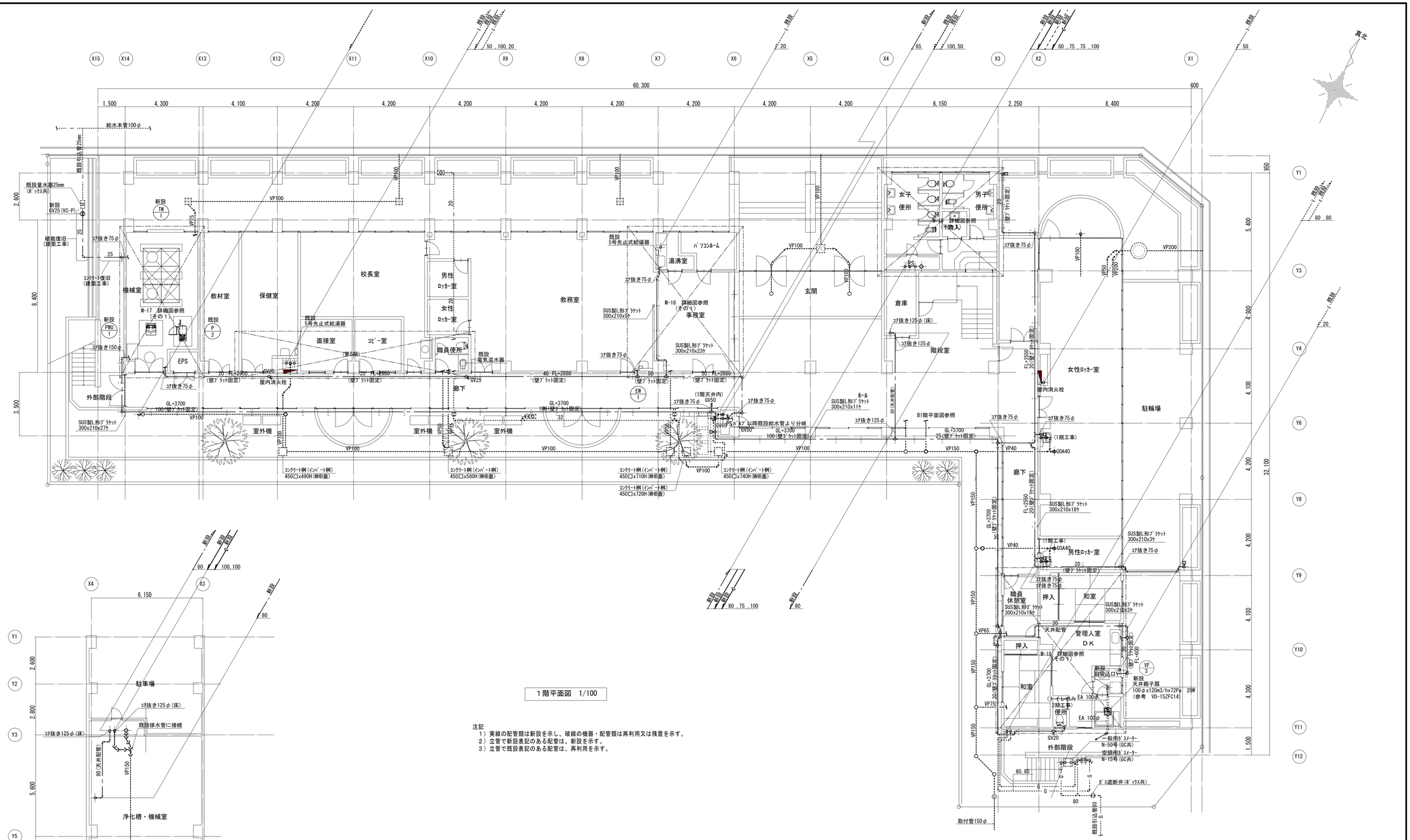
B１階平面図　1/100

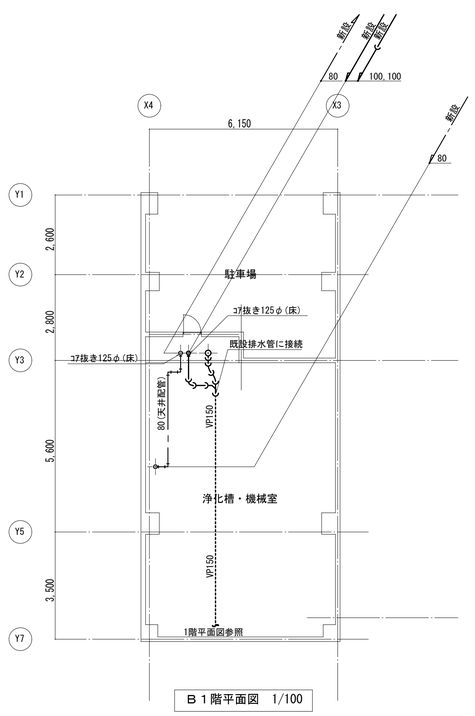
１階平面図　1/100

注記
1）斜線の掛かった配管類は撤去を示し、破線の機器・配管類は再利用又は残置を示す。
　又、残置表記のある配管は残置を示す。
2）立管に既設表記のある配管は既設配管とし、再利用を示す。

記号	機器名称	仕様	電気 φ	電気 V	電気 W	起動台数	設置場所 階	設置場所 部屋名	備考
F-12	排気ファン	型式 天井換気扇 100φx110m3/hx20Pa	1	100	16(1.5)	3	1	管理人室	

工事名	松戸市立総合医療センター附属看護専門学校 給排水管改修機械設備工事（その１）
図面名	【改修前】衛生設備　１階平面図
作成年月日	令和7年2月21日
変更年月日	
縮尺	A1:1/100 A3:1/200
図面番号	M-08
設計	株式会社　山岡設計事務所 千葉県知事登録　第1-2306-2686号 山岡　治 一級建築士大臣登録第272498号
松戸市 街づくり部 建築保全課	





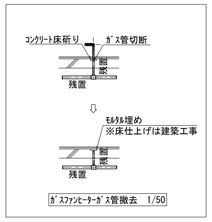
Ｂ１階平面図　1/100

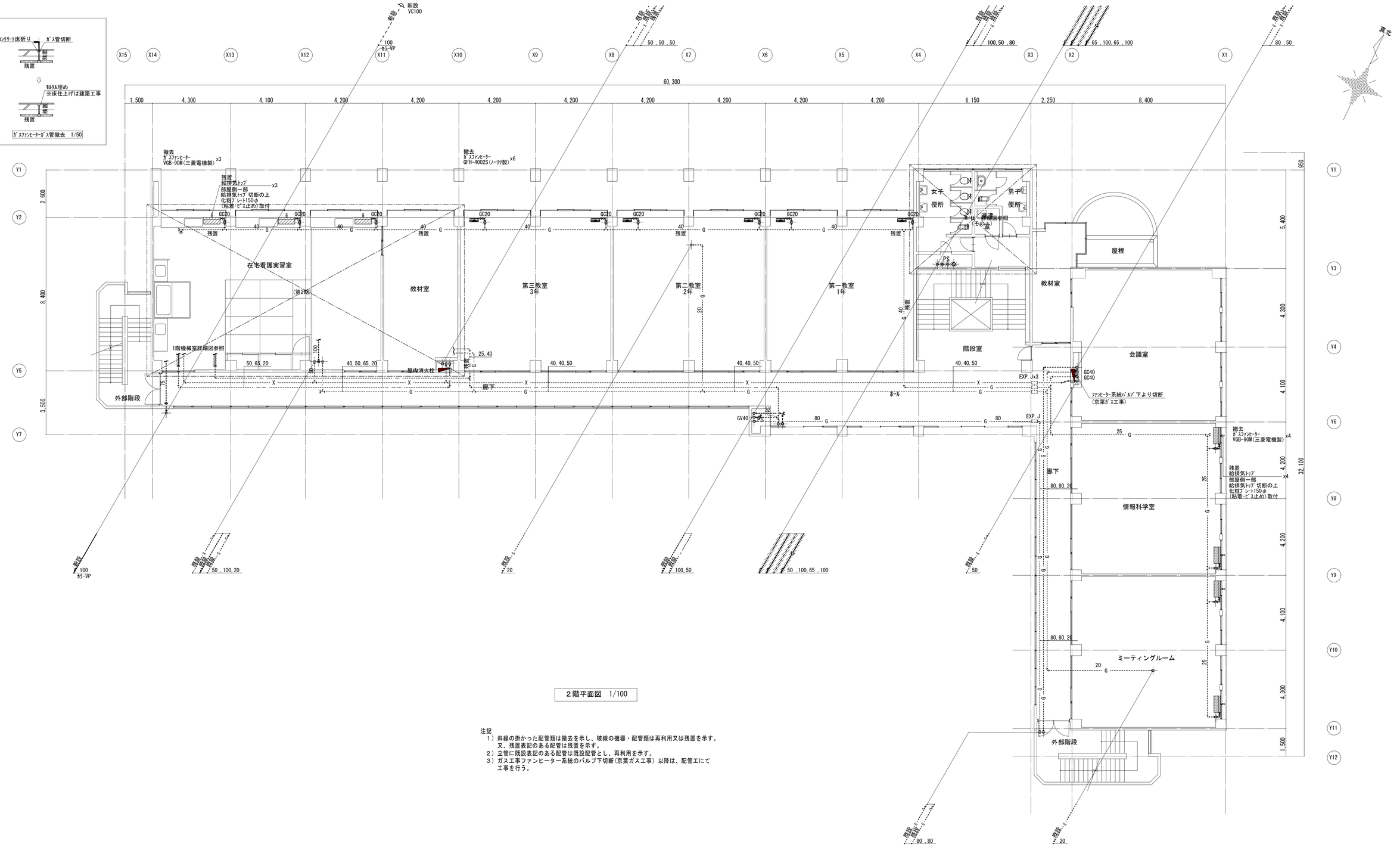
１階平面図　1/100

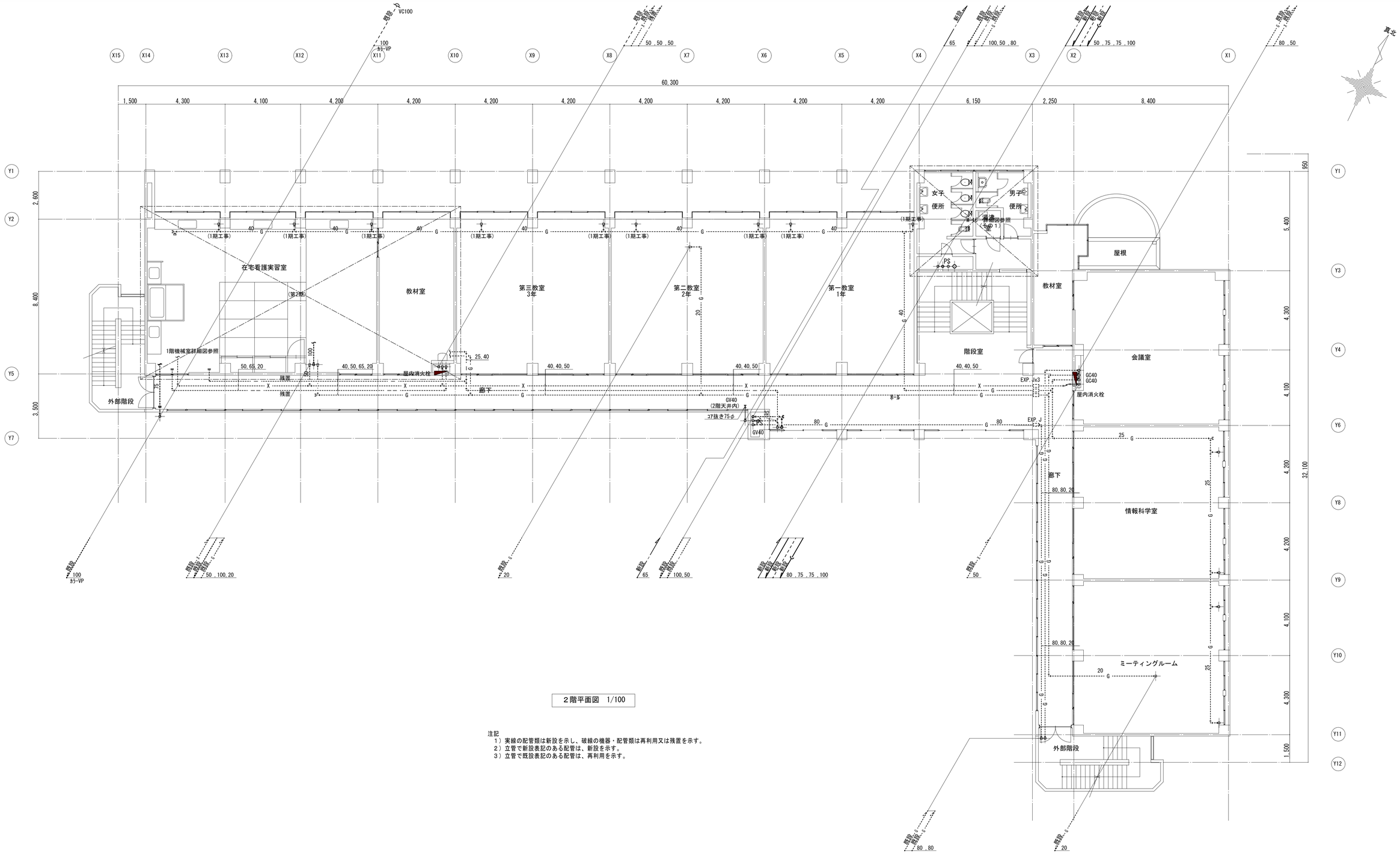
注記
1）実線の配管類は新設を示し、破線の機器・配管類は再利用又は残置を示す。
2）立管で新設表記のある配管は、新設を示す。
3）立管で既設表記のある配管は、再利用を示す。

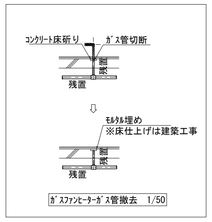
記号	機器名称	仕様	電気 φ	電気 V	電気 W	起動台数	設置場所 階	設置場所 部屋名	備考
VF-3	排気ファン	型式 天井換気扇 150 φx300 m3/h x 95Pa	1	100	44	L-S	3	1 管理人室	VD-15ZFC14

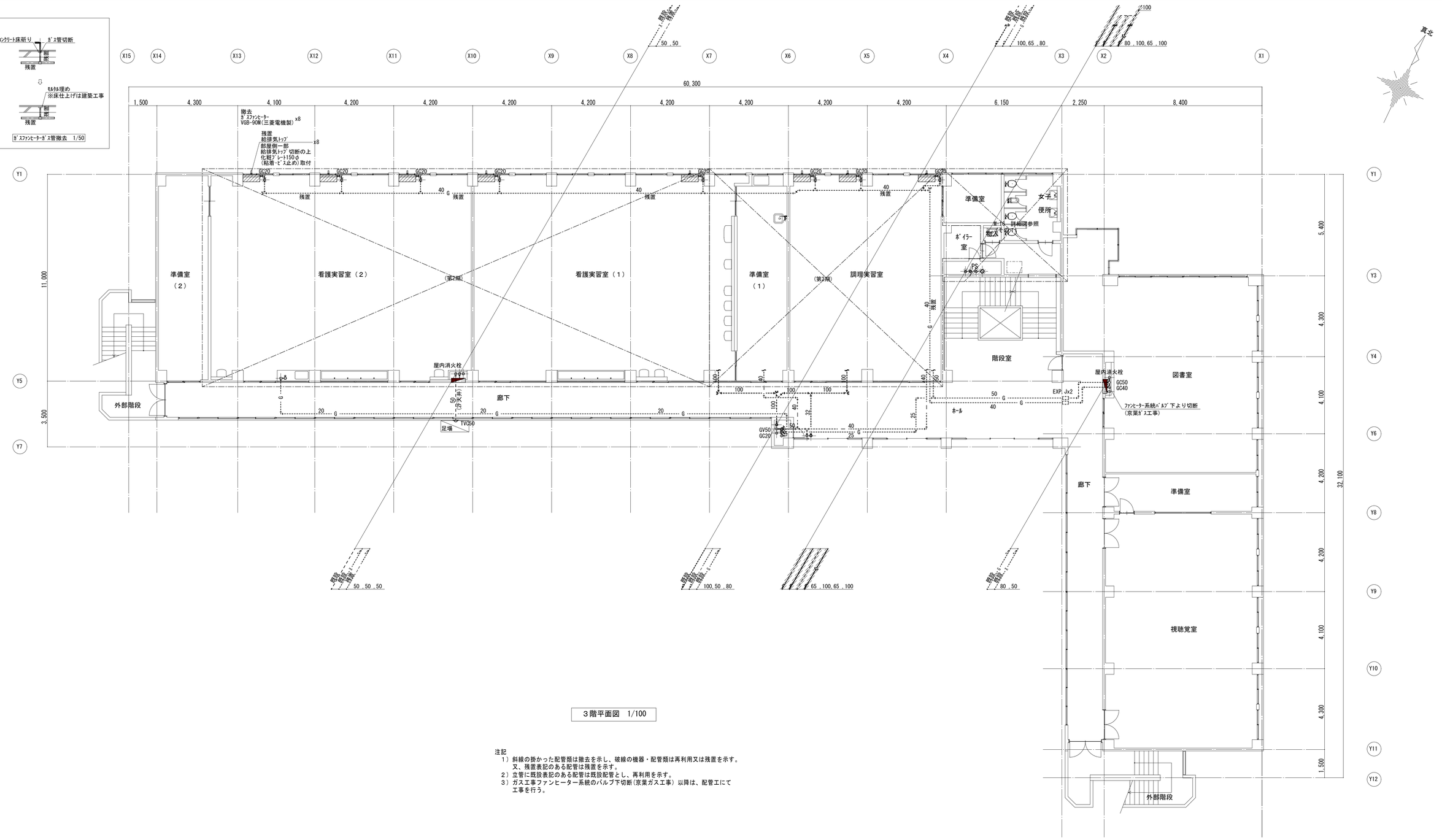
工事名	松戸市立総合医療センター附属看護専門学校 給排水管改修機械設備工事（その１）
図面名	【改修後】　衛生設備　１階平面図
作成年月日	令和7年2月21日
変更年月日	
縮尺	A1:1/100 A3:1/200
図面番号	M-09
設計	株式会社　山岡設計事務所 千葉県知事登録　第1-2306-2686号 山岡　治 一級建築士大臣登録第272498号
松戸市 街づくり部 建築保全課	




X15
X14
X13
X12
X11
X10
X9
X8
X7
X6
X5
X4
X3
X2
X1
新設
VC100
100
ｶﾗｰVP
50 , 50 , 50
100, 50 , 80
65 , 100, 65 , 100
80 , 50
60,300
1,500
4,300
4,100
4,200
4,200
4,200
4,200
4,200
4,200
4,200
4,200
6,150
2,250
8,400
Y1
Y2
Y3
Y4
Y5
Y6
Y7
Y8
Y9
Y10
Y11
Y12
2,600
8,400
3,500
950
5,400
4,300
4,100
4,200
4,100
4,300
1,500
32,100
撤去
ｶﾞｽﾌｧﾝﾋｰﾀｰ
VGB-90M(三菱電機製) x3
撤去
ｶﾞｽﾌｧﾝﾋｰﾀｰ
GFH-4002S(ノーリツ製) x6
残置
給排気ﾄｯﾌﾟ x3
部屋側一部
給排気ﾄｯﾌﾟ切断の上
化粧ﾌﾟﾚｰﾄ150φ
(粘着・ﾋﾞｽ止め)取付
GC20
40
G
残置
在宅看護実習室
(第2期)
教材室
第三教室
3年
第二教室
2年
第一教室
1年
女子
便所
男子
便所
更衣室
(その2)
1階機械室詳細図参照
PS
階段室
屋根
教材室
会議室
情報科学室
ミーティングルーム
外部階段
廊下
ﾎｰﾙ
屋内消火栓
50, 65, 20
40, 50, 65, 20
25, 40
40, 40, 50
40, 40, 50
40, 40, 50
EXP. J x3
EXP. J
GC40
GC40
ﾌｧﾝﾋｰﾀｰ系統ﾊﾞﾙﾌﾞ下より切断
(京葉ｶﾞｽ工事)
GV40
80
80
撤去
ｶﾞｽﾌｧﾝﾋｰﾀｰ
VGB-90M(三菱電機製) x4
残置
給排気ﾄｯﾌﾟ x4
部屋側一部
給排気ﾄｯﾌﾟ切断の上
化粧ﾌﾟﾚｰﾄ150φ
(粘着・ﾋﾞｽ止め)取付
80, 80, 20
80, 80, 20
20
既設
既設
既設


X15
X14
X13
X12
X11
X10
X9
X8
X7
X6
X5
X4
X3
X2
X1
60,300
1,500
4,300
4,100
4,200
4,200
4,200
4,200
4,200
4,200
4,200
6,150
2,250
8,400
Y1
Y2
Y3
Y4
Y5
Y6
Y7
Y8
Y9
Y10
Y11
Y12
2,600
8,400
3,500
950
5,400
4,300
4,100
4,200
4,100
4,300
1,500
32,100
在宅看護実習室
(第2期)
教材室
第三教室
3年
第二教室
2年
第一教室
1年
女子
便所
男子
便所
(1期工事)
屋根
教材室
階段室
会議室
情報科学室
ミーティングルーム
廊下
外部階段
PS
1階機械室詳細図参照
屋内消火栓
残置
GV40
(2階天井内)
37抜き75φ
GV40
EXP. J
EXP. Jx3
GC40
GC40
80, 80, 20
20
25
40, 40, 50
50, 65, 20
40, 50, 65, 20
25, 40
80
VC100
カラ-VP
100
50, 50, 50
65
100, 50, 80
50, 75, 75, 100
80, 50
50, 100, 20
20
65
100, 50
80, 75, 75, 100
50
80, 80
20
既設
既設
既設

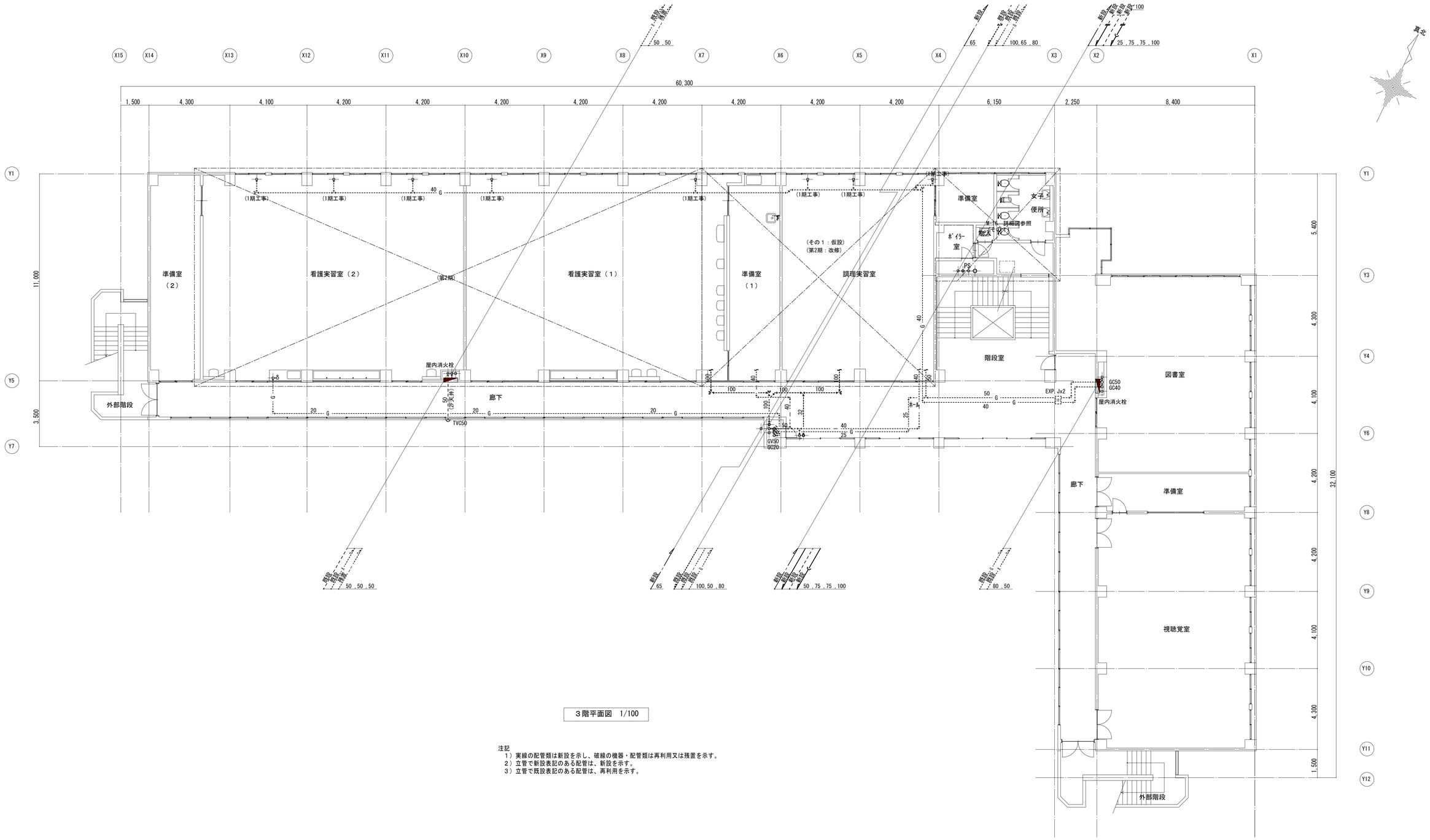




３階平面図　1/100

注記
1）斜線の掛かった配管類は撤去を示し、破線の機器・配管類は再利用又は残置を示す。
　又、残置表記のある配管は残置を示す。
2）立管に既設表記のある配管は既設配管とし、再利用を示す。
3）ガス工事ファンヒーター系統のバルブ下切断（京葉ガス工事）以降は、配管工にて
　工事を行う。

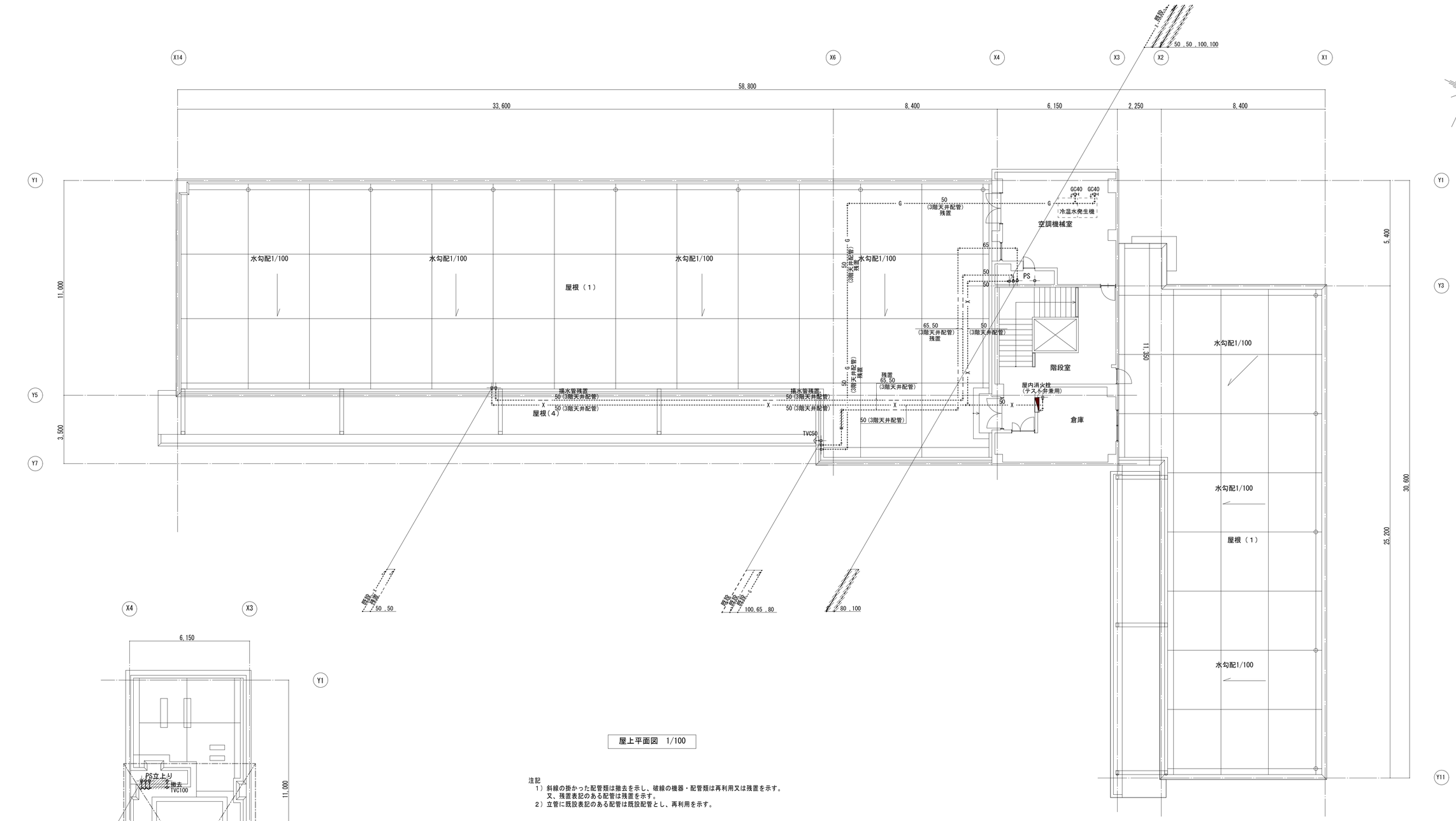
工事名	松戸市立総合医療センター附属看護専門学校 給排水管改修機械設備工事（その１）		
図面名	【改修前】衛生設備　３階平面図		
作成年月日	令和7年2月21日	変更年月日	
縮 尺	A1:1/100,1/50 A3:1/200,1/100	図面番号	M-12
設 計	株式会社　山岡設計事務所 千葉県知事登録　第1-2306-2686号 山岡　治 一級建築士大臣登録第272498号		
松戸市 街づくり部 建築保全課			

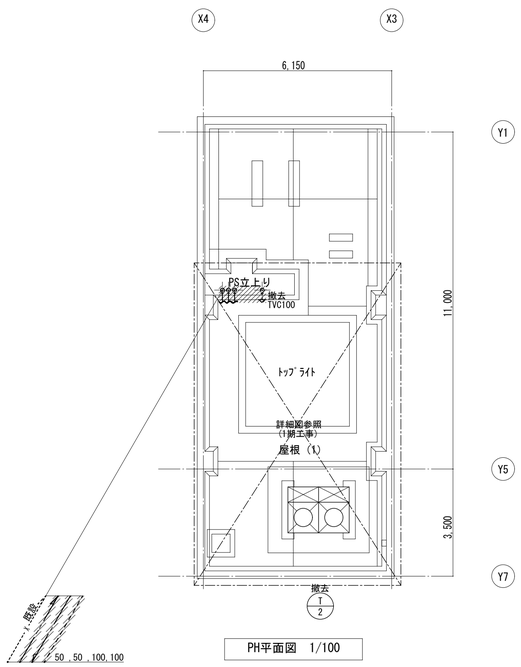


3階平面図　1/100

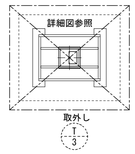
注記
1）実線の配管類は新設を示し、破線の機器・配管類は再利用又は残置を示す。
2）立管で新設表記のある配管は、新設を示す。
3）立管で既設表記のある配管は、再利用を示す。

工事名	松戸市立総合医療センター附属看護専門学校 給排水管改修機械設備工事（その１）		
図面名	【改修後】　衛生設備　３階平面図		
作成年月日	令和7年2月21日	変更年月日	
縮 尺	A1:1/100 A3:1/200	図面番号	M-13
設 計	株式会社　山岡設計事務所 千葉県知事登録　第1-2306-2686号 山岡　治 一級建築士大臣登録第272498号		
松戸市 街づくり部 建築保全課			





PH平面図　1/100

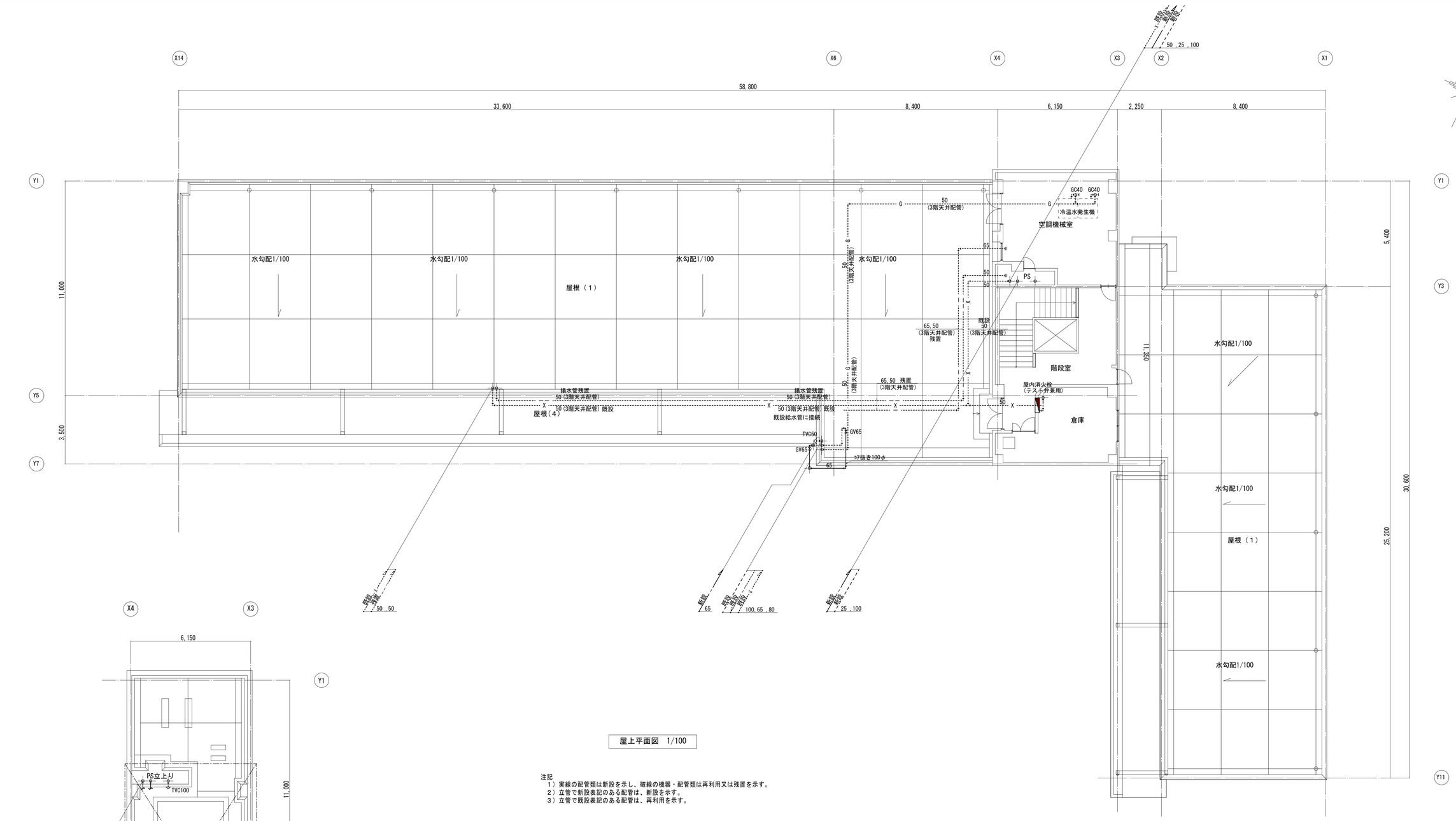


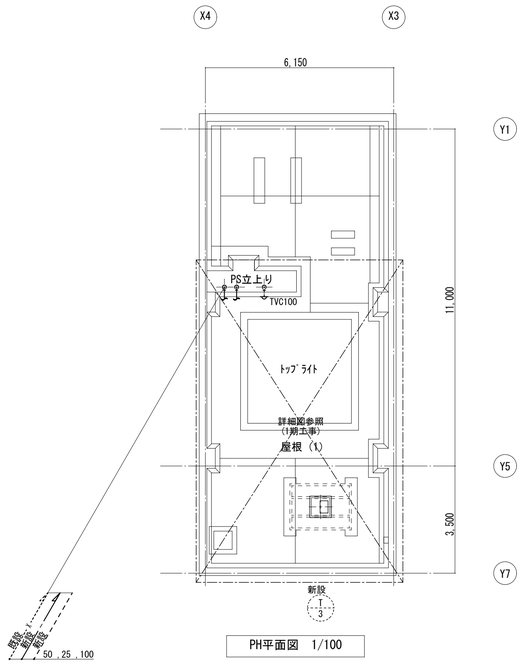
高置タンク下部平面図　1/100

屋上平面図　1/100

注記
1）斜線の掛かった配管類は撤去を示し、破線の機器・配管類は再利用又は残置を示す。
　又、残置表記のある配管は残置を示す。
2）立管に既設表記のある配管は既設配管とし、再利用を示す。

工事名	松戸市立総合医療センター附属看護専門学校 給排水管改修機械設備工事（その１）		
図面名	【改修前】衛生設備　屋上平面図		
作成年月日	令和7年2月21日	変更年月日	
縮 尺	A1:1/100 A3:1/200	図面番号	M-14
設 計	株式会社　山岡設計事務所 千葉県知事登録　第1-2306-2686号 山岡　治 一級建築士大臣登録第272498号		
松戸市 街づくり部 建築保全課			





PH平面図　1/100

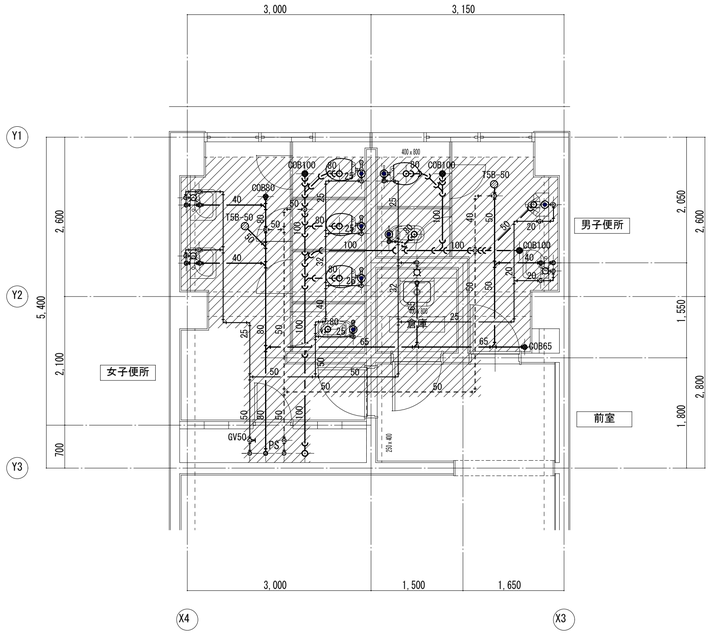
屋上平面図　1/100

注記
1）実線の配管類は新設を示し、破線の機器・配管類は再利用又は残置を示す。
2）立管で新設表記のある配管は、新設を示す。
3）立管で既設表記のある配管は、再利用を示す。

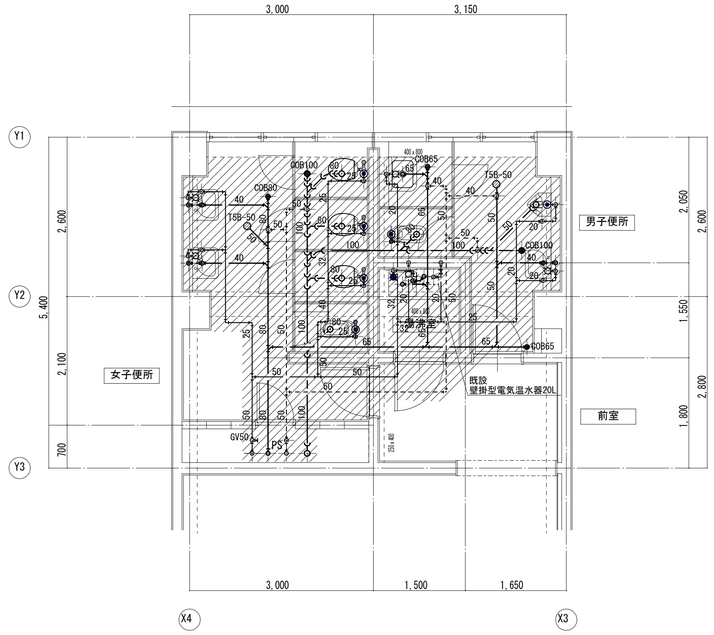
工事名	松戸市立総合医療センター附属看護専門学校 給排水管改修機械設備工事（その１）		
図面名	【改修後】　衛生設備　屋上平面図		
作成年月日	令和7年2月21日	変更年月日	
縮 尺	A1:1/100 A3:1/200	図面番号	M-15
設 計	株式会社　山岡設計事務所 千葉県知事登録　第1-2306-2686号 山岡　治 一級建築士大臣登録第272498号		
松戸市 街づくり部 建築保全課			

改修前

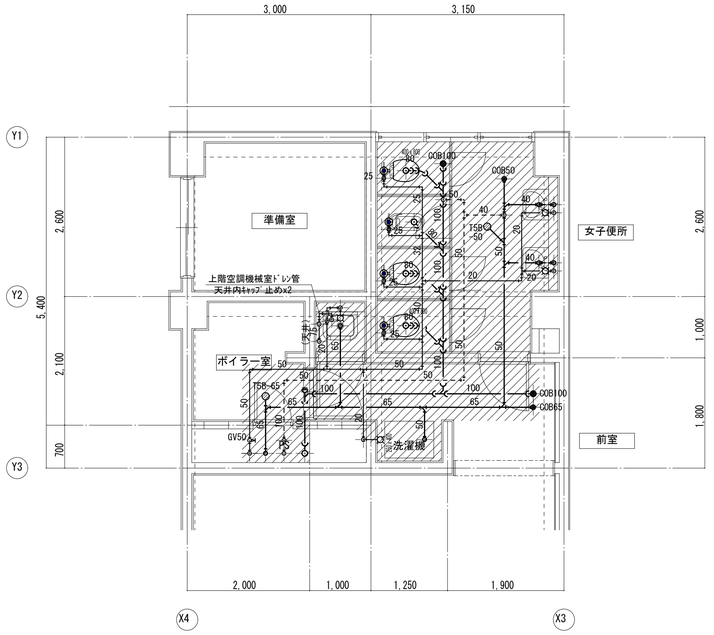
注記
1）斜線の掛かった配管類は撤去を示し、破線の機器・配管類は再利用又は残置を示す。
2）ＰＳの壁撤去新設は建築工事とする。また、便所内の洗面器・ＳＫ・小便器ライニングも同様とする。



【改修前】１階便所平面詳細図　S=1/50



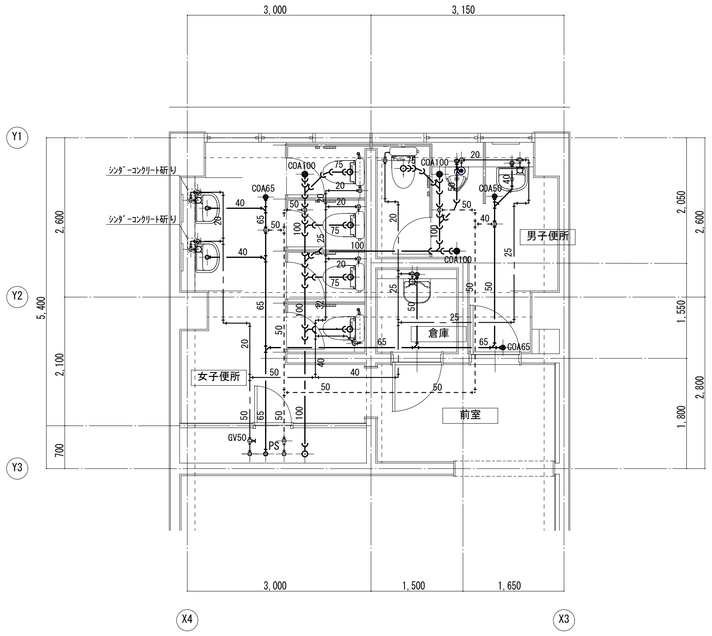
【改修前】２階便所平面詳細図　S=1/50



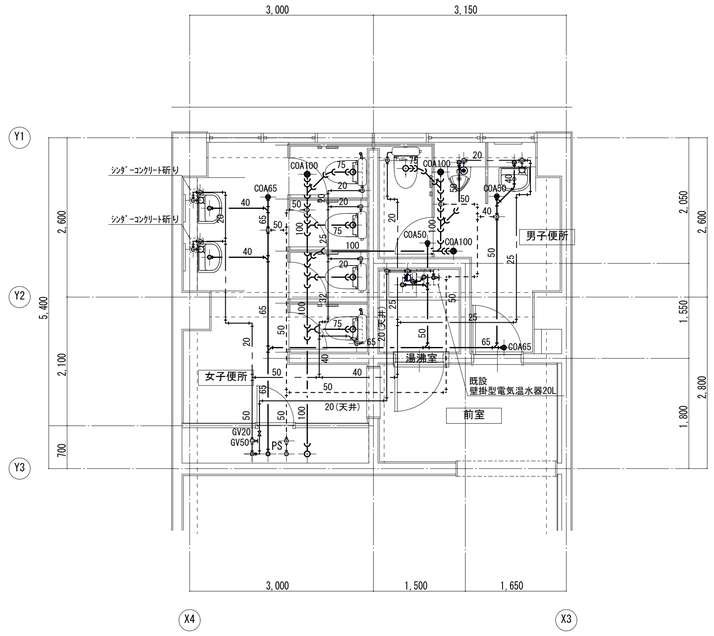
【改修前】３階便所平面詳細図　S=1/50

改修後

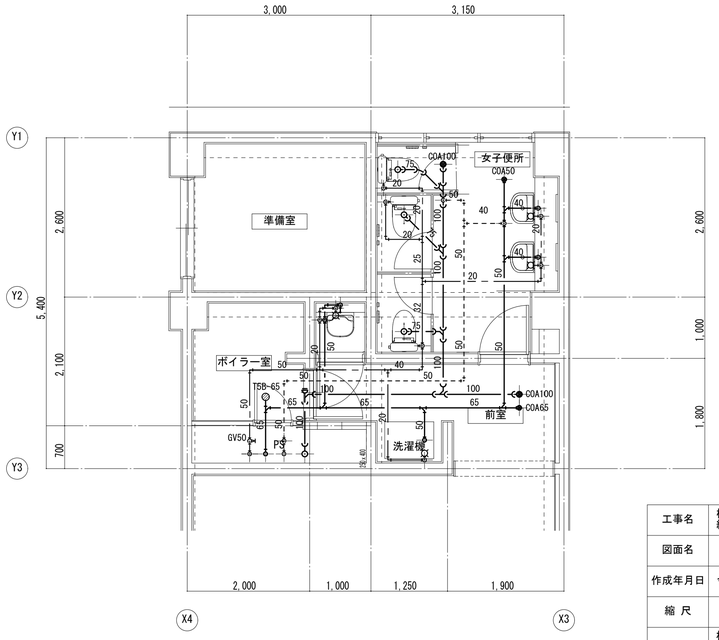
注記
1）実線の配管類は新設を示し、破線の機器・配管類は再利用又は残置を示す。
2）洋風大便器は、タンク式となる為、スラブ立上げ以降の配管は、
タンク給水ホースにて密閉タンクまで露出配管とする。



【改修後】１階便所平面詳細図　S=1/50

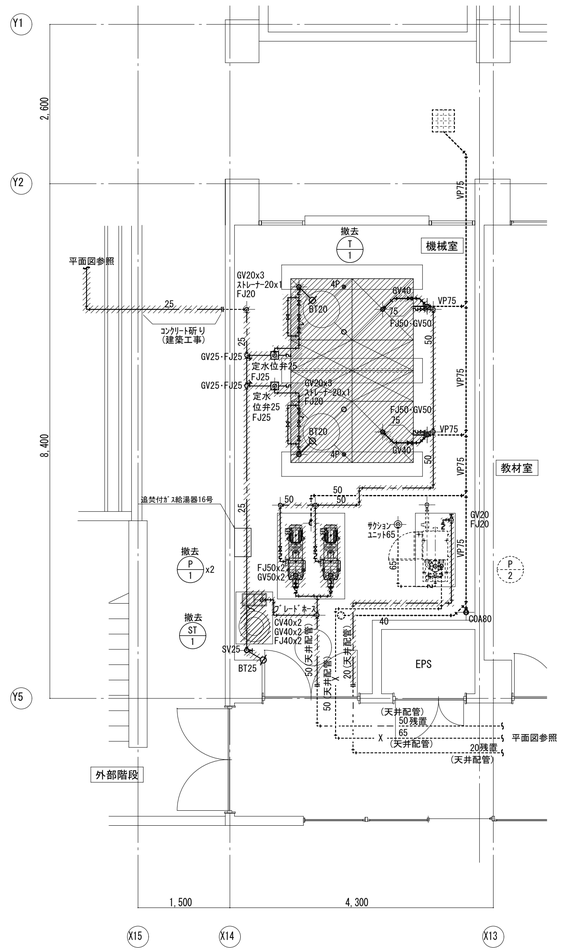


【改修後】２階便所平面詳細図　S=1/50



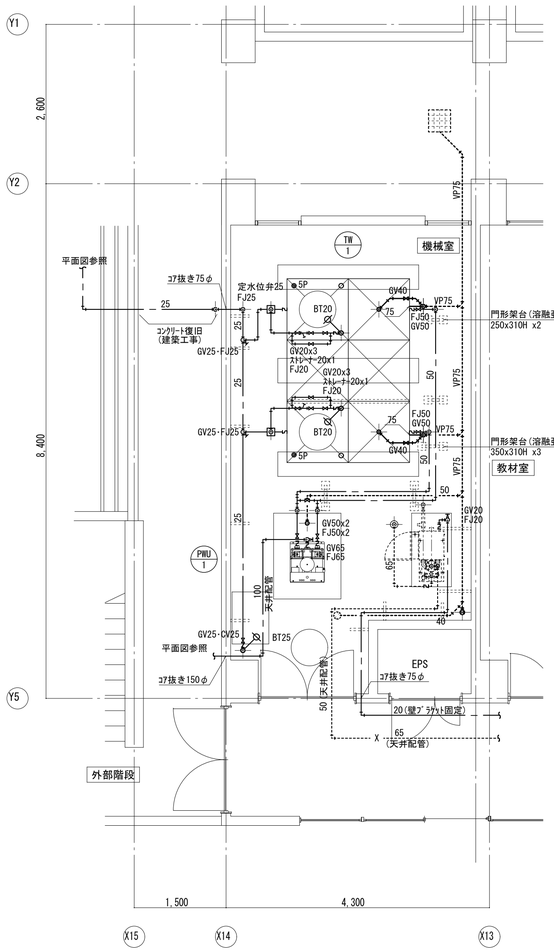
【改修後】３階便所平面詳細図　S=1/50

工事名	松戸市立総合医療センター附属看護専門学校 給排水管改修機械設備工事（その１）		
図面名	【改修前後】衛生設備　便所詳細図		
作成年月日	令和7年2月21日	変更年月日	
縮 尺	A1:1/50 A3:1/100	図面番号	M-16
設 計	株式会社　山岡設計事務所 千葉県知事登録　第1-2306-2686号 山岡　治 一級建築士大臣登録第272498号		
松戸市 街づくり部 建築保全課			



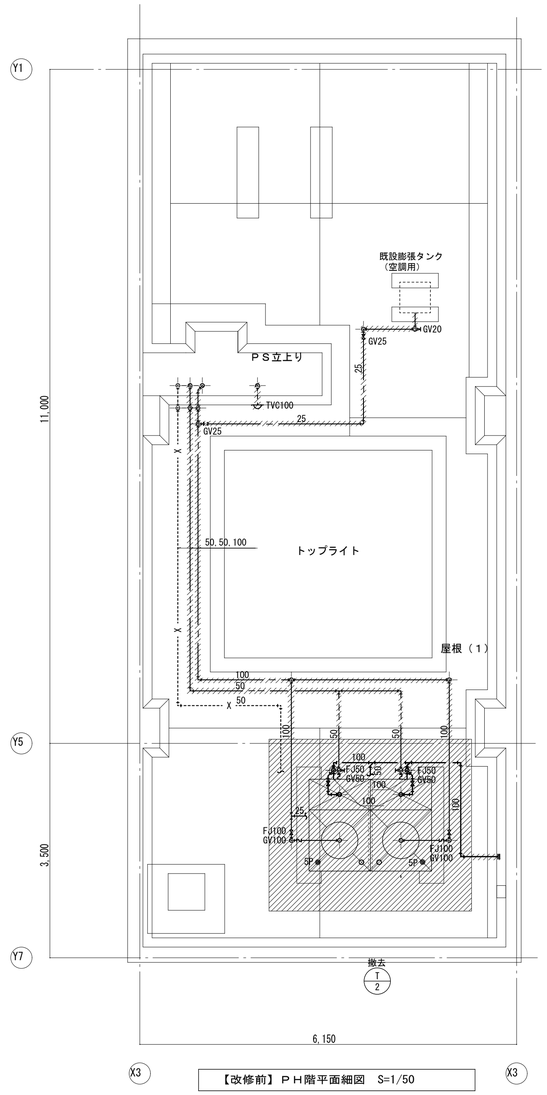
【改修前】機械室平面細図　S=1/50

注記
1）斜線の掛かった配管類は撤去を示し、破線の機器・配管類は再利用又は残置を示す。

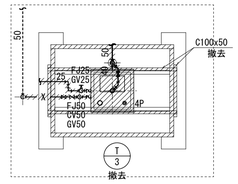


【改修後】機械室平面細図　S=1/50

注記
1）実線の配管類は新設を示し、破線の機器・配管類は再利用又は残置を示す。

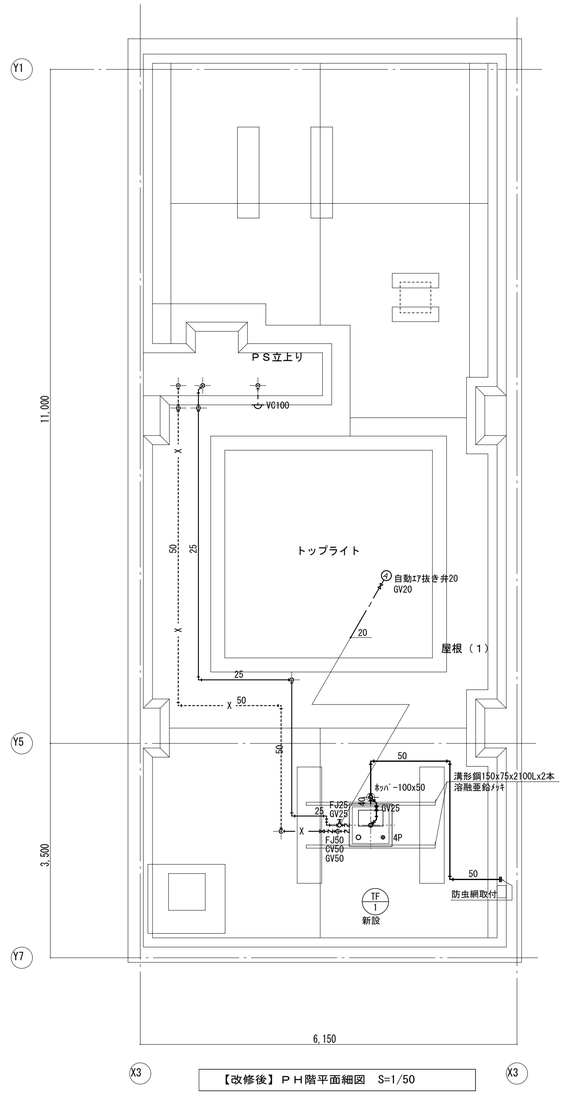


【改修前】ＰＨ階平面細図　S=1/50



【改修前】高置タンク下部消防用補給水槽平面細図　S=1/50

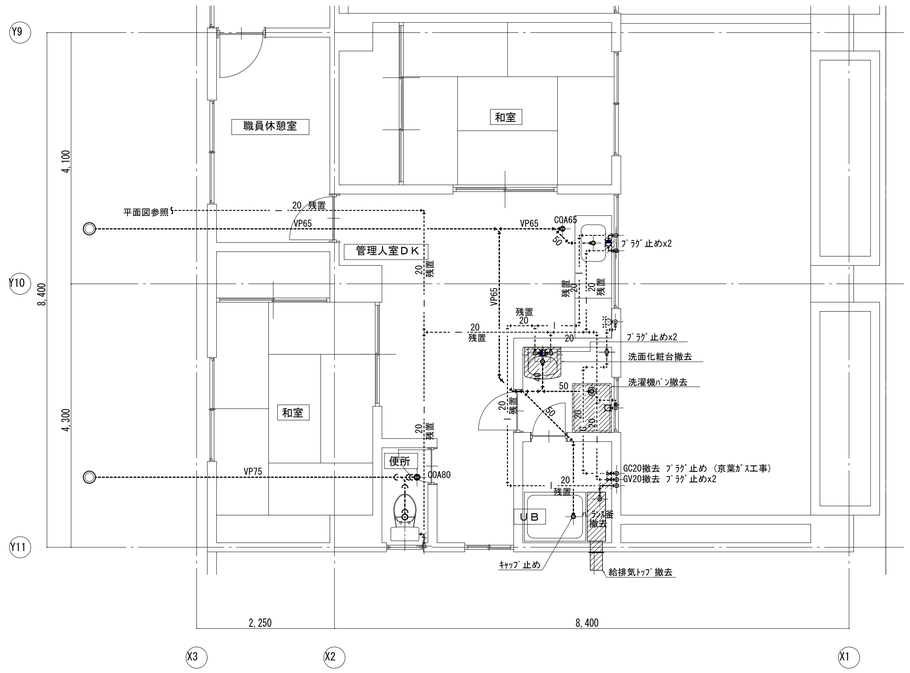
注記
1）斜線の掛かった配管類は撤去を示し、破線の機器・配管類は再利用又は残置を示す。



【改修後】ＰＨ階平面細図　S=1/50

注記
1）実線の配管類は新設を示し、破線の機器・配管類は再利用又は残置を示す。

工事名	松戸市立総合医療センター附属看護専門学校 給排水管改修機械設備工事（その１）		
図面名	【改修前後】衛生設備　機械室・PH階詳細図		
作成年月日	令和7年2月21日	変更年月日	
縮 尺	A1:1/50 A3:1/100	図面番号	M-17
設 計	株式会社　山岡設計事務所 千葉県知事登録　第1-2306-2686号 山岡　治 一級建築士大臣登録第272498号		
松戸市 街づくり部 建築保全課			

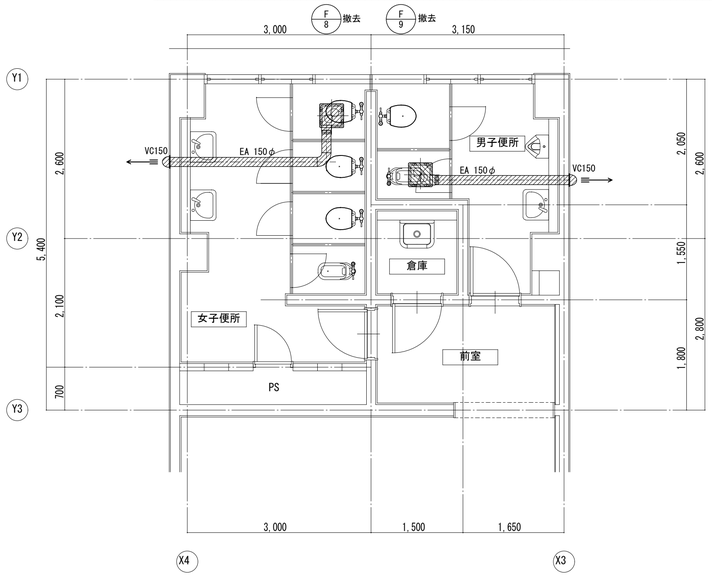

Y9
Y10
Y11
X3
X2
X1
職員休憩室
和室
管理人室ＤＫ
和室
便所
ＵＢ
4,100
4,300
8,400
2,250
8,400
平面図参照
20 残置
VP65
VP65
COA65
ﾌﾗﾗﾞ止めx2
残置
20
残置
20
残置
20

改修前

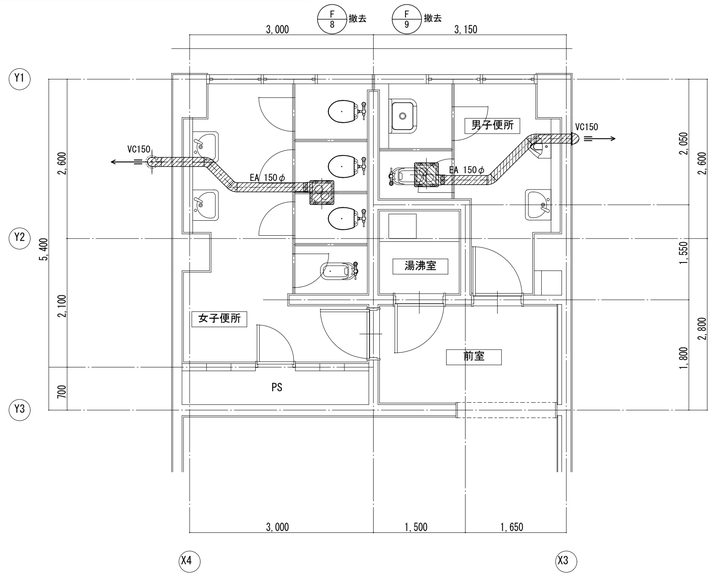
換気機器表(撤去)

記号	機器名称	仕様	電気 φ	電気 V	電気 W	起動	台数	設置場所 階	設置場所 部屋名	備考
F-8	排気ファン	型式　天井換気扇					3	1~3	女子便所	三菱電機
		150　φ x　300　m3/h　x　40　Pa	1	100	40	L-S				V-20ZB
		付属品　天吊金具、他付属品一式								
F-9	排気ファン	型式　天井換気扇					2	1~2	男子便所	三菱電機
		150　φ x　250　m3/h　x　40　Pa	1	100	35	L-S				V-19ZB
		付属品　天吊金具、他付属品一式								

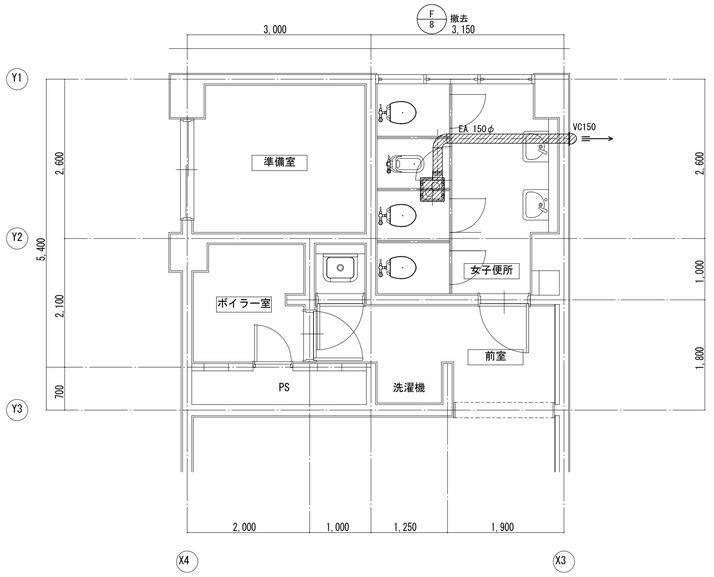
注記
1）斜線の掛かったダクト・機器類は撤去を示し、破線の機器・ダクト類は再利用又は残置を示す。



【改修前】１階便所平面詳細図　S=1/50



【改修前】２階便所平面詳細図　S=1/50



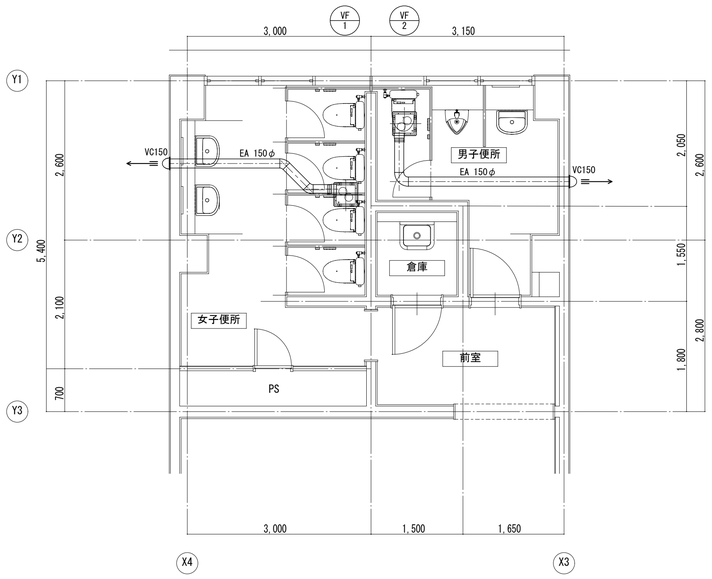
【改修前】３階便所平面詳細図　S=1/50

改修後

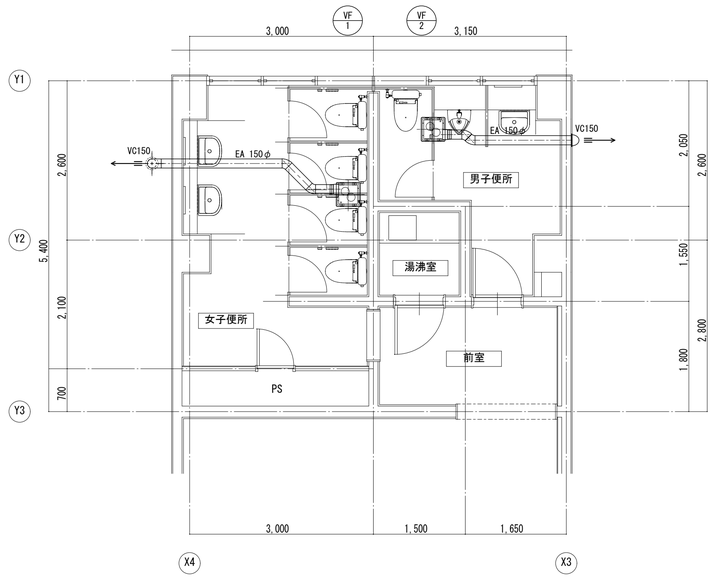
換気機器表(新設)

記号	機器名称	仕様	電気 φ	電気 V	電気 W	起動	台数	設置場所 階	設置場所 部屋名	備考
VF-1	排気ファン	型式　天井換気扇					3	1~3	女子便所	参考型番　三菱電機
		150　φ x　300　m3/h　x　95　Pa	1	100	44	L-S				VD-20ZB14
		付属品　天吊金具、他付属品一式								
VF-2	排気ファン	型式　天井換気扇					2	1~2	男子便所	参考型番　三菱電機
		150　φ x　200　m3/h　x　75　Pa	1	100	26	L-S				VD-18ZB14
		付属品　天吊金具、他付属品一式								

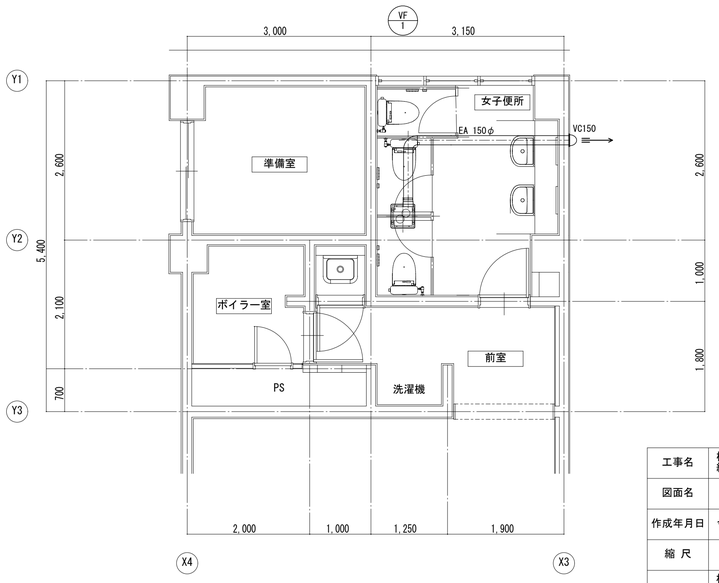
注記
1）実線の機器・ダクト類は新設を示し、破線の機器・ダクト類は再利用又は残置を示す。



【改修後】１階便所平面詳細図　S=1/50

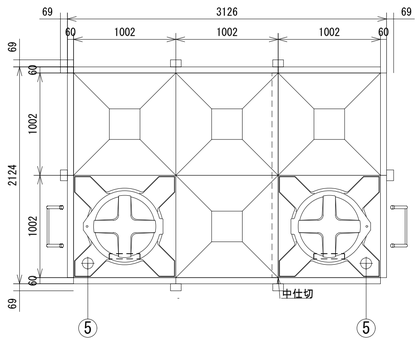


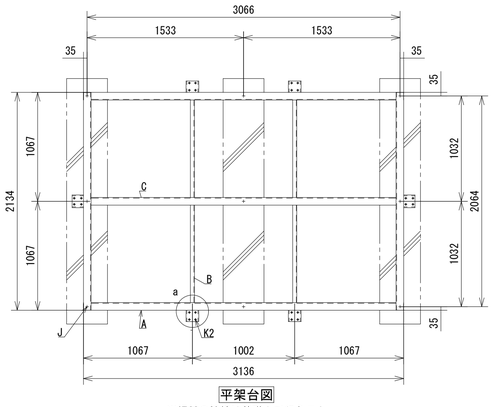
【改修後】２階便所平面詳細図　S=1/50



【改修後】３階便所平面詳細図　S=1/50

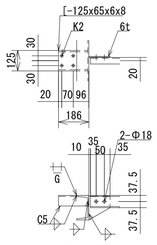
工事名	松戸市立総合医療センター附属看護専門学校 給排水管改修機械設備工事（その１）		
図面名	【改修前後】換気設備　便所詳細図		
作成年月日	令和7年2月21日	変更年月日	
縮尺	A1:1/50 A3:1/100	図面番号	M-19
設計	株式会社　山岡設計事務所 千葉県知事登録　第1-2306-2686号 山岡　治 一級建築士大臣登録第272498号		
松戸市 街づくり部 建築保全課			



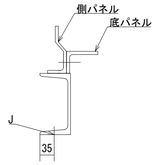


平架台図

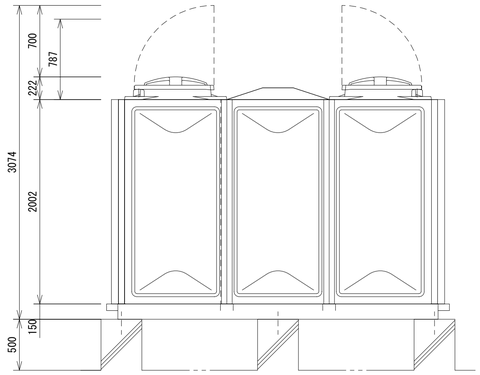
※鋼材の接続は基礎上で行うこと

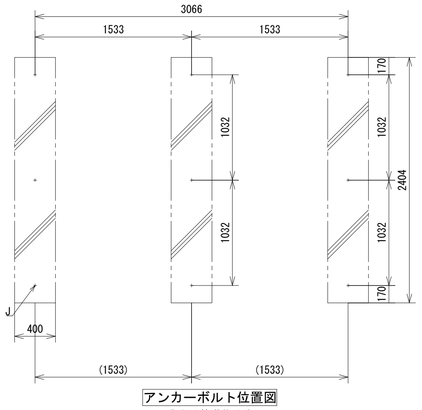


a部 詳細図



タンク据付詳細図





アンカーボルト位置図

()内は基礎芯寸法

型式（寸法）

PSFA-12-10N[2.0 x 3.0 x 2.0H]

受水タンク構造図　1／30

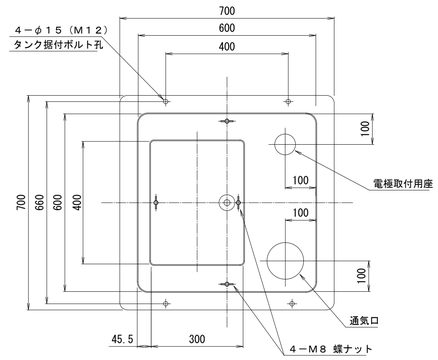
品番	名　称	材質	寸法	数量	備　考
11	排水口			－	
10	オーバーフロー			－	
9	出水口			－	
8	流入口			－	
7	ボールタップ口			－	
6	通気口	ABS		－	防虫網付き
5	電極座	PVC	50A	2	PF2内ネジ透明防波筒Φ80 1.3m付
4	外はしご	STK	W375xP300	2	溶融亜鉛メッキ
3	内はしご	PVC	W300xP300	2	
2	マンホール	FRP	Φ600	2	密閉式 内蓋付
1	本体	FRP		1	

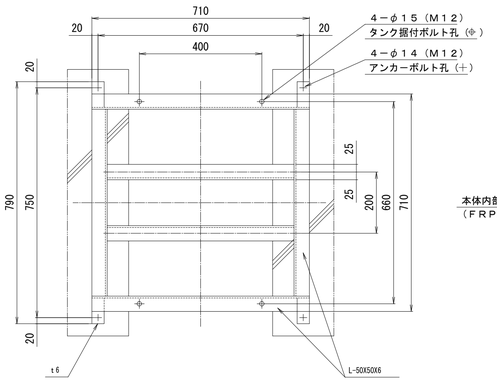
部材表	
A	[-150x75x6.5x10
B	[-75x40x5x7
C	[-150x75x6.5x10
K1	----------
K2	24-Φ16フレーム取付ボルト孔(・指示M12)
K3	----------
J	9-Φ15アンカーボルト孔 (+指示M12×145L 接着系SUS)

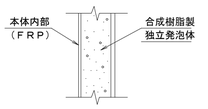
※公共建築工事標準仕様　※ＦＤＮＳ工法仕様

※タンク組立において作業床が2m以上となる場合は足場の安全対策を行なうこと。

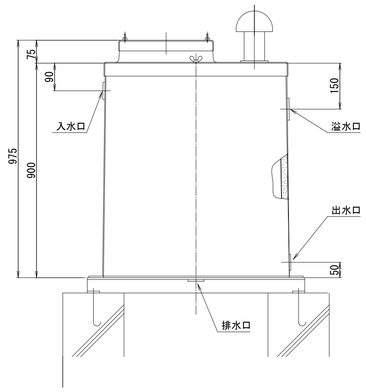
■　建築基準法施行令改正　　耐震基準適合
■　国土交通省告示第２４３号適合
■　水道法・食品衛生法・藻類増殖防止技術指針適合
■　低水位運転時には内部金具腐食の恐れがあります
■　組立ボルト：ＳＵＳ仕様
　　気相部プラコート仕様
■　架台：溶融亜鉛メッキ仕様「ＨＤＺＴ４９」

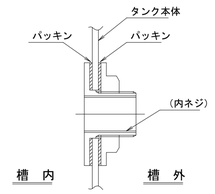






フォーム断面





取出口詳細

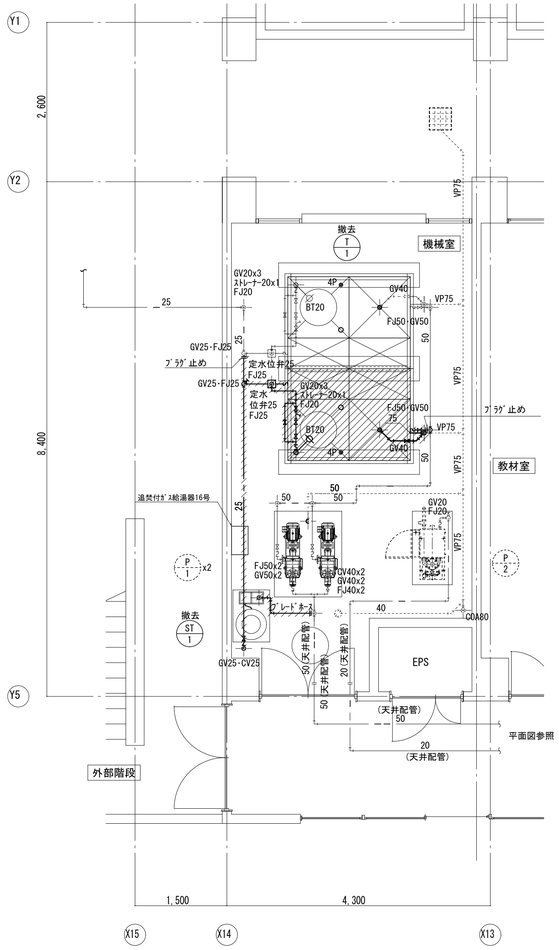
消防用補給タンク構造図　1／10

品番	名　称	材　質	寸　法	数量	部品コード	備　考
	電極座	ＰＶＣ	ＰＦ２	1	C0319	内ネジ式
	通気口	ＡＢＳ	５０Ａ	1	C4134	防虫網付
	溢水口	CAC406	３０Ａ	1		内ネジ式
	排水口	CAC406	２０Ａ	1		内ネジ式
	出水口	CAC406	２０Ａ	1		内ネジ式
	入水口	CAC406	２５Ａ	1		内ネジ式
	点検口	ＦＲＰ	300X400	1		
	本体	ＦＲＰ	600X600	1		

開放型ＦＲＰ製消火用補給水槽 ２００型	
有効貯水量	２００Ｌ
形状寸法	６００×６００×９００
設計水平震度	ＫＨ＝１．５Ｇ

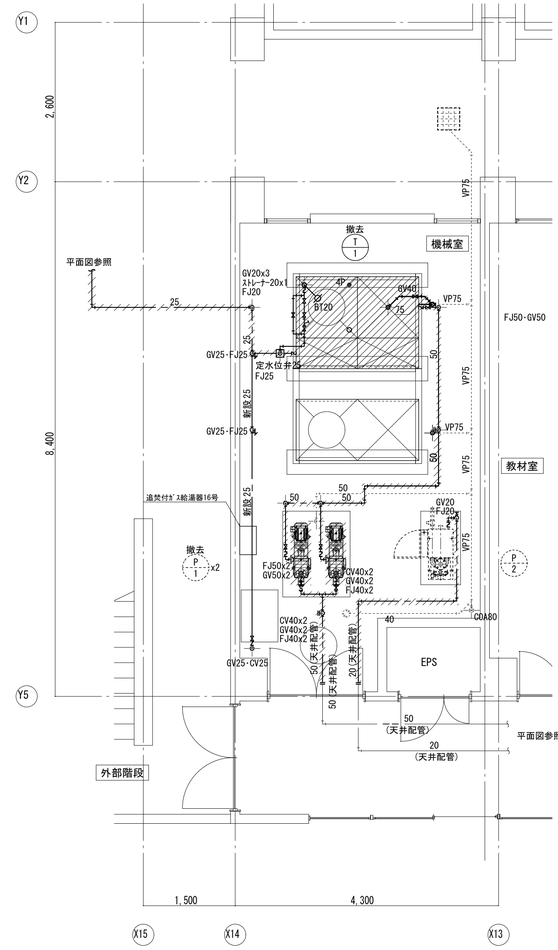
■　建築基準法施行令改正　　耐震基準適合
■　国土交通省告示第２４３号適合
■　水道法・食品衛生法・藻類増殖防止技術指針適合
■　低水位運転時には内部金具腐食の恐れがあります
■　組立ボルト：溶融亜鉛メッキ仕様
　　気相部プラコート仕様

工事名	松戸市立総合医療センター附属看護専門学校 給排水管改修機械設備工事（その１）		
図面名	受水タンク・消防用補給タンク構造図		
作成年月日	令和7年2月21日	変更年月日	
縮　尺	A1:N.S A3:N.S	図面番号	M-20
設　計	株式会社　山岡設計事務所 千葉県知事登録　第1-2306-2686号 山岡　治 一級建築士大臣登録第272498号		
松戸市 街づくり部 建築保全課			



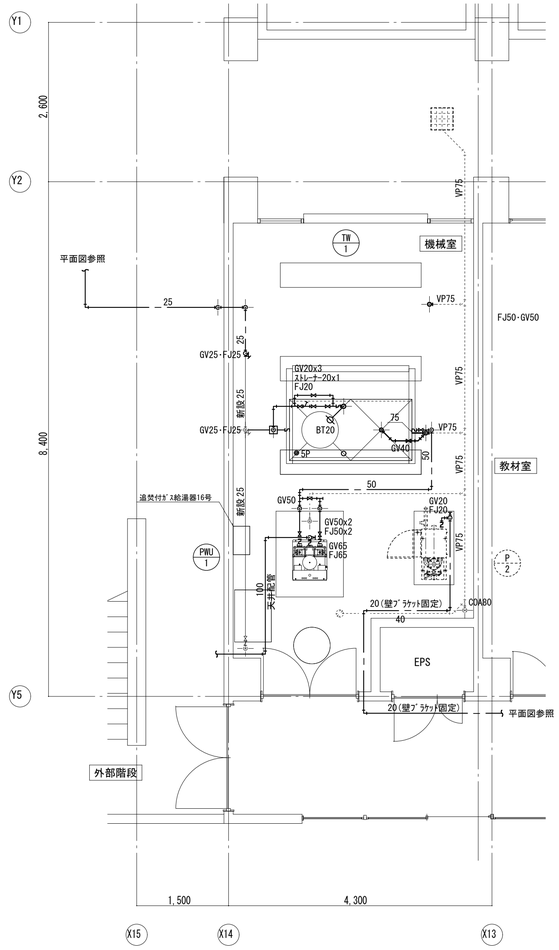
受水槽（仮設兼用）更新手順図（１）　S=1/50

注記
１）受水槽半分を撤去、残った水槽は補強する。（受水槽メーカー工事）
２）配管のバルブ類の撤去は本工事にて行う。（薬注装置を含む。）



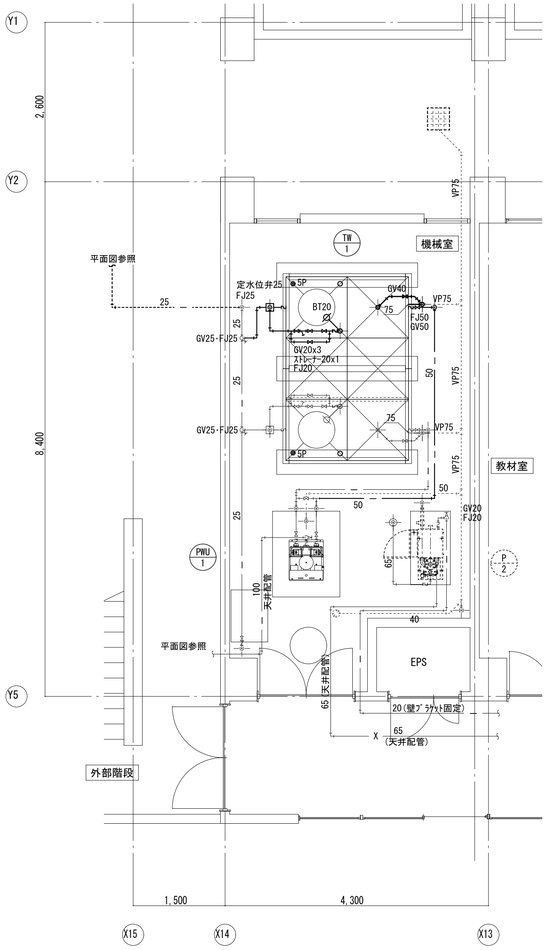
受水槽（仮設兼用）更新手順図（２）　S=1/50

注記
１）更新分の受水槽を設置後、既設受水槽部分の撤去を行う。（受水槽メーカー工事）
２）配管のバルブ類の撤去は本工事にて行う。
３）揚水ポンプの撤去を行う。但し、加圧ポンプ用メイン管は敷設している状態であること。
４）量水器から機械室への直結給水管を撤去する。



受水槽（仮設兼用）更新手順図（３）　S=1/50

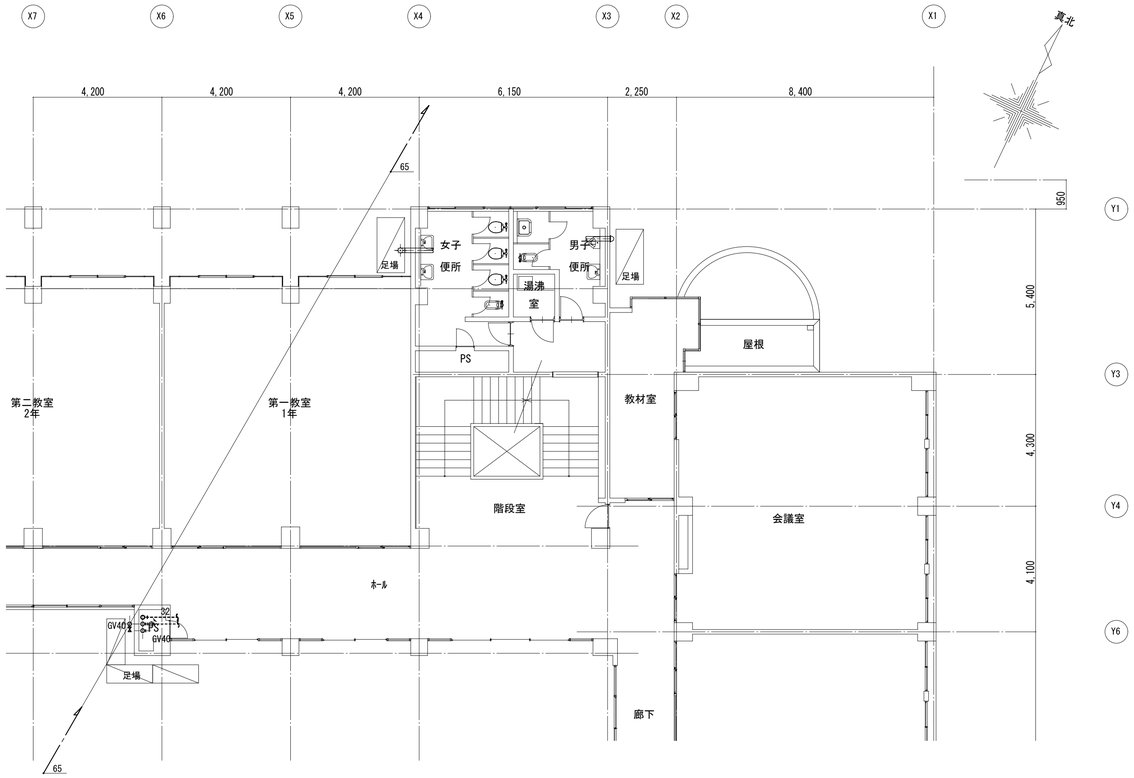
注記
１）更新分の受水槽の配管工事を本工事にて行う。
２）加圧ポンプを設置し、配管工事を行う。
３）量水器から機械室への直結給水管を新設する。



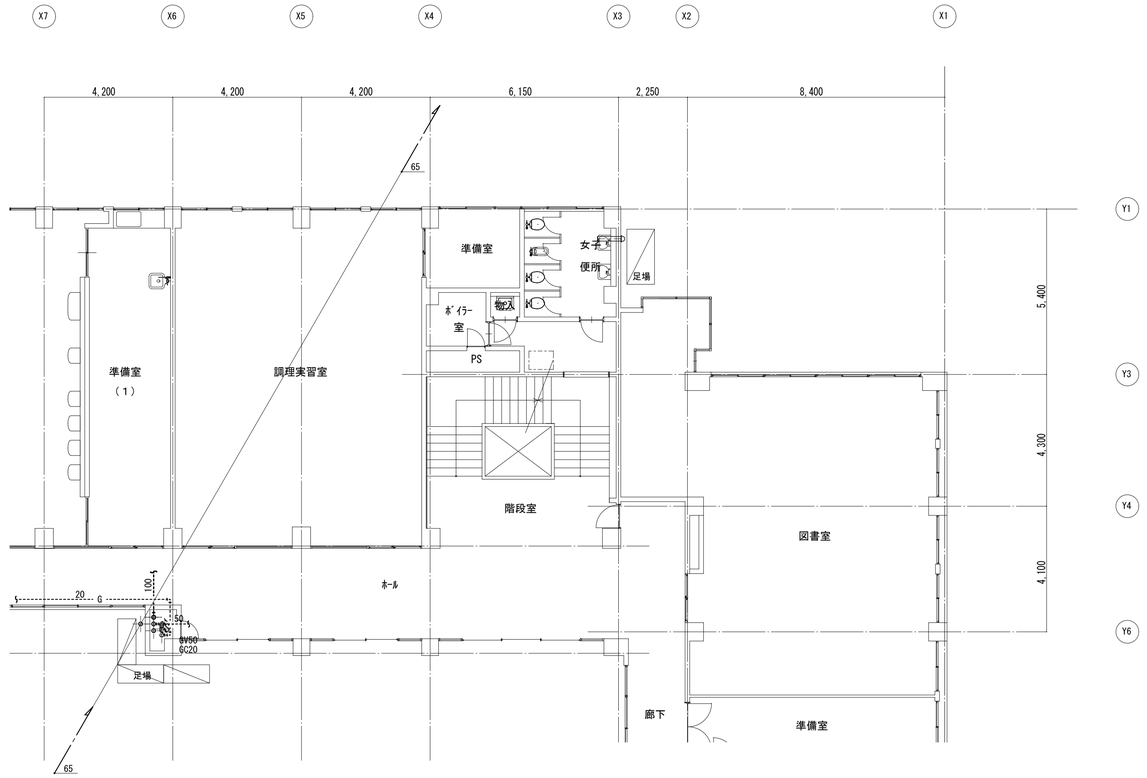
受水槽（完成）更新手順図（４）　S=1/50

注記
１）残りの更新分の受水槽を設置する。（受水槽メーカー工事）
２）更新した水槽の配管のバルブ類の新設工事を本工事にて行う。

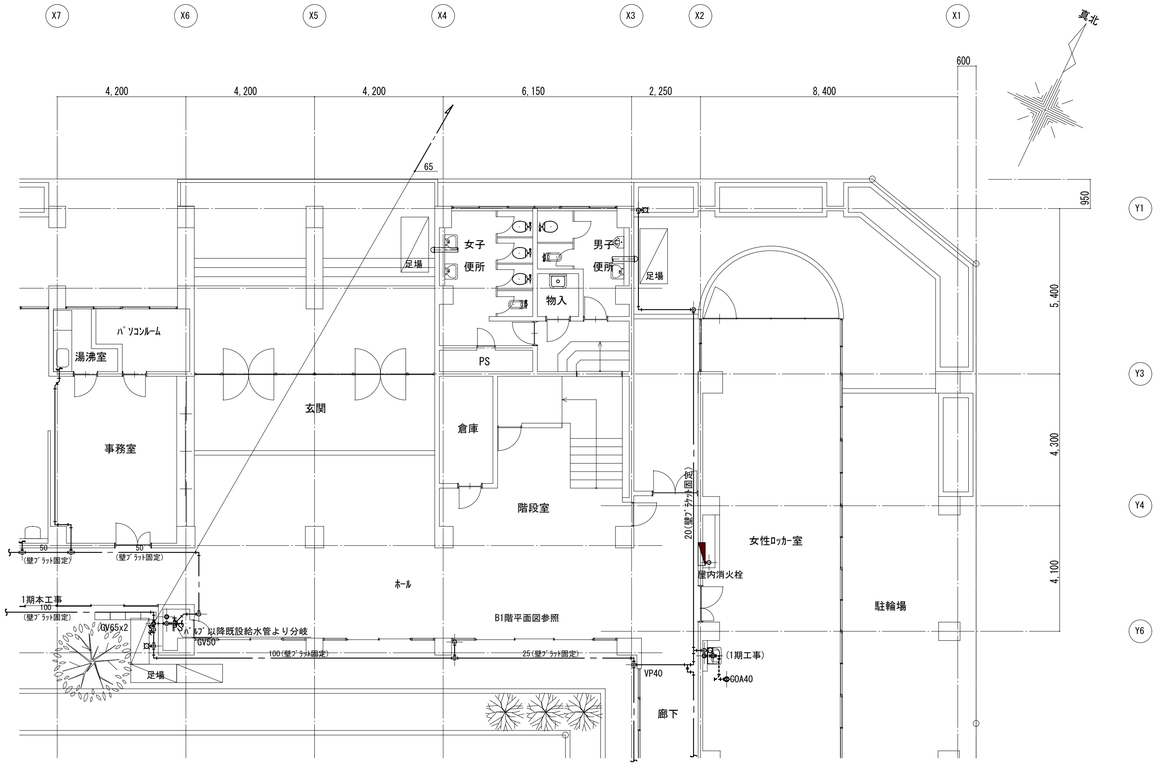
工事名	松戸市立総合医療センター附属看護専門学校 給排水管改修機械設備工事（その１）		
図面名	仮設工事　受水槽更新手順図		
作成年月日	令和7年2月21日	変更年月日	
縮 尺	A1:1/50 A3:1/100	図面番号	M-21
設 計	株式会社　山岡設計事務所 千葉県知事登録　第1-2306-2686号 山岡　治 一級建築士大臣登録第272498号		
松戸市 街づくり部 建築保全課			



2階平面図　1/100



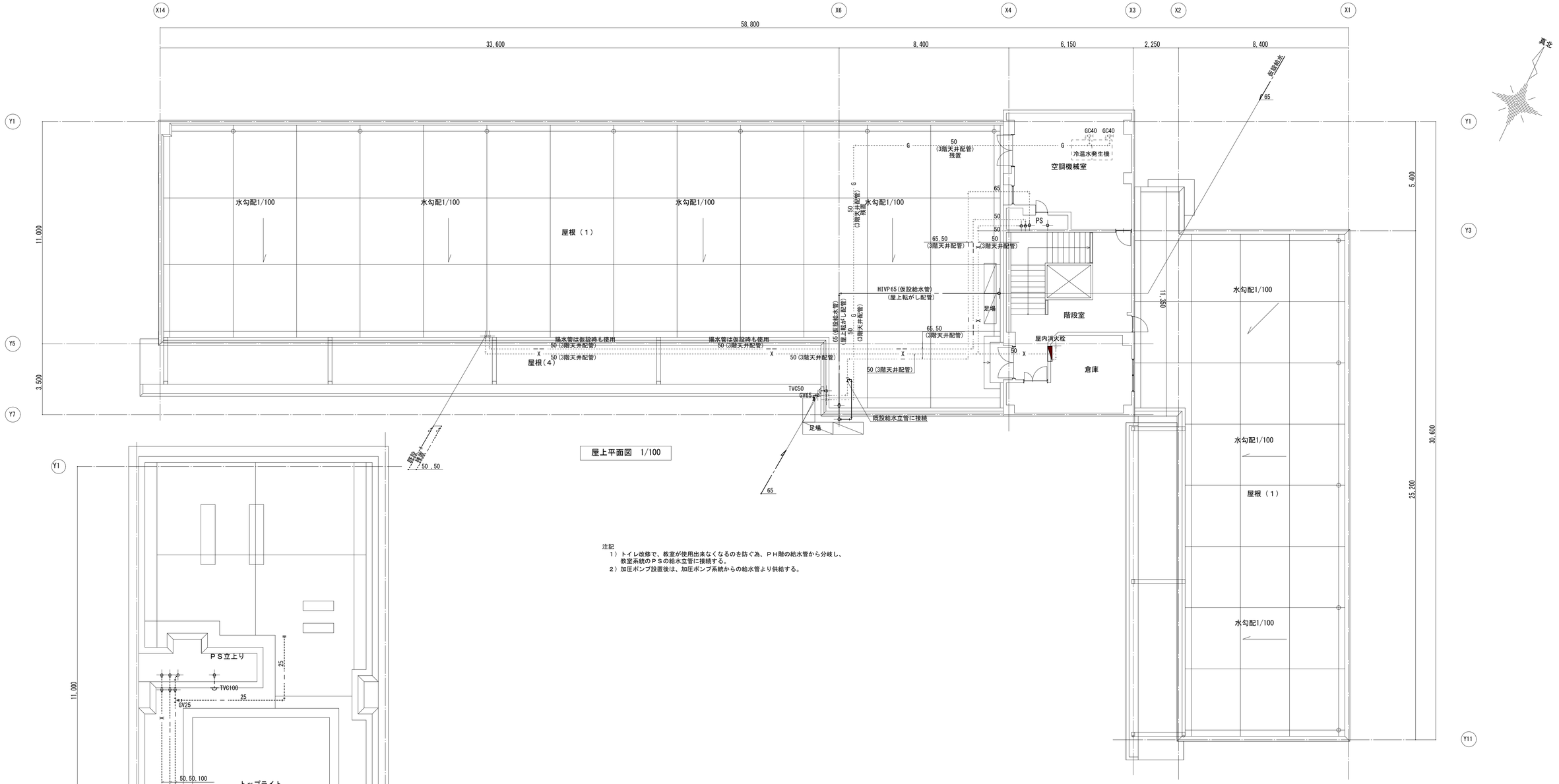
3階平面図　1/100



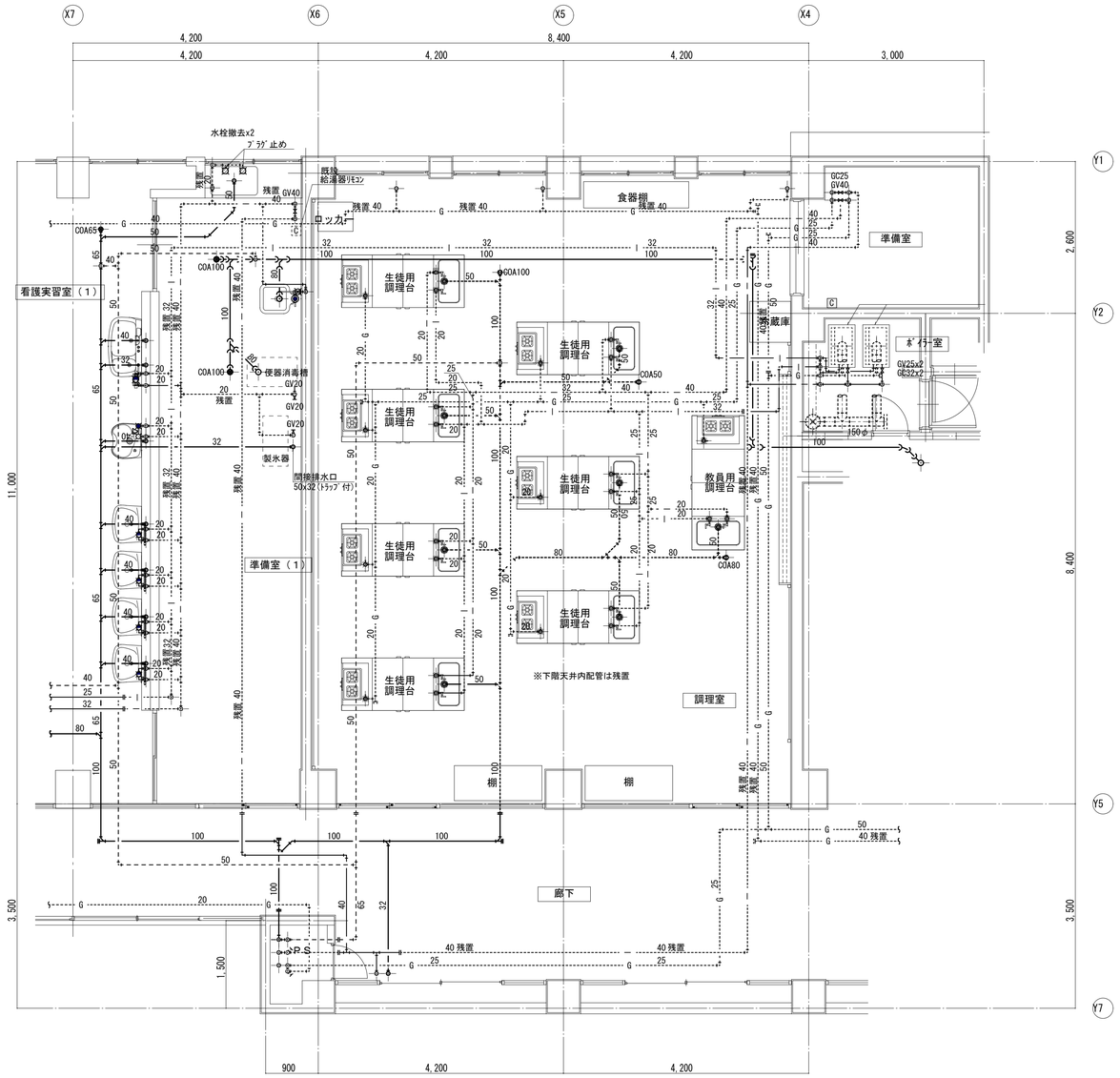
１階平面図　1/100

注記
1）加圧ポンプメイン管より分岐し、Ｘ６－Ｙ６にあるＰＳ外部に仮設用として給水管を立上げる。
　３階まで立上げ、既設の給水立管に接続し、加圧ポンプ系統で給水が供給出来るようにする。
2）この仮設配管は２期工事まで使用するものとし、２期工事の仮設取出用としてバルブを設置する。
3）尚、この仮設給水管は、高置タンク撤去後に行うものとする。
4）この足場は、高置タンク系統からの仮設給水管設置にも使用する。
5）便所のﾍﾞﾝﾄﾞｷｬｯﾌﾟ更新用として、便所のところに足場を設置する。

工事名	松戸市立総合医療センター附属看護専門学校 給排水管改修機械設備工事（その１）		
図面名	仮設１～３階平面図		
作成年月日	令和7年2月21日	変更年月日	
縮 尺	A1:1/100 A3:1/200	図面番号	M-22
設 計	株式会社　山岡設計事務所 千葉県知事登録　第1-2306-2686号 山岡　治 一級建築士大臣登録第272498号		
松戸市 街づくり部 建築保全課			

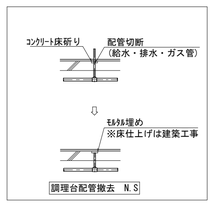


工事名	松戸市立総合医療センター附属看護専門学校 給排水管改修機械設備工事（その１）		
図面名	仮設屋上・ＰＨ階平面図		
作成年月日	令和7年2月21日	変更年月日	
縮 尺	A1:1/100,50 A3:1/200,100	図面番号	M-23
設 計	株式会社　山岡設計事務所 千葉県知事登録　第1-2306-2686号 山岡　治 一級建築士大臣登録第272498号		
松戸市 街づくり部 建築保全課			



【改修前】３階　調理室他平面詳細図　S=1/50

【改修後】３階　調理室他平面詳細図　S=1/50



注記
１）仮設トイレ設置のため、調理台等必要箇所のみ撤去を行ない、残りは２期工事で撤去するものとする。。

注記
１）実線の配管類は新設を示し、破線の機器・配管類は再利用又は残置を示す。
２）上記仮設は計画例であり、実際は受注者の承認申請図による。
３）本図は調理室を仮設トイレ室にするためのものであり、他の改修については別図による。

工事名	松戸市立総合医療センター附属看護専門学校 給排水管改修機械設備工事（その１）		
図面名	仮設トイレ関係図		
作成年月日	令和7年2月21日	変更年月日	
縮 尺	A1:1/50 A3:1/100	図面番号	M-24
設 計	株式会社　山岡設計事務所 千葉県知事登録　第1-2306-2686号 山岡　治 一級建築士大臣登録第272498号		
松戸市 街づくり部 建築保全課			

松戸市立総合医療センター附属看護専門学校
給排水管改修機械設備工事（その２）

図 面 リ ス ト		
図面番号	図面名称	縮尺
	【意匠図】	
M-00	表紙・図面リスト	No Scale
M-01	案内図・配置図	1/200･2500
M-02	機械設備特記仕様書（１）	No Scale
M-03	機械設備特記仕様書（２）	No Scale
M-04	【改修前】衛生設備　機器表・器具表	No Scale
M-05	【改修後】衛生設備　機器表・器具表	No Scale
M-06	【改修前】衛生設備　系統図	No Scale
M-07	【改修後】衛生設備　系統図	No Scale
M-08	【改修前】衛生設備　1階平面図	1/100
M-09	【改修後】衛生設備　1階平面図	1/100
M-10	【改修前】衛生設備　2階平面図	1/100
M-11	【改修後】衛生設備　2階平面図	1/100
M-12	【改修前】衛生設備　3階平面図	1/100
M-13	【改修後】衛生設備　3階平面図	1/100
M-14	【改修後】衛生設備　屋上平面図	1/100
M-15	【改修前】衛生設備　屋上平面図	1/100
M-16	【改修前後】衛生設備　職員便所･保健室･在宅看護実習室詳細図	1/50
M-17	【改修前後】衛生設備　調理室･準備室(1)･看護実習室(1)詳細図	1/50
M-18	【改修前後】衛生設備　看護実習室(1)･(2)詳細図	1/50
M-19	仮設１～３階平面図	1/100

工事名	松戸市立総合医療センター附属看護専門学校 給排水管改修機械設備工事（その２）		
図面名	表紙・図面リスト		
作成年月日	令和7年2月21日	変更年月日	
縮 尺	No Scale	図面番号	M-00
設 計	株式会社　山岡設計事務所 千葉県知事登録　第1-2306-2686号 山岡　治 一級建築士大臣登録第272498号		
松戸市 街づくり部 建築保全課			

真北

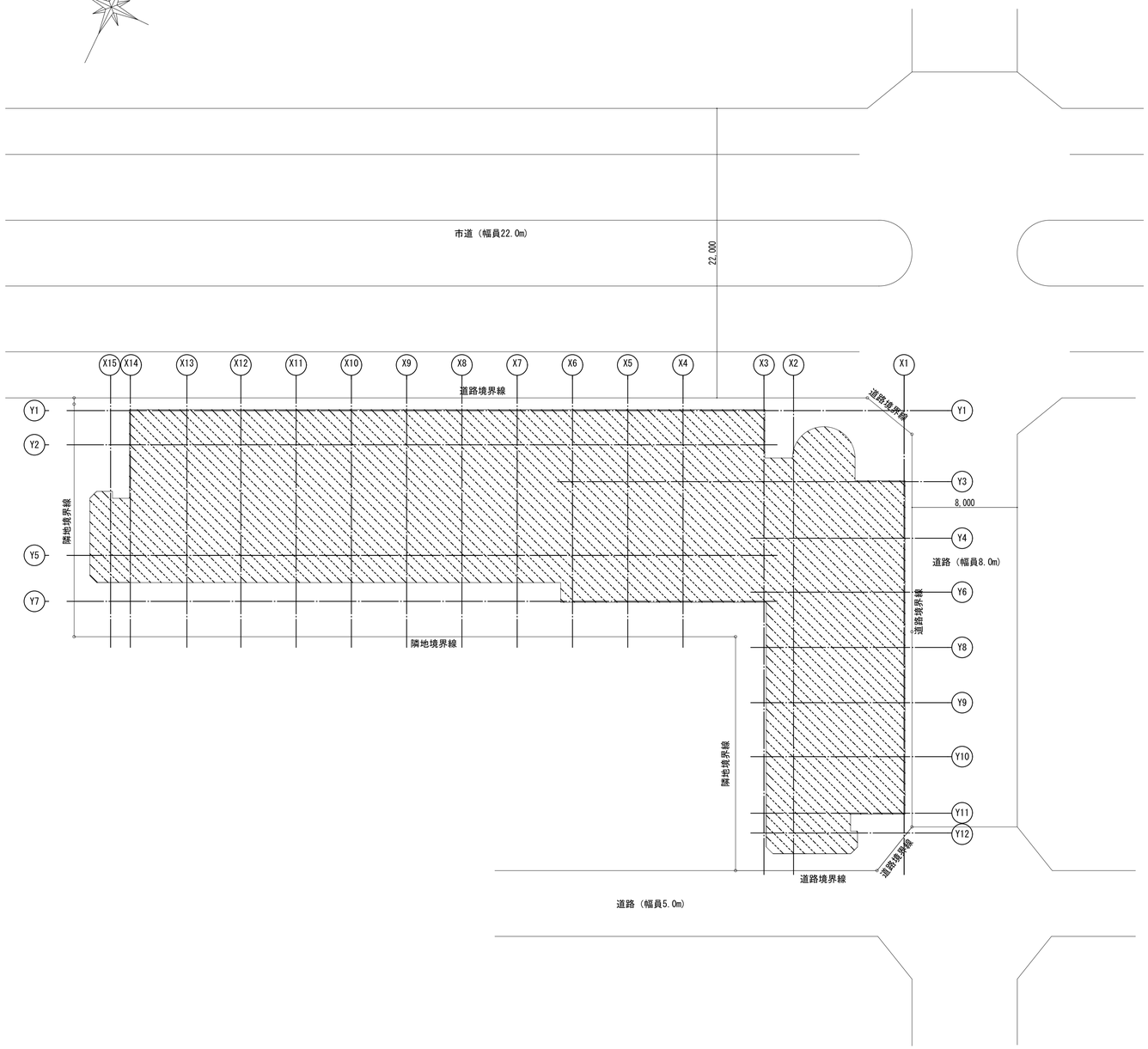


松戸市上本郷４，１８２番地
（松戸市立総合医療センター附属看護専門学校）

案内図　1/2500

工事場所を示す

真北



配置図　1/200

工事箇所を示す

工事概要

衛生器具設備工事

実習室、職員便所、管理人室便所の衛生器具の更新を行う。

給水設備工事

実習室系統の給水管の更新を行う。職員便所、管理人室便所も含む。

給水仮設工事を行う。建物中央にあるトイレ、管理人室、ロッカー室等が１期工事の対象となります。

排水設備工事

上記同様に、実習室内の排水管の更新を行う。

給湯設備工事

実習室系統の給湯管の更新を行う。職員便所・校長室等は、電気温水器を新たに設置する。

工事名	松戸市立総合医療センター附属看護専門学校 給排水管改修機械設備工事（その２）		
図面名	案内図・配置図		
作成年月日	令和7年2月21日	変更年月日	
縮 尺	A1:1/200、1/2500 A3:1/400、1/5000	図面番号	M-01
設 計	株式会社　山岡設計事務所 千葉県知事登録　第1-2306-2686号 山岡　治 一級建築士大臣登録第272498号		
松戸市 街づくり部 建築保全課			

松戸市機械設備工事特記仕様書

第7版(2024.4.)

1. 工事概要

1. 工事場所　　松戸市上本郷４１８２番地（松戸市立総合医療センター附属看護専門学校）

2. 建物概要

建　物　名　称	構　造	階　数	延べ面積(m2)	消防法施行令別表第一	施設の分類	備　考
松戸市立総合医療センター附属看護専門学校	ＲＣ造	地上４階	2,516.03	７項	専門学校	

（備考中の特定の施設，一般の施設とは耐震安全性の分類を示す）

3. 工事種目　　（ ●印の付いたものを適用する。）

建物別及び屋外 ＼ 工事種目	工事種別			
	看護専門学校			屋　外
○　空気調和設備	○　一式			○　一式
●　換気設備	●　一式			○　一式
○　排煙設備	○　一式			○　一式
○　自動制御設備	○　一式			○　一式
●　衛生器具設備	●　一式			○　一式
●　給水設備	●　一式			●　一式
●　排水設備	●　一式			●　一式
●　給湯設備	●　一式			○　一式
○　消火設備	○　一式			○　一式
○　厨房設備	○　一式			○　一式
○　ガス設備	○　一式			○　一式
○　排水処理設備	○　一式			○　一式
○　雨水利用設備	○　一式			○　一式
●　撤去工事	●　一式			○　一式
○　昇降機設備※	○　一式			○　一式
○　建築工事※	○　一式			○　一式
○　電気設備工事※	○　一式			○　一式

4. 指定部分　　●無　○有（対象部分　　）
　　指定部分工期：　令和　年　月　日）

5. 設備概要（●印の付いたものを適用する。）　※改修工事の場合は既存概要を示す。

方式及び種類	設　備　概　要
空調方式	○個別空調方式　○パッケージ形空気調和機　○空気調和　○単一ダクト方式　○全空気方式
主要熱源機器	○ファンコイルユニット・ダクト併用方式
燃料※	○電気　○都市ガス　○液化石油ガス
自動制御方式	○電気式　○電子式　○デジタル式
給水方式	○高置タンク方式　●ポンプ直送方式　○水道直結方式　○水道直結増圧方式
水源※	●県水　○市水
受水槽※	●有　○無
排水方式	建物内の汚水と雑排水（○合流式　●分流式）
	ポンプ排水　○あり（○汚物　○雑排水　○湧水　○雨水　）　○なし
	建物外放流先　（1）汚水　●直放流下水管　○
	（2）雑排水　●直放流下水管　○
	（3）排水槽　○あり（計画容量：汚水槽　＊、雑排水槽　＊）　●なし
消火設備の種類	○屋内消火栓設備　○スプリンクラー設備　○泡消火設備
	○連結散水設備　○連結送水管　○不活性ガス消火設備（○　　）
給湯方式※	○中央式　（○直接給湯　○間接給湯）
	●局所式　（●貯湯式湯沸器　○瞬間湯沸器）
燃料※	○都市ガス　○液化石油ガス　●電気
ガスの種類	○都市ガス　○液化石油ガス　供給事業者名（　　）
	（種別　13A、高位発熱量45.0MJ/＊（N）、低位発熱量40.6MJ/＊（N）、供給圧力　Pa）

6. 改修内容：改修工事の場合に記載する。（M-00　工事概要参照）

2. 工事仕様

1. 共通仕様

※(1) 図面及び本特記仕様書に記載されていない事項は、国土交通大臣官房官庁営繕部制定の下記仕様書等を適用する。
　公共建築工事標準仕様書（機械設備工事編）（令和4年版）（以下「標準仕様書」という。）
　公共建築改修工事標準仕様書（機械設備工事編）（令和4年版）（以下「改修標準仕様書」という。）
　公共建築設備工事標準図（機械設備工事編）（令和4年版）（以下「標準図」という。）

※(2) 電気設備工事及び建築工事を本工事に含む場合は、電気設備工事及び建築工事はそれぞれの特記仕様書を適用する。

※2. 現場の納り等の関係による協議
　現場の納り、取り合い等の関係で設計図書（配管、配線、器具の位置、方法）による施工が困難、不都合な場合、または図面及び仕様書に明記なくとも技術上、安全上当然施工しなければならない工事は、施工図により監督職員との協議の上、請負金額の範囲内において変更を行うものとする。

3. 特記仕様

章、項目、特記事項共に●　印の付いたものを適用し、○印のものは適用しない。

章	項　目	特　記　事　項
一般共通事項	○運用区分	建築基準法に基づき定まる風圧力及び積雪荷重の算定には次の条件を用いる。 ○風圧力　　風速（Vo=　　m/s）　地表面粗度区分（　　） ○積雪荷重　　建設省告示第1455号における区域　　別表（　　）
	●環境への配慮	（1）本工事において、国等による環境物品等の調達の推進等に関する法律(平成12年法律第100号に基づく「環境物品等の調達の推進に関する基本方針（令和3年2月閣議決定）」(以下「グリーン購入法」)による特定調達品目の判断基準等を満たす環境物品等を選択するよう努める。 ただし、公共工事分野の特定調達品目の機材を使用する場合は、判断の基準を満たすものとする。 （2）建築物内部に使用する材料等は、設計図書に規定する所要の品質及び性能を有すると共に、次の①から④を満たすものとする。 ①　合板、木質系フローリング、構造用パネル、集成材、単板積層材、MDF、パーティクルボード、その他の木質建材、ユリア樹脂板、壁紙、接着剤、保温材、緩衝材、断熱材、塗料、仕上塗材は、アセトアルデヒド及びスチレンを発散しない又は発散が極めて少ない材料で、設計図書に規定する「ホルムアルデヒドの放散量」の区分に応じた材料を使用する。 ②接着剤及び塗料は、トルエン、キシレン及びエチルベンゼンの含有量が少ない材料を使用する。 ③接着剤は、可塑性（フタル酸ジ-n-ブチル及びフタル酸ジ-2-エチルヘキシル等を含有しない難揮発性の可塑剤を除く）が添加されていない材料を使用する。 ④①の材料を使用して作られた家具、書架、実験台、その他の什器類は、ホルムアルデヒド、アセトアルデヒド及びスチレンを発散しないか、発散が極めて少ない材料を使用したものとする。 （3）設計図書に規定する「ホルムアルデヒドの放散量」の区分において、「規制対象外」とは次の①又は②に該当する材料を指し、同区分「第三種」とは次の③又は④に該当する材料を指す。 ①建築基準法施行令第20条の7第1項に定める第一種、第二種及び第三種ホルムアルデヒド発散建築材料以外の材料 ②建築基準法施行令第20条の7第4項の規定により国土交通省の認定を受けた材料 ③建築基準法施行令第20条の7第1項に定める第三種ホルムアルデヒド発散建築材料 ③建築基準法施行令第20条の7第3項の規定により国土交通省の認定を受けた材料
	●特定調達品目※	※(1) 松戸市で定める「松戸市グリーン購入等に係る基本方針」に基づき環境に配慮した物品を最優先に使用する。 ※(2) グリーン購入法に基づく環境物品等の調達の推進に関する基本方針における公共工事の配慮事項（「資材の梱包及び容器は、可能な限り簡易であって、再生利用の容易さ及び廃棄時の負荷低減に配慮されていること。」）に留意すること。

章	項　目	特　記　事　項
一般共通事項	●材料・機材の品質等	（1）本工事に使用する機材等は、設計図書に定める品質及び性能の他、通常有するべき品質及び性能を有するものとする。 （2）別表－１に機材等名が記載された製造業者等は、次の1）から6）すべての事項を満たすものとし、この証明となる資料又は外部機関が発行する品質及び性能等が評価されたことを示す書面を提出して監督職員の承諾を受ける。ただし、製造業者等名が記載されているものは、証明となる資料等の提出を省略することができる。 1）品質及び性能に関する試験データが整備されていること。 2）生産施設及び品質の管理が適切に行われていること。 3）安定的な供給が可能であること。 4）法令等で定めがある場合、その許可、認可、認定又は免許を取得していること。 5）製造又は施工の実績があり、その信頼性があること。 6）販売、保守等の営業体制を整えられていること。なお、システムとして機能するものにあっては、システムの構築能力があり、現場での施工体制が整えられていること。
	○室内空気中の化学物質の濃度測定※	室内空気中のホルムアルデヒド、トルエン、キシレン、エチルベンゼン、スチレンの濃度を測定し、監督職員に報告する。測定はパッシブ型採集機器により行う。 測定時期　　○工事着手前　○施工終了時 測定対象室　○図示　　○ 測定箇所数　○図示　　○
	○電気保安技術者※	工事現場に置く電気保安技術者は、千葉県自家用電気工作物保安規程第三条に定める工事管理者（　　）の任命する監督職員の職務を補佐し、電気工作物の保安業務を行う。
	○技能士の適用	○配管施工（配管工事）　○建築板金施工（ダクト製作及び取付け） ○熱絶縁施工（保温工事）　○冷凍空気調和機器施工（冷凍空調機器の据付） ○設置する（○費用は請負業者の負担とする。　○発注者の負担）
	○監督職員事務所※	
	●工事用電力・水・その他	●本工事に必要な工事用電力、水及び諸手続等の費用はすべて受注者の負担とする。 工事用水　　構内の施設　○　利用できない　●利用できる（●有償　○無償　） 工事電力　　構内の施設　○　利用できない　●利用できる（●有償　○無償　）
	○工事用仮設物	構内につくることが　　○できる　　○できない
	●足場その他	○　別契約の関係受注者が定置したものは、無償で使用できる。 （○　建築工事　○　電気設備工事　で設置する。） ●　本工事で設置とする。 「手すり先行工法に関するガイドライン」に基づく足場の設置に当たっては、同ガイドラインの別紙１「手すり先行工法による足場の組立て等に関する基準」における２の(2)手すり据置方式又は(3)手すり先行専用足場方式により行う。 ○内部足場等（○　種　○　種） ○外部足場等（○　種　○　種）
	●養生・清掃※	工事場所はビニルシート等により養生を行い、工事後は清掃を行うこと。
	●環境対策	建設機械は、排出ガス対策型、低騒音型の建設機械を使用すること。
	●工事環境管理	受注者は、工事の施工にあたっては、次の事項を遵守すること。 不法・違反無線局(不法パーソナル無線)を設置したトラック、ダンプカー等を工事現場に立ち入らせないこと。
	●過積載による違法運行の防止	受注者は、工事の施工にあたっては、次の事項を遵守すること。 （1）積載重量制限を超えて土砂等を積み込まず、また積み込ませないこと。 （2）さし枠装着車、不表示車等に土砂等を積み込まず、また積み込ませないこと。 （3）過積載車輌、さし枠装着車、不表示車等から土砂等の引渡しを受ける等過積載を助長することのないようにすること。 （4）取引関係のあるダンプカー事業者が過積載を行い、又はさし枠装着車、不表示車等を土砂等運搬に使用している場合は、早急に不正状態を解消する措置を講ずること。 （5）建設発生土の処理及び骨材の購入等に当たって、下請事業者及び骨材納入業者の利益を不当に害することのないようにすること。 （6）以上のことにつき、下請業者にも十分指導すること。
	●施工調査※	事前調査　●本工事　○別途 事前調査 調査項目　○既存資料調査 調査範囲　○図示　○ 調査方法　○図示　○ ○はつり及び穿孔作業を行う場合、事前に走査線式埋設物調査を行い報告すること。 ○石綿含有分析調査（○元請業者　○　　）
	○石綿含有品※	石綿含有分析調査　○本工事　○別途 撤去方法　　○図示による
	●建設副産物※	本工事により発生する建設廃棄物の計画量は以下のとおり 1）アスコン塊　（　　t）　8）混合廃棄物　（　0.74 m3） 2）コンクリート塊　（　2.86　t）　9）飛散性アスベスト　（　　m3） 3）建設発生木材　（　　t）　10）非飛散性アスベスト　（　　m3） 4）建設汚泥　（　　t） 5）ガラスくず及び陶器くず　（　2.55 m3） 6）金属くず　（　1.28 m3） 7）廃プラスチック　（　0.40 m3）
	●発生材の処理※	●　金属類　（●機器類　●ダクト　●配管　○その他金属類）の処理は （○　構外搬出適切処理　○　　）とする。 ○　特別管理産業廃棄物　（　○　　○　　）の処理は （○　構外搬出適切処理　　○　別途　）とする。 ○　石綿含有産業廃棄物（○配管用成形保温材　○フランジ用ガスケット）の処理は （○　構外搬出適切処理　　○　別途　）とする。 ●　上記以外のもの（○　　○　　）の処理は （○　構外搬出適切処理　　○　別途　）とする。 ○　建設リサイクル法における再資源化等を行う特定建設資材の構外搬出処理を本工事とする。
	○冷媒（フロン類）の回収※	○　本工事　○　別途 冷凍機等の撤去に伴う冷媒の回収方法は、改修標準仕様書第３編２．４．３により、次の書類を監督職員に提出する。 ○　フロン回収行程管理表の写し　○　特定家庭用機器廃棄物管理票（家電リサイクル券）の写し
	○埋め戻し土・盛土	○　根切り土の中の良質土　○　山砂の類
	○建設発生土の処理※	○　埋戻し後の建設発生土は、監督職員と協議し、構内の決定した場所に敷きならしとする。 ○　場外搬出適切処理　　○現場説明書による。 搬　出　量　（　　＊） 搬出先名称　（　　） 搬出先住所　（　　） 片道運搬距離　（　　） 工事発注後、上記の指定処理により難い場合は、監督職員と協議するものとする。 片道運搬距離は積算上処理分区ごとに代表地点から算出した距離であり、実際の運搬距離と差異が生じた場合においては設計変更の対象としない。 搬出の際には、平成３年環境庁告示第４６号付表に定める方法により検液を作成し、計量した結果の結果証明書を提出しなければならない。なお、計量する対象は、付表に定める溶出試験２６項目に「クロロエチレン」と「１，４－ジオキサン」を含めた２８項目、含有量試験２項目とする。 土質調査　○要　　○不要（　　）
	●官公署その他への届出手続等※	工事の着手、施工、完成にあたり、関係官公署などへの必要な手続等は受注者が代行し遅滞なく行う。 なお、当該手続きに必要な費用は、特記なき場合は受注者の負担とする。
	●ワンデーレスポンス	本工事は、ワンデーレスポンス対象工事である。
	●創意工夫等の実施	受注者は、工事施工において、自ら立案実施した創意工夫に関する項目、または地域社会への貢献として評価できる項目に関する事項について、工事完了時までに書面により提出することができる。
	●保険	本工事については、工事目的物及び工事材料を次に示す内容で火災保険、組立保険その他の保険に附すること。 （1）被保険者　　発注者、受注者及びその全下請負人 （2）保険金額　　請負代金全額 （3）保険期間　　工事着手のときから工事引渡しまでの期間 なお、保険契約を締結したときは、その証券又はこれに代わるものを直ちに監督職員に提示すること。
	●他工事との工事区分	図面に特記なき場合は、工事区分表による。
	○天井仕上区分	（　）書きの室名は直天井を示し、その他は二重天井を示す。
	●機材の承諾図	機械設備工事機材承諾図様式集（令和元年版）によるほか、監督職員との協議による。
	●施工図等の取扱	施工図等の著作権に係わる当該建築物に限る使用権は、発注者に移譲するものとする。
	●工事写真※	国土交通省大臣官房官庁営繕部制定の「営繕工事写真撮影要領（平成31年版）」による。

章	項　目	特　記　事　項
一般共通事項	●耐震措置	設備機器の固定は施設の分類に応じて次による。（建築設備耐震設計・施工指針に準じる） （1）設計用水平地震力 設計用水平地震力は、機器の質量［kN］（水槽類は満水時の液体重量を含む設備機器総重量）に、地域係数1.0及び次に示す設計用標準水平震度を乗じたものとする。

設計用標準水平震度

設置場所	機器種別	○特定の施設		●一般の施設	
		重要機器	一般機器	重要機器	一般機器
上層階屋上及び塔屋	機　器	2.0	1.5	1.5	1.0
	防振支持の機器	2.0	2.0	2.0	1.5
	水　槽　類	2.0	1.5	1.5	1.0
中間階	機　器	1.5	1.0	1.0	0.6
	防振支持の機器	1.5	1.5	1.5	1.0
	水　槽　類	1.5	1.0	1.0	0.6
地階・１階	機　器	1.0	0.6	0.6	0.4
	防振支持の機器	1.0	1.0	1.0	0.6
	水　槽　類	1.5	1.0	1.0	0.6

・上層階とは2～6階建の場合は最上階、7～9階建の場合は上層2階、10～12階建の場合は上層3階、13階建以上の場合は上層4階とする。
・中間階とは地階、1階を除く各階で上層階に該当しないもの
・水槽類にはオイルタンクを含む
・重要機器は次のものを示す。
（名称：　　、記号：　）（名称：　　、記号：　）
（名称：　　、記号：　）（名称：　　、記号：　）
（名称：　　、記号：　）（名称：　　、記号：　）

（2）設計用鉛直地震力は、設計用水平地震力の１／２とする。
※(3) 100kg以下の軽量な機器においても耐震を考慮し、同等な施工または機器メーカーの指示する方法を確実に行うこと。ただし、機器は建物構造体より取付、天井材（軽量鉄骨等）には取付けないこと。落下や転倒が生じた場合に災害が起こる場所に設置する場合は落下、転倒防止措置を行うこと。

●総合試運転調整※	●　本工事　○　別途 調整項目（測定箇所等は監督職員の指示による。） ○風量調整　○水量調整　○室内外空気の温湿度の測定　○室内気流及びじんあいの測定 ○騒音の測定　○飲料水の水質の測定　○雑用水の水質の測定 ○水量測定　○気密試験　○初期運転状態の記録　○エアコン調整　○風量測定
○運転操作説明板	系統図、機器等の取り扱い方及び重要な定期点検項目を記載したアクリル樹脂製の板を機械室に設ける。説明板の大きさは約　　m2とする。
●電動機	換気扇、圧力扇及び標準仕様書に記載なく特記のないものの電動機の保護規格は、製造者規格による標準品としておよい。
●電源周波数	●50Hz　　○60Hz
●容量等の表示	（1）機器類の能力、容量等は表示された数値以上とする。 （2）電動機出力、燃料消費量、圧力損失等は、原則として表示された数値以下とする。
○電線類	電線及びEMケーブルは標準仕様書第4編1．5．1第4．1．11による。
●既存躯体への穿孔	穿孔機械を使用し、既存躯体に穿孔する場合は、金属探知により電源供給が停止できる付属装置等を用いて施工する。
●はつり	既存コンクリート床、壁等の配管貫通部の穴開けは、図面に特記のない場合はダイヤモンドカッターを用いる。
●吊り及び支持金物	（●構内　○　）の吊り金物・支持金物類はステンレス鋼製（SUS304）とする。
●配管	（1）ステンレス鋼管の接合は、下記による。※ 呼び径60Su以下 ○SAS322規格の継手 （○プレス式　○拡管式　○ナット式　○転造ねじ式　○差込式　○カップリング式） ○ハウジング形管継手　○管端つば出しステンレス鋼管継手 呼び径75Su以上 ○溶接接合　　○ハウジング形管継手 （2）溶接部の非破壊検査　　○不要　　○要 （抜取率　○標準仕様書（機械設備工事編）による　　○　　%） ※(3) 建築物導入部の変位吸収方法は、標準図（建築物導入部の変位吸収配管要領）による。 ○（ａ　フレキシブルジョイント ）　○（ｂ　ボールジョイント ） ○（ｃ　スリークッション） ※(4) 土間スラブ等の下が土中埋設配管となる場合は、その土間スラブからステンレス製等の防食を考慮した吊り金物にて支持をとること。 ※(5) 床下、ピット内、及び屋外露出配管の吊り及び支持金物（バンド・吊金物類）及びアンカー類はステンレス製又は溶融亜鉛メッキ製とする。 屋内露出の支持金物類はステンレス製又は溶融亜鉛メッキ製、防錆処理が施されたものとする。 ※(6) 管の埋設深さは、管の上端より原則として、一般敷地は（○30cm　○　cm） 構内道路は（○60cm　○　cm）以上とする。ただし、給水及びガス事業者による配管の深度は、供給事業者の規定によるものとする。 ※(7) 市道の配管埋設深さ及び道路復旧については、松戸市管理道路の道路掘削　・復旧等の基準（平成３１年度）による。その他の道路については各道路管理者の規定による。 ※(8) 法定区画（防火区画、防火壁、界壁等）及び水密を要する部分、並びに床などの配管貫通箇所の穴埋めは、モルタルにより穴埋めを行う。 ※(9) 上記(8)以外を貫通する配管の穴埋めは下表による。ただし、硬質塩化ビニル管、床以外または水密を要する部分以外の管貫通箇所にあっては、保温工事の有無に係わらず、穴埋めは行わなくてもよい。

保温を行う配管	穴埋めは行わない。
保温を行わない配管	モルタルにより穴埋めをする。

※(10) JIS マーク、JAS マークスは「給水装置の構造及び材質の基準に関する省令」に適合することを示す認証機関のマークのある機材を使用する場合、品質及び性能を有することの証明となる資料の提出を省略する。

●試験	（1）各種配管の試験は、新設配管に適用する。 （2）新設配管は、既設配管との接続前に試験を行う。
○絶縁継手	図示の位置に取り付ける。
○地中埋設標等	（1）地中埋設標　　○要（図示の箇所）　　○不要 （2）埋設表示用テープ　　○要（排水管を除く）　○不要
●保温※	○　屋外露出部の（○機器類　○配管類）には（○凍結防止ヒーター　○防凍保温）を行う。 なお、配管類には弁類を含むものとする。 （対象機器類：○　　○　　○　　） （対象配管類：○給水配管　　○消火配管　　○膨張管　　○ドレン管　　） 防凍防止ヒーター：自己サーモ式とし、防凍保温を施す。 防凍保温　　：標準仕様書第2編3．1．4及び3．1．5による。 ただし、保温厚さは配管の呼び径25以下は50mm以上、呼び径32以上は40mmとする。 ○　共同溝、トレンチの保温は（標準仕様書第2編の施工箇所　　）を適用する。 ○　多湿箇所は下記の場所とする。（天井内共多湿箇所とする。） （対象室名：○浴室（ユニットは除く）　○脱衣室　○　　○　　） ○　屋内露出部の（○実験室　○　　）の保温外装は（○ｱﾙﾐｶﾞﾗｽｸﾛｽ　○　　）とする。 ○　合成樹脂製カバーは（○１シートタイプ　○２ジャケットタイプ ）とする。 ●　保温工事仕様は、別表－２　による。
○塗装、仕上げ※	（1）露出機材の塗装仕上げは下記による。 ○屋外　○ドレン管　（○指定色塗装　○　　） ○金属電線管　（○溶融亜鉛メッキ仕上げ［付着量300g/㎡以上］　○指定色塗装） ○屋内　○　　（○指定色塗装　○　　） （2）塗装色※ 必要な場合には色見本を作成し、監督員の承諾を得ること。また、特別な指示のない限り、松戸市標準色（マンセル　７．５Ｙ　９／１　とする。）

章	項　目	特　記　事　項
一般共通事項	○設計用温湿度	

	外気		屋内					
			一般系統					
	温度(DB)	湿度(RH)	温度(DB)	湿度(RH)	温度(DB)	湿度(RH)	温度(DB)	湿度(RH)
夏　期	34.7℃	%	28.0℃	50%	℃	%	℃	%
	℃	%	℃	%	℃	%	℃	%
	℃	%	℃	%	℃	%	℃	%
	℃	%	℃	%	℃	%	℃	%
冬　期	1.8℃	%	22.0℃	40%	℃	%	℃	%

○鋼板製煙道	伸縮継手、掃除口及びばいじん量測定口の位置は図示による。 鋼板厚（○3.2mm、○4.5mm）
○ダクト	○低圧ダクト　（○コーナーボルト工法（長辺の長さが1,500mm以下の部分） ○アングルフランジ工法　○スパイラルダクト）とする。 ○スパイラルダクト（○低圧　○　　） ○高圧1ダクトの適用範囲は図示による。 ○ステンレスダクト及び塩化ビニルダクトの仕様及び適用範囲は図示による。
○風量測定口※	取り付け箇所は ○図示した位置　　○外調機SA、OAダクト
○チャンバー	○外気取り入れダクト　○送風機出口チャンバーの分岐ダクト （1）内貼りを施すチャンバーの表示寸法は外法を示す。 （2）空気調和機に取り付けるサプライチャンバー、レタンチャンバー及びダクト系で消音内貼りしたチャンバーには点検口を設け、点検口の大きさは図示による。 （3）外壁に面するガラリに直接取り付けるチャンバー及びホッパーは雨水の滞留のないように施工する。
○ダンパー	（1）防煙ダンパー　　復帰方式（○遠隔復帰式　　○　　） 定格入力はDC24V、0．7A以下とする。 （2）ピストンダンパー　　復帰方式（○遠隔復帰式　　○　　）
●配管材料	（1）蒸気管　　給気管　○配管用炭素鋼鋼管 ○圧力配管用炭素鋼鋼管（黒）（Sch40） ○ 還管　○圧力配管用炭素鋼鋼管（黒）（Sch80） ○ （2）油　管　　○配管用炭素鋼鋼管（黒）　　○ （3）冷温水管　　○配管用炭素鋼鋼管（白） （4）冷却水管　　○配管用炭素鋼鋼管（白） （5）高温水管　　○一般配管用ステンレス鋼鋼管　○ （6）膨張管、空気抜き管及び膨張タンクよりボイラー等への補給水管 （7）冷媒管　　○断熱材被覆鋼管　　○ （8）ドレン管　　○配管用炭素鋼鋼管（白）　○
○弁類	JIS 又は JV　（○5K　○10K（図示部分）） ○65A以上の冷温水・冷却水用弁装置の仕切弁はバタフライ弁とする。 ○鋼管用伸縮継手の種類は図示による。 ○ステンレス鋼管に使用する弁類は、ステンレス製とする。 ○ファンコイルユニットと冷温水管の接続部（往・還）には、ボール弁を取付ける。 ※○ファンコイルユニットには、○流量調整弁　を設置する。
○絶縁継手	図示の位置に取付ける。
○温度計・圧力計	図示の位置に取付ける。
○瞬間流量計	図示の位置に取付ける。なお、瞬間流量計（○固定形　○着脱形）とする。
○保温及び消音内貼り	標準仕様書第2編3．1．4によるほか、次による。 ○還りダクト（RAダクト）の保温範囲は（○図示による　○　　） ○外気ダクト（OAダクト）の保温範囲は（○図示による　○　　） ○蒸気還り管の保温不要。（屋内露出は除く。） ○膨張管及び膨張タンクよりボイラー等への補給水管の保温は、標準仕様書第２編 3.1.4 の温水管の項による。 ○建物内の空気抜き管の保温は、標準仕様書第２編 3.1.4 温水管の項による。 （エア抜き弁以降の配管は除く。） ○空気調和機及びファンコイルユニットの排水管の保温は、標準仕様書第２編 3.1.5 の排水管の項による。 ※○冷媒管の保温外装は別表－２による。
○冷媒配管※	冷媒用被覆銅管が外壁を貫通する場合は、塩ビ管をさや管として傾斜をつけて挿入し雨水の浸入を防止すること。また、外壁貫通部の内側及び外側の直近に支持金具を付け、冷媒管を堅固に固定すること。
○保温付フレキシブルダクト※	国土交通省認定による不燃材料とし、構造は不織布、補強材、グラスウール、フィルムにより構成されていて、端末は加工されているものとする。

別表-1

機　材　等	

（備考）　※印の特記内容は、松戸市仕様である。

工事名	松戸市立総合医療センター附属看護専門学校 給排水衛生管改修機械設備工事（その２）			
図面名	機械設備特記仕様書（１）			
作成年月日	令和7年2月21日	変更年月日		
縮　尺	A1:N.S A3:N.S	図面番号	M-02	
設　計	株式会社　山岡設計事務所 千葉県知事登録　第1-2306-2686号 山岡　治 一級建築士大臣登録第272498号			
松戸市 街づくり部 建築保全課				

章	項目	特記事項
○換気設備	●ダクト	●低圧ダクト （○コーナーボルト工法（長辺の長さが 1500 mm以下の部分） ○アングルフランジ工法 ●スパイラルダクト）とする。 ○高圧1ダクトの適用範囲は図示による。 ○ステンレスダクト及び塩化ビニルダクトの仕様及び適用範囲は図示による。 ○建築基準法による厨房の火気使用室の換気ダクトの板厚は下表による。@ （松戸市火災予防条例 第３条の４ 第１項 第１号） （松戸市火災予防条例施行規則 第３条） （単位）mm
	○風量測定口	取付箇所は図示による。
	○ダンパー	空気調和設備の当該項目による。
	○排気ダクトのシール	○浴室（シャワー室、脱衣室を含む）系統 ○厨房系統 ○
	○チャンバー	空気調和設備の当該項目による。
	●保温@	@○ 全熱交換ユニット用のOAダクト ○保温の厚さ25mm、範囲は図示による。 ○保温範囲は外壁吸込口から全熱交換ユニット間、保温仕様は別表-2による。 @○ 一般のOAダクト ○保温の厚さ25mm、範囲は図示による。 ○保温範囲はすべてとし、保温仕様は別表-2による。 @○ 全熱交換ユニット用のEAダクト ○保温の厚さ25mm、範囲は図示による。 ○保温範囲は外壁排気口から全熱交換ユニット間、保温仕様は別表-2による。 @○ 一般のEAダクト ○保温の厚さ25mm、範囲は図示による。 ○保温範囲は外壁から1m、保温仕様は別表-2による。 @○ 多湿箇所のダクトの保温要 （○保温の厚さ25mm、範囲は図示による。○ ） @○ （○厨房 ○湯沸室 ○調理室）の保温要 （保温範囲は屋内系統ダクトすべてとし、保温仕様は別表-2による。） @○ 換気用ダクト（保温厚25mm）@ @○ 外気取り入れ用（保温厚25mm）@ @● 給気排気用ダクト（保温の厚さ25mm・外壁より１m）@ @○ ロックウール（厚さ50mm）（厨房等で火気使用機器用の排気ダクト）@

○スパイラルダクト

ダクトの内径A	○亜鉛鉄板	○ステンレス鋼板
A ≦ 750	0.6以上	0.5以上
750＜ A ≦1000	0.8以上	0.6以上
1000＜ A ≦1250	1.0以上	0.8以上
1250＜ A	1.2以上	

○矩形ダクト（厨房設備の入力が21Kwh以下のもの）

ダクトの長辺A	○亜鉛鉄板	○ステンレス鋼板
A ≦ 300	0.6以上	0.5以上
300＜ A ≦ 450	0.6以上	
450＜ A ≦1200	0.8以上	0.6以上
1200＜ A ≦1800	1.0以上	0.8以上
1800＜ A	1.2以上	

○矩形ダクト（厨房設備の入力が21Kwhを超えるもの）

ダクトの長辺A	○亜鉛鉄板	○ステンレス鋼板
A ≦ 450	0.6以上	0.6以上
450＜ A ≦1200	0.8以上	0.6以上
1200＜ A ≦1800	1.0以上	0.8以上
1800＜ A	1.2以上	

（上表によるダクト板厚、及び板の材質の適用範囲は図示による。）

○排煙設備	○ダクト	○亜鉛鋼板 ○普通鋼板（厚1.6mm）
	○排煙鋼の形式	○図示による。
	○排煙口手動解放装置（解放及び復帰方式）	○電気式（遠隔操作 ○要 ○不要） ○ワイヤー式
	○排煙風量測定	建築設備定期検査業務基準書（2016年版）（（一財）日本建築設備・昇降機センター）の排煙風量の検査方法に準じる。
○自動制御設備	○中央監視制御装置	○有（○新設 ○既設 ） ○無
	○システム構成・機能	○有（○新設 ○既設 ） ○無
	○電気計装用配線	電線及びEMケーブルは、標準仕様書第4編1.5-1表4.1.11による。 屋外・屋内露出の電線は、一図示に特記がなければ金属管配線とする。 天井内隠ぺいの配線は、図面に特記がなければケーブル配線とする。
●衛生器具設備	●自動洗浄装置及びその組み込み小便器	●個別感知フラッシュ方式（●AC電源 ○自己発電）
	○標記板	○要（材質： ） （○大便器 ○小便器 ○ ）
	●自動水栓の電源供給方式	●AC電源 ○自己発電
	○衛生器具ユニット	○図示による。
	●衛生器具付属水栓	水抜栓を使用する場合は、水栓は固定こま式とする。
●給水設備	●配管材料	(1) 一般配管 ●塩ビライニング鋼管（VB） ○ ○ステンレス鋼鋼管（SUS304） ○ (2) 地中埋設配管 ●塩ビライニング鋼管（VD） ○ ○ステンレス鋼鋼管（SUS316） (3) 給水引込管 ○ 引き込みは水道事業者の指定により、量水器以降の地中配管は、 （○ ）とし、他の部分は(1)による。
	○量水器	○親メーター（貸与品） ○現地表示式（直読式） ○遠隔表示式（（○電文式 ○ ） ○子メーター（貸与品） ○現地表示式（直読式） ○遠隔表示式（（○電文式 ○ ）
	○給縁継手	図示の位置に取付ける。
	●弁類	JIS 又は JV ● 水道直結部分（● 10K ○ ） ● その他の部分（○ 5K ● 10K ）
		○ ステンレス配管を使用する場合の材質はステンレス製とする。
	●水栓	○台所流し用の水栓は泡沫式とする。 ○水抜栓を使用する場合、水栓は固定こま式とする。 （○ただし、屋外に設ける水栓は耐寒栓とする）
	○管の地中埋設深さ	○管の上端より原則として、一般敷地は（ cm）構内道路は（ cm）以上とする。
	○水栓柱	○合成樹脂製 ○アルミニウム合金製 ○人造石研ぎ出し製 ○ステンレス鋼製
	○引込納付金等	○要（○別途工事 ○本工事） ○不要
●排水設備	●配管材料	(1) 屋 内 汚 水 管 ○排水用塩ビライニング鋼管 ●耐火二層管（内管VP） 雑排水管 ○排水用塩ビライニング鋼管 ●耐火二層管（内管VP） 通気管 ○配管用炭素鋼鋼管（白） ●耐火二層管（内管VP） ポンプアップ排水管 ○排水用ノンタールエポキシ塗装鋼管 ○ 第一桝まで ○排水用塩ビライニング鋼管 ●硬質ﾎﾞﾘ塩化ﾋﾞﾆﾙ管（VP） ●屋外露出：カラーＶＰ ●埋設：硬質ﾎﾞﾘ塩化ﾋﾞﾆﾙ管（VP） (2) 屋 外 桝間 ●硬質ﾎﾞﾘ塩化ﾋﾞﾆﾙ管（VP）
	●洗面器等の排水管	洗面器に直結する排水管は、器具トラップより１サイズアップとする。 台所流し等の床上部分の配管は、ビニル管（RF-VP）でもよい。 大便器、小便器、洗面器及び掃除流しとの接続管は、ビニル（RF-VP）とする。
	●洗面器等の排水管	洗面器に直結する排水管は、器具トラップより１サイズアップとする。
	●満水試験継手	○ 標準仕様書２編 2.4.8(f)による。 ● 図示の箇所に取り付ける。
	●インバート桝・ため桝@	● プラスチック桝 （○ ● 標準図による。） ○ コンクリート桝 （○ ○ 標準図による。）
	○雨水抑制施設@	○ 雨水浸透桝 （○ ○ ） ○ 雨水浸透管 （○ ○ ） ・松戸市雨水流出抑制施設設置指導要綱に準じる。
●給湯設備	○配管材料	●ステンレス鋼鋼管（SUS304） ○
	○弁類	JIS 又は JV （● 5K ○ 10K（図示部分））
	○保温	○ステンレス鋼管に取付ける弁類は、ステンレス製とする。 湯沸器の給排気筒（二重管）の隠ぺい箇所は保温を行う。なお、保温の種別は標準仕様書第２編 3.1.5表 2.3.5のｈ・（イ）・Dとする。

章	項目	特記事項
○消火設備	○配管材料	(1) 屋内消火栓 一般 ○ステンレス鋼鋼管（SUS304） ○ 地中 ○ステンレス鋼鋼管（SUS304） ○ (2) 連結送水管 一般 ○圧力配管用炭素鋼鋼管（白）（sch40） 地中 ○圧力配管用炭素鋼鋼管（白）（sch40）
	○屋内消火栓種別	○広範囲型2号消火栓 ○易操作性1号消火栓 ○１号消火栓 ○２号消火栓
	○屋内消火栓開閉弁	○１ＯＫ
	○保温	○屋外露出部分 ○あり（標準仕様書第２編 3.1.5 e2・(ハ)・Ⅶ） ○なし
	○不活性ｶﾞｽ消火設備	別図による。
	○泡消火設備	別図による。
○厨房設備	○システム	○ドライシステム ○
	○機器の機能等	図示による。
○ガス設備	○配管材料	○都市ガス ガス事業者の供給規定による。 ○液化石油ガス (1)一般 ○ (2)地中 ○
	○充てん容器	別途（○50kg ○ ○ ）× 本
	○集合装置	○標準図（液化石油ガス容器廻り配管要領）による 本組。
	○転倒防止等	○標準図（液化石油ガス容器転倒防止施工要領）の（○（a） ○（b））による。
	○メーター	○親メーター（貸与品） （○直読式 ○パルス式（パルス発信器は ○買い取り ） ○子メーター（買い取り） （○直読式 ○パルス式）
	○ガス漏れ警報器	○本工事（図示による） ○別途工事 外部警報端子（○ 無 ○ 有 ）
	○漏洩検知装置	○要 ○不要
	○電気防食	○要 ○不要
	○引込負担金等	○要（○別途工事 ○本工事） ○不要
○雨水利用設備	○システム構成その他	別図による。
	○配管材質	(1) 一般配管 ○ (2) 集水管 ○
	○弁類	JIS又はJV（○5K ○ ）
	○雨水抑制施設@	○ 雨水浸透桝 （○ ○ ） ○ 雨水浸透管 （○ ○ ） ・松戸市雨水流出抑制施設設置指導要綱に準じる。
○排水処理設備	○仕様等	別図による。
	○設置方式	○排水再利用 ○浄化槽 ○厨房除害
●撤去工事	●撤去内容	●図示による。
	●保温材	保温材は、配管・ダクト等より分離する。
	●支持金物等	ダクト及び配管等の支持金物及び吊り金物は本工事にて撤去する。
	●撤去跡処理@	撤去跡は、塗装及び防食処理等を行うこと。また雨水の浸入などが生じる場所及び部分については防水処理を行うこと。

別表－２
保温工事仕様　　＊ 適用する保温区分 （ ● 印の付いたものを適用し、○ 印のものは適用しない。）

区分	項目	施工箇所	保温材 GW	保温材 RW	保温材 PSF	保温仕様	外装材 カラーSUS	外装材 AL
給排水衛生設備配管	給水管		○	○	●	保温筒＋鉄線(PSFの場合粘着テープ)＋合成樹脂製カバー	—	—
給水管	排水管・通気管	屋内露出(一般居室、廊下)	○	○	○		—	—
排水管（屋外露出、床下、暗渠内は除く。）（空調機等の排水管含む。）	給湯管		○	○	—		—	—
	給水管	機械室、書庫、倉庫	○	○	●	保温筒＋鉄線(PSFの場合粘着テープ)＋原紙＋アルミガラスクロス	—	—
	排水管・通気管		○	○	○		—	—
	給湯管		●	○	—		—	—
通気管（屋外露出、床下、暗渠内は除く。）（排水管の分岐点より100mm以下の部分）	給水管	天井内、パイプシャフト内、空隙壁中	●	○	○	アルミガラスクロス化粧保温筒＋アルミガラスクロス粘着テープ	—	—
	排水管・通気管		○	○	○		—	—
	給湯管		●	○	—		—	—
消火管（屋外露出部分のみ）	給水管・消火管	屋外露出（バルコニー、開放廊下含む）	○	○	●	保温筒＋鉄線(PSFの場合粘着テープ)＋ポリエチレンフィルム＋外装材	○	○
給湯管（膨張管含む）	給湯管	浴室、厨房等の多湿箇所（厨房の天井内は含まない）	○	○	—		○	○
	給水管	暗渠内(ピット内含む)	○	○	●	保温筒＋鉄線(PSFの場合粘着テープ)＋ポリエチレンフィルム＋着色アルミガラスクロス	—	—
	給湯管		○	○	—		—	—
保温厚	グラスウール保温筒(GW) ロックウール保温筒(RW)		80A以下：20mm、100A～150A：25mm、200A以上：40mm					
	ポリスチレンフォーム保温筒(PSF)		80A以下：20mm、100A 以上：25mm					
給排水衛生設備機器 鋼製タンク 排気筒 貯湯タンク	鋼製タンク	屋内	○	○	○	鋲(PSFの場合鋲又は接着剤)＋保温板(厚さ25mm)＋ポリスチレンフィルム＋鉄線＋外装材	○	—
		屋外	○	○	○		—	○
	貯湯タンク	屋内	○	○	—	鋲＋保温板(厚さ25mm)＋鉄線＋外装材	○	—
		屋外	○	○	—		—	○
	排気筒	隠ぺい箇所	—	○	—	保温帯(厚さ50mm)＋鉄線＋アルミガラスクロス＋金網	—	—

冷媒管（断熱材被覆銅管）	ガス管保温厚@	20mm以上				液管保温厚	10mm以上	
	外装材	屋内露出(一般居室、廊下)	○ 合成樹脂カバー ○ 保温化粧ケース（ ○ 製 ）					
		機械室、書庫、倉庫	○ 合成樹脂カバー ○ 保温化粧ケース（ ○ 製 ）					
		屋外露出	○ ステンレス鋼板 ○ ○ 合成樹脂カバー ○ 保温化粧ケース（ ○ 製 ）					

空気調和設備機器	冷温水ヘッダー	屋内	○	○	○	鋲(PSFの場合鋲又は接着剤)＋保温板(厚さ50mm)＋ポリスチレンフィルム＋鉄線＋外装材	○	—	—
冷温水ヘッダー 冷水ヘッダー 冷温水タンク 冷水タンク 冷温水タンク 冷水タンク 温水ヘッダー 蒸気ヘッダー 蒸気ヘッダー 温水タンク 温水タンク 還水タンク 熱交換器 膨張タンク	冷水ヘッダー 冷温水タンク 冷水タンク	屋外	○	○	○		—	○	—
	温水ヘッダー 蒸気ヘッダー 温水タンク 還水タンク 熱交換器	屋内	○	○	—	鋲＋保温板(厚さ50mm)＋鉄線＋外装材	○	—	—
		屋外	○	○	—		—	○	—
	膨張タンク	屋内	○	○	—	鋲＋保温板(厚さ25mm)＋鉄線＋外装材	○	—	—
		屋外	○	○	—		—	○	—
空気調和設備ダクト	長方形ダクト（全熱交換器用ダクトは、保温厚25mmとする）	屋内露出(一般居室、廊下)	○	○	—	鋲＋保温板(厚さ50mm)＋外装材	○	—	—
		機械室、書庫、倉庫、屋内隠ぺい、ダクトシャフト内	○	○	—	鋲＋アルミガラスクロス化粧保温板(厚さ25mm)＋アルミガラスクロス粘着テープ	—	—	—
		屋外露出（バルコニー、開放廊下含む）浴室、厨房等の多湿箇所（厨房の天井内は含まない）	○	○	—	鋲＋保温板(厚さ50mm)＋ポリスチレンフィルム＋鉄線＋外装材	○	○	○
	スパイラルダクト（全熱交換器用ダクトは、保温厚25mmとする）	屋内露出(一般居室、廊下)	○	○	—	保温板(厚さ50mm)＋外装材	○	—	—
		機械室、書庫、倉庫、屋内隠ぺい、ダクトシャフト内	○	○	—	アルミガラスクロス化粧保温板(厚さ25mm)＋アルミガラスクロス粘着テープ	—	—	—
		屋外露出（バルコニー、開放廊下含む）浴室、厨房等の多湿箇所（厨房の天井内は含まない）	○	○	—	保温板(厚さ50mm)＋ポリスチレンフィルム＋鉄線＋外装材	○	○	○
消音内張り	サブライチャンバー		○	○	—	鋲＋保温板(厚さ50mm)＋ガラスクロス＋鋼きっ甲金網	—	—	—
	消音チャンバー・消音エルボ		○	○	—	鋲＋保温板(厚さ25mm)＋ガラスクロス	—	—	—

※ 凡例 保温材 GW：グラスウール保温材 RW：ロックウール保温材 PSF：ポリスチレンホーム保温材
外装材 ｶﾗｰ：カラー亜鉛鉄板 SUS：ステンレス鋼板 AL：溶融アルミニウム－亜鉛鉄板
※ 不燃材以外の配管が建築基準法施行令第112条第15項に規定する準耐火構造等の防火区画を貫通する場合貫通部より 1m 以上はロックウール保温材を使用すること
※ 配管の保温は、継手及び弁類を含む。図面及び本特記仕様書に記載されていない事項は、標準仕様書による。

（備考） @印の特記内容は、松戸市仕様である。

工事名	松戸市立総合医療センター附属看護専門学校給排水管改修機械設備工事（その２）		
図面名	機械設備特記仕様書（２）		
作成年月日	令和7年2月21日	変更年月日	
縮 尺	A1:N.S A3:N.S	図面番号	M-03
設 計	株式会社 山岡設計事務所 千葉県知事登録 第1-2306-2686号 山岡 治 一級建築士大臣登録第272498号		
松戸市 街づくり部 建築保全課			

衛生機器表（撤去）

記号	機器名称	仕様	電気 φ	電気 V	電気 Kw	台数	設置場所	備考
EB-1	電気温水器 （２期工事）	型式　電気温水器　手洗い用 貯湯量　10 L 付属品　密閉式排水ﾊﾞﾙﾌﾞ、他付属品一式	1	100	1.0	1	1階　職員便所	

凡例

記号	名称	施工区分	仕様 改修前
――― - ―――	給水管	地中埋設、土間	水道用硬質塩化ビニルライニング鋼管（ＳＧＰ-ＶＤ）
――― - ―――	給水管	床下ピット内、コンクリート内	水道用硬質塩化ビニルライニング鋼管（ＳＧＰ-ＶＢ）
――― - ―――	給水管	天井内、ＰＳ内、空隙壁内、屋外露出	水道用硬質塩化ビニルライニング鋼管（ＳＧＰ-ＶＢ）
―――<―――	排水管	土間、床下ピット内、コンクリート内	排水用鋳鉄管
―――<―――	排水管	天井内、ＰＳ内、空隙壁内、耐火要求箇所	排水用鋳鉄管
―――――――	排水管	土間、床下ピット内、コンクリート内	配管用炭素鋼鋼管(白)
―――――――	排水管	天井内、ＰＳ内、空隙壁内、耐火要求箇所	配管用炭素鋼鋼管(白)　　硬質塩化ビニール管（ＶＰ）(VP表示のある配管)
・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	通気管	土間、床下ピット内、コンクリート内	配管用炭素鋼鋼管(白)
・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	通気管	天井内、ＰＳ内、空隙壁内、耐火要求箇所	硬質塩化ビニール管（ＶＰ）
――― I ―――	給湯管	天井内、ＰＳ内、空隙壁内、屋外露出	耐熱性硬質塩化ﾋﾞﾆﾙﾗｲﾆﾝｸﾞ鋼管（ＨＴＬＰ）
――― BH ―――	追焚管（往・返管）	天井内、ＰＳ内、空隙壁内、屋外露出	被覆鋼管(M)
――― G ―――	ガス管	天井内、ＰＳ内、空隙壁内、露出	配管用炭素鋼鋼管（白管）
――― X ―――	消火管	天井内、ＰＳ内、空隙壁内、露出	配管用炭素鋼鋼管（白管）
―▷◁―　―▷○◁―	仕切弁		ＪＩＳ１０Ｋ
―∿∿―	フレキシブル継手		ベローズ型 ステンレス製
◎	汚水桝		コンクリート製インバート桝（既設）
	排気ダクト		亜鉛鉄板製スパイラルダクト
	風量調整ダンパー		
	吸込口		

衛生器具表（撤去）

器具名称	仕様	2期工事 1階 職員便所	1階 校長室	1階 便所（管理人室）	1階 保健室	2階 在宅看護実習室	2階	3階 準備室（1）	3階 看護実習室（1）	3階 看護実習室（2）	屋外	合計	備考
洋風大便器	C21　TV750JL(ﾌﾗｯｼｭﾊﾞﾙﾌﾞ)、紙巻器、温水便座	1										1	
洋風大便器	C720　S721B					1						1	残置 (給水管接続なし)
洋風大便器	C720　S721B			1								1	
カウンター式洗面器	L507　TGL507MPA 電気温水器	1										1	
洗面器	L220　T205x2(水・湯栓)、Pﾄﾗｯﾌﾟ 保健室5号給湯器より				1	1						2	
混合栓						1						1	
シャワー水栓	混合栓、シャワーヘッド共					1						1	
洗面化粧台	LDS1001C1-L トイレ電気温水器より			1								1	
手術用手洗器	L112　TL23N、TGB43Z								6	2		8	
洗髪器	S305D　TK345P								1			1	
乳児バス	BH26　TGB43Z、TGB5AZ								1			1	
泡沫湯水混合栓	T133AS13								4	5		9	
立形泡沫自在水栓	T136S13					6		2				8	
汚物流し	SK33　TK133AR13、TV150N.S							1				1	
散水栓	T27-13　錆鉄製ﾎﾞｯｸｽ共										1	1	

工事名	松戸市立総合医療センター附属看護専門学校 給排水管改修機械設備工事（その２）		
図面名	【改修前】衛生設備　機器表・器具表		
作成年月日	令和7年2月21日	変更年月日	
縮尺	A1:N.S A3:N.S	図面番号	M-04
設計	株式会社　山岡設計事務所 千葉県知事登録　第1-2306-2686号 山岡　治 一級建築士大臣登録第272498号		
松戸市 街づくり部 建築保全課			

衛生機器表(新設)

記号	機器名称	仕　　様	電気 φ	電気 V	電気 Kw	台数	設置場所	備考
EW-3	電気温水器 (２期工事)	型式　電気温水器　手洗い用 貯湯量　６Ｌ 付属品　密閉式排水ﾎﾞｯﾊﾞｰ、他付属品一式	1	100	0.6	(1)	1階　職員便所	※衛生器具に付属 (REAH06A11SSC41A1K)
EW-4	電気温水器 (２期工事)	型式　電気温水器　手洗い用 貯湯量　６Ｌ 付属品　密閉式排水ﾎﾞｯﾊﾞｰ、他付属品一式	1	100	0.6	(1)	1階　校長室	※衛生器具に付属 (RESK06A2R)

凡　　例

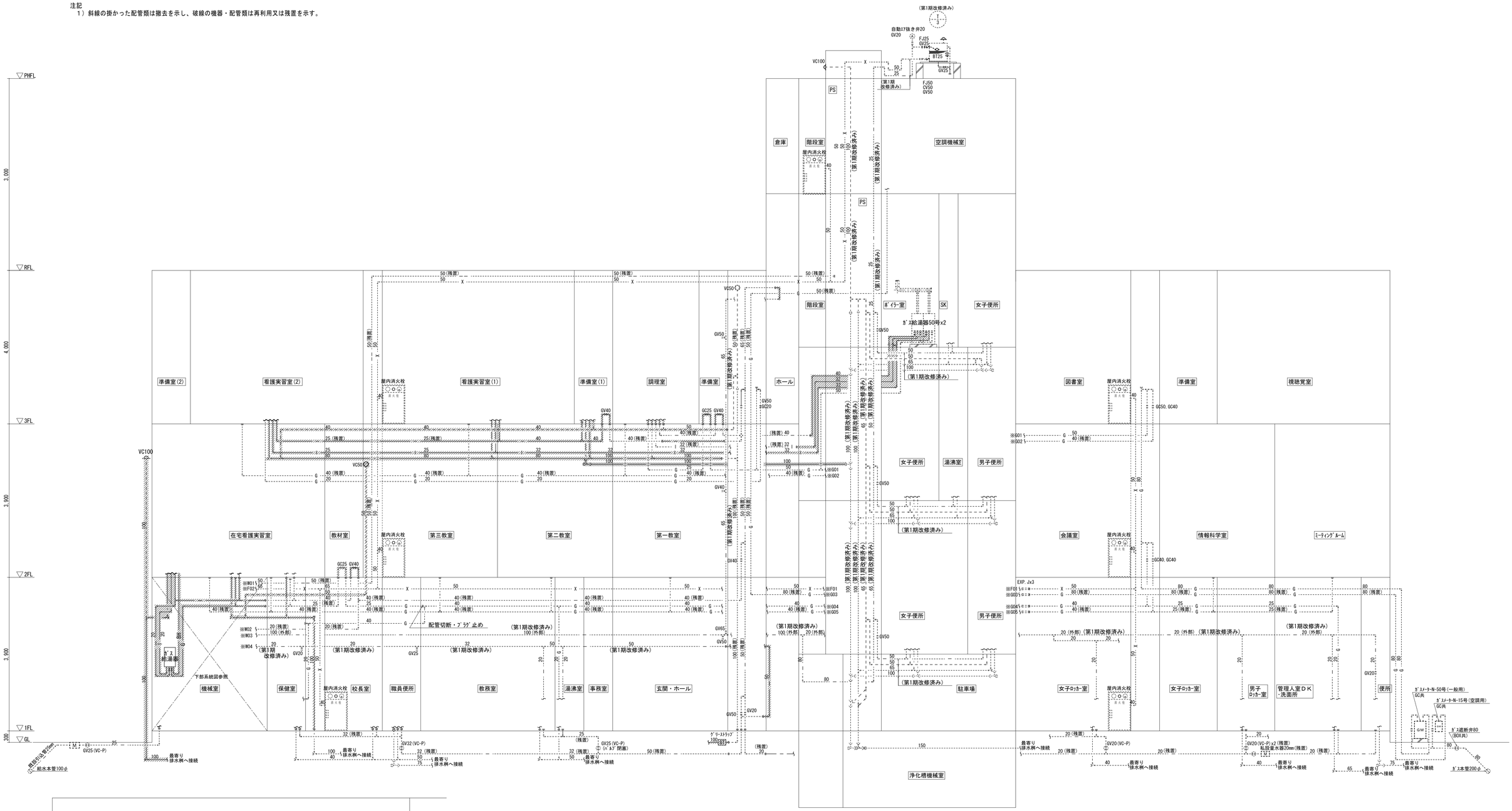
記　号	名　称	施工区分	仕様 改修後
―――－――――	給水管	地中埋設、土間	水道用硬質塩化ビニルライニング鋼管（ＳＧＰ-ＶＤ）
―――－――――	給水管	床下ピット内、コンクリート内	水道用硬質塩化ビニルライニング鋼管（ＳＧＰ-ＶＢ）
―――－――――	給水管	天井内、ＰＳ内、空隙壁内、屋外露出	水道用硬質塩化ビニルライニング鋼管（ＳＧＰ-ＶＢ）
――――<	排水管	土間,床下ピット内、コンクリート内	硬質塩化ビニール管（ＶＰ）
――――<	排水管	天井内、ＰＳ内、空隙壁内、耐火要求箇所	耐火二層管(内管ＶＰ)
――――――	排水管	土間,床下ピット内、コンクリート内	硬質塩化ビニール管（ＶＰ）
――――――	排水管	天井内、ＰＳ内、空隙壁内、耐火要求箇所	耐火二層管(内管ＶＰ)
----------	通気管	土間,床下ピット内、コンクリート内	硬質塩化ビニール管（ＶＰ）
----------	通気管	天井内、ＰＳ内、空隙壁内、耐火要求箇所	耐火二層管(内管ＶＰ)
―――― I ――――	給湯管	天井内、ＰＳ内、空隙壁内、屋外露出	耐熱性硬質塩化ﾋﾞﾆﾙﾗｲﾆﾝｸﾞ鋼管（ＨＴＬＰ）
―――― BH ――――	追焚管（往・返管）	天井内、ＰＳ内、空隙壁内、屋外露出	被覆鋼管(M)
―――― G ――――	ガス管	天井内、ＰＳ内、空隙壁内、露出	配管用炭素鋼鋼管（白管）
―――― X ――――	消火管	天井内、ＰＳ内、空隙壁内、露出	配管用炭素鋼鋼管（白管）
―▷◁―　―▷◁▷―	仕切弁		ＪＩＳ１０Ｋ
―∿∿―	フレキシブル継手		ベローズ型 ステンレス製
◎	汚水桝		コンクリート製インバート桝（既設）
	排気ダクト		亜鉛鉄板製スパイラルダクト
	風量調整ダンパー		
	吸込口		

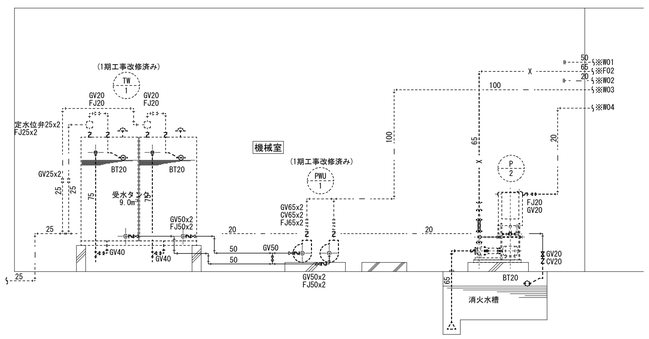
衛生器具表（新設）

器具名称	仕様 (上段／ＴＯＴＯ,　下段／ＬＩＸＩＬ)	２期工事 1階 職員便所	1階 校長室	1階 便所(管理人室)	2階 保健室	2階 在宅看護実習室	2階	3階 準備室 (1)	3階 看護実習室 (1)	3階 看護実習室 (2)	3階	屋外	合計	備考
洋風大便器	CFS498BM　TCF5831AU(ｳｫｼｭﾚｯﾄ連動自動洗浄ｼｽﾃﾑ)	1											1	AC100V
	BC-P110H　DQ-PA150CH(ｳｨｯｸﾀﾝｸ)、CW-PA21LQE-NE-R1(発電式洗浄ﾘﾓｺﾝ･ﾀｯﾁｽｲｯﾁ)他													
洋風大便器	CS597BMS　SH597BAYR(手洗付ﾛｰﾀﾝｸ)、TCF5831(ｳｫｼｭﾚｯﾄ)、HE38(ｴｺﾘﾓｺﾝ)			1									1	AC100V
	BC-P20HU　DT-PA280HUTK(手洗付ﾛｰﾀﾝｸ)、CW-PA21L-NE(ｼｬﾜｰﾄｲﾚ)、CWA-201PJ(埋込洗浄ﾘﾓｺﾝ)他													
紙巻器	YH701　棚付き二連	1		1									2	
	CF-63HST　棚付き二連													
ｶｳﾝﾀｰ式洗面器	L531　TLE28SA1A(自動水栓)、TLDP2201JA、TL516G					1							1	AC100V
(ｶｳﾝﾀｰは建築工事)	L-2260　AM-300TCV1(自動水栓)、LF-105PAL、A-6224、LF-625K													
ｶｳﾝﾀｰ式洗面器	L531　REAH06A11SSC41A1K(電気温水器付自動水栓)、TLDP2201JA、TL516G	1											1	AC100V
(ｶｳﾝﾀｰは建築工事)	L-2260　EHMS-CA6SC1-300(電気温水器付自動水栓)、LF-3VK、LF-WN7PCFL、LF-625K													
シャワー水栓	TBV03402J1　TBN01206J(心間変換ｱﾀﾞﾌﾟﾀｰ)					1							1	
	BF-KA145TSJM　BF-PT002(TOTO製取替ｱﾀﾞﾌﾟﾀｰ)													
洗面化粧台	LDSFB120BJGDN1M　L=1200　LMFB120A3GHC2G、RESK06A2R(電気温水器6L)		1										1	AC100V
	RBH-1205SY-AM/YS2HA　L=1200　MBR-1203TXJU、EHP-RARB-S120-M(電気温水器6L)													
洗面器	L210C　TLE28SS1A(自動水栓)、TLDP2105JA、TL250D				1								1	AC100V
	L-132AG　AM-300CV1(自動水栓)、LF-4PAL、LF-6L、SF-10E													
化粧鏡	YM4560F　450x600				1								1	
	KF-4560A　457×610													
手術用手洗器	L112　TEN582(ｻｰﾓ自動水栓)、T9R、T8C、HH04060、TL112P								6	2			8	AC100V
	L-A101KAE													
洗髪器	S305DNU　TL45PR、TL12C(立水栓)、TL45(ｻｰﾓ付混合水栓)、TK305EPN、TK305H、T8C								1				1	
	該当品無し													
乳児バス	BH27　TBV03425J(ｻｰﾓ付混合栓)、T9A1、T62-20、T7PW10x2、TL510ERx2、HH04060x2								1				1	
	B-2　BF-KA2U(P)													
汚物流し	SKL330HNNN　既設取替用						1						1	
	S-207NM1NNRP　LF-12ZF(300)-13-U													
立水栓	T131SUN13C				6		2						8	
	LF-16F-13-U													
ｼﾝｸﾞﾙﾚﾊﾞｰ混合水栓	TKS05312J				1				4	5			10	
	SF-WM435SY													
キー式横水栓	T200CSNR13											1	1	
	LF-7RG-13-U													

工事名	松戸市立総合医療センター附属看護専門学校 給排水管改修機械設備工事（その２）		
図面名	【改修後】衛生設備　機器表・器具表・凡例		
作成年月日	令和7年2月21日	変更年月日	
縮　尺	A1:N.S A3:N.S	図面番号	M-05
設　計	株式会社　山岡設計事務所 千葉県知事登録　第1-2306-2686号 山岡　治 一級建築士大臣登録第272498号		
松戸市 街づくり部 建築保全課			

注記
1）斜線の掛かった配管類は撤去を示し、破線の機器・配管類は再利用又は残置を示す。

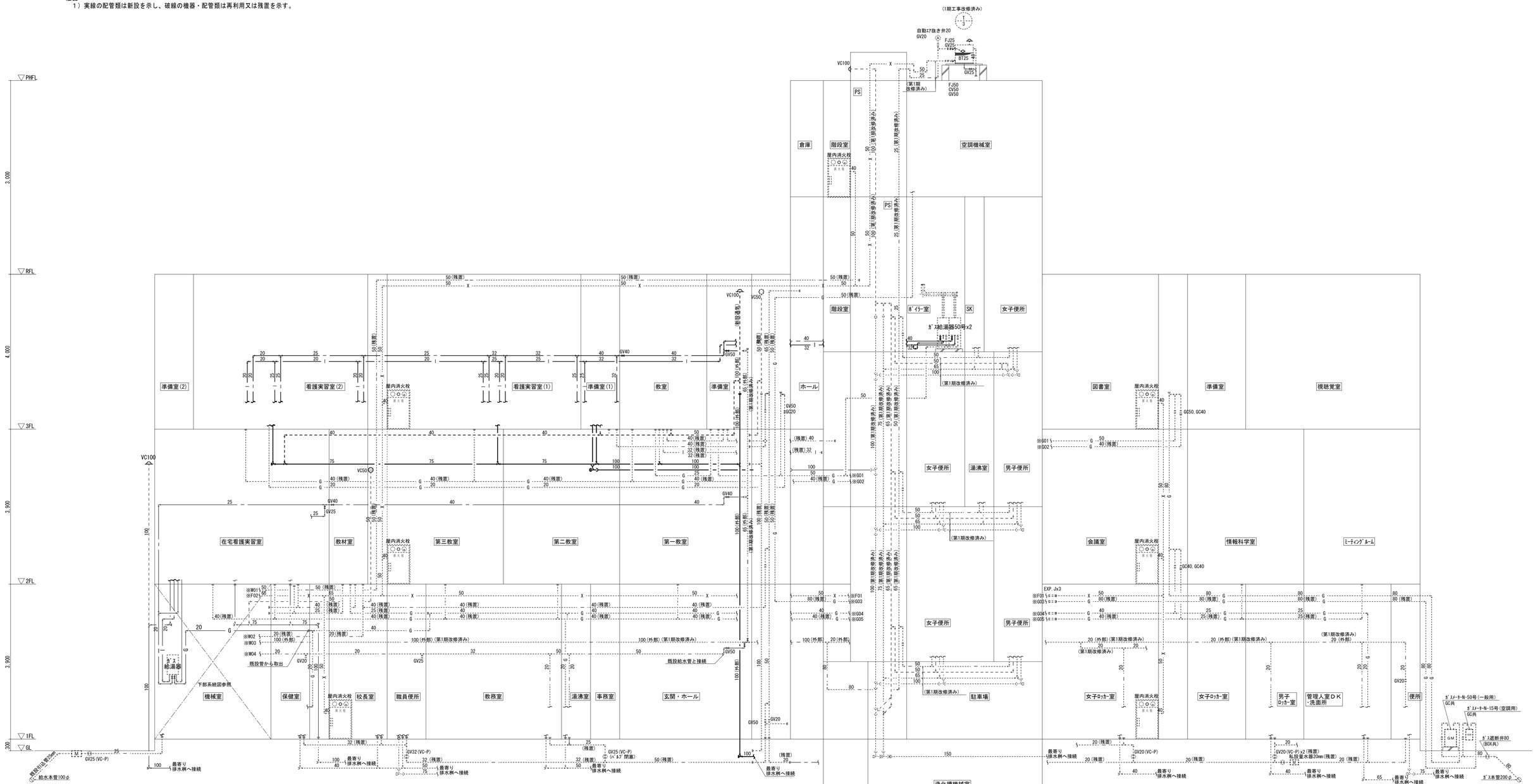


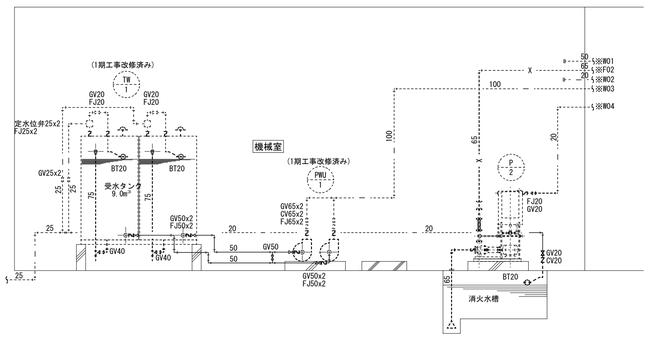


系統図

工事名	松戸市立総合医療センター附属看護専門学校 給排水管改修機械設備工事（その２）		
図面名	【改修前】衛生設備　系統図		
作成年月日	令和7年2月21日	変更年月日	
縮 尺	A1:N.S A3:N.S	図面番号	M-06
設 計	株式会社　山岡設計事務所 千葉県知事登録　第1-2306-2686号 山岡　治 一級建築士大臣登録第272498号		
松戸市 街づくり部 建築保全課			

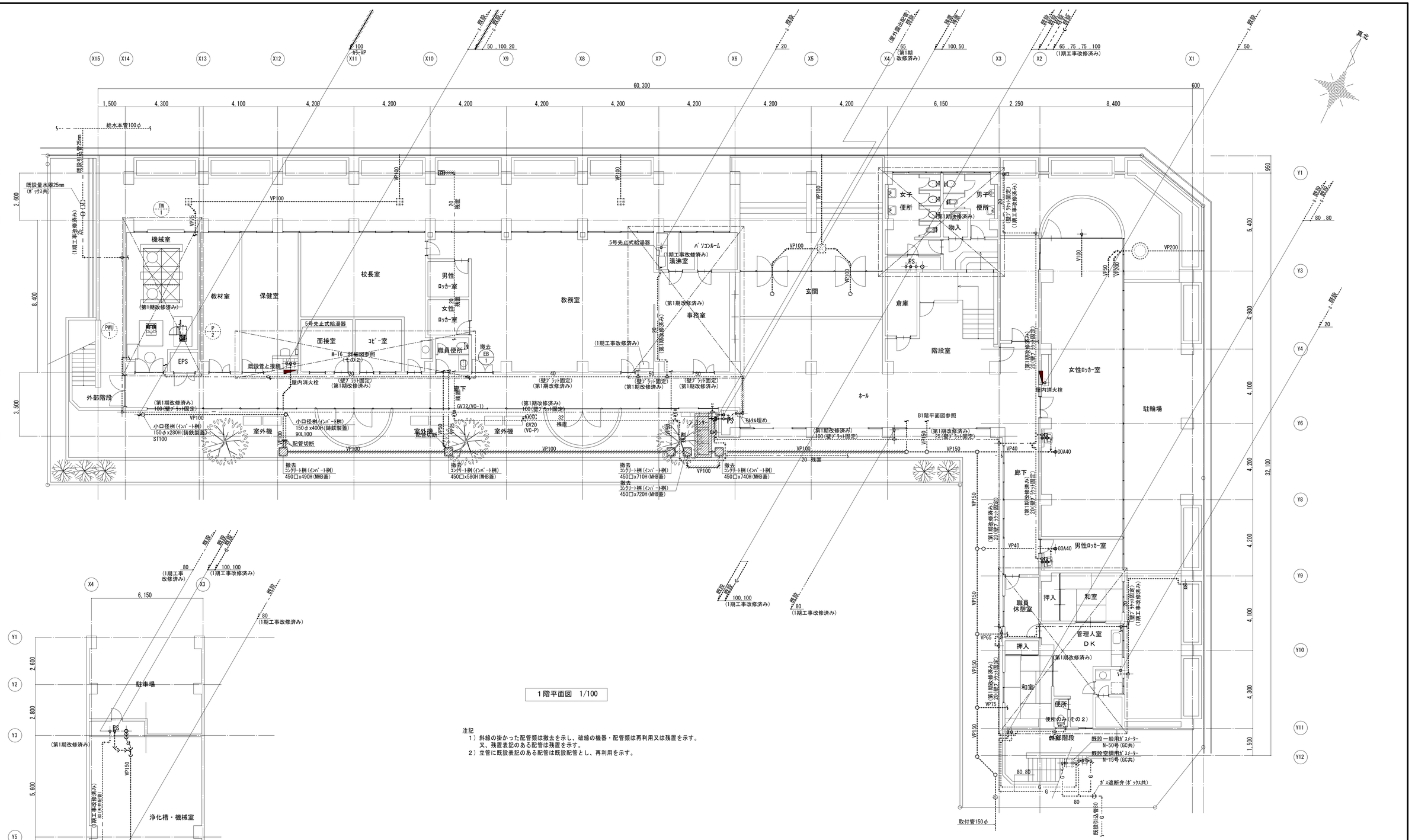
注記
1）実線の配管類は新設を示し、破線の機器・配管類は再利用又は残置を示す。

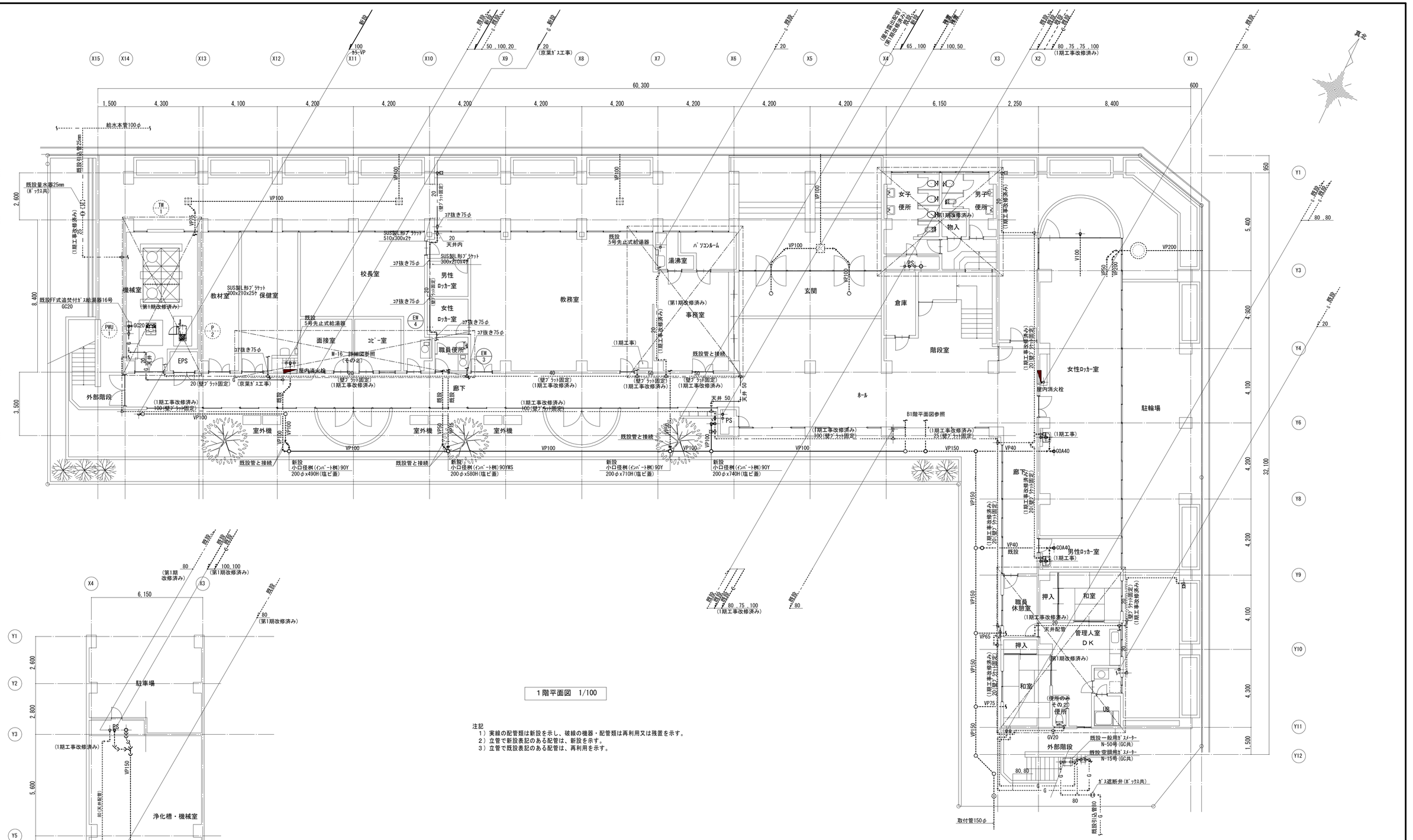


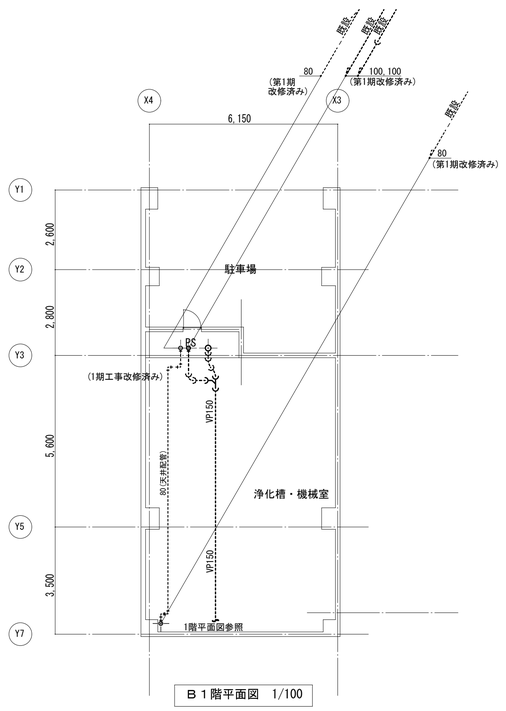


系統図

工事名	松戸市立総合医療センター附属看護専門学校 給排水管改修機械設備工事（その２）		
図面名	【改修後】衛生設備　系統図		
作成年月日	令和7年2月21日	変更年月日	
縮 尺	A1:N.S A3:N.S	図面番号	M-07
設 計	株式会社　山岡設計事務所 千葉県知事登録　第1-2306-2686号 山岡　治 一級建築士大臣登録第272498号		
松戸市 街づくり部 建築保全課			


真北
X15 X14 X13 X12 X11 X10 X9 X8 X7 X6 X5 X4 X3 X2 X1
Y1 Y2 Y3 Y4 Y5 Y6 Y7 Y8 Y9 Y10 Y11 Y12
60,300
600
1,500 4,300 4,100 4,200 4,200 4,200 4,200 4,200 4,200 4,200 4,200 4,200 6,150 2,250 8,400
給水本管100φ
既設量水器25mm
(ボックス共)
既設引込管25mm
(1期工事改修済み)
TW 1
機械室
(第1期改修済み)
PWU 1
P 2
EPS
教材室
保健室
校長室
面接室
コピー室
5号先止式給湯器
既設管と接続
屋内消火栓
男性 ロッカー室
女性 ロッカー室
職員便所
EB 1
撤去
教務室
(第1期改修済み)
事務室
(1期工事改修済み)
ハ゛ソコンルーム
湯沸室
玄関
女子 便所
男子 便所
物入
PS
倉庫
階段室
ホール
女性ロッカー室
駐輪場
廊下
外部階段
室外機
小口径桝(インバート桝)
150φx400H(鋳鉄製蓋)
90L100
小口径桝(インバート桝)
150φx280H(鋳鉄製蓋)
SI100
配管切断
撤去
コンクリート桝(インバート桝)
450□x490H(MHB蓋)
撤去
コンクリート桝(インバート桝)
450□x580H(MHB蓋)
撤去
コンクリート桝(インバート桝)
450□x710H(MHB蓋)
撤去
コンクリート桝(インバート桝)
450□x720H(MHB蓋)
撤去
コンクリート桝(インバート桝)
450□x740H(MHB蓋)
GV32(VC-1)
GV20
(VC-P)
モルタル埋め
B1階平面図参照
60A40
男性ロッカー室
職員
休憩室
押入
和室
管理人室
DK
便所
便所のみ(その2)
既設一般用ガスメーター
N-50号(GC共)
既設空調用ガスメーター
N-15号(GC共)
ガス遮断弁(ボックス共)
取付管150φ
既設引込管80
既設
(第1期改修済み)
(第1期改修済み)
(1期工事改修済み)
(第1期改修済み)
(1期工事改修済み)
(第1期改修済み)
(1期工事



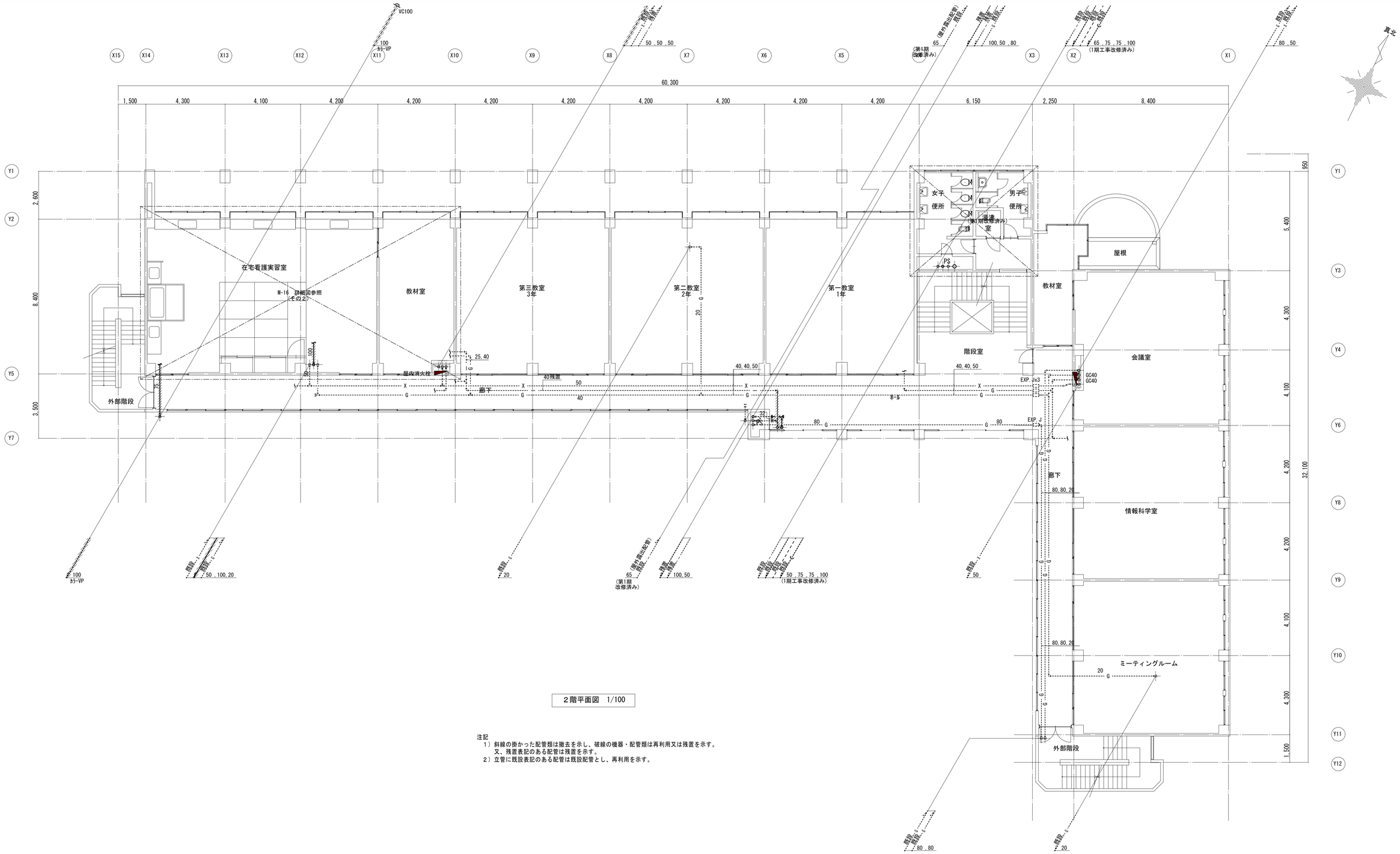


Ｂ１階平面図　1/100

１階平面図　1/100

注記
1）実線の配管類は新設を示し、破線の機器・配管類は再利用又は残置を示す。
2）立管で新設表記のある配管は、新設を示す。
3）立管で既設表記のある配管は、再利用を示す。

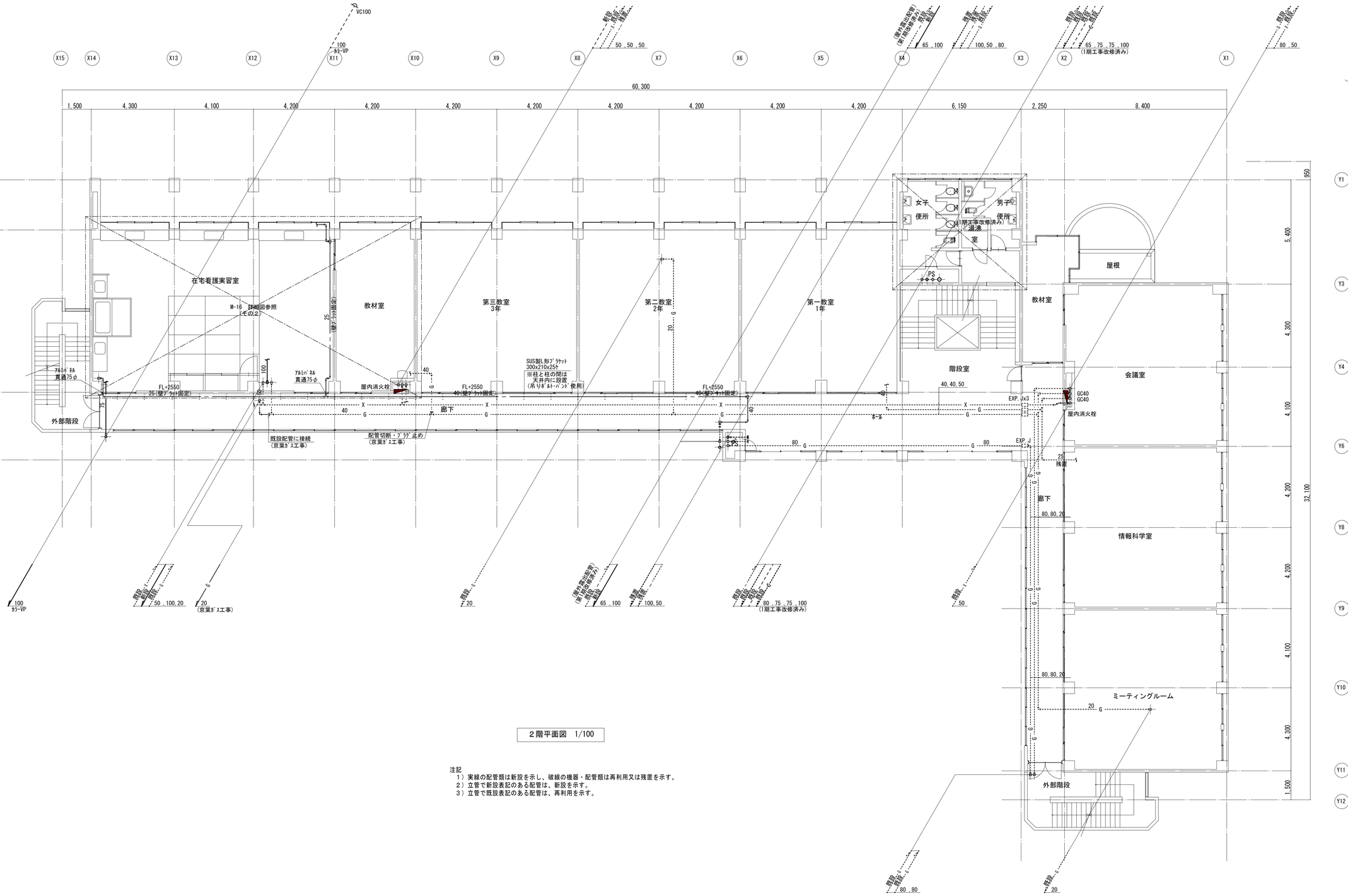
工事名	松戸市立総合医療センター附属看護専門学校 給排水管改修機械設備工事（その２）		
図面名	【改修後】　衛生設備　１階平面図		
作成年月日	令和7年2月21日	変更年月日	
縮 尺	A1:1/100 A3:1/200	図面番号	M-09
設 計	株式会社　山岡設計事務所 千葉県知事登録　第1-2306-2686号 山岡　治 一級建築士大臣登録第272498号		
松戸市 街づくり部 建築保全課			

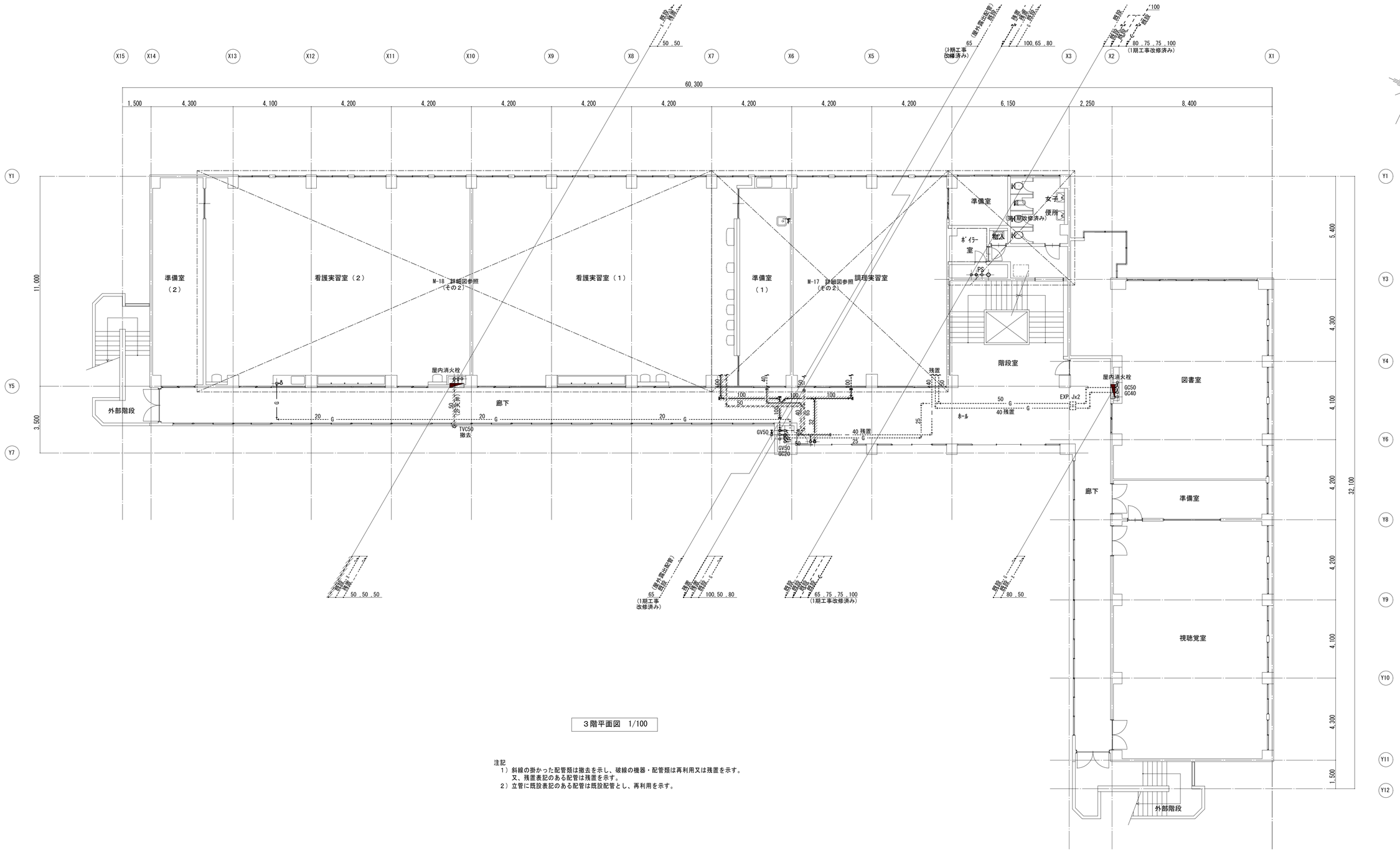


２階平面図　1/100

注記
1）斜線の掛かった配管類は撤去を示し、破線の機器・配管類は再利用又は残置を示す。
　　又、残置表記のある配管は残置を示す。
2）立管に既設表記のある配管は既設配管とし、再利用を示す。

工事名	松戸市立総合医療センター附属看護専門学校 給排水管改修機械設備工事（その２）		
図面名	【改修前】衛生設備　２階平面図		
作成年月日	令和7年2月21日	変更年月日	
縮 尺	A1:1/100 A3:1/200	図面番号	M-10
設 計	株式会社　山岡設計事務所 千葉県知事登録　第1-2306-2686号 山岡　治 一級建築士大臣登録第272498号		
松戸市 街づくり部 建築保全課			

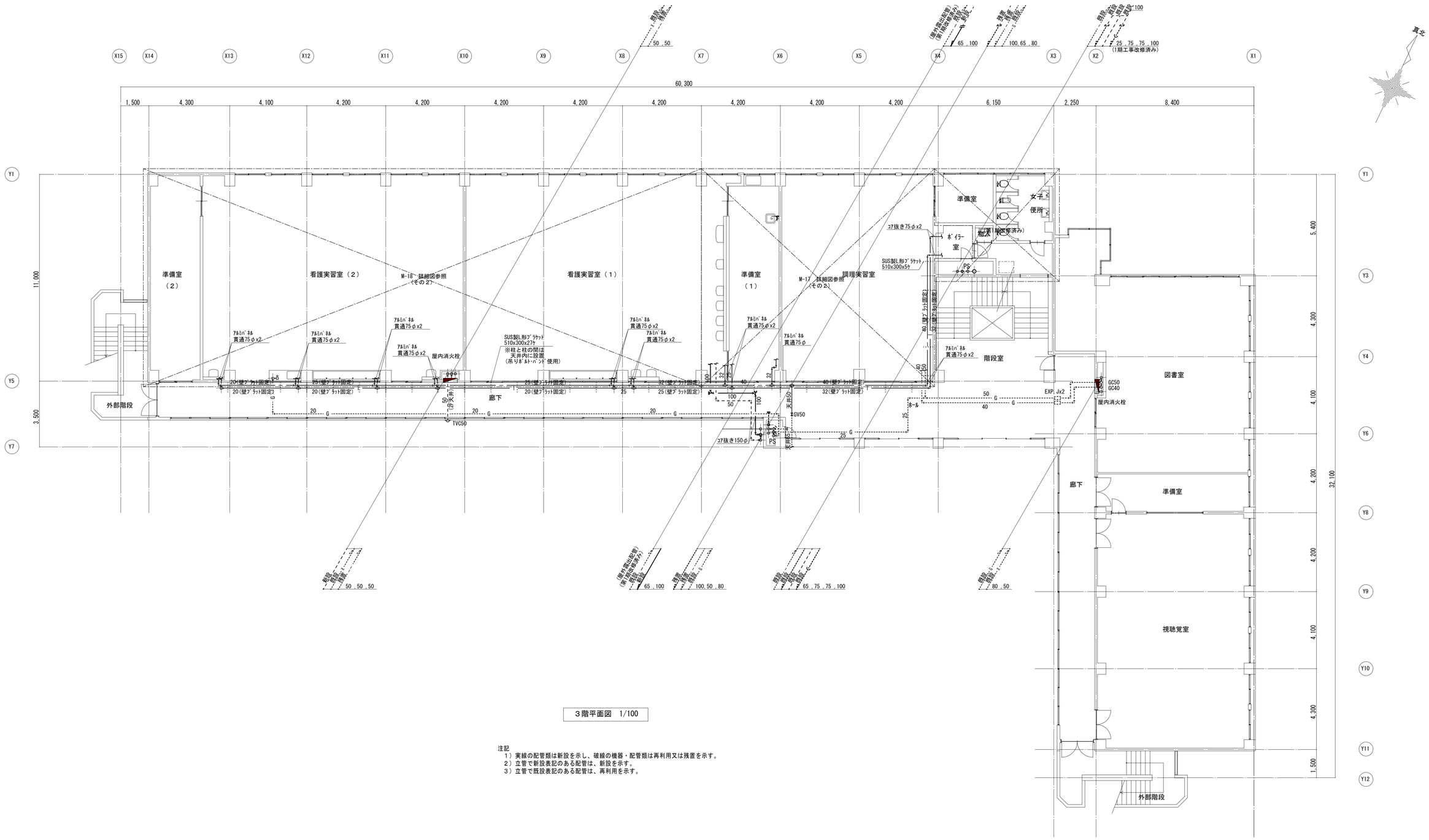

X15
X14
X13
X12
X11
X10
X9
X8
X7
X6
X5
X4
X3
X2
X1
60,300
1,500
4,300
4,100
4,200
4,200
4,200
4,200
4,200
4,200
4,200
6,150
2,250
8,400
Y1
Y2
Y5
Y7
Y3
Y4
Y6
Y8
Y9
Y10
Y11
Y12
2,600
8,400
3,500
950
5,400
4,300
4,100
4,200
4,100
4,300
1,500
32,100
在宅看護実習室
教材室
第三教室
3年
第二教室
2年
第一教室
1年
女子
便所
男子
便所
(1期工事改修済み)
温沸
室
PS
屋根
教材室
階段室
会議室
屋内消火栓
GC40
GC40
EXP. Jx3
EXP. J
残置
廊下
80,80,20
情報科学室
ミーティングルーム
20
外部階段
外部階段
M-16 詳細図参照
(その2)
アルミﾊﾟﾈﾙ
貫通75φ
アルミﾊﾟﾈﾙ
貫通75φ
屋内消火栓
SUS製L形ﾌﾞﾗｹｯﾄ
300x210x25ｔ
※柱と柱の間は
天井内に設置
(吊りﾎﾞﾙﾄ・ﾊﾞﾝﾄ使用)
FL+2550
25(壁ﾌﾞﾗｹｯﾄ固定)
FL+2550
40(壁ﾌﾞﾗｹｯﾄ固定)
FL+2550
40(壁ﾌﾞﾗｹｯﾄ固定)
既設配管に接続
(京葉ｶﾞｽ工事)
配管切断・ﾌﾗﾝｼﾞ止め
(京葉ｶﾞｽ工事)
ﾎｰﾙ
VC100
100
ｶﾗｰVP
既設
既設
既設
50,50,50
既設
既設
既設
既設
65,100
既設
既設
既設
100,50,80
既設
既設
既設
既設
既設
65,75,75,100
(1期工事改修済み)
既設
既設
既設
80,50
既設
既設
既設
既設
既設



３階平面図　1/100

注記
1）斜線の掛かった配管類は撤去を示し、破線の機器・配管類は再利用又は残置を示す。
　　又、残置表記のある配管は残置を示す。
2）立管に既設表記のある配管は既設配管とし、再利用を示す。

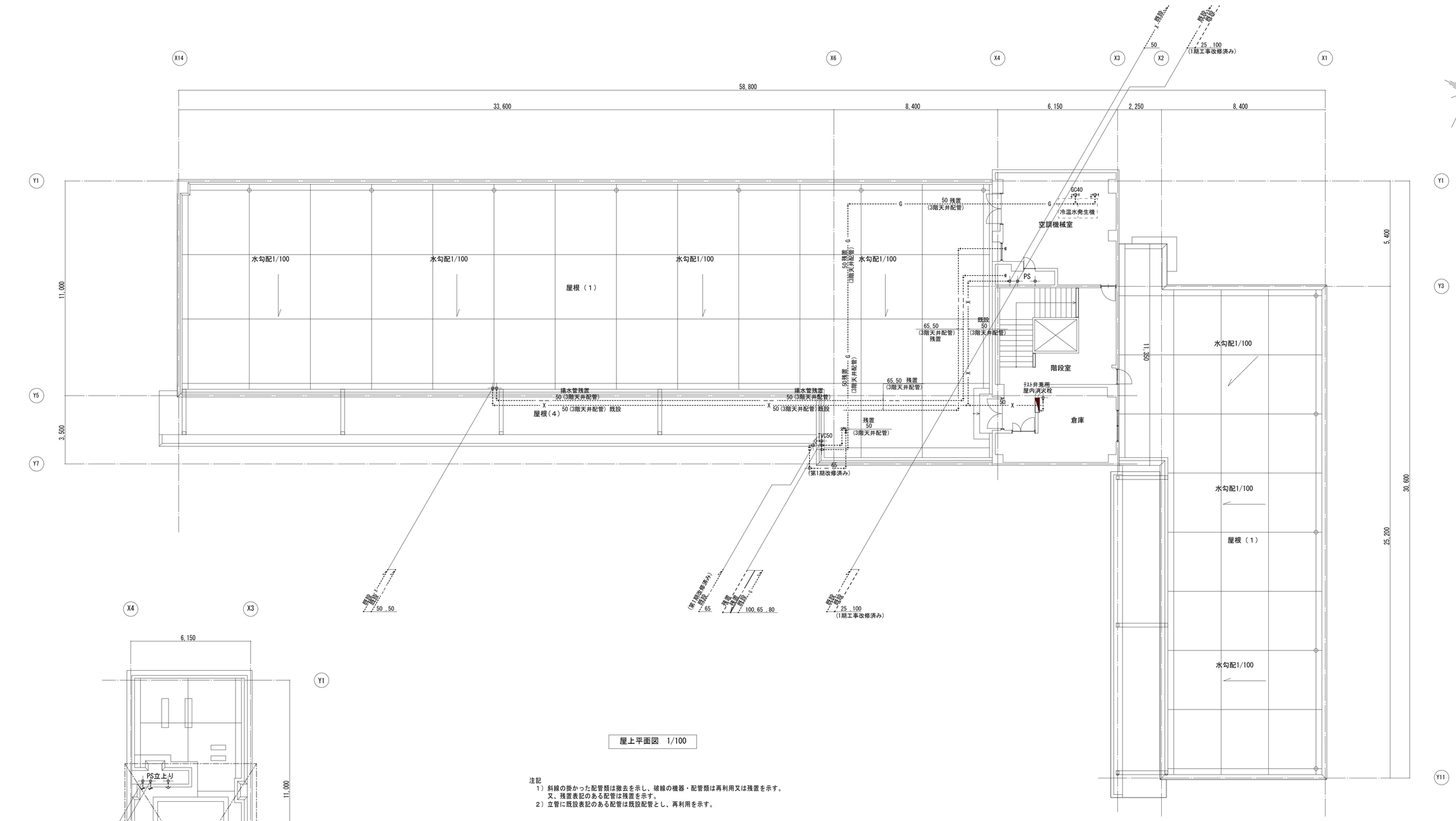
工事名	松戸市立総合医療センター附属看護専門学校 給排水管改修機械設備工事（その２）		
図面名	【改修前】衛生設備　３階平面図		
作成年月日	令和7年2月21日	変更年月日	
縮 尺	A1:1/100 A3:1/200	図面番号	M-12
設 計	株式会社　山岡設計事務所 千葉県知事登録　第1-2306-2686号 山岡　治 一級建築士大臣登録第272498号		
松戸市 街づくり部 建築保全課			



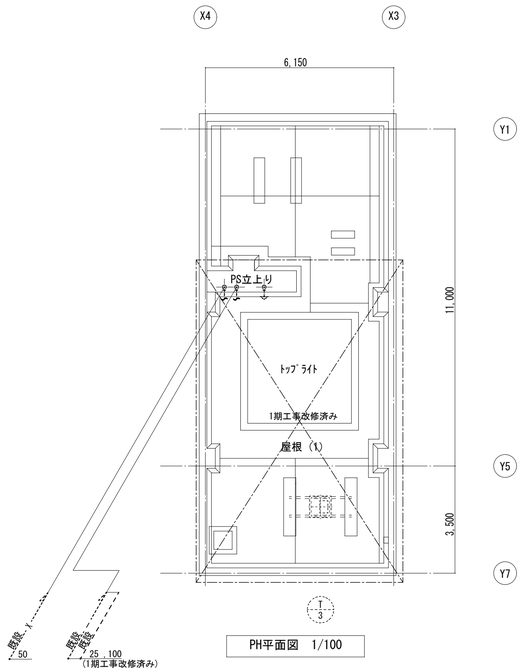
３階平面図　1/100

注記
1）実線の配管類は新設を示し、破線の機器・配管類は再利用又は残置を示す。
2）立管で新設表記のある配管は、新設を示す。
3）立管で既設表記のある配管は、再利用を示す。

工事名	松戸市立総合医療センター附属看護専門学校 給排水管改修機械設備工事（その２）		
図面名	【改修後】　衛生設備　３階平面図		
作成年月日	令和7年2月21日	変更年月日	
縮 尺	A1:1/100 A3:1/200	図面番号	M-13
設 計	株式会社　山岡設計事務所 千葉県知事登録　第1-2306-2686号 山岡　治 一級建築士大臣登録第272498号		
松戸市 街づくり部 建築保全課			



屋上平面図　1/100

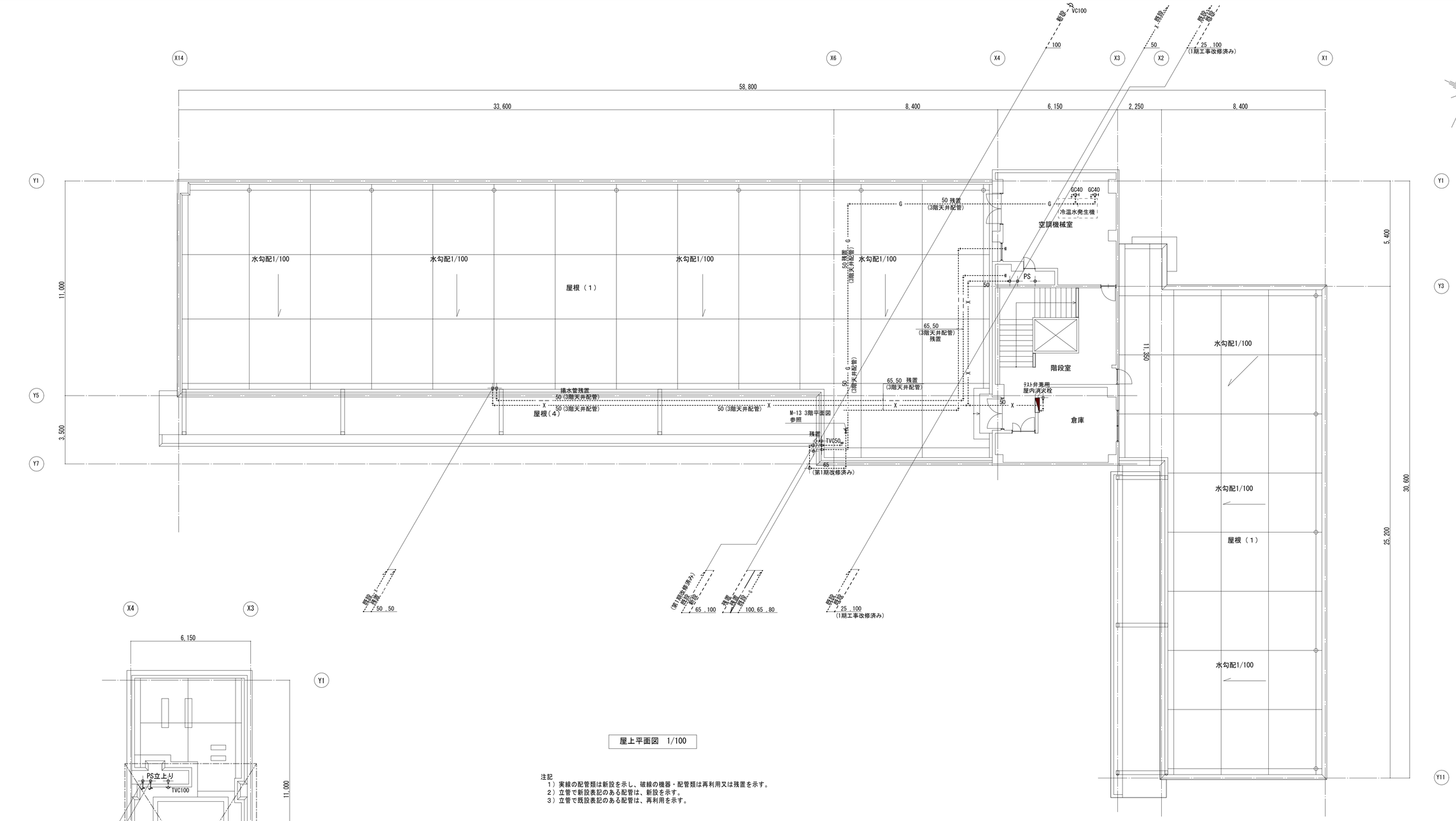


PH平面図　1/100

高置タンク下部平面図　1/100

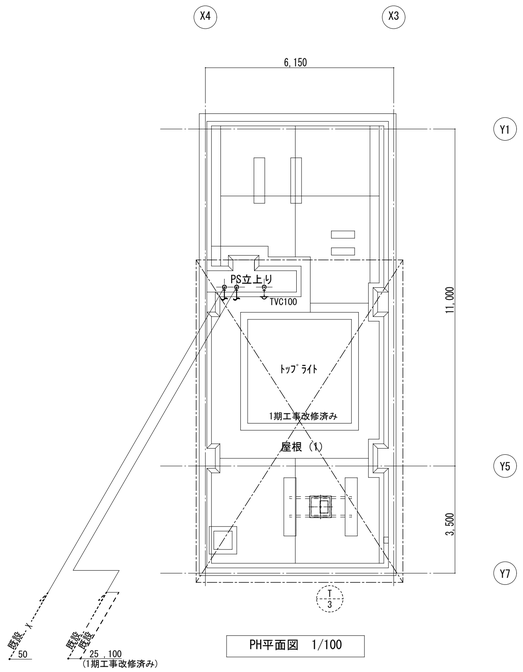
注記
1）斜線の掛かった配管類は撤去を示し、破線の機器・配管類は再利用又は残置を示す。
　又、残置表記のある配管は残置を示す。
2）立管に既設表記のある配管は既設配管とし、再利用を示す。

工事名	松戸市立総合医療センター附属看護専門学校 給排水管改修機械設備工事（その２）		
図面名	【改修前】衛生設備　屋上平面図		
作成年月日	令和7年2月21日	変更年月日	
縮 尺	A1:1/100 A3:1/200	図面番号	M-14
設 計	株式会社　山岡設計事務所 千葉県知事登録　第1-2306-2686号 山岡　治 一級建築士大臣登録第272498号		
松戸市 街づくり部 建築保全課			



屋上平面図　1/100

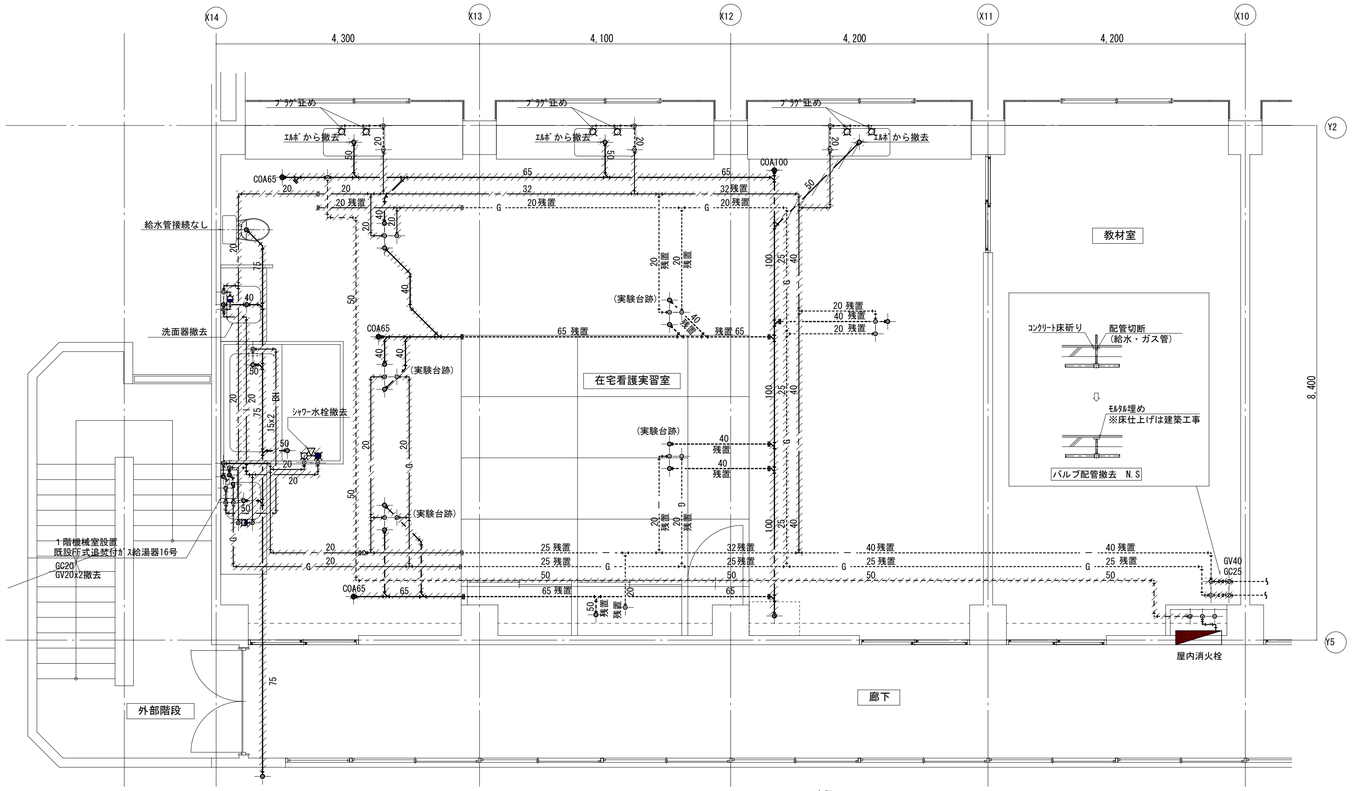
注記
1）実線の配管類は新設を示し、破線の機器・配管類は再利用又は残置を示す。
2）立管で新設表記のある配管は、新設を示す。
3）立管で既設表記のある配管は、再利用を示す。



PH平面図　1/100

高置タンク下部平面図　1/100

工事名	松戸市立総合医療センター附属看護専門学校 給排水管改修機械設備工事（その２）		
図面名	【改修後】　衛生設備　屋上平面図		
作成年月日	令和7年2月21日	変更年月日	
縮 尺	A1:1/100 A3:1/200	図面番号	M-15
設 計	株式会社　山岡設計事務所 千葉県知事登録　第1-2306-2686号 山岡　治 一級建築士大臣登録第272498号		
松戸市 街づくり部 建築保全課			

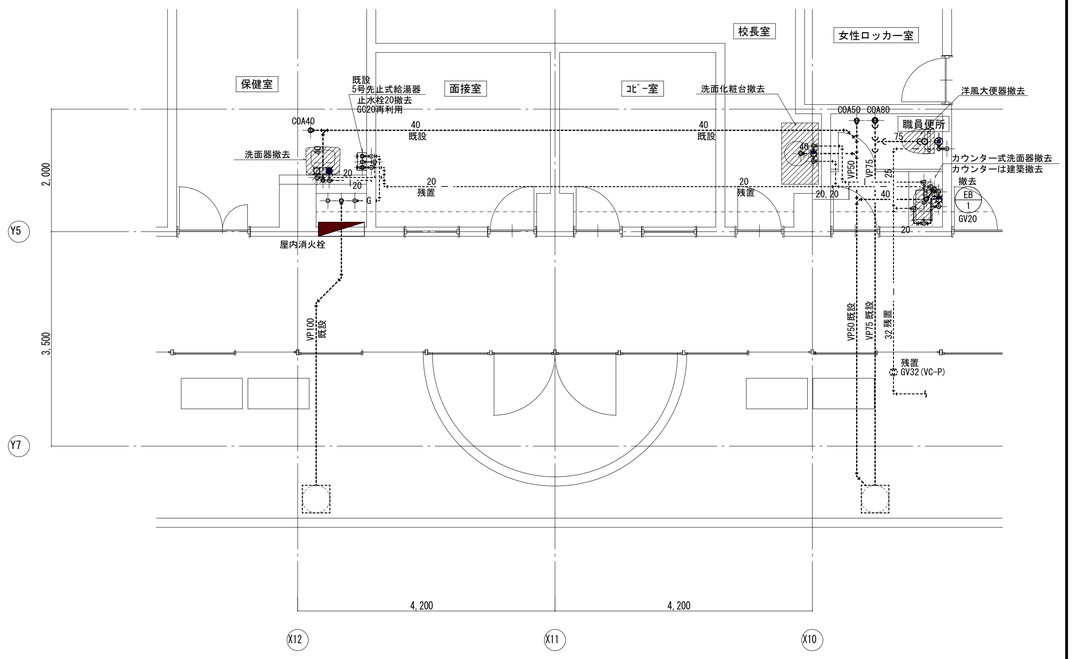


【改修前】２階　在宅看護実習室平面詳細図　S=1/50

注記
1）斜線の掛かった配管類は撤去を示し、破線の機器・配管類は再利用又は残置を示す。
2）屋内消火栓部分のＰＳは、建築工事にて撤去新設とする。

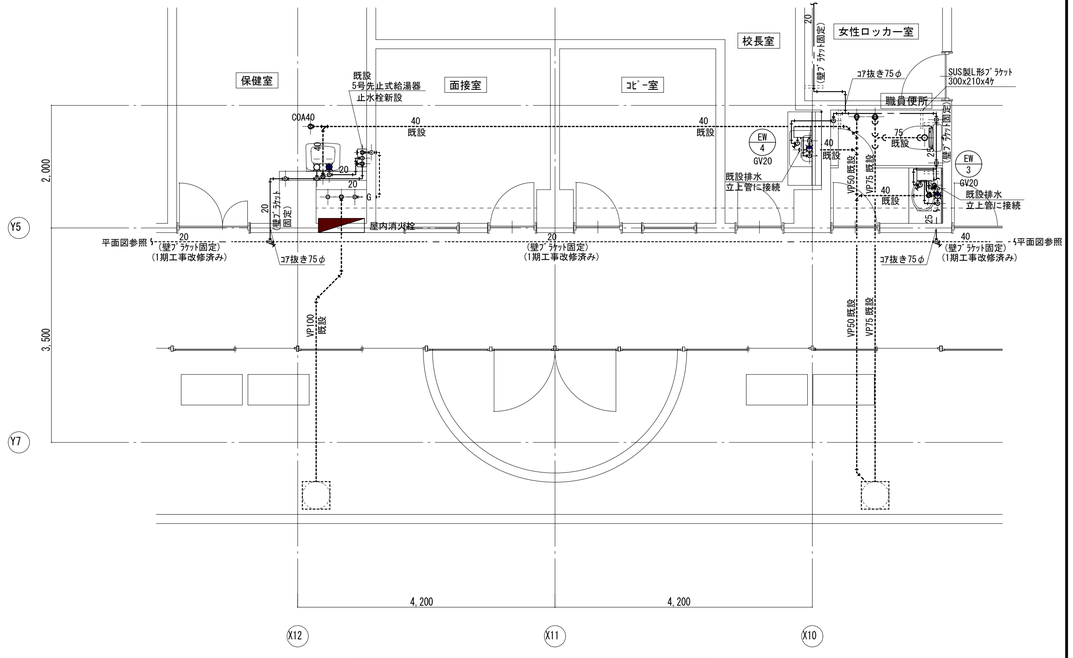
【改修後】２階　在宅看護実習室平面詳細図　S=1/50

注記
1）実線の配管類は新設を示し、破線の機器・配管類は再利用又は残置を示す。



【改修前】１階　保健室・トイレ・校長室平面詳細図　S=1/50

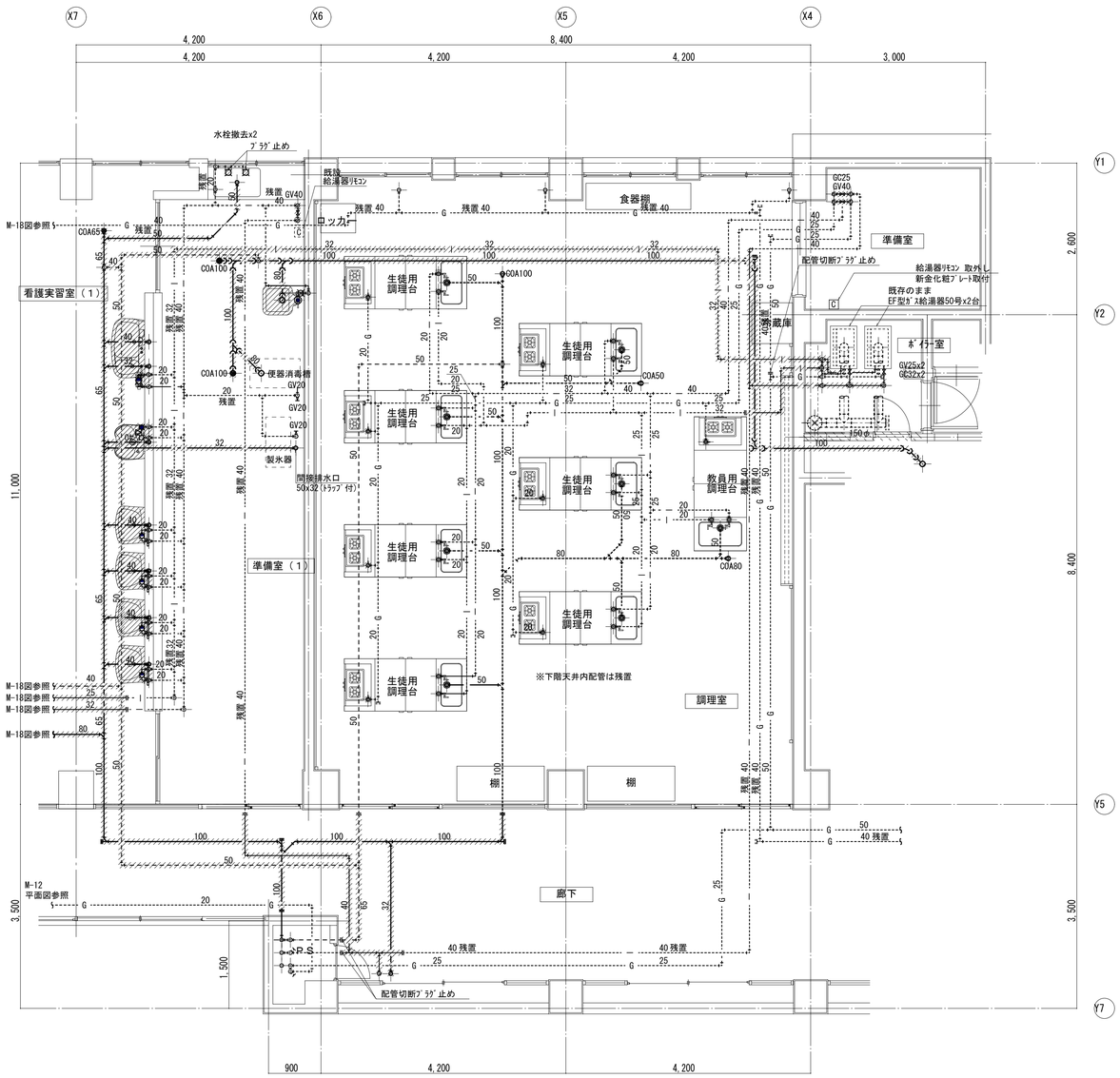
注記
1）斜線の掛かった配管類は撤去を示し、破線の機器・配管類は再利用又は残置を示す。
2）屋内消火栓部分のＰＳ及びライニングは、建築工事にて撤去新設とする。



【改修後】１階　保健室・トイレ・校長室平面詳細図　S=1/50

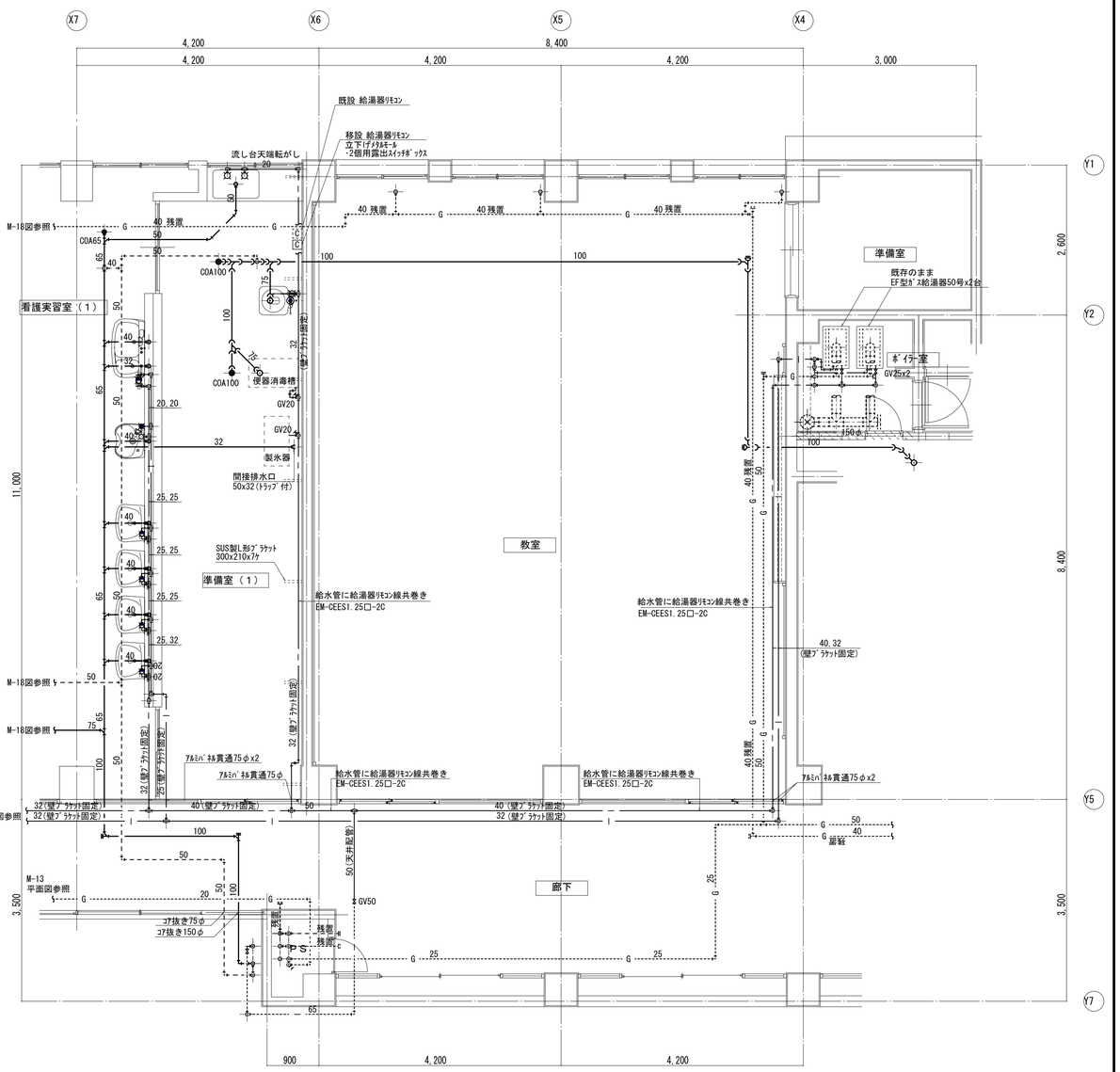
注記
1）実線の配管類は新設を示し、破線の機器・配管類は再利用又は残置を示す。

工事名	松戸市立総合医療センター附属看護専門学校 給排水管改修機設備積工事（その２）		
図面名	【改修前後】衛生設備　職員トイレ・保健室・在宅看護実習室詳細図		
作成年月日	令和7年2月21日	変更年月日	
縮　尺	A1:1/50 A3:1/100	図面番号	M-16
設　計	株式会社　山岡設計事務所 千葉県知事登録　第1-2306-2686号 山岡　治 一級建築士大臣登録第272498号		
松戸市 街づくり部 建築保全課			



【改修前】３階　調理室他平面詳細図　S=1/50

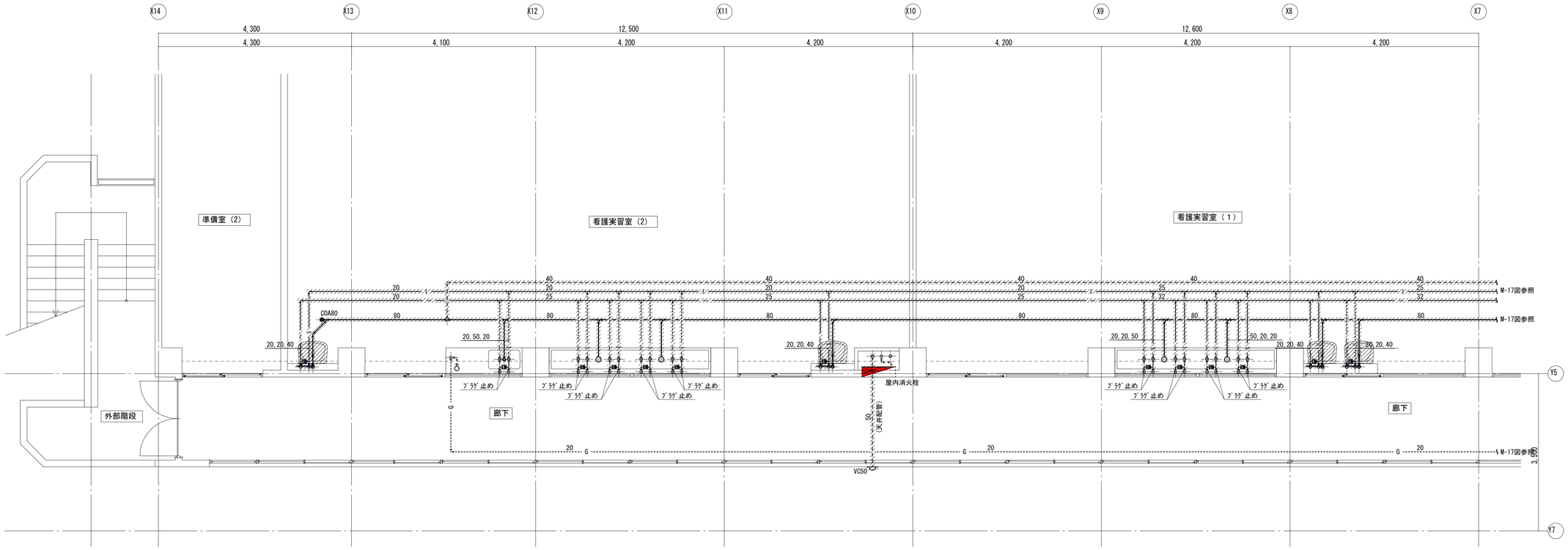
注記
1）斜線の掛かった配管類は撤去を示し、破線の機器・配管類は再利用又は残置を示す。
2）調理室・準備室・準備室（1）の下階天井内の配管は残置とする。但し、準備室（1）からの汚水配管は撤去とする。
3）調理室の調理台配管は、左図のように床斫りの上配管切断撤去、モルタル埋めの上床仕上げを建築工事にて行う。尚、調理台（一部配管・水栓・ガス栓ガスコンロ類含む）は建築工事にて撤去する。



【改修後】３階　調理室他平面詳細図　S=1/50

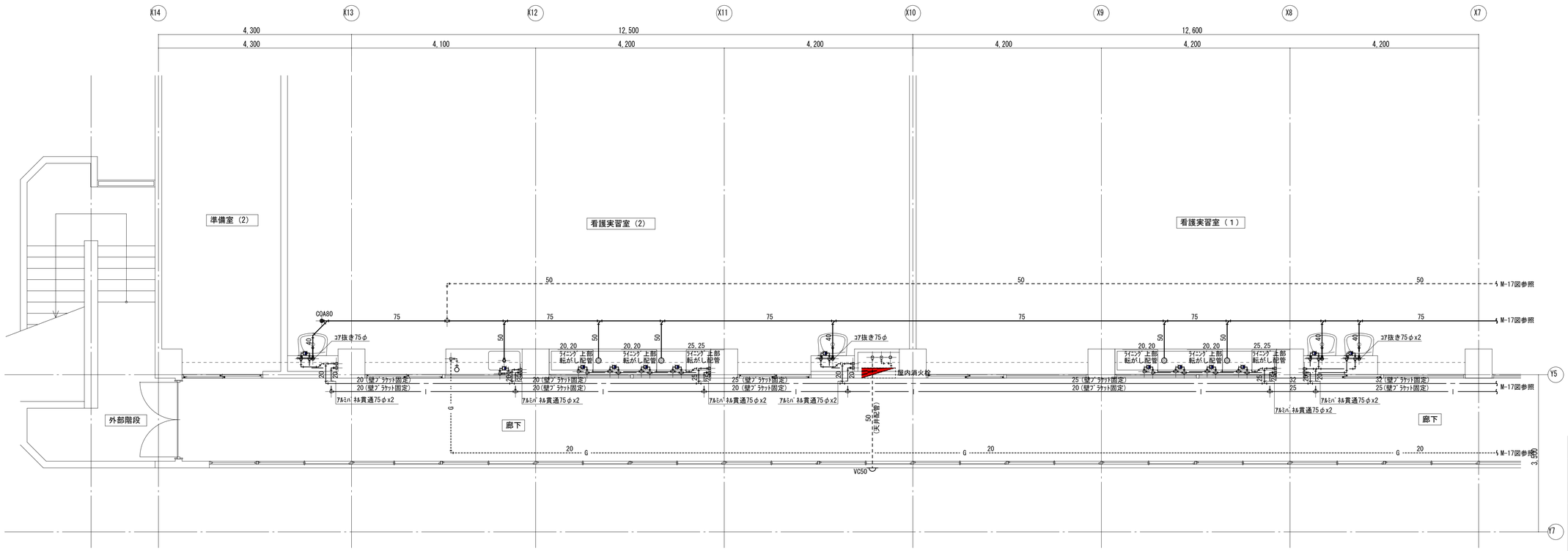
注記
1）実線の配管類は新設を示し、破線の機器・配管類は再利用又は残置を示す。

工事名	松戸市立総合医療センター附属看護専門学校 給排水管改修機械設備工事（その２）		
図面名	【改修前後】衛生設備　調理室・準備室(1)・看護実習室(1)詳細図		
作成年月日	令和7年2月21日	変更年月日	
縮 尺	A1:1/50 A3:1/100	図面番号	M-17
設 計	株式会社　山岡設計事務所 千葉県知事登録　第1-2306-2686号 山岡　治 一級建築士大臣登録第272498号		
松戸市 街づくり部 建築保全課			



【改修前】３階　看護実習室（１）・（２）平面詳細図　S=1/50

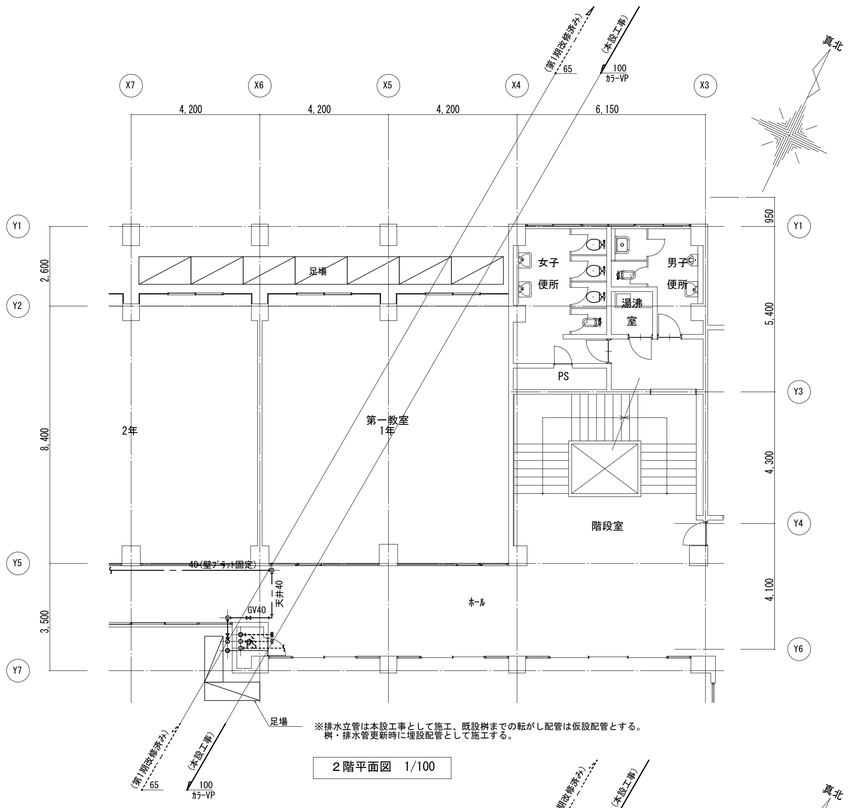
注記
１）斜線の掛かった配管類は撤去を示し、破線の機器・配管類は再利用又は残置を示す。
２）屋内消火栓部分のＰＳは、建築工事にて撤去新設とする。



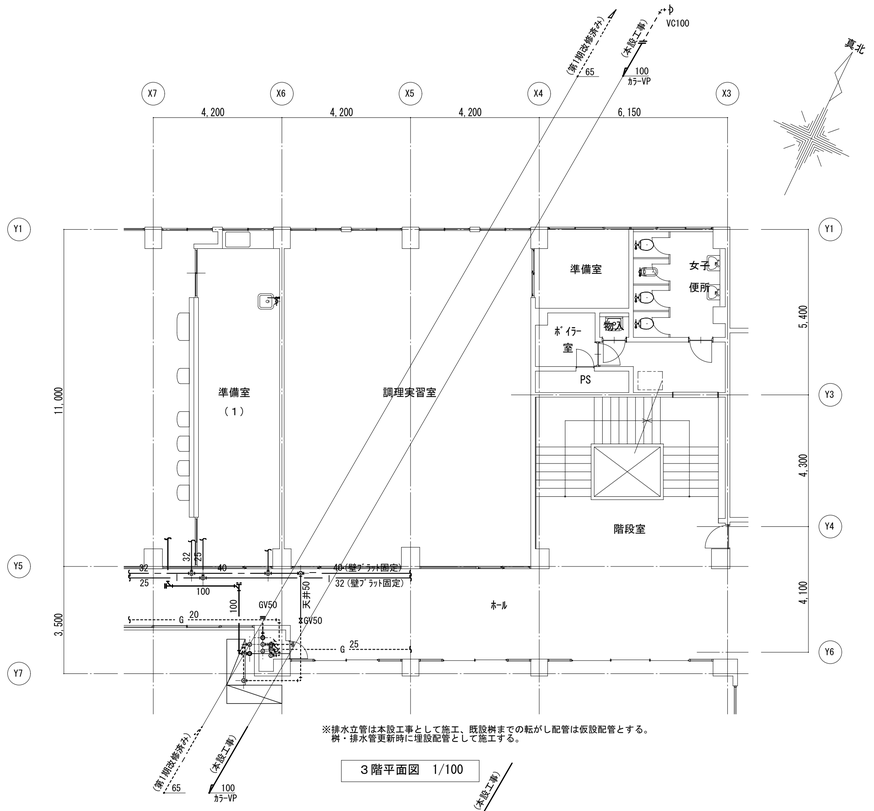
【改修後】３階　看護実習室（１）・（２）平面詳細図　S=1/50

注記
１）実線の配管類は新設を示し、破線の機器・配管類は再利用又は残置を示す。

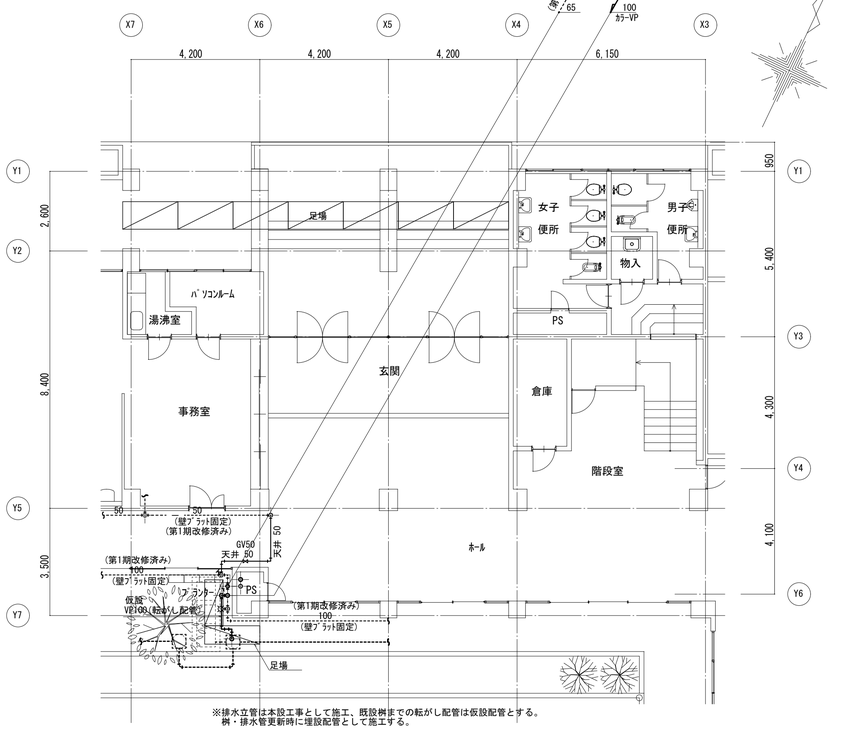
工事名	松戸市立総合医療センター附属看護専門学校 給排水管改修機械設備工事（その２）		
図面名	【改修前後】衛生設備　看護実習室(1)・(2)詳細図		
作成年月日	令和7年2月21日	変更年月日	
縮　尺	A1:1/50 A3:1/100	図面番号	M-18
設　計	株式会社　山岡設計事務所 千葉県知事登録　第1-2306-2686号 山岡　治 一級建築士大臣登録第272498号		
松戸市 街づくり部 建築保全課			



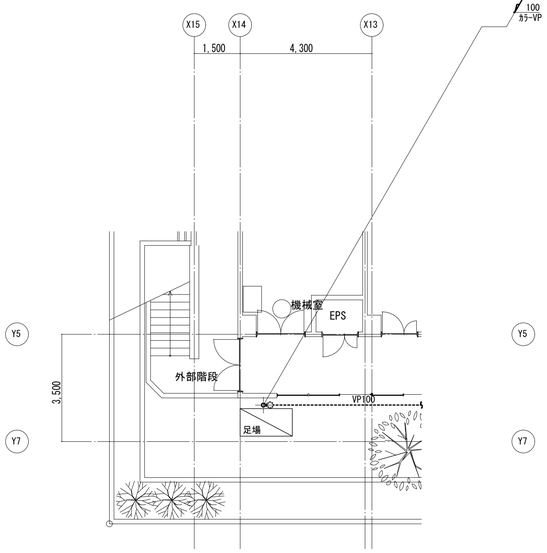
２階平面図　1/100



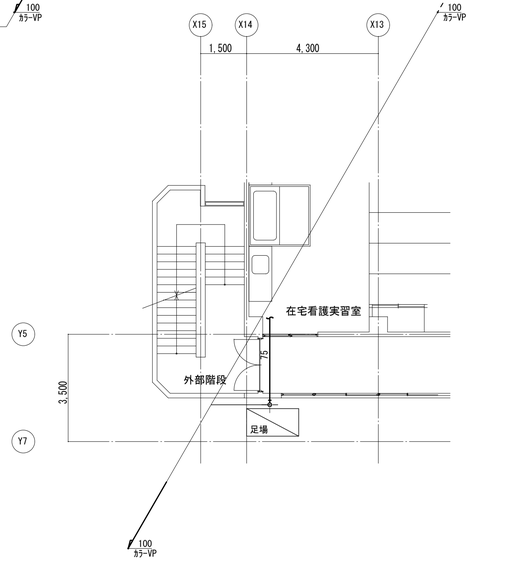
３階平面図　1/100



１階平面図　1/100



１階平面図　1/100



２階平面図　1/100

工事名	松戸市立総合医療センター附属看護専門学校 給排水管改修機械設備工事（その２）		
図面名	仮設１～３階平面図		
作成年月日	令和7年2月21日	変更年月日	
縮　尺	A1:1/100 A3:1/200	図面番号	M-19
設　計	株式会社　山岡設計事務所 千葉県知事登録　第1-2306-2686号 山岡　治 一級建築士大臣登録第272498号		
松戸市 街づくり部 建築保全課			

松戸市立総合医療センター附属看護専門学校
給排水管改修工事

図 面 リ ス ト					
図面番号	図面名称	縮尺	図面番号	図面名称	縮尺
	その１			その２	
A-00	表紙・図面リスト	No Scale	A-21	特記仕様書（１）	No Scale
A-01	特記仕様書（１）	No Scale	A-22	特記仕様書（２）	No Scale
A-02	特記仕様書（２）	No Scale	A-23	特記仕様書（３）	No Scale
A-03	特記仕様書（３）	No Scale	A-24	特記仕様書（４）	No Scale
A-04	特記仕様書（４）	No Scale	A-25	【改修前】各階平面図	1/200
A-05	案内図・配置図	1/200･2500	A-26	【改修後】各階平面図	1/200
A-06	【改修前】各階平面図	1/200	A-27	【改修前・後】調理室平面詳細図・家具図	1/50
A-07	【改修後】各階平面図	1/200	A-28	【改修前・後】１階天井伏図	1/100
A-08	【改修前・後】矩計図	1/30	A-29	【改修前・後】２階天井伏図	1/100
A-09	【改修前】１・２階便所平面詳細図・天井伏図・展開図	1/50	A-30	【改修前・後】３階天井伏図	1/100
A-10	【改修後】１・２階便所平面詳細図・天井伏図・展開図	1/50	A-31	【改修】建具キープラン・建具表	1/50・150
A-11	【改修前】３階便所平面詳細図・天井伏図・展開図	1/50	A-32	【改修前・後】各部詳細図－１	1/20・50
A-12	【改修後】３階便所平面詳細図・天井伏図・展開図	1/50	A-33	【改修前・後】各部詳細図－２	1/50
A-13	【改修前・後】管理人室平面詳細図・展開図	1/50	A-34	仮設計画図（参考図）	1/200
A-14	【改修前】１階天井伏図	1/100			
A-15	【改修後】１階天井伏図	1/100			
A-16	【改修前・後】２・３階天井伏図	1/50			
A-17	【改修前・後】建具キープラン	1/50			
A-18	【改修前・後】建具表	1/3･10･20			
A-19	雑詳細図	1/3･10･20			
A-20	仮設計画図（参考図）	1/200			

工事名	松戸市立総合医療センター附属看護専門学校 給排水管改修工事		
図面名	表紙・図面リスト		
作成年月日	令和7年2月21日	変更年月日	
縮 尺	No Scale	図面番号	A-00
設 計	株式会社　山岡設計事務所 千葉県知事登録　第1-2306-2686号 山岡　治 一級建築士大臣登録第272498号		
松戸市 街づくり部 建築保全課			

松戸市立総合医療センター附属看護専門学校
給排水管改修工事（その１）

工事設計図

令和6年1月31日

仕　様　書

Ⅰ　工事概要

1. 工事場所　松戸市上本郷４．１８２番地（松戸市立総合医療センター附属看護専門学校）

2. 敷地面積　1,379.7 ㎡

3. 改修建物概要

用　　途	専門学校
構　　造	RC造
階　　数	地上４階
建築面積	:
延べ面積	2,516.03㎡
最高高さ	17.60m（軒高さ：15.10m）

4. 工事内容

工事種目	工事範囲
2　仮設工事	足場設置・資材置場・ガードフェンス・仮設トイレ
3　防水改修工事	シーリング充填
4　外壁改修工事	-
5　建具改修工事	内部建具・トイレブースの新設
6　内装改修工事	便所、管理人室、PSの改修、一部壁・天井張替え
7　塗装改修工事	EP・EP-G・SOP・OP
8　耐震改修工事	-
9　環境配慮改修工事	アスベスト含有成形板撤去
10　その他	

Ⅱ建築工事仕様

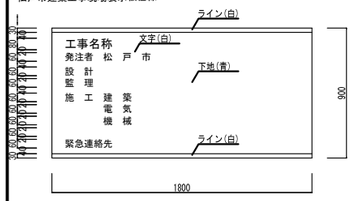
1. 共通仕様

(1) 図面及び特記仕様に記載されれいない事項は、国土交通省大臣官房営繕部監修の「公共建築改修工事標準仕様書（建築工事編）(令和4年版)」（以下、「改修標仕」という。）及び国土交通省大臣官房営繕部監修の「公共建築工事標準仕様書(建築工事編)(令和4年版)」（以下「標仕」という）による。

2. 特記仕様

(1) 項目は、番号に ◯印の付いたものを適用する。
(2) 特記事項は、⊙印の付いたものを適用する。
　⊙印の付かない場合は、※印の付いたものを適用する。
　⊙印と※印の付いた場合は共に適用する。
(3) 特記事項に記載の［　　］内表示番号は、改修標仕の当該項目、当該図又は当該表を示す。
(4) 特記事項に記載の（　　）内表示番号は、標仕の当該項目、当該図又は当該表を示す。
(5) G 印は「国等による環境物品等の調達の推進に関する法律」（以下「グリーン購入法」という）の特定調達品目を示す。

松戸市建築工事現場表示板仕様



(1) 材料
1) 耐水合板（ラワン厚み12mm SOP仕上げ）
2) 枠及び桟木については、部材寸法45×45mm以上とし、間隔は縦、横とも450mm以内とすること。

(2) 注意事項
1) 表示板の固定方法は、堅固な支柱又は仮囲い等に風並びに衝撃等に十分耐えられるよう固定し公衆の生命及び財産に危害のないようにすること。

章	項　目	特　記　事　項
1 一般共通事項	①運用基準等	⊙松戸市建築工事に関する提出書類 ⊙工事写真の撮り方 建築編（国土交通省大臣官房官庁営繕部監修） ⊙松戸市建築工事現場表示板仕様
	②工事実績情報サービス（CORINS）への登録	※ 適用する　[1.1.4]
	③施工計画書	⊙工事の総合的な計画をまとめた施工計画書を作成し提出すること。　[1.2.2] ⊙施工計画の品質計画に係る部分については監督職員の承諾を受けること。 ⊙施工図等を工事の施工に先立ち作成し、監督職員の承諾を受ける。 ⊙施工図等の内容を変更する必要が生じた場合は監督職員に報告する。
	4 電気保安技術者	・ 工事現場に置く電気保安技術者は、電気事業法に基づく電気主任技術者の職務を補佐し、電気工作物の保安の業務を行うものとする。　[1.3.3]
	⑤施工条件	※　現場説明書による　[1.3.5]
	⑥発生材の処理等	※ 現場説明書による　⊙場外搬出適正処理　[1.3.12]
	⑦材料の品質等	[1.4.2] 本工事に使用する材料等は、設計図書に規定する所要の品質及び性能を有するものとし、JIS及びJASマークの表示のない材料及びその製造者等は、次の(1)～(6)の事項を満たすものとする。 (1) 品質及び性能に関する試験データが整備されていること。 (2) 生産施設及び品質の管理が適切に行われていること。 (3) 安定的な供給が可能であること。 (4) 法令等で定める許可、認定又は免許等を取得していること。 (5) 製造又は施工の実績があり、その信頼性があること。 (6) 販売、保守等の営業体制が整えられていること。 なお、これらの材料を使用する場合は、設計図書に定める品質及び性能を有することの証明となる資料又は外部機関（㈳公共建築協会 他）が発行する資料等の写しを監督職員に提出して承諾を受けるものとする。ただし、あらかじめ監督職員の承諾を受けた場合はこの限りではない。 また、備考欄に商品名が記載された材料は、当該商品又は同等品を使用するものとし、同等品を使用する場合は、監督職員の承諾を受ける。
	⑧化学物質を放散する建築材料等	本工事の建物内部に使用する建築材料等は、設計図書に規定する所要の品質及び性能を有するものとし、次の1)から5)を満たすものとする。 1) 合板、木質系フローリング、構造用パネル、集成材、単板積層材、MDF、パーティクルボード、その他の木質建材、ユリア樹脂板、仕上げ塗材及び壁紙等は、ホルムアルデヒドを発散しないか、発散が極めて少ないものとする。 2) 保温材、衝撃材、断熱材はホルムアルデヒド及びスチレンを発散しないか、発散が極めて少ないものとする。 3) 接着剤はフタル酸ジ-n-ブチル及びフタル酸ジ-2-エチルヘキシル等を含有しない難揮発性の可塑剤を使用し、ホルムアルデヒド、トルエン、キシレン、エチルベンゼン、スチレンを発散しないか、発散が極めて少ないものとする。 4) 塗料はホルムアルデヒド、トルエン、キシレン、エチルベンゼン、スチレンを発散しないか、発散が極めて少ないものとする。 5) 1)、3)及び4)の建築材料等を使用して作られた家具、書架、実験台、その他の什器等は、ホルムアルデヒドを発散しないか、発散が極めて少ないものとする。 また、設計図書に規定する「ホルムアルデヒドの発散量」は、次のとおりとする。 規制対象外 ①JIS及びJASのF☆☆☆☆規格品 ②建築基準法施行令第20条の5第4項による国土交通大臣認定品 ③下記表示のあるJAS規格品 a. 非ホルムアルデヒド系接着剤使用 b. 接着剤等不使用 c. 非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを発散しない材料使用 d. ホルムアルデヒドを発散しない塗料等使用 e. 非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを発散しない塗料使用 f. 非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを発散しない塗料等使用 第三種 ①JIS及びJASのF☆☆☆☆規格品 ②建築基準法施行令第20条の5第4項による国土交通大臣認定品 ③旧JISのEo規格品 ④旧JASのFco規格品
	⑨特別な材料の工法	標仕に記載されていない特別な材料の工法については、材料製造所の指定する工法とする。
	⑩技能士	[1.6.2]

適用工事種別	技能検定の職種
鉄筋工事	・鉄筋施工（鉄筋組立作業）
コンクリート工事	・型枠施工　・コンクリート圧送
鉄骨工事	・とび
ブロック・ALCパネル工事	・ブロック建築　・ALCパネル施工
防水工事	・ｱｽﾌｧﾙﾄ防水工事作業　・合成ｺﾞﾑ系ｼｰﾄ防水工事作業 ・ｳﾚﾀﾝｺﾞﾑ系塗装防水工事作業　・ｼｰﾘﾝｸﾞ防水工事作業
石工事	・石材施工（石張り施工）
タイル工事	・タイル張り
木工事	・建築大工
屋根及びとい工事	・建築板金（内外装板金作業）
金属工事	⊙内装仕上げ施工（鋼製下地工事作業）
左官工事	・左官
建具工事	・サッシ施工　・ガラス施工　・自動ドア施工
カーテンウォール工事	・カーテンウォール施工　・サッシ施工　・ガラス施工
塗装工事	⊙塗装（建築塗装作業）
内装工事	・プラスチック系床仕上げ工事作業 ⊙ボード仕上げ工事作業 ⊙表装（壁装作業）
植栽工事	・造園

	⑪化学物質の濃度測定	[1.6.9] 施工完了時に室内空気中のホルムアルデヒド、トルエン、キシレン、エチルベンゼン、スチレン、パラジクロロベンゼンの濃度測定し、報告すること。 測定はパッシブ型採取機器により行う。 着工前の測定　⊙行う 測定対象室　⊙女子便所、男子便所、女性ロッカー室、男性ロッカー室、職員休憩室、管理人室DK、洗面所、UB、第一教室、第二教室、第三教室、在宅看護実習室、情報科学室、ミーティングルーム、看護実習室(2ヶ所)、廊下、駐車場 測定箇所数　⊙21箇所（1階10ヶ所、2階8ヶ所、3階3ヶ所） 着工後の測定　⊙行う 測定対象室　⊙女子便所、男子便所、女性ロッカー室、男性ロッカー室、職員休憩室、管理人室DK、洗面所、UB、第一教室、第二教室、第三教室、在宅看護実習室、情報科学室、ミーティングルーム、看護実習室(2ヶ所)、廊下、駐車場 測定箇所数　⊙21箇所（1階10ヶ所、2階8ヶ所、3階3ヶ所）
	⑫完成図等	※作成する　・作成しない　[1.8.1～3][表1.8.1] ※完成図　提出部数　※現場製本図　2部(A1版第2原図及び電子媒体(CD-R)) ・黒　金文字製本図　1部 ・施工図　提出部数　※　部

章	項　目	特　記　事　項
	13 完成写真	下記のものを監督職員に提出する。ただし、原版は撮影業者の保管とする。

分類・規格	撮影箇所数	撮影部数	原版の大きさ(㎜)
・カラー ※キャビネ版 ・べた焼き ・(他に外観正面1カットのみ5枚(カラーキャビネ版)提出)	外部(　) 内部(　)	※1　・6	※100×125以上 ・
※カラー半切木製パネル 324×400(㎜)	外部(　) 内部(　)	※2	
・電子データ	外部(　) 内部(　)	※2	※200万画素以上 ※300dpi以上

100×125以上の原版を使う場合は、監督職員にあらかじめべた焼を提出し確認を受ける。
電子データはRGB(フルカラー)、JPEG形式最高画質とし、CD-Rにて提出とする。
撮影業者　※監督職員の承諾する撮影業者(ただし、建築完成写真撮影の実績のある業者とする。)

	⑭設備工事との取合い	設備機器の位置、取合い等の検討できる施工図を提出して、監督職員の承諾を受ける。
	15 設計GL	※図示　・設計GL＝現状GL
	⑯工事写真	※着工前、完成及び立会写真2部　工事工程写真1部
	⑰ワンデーレスポンスの実施	ワンデーレスポンスの取り組みについて 1. この工事はワンデーレスポンス実施対象工事である。 「ワンデーレスポンス」とは 受注者から質問、協議への回答は基本的に「その日のうち」に回答するよう対応することである。ただし、即日回答が困難な場合は、いつまでに回答が必要なのかを受注者と協議のうえ、回答期限を設けるなど、何らかの回答を「その日のうち」にすることとする。 2. 受注者は計画工程表の提出にあたって、作業間の関連把握や工事の進捗状況等を把握できる工程管理方法について、監督職員と協議を行う。 3. 受注者は工事施工中において、問題が発生した場合及び計画工程と実施工程を比較照査し、差異が生じた場合は速やかに監督職員へ報告すること。 4. 効果・課題等を把握するためのアンケート等のフォローアップ調査を実施する場合、受注者は協力すること。
	⑱火災保険等	※火災保険等の証券等の写しの提出提出すること。
2 仮設工事	①足場その他	内部足場　種別　※脚立、足場板　・棚足場　[2.2.1] 外部足場　手すり先行工法に関するガイドラインに基づき設置すること。　[2.2.1][表2.2.1] 屋根工事及び小屋組みの建方工事における墜落事故防止対策はJIS A 8971に基づき設置すること。 材料、撤去材等の運搬方法　[2.2.1][表2.2.1] ・A種　※B種　・C種　⊙D種　・E種 ⊙定置する足場、作業構台等は別契約の関連する工事の関係者に無償で使用させる。
	②養生	既存部分の養生　※ビニールシート　・合板　厚12　[2.3.1] 既存家具等の養生　※ビニールシート　・ 固定家具等の養生　※行う　・行わない
	③仮設間仕切り	仮設間仕切り等の種別　[2.3.2][表2.3.1]

種　別	下　地	仕上材(厚さ　㎜)	充てん材	塗　装
・A種	※軽量鉄骨	・合板(※9.0 ・ラワン　)		※無し
⊙B種	・木下地	※せっこうボード(※12.5 ・　)	厚さ　㎜	・片面
・C種	・単管下地	防炎シート		
⊙仮設扉	※木製扉	※合板張り程度		※無し
	・鋼製扉	※片面フラッシュ程度		・有り

	4 監督職員事務所	規模及び仕上げの程度は現場説明書による。　[2.4.1]
	⑤工事用水	構内既存の施設　・利用できない　※利用できる(※有償　・無償)　※子メータを設置する。　[2.4.1]
	⑥工事電力	構内既存の施設　※利用できない　・利用できる(※有償　・無償)　[2.4.1]
	7 防音パネル	※アルミ製(解体作業期間)
	8 仮囲	・キャスターゲート　W= 4.0 m、H= 1.8 m、　1箇所
	9 仮囲い	・ガードフェンス　H= 1.8 m　箇所　図示 ※成型鋼板　H= 2.0 m、L=　m、　箇所
	10 仮設道路	・砕石敷(厚さ　㎜　幅　㎜)　L=　m (砕石は、再生クラッシャランを使用) ・鋼板敷(厚さ　㎜　幅　㎜　L=　m)　枚
3 防水改修工事	1 アスファルト防水	[3.3.2][表3.1.1][表3.3.3～10]

防水改修工法の種類		施工箇所	新規防水層の種別
保	※P1B		・B-1　※B-2
護	・P1BI　・T1BI		・BI-1　※BI-2
防	・P2AI		・AI-1　※AI-2
水	※P2A		・A-1　※A-2
露出	・M4C		・C-1　※C-2
防水	・M3D　・P0D		・D-1　※D-2
屋内防水	・P1E　・P2E		・E-1　※E-2 (保護層は図示による)

アスファルトの種類　※3種　・4種　[3.2.2][3.3.2]
保護コンクリートのコンクリート種類　・普通コンクリート(18N/? S=18mm)　[3.3.2][8.11.1]
(溶接金網　径6mm　100mm×100mm敷設)
POD工法のニ重ドレン　※設けない　・設ける　[3.2.5]
M3D、POD工法の脱気装置　※設けない　・設ける　[3.3.3]
既存露出防水層表面の仕上げ塗装(M4C工法の場合)　・除去する　[3.2.6]
断熱工法の断熱材　厚さ(㎜)　※25　・　[3.3.2]
ただし、特定フロンを含まないもの。
立上り部の保護　[3.3.2]
・れんがの種類　※見え隠れ部分は市販品のレンガ又は、市販品のレンガ形コンクリートブロックとする。
・乾式保護材の材料　※押出成形セメント板　厚さ15mm

	2 改質アスファルトシート防水	[3.4.2][表3.1.1][表3.4.1～3]

防水改修工法の種類	施工箇所	新規防水層の種別	厚さ(㎜)
・M4AS工法		・AS-1　・AS-2　・AS-3	
・M3AS工法 ・P0AS工法		・AS-4　・AS-5　・AS-6	
・M3ASI工法 ・M4ASI工法 ・P0ASI工法		・ASI-1　・ASI-2	

脱気装置　※設けない　・設ける

章	項　目	特　記　事　項
3 防水改修工事	3 合成高分子系ルーフィングシート防水	[3.5.2][表3.1.1][表3.5.1～3]

防水改修工法の種類	施工箇所	新規防水層の種別	仕上げ塗料等	使用分類
・P0S工法		・S-F1　・S-M1	・カラー	※非歩行
・S4S工法		・S-F2　・S-M2	・シルバー	・軽歩行
・S3S工法				
・M4S工法		・S-M1　・S-M2		
・P0SI工法		・SI-F1　・SI-M1		
・S3SI工法		・SI-F2　・SI-M2		
・S4SI工法		・SI-M3		
・M4SI工法				

脱気装置　※設けない　・設ける　[3.5.3]
目地処理　PCコンクリート　[3.5.4]

	4 塗膜防水	[3.6.2～4][表3.1.1][表3.6.1]

防水改修工法の種類	施工箇所	新規防水層の種別
・P0X工法	屋根	・X-1(絶縁工法)
・L4X工法	屋根	・X-2(密着工法)

既存塗膜防水層表面の仕上げ塗装(L4X工法の場合)　・活膜を残す　[3.2.6]
脱気装置　※設けない　・設ける　[3.6.3]

	5 脱気装置	[3.3.2][3.4.2][3.5.2][3.6.2][表3.1.1]

種　類	材　質	設置数量
・平面部脱気型	・ポリエチレン樹脂　・ABS樹脂 ・ステンレス　・鋳鉄	・約50㎡当たり1箇所
・立上り部脱気型	・合成ゴム　・塩化ビニル樹脂 ・ステンレス　・銅	・(　)㎡当たり1箇所

	6 シーリング	シーリング改修工法の種類　[3.1.4]　[表3.1.2] ・シーリング充填　・シーリング再充填工法　・シーリング打替え ・拡幅シーリング再充填工法　・ブリッジ工法 シーリング材の種類、施工箇所　[3.7.2]　[表3.7.1] ※下表以外は改修標仕表3.7.1を標準とする

施工箇所	シーリング材の種類　(記号)
・打ち継ぎ目地、伸縮目地	・ポリウレタン系(PU-2)(仕上げあり)
・建具廻り、金属取合い	・変成シリコーン系(MS-2)(仕上げなし)
・タイル目地	・ポリサルファイド系(PS-2)

	7 とい	といの材種　[3.8.2]　[表3.8.1] ・配管用鋼管　※カラー硬質塩化ビニル管　・排水用リサイクル硬質塩化ビニル管(REP-VU) G 鋼管製といの防露　[3.8.2]　[表3.8.3] ・次の箇所は行わない(　　) 防露材のホルムアルデヒドの放散量　※F☆☆☆☆　・ 掃除口　※有り　・無し　・ たてどい受金物の取付け　[3.8.3] 図示
	8 アルミニウム製笠木	[3.9.2～3]　[表3.9.1]

種　類	呼称肉厚(㎜)	製品幅(㎜)	固定間隔	備　考
・250形	※1.6以上	・240 ・250	固定方法及び間隔は品質計画で定めたもの	隅角部及び突き当り部等の役物は本体製造所の仕様による。
・300形	※1.8以上	※300		
・350形	※2.0以上	※350		

板材折曲げ形の取付工法　・図示　[3.9.3]

	9 折板葺	(13.3.2～3)

形　式	※重ね形　・はぜ締め形　・
形状　(㎜)	山高(　　)　山ピッチ(　　)　板厚　・0.6　※0.8
材　料 (規格等)	※塗装溶融55%アルミニウム-亜鉛めっき鋼板及び鋼帯 (CGLCCR-20-AZ150)
軒先面戸板	※有り　・無し
断　熱　材	・有り(種別：　　厚さ：　㎜)　※無し
耐火性能	・30分耐火　※無し

4 外壁改修工事 共通事項	1 施工数量調査	調査範囲　※外壁改修範囲(庇上裏含む)　・図示の範囲　[1.5.2] 調査内容 ひび割れの幅及び長さを壁面に表示する。　また、ひび割れ部の挙動の有無、漏水の有無及び錆汁の流出の有無を調査する。 モルタル塗仕上げ及びタイル張り仕上げについては浮き部分を表面に表示し、また欠損部の形状寸法等を調査する。コンクリート表面のはがれ及び剥落を壁面に表示する。 塗り仕上げについては、コンクリートまたはモルタル表面の剥がれ及び剥落部を壁面に表示する。また既存塗膜と新規上塗り材との適合性を確認する。 調査報告書の部数　※2部

工事名	松戸市立総合医療センター附属看護専門学校 給排水管改修工事
図面名	特記仕様書　（１）
作成年月日	令和7年2月21日
変更年月日	
縮　尺	No Scale
図面番号	A-01
設　計	株式会社　山岡設計事務所 千葉県知事登録　第1-2306-2686号 山岡　治 一級建築士大臣登録第272498号
松戸市 街づくり部 建築保全課	

章	項目	特記事項
4 外壁改修工事 共通事項	2 改修材料	・既製調合モルタル 保水率(%): 70.0以上 / 単位容積質量(kg/l): 1.80程度 / 接着強さ(N/?) 標準時: 0.60以上 / 温冷繰り返し後: 0.40以上 / 長さ変化率(%): 0.20以上 / 曲げ強さ(N/?): 4.0以上 ・パテ状エポキシ樹脂 初期硬化性(標準): 2.0N/?以上 / 接着強さ(標準): 6.0N/?以上 / 圧縮強さ: 50.0N/?以上 / 曲げ強さ: 30.0N/?以上 / 硬化収縮率: 3.0(%)以上 a.均質で有害と認められる異物の混入がないこと。 b.対象とする被着体を侵さず、かつ、周囲を汚損しないこと。 c.常温・常湿(温度5℃～35℃、湿度15%～85%)において製造所の指定する期間又は製造後6か月間保存した後であっても、上記の品質・性能の各項目に適合していること。 ・可とう性エポキシ樹脂 性能: 常温物性 引張強さ 1.0N/?以上 / 伸び 30.0%以上 / 低温性 1.0N/?以上 / 伸び 30.0%以上 / 加熱変化 1.0N/?以上 / 伸び 30.0%以上 / 引張接着性 最大引張応力 1.0N/?以上 / 破断時の伸び 10.0%以上 比重 表示値±0.10 押出し性 60秒以下 スランプ 3mm以下 加熱減量 5%以下 a.均質で有害と認められる異物の混入がないこと。 b.対象とする被着体を侵さず、かつ、周囲を汚損しないこと。 c.常温・常湿(温度5℃～35℃、湿度45%～85%)において製造所の指定する期間又は製造後6か月間保存した後であっても、上記の品質・性能の各項目に適合していること。 ・タイル部分張替え工法用材料 接着強さ: 標準 0.60以上 / 低温硬化 0.40以上 / アルカリ温水 0.40以上 / 冷熱水中繰返し 0.40以上 / 熱劣化 0.40以上 強度(N/?): 0.60以上 / 0.40以上 / 0.40以上 / 0.40以上 / 0.40以上 凝集破壊率(%): 75以上 / 50以上 / 50以上 / 50以上 / 50以上 皮膜物性: 標準 / 高温 / 低温 / アルカリ温水 / 熱劣化 引張強さ(N/?): 1.00以上 / 1.00以上 / 1.00以上 / 1.00以上 / 1.00以上 伸び(%): 30以上 / 30以上 / 30以上 / 20以上 / 20以上 貯蔵安定性 容積と粘土に著しい変化がないこと。 耐熱性 JIS A 5548に準じた試験において、80℃で4週間、9.8Nおもりで安定していること。 a.外観は均質で有害と認められる異物の混入がないこと。 b.タイル、石材、下地等侵すものでないこと。 c.「化学物質の審査および製造等の規制に関する法律」に基づく特定化学物質及び「労働安全衛生法」に基づく、「有機溶剤中毒予防規則」に規定された第一種有機溶剤を使用しないこと。 d.常温・常湿(温度20±15℃、湿度65±20%)において製造後6か月保存しても上記の品質性能に適合していること。 e.ずれ抵抗性があること。 f.混練終結時の確認が容易なように色が明瞭であること。 ・エポキシ樹脂モルタル 接着強さ: 1.0N/?以上 / 圧縮強さ: 20.0N/?以上 / 曲げ強さ: 10.0N/?以上 a.こて塗りが容易で、かつ硬化後の仕上りが良好であること。 b.均質で有害と認められる異物の混入がないこと。 c.「労働安全衛生法」に基づく「有機溶剤中毒予防規則」に規定された第1種有機溶剤を使用しないこと。 d.形状に異常が無く、垂れが生じないこと。 e.常温・常湿(温度20±15℃、湿度65±20%)において製造後6か月保存しても上記の品質性能に適合していること。 ・ポリマーセメントモルタル ポリマーセメントモルタルの種類 合成ゴム系、アクリル系、エチレン一酢ビ系等 曲げ強さ(N/?): 6.0以上 / 圧縮強さ(N/?): 20.0以上 / 接着強さ(N/?) 標準時: 1.0以上 / 温潤時: 0.8以上 / 低温時: 0.5以上 表面状態 垂れの下がり量は5mm以内とし、ひび割れが発生してないこと。 透水性 裏面の漏れ、水滴の付着がないこと。 均質で有害と認められる異物の混入がないこと。 ・ポリマーセメントスラリー 広がり速度(cm/s): 3以上 / 長さ変化率(収縮): 0.3%以下 / 引張接着性(材齢28日): 0.5N/?以上 / 曲げ性能(材齢28日): 5.0N/?以上 / 吸水性(72時間): 15%以下 / 耐久性(劣化曲げ強さ): 6.0N/?以上 保水係数 0.35～0.55 粘調係数 0.50～1.00 ・吸水調整材 項目: 全固形分(%) / 吸水性(g) / 接着強度(N/?) / 界面破断率(%) 品質・性能: 表示値±1%以内 / 30分で1g以下 / 0.98以上 / 50%以下 均質で有害と認められる異物の混入がないこと。
4-1 外壁改修工事 コンクリート打放し仕上げ外壁	1 ひび割れ部改修工法	※ 樹脂注入工法 [4.1.4][4.3.4] 注入工法の種類 / ひび割れ幅(mm) / 注入口間隔(mm) / 注入量(ml/m) / 備考 ※自動式低圧エポキシ樹脂注入工法: 0.2以上～1.0未満 / ※200～300 / ※製造所の仕様による ・手動式エポキシ樹脂注入工法: 0.2以上～0.3未満 / ※ 50～100 / ※40 ・ ・機械式エポキシ樹脂注入工法: 0.3以上～0.5未満 / ※100～200 / ※70 ・ 0.5以上～1.0未満 / ※150～250 / ※130 ・ 注入材料 [4.2.2] ※建築補修用注入エポキシ樹脂(JIS A 6024低粘度形又は中粘度形) 検査(コア抜取り) ※行わない [4.3.4] ・行う(抜取り部の補修方法:) ・Uカットシール材充填工法 [4.1.4][4.2.2][4.3.5] 充填材料: ・シーリング用材料 / ※1成分形又は2成分形 ポリウレタン系シーリング材 / JIS A 6024 / ・可とう性エポキシ樹脂 品質・規格等: ※行わない ・行う 備考: ポリマーセメントモルタル充填
		・シール工法 [4.1.4][4.2.2][4.3.6] ・パテ状エポキシ樹脂(JIS A 6024) ・可とう性エポキシ樹脂(JIS A 6024)
	2 欠損部改修工法(鉄筋爆裂補修含む)	・充填工法 [4.1.4][4.2.2][4.3.7] ・エポキシ樹脂モルタル(JIS A 6024) ・ポリマーセメントモルタル
	3 浮き部改修工法	・アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法 [4.1.4][4.4.10] (モルタル笠木・パラペット天端部分)
	4 巾木モルタル塗	・樹脂モルタル T3
4-2 外壁改修工事 モルタル塗り仕上げ外壁	1 既存モルタル塗りの撤去	・行う(※監督職員の指示による)
	2 ひび割れ部改修工法	・既存モルタル撤去工法(範囲は図示 撤去部分の補修は、3.欠損部改修工法による) ※ 樹脂注入工法 [4.1.4][4.4.2][4.4.5] 注入工法の種類 / ひび割れ幅(mm) / 注入口間隔(mm) / 注入量(ml/m) / 備考 ※自動式低圧エポキシ樹脂注入工法: 0.2以上～1.0未満 / ※200～300 ・手動式エポキシ樹脂注入工法: 0.2以上～0.3未満 / ※50～100 / ※40 ・ 0.3以上～0.5未満 / ※100～200 / ※70 ・ ・機械式エポキシ樹脂注入工法: 0.5以上～1.0未満 / ※150～250 / ※130 ・ 注入材料 [4.2.2] ※建築補修用注入エポキシ樹脂(JIS A 6024低粘度形又は中粘度形) 検査(コア抜取り) ※行わない [4.3.4] ・行う(抜取り部の補修方法:) ・Uカットシール材充填工法 [4.1.4][4.2.2][4.3.5] 注入工法の種類: ・シーリング用材料 / ・可とう性エポキシ樹脂 品質・規格等: ※1成分形又は2成分形 ポリウレタン系シーリング材 / JIS A 6024 備考: ポリマーセメントモルタル充填 / ※行わない ・行う
	3 欠損部改修工法	・既存モルタル面の欠損部 [4.1.4][4.4.8～9] 改修工法の種類: ・充填工法 / ・モルタル塗替え工法 材料: エポキシ樹脂モルタル / 改修標仕4.2.2(7)による 品質・規格等: 塗り厚25mmを超える場合の補強 / ※行う ・行わない ・図示
	4 浮き部改修工法	[4.1.4][4.5.9～15][表4.4.3～4] 改修工法の種類(モルタルを撤去しない場合): ・アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法 / ・アンカーピンニング全面エポキシ樹脂注入工法 / ・アンカーピンニング全面ポリマーセメントスラリー注入工法 / 注入口付アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法 / ・注入口付アンカーピンニング全面エポキシ樹脂注入工法 / ・注入口付アンカーピンニング全面ポリマーセメントスラリー注入工法 アンカーピンニング部分: ※16 / ※25 / ※25ml アンカーピンニング全面: ※13 / ※20 / ※12 / ※20 / ※25ml / ※25ml ポリマーセメントスラリー注入工法: ※50ml 注入口付アンカーピンニング部分: ※9 / ※16 / ※25ml 注入口付アンカーピンニング全面: ※9 / ※16 / ※9 / ※16 / ※25ml 注入口付アンカーピンニング全面ポリマーセメントスラリー注入工法: ※50ml アンカーピン [4.2.2] 材質 ※ステンレス鋼(SUS304)、呼び径4mmの丸棒で全ネジ切り加工したものとする。 注入口付アンカーピン [4.2.2] 材質 ※ステンレス鋼(SUS304)、呼び径外径6mm程度とする。
	5 巾木モルタル塗	・樹脂モルタル T3
4-3 外壁改修工事 タイル張り仕上げ外壁	1 既存タイル張りの撤去	・外壁タイル張り全面 ・図示の範囲 ・4-1による [4.5.2] 撤去範囲 ※下地モルタルまで ・張り付けモルタルまで ・タイルのみ
	2 ひび割れ部改修工法	改修箇所 ※既存タイル張り面 ・既存タイル撤去面(・コンクリート面 ・モルタル面) ※樹脂注入工法 [4.1.4][4.3.4][4.5.5] ひび割れ幅(mm) / 注入口間隔(mm) / 注入量(ml/m) / 備考 ※自動式低圧エポキシ樹脂注入工法: 0.2以上～1.0未満 / ※200～300 / ※ ・手動式エポキシ樹脂注入工法: 0.2以上～0.3未満 / ※50～100 / ※40 ・ 0.3以上～0.5未満 / ※100～200 / ※70 ・ ・機械式エポキシ樹脂注入工法: 0.5以上～1.0未満 / ※150～250 / ※120 ・ 注入材料 [4.2.2] ※建築補修用注入エポキシ樹脂(JIS A 6024低粘度形又は中粘度形) 検査(コア抜き取り) ※行わない [4.3.4] ・行う(抜き取り部の補修方法:) ・Uカットシール材充填工法(既存タイル張り撤去部分) [4.1.4][4.2.2][4.3.5～6] 充填材料: ・シーリング用材料 / ・可とう性エポキシ樹脂 品質・規格等: ※1成分形又は2成分形 ポリウレタン系シーリング材 / ※行わない ・行う 備考: ポリマーセメントモルタルの充填
	3 欠損部改修工法	・タイル部分張替え工法 [4.1.4][4.2.2][4.5.7] 接着剤の種類: ※ポリマーセメントモルタル / ・タイル部分張替え工法用接着剤 品質・規格等: 「建設省官民連帯共同研究報告書『有機系接着剤を利用した外装タイル・石張りシステムの開発』(建設大臣官房技術調査室監修 平成9年2月)」における「外装タイル・石張り用接着剤の品質基準(案)」に基づく品質性能試験に適合するタイプⅠであり監督職員の承諾するもの又は特記による。 ・タイル張替え工法 [4.1.4][4.5.8] 伸縮調整目地及びひび割れ誘発目地 [4.5.8][表4.5.1] 位置 ※改修標仕表4.5.1による ・図示
4-4 外壁改修工事 塗り仕上げ外壁	1 既存塗装等の撤去及び下地処理	既存塗膜劣化部の除去、下地処理の工法 [4.6.3][表4.6.1～4] 工法: ・サンダー工法 / ※高圧水洗工法 加圧力 ※12MPa程度 / ・塗膜はく離剤工法 / ・水洗い工法 処理範囲: ※補強範囲 図示 / ※塗替え範囲 図示 / ※既存仕上面全体 / ※上記処理範囲以外の既存仕上面全体 下地面の補修: ・ひび割れ部改修工法 / ・浮き部改修工法 / ・欠損部改修工法 塗装はく離剤 [4.2.2]
	2 下地調整材	※下地調整材C-1 (既存リシン面) [4.2.2][4.6.3] ※微弾性フィラー (既存吹付タイル面)
	3 仕上げ塗材仕上げ	[4.1.4][4.2.2][表4.2.4] 種類: ・薄付け仕上塗材 / ・複層仕上塗材 / ・可とう形改修用仕上塗材 呼び名: ・外装薄塗材Si / ・可とう形外装薄塗材Si / ・外装薄塗材E / ・可とう形外装薄塗材E / ・防水形外装薄塗材E / ・外装薄塗材S / ・複層塗材CE / ・可とう形複層塗材CE / ・複層塗材Si / ・複層塗材E / ・複層塗材RE / ・複層塗材RS / ・防水形複層塗材CE / ・防水形複層塗材E / ・防水形複層塗材RE / ・防水形複層塗材RS / ・可とう形改修塗材E / ・可とう形改修塗材RE / ・可とう形改修塗材CE 仕上げの形状: ・砂壁状 ・着色骨材砂壁状 / ・砂壁状 ・ゆず肌状・さざ波状 / ・ゆず肌状・さざ波状・凸凹状 / ・砂壁状 / ・ゆず肌状・凸部処理・凸凹模様 / 耐候性 ※耐候形3種 ・耐候形1種 / 上塗材 溶媒 ※水系 ・溶剤系 / 樹脂 ※アクリル系・ウレタン系 / 外観 ※つやあり・つやなし ・メタリック / 防水形の増塗材 ※行う / ・平たん状 / ・さざ波状 / ※ゆず肌状
	4 その他の仕上げ	防火材料の指定が必要な場合 [4.2.2][15.6.2] ※建築基準法に基づく認定を受けた材料とする。 ※仕上塗材・下地調整材は同一メーカーとする。 ・コンクリート打放し保護仕上塗材 ※エスケー化研㈱ セラミクリートTR-Si同等とする ・トップコート 下地調整塗材:シーラー(JIS A6909 建築仕上塗材用下塗材) 使用箇所 :屋上笠木、庇上部等 JIS表示 :JIS A6906 建築用仕上塗材
5 建具改修工事	①改修工法の適用	[5.1.3] 種類: ・アルミニウム製建具 / ・鋼製建具 ・外部 / ・内部 / ・鋼製軽量建具 / ・ステンレス製建具 / ・自動ドア開閉装置 / ・重量シャッター かぶせ工法: ・有り / ・有り / ・有り / ・有り 撤去工法: ・有り / ・有り 備考: 建具表参照 / 建具表参照
	2 見本の製作等	・特殊な建具の仮組(建具符号 :) [5.1.5]
	3 アルミ製建具	外部に面する建具 [5.2.2][表5.2.1] 種別: ・A種 / ・B種 / ・C種 耐風圧性: S-4 / S-5 / S-6 気密性: ※A-3 / ・ / A-4 水密性: ※W-4 / ・ / W-5 枠見込み(mm): ※70 / ・100 / 100 施工箇所: ・図示
		表面処理 [5.2.4][表5.2.2] ・BA-1種 ・BA-2種(※ブラウン系 ・ブラック ・ステンカラー) 屋内建具 表面処理 ※AC-1種又はBC-1種 [5.2.4][表5.2.2] ・AC-2種又はBC-2種(※ブラウン系 ・ブラック ・ステンカラー)
	4 網戸	防虫網 [5.2.3] 網の種別 ・ガラス繊維入り合成樹脂製 ・合成樹脂製 ※ステンレス(SUS316)製 形 式 ・外部可動式 ※固定式
	⑤鋼製建具	簡易気密型ドアセットの適用は建具表による [5.4.2][表5.4.1] 耐風圧性能の適用は建具表による 特定防火設備戸 ・適用する [5.4.4] ●建具表による
	6 鋼製軽量建具	簡易気密型ドアセットの適用は建具表による [5.5.2][表5.5.1～2] ・建具表による
	7 ステンレス製建具	簡易気密型ドアセットの適用は特記による [5.6.2] 耐風圧性能の適用は建具表による 表面仕上げ ※HL仕上げ ・鏡面仕上げ [5.6.4] 曲げ加工 ※普通曲げ ・角出し曲げ(補強有り) [5.6.5] 防火戸 ・適用する [5.1.4]
	8 自動ドア開閉装置	※製造所標準製作の規定寸法許容差による [5.8.2～4][表5.8.1～5] 開閉方法: ※引き戸 / ・多機能トイレ出入口引き戸 検出装置の種類: ・光線(反射)センサー ・熱線センサー / ・音波センサー ・光電センサー ・タッチスイッチ / ・押しボタンスイッチ ・多機能トイレスイッチ ・凍結防止装置(適用箇所は建具表による)
	9 自閉式上吊り引戸装置	品質規格 ※改修標仕5.9.3による。 [5.9.3][表5.9.1] ・製造所標準仕様による。
	⑩木製建具	※建具表による。 かまち戸の樹種 かまち( ) 鏡板( ) (16.7.2)(表16.7.2) ふすまの上張り ※新鳥の子程度又はビニル紙程度(押入れ等の裏面は除く) (表16.7.3) ・鳥の子 建物内部の木製建具に使用する表面材及び接着剤のホルムアルデヒドの放散量 (16.7.2) ※F☆☆☆☆ ・非ホルムアルデヒド系接着剤
	⑪建具用金物	マスターキー ・製作する ※製作しない [5.7.4] 建具用金物 [5.7.2][表5.7.1～3] 錠類はシリンダー箱錠(レバーハンドル)とする。 なお、錠前類は建具製作所の指定するものとし、監督職員の承諾を受ける。 吊金物 ・丁番(内部建具については、軸を鉄芯としてもよい) ・ピボットヒンジ ●建具表による
	12 ガラス	※建具表による [5.13.2] ・ガラスブロック 改修標仕5.13.5 [5.13.5] 寸法(mm): 色調 ※クリア ・熱線反射 / ・乳白 ・カラー( ) / パターン / 防火認定 ※無し / ・有り
	13 ガラス留め材及び溝	ガラス留め材 [5.13.2～3] 建具の種類: アルミニウム製 / 鋼製及び鋼製軽量 / ステンレス製 種類: ※シーリング材 ・ガスケット(FIX部はシーリング材) / ※シーリング材 / ※シーリング材 防火戸のガラス留め材は建築基準法に基づく防火性能認定品とする。 ・耐火シーリング材(トップライト部ガラス留め材)
	14 ガラス用フィルム	名称: ※ガラス飛散防止フィルム / ・目かくしフィルム 種類: 第2種 張り面: ※内張り ・外張り 性能値: 飛散防止率 D1 品質JIS A 5759による
	15 重量シャッター	[5.10.2][表5.10.1] シャッターの種類: ・一般重量シャッター / ・外壁用防火シャッター / ・屋内用防火シャッター / ・屋内用防煙シャッター 耐風圧性能( )N/㎡ / 耐風圧性能( )N/㎡ 品質JIS A 4705による 開閉機能 ※上部電動式(手動併用) ・上部手動式 危害防止機構 ※障害物感知装置(自動閉鎖型) [5.10.2] ・シャッターの二段降下方式 一般重量シャッターのシャッターケース ※設ける ・設けない [5.10.2]
	16 軽量シャッター	[5.11.2][表5.10.1] 開閉形式 ※手動式 ・上部電動式(手動併用) スラット 材質 ※塗装溶融亜鉛めっき鋼板 [5.11.3] 形状 ※インターロッキング形 ・オーバーラッピング形 [5.11.4] ガイドレール等 [表5.10.2] ※鋼板製 ・ステンレス製SUS304(厚さ1.5mm) 耐風圧性能( )N/㎡

工事名	松戸市立総合医療センター附属看護専門学校 給排水管改修工事
図面名	特記仕様書 (2)
作成年月日	令和7年2月21日
変更年月日	
縮尺	No Scale
図面番号	A-02
設計	株式会社 山岡設計事務所 千葉県知事登録 第1-2306-2686号 山岡 治 一級建築士大臣登録第272498号
	松戸市 街づくり部 建築保全課

5 建具改修工事

17 オーバーヘッドドア [5.12.2～5][表5.12.1～2]

セクション材料による区分	開閉方式	収納形式	ガイドレールの材質
※スチールタイプ ・アルミニウムタイプ ・ファイバーグラスタイプ	※バランス式 ・チェーン式 ・電動式	・スタンダード形 ・ローヘッド形 ・ハイリフト形 ・バーチカル形	※溶融亜鉛めっき鋼板 ・ステンレス鋼板 (SUS304)

耐風圧性能(　　)N/㎡　JIS A 4715

18 かぎ箱

市販品
形　式　・30組用　・60組用　・120組用　・

⑥内装改修工事

①改修範囲 [6.1.3]

既存壁の撤去に伴う当該壁の取合う天井、壁、床の改修範囲
※壁厚程度とし、既存仕上げに準じた仕上げを行う。
⊙図示の範囲

天井内の既存壁の撤去に伴う当該壁の取合う天井の改修範囲
※壁面より両側600mm程度とし、既存仕上げに準じた仕上げを行う。
⊙図示の範囲

天井の撤去に伴う取合部の壁面の改修
※既存のまま。
⊙図示の範囲

②既存床の撤去並びに下地補修 [6.2.2]

ビニル床シート等の除去　⊙仕上げ材のみ(接着剤とも)
・モルタル下地とも(※図示の範囲　・除去範囲全て)
カラードフロアの撤去　・機械的除去工法　・目荒し工法
改修後の床の清掃範囲　※改修箇所の案内　・

③既存壁の撤去並びに下地補修 [6.3.2][4.4.9]

間仕切り壁撤去に伴う他の構造体の補修
⊙図示
・モルタル塗り(塗厚25mmを超える場合の補強　※行う　・行わない)

4 木下地等
(AP-1、2) [6.5.2][表6.5.2～3]

木材の品質　図示
※改修標準仕様書6.5.2による　・市販品
代用樹種　※改修標仕表6.5.4による [6.5.2][表6.5.4]
・代用樹種を適用しない箇所(　　)
保存処理木材を適用する箇所(　　)

5 集成材等 G **(額縁等)** [6.5.2]

品　名	規格・品質	芯材の種類	化粧単板の樹種
※集成材	※一般材	・米栂　・なら　・しおじ	
・構造用集成材	・1種 ※2種 ・3種	・	
・造作用集成材	※1等 ・2等	・タモ	
・化粧ばり造作用集成材	※1等 ・2等	・	・

ホルムアルデヒドの放散量　※F☆☆☆☆　・

⑥接着剤 [6.5.3]

※F☆☆☆☆
・非ホルムアルデヒド系接着剤

7 防腐、防蟻処理 [6.5.5]

行う箇所(　　)
防腐処理　※行う(※図示　　)
防蟻処理　・行う(※図示　　)
防腐、防蟻処理の種類、品質
表面処理用木材保存剤(防腐・防蟻剤)は監督職員の承諾するものとする。

8 床板張り フローリング及び繊甲板張り床 [6.5.8][6.11.2][表6.5.10]

下張り用床板	※無し		
	・有り	※合　板	t12mm
		・パーティクルボード	t15mm
床板	※単層フローリング (共仕19.5.2による)		ホルムアルデヒドの放散量 ※F☆☆☆☆　・
	・繊甲板		※ひのき

⑨軽量鉄骨天井下地 野縁等の種類 [6.6.2] [表6.6.1～2]

屋外(・19形 ※25形)　屋内(※19形　・25形　※角スタッド工法 65形)
既存の埋込みインサート　⊙使用する ※使用しない [6.6.4]
あと施工アンカーの確認試験　・行う ※行わない
⊙図示

⑩軽量鉄骨壁下地 スタッドの高さが5mを超える場合　※図示 [6.7.3] [表6.7.1]

⑪ビニル床シート張り [6.8.2]

種　類	JISの記号	色　柄	厚さ(mm)
※発砲層のないもの	※NC　・	※無地　・マーブル柄	※2.5
・発砲層のあるもの		※柄物　・無地	
・防滑性ビニル床シート	・NF　・NC	・柄物　・無地	・2.5
⊙**防汚性ビニルシート**			・2.0

工法　※熱溶接工法　・突付け(施工箇所:　　) [6.8.3]
・防滑性ビニルシート：右記同等品とする。　ロンシール工業㈱　ロンレイドAS　t=2.5
タキロンシーアイ㈱　ネオセーフ　t=2.5
⊙**防汚性ビニルシート：右記同等品とする。**　ロンシール工業㈱　サニタリウム　t=2.0
タキロンシーアイ㈱　ネオクリーン　t=2.0
東リ㈱　消臭ＮＳトワレNW　t=2.0
接着剤のホルムアルデヒド放散量 JIS A 5536　※F☆☆☆☆　・

12 ビニル床タイル張り
東リ㈱　消臭ＮＳトワレNW　t=2.0

種　類	JISの記号	厚さ(mm)	備　考
※コンポジションビニル床タイル(半硬質)	CT	※2	
・コンポジションビニル床タイル(軟質)	CTS		
・ホモジニアスビニル床タイル	HT		

接着剤のホルムアルデヒド放散量 JIS A 5536　※F☆☆☆☆　・

13 帯電防止床タイル張り [6.8.2]

種　類	厚さ(mm)	性　能
※コンポジションビニル床タイル	※2　・	体積抵抗値(JIS K 6911による)
・ホモジニアスビニル床タイル	4.0又は4.5	1.0×10⁷Ω以下、または、
		漏洩抵抗値(JIS A 1454による)
		1.0×10¹⁰Ω未満

接着剤のホルムアルデヒド放散量 JIS A 5536　※F☆☆☆☆　・

14 視覚障害者用床タイル(誘導用及び注意喚起用床材) [6.8.2]

ブロックパターンはJIS T 9251による
色彩は黄色を原則とする。
屋内　※塩化ビニル製　・磁器又は石器質タイル(※300　・　　)
・レンジコンクリート製
屋外　※レンジコンクリート製　・磁器又は石器質タイル(※300　・　　)
接着剤のホルムアルデヒド放散量 JIS A 5536　※F☆☆☆☆　・

⑮ビニル幅木 [6.8.2]

高さ　(mm)　⊙60　・75　・100
接着剤のホルムアルデヒド放散量 JIS A 5536　※F☆☆☆☆　・

16 合成樹脂塗床 [6.10.2～3][表6.10.1～8]

種　類	仕上の種類
・弾性ウレタン樹脂系塗床材	※平滑仕上げ　・防滑仕上げ　・つや消し仕上げ
・エポキシ樹脂系塗床材	・薄膜流しのべ工法(※平滑　・防滑) ・厚膜流しのべ工法(※平滑　・防滑) ・樹脂モルタル工法(※平滑　・防滑) ・薄膜型塗床工法(※平滑)

ホルムアルデヒド放散量 JIS K 5970　※F☆☆☆☆　・

17 フローリング張り [6.11.2～7][表6.11.1～6]

種　別	材　種	工　法	仕上塗装等	備考
・天然木化粧複合フローリング	※なら	※直張り工法(C種)	※塗装品	
・大型積層フローリング	・ガバ	・特殊張り(体育館床)	※無塗装品	
・単層フローリング	・ブナ	・特殊張り(体育館床)	※無塗装品	
	・ガバ	・モルタル埋め込み	・塗装品	
・フローリングブロック	・ブナ	・直張り	※塗装品	

ホルムアルデヒド放散量　※F☆☆☆☆　・

18 畳敷き [6.12.2～3][表6.12.1]

下地の種類	畳の種別
改修標仕 表6.5.10による床組	※B種　・
ポリスチレンフォーム床下地	※C種　・

19 ポリスチレンフォーム床下地材

畳下地　厚さ(mm)　※40　・65　・80
フローリング類　厚さ(mm)　※80　・95

20 カーペット敷き

・織じゅうたん [6.9.2～3][表6.9.1～2]

種　別	パイル糸の種類	帯電性	色柄等	備考
・A種	・そも糸	人体帯電圧	※無地	
・B種	・紡毛糸	※3kV以下	・柄物(標準品)	
・C種	・紡毛糸			

帯電性(JIS L 1021-16)　※人体帯電圧値3kV以下　・

・タフテッドカーペット(JIS L 4405) [6.9.2～3][表6.9.1～2]

パイル形状	パイル長(mm)	工　法	備考
・カットパイル	※5～7　・	※全面接着工法	
	※4～6　・	・グリッパー工法	
・レベルループパイル	※4　・		
・カット、ループ併用			

帯電性(JIS L 1021-16)　※人体帯電圧値3kV以下　・

・タイルカーペット [6.9.2～3][表6.9.1～2]

パイル形状	種　類	規　格	総厚さ(mm)	備　考
※ループパイル	※第一種	※500×500	※6.5	
	・第二種			
・カットパイル				
・カット、ループ併用				

帯電性(JIS L 1021-16)　※人体帯電圧値3kV以下(フリーアクセスフロア新設範囲)

㉑石膏ボードその他のボード張り [6.13.2][表6.13.1]

種　類	厚さ(mm)　規格
・硬質木毛セメント板 G	・15　・20　・25　・
・普通木毛セメント板 G	・15　・20　・25　・
・ケイ酸カルシウム板	・4　・5　・6　・8　・9　・10　・12
・ロックウール化粧吸音板	※フラットタイプ (※9(不燃)　・12　・　) ・凸凹タイプ (※12(不燃)　・15　・19　・　)
・ロックウール化粧吸音板 (軒天井用)	※フラットタイプ9(不燃) ・凸凹タイプ(※12　・15)(不燃)
⊙せっこうボード	・12.5(不燃) ⊙9.5(準不燃)
・不燃積層せっこうボード	9.5(不燃)　・化粧無(下地張り用) ・化粧有(トラバーチン模様)
・シージングせっこうボード	・12.5(不燃)　・9.5(不燃)
・強化せっこうボード	・12.5(不燃)　・21.0(不燃)
・せっこうラスボード	・9.5　・12.5
⊙化粧せっこうボード	⊙9.5(準不燃)　⊙12.5
・化粧せっこうボード(木目)	・12.5(不燃)幅440mm程度 模様(※征目　・板目)専用下地材付き
・難燃合板 G	・生地、透明塗料塗り(ラワン合板程度) ・不透明塗料塗り(ラワン合板程度)厚さ・12
・メラミン樹脂化粧板	JIS K 6903による　厚さ　・4.0
・ミディアムデンシティファイバーボード G	・3　・7　・9　・12　・
・単板張りパーティクルボード G	・無研磨板(・スタンダード　・テンパード) ・10　・12　・15　・18　・
・ハードボーイ(素地) ※規制対象外　・第三種 G	・無研磨板(・スタンダード　・テンパード) ・研磨板　(・スタンダード　・テンパード)
・インシュレーションボード G	A級(・天井仕上　・内装仕上　・　) ・9　・12　・15　・18　・
・フレキシブル板	厚さ　・5.0
・(有孔)シナ合板	厚さ　・5.0　・9.0
⊙精造用合板(機器取付下地)	厚さ　⊙6

合板類、繊維板及びパーティクルボードのホルムアルデヒド放散量　※F☆☆☆☆　・
軽量鉄骨下地ボード遮音壁の遮音シール材
・適用する　※適用しない

22 吸音材 [表6.13.1]

種　類	規格番号	厚さ(mm)
・ロックウール吸音ボード1号	JIS A 6301	※25　・
※グラスウール吸音ボード32K	JIS A 6301	※25　・

23 壁紙張り(掲示用クロス) [6.14.2]

施工箇所	壁紙の種類 紙	繊維(裏地)	プラ(ビニル)	その他(化学繊維)	紙	防火性能	備　考
						・不燃　・準不燃　・難燃	
						・不燃　・準不燃　・難燃	
						・不燃　・準不燃　・難燃	
						・不燃　・準不燃　・難燃	

下地調整 [6.14.3][表7.2.4][表7.2.7]
モルタル、プラスター面　※RB種　・RA種(施工箇所:　　)
せっこうボード面　※RB種　・RA種(施工箇所:　　)
壁紙のホルムアルデヒドの放散量　F☆☆☆☆ [6.14.2]
サンゲツ・リリカラー製品同等品とする。

㉔モルタル塗り [6.15.3]

吸水調整材

全固形分(%)	吸水量(g)	接着強度(N/?)	界面破断率(%)
表示値±1.0%以内	30分間で1g以下	1.0以上	50以下

均質で有害と認められる異物の混入がないこと。
防水剤(防水モルタル塗りの混入剤)
防水剤の種類　建築用モルタルに用いるセメント防水剤

混合割合	凝結時間		曲げ及び圧縮強度比	吸水比	透水比
セメント質量の5%	JIS R 5201の試験において		70%以上	95%以上	80%以上
以下	始発	1時間以上			
	終結	10時間以内			

膨張性のひび割れ及びぜりもりがないこと。
既製目地材　※適用しない　・適用する

25 タイル張り [6.16.3]

施工箇所	形状寸法	きじ 磁器	きじ 石器	きじ 陶器	うわぐすり 施ゆう	うわぐすり 無ゆう	役物 有り	役物 無し	色 標準	色 特注	再生材の適用 G	備考

・　汚垂タイル　t6　TOTOハイドロセラ・フロアPU薄型問等品
役物：標準的な曲がりの役物は一体成形とする。
タイルの見本焼き　※行わない　・行う(※外装タイル　・　　)
内装タイル　※内装タイル接着剤張り　JIS A 5548 有機系接着剤
接着剤のホルムアルデヒド　※F☆☆☆☆　・

26 セルフレベリング材塗り [6.17.2][表6.17.1]

セルフレベリング材の種類

種類	フロー値(cm)	凝結時間 始発(分)	凝結時間 終結(時間)	圧縮強度(N/?)	下地接着強度(N/?)	表面接着強度(N/?)	長さ変化(%)	衝撃	備考
せっこう系	19以上	45以上	20以上	15以上	0.5以上	0.4以上	0.05以下	剥がれ	
セメント系				20以上	0.7以上	0.5以上	0.12以下	ないこと	

試験方法：日本建築学会品質規準JASS 15 M-103による。

27 断熱材 (19.9.2～3)

種類		施工箇所	厚さ(mm)	品質等
・押出法ポリスチレンフォーム保温板	※2種b	※一般部	※25	特定フロンを使用しないもの
	※3種b (スキン層付)	・接地部分	※25	
・現場発泡断熱材		※断熱材補修部分	――	特定フロンを使用しないもの 難燃性※3級　・2級
		・一般部	※25	

JIS A 9521に基づく発砲プラスチック
断熱材及び接着剤のホルムアルデヒド放散量は、F☆☆☆☆とする。

28 浴室天井材

市販品

材　質	表面仕上げ	性能	幅(mm)	
※アルミニウム製	※焼付け塗装品	・準不燃品	※200	廻縁は樋付きとし製造所の標準品とする。
	・アルマイト処理品		・100	
・硬質塩ビ製	・塗装品 ・木目調		※300 ・100	

29 フリーアクセスフロア (20.2.2)

施工箇所	構　法	仕上り高(mm)	適用地震時水平力	耐荷重性能	表面仕上げ材	備考
	・パネル構法 ・溝構法		・1.0 G ・0.6 G	・3,000 G ・5,000 G	・帯電防止床タイル ・タイルカーペット	
	・パネル構法 ・溝構法		・1.0 G ・0.6 G	・3,000 G ・5,000 G	・帯電防止床タイル ・タイルカーペット	
	・パネル構法 ・溝構法		・1.0 G ・0.6 G	・3,000 G ・5,000 G	・帯電防止床タイル ・タイルカーペット	

5,000Nについては、平成元年建設省告示第1322号「耐震型フリーアクセスフロアの開発」の建設技術評価において評価を取得したもの又は同等品とする。
表面仕上げ材の品質・規格等は各内装工事による。
スロープ及びボーダー　※製造所の標準仕様　・図示
コンセント等の取付対応　※製造所の標準仕様　(コンセント本体は別途設備工事)
コンセントの箇所数は図示
配線用取出し開口：パネル1枚につき40mm×80mm程度の開口1箇所以上
フリーアクセスフロア全体面積に対する設置割合
※20～30パーセント　・
空調用吹き出しパネル　※無し
・有り(※固定式　・可変式　：施工箇所は図示)

30 可動間仕切 (20.2.3)

構造形式	パネル部の総厚さ(mm)	表面材種 厚さ(mm)	表面仕上げ	遮音性能	防火性能
・スタッド式		※鋼板	※メラミン樹脂又は	・有り	・有り
・スタッドパネル式		(※0.6　・0.8)	アクリル樹脂焼付(　)	・無し	・無し
・パネル式		・		・無し	

遮音性能はJIS A 6512の遮音試験に準拠する。
ホルムアルデヒド放散量　※F☆☆☆☆　・

31 移動間仕切 (20.2.4)

遮音性能	厚さ(mm)	表面材	表面仕上げ	操作方法
・一般タイプ		※鋼板	・焼付塗装 ・壁紙張り	・手動式　・電動式 ・部分電動式
・遮音タイプ (36db以上)		※鋼板	・焼付塗装 ・壁紙張り	・手動式　・電動式 ・部分電動式

表面仕上げの壁紙張りの品質は「23壁紙張り」による。

㉜トイレブース [20.2.5]

表面仕上げ材　※メラミン樹脂系化粧板 t40(アルミ製コーナーエッジ付き　指詰め防止)
※紙巻器設置位置については下地補強を行うこと。
・特殊UV塗装硬質セメント板(標準色　アルミ製コーナーエッジ(ステンカラー)付き)
笠　木　※アルミ製　・ステンレス製
足形状　※幅木タイプ(ステンレス製)　・足金物タイプ
※防水型(ステンレス巻き)

33 階段滑り止め [20.2.6]

材　種　ステンレスSUS304
形　状　ビニルタイヤ入り
両端フラットエンド　※有り(・ステンレス製　※ビニル製)　・無し
幅(mm)　約35
取付工法　※接着工法　・埋込工法

34 手すり

種　別	施工箇所
※笠木受け：アルミ押出形材 笠木：半硬質耐候製樹脂 二層成形φ40mm	図示による(機械設備)

35 黒板及びホワイトボード [20.2.8]

種　類		寸　法(mm)	色　彩	備　考
・黒板	※焼付		※緑　・黒	・平面　※曲面
・ホワイトボード	※ほうろう		※白	※平面　・曲面

36 表示 [20.2.10]

衝突防止表示　・図示(市販品　・ステンレス製　径約30mm　・　　)
(　・両面　・片面　)
・無し
表示標識　案内用図記号についてはJIS Z 8210による。
誘導標識、非常用進入口表示等は市販品とし、その他は共通詳細図による。
製造所　監督職員の承諾する製造所。

37 ブラインド [2.3.1][5.1.6]

・既存再使用する(養生方法:　　)
・新設する [20.2.12]

形　式	種　類	スラットの材質	スラットの幅(mm)
※横形	※ギヤ式　・コード式 ・操作棒式	※アルミニウム合金製	※25
・縦形	・1本操作コード ※2本操作コード	・アルミスラット ・クロススラット	・80 ・100

38 ロールスクリーン

防炎性能　※有り
製造所　性能の確認できる資料を監督職員に提出する [20.2.13]

施工箇所	装　置 電動	装　置 手引	性　能 防炎性能	備　考

39 カーテン(暗幕、緞帳等)

・既存再使用する(養生方法：取外し再取付) [2.3.1][5.1.6]
・新設する [20.2.14]

施工箇所	形　式 片引	形　式 引分	装　置 電動	装　置 ひも引	装　置 手引	ひだの種類	性　能	備　考
						・片ひだ	遮光	防炎仕様

40 カーテンレール [5.1.6]

・既存再使用する
・新設する [20.2.14]
材　種　JIS A 4802・アルミニウム製　※ステンレス製
形　式　・片引き　・引分け(※暗幕用は300mm以上の召合せの重ね掛けとする)

41 カーテンボックス及びブラインドボックス [5.1.6]

※既存再使用する。
・新設する。
・市販品(アルミニウム製)
溝幅×深さ(mm)　・90×150　※120×150　・150×80　・
色　彩　※B-1　・B-2(※ブラウン　・ブラック　・ステンレスカラー)
※図示

㊶天井点検口

材　質　⊙アルミニウム製 ⊙額縁タイプ　・目地タイプ)　・既存取外し、再取付

42 床点検口

材　質　・アルミニウム製(受け枠　※アルミ製　・ステンレス製)
・ステンレス製(受け枠　・ステンレス製(防水、防臭型))

43 鋼製書架及び物品棚

種　類	規格等	耐荷重による種類

44 流し台ユニット

種　類	寸法(L=　mm)	適用内容	規格・品質等
・流し台	・900　・1200　・1500	・トラップ付き	
・コンロ台	・600　・700	・バックガード　・有り	
・吊り戸棚	・1200　・900　・600		
・水切り棚	・1200　・900	・トラップ付き	
・作業台	・900　・1200　・1500		

45 屋内掲示板

枠の材質　※アルミニウム製
表面の材質　※塩ビ発砲シート張り　・

㊻ライニング天板

材　種　⊙メラミンポストフォームt19　・人工大理石
奥行き(mm)　※図示

47 家具(流し台・棚) (12.2.2)(19.7.2)

材質　・メラミン樹脂系化粧板　・　SUS製
形状、寸法　※図示
合板類、MDF及びパーティクルボードのホルムアルデヒドの放散量　※F☆☆☆☆　・

㊾室名札等

・突出し型　金具：ｱﾙﾐ型材、ｹｰｽ：ﾎﾟﾘｶｰﾎﾞﾈｰﾄ樹脂、文字：ｼﾙｸ印刷、ｻｲｽﾞ：270×80H　(　　箇所)
⊙平付け型　金具：ｱﾙﾐ型材、ｹｰｽ：ﾎﾟﾘｶｰﾎﾞﾈｰﾄ樹脂、文字：ｼﾙｸ印刷、ｻｲｽﾞ：270×80H　(5 箇所)
・ピクトサイン　材質：ｱﾙﾐ　ｱﾙﾏｲﾄｼﾙﾊﾞｰ、絵柄：ｼﾙｸ印刷、ｻｲｽﾞ：200×200　(　　箇所)
※ピクトサイン　消防に確認取れ次第反映
・階数表示　材質：ｽﾃﾝﾚｽ　ﾍｱﾗｲﾝ、文字：ｼﾙｸ印刷、ｻｲｽﾞ150×150　(　　箇所)

50 鋼製床下地(体育館用)

部材規格　大引き、根太鋼：※JIS G 3302(溶融亜鉛めっき鋼板、亜鉛付着量Z12以上)
U字金具、支持台：※JIS G 3302SGHCと同等以上(亜鉛付着量Z12以上)
緩衝材：※JIS K 6385(A種防振ゴム)
※三洋工業㈱　スリーベース101タイプ同等品とする。

51 アルミ製移動階段 ・セノー㈱　HE9724(アルミ合金製、アルマイト処理焼付塗装)同等品とする。

52 救助袋 ・垂直式　○階用

53 シャワー ・図示

54 キッチン ・図示

55 乾式二重床 ・図示

工事名	松戸市立総合医療センター附属看護専門学校給排水管改修工事		
図面名	特記仕様書（３）		
作成年月日	令和7年2月21日	変更年月日	
縮　尺	No Scale	図面番号	A-03
設　計	株式会社　山岡設計事務所 千葉県知事登録　第1-2306-2686号 山岡　治 一級建築士大臣登録第272498号		

松戸市 街づくり部 建築保全課

⑦塗装改修工事

①材料

塗膜は、耐久性、耐火性等に対する有害な欠陥がないこと。 [7.1.2～3]
屋内で使用する場合のホルムアルデヒド放散量 ※F☆☆☆☆ ・
改修部に石綿、鉛等の有害物質を含む材料が使用されていることが発見された場合は監督職員と協議する。 [7.1.8]

②下地調整

[7.2.2～7][表7.2.1～7]

下地面の種類	下地調整の種別	備 考
木部	・RA種 ※RB種	新規面はRA種
鉄鋼面	・RA種 ※RB種	
亜鉛めっき鋼面	・RA種 ※RB種	
モルタル、プラスター面	・RA種 ※RB種	
コンクリート、ALC及び押出成形	・RA種 ※RB種	
セメント板面	・RA種 ※RB種	
せっこうボード、その他ボード面	・RA種 ※RB種	

既存下地面等のひび割れ部補修 [表7.2.5～6]
※行う ・行わない
※錆止め JIS K 5674

③合成樹脂調合ペイント塗り(SOP)

[7.4.3][表7.4.1]

下地の種類	新規塗りの種別	塗り替えの種別	備 考
木部	・A種 ※B種	※B種	下塗りJASS 18 M-304
			中塗り及び上塗りJIS K 5516
鉄鋼面	・A種 ※B種	※B種	穴埋め及びパテかいJASS 18 M-110
			中塗り及び上塗りJIS K 5516

④鉄鋼面耐候性塗料塗り(DP)

[7.8.2～4][表7.8.1～3]

下地の種類	新規塗りの種別	塗り替えの種別	備 考
鉄面	※A種 ・B種	・A種 ※B種	JIS K 5659
亜鉛めっき面	※A種 ・B種	・A種 ※B種	JIS K 5659
コンクリート、押出成形セメント板面	※A種 ・B種	・A種 ※B種	JIS K 5658

下塗りJASS 18 M-109

⑤つや有合成樹脂エマルションペイント塗り(EP-G)

[7.9.2][表7.9.1]
新規の塗りの種別 ・A種 ※B種
塗替えの種別 ・A種 ※B種
下塗りJIS K 5663 中塗り及び上塗りJIS K 5660

6 合成樹脂エマルションペイント塗り(EP)

[7.10.2][表7.10.1]
新規の塗りの種別 ・A種 ※B種
下塗り、中塗り及び上塗りJIS K 5663

7 合成樹脂エマルション模様塗料塗り(EP-T)

[7.11.2][表7.11.1]
新規の塗りの種別 ・A種 ※B種
塗替えの場合

既存塗膜	下地調整	種別
合成樹脂エマルション模様塗り	※RB種	※A種
	・RC種	※C-3種
平滑な塗料塗り	※RB種	・A種 ・B種
	・RC種	・C-1種 ・C-2種

下塗り、中塗り及び上塗りJIS K 5663

8 ウレタン樹脂ワニス塗り(UC)

[7.12.2][表7.12.1]
・A種 ※B種
1液形JASS 18 M-301 2液形JASS 18 M-502

⑨オイルステイン塗り(OS)

[7.13.2][表7.13.1]
ワトコオイル製品同等品とする。

10 木材保護塗料塗り(WP)

[7.14.2][表7.14.1]
・A種 ※B種
JASS 18 M-307

11 ポリウレタン樹脂塗装(2-UC)

フローリングブロック面の塗り種別 ・A種 ※B種

8 耐震改修工事

『耐震補強工事構造特記仕様書』による。

環境配慮(グリーン)改修工事

1 一般事項

アスベスト含有吹付け材の処理工事の方法 [9.1.3]
・封じ込め処理 ・囲い込み処理除去工法 ・除去工法
アスベスト含有建材除去後の仕上げ工事 ・図示
分析によるアスベスト(ｱｸﾁﾉﾗｲﾄ、ｱﾓｻｲﾄ、ｱﾝｿﾌｨﾗｲﾄ、ｸﾘｿﾀｲﾙ、ｸﾛｼﾝﾄﾞﾗｲﾄ、ﾄﾚﾓﾗｲﾄ)含有の調査
・行う(下表による) ・行わない

材料名	調査方法	1材料あたりの試料数
	・JIS A 1481による	※3

2 アスベスト含有吹付け材除去工事

吹付アスベストの施工数量調査を行う。

アスベスト粉塵濃度測定 ※行う

測定時期及び場所等については下表による。

測定時期	測定場所	測定点数(各処理作業室毎)	備 考
処理作業前	処理作業室内	2又は3点	
	施工区画周辺又は敷地境界	2点	全工区共通
処理作業中	処理作業室内	2点	
	セキュリティゾーン入口	1点	空気の流れを確認
	負圧・除塵装置の排出口(処理作業室外の場合)	1点	除塵装置の性能確認
	施工区画周辺又は敷地境界	4方向各1点	
処理作業後(隔離シート撤去前)	処理作業室内	2点	
	施工区画周辺又は敷地境界	4方向各1点	全工区共通

(注)処理作業室の面積が50㎡以下の場合は2点、300㎡までは3点とする。300㎡を超えるような場合は、監督員と協議する。
処理作業室内の養生完了後、第二種電気工事士による電気設備等の取外しを行う。

建築技術審査証明書を受けている工法および同等と認められる工法とする。なお、飛散防止処理工法の種別は除去処理工事である。
除去処理等によって生じた廃アスベスト等については特別産業廃棄物として適正に処理する。
アスベスト除去処理工事を適切に行う為、石綿作業主任者を配置する。(専任)
石綿作業主任者は石綿作業主任者技能講習者、又は平成18年3月以前の特定化学物質等作業主任者の有資格者とする。
廃アスベスト等適切に処理する為特別管理産業廃棄物管理責任者の資格を有する者を配置する。(専任)
アスベスト粉塵濃度測定を行う機関は、都道府県労働局に登録されている作業環境測定機関とする。
更に、アスベスト粉塵濃度測定における計数分析は作業環境測定士によるものとする。
関係官公署に届出を行う。 ・大気汚染防止法に関する届出 松戸市環境保全課
・労働安全衛生法に関する届出 柏労働基準監督署
本工事において大気汚染防止法、廃棄物の処理及び清掃に関する法律、労働安全衛生法、石綿障害予防規則等、石綿処理に関する諸法令を遵守すること。

3 アスベスト含有吹付け材囲い込み工事

軽鉄天井下地は、吊りボルトを使わないタイプ(核スタッド工法 65形@300)とし、既存天井面には触れない。
関係官公署に届出を行う。 ・大気汚染防止法に関する届出 松戸市環境保全課
・労働安全衛生法に関する届出 柏労働基準監督署
養生は作業範囲内壁面に垂直養生を行い、床面も水平養生を行う。
アスベスト粉塵濃度測定は工事着工前と竣工時に行い、内部点を実施する。外部については、2点を実施する。
—内部測定点内訳—
〈1階： 点、2階： 点、3階： 点〉
詳細納まり及び測定点については、監督職員と協議し決定すること。

④アスベスト成形板の処理工事

処理を行うアスベスト成形板の仕様等 ・仕上表による [9.1.5]

材料名	厚さ(mm)	処理を行う範囲
フレキシブルボード	5	図示

施工調査
アスベスト成形板の撤去にあたり、あらかじめ事前の施工調査を次の事項について行う。
調査結果は図面により記録し、監督職員に提出する。
(1)アスベスト成形板使用部位の確認。
(2)アスベスト成形板の種別、厚さ等の確認。
(3)アスベスト成形板使用数量の確認。

⑤アスベスト含有仕上塗材の除去

アスベスト含有仕上塗材の除去に先立つ試験的一部除去作業の方法
(1)試験的除去の施工箇所は監督職員の指示による。施工面の範囲は□500㎜程度とする。
(2)試験的除去は剥離剤併用手工具ケレン工法にて実施。

アスベスト含有仕上塗材除去作業の方法 ・部分除去 ・全面除去
※外壁塗装含有

アスベスト含有仕上塗材部分除去作業
(1)部分除去箇所について監督職員と打合せの上、施工範囲を決めること。
(2)建設技術審査証明書をうけている工法及び同等と認められる工法とする。
なお、飛散防止処理工法の種別は除去処理工事である。
(集塵機付きｻﾞｲｽﾗﾝﾀﾞｰ工法同等とすること)
(3)除去処理等によって生じた廃アスベスト等については特別産業廃棄物として適正に処理する。
(4)アスベスト除去処理工事を適切に行う為、石綿作業主任者を配置する。(専任)
石綿作業主任者は石綿作業主任者技能講習修了者、又は平成18年3月以前の特定化学物質等作業主任者の有資格者とする。
(5)廃アスベスト等を適切に処理する為、特別管理産業廃棄物管理責任者の資格を有する者を配置する。(専任)
(6)アスベスト粉塵濃度測定を行う機関は、都道府県労働局に登録されている作業環境測定機関とする。
更に、アスベスト粉塵濃度測定における計数分析は作業環境測定士によるものとする。
(7)関係官公署に届出を行う。
(大気汚染防止法→松戸市環境保全課 労働安全衛生法→柏労働基準監督署)
(8)本工事において大気汚染防止法、廃棄物の処理及び清掃に関する法律、労働安全衛生法、石綿障害予防規則等、石綿処理に関する諸法令を遵守すること。

6 外断熱改修工事

断熱材の種類 [9.3.2]

材料名		厚さ(mm)
・ビーズ法ポリスチレンフォーム	・押出法ポリスチレンフォーム	
・硬質ウレタンフォーム	・フェノールフォーム	
・ロックウール	・グラスウール	

外装材の種類 [9.3.2]

	防火性能	

既存外壁仕上材の撤去 ・有り ・無し [9.3.3]
下地面の清掃及び下地調整 ※断熱材製造所の指定する仕様

通気層 ・有り(mm) ・なし [9.3.4]
試験施工、工法及び品質は、確認できる資料を提出し監督職員の承諾を受ける。
特記無き事項は、製造所の仕様による。

7 ガラス改修工事

複層ガラスの厚さ 建具表による [9.4.2]
断熱性・日射遮蔽性による区分 ※U3-1 ・U3-2

8 屋上緑化改修工事

特記事項は図示 [9.6.2]

9 透水性アスファルト舗装改修工事

路盤材料 [9.7.3][表9.7.3]
※再生クラッシャラン(RC-40)
・クラッシャラン(C-40)又はクラッシャランスラグ(CS-40)
透水性の高いものを使用する。

遮断層及び凍上抑制層の材料 [9.7.3]
・遮断層 ※川砂、海砂又は良質な山砂 ・
厚さは図示
・凍上抑制層 ※再生クラッシャラン ・クラッシャラン 切込み砂利 ・砂
厚さは図示

盛土に用いる材料 [9.7.3][表9.7.1]
・A種 ※B種 ・C種 ・D種

路床安定処理
※添加材料による安定処理 [9.7.3][表9.7.2]
種類 ・普通ポルトランドセメント ・フライアッシュセメントB種
・生石灰( ) ・消石灰( )
添加量 kg/?(目標CBR ※5以上 ・
路床土の支持力比試験 ※行う(※乱した土 ・乱さない土)
路床締固め度の試験 ※行う

アスファルト混合物 [9.7.6][表9.7.5]
車道部 ※改質アスファルトⅠ型
歩道部 ※ストレートアスファルト

透水性舗装 [9.7.9]
アスファルト混合物の抽出試験 ※行わない ・行う

10 その他

1 舗装工事

歩行者用通路コンクリート版の厚さ ※70㎜ ・図示 (22.5.2)(表22.5.1)

部 位	設計基準強度(N/mm2)	所定のスランプ(cm)	粗骨材の最大寸法(㎜)
車路及び駐車場	24	8	砂利の場合25又は40 砕石の場合20又は25
歩行者用通路	18	8	砂利の場合25 砕石の場合20

・図示
砂利敷き (22.9.2)(表22.9.1)
種別 ・A種 ・B種

2 植栽工事

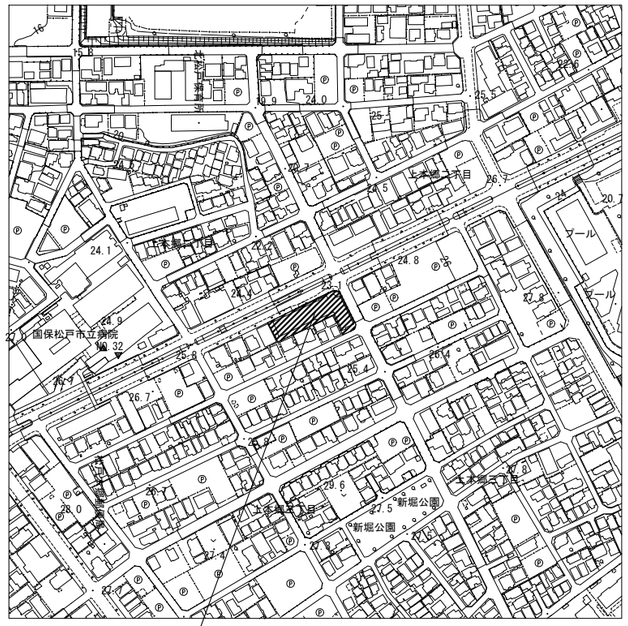
植樹 ・図示 (22.3.2)

樹 種	寸 法	数 量	備 考

工 事 内 容			施工区分 建築	電気	機械
開口部	鉄筋コンクリート、コンクリートブロックの 柱、梁、壁、床に設ける開口	解体、穴明け	○		○
		鉄筋補強	○		
		後施工ｽﾘｰﾌﾞ(雑壁部分)			○
		埋戻し、穴埋め(補強筋無し)			○
		埋戻し、穴埋め(補強筋有り)	○		
	軽量鉄骨下地天井、壁ボード類に設ける開口	開口補強	○		
		切込み (開口補強有り)	○	○	
		切込み (開口補強無し)		○	○
点検口	床、壁、天井		○		
	配管ピット、トレンチピット		○		
	既設配管、ダクト撤去に伴うアスベスト除去作業				○
トイレ	大便器・小便器				○
	紙巻器				○
	トイレ用手摺				
	洗面器(水栓含む)				○
	掃除用流し(水栓含む)				○
	廊下流し台(排水トラップ含む)				
	廊下流し台用横水栓				
	トイレブース(手摺・紙巻器用下地補強含む)		○		
	設備機器用下地補強		○		
	化粧鏡				○
	換気扇				○
	換気扇取付用アルミパネル		○		
	換気扇取付用壁枠				○

工事名	松戸市立総合医療センター附属看護専門学校 給排水管改修工事
図面名	特記仕様書 (4)
作成年月日	令和7年2月21日
変更年月日	
縮 尺	No Scale
図面番号	A-04
設 計	株式会社 山岡設計事務所 千葉県知事登録 第1-2306-2686号 山岡 治 一級建築士大臣登録第272498号
松戸市 街づくり部 建築保全課	

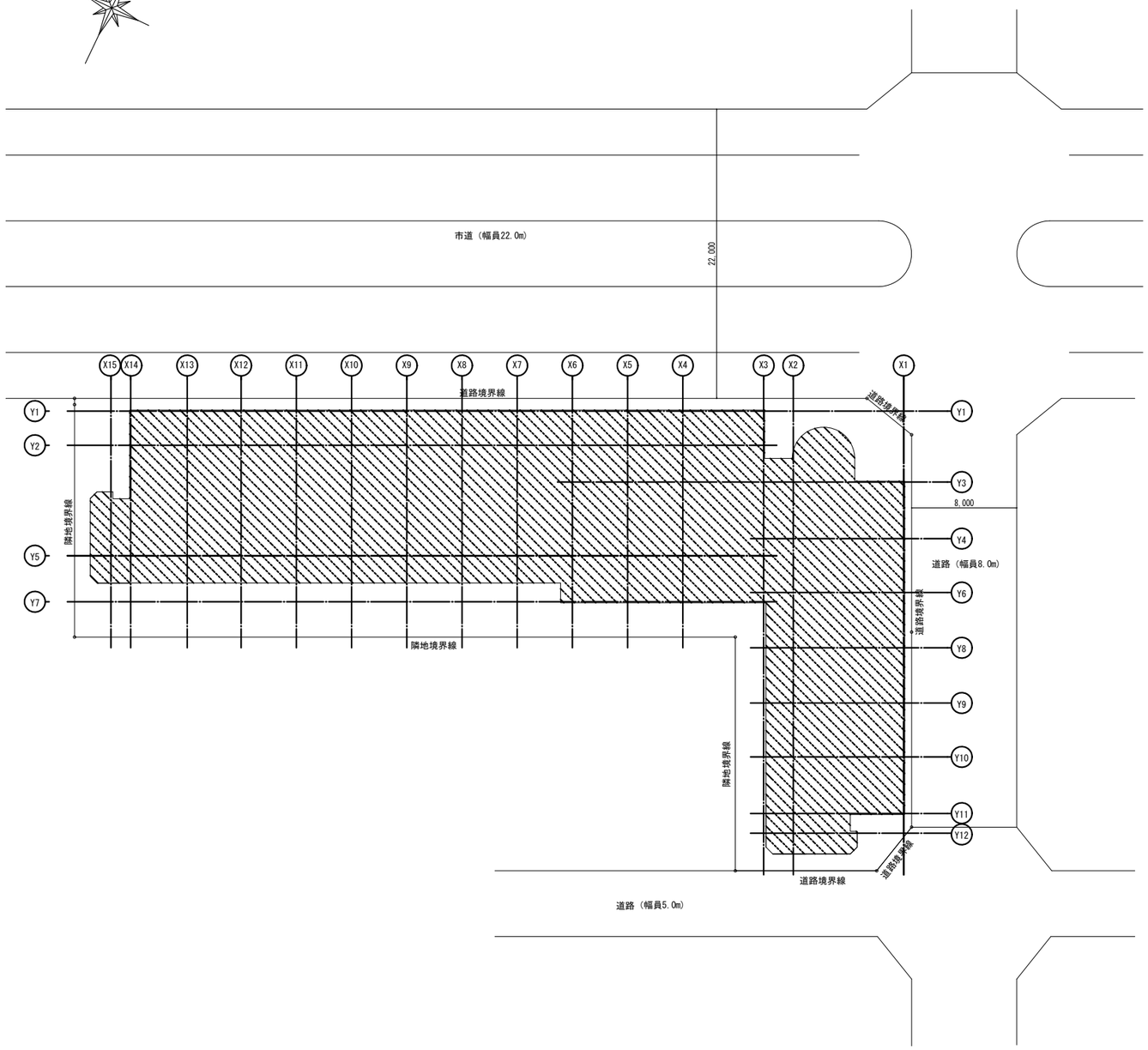
真北



案内図　1/2500

工事場所を示す

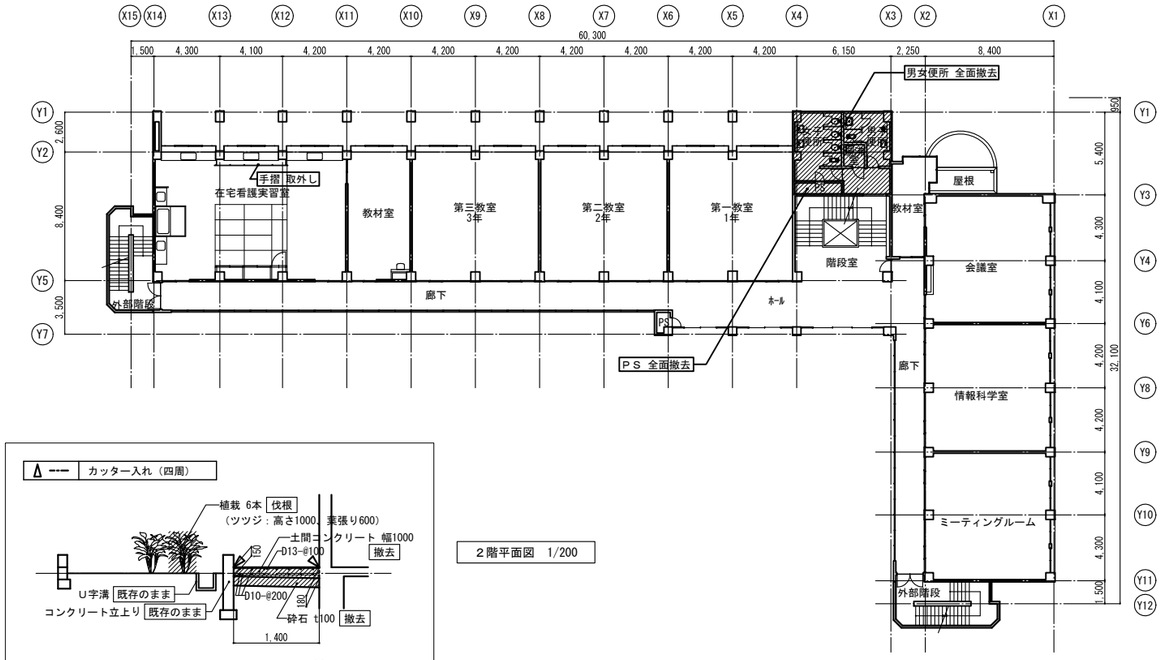
真北

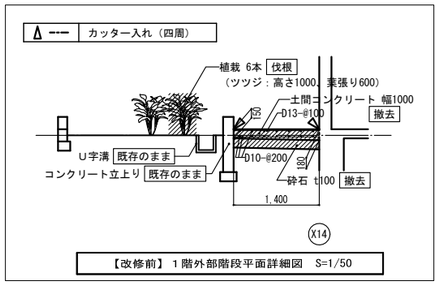


配置図　1/200

工事場所を示す

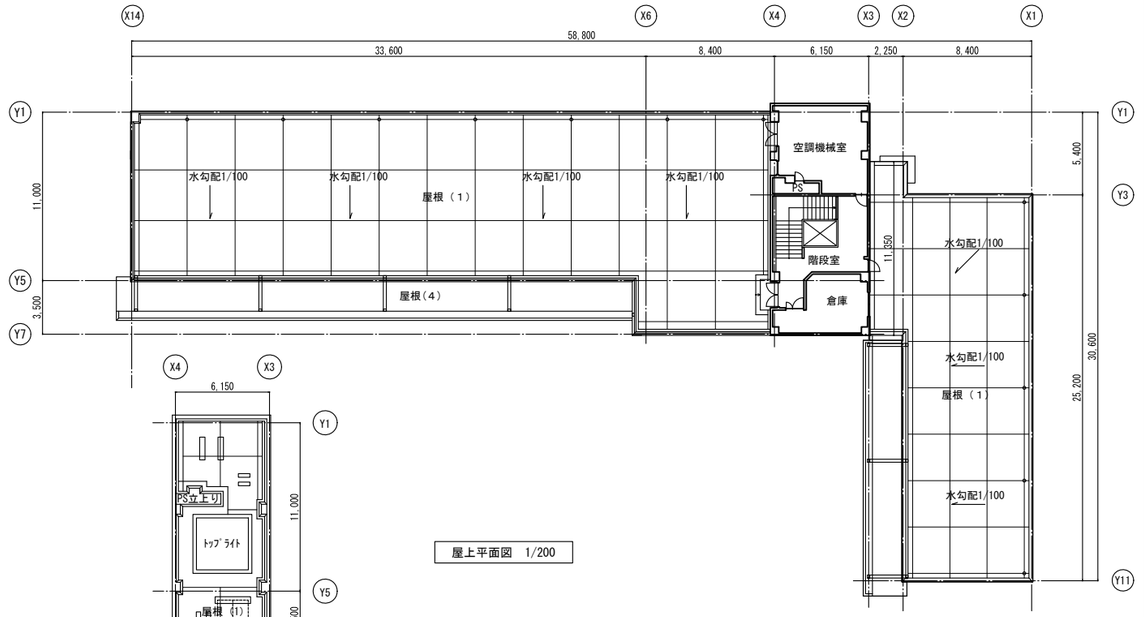
工事名	松戸市立総合医療センター附属看護専門学校 給排水管改修工事		
図面名	案内図・配置図		
作成年月日	令和7年2月21日	変更年月日	
縮 尺	A1:1/200、1/2500 A3:1/400、1/5000	図面番号	A-05
設 計	株式会社　山岡設計事務所 千葉県知事登録　第1-2306-2686号 山岡　治 一級建築士大臣登録第272498号		
松戸市 街づくり部 建築保全課			

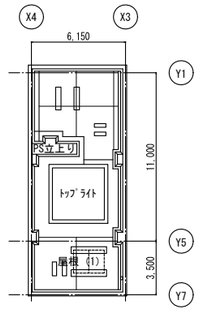




【改修前】１階外部階段平面詳細図　S=1/50

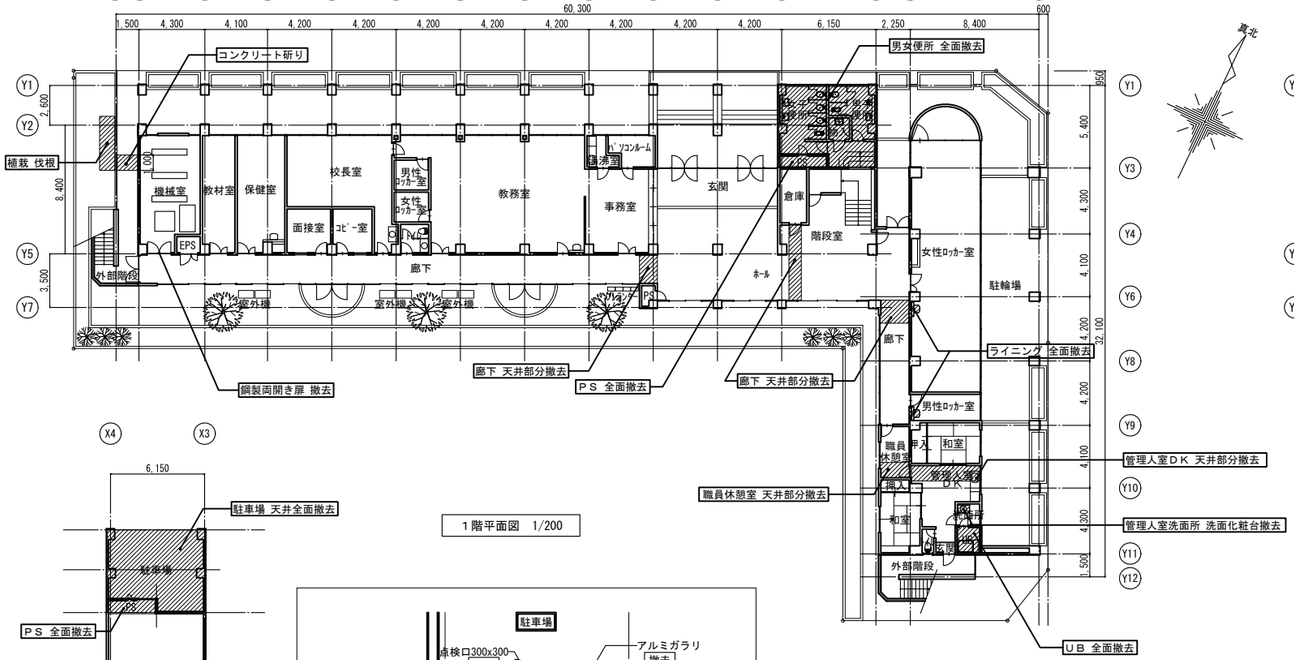
２階平面図　1/200

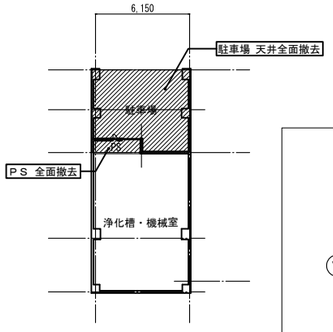




屋上平面図　1/200

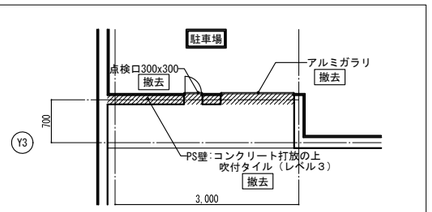
PH平面図　1/200



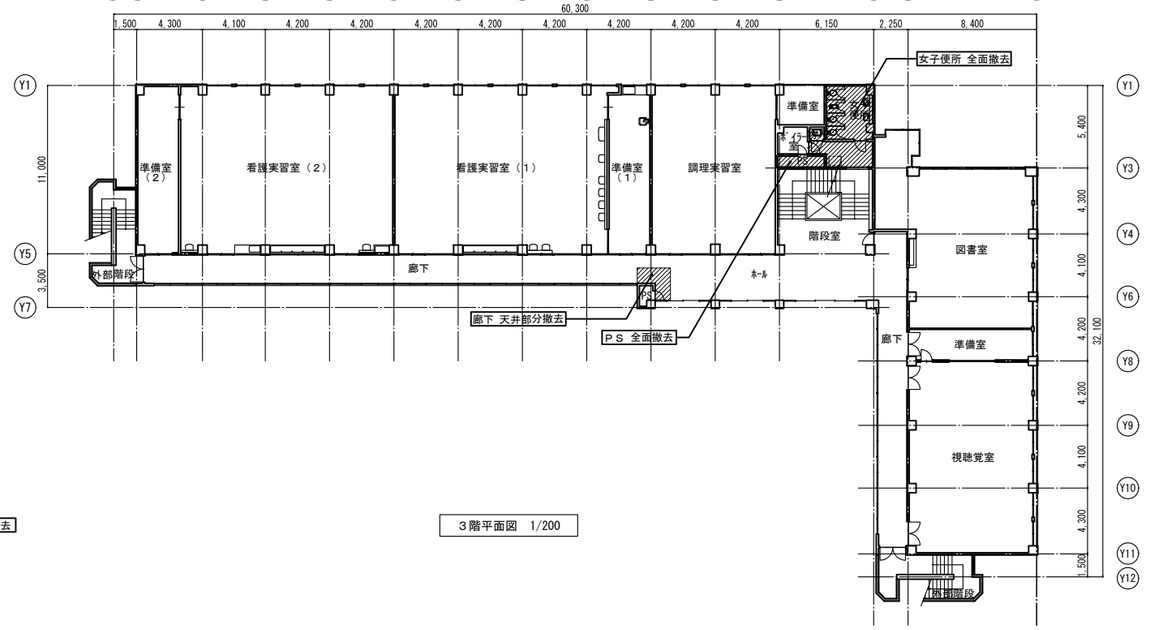


Ｂ１階平面図　1/200

１階平面図　1/200

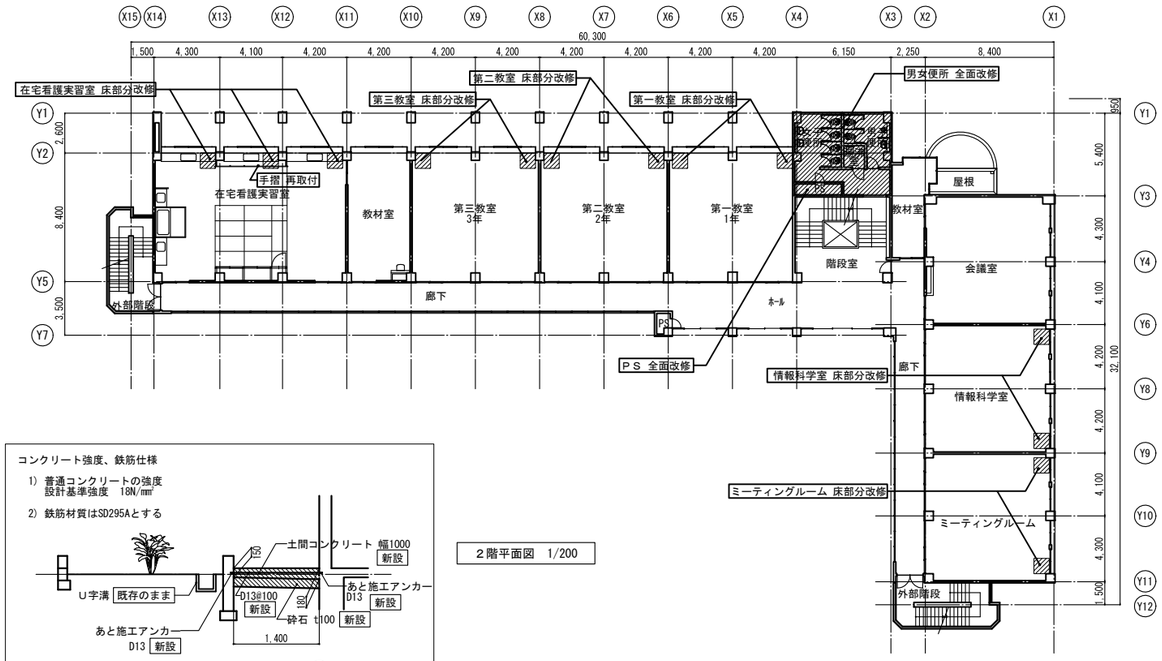


【改修前】地下１階駐車場ＰＳ平面詳細図　S=1/50



３階平面図　1/200

工事名	松戸市立総合医療センター附属看護専門学校 給排水管改修工事		
図面名	【改修前】各階平面図		
作成年月日	令和7年2月21日	変更年月日	
縮 尺	A1:1/50・200 A3:1/100・400	図面番号	A-06
設 計	株式会社　山岡設計事務所 千葉県知事登録　第1-2306-2686号 山岡　治 一級建築士大臣登録第272498号		
松戸市 街づくり部 建築保全課			



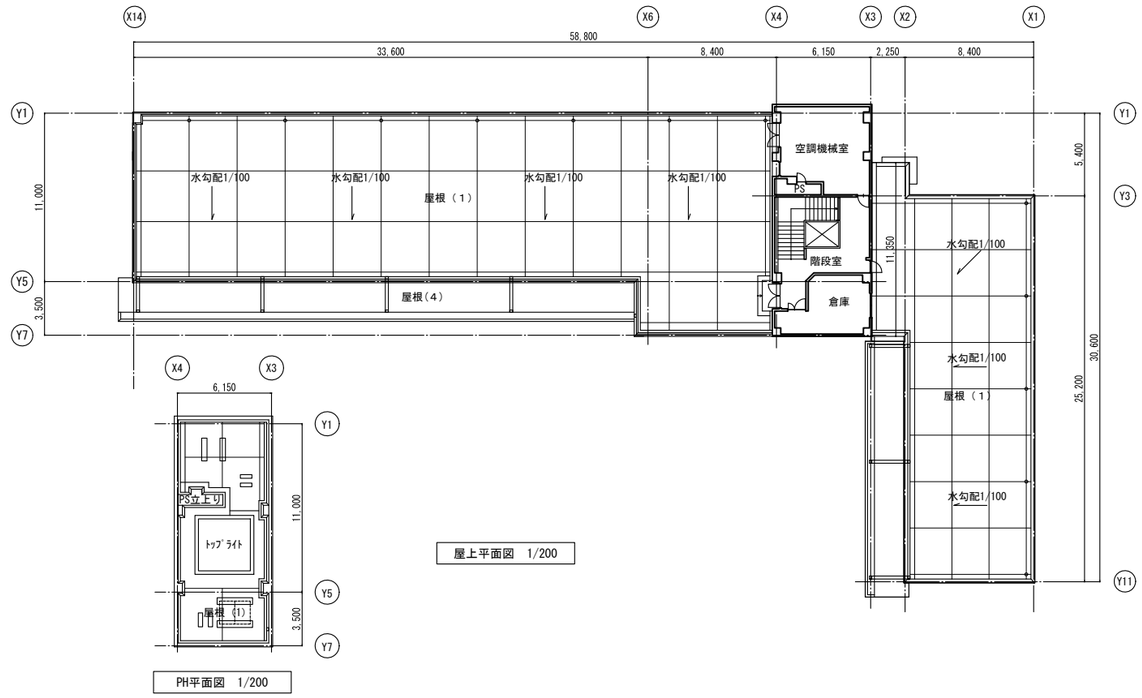
２階平面図　1/200

コンクリート強度、鉄筋仕様

1) 普通コンクリートの強度
設計基準強度　18N/㎟

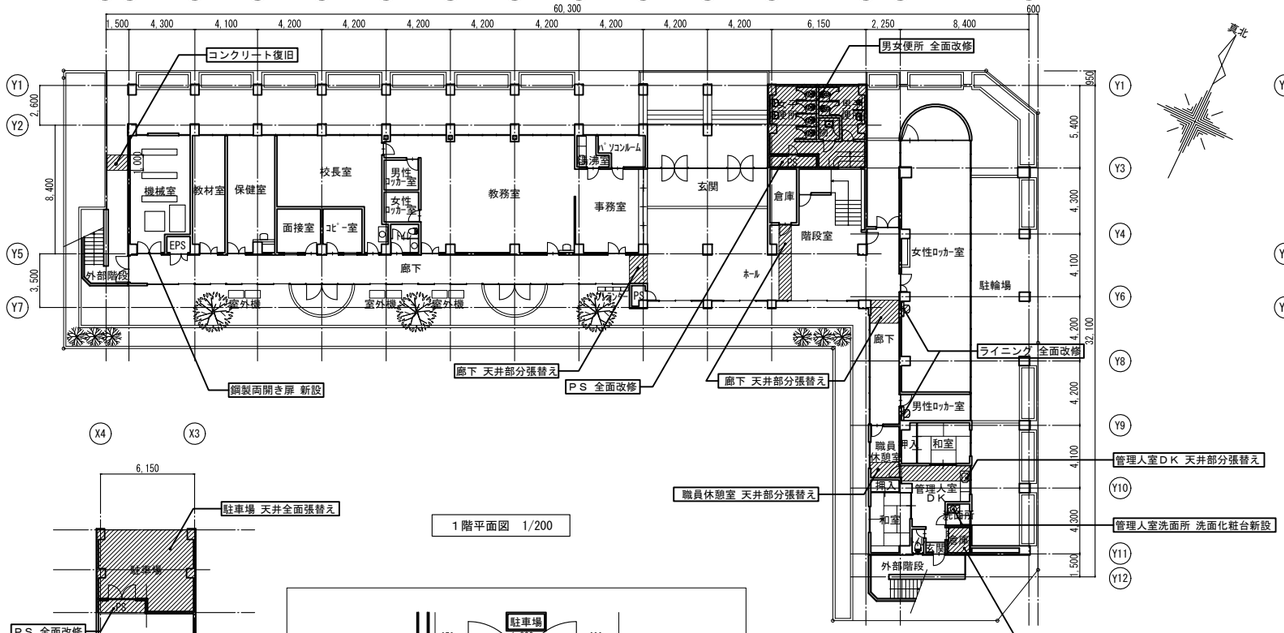
2) 鉄筋材質はSD295Aとする

【改修後】１階外部階段平面詳細図　S=1/50

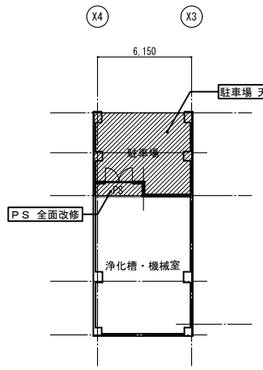


屋上平面図　1/200

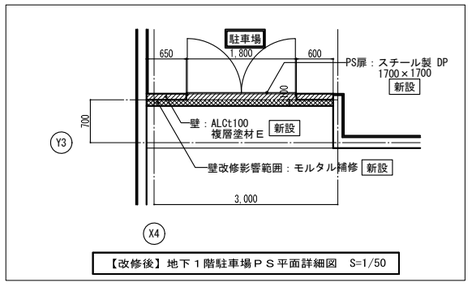
PH平面図　1/200



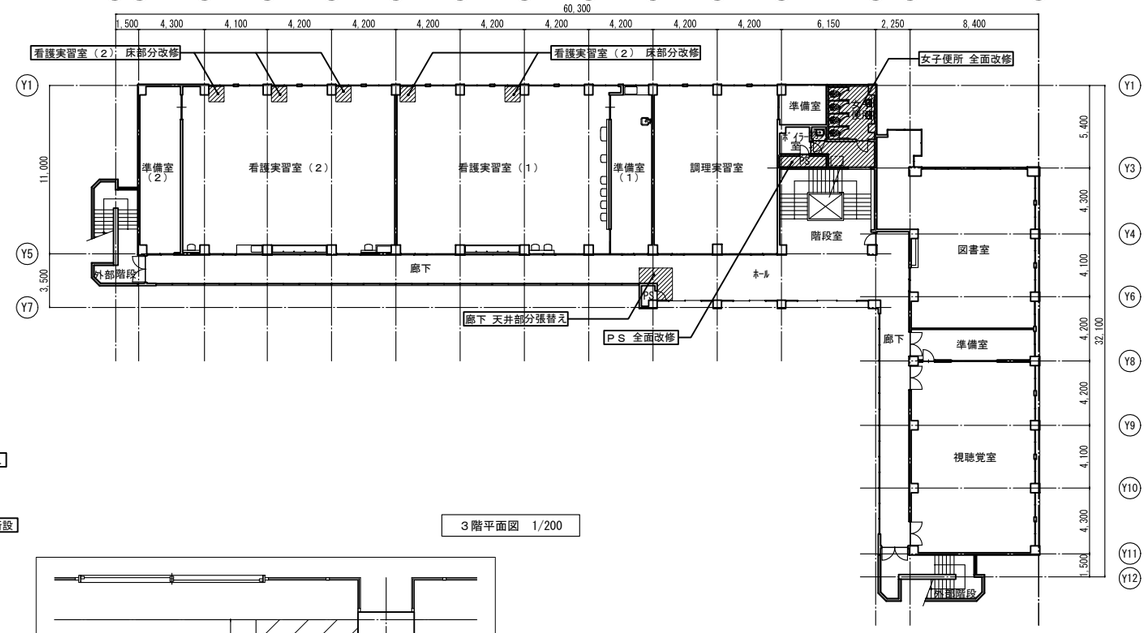
１階平面図　1/200



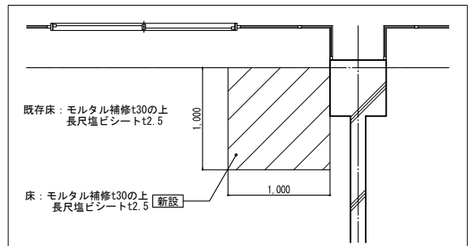
Ｂ１階平面図　1/200



【改修後】地下１階駐車場ＰＳ平面詳細図　S=1/50



３階平面図　1/200

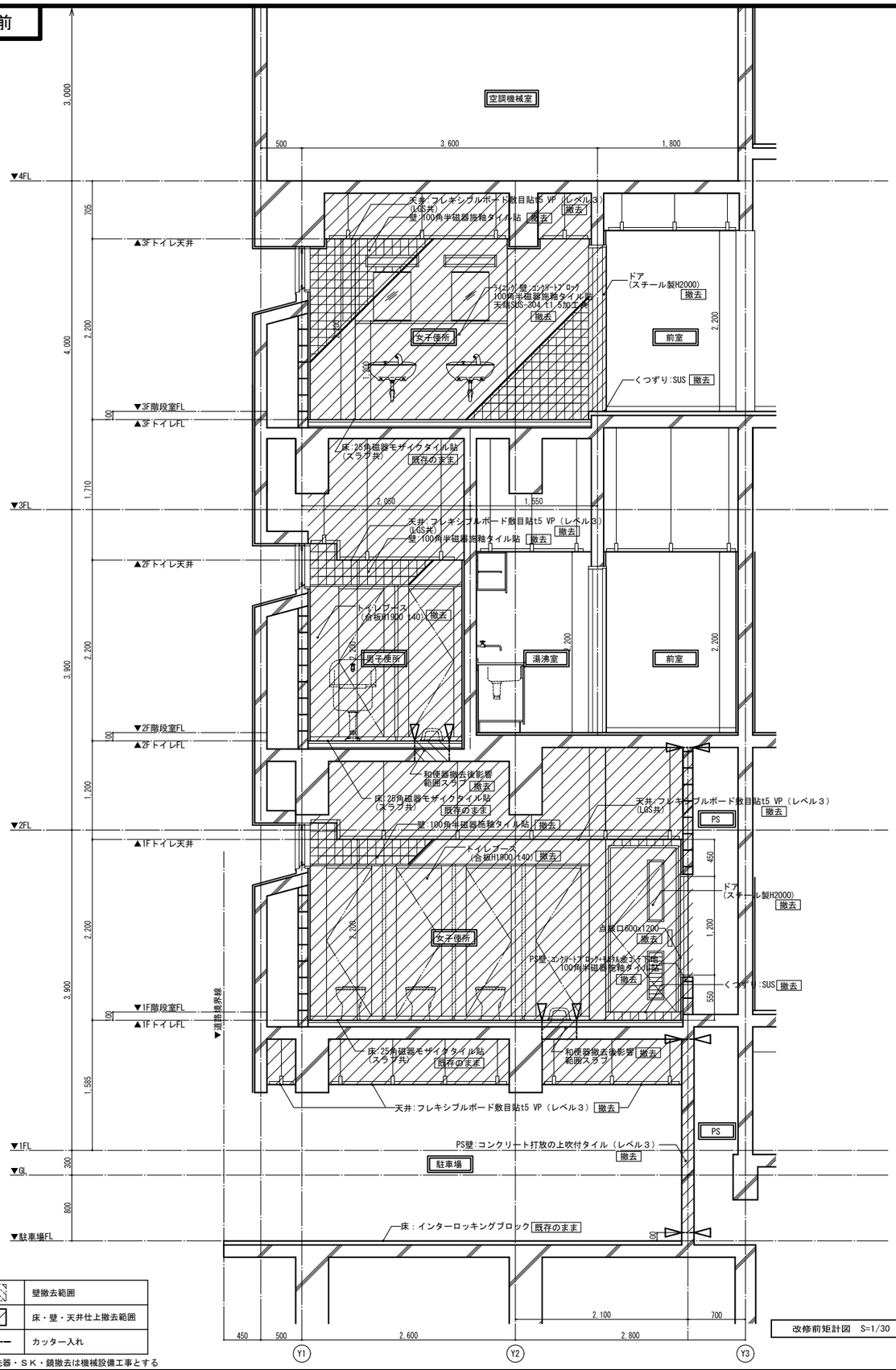


【改修後】２・３階各教室　床補修図　S=1/30

※機械工事にてガス栓撤去に伴モルタル斫りを行う。

工事名	松戸市立総合医療センター附属看護専門学校 給排水管改修工事		
図面名	【改修後】各階平面図		
作成年月日	令和7年2月21日	変更年月日	
縮 尺	A1:1/30・50・200 A3:1/60・100・400	図面番号	A-07
設 計	株式会社　山岡設計事務所 千葉県知事登録　第1-2306-2686号 山岡　治 一級建築士大臣登録第272498号		
松戸市 街づくり部 建築保全課			

改修前



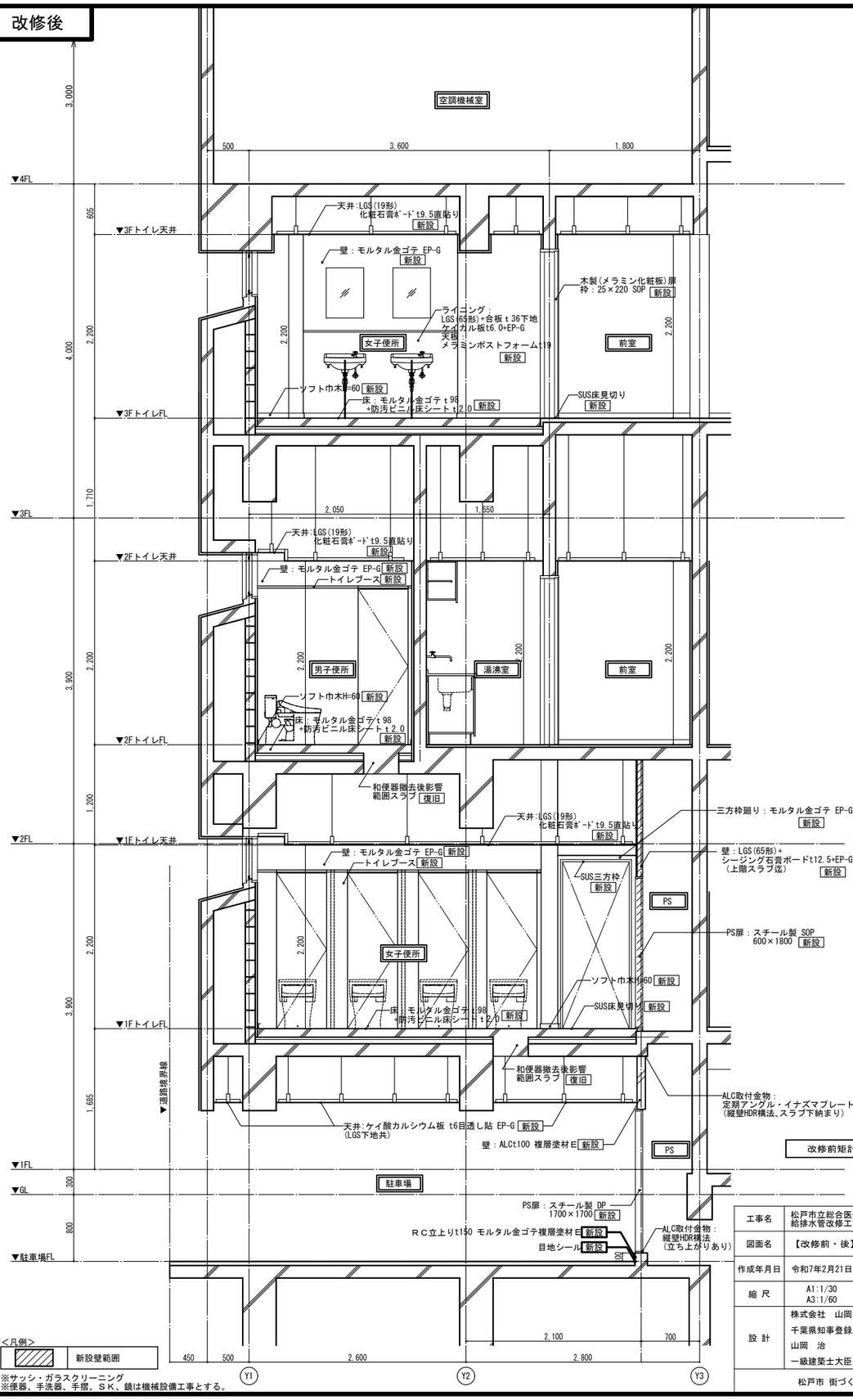
<凡例>

	壁撤去範囲
	床・壁・天井仕上撤去範囲
-----	カッター入れ

※便器・手洗器・ＳＫ・鏡撤去は機械設備工事とする

改修前矩計図　S=1/30

改修後



改修前矩計図　S=1/30

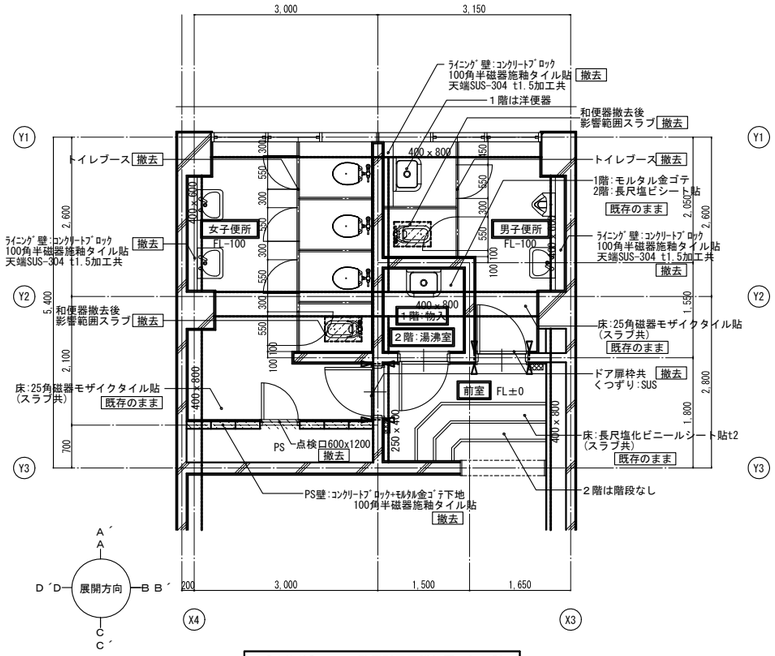
<凡例>

	新設壁範囲

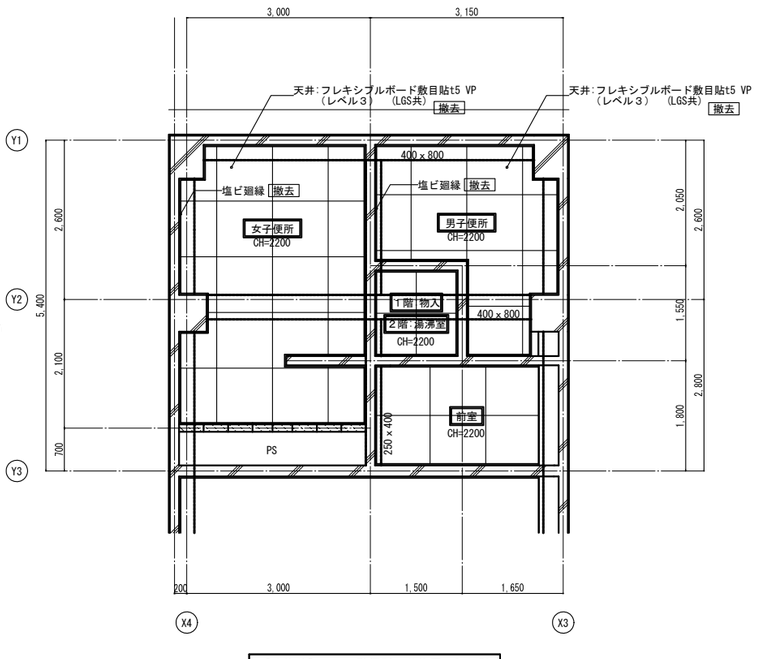
※サッシ・ガラスクリーニング
※便器、手洗器、手摺、ＳＫ、鏡は機械設備工事とする。

工事名	松戸市立総合医療センター附属看護専門学校 給排水管改修工事		
図面名	【改修前・後】矩計図		
作成年月日	令和7年2月21日	変更年月日	
縮　尺	A1:1/30 A3:1/60	図面番号	A-08
設　計	株式会社　山岡設計事務所 千葉県知事登録　第1-2306-2686号 山岡　治 一級建築士大臣登録第272498号		
松戸市 街づくり部 建築保全課			

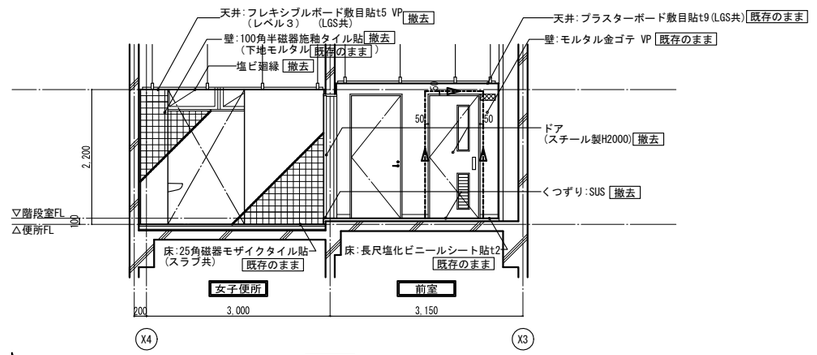
改修前

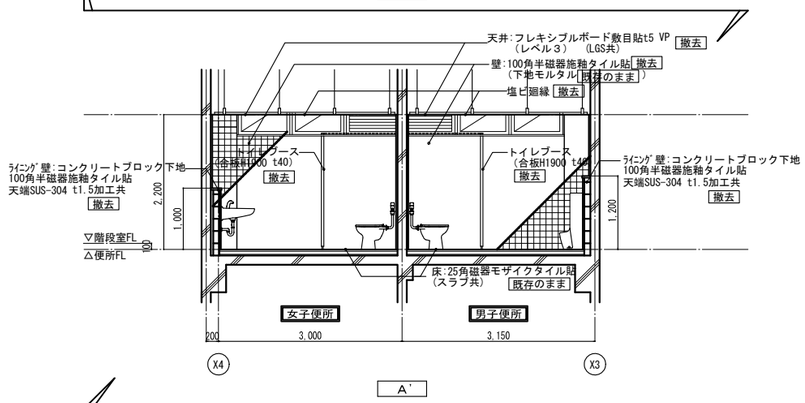


【改修前】 １・２階便所平面詳細図　S=1/50



【改修前】 １・２階便所天井伏図　S=1/50





＜凡例＞

▨	壁撤去範囲
▩	室名札撤去（２箇所）
▲ ------	カッター入れ

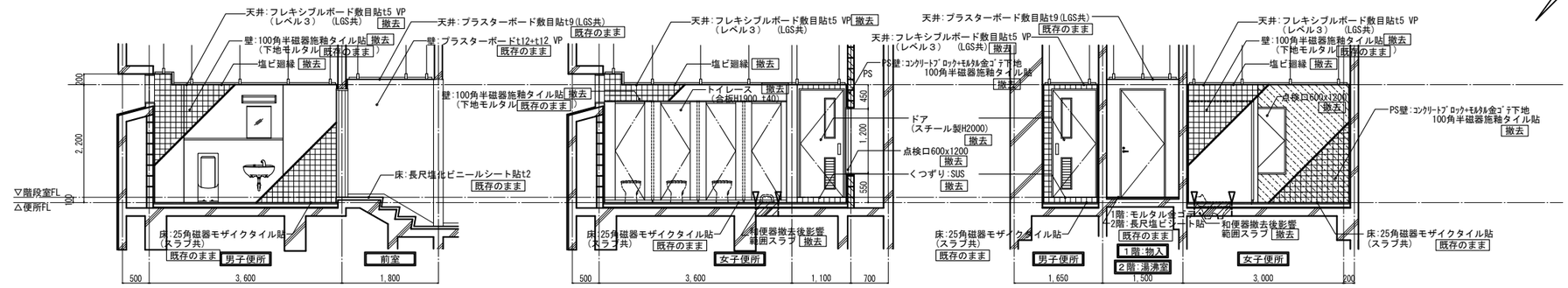
※便器・手洗器・ＳＫ・鏡撤去は機械設備工事とする

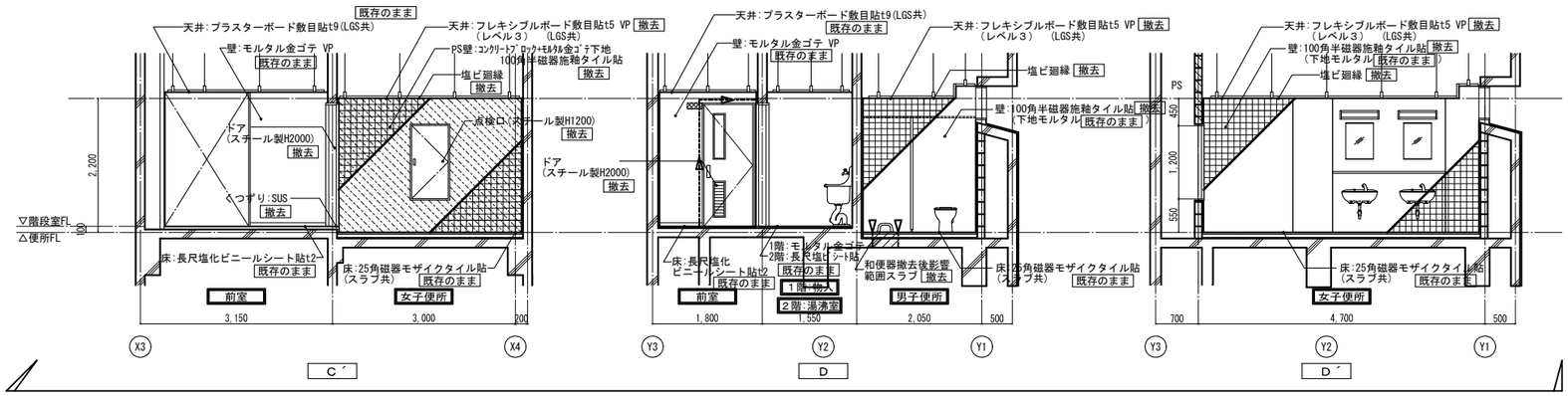
改修前仕上

室名	１・２階男子便所、女子便所
床	25角磁器モザイクタイル貼 アスファルト防水+軽量コンクリート+モルタル金ゴテ下地 既存のまま
壁	100角半磁器施釉タイル貼 撤去 モルタル金ゴテ下地 既存のまま ﾗｲﾆﾝｸﾞ壁:コンクリートブロック下地100角半磁器施釉タイル貼 天端SUS-304 t1.5加工共 撤去
天井	フレキシブルボード敷目貼t5 VP（レベル３）(LGS共) 撤去 塩ビ廻縁 撤去
備考	便所ブース、隔板（別図参照） 撤去 衛生陶器・化粧鏡（機械設備工事） 撤去

室名	１・２階前室
床	長尺塩化ビニールシート貼t2 既存のまま 下地モルタル金ゴテ 既存のまま
巾木	モルタル金ゴテ目地別れ VP H=60 既存のまま
壁	モルタル金ゴテ VP 既存のまま
天井	プラスターボード敷目貼t9 既存のまま
備考	

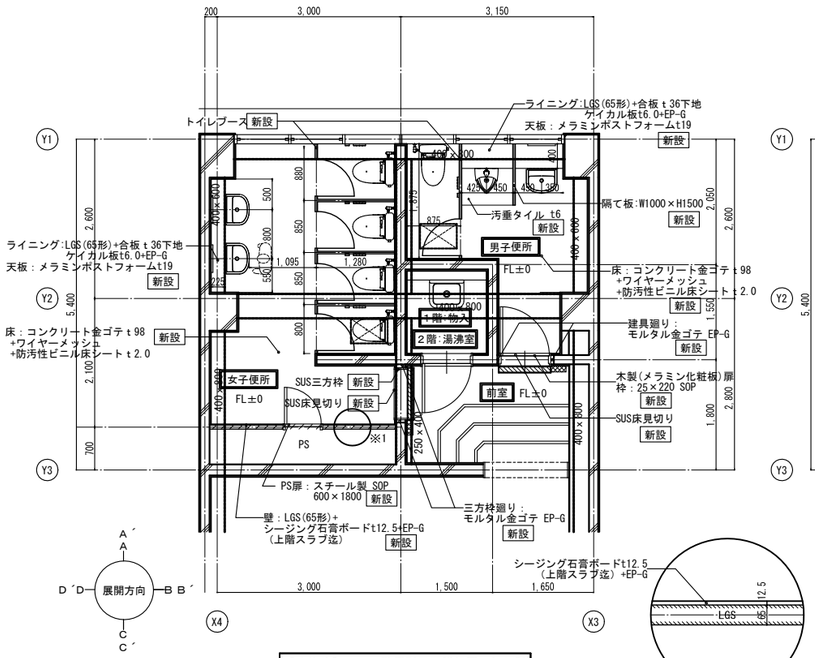
室名	１階物入、２階湯沸室
床	モルタル金ゴテ 既存のまま
巾木	モルタル金ゴテ目地別れ VP H=60 既存のまま
壁	モルタル金ゴテ 既存のまま
天井	プラスターボード敷目貼t9 既存のまま
備考	



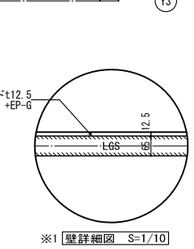


工事名	松戸市立総合医療センター附属看護専門学校 給排水管改修工事		
図面名	【改修前】 １・２階便所平面詳細図・天井伏図・展開図		
作成年月日	令和7年2月21日	変更年月日	
縮 尺	A1:1/50 A3:1/100	図面番号	A-09
設 計	株式会社　山岡設計事務所 千葉県知事登録　第1-2306-2686号 山岡　治 一級建築士大臣登録第272498号		
松戸市 街づくり部 建築保全課			

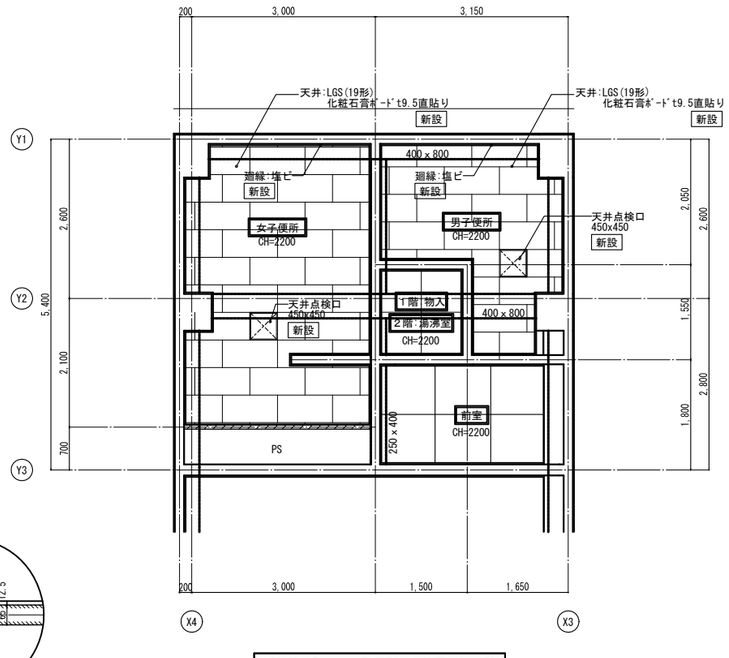
改修後



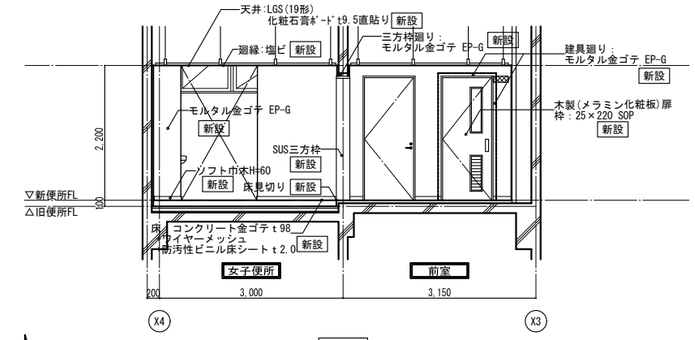
【改修後】１・２階便所平面詳細図　S=1/50



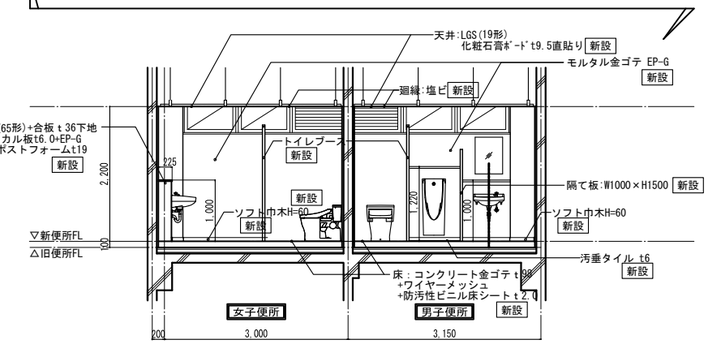
※1 壁詳細図　S=1/10



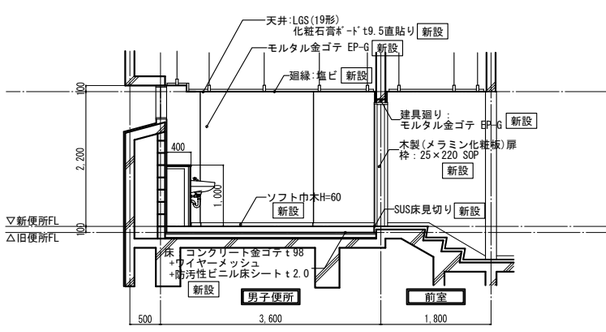
【改修後】１・２階便所天井伏図　S=1/50



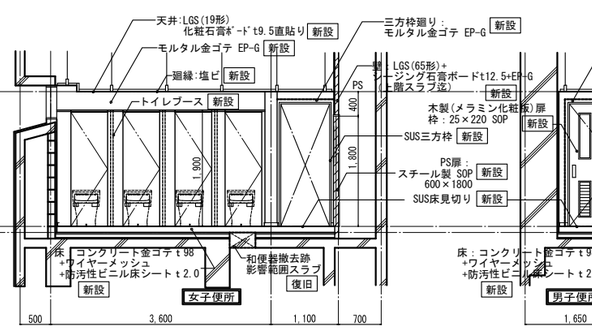
A



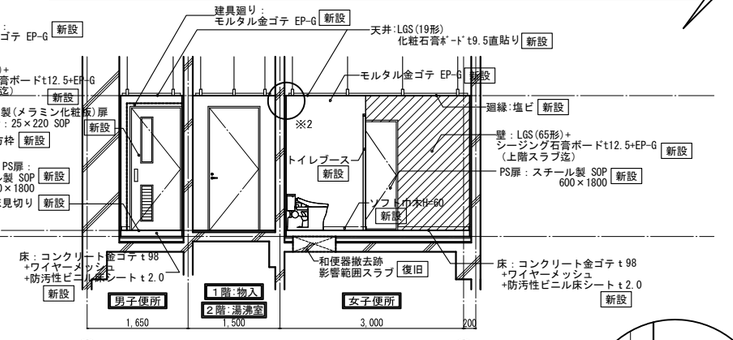
A´



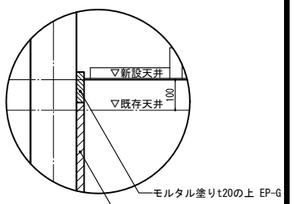
B



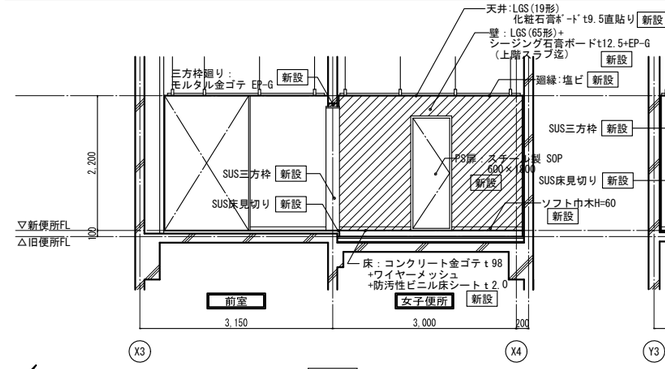
B´



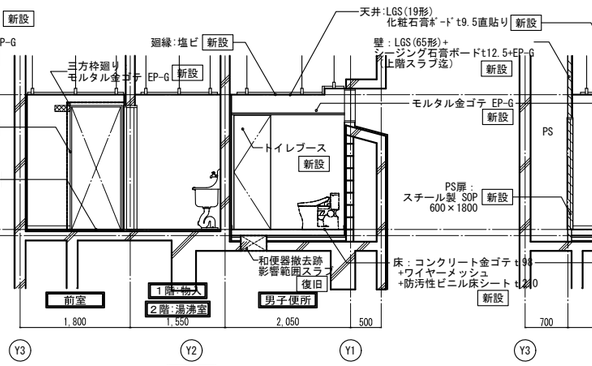
C



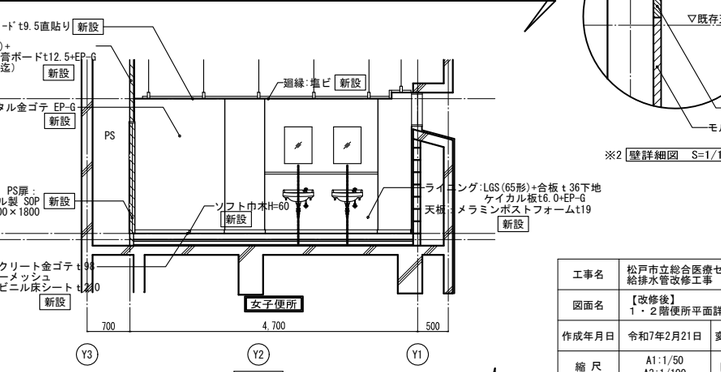
※2 壁詳細図　S=1/10



C´



D



D´

＜凡例＞

	新設壁範囲
	室名札新設（２箇所）
	床補修範囲
	スラブ復旧範囲 ※雑詳細参照
	シーリング MS-2 10x10

※和便器の配管撤去後の穴補修は建築工事とする
※便器・手洗器・ＳＫ・鏡新設は機械設備工事とする

改修後仕上

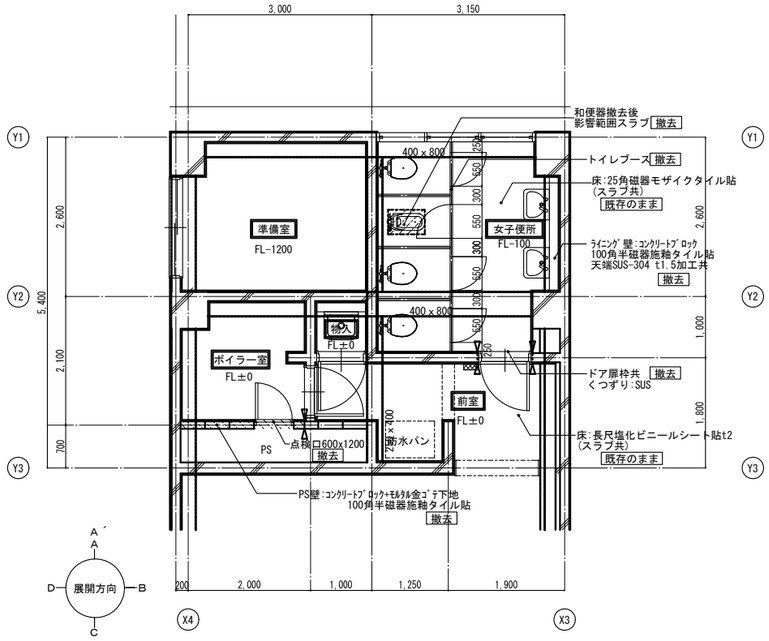
室名	1階男子便所、女子便所
床	コンクリート金ゴテｔ98+ワイヤーメッシュ +防汚性ビニル床シートｔ2.0 新設 汚垂タイル t6 新設 （男子便所のみ）
巾木	ソフト巾木H=60 新設
壁	モルタル金ゴテ+EP-G 新設 ライニング:LGS(65形)+合板ｔ36下地+ケイカル板t6.0+EP-G 新設 天板：メラミンポストフォームt19
天井	LGS(19形)+化粧石膏ボードt9.5直張り 新設 廻縁：塩ビ 新設
備考	天井点検口450×450（別図参照） 新設 便所ブース、隔板（別図参照） 新設 衛生陶器・化粧鏡（機械設備工事） 新設

衛生陶器等取付部木製下地補強厚（建築工事）		
化粧鏡	W480×H610	t12
パイプホルダー	W600×H120	t12
小便器	W400×H900	t24
掃除流し(SK)	W600×H400	t24
洗面器(一般、多機能)	W600×H300	t36

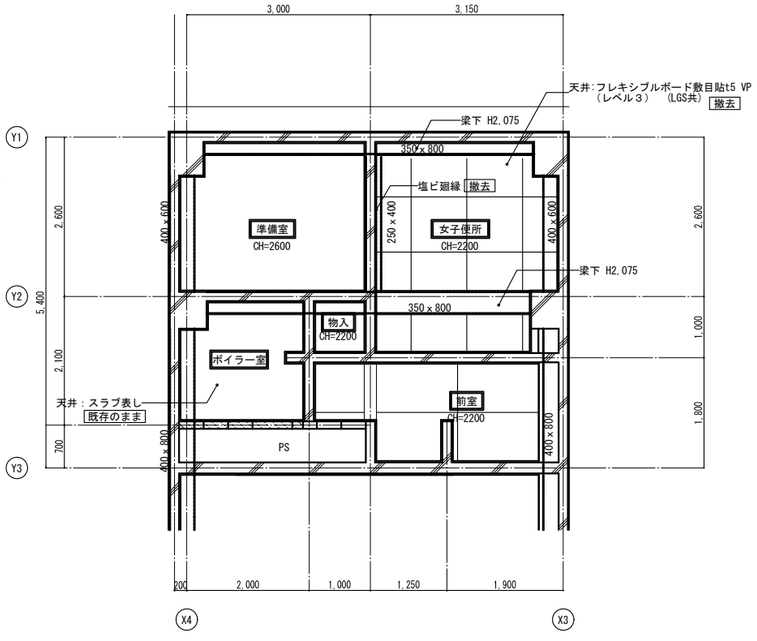
※下地：構造用合板等（手すりの下地は合板または補強木）
※多機能：みんなの便所内に設置する衛生陶器等
※TOTO㈱ 設計施工資料集より必要な板厚

工事名	松戸市立総合医療センター附属看護専門学校 給排水管改修工事		
図面名	【改修後】 １・２階便所平面詳細図・天井伏図・展開図		
作成年月日	令和7年2月21日	変更年月日	
縮 尺	A1:1/50 A3:1/100	図面番号	A-10
設 計	株式会社　山岡設計事務所 千葉県知事登録　第1-2306-2686号 山岡　治 一級建築士大臣登録第272498号		
松戸市 街づくり部 建築保全課			

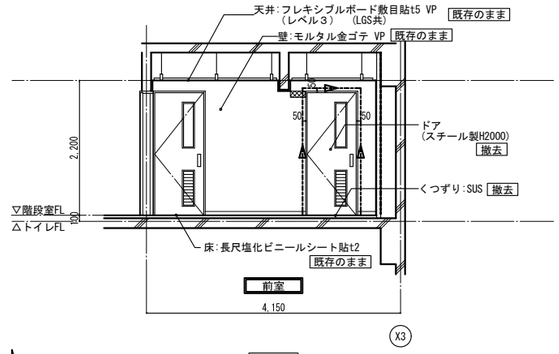
改修前

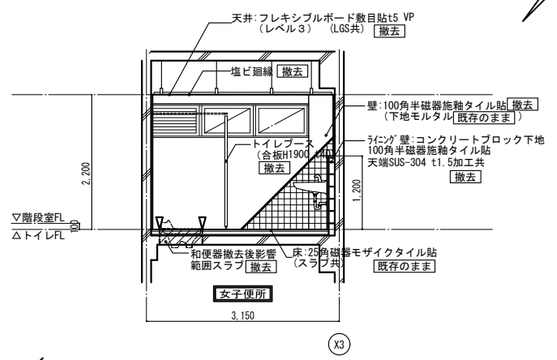


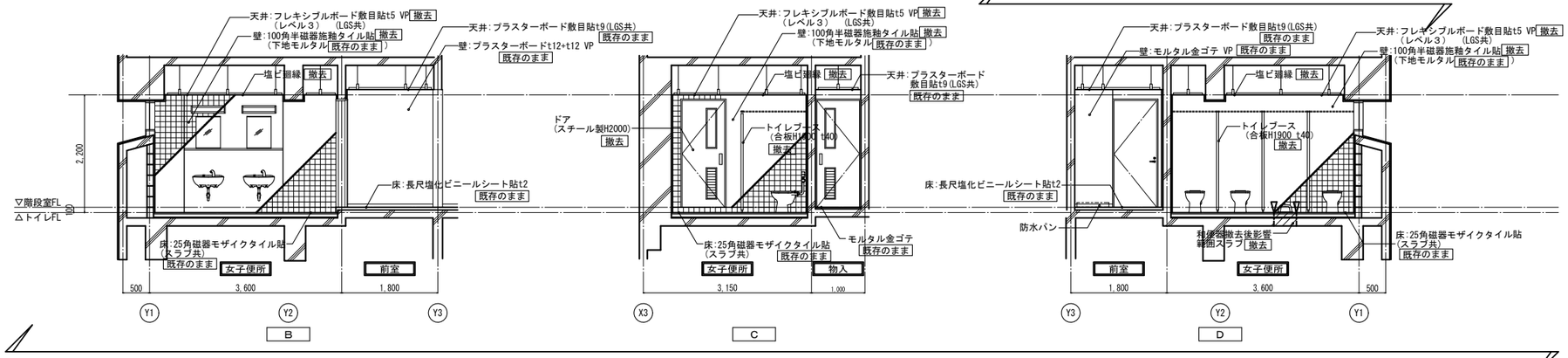
【改修前】３階便所平面詳細図　S=1/50



【改修前】３階便所平面詳細図　S=1/50







＜凡例＞

	ＰＳ壁（ＣＢ）撤去範囲
	室名札撤去（１箇所）
▲ ------	カッター入れ

※便器・手洗器・ＳＫ・鏡撤去は機械設備工事とする

改修前仕上

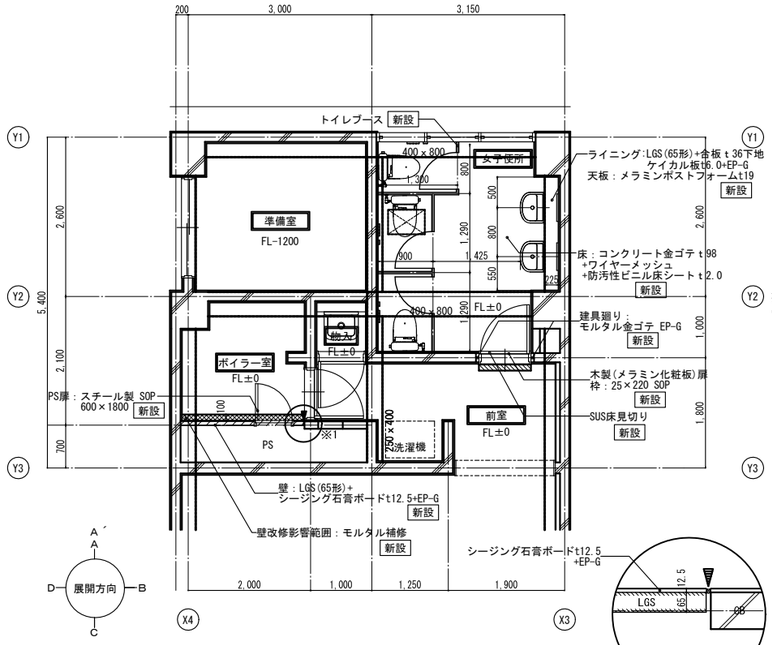
室名	3階女子便所
床	25角磁器モザイクタイル貼 アスファルト防水+軽量コンクリート+モルタル金ゴテ下地 既存のまま
壁	100角半磁器施釉タイル貼 撤去 モルタル金ゴテ下地 既存のまま ﾗｲﾆﾝｸﾞ壁:コンクリートﾌﾞﾛｯｸ下地100角半磁器施釉タイル貼 天端SUS-304 t1.5加工共 撤去
天井	フレキシブルボード敷目貼t5 VP（レベル３）(LGS共) 撤去 塩ビ廻縁 撤去
備考	トイレブース、隔板（別図参照） 撤去 衛生陶器・化粧鏡（機械設備工事） 撤去

室名	3階前室
床	長尺塩化ビニールシート貼t2 既存のまま 下地モルタル金ゴテ 既存のまま
巾木	モルタル金ゴテ目地別れ VP H=60 既存のまま
壁	モルタル金ゴテ VP 既存のまま
天井	プラスターボード敷目貼t9 既存のまま
備考	

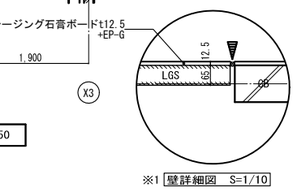
室名	3階ボイラー室
床	モルタル金ゴテ 既存のまま
巾木	モルタル金ゴテ目地別れ VP H=60 既存のまま
壁	モルタル金ゴテ VP 既存のまま PS壁:ｺﾝｸﾘｰﾄﾌﾞﾛｯｸ+ﾓﾙﾀﾙ金ｺﾞﾃ下地 100角半磁器施釉タイル貼 撤去
天井	スラブ表し 既存のまま
備考	

工事名	松戸市立総合医療センター附属看護専門学校 給排水管改修工事		
図面名	【改修前】 ３階便所平面詳細図・天井伏図・展開図		
作成年月日	令和7年2月21日	変更年月日	
縮 尺	A1:1/50 A3:1/100	図面番号	A-11
設 計	株式会社　山岡設計事務所 千葉県知事登録　第1-2306-2686号 山岡　治 一級建築士大臣登録第272498号		
松戸市 街づくり部 建築保全課			

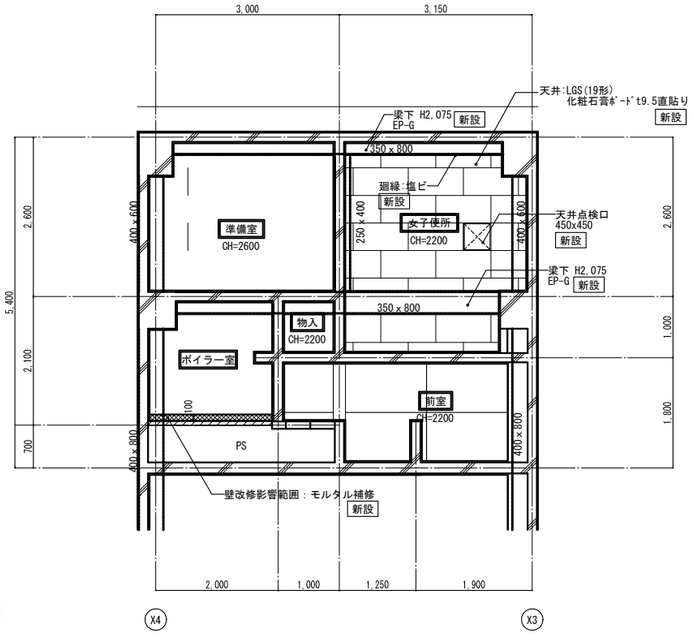
改修後



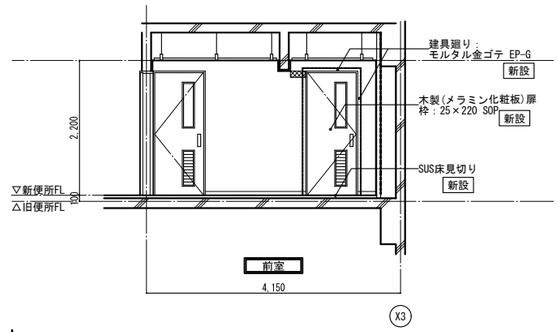
【改修後】３階便所平面詳細図　S=1/50

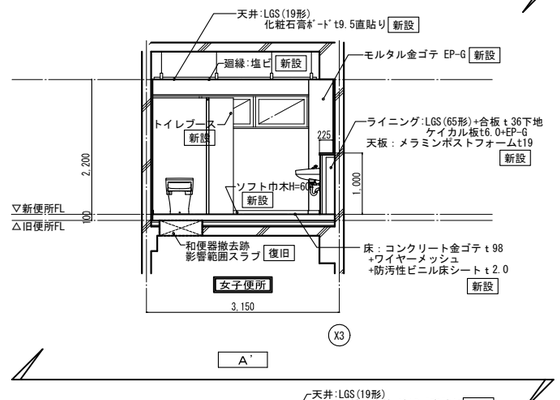


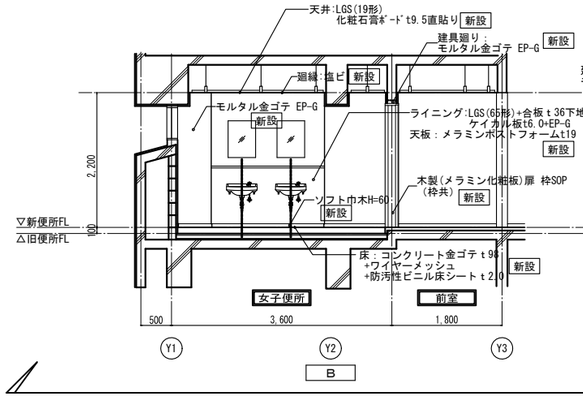
※1 壁詳細図　S=1/10

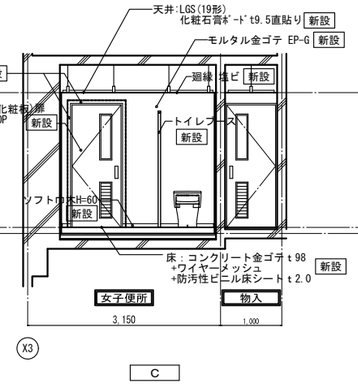


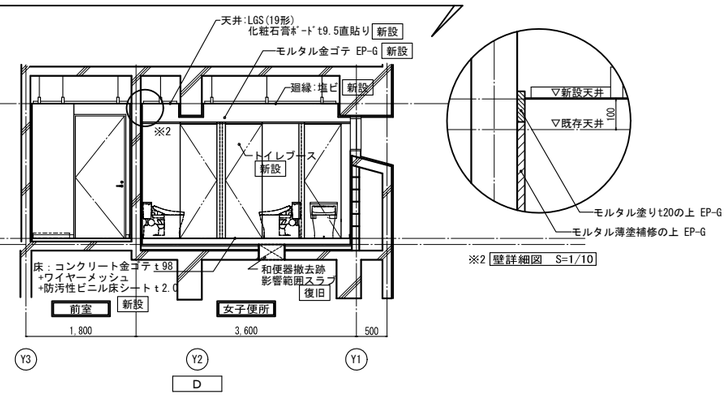
【改修後】３階便所平面詳細図　S=1/50











※2 壁詳細図　S=1/10

＜凡例＞

	新設壁範囲
	室名札新設（２箇所）
	床補修範囲
	スラブ復旧範囲 ※雑詳細参照
	シーリング MS-2 10x10

※和便器の配管撤去後の穴補修は建築工事とする
※便器・手洗器・ＳＫ・鏡新設は機械設備工事とする

改修後仕上

室名	3階女子トイレ
床	コンクリート金ゴテｔ98+ワイヤーメッシュ +防汚性ビニル床シートｔ2.0 新設
巾木	ソフト巾木H=60 新設
壁	モルタル金ゴテ+EP-G 新設 ライニング:LGS(65形)+合板ｔ36下地+ケイカル板t6.0+EP-G 新設 天板：メラミンポストフォームt19
天井	LGS(19形)+化粧石膏ボードt9.5直張り 新設 廻縁：塩ビ 新設
備考	天井点検口450×450（別図参照） 新設 トイレブース（別図参照） 新設 衛生陶器・化粧鏡（機械設備工事） 新設

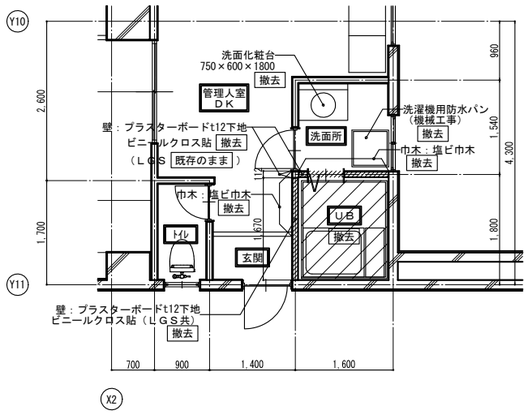
室名	3階ボイラー室
床	モルタル金ゴテ 既存のまま
巾木	モルタル金ゴテ目地別れ VP H=60 既存のまま
壁	モルタル金ゴテ VP 既存のまま 壁：LGS(65形)+ シージング石膏ボードt12.5+EP-G 新設
天井	スラブ表し 既存のまま
備考	

衛生陶器等取付部木製下地補強厚（建築工事）		
化粧鏡	W480×H610	t12
パイプホルダー	W600×H120	t12
小便器	W400×H900	t24
掃除流し(SK)	W600×H400	t24
洗面器(一般、多機能)	W600×H300	t36

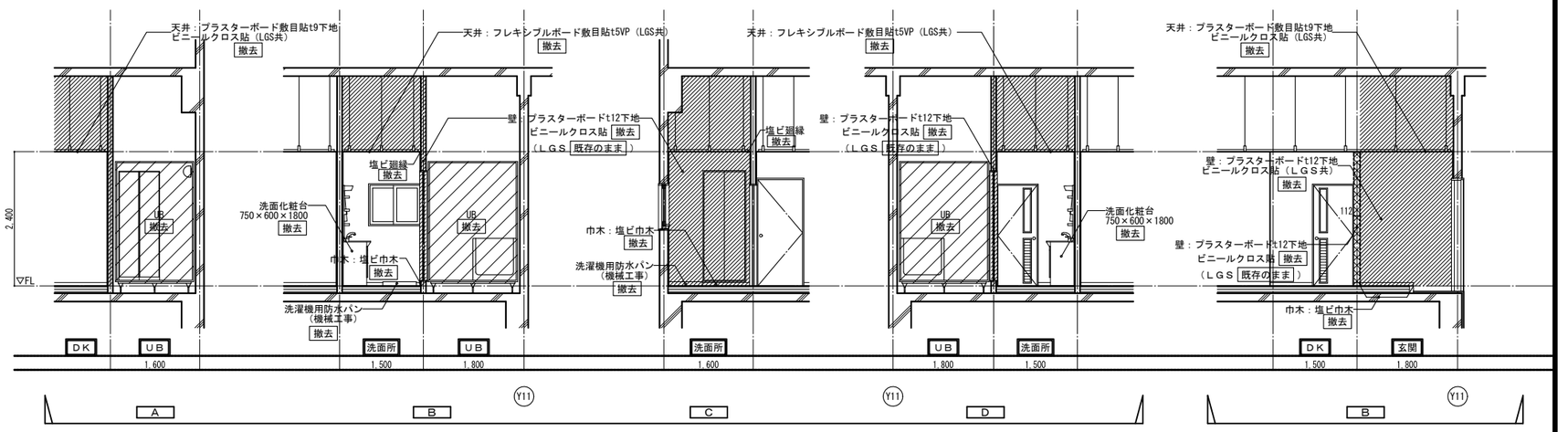
※下地：構造用合板等（手すりの下地は合板または補強木）
※多機能：みんなのトイレ内に設置する衛生陶器等
※TOTO㈱ 設計施工資料集より必要な板厚

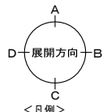
工事名	松戸市立総合医療センター附属看護専門学校 給排水管改修工事		
図面名	【改修後】 ３階便所平面詳細図・天井伏図・展開図		
作成年月日	令和7年2月21日	変更年月日	
縮 尺	A1:1/50 A3:1/100	図面番号	A-12
設 計	株式会社　山岡設計事務所 千葉県知事登録　第1-2306-2686号 山岡　治 一級建築士大臣登録第272498号		
松戸市 街づくり部 建築保全課			

改修前



【改修前】１階管理人室 ＤＫ・洗面所・ＵＢ他 平面詳細図 S=1/50

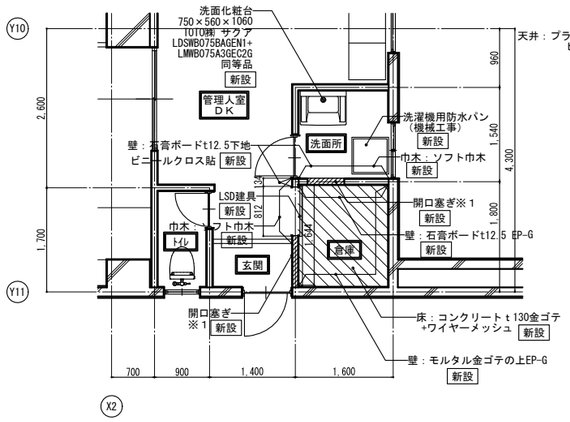




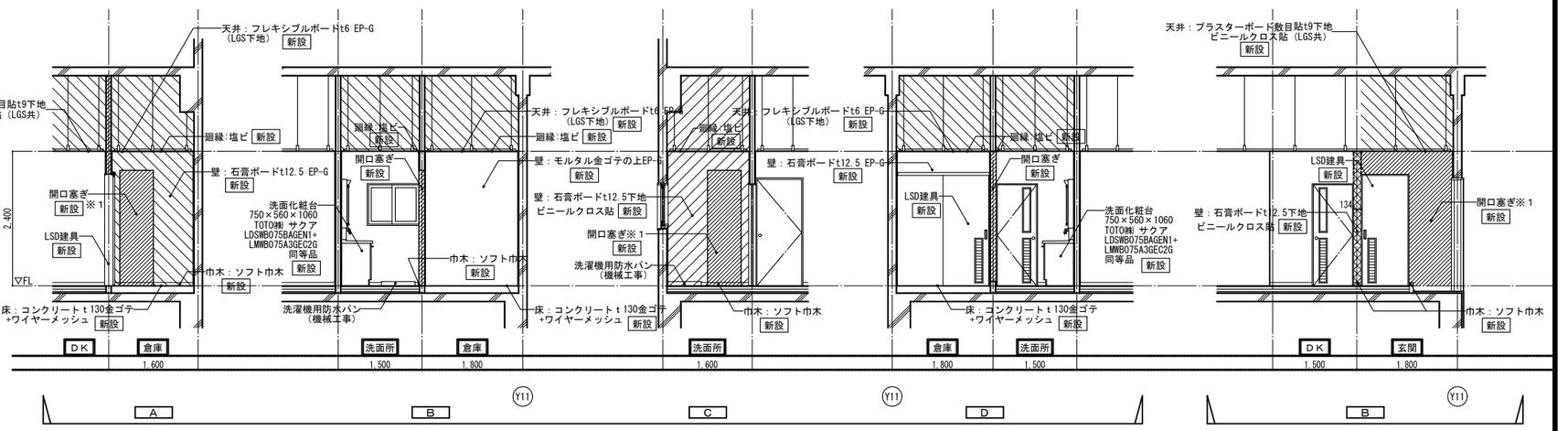
＜凡例＞

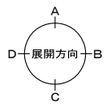
	ＵＢ撤去範囲
	床・壁・天井仕上撤去範囲
	改修影響部撤去範囲

改修後



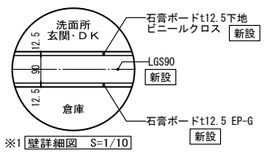
【改修後】１階管理人室 ＤＫ・洗面所・倉庫他 平面詳細図 S=1/50





＜凡例＞

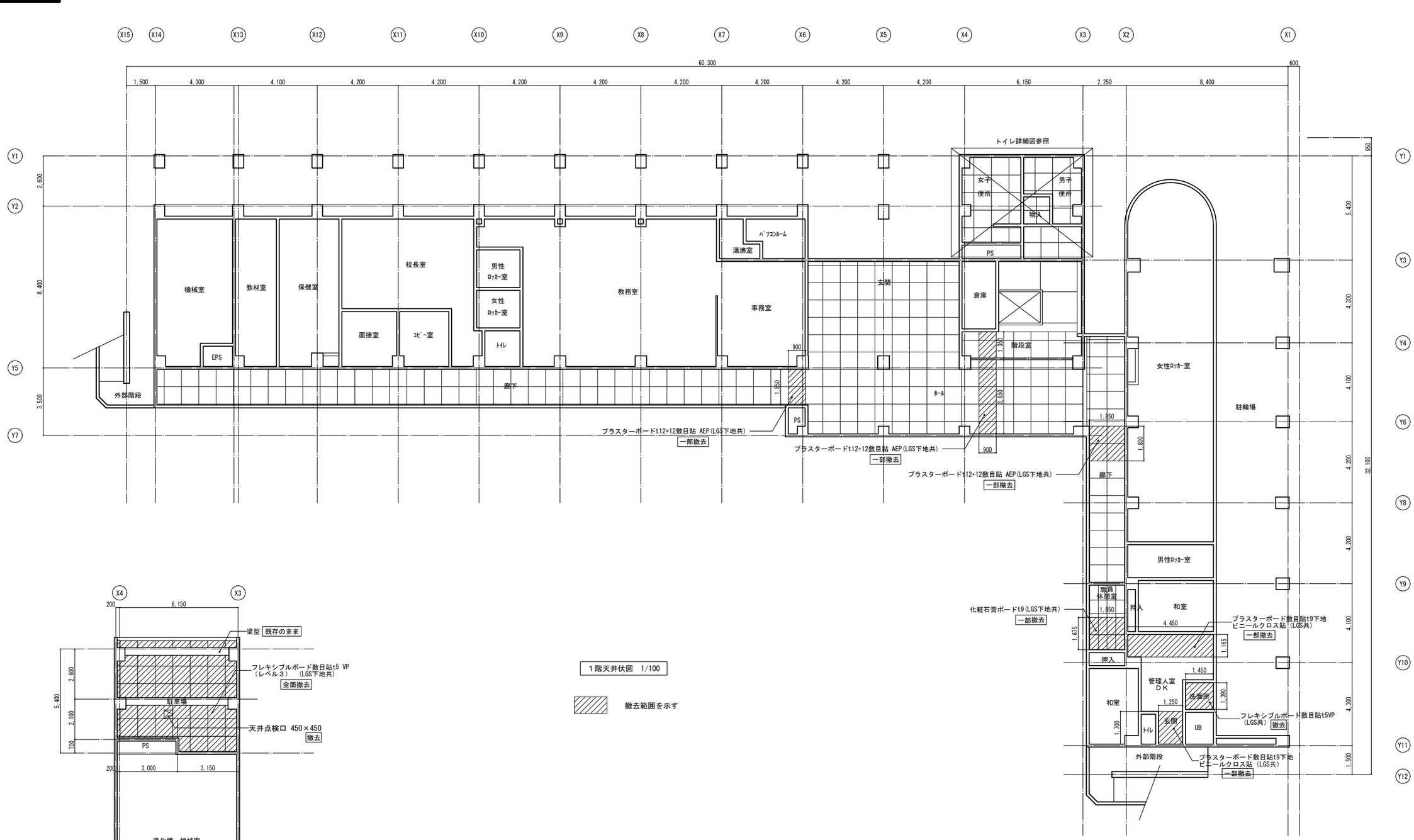
	開口塞ぎ新設範囲
	床・壁・天井仕上新設範囲
	改修影響部補修範囲

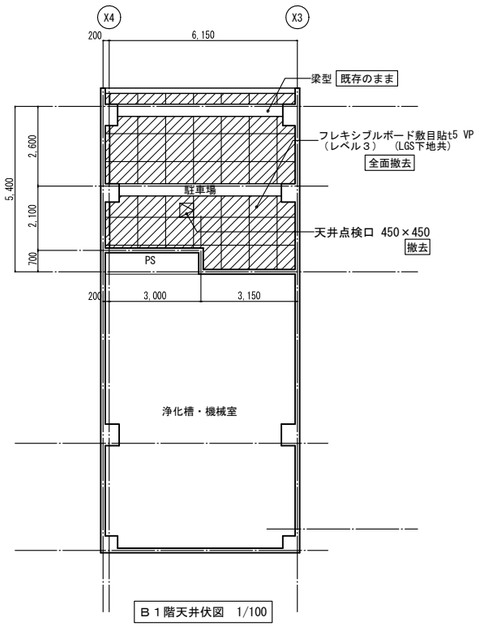


※1 壁詳細図 S=1/10

工事名	松戸市立総合医療センター附属看護専門学校 給排水管改修工事		
図面名	【改修前・後】管理人室平面詳細図・展開図		
作成年月日	令和7年2月21日	変更年月日	
縮 尺	A1:1/50 A3:1/100	図面番号	A-13
設 計	株式会社 山岡設計事務所 千葉県知事登録 第1-2306-2686号 山岡 治 一級建築士大臣登録第272498号		
松戸市 街づくり部 建築保全課			

改修前





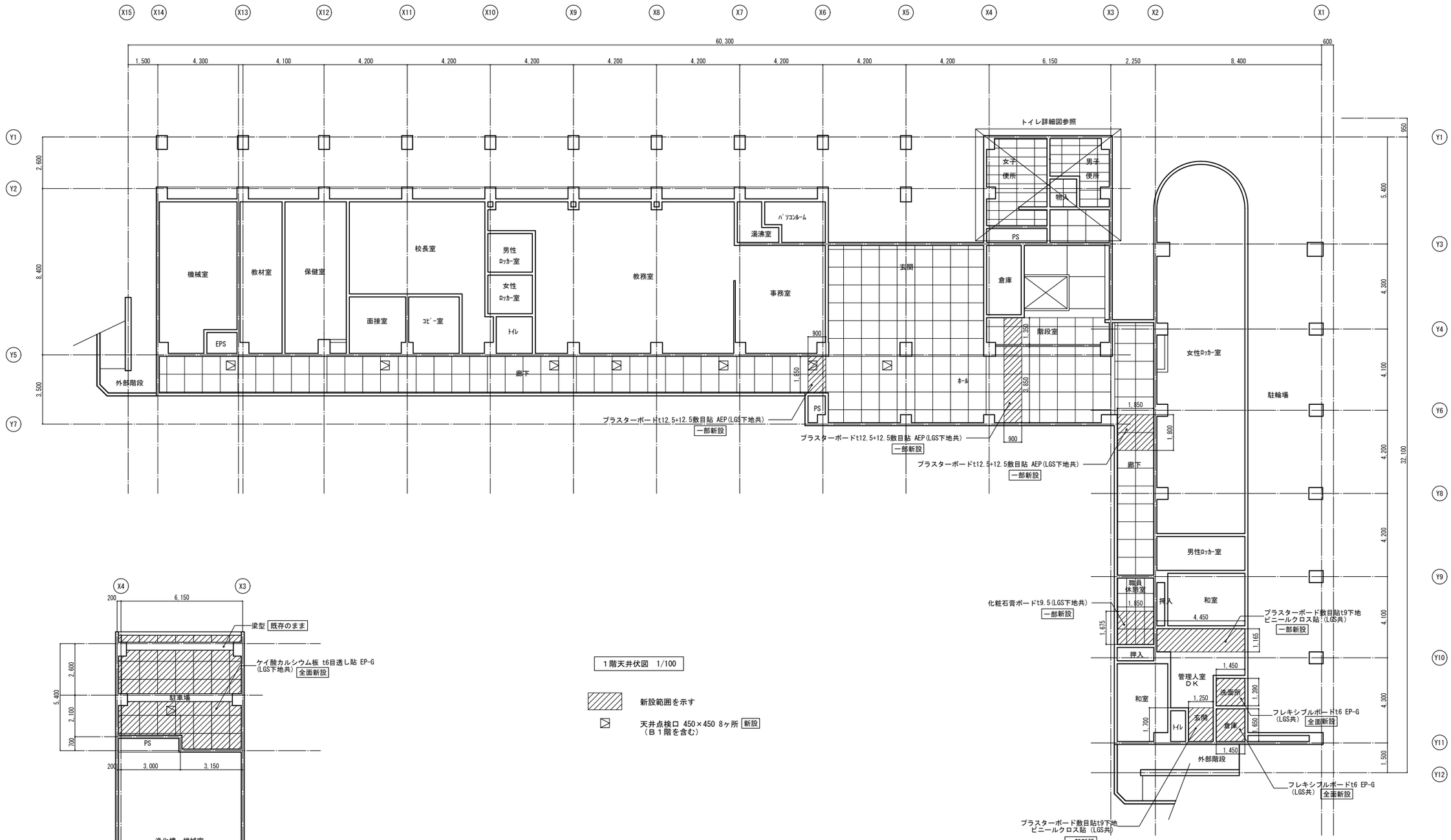
Ｂ１階天井伏図　1/100

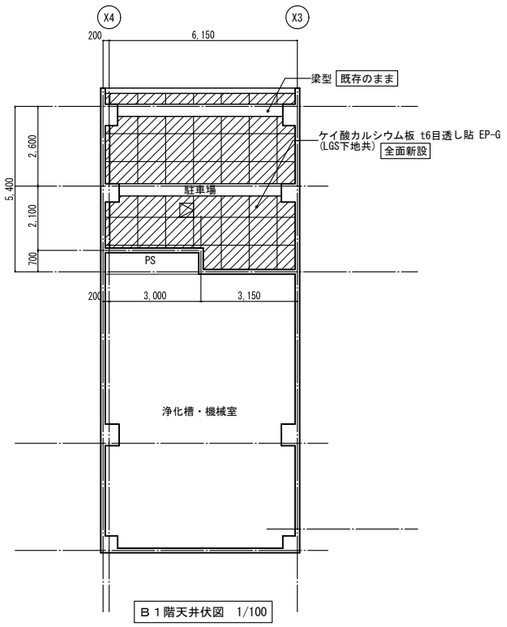
１階天井伏図　1/100

撤去範囲を示す

工事名	松戸市立総合医療センター附属看護専門学校 給排水管改修工事		
図面名	【改修前】１階天井伏図		
作成年月日	令和7年2月21日	変更年月日	
縮 尺	A1:1/100 A3:1/200	図面番号	A-14
設 計	株式会社　山岡設計事務所 千葉県知事登録　第1-2306-2686号 山岡　治 一級建築士大臣登録第272498号		
松戸市 街づくり部 建築保全課			

改修後





Ｂ１階天井伏図　1/100

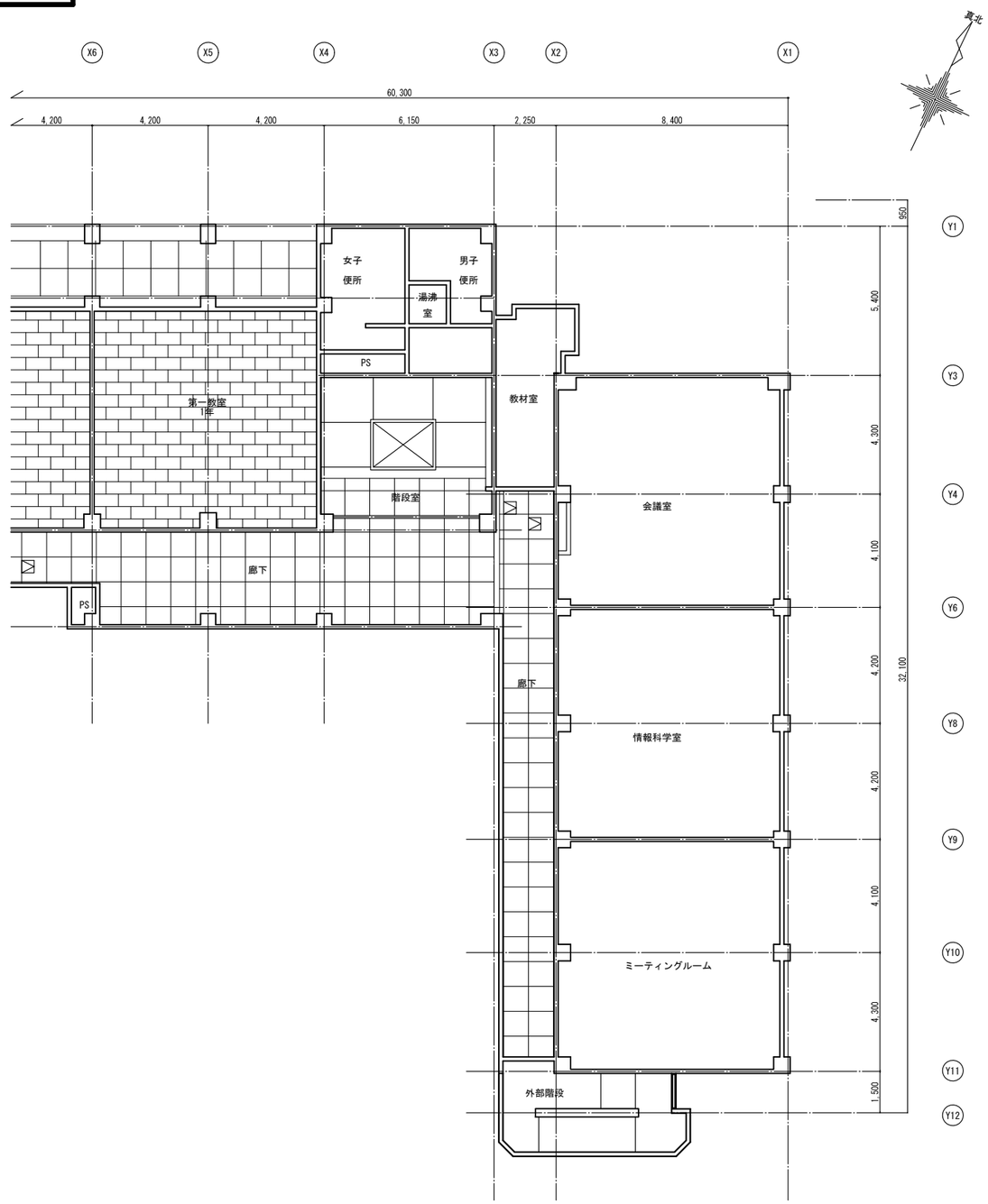
１階天井伏図　1/100

新設範囲を示す

天井点検口 450×450 8ヶ所 新設
（Ｂ１階を含む）

工事名	松戸市立総合医療センター附属看護専門学校 給排水管改修工事		
図面名	【改修後】１階天井伏図		
作成年月日	令和7年2月21日	変更年月日	
縮 尺	A1:1/100 A3:1/200	図面番号	A-15
設 計	株式会社　山岡設計事務所 千葉県知事登録　第1-2306-2686号 山岡　治 一級建築士大臣登録第272498号		
松戸市 街づくり部 建築保全課			

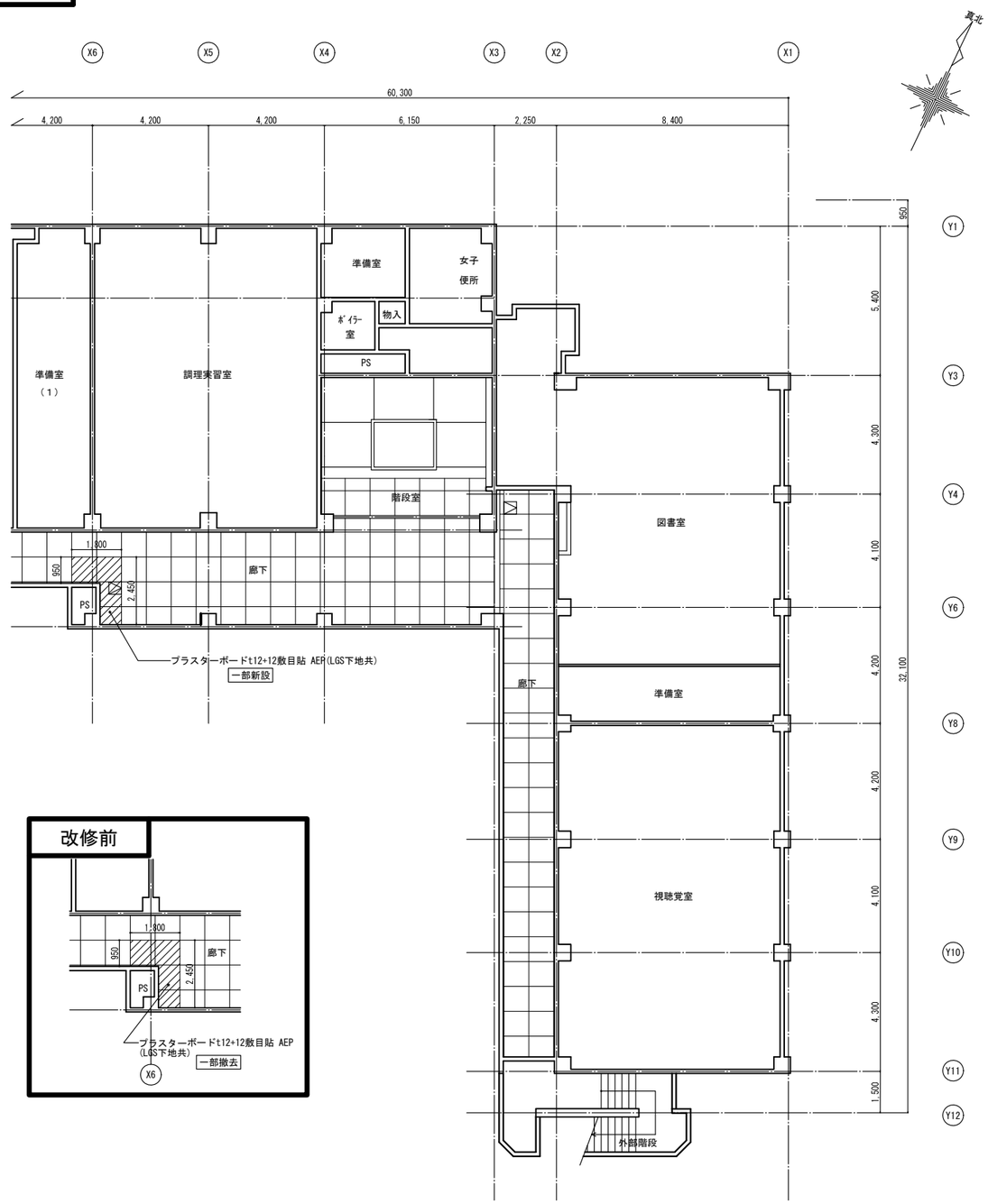
改修後



２階天井伏図　1/100

▷ 天井点検口 450×450 3ヶ所 新設

改修後



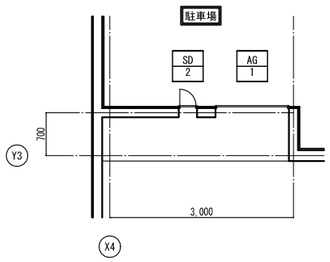
改修前

３階天井伏図　1/100

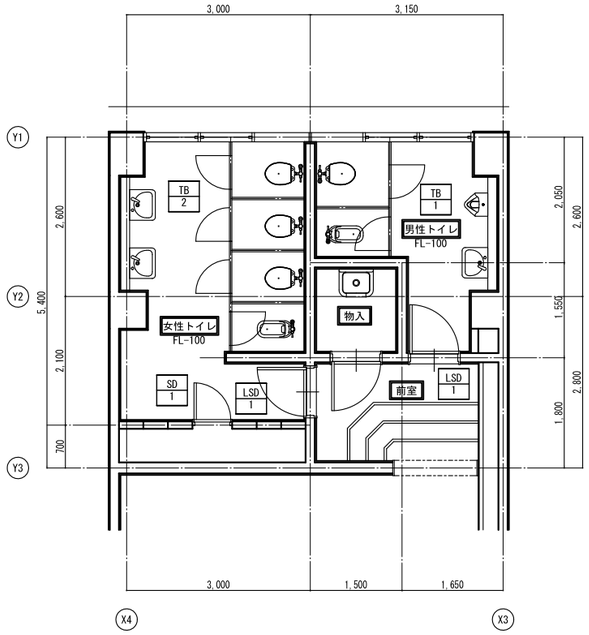
▷ 天井点検口 450×450 2ヶ所 新設

工事名	松戸市立総合医療センター附属看護専門学校 給排水管改修工事		
図面名	【改修前・後】２・３階天井伏図		
作成年月日	令和7年2月21日	変更年月日	
縮 尺	A1:1/100 A3:1/200	図面番号	A-16
設 計	株式会社　山岡設計事務所 千葉県知事登録　第1-2306-2686号 山岡　治 一級建築士大臣登録第272498号		
松戸市 街づくり部 建築保全課			

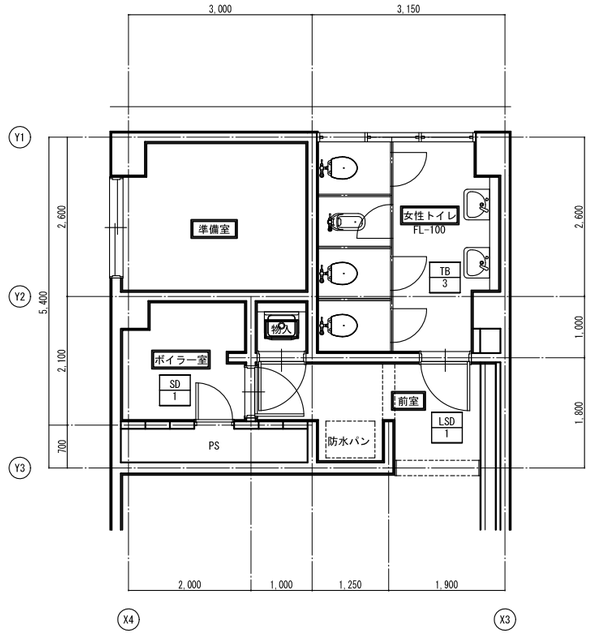
改修前



【改修前】地下１階駐車場建具キープラン　S=1/50



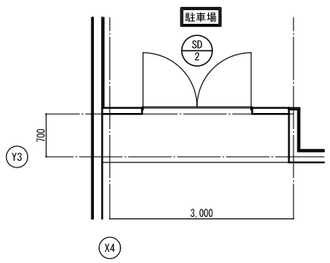
【改修前】１・２階トイレ建具キープラン　S=1/50



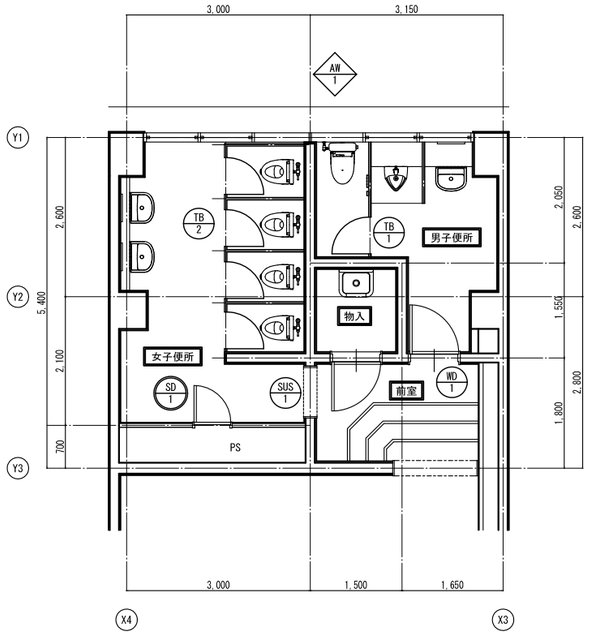
【改修前】３階便所建具キープラン　S=1/50

**
**　・・・撤去建具

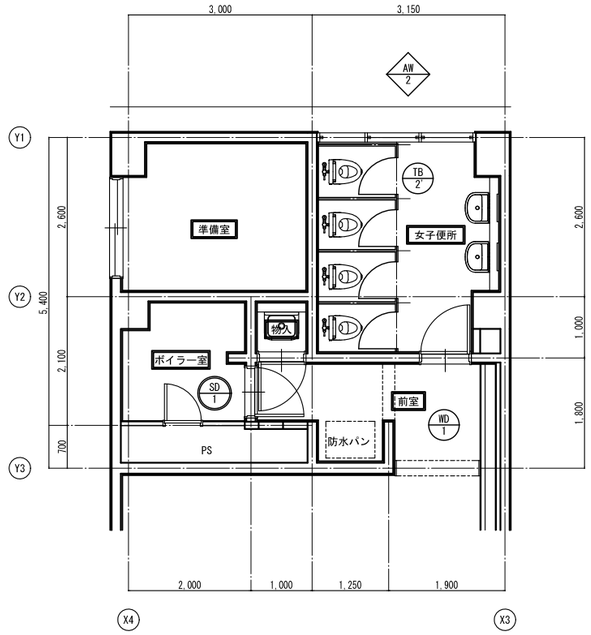
改修後



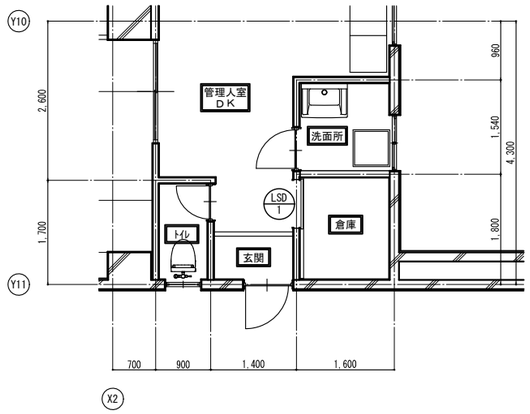
【改修後】地下１階駐車場建具キープラン　S=1/50



【改修後】１・２階トイレ建具キープラン　S=1/50



【改修後】３階便所建具キープラン　S=1/50



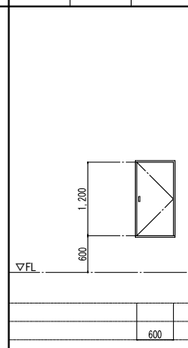
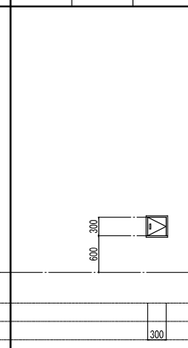
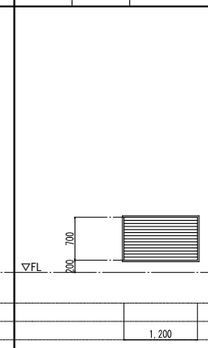
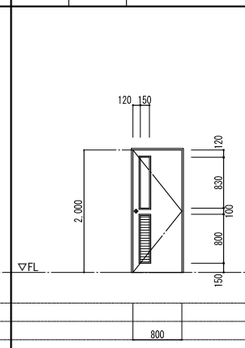
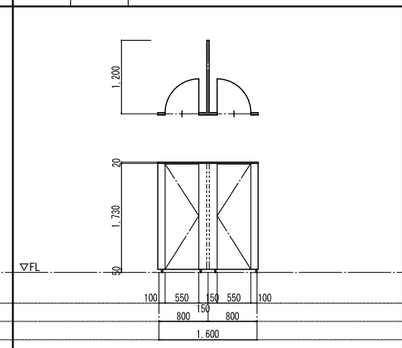
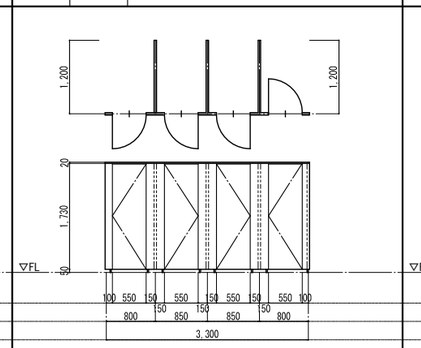
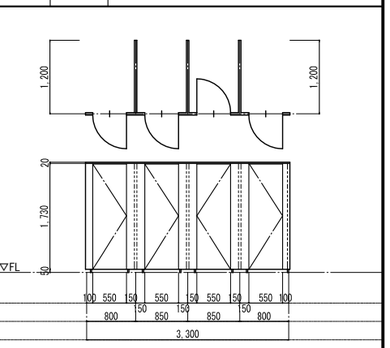
【改修後】１階管理人室　ＤＫ・洗面所・倉庫他　建具キープラン　S=1/50

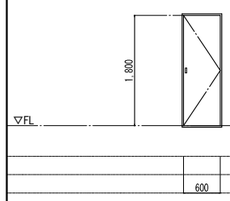
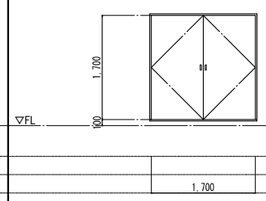
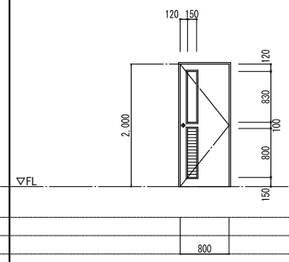
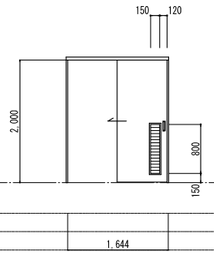
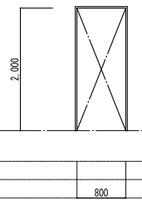
**
**　・・・改修建具

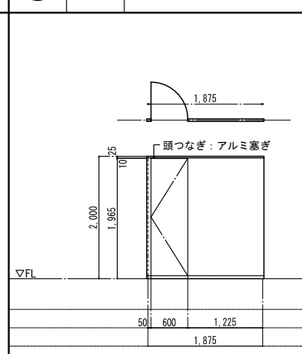
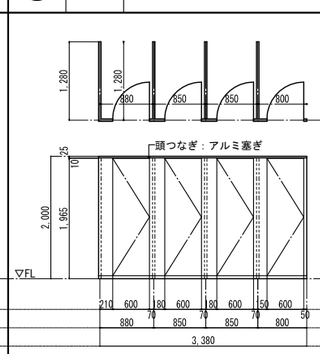
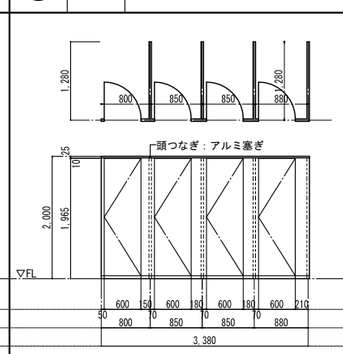
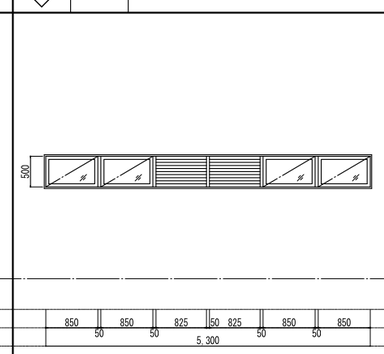
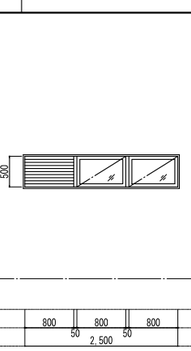
**
**　・・・新設建具

**
**　・・・新設建具（防火戸）

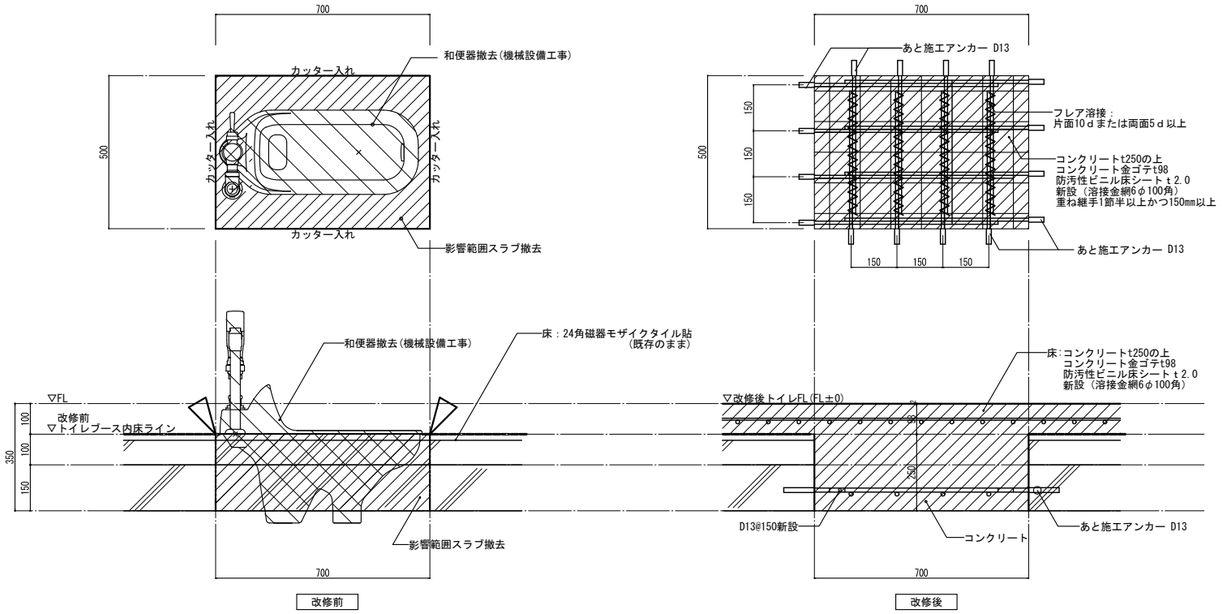
工事名	松戸市立総合医療センター附属看護専門学校 給排水管改修工事		
図面名	【改修前・後】建具キープラン		
作成年月日	令和7年2月21日	変更年月日	
縮　尺	A1:1/50 A3:1/100	図面番号	A-17
設　計	株式会社　山岡設計事務所 千葉県知事登録　第1-2306-2686号 山岡　治 一級建築士大臣登録第272498号		
松戸市 街づくり部 建築保全課			

記号・名称・個数	SD 1	撤去（枠共）	片開きアングルドア　3ヶ所	SD 2	撤去（枠共）	片開きアングルドア　1ヶ所	AG 1	撤去（枠共）	ガラリ窓　1ヶ所	LSD 1	撤去（枠共）	片開きフラッシュ戸（ガラリ付）　5ヶ所	TB 1	撤去	トイレブース　2ヶ所	TB 2	撤去	トイレブース　2ヶ所	TB 3	撤去	トイレブース　1ヶ所
姿　図																					
使 用 場 所	1・2階　女性トイレＰＳ、3階　ボイラー室ＰＳ			地下1階　駐車場			地下1階　駐車場			各階　男性トイレ、女性トイレ			1・2階　男性トイレ			1・2階　女性トイレ			3階　女性トイレ		
見　　込													40			40			40		
仕　　上	スチールOP塗			スチールOP塗			アルミ			ペーパーコア内臓			両面耐水ベニヤOP塗			両面耐水ベニヤOP塗			両面耐水ベニヤOP塗		
硝　　子										型板ガラス t4											
金物 / 備考	丁番/乙種防火戸			丁番、鍵付			附属金物一式			ドアチェック、ピボットヒンジ、押板、引手			ステンレス笠木、ラバトリーヒンジ、戸当り、ラッチ式表示錠、脚金具、連結金具			ステンレス笠木、ラバトリーヒンジ、戸当り、ラッチ式表示錠、脚金具、連結金具			ステンレス笠木、ラバトリーヒンジ、戸当り、ラッチ式表示錠、脚金具、連結金具		

記号・名称・個数	SD 1	新設（枠共）	片開きフラッシュドア　3ヶ所	SD 2	新設（枠共）	片開きフラッシュドア　1ヶ所	WD 1	新設（枠共）	片開きフラッシュ戸　3ヶ所	LSD 1	新設（枠共）	片引きアウトセットドア　1ヶ所	SUS 1	新設	ステンレス製三方枠　2ヶ所
姿　図															
使 用 場 所	1・2階　トイレＰＳ、3階　ボイラー室ＰＳ			地下1階　駐車場			1・2階　男性トイレ、3階　女性トイレ			1階　管理人室 倉庫			1・2階　女性トイレ		
見込 / 材料	40（100）			130			130			130			220		
仕　　上	扉：スチールフラッシュPL-1.6 SOP、枠：スチールPL-1.6加工　SOP			扉：スチールフラッシュPL-1.6 DP、枠：スチールPL-1.6加工　DP			メラミン化粧板、枠：スプルス25×220 SOP			扉：スチールフラッシュ焼付塗装、枠スチール焼付塗装PL-1.6加工			ステンレスt1.5 HL		
硝　　子							型板ガラスt4.0								
金物 / 備考	シリンダー錠、ケースハンドル、丁番/防火戸			シリンダー錠、ケースハンドル、丁番、鍵付			レバーハンドル、ドアクローザー、SUS蝶番、戸当り、ｱﾙﾐｶﾞﾗﾘ、附属金物一式			引手、アルミガラリ、Vレール、戸当					

記号・名称・個数	TB 1	新設	トイレブース　2ヶ所	TB 2	新設	トイレブース　2ヶ所	TB 2	新設	トイレブース　1ヶ所	AW 1	改修	辷出し窓ガラリ付き　2ヶ所	AW 2	改修	辷出し窓ガラリ付き　1ヶ所
姿　図															
使 用 場 所	1・2階　男性トイレ			1・2階　女性トイレ			3階　女性トイレ			1・2階　男性トイレ・女性トイレ			3階　女性トイレ		
見込 / 材料	40			40			40								
仕　　上	メラミン化粧板（ペーパーコア芯）t=40 H2000			メラミン化粧板（ペーパーコア芯）t=40 H2000			メラミン化粧板（ペーパーコア芯）t=40 H2000			アルミ			アルミ		
硝　　子										透明ガラス（スクールテンパ）t4.0			透明ガラス（スクールテンパ）t4.0		
金物 / 備考	表示器付ラッチ錠(スライド)、SUS製巾木、アルミ笠木、アルミエッジ、戸当り、付属金物一式(指詰め防止仕様、非常解錠仕様(外開き)、固定器具補強仕様)			表示器付ラッチ錠(スライド)、SUS製巾木、アルミ笠木、アルミエッジ、戸当り、付属金物一式(指詰め防止仕様、非常解錠仕様(外開き)、固定器具補強仕様)			表示器付ラッチ錠(スライド)、SUS製巾木、アルミ笠木、アルミエッジ、戸当り、付属金物一式(指詰め防止仕様、非常解錠仕様(外開き)、固定器具補強仕様)			ガラスクリーニング（内側のみ）			ガラスクリーニング（内側のみ）		

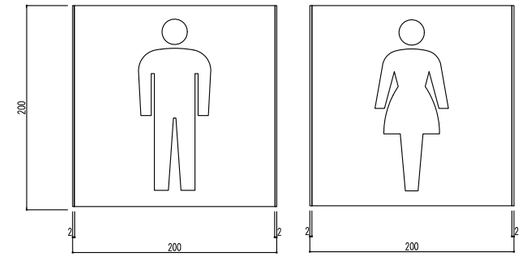
工事名	松戸市立総合医療センター附属看護専門学校 給排水管改修工事
図面名	【改修前・後】建具表
作成年月日	令和7年2月21日
変更年月日	
縮　尺	A1:1/50 A3:1/100
図面番号	A-18
設　計	株式会社　山岡設計事務所 千葉県知事登録　第1-2306-2686号 山岡　治 一級建築士大臣登録第272498号
	松戸市 街づくり部 建築保全課

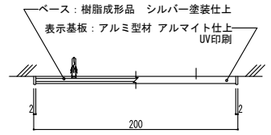


※　継手40d確保できない場合はフレア溶接片面10d又は両面5d以上とする

凡例
カッター入れ
施工範囲

和便器撤去跡スラブ詳細図　1/10

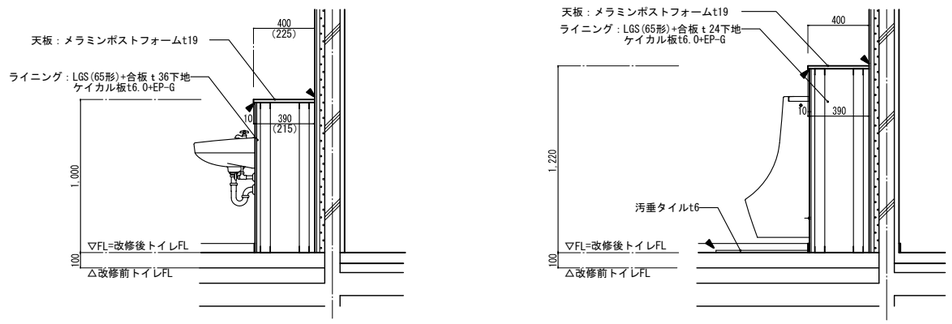




ピクトサイン詳細図　1/3

杉田エース株式会社 FK-200 同等品

※デザインについては学校と協議すること



１～３階トイレ手洗

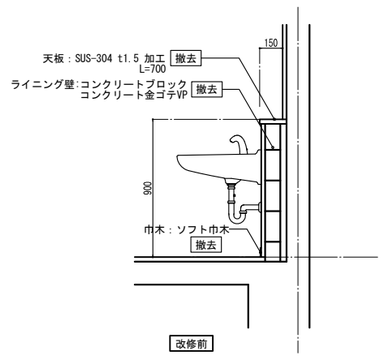
（）はX3、X4通り

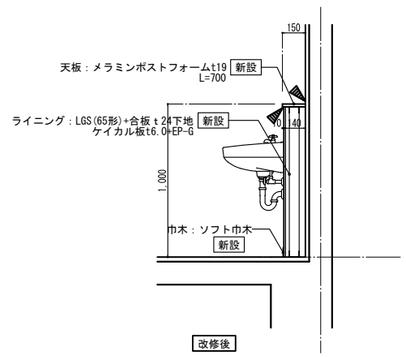
１～２階 男子小便器

トイレライニング詳細図　1/20

シーリング　10x10
（シリコーン系SR-1）防カビ仕様

※手洗器の撤去・新設は機械設備工事とする

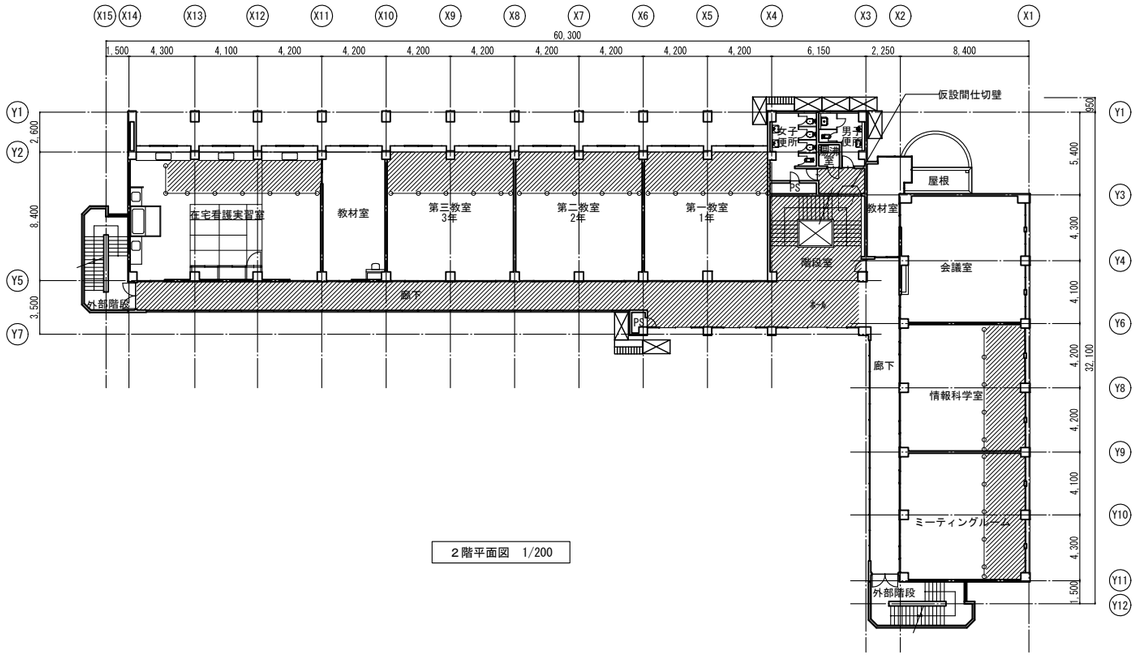




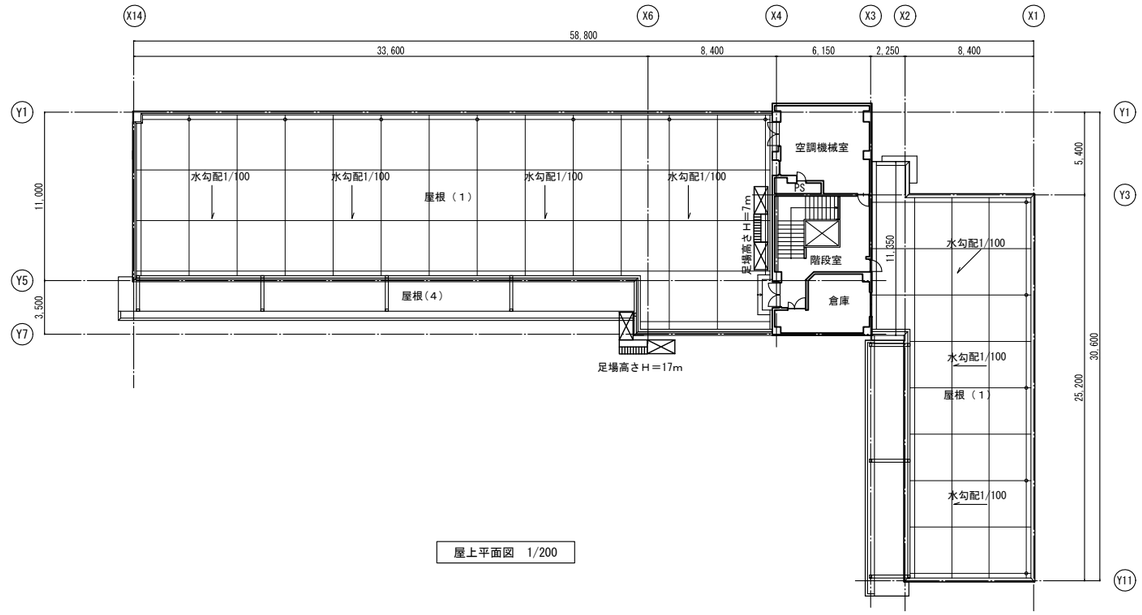
【改修前・後】１階男女ロッカー室ライニング詳細図　S=1/20

シーリング　10x10
（シリコーン系SR-1）防カビ仕様

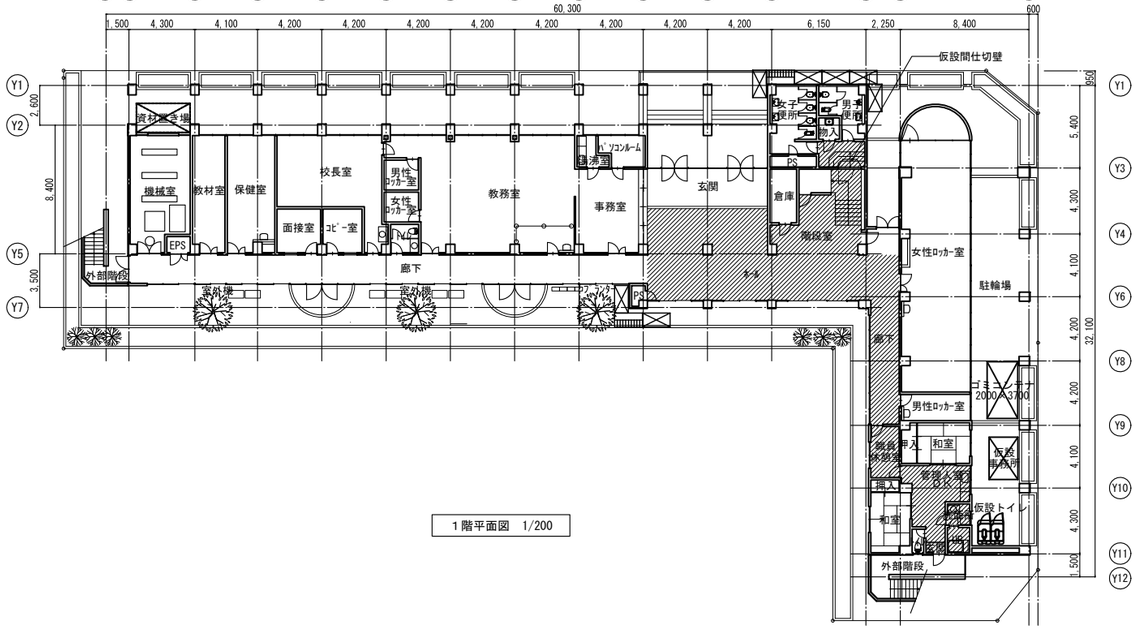
工事名	松戸市立総合医療センター附属看護専門学校 給排水管改修工事		
図面名	雑詳細図		
作成年月日	令和7年2月21日	変更年月日	
縮 尺	A1:1/3、10、20 A3:1/6、20、40	図面番号	A-19
設 計	株式会社　山岡設計事務所 千葉県知事登録　第1-2306-2686号 山岡　治 一級建築士大臣登録第272498号		
松戸市 街づくり部 建築保全課			



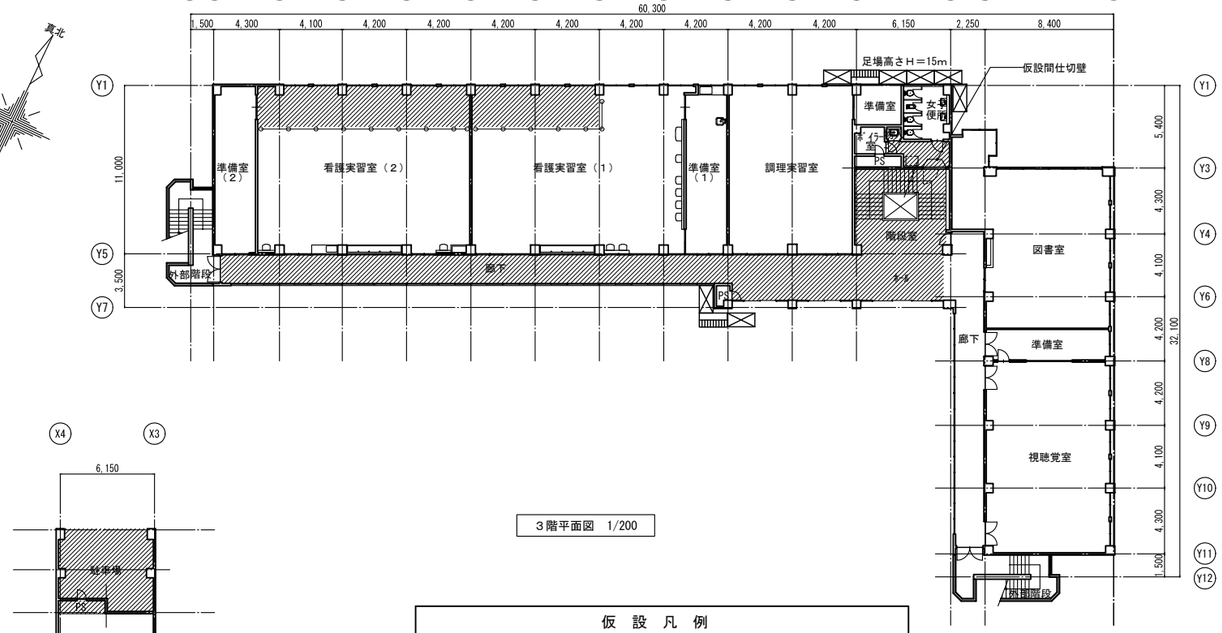
2階平面図　1/200



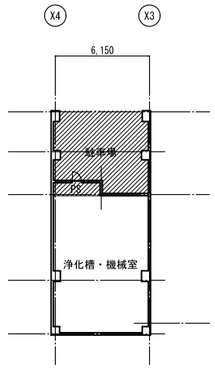
屋上平面図　1/200



1階平面図　1/200



3階平面図　1/200



B1階平面図　1/200

仮　設　凡　例

	外部足場：枠組足場W914.610　ネット養生シート(防炎2類)(機械工事)
	外部足場：枠組足場W914　階段付き　ネット養生シート(防炎2類)(機械工事)
	施工箇所、搬入路床：ビニールシート張養生
	カラーコーン、コーンバー
仮間	仮設間仕切壁：LGS65下地石膏ボードt9.5貼（片面） 木製片開き扉800×1,800（3箇所）

工事名	松戸市立総合医療センター附属看護専門学校 給排水管改修工事		
図面名	仮設計画図（参考図）		
作成年月日	令和7年2月21日	変更年月日	
縮尺	A1:1/200 A3:1/400	図面番号	A-20
設計	株式会社　山岡設計事務所 千葉県知事登録　第1-2306-2686号 山岡　治 一級建築士大臣登録第272498号		

松戸市 街づくり部 建築保全課

松戸市立総合医療センター附属看護専門学校
給排水管改修工事（第２期）

工事設計図

令和6年1月31日

仕　様　書

Ⅰ　工事概要

1. 工事場所　松戸市上本郷４．１８２番地（松戸市立総合医療センター附属看護専門学校）

2. 敷地面積　1,379.7 ㎡

3. 改修建物概要
用　　途：専門学校
構　　造：RC造
階　　数：地上４階
建築面積：
延べ面積：2,516.03㎡
最高高さ：17.60m（軒高さ：15.10m）

4. 工事内容

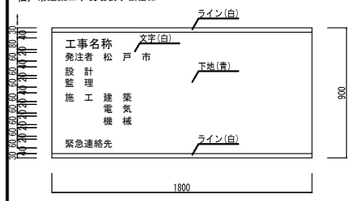
工事種目	工事範囲
2　仮設工事	足場設置・資材置場・ガードフェンス・仮設トイレ
3　防水改修工事	シーリング充填
4　外壁改修工事	-
5　建具改修工事	-
6　内装改修工事	調理実習室、ライニング、PSの改修、一部壁・天井張替え
7　塗装改修工事	EP・EP-G・SOP・OP
8　耐震改修工事	-
9　環境配慮改修工事	アスベスト含有成形板撤去
10　その他	

Ⅱ建築工事仕様

1. 共通仕様
(1) 図面及び特記仕様に記載されれいない事項は、国土交通省大臣官房営繕部監修の「公共建築改修工事標準仕様書（建築工事編）(令和4年版)」（以下、「改修標仕」という。）及び国土交通省大臣官房営繕部監修の「公共建築工事標準仕様書(建築工事編)(令和4年版)」（以下「標仕」という）による。

2. 特記仕様
(1) 項目は、番号に ◯印の付いたものを適用する。
(2) 特記事項は、●印の付いたものを適用する。
●印の付かない場合は、※印の付いたものを適用する。
●印と※印の付いた場合は共に適用する。
(3) 特記事項に記載の［　　］内表示番号は、改修標仕の当該項目、当該図又は当該表を示す。
(4) 特記事項に記載の（　　）内表示番号は、標仕の当該項目、当該図又は当該表を示す。
(5) G 印は「国等による環境物品等の調達の推進に関する法律」（以下「グリーン購入法」という）の特定調達品目を示す。

松戸市建築工事現場表示板仕様



(1) 材料
1) 耐水合板（ラワン厚み12mm SOP仕上げ）
2) 枠及び桟木については、部材寸法45×45mm以上とし、間隔は縦、横とも450mm以内とすること。

(2) 注意事項
1) 表示板の固定方法は、堅固な支柱又は仮囲い等に風並びに衝撃等に十分耐えられるよう固定し公衆の生命及び財産に危害のないようにすること。

章	項　目	特　記　事　項
① 一般共通事項	①運用基準等	●松戸市建築工事に関する提出書類 ●工事写真の撮り方 建築編（国土交通省大臣官房官庁営繕部監修） ●松戸市建築工事現場表示板仕様
	②工事実績情報サービス（CORINS）への登録	※ 適用する　［1.1.4］
	③施工計画書	●工事の総合的な計画をまとめた施工計画書を作成し提出すること。　［1.2.2］ ●施工計画の品質計画に係る部分については監督職員の承諾を受けること。 ●施工図等を工事の施工に先立ち作成し、監督職員の承諾を受ける。 ●施工図等の内容を変更する必要が生じた場合は監督職員に報告する。
	4 電気保安技術者	・ 工事現場に置く電気保安技術者は、電気事業法に基づく電気主任技術者の職務を補佐し、電気工作物の保安の業務を行うものとする。　［1.3.3］
	⑤施工条件	※　現場説明書による　［1.3.5］
	⑥発生材の処理等	※ 現場説明書による　●場外搬出適正処理　［1.3.12］
	⑦材料の品質等	［1.4.2］ 本工事に使用する材料等は、設計図書に規定する所要の品質及び性能を有するものとし、JIS及びJASマークの表示のない材料及びその製造者等は、次の(1)～(6)の事項を満たすものとする。 (1) 品質及び性能に関する試験データが整備されていること。 (2) 生産施設及び品質の管理が適切に行われていること。 (3) 安定的な供給が可能であること。 (4) 法令等で定める許可、認定又は免許等を取得していること。 (5) 製造又は施工の実績があり、その信頼性があること。 (6) 販売、保守等の営業体制が整えられていること。 なお、これらの材料を使用する場合は、設計図書に定める品質及び性能を有することの証明となる資料又は外部機関（(社)公共建築協会 他）が発行する資料等の写しを監督職員に提出して承諾を受けるものとする。ただし、あらかじめ監督職員の承諾を受けた場合はこの限りではない。 また、備考欄に商品名が記載された材料は、当該商品又は同等品を使用するものとし、同等品を使用する場合は、監督職員の承諾を受ける。
	⑧化学物質を放散する建築材料等	本工事の建物内部に使用する建築材料等は、設計図書に規定する所要の品質及び性能を有するものとし、次の1）から5）を満たすものとする。 1) 合板、木質系フローリング、構造用パネル、集成材、単板積層材、MDF、パーティクルボード、その他の木質建材、ユリア樹脂板、仕上げ塗材及び壁紙等は、ホルムアルデヒドを発散しないか、発散が極めて少ないものとする。 2) 保温材、衝撃材、断熱材はホルムアルデヒド及びスチレンを発散しないか、発散が極めて少ないものとする。 3) 接着剤はフタル酸ジ-n-ブチル及びフタル酸ジ-2-エチルヘキシル等を含有しない難揮発性の可塑剤を使用し、ホルムアルデヒド、トルエン、キシレン、エチルベンゼン、スチレンを発散しないか、発散が極めて少ないものとする。 4) 塗料はホルムアルデヒド、トルエン、キシレン、エチルベンゼン、スチレンを発散しないか、発散が極めて少ないものとする。 5) 1)、3)及び4)の建築材料等を使用して作られた家具、書架、実験台、その他の什器等は、ホルムアルデヒドを発散しないか、発散が極めて少ないものとする。 また、設計図書に規定する「ホルムアルデヒドの発散量」は、次のとおりとする。 規制対象外 ①JIS及びJASのF☆☆☆☆規格品 ②建築基準法施行令第20条の5第4項による国土交通大臣認定品 ③下記表示のあるJAS規格品 a. 非ホルムアルデヒド系接着剤使用 b. 接着剤等不使用 c. 非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを発散しない材料使用 d. ホルムアルデヒドを発散しない塗料等使用 e. 非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを発散しない塗料使用 f. 非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを発散しない塗料等使用 第三種 ①JIS及びJASのF☆☆☆☆規格品 ②建築基準法施行令第20条の5第4項による国土交通大臣認定品 ③旧JISのEo規格品 ④旧JASのFco規格品
	⑨特別な材料の工法	標仕に記載されていない特別な材料の工法については、材料製造所の指定する工法とする。
	⑩技能士	［1.6.2］

適用工事種別	技能検定の職種
鉄筋工事	・鉄筋施工（鉄筋組立作業）
コンクリート工事	・型枠施工　・コンクリート圧送
鉄骨工事	・とび
ブロック・ALCパネル工事	・ブロック建築　・ALCパネル施工
防水工事	・ｱｽﾌｧﾙﾄ防水工事作業　・合成ｺﾞﾑ系ｼｰﾄ防水工事作業 ・ｳﾚﾀﾝｺﾞﾑ系塗装防水工事作業　・ｼｰﾘﾝｸﾞ防水工事作業
石工事	・石材施工（石張り施工）
タイル工事	・タイル張り
木工事	・建築大工
屋根及びとい工事	・建築板金（内外装板金作業）
金属工事	●内装仕上げ施工（鋼製下地工事作業）
左官工事	・左官
建具工事	・サッシ施工　・ガラス施工　・自動ドア施工
カーテンウォール工事	・カーテンウォール施工　・サッシ施工　・ガラス施工
塗装工事	●塗装（建築塗装作業）
内装工事	・プラスチック系床仕上げ工事作業
	●ボード仕上げ工事作業　●表装（壁装作業）
植栽工事	・造園

章	項　目	特　記　事　項
	⑪化学物質の濃度測定	［1.6.9］ 施工完了時に室内空気中のホルムアルデヒド、トルエン、キシレン、エチルベンゼン、スチレン、パラジクロロベンゼンの濃度測定し、報告すること。 測定はパッシブ型採取機器により行う。 着工前の測定　●行う 測定対象室　●教務室、トイレ（職員用）、校長室、面接室、コピー室、保健室、教材室(2ヶ所)、機械室、第一教室、第二教室、第三教室、在宅看護実習室、調理実習室、看護実習室(2ヶ所)、廊下 測定箇所数　●8箇所（1階8ヶ所、2階6ヶ所、3階4ヶ所） 着工後の測定　●行う 測定対象室　●教務室、トイレ（職員用）、校長室、面接室、コピー室、保健室、教材室(2ヶ所)、機械室、第一教室、第二教室、第三教室、在宅看護実習室、調理実習室、看護実習室(2ヶ所)、廊下 測定箇所数　●8箇所（1階8ヶ所、2階6ヶ所、3階4ヶ所）
	⑫完成図等	※作成する　・作成しない　［1.8.1～3］［表1.8.1］ ※完成図　提出部数　※現場製本図　2部(A1版第2原図及び電子媒体(CD-R)) ・黒　金文字製本図　1部 ・施工図　提出部数　※　　部

章	項　目	特　記　事　項
	13 完成写真	下記のものを監督職員に提出する。ただし、原版は撮影業者の保管とする。 分類・規格 / 撮影箇所数 / 撮影部数 / 原版の大きさ(mm) ・カラー　外部(　)　内部(　)　※1　・6　※100×125以上 ※キャビネ版 ・べた焼き ・(他に外観正面1カットのみ5枚(カラーキャビネ版)提出) ※カラー半切木製パネル 324×400(mm)　外部(　)　内部(　)　※2 ・電子データ　外部(　)　内部(　)　※2　※200万画素以上 ※300dpi以上 100×125以上の原版を使う場合は、監督職員にあらかじめべた焼を提出し確認を受ける。 電子データはRGB(フルカラー)、JPEG形式最高画質とし、CD-Rにて提出とする。 撮影業者　※監督職員の承諾する撮影業者(ただし、建築完成写真撮影の実績のある業者とする。)
	⑭設備工事との取合い	設備機器の位置、取合い等の検討できる施工図を提出して、監督職員の承諾を受ける。
	15 設計GL	※図示　・設計GL＝現状GL
	⑯工事写真	※着工前、完成及び立会写真2部　工事工程写真1部
	⑰ワンデーレスポンスの実施	ワンデーレスポンスの取り組みについて 1. この工事はワンデーレスポンス実施対象工事である。 「ワンデーレスポンス」とは 受注者から質問、協議への回答は基本的に「その日のうち」に回答するよう対応することである。ただし、即日回答が困難な場合は、いつまでに回答が必要なのかを受注者と協議のうえ、回答期限を設けるなど、何らかの回答を「その日のうち」にすることとする。 2. 受注者は計画工程表の提出にあたって、作業間の関連把握や工事の進捗状況等を把握できる工程管理方法について、監督職員と協議を行う。 3. 受注者は工事施工中において、問題が発生した場合及び計画工程と実施工程を比較照査し、差異が生じた場合は速やかに監督職員へ報告すること。 4. 効果・課題等を把握するためアンケート等のフォローアップ調査を実施する場合、受注者は協力すること。
	⑱火災保険等	※火災保険等の証券等の写しの提出提出すること。
② 仮設工事	①足場その他	内部足場　種別　※脚立、足場板　・棚足場　［2.2.1］ 外部足場　手すり先行工法に関するガイドラインに基づき設置すること。　［2.2.1］［表2.2.1］ 屋根工事及び小屋組みの建方工事における墜落事故防止対策はJIS A 8971に基づき設置すること。 材料、搬去材等の運搬方法　［2.2.1］［表2.2.1］ ・A種　※B種　・C種　●D種　・E種 ●定置する足場、作業構台等は別契約の関連する工事の関係者に無償で使用させる。
	②養生	既存部分の養生　※ビニールシート　・合板　厚12　［2.3.1］ 既存家具等の養生　※ビニールシート　・ 固定家具等の養生　※行う　・行わない
	③仮設間仕切り	仮設間仕切り等の種別　［2.3.2］［表2.3.1］ 種別 / 下地 / 仕上材(厚さ mm) / 充てん材 / 塗装 ・A種 / ※軽量鉄骨 / ・合板(※9.0 ・ラワン　) / ※無し ●B種 / ・木下地 / ※せっこうボード(※12.5 ・　) / 厚さ mm / ・片面 ・C種 / ・単管下地 / 防炎シート ●仮設扉 / ※木製扉 / ※合板張り程度 / ※無し ・鋼製扉 / ※片面フラッシュ程度 / ・有り
	4 監督職員事務所	規模及び仕上げの程度は現場説明書による。　［2.4.1］
	⑤工事用水	構内既存の施設　・利用できない　※利用できる(※有償　・無償)　［2.4.1］ ※子メータを設置する。
	⑥工事電力	構内既存の施設　※利用できない　・利用できる(※有償　・無償)　［2.4.1］
	7 防音パネル	※アルミ製(解体作業期間)
	8 仮囲	・キャスターゲート　W＝4.0ｍ、H＝1.8ｍ、　1箇所
	9 仮囲い	・ガードフェンス　H＝1.8ｍ　　箇所　図示 ※成型鋼板　H＝2.0ｍ、L＝　　ｍ、　箇所
	10 仮設道路	・砕石敷(厚さ　mm　幅　mm)　L＝　m (砕石は、再生クラッシャランを使用) ・鋼板敷(厚さ　mm　幅　mm　L＝　m)　枚
③ 防水改修工事	1 アスファルト防水	［3.3.2］［表3.3.1］［表3.3.3～10］

防水改修工法の種類		施工箇所	新規防水層の種別
保護	※P1B		・B-1　※B-2
	・P1BI　・T1BI		・BI-1　※BI-2
防水	・P2AI		・AI-1　※AI-2
	※P2A		・A-1　※A-2
露出防水	・M4C		・C-1　※C-2
	・M3D　・POD		・D-1　※D-2
屋内防水	・P1E　・P2E		・E-1　※E-2 (保護層は図示による)

アスファルトの種類　※3種　・4種　［3.2.2］［3.3.2］
保護コンクリートのコンクリート種類　・普通コンクリート(18N/? S=18mm)　［3.3.2］［8.11.1］
(溶接金網　径6mm　100mm×100mm敷設)
POD工法のニ重ドレン　※設けない　・設ける　［3.2.5］
M3D、POD工法の脱気装置　※設けない　・設ける　［3.3.3］
既存露出防水層表面の仕上げ塗装(M4C工法の場合)　・除去する　［3.2.6］
断熱工法の断熱材　厚さ(mm)　※25　・　［3.3.2］
ただし、特定フロンを含まないもの。
立上り部の保護　［3.3.2］
・れんがの種類　※見え隠れ部分は市販品のレンガ又は、市販品のレンガ形コンクリートブロックとする。
・乾式保護材の材料　※押出成形セメント板　厚さ15mm

2 改質アスファルトシート防水　［3.4.2］［表3.1.1］［表3.4.1～3］

防水改修工法の種類	施工箇所	新規防水層の種別	厚さ(mm)
・M4AS工法		・AS-1　・AS-2　・AS-3	
・M3AS工法 ・P0AS工法		・AS-4　・AS-5　・AS-6	
・M3ASI工法 ・M4ASI工法 ・P0ASI工法		・ASI-1　・ASI-2	

脱気装置　※設けない　・設ける

章	項　目	特　記　事　項
	3 合成高分子系ルーフィングシート防水	［3.5.2］［表3.1.1］［表3.5.1～3］

防水改修工法の種類	施工箇所	新規防水層の種別	仕上げ塗料等	使用分類
・P0S工法		・S-F1　・S-M1	・カラー	※非歩行
・S4S工法		・S-F2　・S-M2	・シルバー	・軽歩行
・S3S工法				
・M4S工法		・S-M1　・S-M2		
・P0SI工法		・SI-F1　・SI-M1		
・S3SI工法		・SI-F2　・SI-M2		
・S4SI工法		・SI-M3		
・M4SI工法				

脱気装置　※設けない　・設ける　［3.5.3］
目地処理　PCコンクリート　［3.5.4］

4 塗膜防水　［3.6.2～4］［表3.1.1］［表3.6.1］

防水改修工法の種類	施工箇所	新規防水層の種別
・P0X工法	屋根	・X-1(絶縁工法)
・L4X工法	屋根	・X-2(密着工法)

既存塗膜防水層表面の仕上げ塗装(L4X工法の場合)　・活膜を残す　［3.2.6］
脱気装置　※設けない　・設ける　［3.6.3］

5 脱気装置　［3.3.2］［3.4.2］［3.5.2］［3.6.2］［表3.1.1］

種類	材質	設置数量
・平面部脱気型	・ポリエチレン樹脂　・ABS樹脂 ・ステンレス　・鋳鉄	・約50㎡当たり1箇所
・立上り部脱気型	・合成ゴム　・塩化ビニル樹脂 ・ステンレス　・銅	・(　)㎡当たり1箇所

6 シーリング　［3.1.4］　［表3.1.2］
・シーリング充填　・シーリング再充填工法　・シーリング打替え
・拡幅シーリング再充填工法　・ブリッジ工法
シーリング材の種類、施工箇所　［3.7.2］　［表3.7.1］
※下表以外は改修標仕表3.7.1を標準とする

施工箇所	シーリング材の種類　(記号)
・打ち継ぎ目地、伸縮目地	・ポリウレタン系(PU-2)(仕上げあり)
・建具廻り、金属取合い	・変成シリコーン系(MS-2)(仕上げなし)
・タイル目地	・ポリサルファイド系(PS-2)

7 とい　［3.8.2］　［表3.8.1］
・配管用鋼管　※カラー硬質塩化ビニル管　・排水用リサイクル硬質塩化ビニル管(REP-VU) G
鋼管製といの防露　［3.8.2］　［表3.8.3］
・次の箇所は行わない(　　)
防露材のホルムアルデヒドの放散量　※F☆☆☆☆　・
掃除口　※有り　・無し　・
ますてどい受金物の取付け　［3.8.3］
・図示

8 アルミニウム製笠木　［3.9.2～3］　［表3.9.1］

種類	呼称肉厚(mm)	製品幅(mm)	固定間隔	備考
・250形	※1.6以上	・240　・250	固定方法及び間隔は品質計画で定めたもの	隅角部及び突き当り部等の役物は本体製造所の仕様による。
・300形	※1.8以上	※300		
・350形	※2.0以上	※350		

板材折曲げ形の取付工法　・図示　［3.9.3］

9 折板葺　(13.3.2～3)

形式	※重ね形　・はぜ締め形　・
形状(mm)	山高(　)　山ピッチ(　)　板厚　・0.6　※0.8
材料(規格等)	※塗装溶融55%アルミニウム-亜鉛めっき鋼板及び鋼帯(GGLCGR-20-AZ150)
軒先面戸板	※有り　・無し
断熱材	・有り(種別：　　厚さ：　mm)　※無し
耐火性能	・30分耐火　※無し

章	項　目	特　記　事　項
④ 外壁改修工事 共通事項	1 施工数量調査	調査範囲　※外壁改修範囲(庇上裏含む)　・図示の範囲　［1.5.2］ 調査内容 ひび割れの幅及び長さを壁面に表示する。　また、ひび割れ部の挙動の有無、漏水の有無及び錆汁の流出の有無を調査する。 モルタル塗仕上げ及びタイル張り仕上げについては浮き部分を表面に表示し、また欠損部の形状寸法等を調査する。コンクリート表面のはがれ及び剥落を壁面に表示する。 塗り仕上げについては、コンクリートまたはモルタル表面の剥がれ及び剥落部を壁面に表示する。また既存塗膜と新規上塗り材との適合性を確認する。 調査報告書の部数　※2部

工事名	松戸市立総合医療センター附属看護専門学校 給排水管改修工事
図面名	特記仕様書　（１）
作成年月日	令和7年2月21日
変更年月日	
縮尺	No Scale
図面番号	A-21
設計	株式会社　山岡設計事務所 千葉県知事登録　第1-2306-2686号 山岡　治 一級建築士大臣登録第272498号
松戸市 街づくり部 建築保全課	

章	項目	特記事項
4 外壁改修工事 共通事項	2 改修材料	・既製調合モルタル 保水率(%) 70.0以上 / 単位容積質量(kg/l) 1.80程度 / 接着強さ(N/?) 標準時 0.60以上 温冷繰り返し後 0.40以上 / 長さ変化率(%) 0.20以上 / 曲げ強さ(N/?) 4.0以上 ・パテ状エポキシ樹脂 初期硬化性(標準) 2.0N/?以上 / 接着強さ(標準) 6.0N/?以上 / 圧縮強さ 50.0N/?以上 / 曲げ強さ 30.0N/?以上 / 硬化収縮率 3.0(%)以上 a.均質で有害と認められる異物の混入がないこと。 b.対象とする被着体を侵さず、かつ、周囲を汚損しないこと。 c.常温・常湿(温度5℃～35℃、湿度15%～85%)において製造所の指定する期間又は製造後6か月間保存した後であっても、上記の品質・性能の各項目に適合していること。 ・可とう性エポキシ樹脂 性能: 常温物性 引張強さ 1.0N/?以上 / 伸び 30.0%以上 / 低温性 1.0N/?以上 / 30.0%以上 / 加熱変化 1.0N/?以上 / 30.0%以上 / 引張接着性 最大引張応力 1.0N/?以上 / 破断時の伸び 10.0%以上 比重 表示値±0.10 押出し性 60秒以下 スランプ 3mm以下 加熱減量 5%以下 a.均質で有害と認められる異物の混入がないこと。 b.対象とする被着体を侵さず、かつ、周囲を汚損しないこと。 c.常温・常湿(温度5℃～35℃、湿度45%～85%)において製造所の指定する期間又は製造後6か月間保存した後であっても、上記の品質・性能の各項目に適合していること。 ・タイル部分張替え工法用材料 接着強さ: 標準 0.60以上 / 低温硬化 0.40以上 / アルカリ温水 0.40以上 / 冷熱水中繰返し 0.40以上 / 熱劣化 0.40以上 強度(N/?) 0.60以上 / 0.40以上 / 0.40以上 / 0.40以上 / 0.40以上 凝集破壊率(%) 75以上 / 50以上 / 50以上 / 50以上 / 50以上 皮膜物性: 標準 / 高温 / 低温 / アルカリ温水 / 熱劣化 引張強さ(N/?) 1.00以上 / 1.00以上 / 1.00以上 / 1.00以上 / 1.00以上 伸び(%) 30以上 / 30以上 / 30以上 / 20以上 / 20以上 貯蔵安定性 容積と粘土に著しい変化がないこと。 耐熱性 JIS A 5548に準じた試験において、80℃で4週間、9.8Nおもりで安定していること。 a.外観は均質で有害と認められる異物の混入がないこと。 b.タイル、石材、下地等侵すものでないこと。 c.「化学物質の審査および製造等の規制に関する法律」に基づく特定化学物質及び「労働安全衛生法」に基づく、「有機溶剤中毒予防規則」に規定された第一種有機溶剤を使用しないこと。 d.常温・常湿(温度20±15℃、湿度65±20%)において製造後6か月保存しても上記の品質性能に適合していること。 e.ずれ抵抗性があること。 f.混練終結時の確認が容易なように色が明瞭であること。 ・エポキシ樹脂モルタル 接着強さ 1.0N/?以上 / 圧縮強さ 20.0N/?以上 / 曲げ強さ 10.0N/?以上 a.こて塗りが容易で、かつ硬化後の仕上りが良好であること。 b.均質で有害と認められる異物の混入がないこと。 c.「労働安全衛生法」に基づく「有機溶剤中毒予防規則」に規定された第1種有機溶剤を使用しないこと。 d.形状に異常が無く、垂れが生じないこと。 e.常温・常湿(温度20±15℃、湿度65±20%)において製造後6か月保存しても上記の品質性能に適合していること。 ・ポリマーセメントモルタル ポリマーセメントモルタルの種類 合成ゴム系、アクリル系、エチレン一酢ビ系等 曲げ強さ(N/?) 6.0以上 / 圧縮強さ(N/?) 20.0以上 / 接着強さ(N/?) 標準時 1.0以上 / 湿潤時 0.8以上 / 低温時 0.5以上 表面状態 垂れの下がり量は5mm以内とし、ひび割れが発生してないこと。 透水性 裏面の漏れ、水滴の付着がないこと。 均質で有害と認められる異物の混入がないこと。 ・ポリマーセメントスラリー 広がり速度(cm/s) 3以上 / 長さ変化率(収縮) 3.0%以下 / 引張接着性(材齢28日) 0.5N/?以上 / 曲げ性能(材齢28日) 5.0N/?以上 / 吸水性(72時間) 15%以下 / 耐久性(劣化曲げ強さ) 6.0N/?以上 保水係数 0.35～0.55 粘調係数 0.50～1.00 ・吸水調整材 項目: 全固形分(%) 表示値±1%以内 / 吸水性(g) 30分で1g以下 / 接着強度(N/?) 0.98以上 / 界面破断率(%) 50%以下 均質で有害と認められる異物の混入がないこと。
4-1 外壁改修工事 コンクリート打放し仕上げ外壁	1 ひび割れ部改修工法	※ 樹脂注入工法 [4.1.4][4.3.4] 注入工法の種類: ひび割れ幅(mm) 0.2以上～1.0未満 / 注入口間隔(mm) ※200～300 / 注入量(ml/m) ※製造所の仕様による / 備考 ※自動式低圧エポキシ樹脂注入工法 ・手動式エポキシ樹脂注入工法: 0.2以上～0.3未満 / ※ 50～100 / ※40 ・ ・機械式エポキシ樹脂注入工法: 0.3以上～0.5未満 / ※100～200 / ※70 ・ 0.5以上～1.0未満 / ※150～250 / ※130 ・ 注入材料 [4.2.2] ※建築補修用注入エポキシ樹脂(JIS A 6024低粘度形又は中粘度形) 検査(コア抜取り) ※行わない [4.3.4] ・行う(抜取り部の補修方法:) ・Uカットシール材充填工法 [4.1.4][4.2.2][4.3.5] 充填材料: 品質・規格等 ※1成分形又は2成分形 ポリウレタン系シーリング材 / 備考 ポリマーセメントモルタル充填 ※行わない ・行う ・シーリング用材料 ・可とう性エポキシ樹脂: JIA A 6024 ・ シール工法 [4.1.4][4.2.2][4.3.6] ・パテ状エポキシ樹脂(JIS A 6024) ・可とう性エポキシ樹脂(JIS A 6024)
	2 欠損部改修工法(鉄筋爆裂補修含む)	・ 充填工法 [4.1.4][4.2.2][4.3.7] ・エポキシ樹脂モルタル(JIS A 6024) ・ポリマーセメントモルタル
	3 浮き部改修工法	・ アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法 [4.1.4][4.4.10] (モルタル笠木・パラペット天端部分)
	4 巾木モルタル塗	・ 樹脂モルタル T3
4-2 外壁改修工事 モルタル塗り仕上げ外壁	1 既存モルタル塗りの撤去	・ 行う(※監督職員の指示による)
	2 ひび割れ部改修工法	・ 既存モルタル撤去工法(範囲は図示 撤去部分の補修は、3.欠損部改修工法による) ※ 樹脂注入工法 [4.1.4][4.4.2][4.4.5] 注入工法の種類: ひび割れ幅(mm) 0.2以上～1.0未満 / 注入口間隔(mm) ※200～300 / 注入量(ml/m) / 備考 ※自動式低圧エポキシ樹脂注入工法 ・手動式エポキシ樹脂注入工法: 0.2以上～0.3未満 / ※50～100 / ※40 ・ 0.3以上～0.5未満 / ※100～200 / ※70 ・ ・機械式エポキシ樹脂注入工法: 0.5以上～1.0未満 / ※150～250 / ※130 ・ 注入材料 [4.2.2] ※建築補修用注入エポキシ樹脂(JIS A 6024低粘度形又は中粘度形) 検査(コア抜取り) ※行わない [4.3.4] ・行う(抜取り部の補修方法:) ・ Uカットシール材充填工法 [4.1.4][4.2.2][4.3.5] 注入工法の種類: 品質・規格等 ※1成分形又は2成分形 ポリウレタン系シーリング材 / 備考 ポリマーセメントモルタルの充填 ※行わない ・行う ・シーリング用材料 ・可とう性エポキシ樹脂: JIA A 6024 ・ 既存塗り仕上げ材の撤去及び補修 [4.2.2][4.6.3] (※シール工法の範囲 ・監督職員の指示による) ・ 既存モルタル面の欠損部 [4.1.4][4.8～9] 改修工法の種類: 材料 / 品質・規格等 ・充填工法: エポキシ樹脂モルタル ・モルタル塗替え工法: 改修標仕4.2.2(7)による / 塗り厚25mmを超える場合の補強 ※行う ・行わない ・図示
	3 欠損部改修工法	
	4 浮き部改修工法	[4.1.4][4.5.9～15][表4.4.3～4] 改修工法の種類(モルタルを撤去しない場合): アンカーピンの本数(本/㎡) 一般部 ※16 / 指定部 ※25 / 注入口の箇所数(箇所/㎡) 一般部 ※狭幅部:5本/m / 指定部 ※狭幅部:5本/m / 充填量 注入量 ※25ml ・アンカーピンニング部分 エポキシ樹脂注入工法 ・アンカーピンニング全面 エポキシ樹脂注入工法: ※13 / ※20 / ※12 / ※20 / ※25ml ※25ml ・アンカーピンニング全面 ポリマーセメントスラリー注入工法: ※13 / ※20 / ※12 / ※20 / ※25ml ※50ml 注入口付アンカーピンニング部分 エポキシ樹脂注入工法: ※9 / ※16 / ※25ml ・注入口付アンカーピンニング全面 エポキシ樹脂注入工法: ※9 / ※16 / ※9 / ※16 / ※25ml ・注入口付アンカーピンニング全面 ポリマーセメントスラリー注入工法: ※9 / ※16 / ※9 / ※16 / ※25ml アンカーピン [4.2.2] 材質 ※ステンレス鋼(SUS304)、呼び径4mmの丸棒で全ネジ切り加工したものとする。 注入口付アンカーピン [4.2.2] 材質 ※ステンレス鋼(SUS304)、呼び径外径6mm程度とする。
	5 巾木モルタル塗	・樹脂モルタル T3
4-3 外壁改修工事 タイル張り仕上げ外壁	1 既存タイル張りの撤去	・外壁タイル張り全面 ・図示の範囲 ・4-1による [4.5.2] 撤去範囲 ※下地モルタルまで ・張り付けモルタルまで ・タイルのみ
	2 ひび割れ部改修工法	改修箇所 ※既存タイル張り面 ・既存タイル撤去面(・コンクリート面 ・モルタル面) ※樹脂注入工法 [4.1.4][4.3.4][4.5.5] ひび割れ幅(mm) 0.2以上～1.0未満 / 注入口間隔(mm) ※200～300 / 注入量(ml/m) ※ / 備考 ※自動式低圧エポキシ樹脂注入工法 ・手動式エポキシ樹脂注入工法: 0.2以上～0.3未満 / ※50～100 / ※40 ・ 0.3以上～0.5未満 / ※100～200 / ※70 ・ ・機械式エポキシ樹脂注入工法: 0.5以上～1.0未満 / ※150～250 / ※120 ・ 注入材料 [4.2.2] ※建築補修用注入エポキシ樹脂(JIS A 6024低粘度形又は中粘度形) 検査(コア抜き取り) ※行わない [4.3.4] ・行う(抜き取り部の補修方法:) ・Uカットシール材充填工法(既存タイル張り撤去部分) [4.1.4][4.2.2][4.3.5～6] 充填材料: 品質・規格等 ※1成分形又は2成分形 ポリウレタン系シーリング材 / 備考 ポリマーセメントモルタルの充填 ※行わない ・行う ・シール材 ・可とう性エポキシ樹脂
	3 欠損部改修工法	・タイル部分張替え工法 [4.1.4][4.2.2][4.5.7] 接着剤の種類: 品質・規格等 ※ポリマーセメントモルタル ・タイル部分張替え工法用接着剤: 「建設省官民連帯共同研究報告書『有機系接着剤を利用した外装タイル・石張りシステムの開発』(建設大臣官房技術調査室監修 平成9年2月)」における「外装タイル・石張り用接着剤の品質基準(案)」に基づく品質性能試験に適合するタイプⅠであり監督職員の承諾するもの又は特記による。
		・タイル張替え工法 [4.1.4][4.5.8] 伸縮調整目地及びひび割れ誘発目地 [4.5.8][表4.5.1] 位置 ※改修標仕表4.5.1による ・図示
4-4 外壁改修工事 塗り仕上げ外壁	1 既存塗装等の撤去及び下地処理	既存塗膜劣化部の除去、下地処理の工法 [4.6.3][表4.6.1～4] 工法: 処理範囲 / 下地面の補修 ・サンダー工法: ※補強範囲 図示 / ・ひび割れ部改修工法 ※高圧水洗工法 加圧力 ※12MPa程度: ※塗替え範囲 図示 / ・浮き部改修工法 ・欠損部改修工法 ・塗膜はく離剤工法: ※既存仕上面全体 ・水洗い工法: ※上記処理範囲以外の既存仕上面全体 塗装はく離剤 [4.2.2]
	2 下地調整材	※下地調整材C-1 (既存リシン面) [4.2.2][4.6.3] ※微弾性フィラー (既存吹付タイル面)
	3 仕上げ塗材仕上げ	種類、仕上げの形状、工法 [4.1.4][4.2.2][表4.2.4] 種類: 呼び名 / 仕上げの形状 ・薄付け仕上塗材: ・外装薄塗材Si / ・可とう形外装薄塗材Si / ・外装薄塗材E ・砂壁状 ・着色骨材砂壁状 / ・可とう形外装薄塗材E ・砂壁状 ・ゆず肌状 ・さざ波状 / ・防水形外装薄塗材E ・ゆず肌状 ・さざ波状 ・凸凹状 / ・外装薄塗材S ・砂壁状 ・複層仕上塗材: ・複層塗材CE ・ゆず肌状 ・凸部処理 ・凸凹模様 / ・可とう形複層塗材CE 耐候性 ※耐候形3種 / ・複層塗材Si ・耐候形1種 / ・複層塗材E 上塗材 / ・複層塗材RE 溶媒 ※水系 ・溶剤系 / ・複層塗材RS 樹脂 ※アクリル系・ウレタン系 / ・防水形複層塗材CE 外観 ※つやあり・つやなし / ・防水形複層塗材E ・メタリック / ・防水形複層塗材RE 防水形の増塗材 ※行う / ・防水形複層塗材RS ・可とう形改修用仕上塗材: ・可とう形改修塗材E ・平たん状 / ・可とう形改修塗材RE ・さざ波状 / ・可とう形改修塗材CE ※ゆず肌状
	4 その他の仕上げ	防火材料の指定が必要な場合 [4.2.2][15.6.2] ※建築基準法に基づく認定を受けた材料とする。 ※仕上塗材・下地調整材は同一メーカーとする。 ・コンクリート打放し保護仕上塗材 ※エスケー化研㈱ セラミクリートTR-Si同等とする ・トップコート 下地調整塗材:シーラー(JIS A6909 建築仕上塗材用下塗材) 使用箇所 :屋上笠木、庇上部等 JIS表示 :JIS A6906 建築用仕上塗材
5 建具改修工事	①改修工法の適用	[5.1.3] 種類: かぶせ工法 / 撤去工法 / 備考 ・アルミニウム製建具: ・有り / ・有り ・鋼製建具 ・外部: ・有り / ・有り / 建具表参照 ・内部 ・鋼製軽量建具 / ・ステンレス製建具 / ・自動ドア開閉装置 / ・重量シャッター: 建具表参照
	2 見本の製作等	・特殊な建具の仮組(建具符号 :) [5.1.5]
	3 アルミ製建具	外部に面する建具 [5.2.2][表5.2.1] 種別: 耐風圧性 / 気密性 / 水密性 / 枠見込み(mm) / 施工箇所 ・A種: S-4 / ※A-3 / ※W-4 / ※70 / ・図示 ・B種: S-5 / ・ / ・ / ・100 ・C種: S-6 / A-4 / W-5 / 100

章	項目	特記事項
		表面処理 [5.2.4][表5.2.2] ・BA-1種 ・BA-2種(※ブラウン系 ・ブラック ・ステンカラー) 屋内建具 表面処理 ※AC-1種又はBC-1種 [5.2.4][表5.2.2] ・AC-2種又はBC-2種(※ブラウン系 ・ブラック ・ステンカラー)
	4 網戸	防虫網 [5.2.3] 網の種別 ・ガラス繊維入り合成樹脂製 ・合成樹脂製 ※ステンレス(SUS316)製 形 式 ・外部可動式 ※固定式
	⑤鋼製建具	簡易気密型ドアセットの適用は建具表による [5.4.2][表5.4.1] 耐風圧性能の適用は建具表による 特定防火設備戸 ・適用する [5.4.4] ・建具表による
	6 鋼製軽量建具	簡易気密型ドアセットの適用は建具表による [5.5.2][表5.5.1～2] ・建具表による
	7 ステンレス製建具	簡易気密型ドアセットの適用は特記による [5.6.2] 耐風圧性能の適用は建具表による 表面仕上げ ※HL仕上げ ・鏡面仕上げ [5.6.4] 曲げ加工 ※普通曲げ ・角出し曲げ(補強有り) [5.6.5] 防火戸 ・適用する [5.1.4]
	8 自動ドア開閉装置	※製造所標準製作の規定寸法許容差による [5.8.2～4][表5.8.1～5] 開閉方法: 検出装置の種類 ※引き戸 ・光線(反射)センサー ・熱線センサー ・多機能トイレ出入口引き戸 ・音波センサー ・光電センサー ・タッチスイッチ ・押しボタンスイッチ ・多機能トイレスイッチ ・凍結防止装置(適用箇所は建具表による)
	9 自閉式上吊り引戸装置	品質規格 ※改修標仕5.9.3による。 [5.9.3][表5.9.1] ・製造所標準仕様による。
	10 木製建具	※建具表による。 かまち戸の樹種 かまち( ) 鏡板( ) (16.7.2)(表16.7.2) ふすまの上張り ※新鳥の子程度又はビニル紙程度(押入れ等の裏面は除く) (表16.7.3) ・鳥の子 建物内部の木製建具に使用する表面材及び接着剤のホルムアルデヒドの放散量 (16.7.2) ※F☆☆☆☆ ・非ホルムアルデヒド系接着剤
	11 建具用金物	マスターキー ・製作する ※製作しない [5.7.4] 建具用金物 [5.7.2][表5.7.1～3] 錠類はシリンダー箱錠(レバーハンドル)とする。 なお、錠前類は建具製作所の指定するものとし、監督職員の承諾を受ける。 吊金物 ・丁番(内部建具については、軸を鉄芯としてもよい) ・ピボットヒンジ ・建具表による
	12 ガラス	※建具表による [5.13.2] ・ガラスブロック 改修標仕5.13.5 [5.13.5] 寸法(mm): 色調 ※クリア ・熱線反射 ・乳白 ・カラー( ) / パターン / 防火認定 ※無し ・有り
	13 ガラス留め材及び溝	ガラス留め材 [5.13.2～3] 建具の種類: 種類 アルミニウム製: ※シーリング材 ・ガスケット(FIX部はシーリング材) 鋼製及び鋼製軽量: ※シーリング材 ステンレス製: ※シーリング材 防火戸のガラス留め材は建築基準法に基づく防火性能認定品とする。 ・耐火シーリング材(トップライト部ガラス留め材)
	14 ガラス用フィルム	名称: 種類: 張り面: 性能値 ※ガラス飛散防止フィルム: 第2種: ※内張り ・外張り: 飛散防止率 D1 ・目かくしフィルム 品質JIS A 5759による
	15 重量シャッター	[5.10.2][表5.10.1] シャッターの種類 ・一般重量シャッター 耐風圧性能( )N/㎡ ・外壁用防火シャッター 耐風圧性能( )N/㎡ ・屋内用防火シャッター ・屋内用防煙シャッター 品質JIS A 4705による 開閉機能 ※上部電動式(手動併用) ・上部手動式 危害防止機構 ※障害物感知装置(自動閉鎖型) [5.10.2] ・シャッターの二段降下方式 一般重量シャッターのシャッターケース ※設ける ・設けない [5.10.2]
	16 軽量シャッター	[5.11.2][表5.10.1] 開閉形式 ※手動式 ・上部電動式(手動併用) スラット 材質 ※塗装溶融亜鉛めっき鋼板 [5.11.3] 形状 ※インターロッキング形 ・オーバーラッピング形 [5.11.4] ガイドレール等 [表5.10.2] ※鋼製 ・ステンレス製SUS304(厚さ1.5mm) 耐風圧性能( )N/㎡

工事名	松戸市立総合医療センター附属看護専門学校 給排水管改修工事
図面名	特記仕様書 (2)
作成年月日	令和7年2月21日
変更年月日	
縮尺	No Scale
図面番号	A-22
設計	株式会社 山岡設計事務所 千葉県知事登録 第1-2306-2686号 山岡 治 一級建築士大臣登録第272498号
	松戸市 街づくり部 建築保全課

5 建具改修工事

17 オーバーヘッドドア

[5.12.2～5][表5.12.1～2]

セクション材料による区分	開閉方式	収納形式	ガイドレールの材質
※スチールタイプ ・アルミニウムタイプ ・ファイバーグラスタイプ	※バランス式 ・チェーン式 ・電動式	・スタンダード形 ・ローヘッド形 ・ハイリフト形 ・バーチカル形	※溶融亜鉛めっき鋼板 ・ステンレス鋼板 (SUS304)

耐風圧性能(　　)N/㎡　JIS A 4715

18 かぎ箱

市販品
形　式　・30組用　・60組用　・120組用　・

⑥ 内装改修工事

① 改修範囲

[6.1.3]

既存壁の撤去に伴う当該壁の取合う天井、壁、床の改修範囲
※壁厚程度とし、既存仕上げに準じた仕上げを行う。
⊙図示の範囲

天井内の既存壁の撤去に伴う当該壁の取合う天井の改修範囲
※壁面より両側600mm程度とし、既存仕上げに準じた仕上げを行う。
⊙図示の範囲

天井の撤去に伴う取合部の壁面の改修
※既存のまま。
⊙図示の範囲

② 既存床の撤去並びに下地補修

[6.2.2]

ビニル床シート等の除去　◯仕上げ材のみ(接着剤とも)
・モルタル下地とも(※図示の範囲　・除去範囲全て)
カラードフロアの撤去　・機械的除去工法　・目荒し工法
改修後の床の清掃範囲　※改修箇所の案内　・

③ 既存壁の撤去並びに下地補修

[6.3.2][4.4.9]

間仕切り壁撤去に伴う他の構造体の補修
⊙図示
・モルタル塗り(塗厚25mmを超える場合の補強　※行う　・行わない)

4 木下地等 (AP-1、2)

[6.5.2][表6.5.2～3]

木材の品質　図示
※改修標準仕様書6.5.2による　・市販品
代用樹種　※改修標仕表6.5.4による　[6.5.2][表6.5.4]
・代用樹種を適用しない箇所(　　)
保存処理木材を適用する箇所(　　)

5 集成材等 G (額縁等)

[6.5.2]

品　名	規格・品質	芯材の種類	化粧単板の樹種
※集成材	※一般材	・米栂　・なら　・しおじ	
・構造用集成材	・1種 ※2種 ・3種	・	
・造作用集成材	※1等 ・2等	・タモ	
・化粧ばり造作用集成材	※1等 ・2等	・	・

ホルムアルデヒドの放散量　※F☆☆☆☆　・

⑥ 接着剤

[6.5.3]

※F☆☆☆☆
・非ホルムアルデヒド系接着剤

7 防腐、防蟻処理

[6.5.5]

行う箇所(　　)
防腐処理　※行う(※図示　　)
防蟻処理　・行う(※図示　　)
防腐、防蟻処理の種類、品質
表面処理用木材保存剤(防腐・防蟻剤)は監督職員の承諾するものとする。

8 床板張り

[6.5.8][6.11.2][表6.5.10]

下張り用床板	※無し		
	・有り	※合　板	t12mm
		・パーティクルボード	t15mm
床板	※単層フローリング		ホルムアルデヒドの放散量
	(表5.2.1による)		※F☆☆☆☆　・
	・縁甲板		※ひのき

⑨ 軽量鉄骨天井下地

[6.6.2] [表6.6.1～2]

野縁等の種類
屋外(・19形 ※25形)　屋内(※19形　・25形　※角スタッド工法 65形)
既存の埋込みインサート　◯使用する ※使用しない　[6.6.4]
あと施工アンカーの確認試験　・行う ※行わない
◯図示

⑩ 軽量鉄骨壁下地

スタッドの高さが5mを超える場合　※図示　[6.7.3] [表6.7.1]

⑪ ビニル床シート張り

[6.8.2]

種　類	JISの記号	色　柄	厚さ(mm)
※発砲層のないもの	※NC　・	※無地　・マーブル柄	※2.5
・発砲層のあるもの		※柄物　・無地	
・防滑性ビニル床シート	・NF　・NC	・柄物　・無地	・2.5
⊙**防汚性ビニルシート**			・2.0

工法　※熱溶接工法　・突付け(施工箇所:　　)　[6.8.3]
・防滑性ビニルシート：右記同等品とする。　ロンシール工業㈱　ロンレイドAS　t=2.5
タキロンシーアイ㈱　ネオセーフ　t=2.5
⊙**防汚性ビニルシート：右記同等品とする。**　ロンシール工業㈱　サニタリウム　t=2.0
タキロンシーアイ㈱　ネオクリーン　t=2.0
東リ㈱　消臭ＮＳトワレNW　t=2.0
接着剤のホルムアルデヒド放散量 JIS A 5536　※F☆☆☆☆　・

東リ㈱　消臭ＮＳトワレNW　t=[5.8.2]

12 ビニル床タイル張り

種　類	JISの記号	厚さ(mm)	備　考
※コンポジションビニル床タイル(半硬質)	CT	※2	
・コンポジションビニル床タイル(軟質)	CTS		
・ホモジニアスビニル床タイル	HT		

接着剤のホルムアルデヒド放散量 JIS A 5536　※F☆☆☆☆　・

13 帯電防止床タイル張り

[6.8.2]

種　類	厚さ(mm)	性　能
※コンポジションビニル床タイル	※2　・	体積抵抗値(JIS K 6911による)
・ホモジニアスビニル床タイル	4.0又は4.5	1.0×10⁷Ω以下、または、
		漏洩抵抗値(JIS A 1454による)
		1.0×10¹⁰Ω未満

接着剤のホルムアルデヒド放散量 JIS A 5536　※F☆☆☆☆　・

14 視覚障害者用床タイル (誘導用及び注意喚起用床材)

[6.8.2]

ブロックパターンはJIS T 9251による
色彩は黄色を原則とする。
屋内　※塩化ビニル製　・磁器又は石器質タイル(※300　・　　)
・レンジコンクリート製
屋外　※レンジコンクリート製　・磁器又は石器質タイル(※300　・　　)
接着剤のホルムアルデヒド放散量 JIS A 5536　※F☆☆☆☆　・

⑮ ビニル幅木

[6.8.2]

高さ　(mm)　⊙60　・75　・100
接着剤のホルムアルデヒド放散量 JIS A 5536　※F☆☆☆☆　・

16 合成樹脂塗床

[6.10.2～3][表6.10.1～8]

種　類	仕上の種類
・弾性ウレタン樹脂系塗床材	※平滑仕上げ　・防滑仕上げ　・つや消し仕上げ
・エポキシ樹脂系塗床材	・薄膜流しのべ工法(※平滑　・防滑)
	・厚膜流しのべ工法(※平滑　・防滑)
	・樹脂モルタル工法(※平滑　・防滑)
	・薄膜型塗床工法(※平滑)

ホルムアルデヒド放散量 JIS K 5970　※F☆☆☆☆　・

17 フローリング張り

[6.11.2～7][表6.11.1～6]

種　別	材　種	工　法	仕上塗装等	備考
・天然木化粧複合フローリング	※なら	※直張り工法(C種)	※塗装品	
・大型積層フローリング	・ガバ	・特殊張り(体育館床)	※無塗装品	
・単層フローリング	・ブナ	・特殊張り(体育館床)	※無塗装品	
	・ガバ	・モルタル埋め込み	・塗装品	
・フローリングブロック	・ブナ	・直張り	※塗装品	

ホルムアルデヒド放散量　※F☆☆☆☆　・

18 畳敷き

[6.12.2～3][表6.12.1]

下地の種類	畳の種別
改修標仕 表6.5.10による床組	※B種　・
ポリスチレンフォーム床下地	※C種　・

19 ポリスチレンフォーム床下地材

畳下地　厚さ(mm)　※40　・65　・80
フローリング類　厚さ(mm)　※80　・95

20 カーペット敷き

・繊じゅうたん　[6.9.2～3][表6.9.1～2]

種　別	パイル糸の種類	帯電性	色柄等	備考
・A種	・そ毛糸	人体帯電圧	※無地	
・B種	・紡毛糸	※3kV以下	・柄物(標準品)	
・C種	・紡毛糸			

帯電性(JIS L 1021-16)　※人体帯電圧値3kV以下　・

・タフテッドカーペット(JIS L 4405)　[6.9.2～3][表6.9.1～2]

パイル形状	パイル長(mm)	工　法	備考
・カットパイル	※5～7　・	※全面接着工法	
	※4～6　・	・グリッパー工法	
・レベルループパイル	※4　・		
・カット、ループ併用			

帯電性(JIS L 1021-16)　※人体帯電圧値3kV以下　・

・タイルカーペット　[6.9.2～3][表6.9.1～2]

パイル形状	種　類	規　格	総厚さ(mm)	備　考
※ループパイル	※第一種	※500×500	※6.5	
	・第二種			
・カットパイル				
・カット、ループ併用				

帯電性(JIS L 1021-16)　※人体帯電圧値3kV以下(フリーアクセスフロア新設範囲)

㉑ 石膏ボードその他のボード張り

[6.13.2][表6.13.1]

種　類	厚さ(mm)　規格
・硬質木毛セメント板 G	・15　・20　・25　・
・普通木毛セメント板 G	・15　・20　・25　・
・ケイ酸カルシウム板	・4　・5　・6　・8　・9　・10　・12
・ロックウール化粧吸音板	※フラットタイプ (※9(不燃)　・12　・　) ・凸凹タイプ (※12(不燃)　・15　・19　・　)
・ロックウール化粧吸音板 (軒天井用)	※フラットタイプ9(不燃) ・凸凹タイプ(※12　・15)(不燃)
⊙せっこうボード	・12.5(不燃) ⊙9.5(準不燃)
・不燃積層せっこうボード	9.5(不燃)　・化粧無(下地張り用) ・化粧有(トラバーチン模様)
・シージングせっこうボード	・12.5(不燃)　・9.5(不燃)
・強化せっこうボード	・12.5(不燃)　・21.0(不燃)
・せっこうラスボード	・9.5　・12.5
⊙化粧せっこうボード	⊙9.5(準不燃)　⊙12.5
・化粧せっこうボード(木目)	・12.5(不燃)幅440mm程度 模様(※柾目　・板目)専用下地材付き
・難燃合板 G	・生地、透明塗料塗り(ラワン合板程度) ・不透明塗料塗り(ラワン合板程度)厚さ・12
・メラミン樹脂化粧板	JIS K 6903による　厚さ　・4.0
・ミディアムデンシティファイバーボード G	・3　・7　・9　・12　・
・単板張りパーティクルボード G	・無研磨板(・スタンダード　・テンパード) ・10　・12　・15　・18　・
・ハードボーイ(素地) G ※規制対象外　・第三種	・無研磨板(・スタンダード　・テンパード) ・研磨板　(・スタンダード　・テンパード)
・インシュレーションボード G	A級(・天井仕上　・内装仕上　・　) ・9　・12　・15　・18　・
・フレキシブル板	厚さ　・5.0
・(有孔)シナ合板	厚さ　・5.0　・9.0
⊙構造用合板(機器取付下地)	厚さ　⊙6

合板類、繊維板及びパーティクルボードのホルムアルデヒド放散量　※F☆☆☆☆　・
軽量鉄骨下地ボード遮音壁の遮音シール材
・適用する　※適用しない

22 吸音材

[表6.13.1]

種　類	規格番号	厚さ(mm)
・ロックウール吸音ボード1号	JIS A 6301	※25　・
※グラスウール吸音ボード32K	JIS A 6301	※25　・

23 壁紙張り (掲示用クロス)

[6.14.2]

施工箇所	壁紙の種類 紙	繊維(繊物)	プラ(ビニル)	その他(化学繊維)	紙	防火性能	備　考
						・不燃　・準不燃　・難燃	
						・不燃　・準不燃　・難燃	
						・不燃　・準不燃　・難燃	
						・不燃　・準不燃　・難燃	

下地調整　[6.14.3][表7.2.4][表7.2.7]
モルタル、プラスター面　※RB種　・RA種(施工箇所:　　)
せっこうボード面　※RB種　・RA種(施工箇所:　　)
壁紙のホルムアルデヒドの放散量 F☆☆☆☆　[6.14.2]
サンゲツ・リリカラー製品同等品とする。

24 モルタル塗り

吸水調整材　[6.15.3]

全固形分(%)	吸水量(g)	接着強度(N/?)	界面破断率(%)
表示値±1.0%以内	30分間で1g以下	1.0以上	50以下

均質で有害と認められる異物の混入がないこと。
防水剤(防水モルタル塗りの混入剤)
防水剤の種類　建築用モルタルに用いるセメント防水剤

混合割合	凝結時間		曲げ及び圧縮強度比	吸水比	透水比
セメント質量の5%	JIS R 5201の試験において		70%以上	95%以上	80%以上
以下	始発	1時間以上			
	終結	10時間以内			

膨張性のひび割れ及びそりがないこと。
既製目地材　※適用しない　・適用する

25 タイル張り

タイルの種類　[6.16.3]

施工箇所	形状寸法	きじ 磁器	きじ 石器	きじ 陶器	うわぐすり 施ゆう	うわぐすり 無ゆう	役物 有り	役物 無し	色 標準	色 特注	再生材の適用 G	備考

・　汚垂タイル　t6　TOTOハイドロセラ・フロアPU薄型問等品
役物：標準的な曲がりの役物は一体成形とする。
タイルの見本焼き　※行わない　・行う(※外装タイル　・　　)
内装タイル　※内装タイル接着剤張り　JIS A 5548 有機系接着剤
接着剤のホルムアルデヒド　※F☆☆☆☆　・

26 セルフレベリング材塗り

セルフレベリング材の種類　[6.17.2][表6.17.1]

種類	フロー値(cm)	凝結時間 始発(分)	凝結時間 終結(時間)	圧縮強度(N/?)	下地接着強度(N/?)	表面接着強度(N/?)	長さ変化(%)	衝　撃	備　考
せっこう系	19以上	45以上	20以上	15以上	0.5以上	0.4以上	0.05以下	割れ及び	
セメント系				20以上	0.7以上	0.5以上	0.12以下	剥がれないこと	

試験方法：日本建築学会品質規準JASS 15 M-103による。

27 断熱材

(19.9.2～3)

種類		施工箇所	厚さ(mm)	品質等
・押出法ポリスチレンフォーム保温板	※2種b	※一般部	※25	特定フロンを使用しないもの
	※3種b(スキン層付)	・接地部分	※25	
・現場発泡断熱材		※断熱材補修部分	――	特定フロンを使用しないもの 難燃性※3級　・2級
		・一般部	※25	

JIS A 9521に基づく発砲プラスチック
断熱材及び接着剤のホルムアルデヒド放散量は、F☆☆☆☆とする。

28 浴室天井材

市販品

材　質	表面仕上げ	性能	幅(mm)	
※アルミニウム製	※焼付け塗装品	・準不燃品	※200	廻縁は樋付きとし製造所の標準品とする。
	・アルマイト処理品		・100	
・硬質塩ビ製	・塗装品		※300	
	・木目調		・100	

29 フリーアクセスフロア

(20.2.2)

施工箇所	構　法	仕上り高(mm)	適用地震時水平力	耐荷重性能	表面仕上げ材	備考
	・パネル構法 ・溝構法		・1.0 G ・0.6 G	・3,000 G ・5,000 G	・帯電防止床タイル ・タイルカーペット	
	・パネル構法 ・溝構法		・1.0 G ・0.6 G	・3,000 G ・5,000 G	・帯電防止床タイル ・タイルカーペット	
	・パネル構法 ・溝構法		・1.0 G ・0.6 G	・3,000 G ・5,000 G	・帯電防止床タイル ・タイルカーペット	

5,000Nについては、平成元年建設省告示第1322号「耐震型フリーアクセスフロアの開発」の建設技術評価において評価を取得したもの又は同等品とする。
表面仕上げ材の品質・規格等は各内装工事による。
スロープ及びボーダー　※製造所の標準仕様　・図示
コンセント等の取付対応　※製造所の標準仕様　(コンセント本体は別途設備工事)
コンセントの箇所数は図示
配線用取出し開口：パネル1枚につき40mm×80mm程度の開口1箇所以上
フリーアクセスフロア全体面積に対する設置割合
※20～30パーセント　・
空調用吹き出しパネル　※無し
・有り(※固定式　・可変式　：施工箇所は図示)

30 可動間仕切

(20.2.3)

構造形式	パネル部の総厚さ(mm)	表面材種厚さ(mm)	表面仕上げ	遮音性能	防火性能
・スタッド式		※鋼板	※メラミン樹脂又は	・有り	・有り
・スタッドパネル式		(※0.6　・0.8)	アクリル樹脂焼付(　)	・無し	・無し
・パネル式		・	・	・無し	

遮音性能はJIS A 6512の遮音試験に準拠する。
ホルムアルデヒド放散量　※F☆☆☆☆　・

31 移動間仕切

(20.2.4)

遮音性能	厚さ(mm)	表面材	表面仕上げ	操作方法
一般タイプ		※鋼板	・焼付塗装 ・壁紙張り	・手動式　・電動式 ・部分電動式
・遮音タイプ(36db以上)		※鋼板	・焼付塗装 ・壁紙張り	・手動式　・電動式 ・部分電動式

表面仕上げの壁紙張りの品質は「23壁紙張り」による。

32 トイレブース

表面仕上げ材　※メラミン樹脂系化粧板 t40(アルミ製コーナーエッジ付き　指詰め防止)　(20.2.5)
※紙巻器設置位置については下地補強を行うこと。
・特殊UV塗装硬質セメント板(標準色　アルミ製コーナーエッジ(ステンカラー)付き)
笠　木　※アルミ製　・ステンレス製
足形状　※幅木タイプ(ステンレス製)　・足金物タイプ
※防水型(ステンレス巻き)

33 階段滑り止め

材　種　ステンレスSUS304　(20.2.6)
形　状　ピルタイヤ入り
両端フラットエンド　※有り(・ステンレス製　※ビニル製)　・無し
幅(mm)　約35
取付工法　※接着工法　・埋込工法

34 手すり

種　別	施工箇所
※笠木受け：アルミ押出形材 笠木：半硬質耐候製樹脂 二層成形φ40mm	図示による(機械設備)

35 黒板及びホワイトボード

(20.2.8)

種　類	寸　法(mm)	色　彩	備　考
・黒板	※焼付	※緑　・黒	・平面　※曲面
・ホワイトボード	※ほうろう	※白	※平面　・曲面

36 表示

衝突防止表示　・図示(市販品　・ステンレス製　径約30mm　・　　)　(20.2.10)
(　・両面　・片面　)
・無し
表示標識　案内用図記号についてはJIS Z 8210による。
誘導標識、非常用進入口表示等は市販品とし、その他は共通詳細図による。
製造所　監督職員の承諾する製造所。

37 ブラインド

・既存再使用する(養生方法:　　)　[2.3.1][5.1.6]
・新設する　(20.2.12)

形　式	種　類	スラットの材質	スラットの幅(mm)
※横形	※ギヤ式　・コード式 ・操作棒式	※アルミニウム合金製	※25
・縦形	・1本操作コード	・アルミスラット	・80
	※2本操作コード	・クロススラット	・100

38 ロールスクリーン

防炎性能　※有り
製造所　性能の確認できる資料を監督職員に提出する　(20.2.13)

施工箇所	装　置 電動	装　置 手引	性　能 防炎性能	備　考

39 カーテン(暗幕、緞帳等)

・既存再使用する(養生方法：取外し再取付)　[2.3.1][5.1.6]
・新設する　(20.2.14)

施工箇所	形　式 片引	形　式 引分	装　置 電動	装　置 ひも引	装　置 手引	ひだの種類	性　能	備　考
						片ひだ	遮光	防炎仕様

40 カーテンレール

・既存再使用する　[5.1.6]
・新設する　(20.2.14)
材　種　JIS A 4802・アルミニウム製　※ステンレス製
形　式　・片引き　・引分け(※暗幕用は300mm以上の召合せの重ね掛けとする)

41 カーテンボックス及びブラインドボックス

※既存再使用する。　[5.1.6]
・新設する。
・市販品(アルミニウム製)
溝幅×深さ(mm)　・90×150　※120×150　・150×80　・
色　彩　※B-1　・B-2(※ブラウン　・ブラック　・ステンレスカラー)
※図示

㊶ 天井点検口

材　質　⊙アルミニウム製 ⊙額縁タイプ　・目地タイプ)　・既存取外し、再取付

42 床点検口

材　質　・アルミニウム製(受け枠　※アルミ製　・ステンレス製)
・ステンレス製(受け枠　・ステンレス製(防水、防臭型))

43 鋼製書架及び物品棚

種　類	規格等	耐荷重による種類

44 流し台ユニット

種　類	寸法(L=　mm)	適用内容	規格・品質等
・流し台	・900　・1200　・1500	・トラップ付き	
・コンロ台	・600　・700	・バックガード　・有り	
・吊り戸棚	・1200　・900　・600		
・水切り棚	・1200　・900	・トラップ付き	
・作業台	・900　・1200　・1500		

45 屋内掲示板

枠の材質　※アルミニウム製
表面の材質　※塩ビ発砲シート張り　・

㊻ ライニング天板

材　種　⊙メラミンポストフォームt19　・人工大理石
奥行き(mm)　※図示

47 家具(流し台・棚)

材質　・メラミン樹脂系化粧板　・SUS製　(12.2.2)(19.7.2)
形状、寸法　※図示
合板類、MDF及びパーティクルボードのホルムアルデヒドの放散量　※F☆☆☆☆　・

49 室名札等

・突出し型　金具：ｱﾙﾐ型材、ｹｰｽ：ﾎﾟﾘｶｰﾎﾞﾈｰﾄ樹脂、文字：ｼﾙｸ印刷、ｻｲｽﾞ：270×80H　(　　箇所)
・平付け型　金具：ｱﾙﾐ型材、ｹｰｽ：ﾎﾟﾘｶｰﾎﾞﾈｰﾄ樹脂、文字：ｼﾙｸ印刷、ｻｲｽﾞ：270×80H　(5 箇所)
・ピクトサイン　材質：ｱﾙﾐ　ｱﾙﾏｲﾄｼﾙﾊﾞｰ、給柄：ｼﾙｸ印刷、ｻｲｽﾞ：200×200　(　　箇所)
※ピクトサイン　消防庁に確認取れ次第反映
・階数表示　材質：ｽﾃﾝﾚｽ　ﾍｱﾗｲﾝ、文字：ｼﾙｸ印刷、ｻｲｽﾞ150×150　(　　箇所)

50 鋼製床下地(体育館用)

部材規格　大引き、根太鋼：※JIS G 3302(溶融亜鉛めっき鋼板、亜鉛付着量Z12以上)
U字金具、支持台：※JIS G 3302SGHCと同等以上(亜鉛付着量Z12以上)
緩衝材：※JIS K 6385(A種防振ゴム)
※三洋工業㈱ スリーベース101タイプ同等品とする。

51 アルミ製移動階段

・セノー㈱　HE9724(アルミ合金製、アルマイト処理焼付塗装)同等品とする。

52 救助袋

・垂直式　○階用

53 シャワー

・図示

54 キッチン

・図示

55 乾式二重床

・図示

工事名	松戸市立総合医療センター附属看護専門学校給排水管改修工事		
図面名	特記仕様書（３）		
作成年月日	令和7年2月21日	変更年月日	
縮　尺	No Scale	図面番号	A-23
設　計	株式会社　山岡設計事務所 千葉県知事登録　第1-2306-2686号 山岡　治 一級建築士大臣登録第272498号		

松戸市 街づくり部 建築保全課

⑦塗装改修工事

①材料

塗膜は、耐久性、耐火性等に対する有害な欠陥がないこと。 [7.1.2～3]
屋内で使用する場合のホルムアルデヒド放散量 ※F☆☆☆ ・
改修部に石綿、鉛等の有害物質を含む材料が使用されていることが発見された場合は監督職員と協議する。 [7.1.8]

②下地調整

[7.2.2～7][表7.2.1～7]

下地面の種類	下地調整の種別	備 考
木部	・RA種 ※RB種	新規面はRA種
鉄鋼面	・RA種 ※RB種	
亜鉛めっき鋼面	・RA種 ※RB種	
モルタル、プラスター面	・RA種 ※RB種	
コンクリート、ALC及び押出成形	・RA種 ※RB種	
セメント板面	・RA種 ※RB種	
せっこうボード、その他ボード面	・RA種 ※RB種	

既存下地面等のひび割れ部補修 [表7.2.5～6]
※行う ・行わない
※錆止め JIS K 5674

③合成樹脂調合ペイント塗り(SOP)

[7.4.3][表7.4.1]

下地の種類	新規塗りの種別	塗り替えの種別	備 考
木部	・A種 ※B種	※B種	下塗りJASS 18 M-304
			中塗り及び上塗りJIS K 5516
鉄鋼面	・A種 ※B種	※B種	穴埋め及びパテかいJASS 18 M-110
			中塗り及び上塗りJIS K 5516

4 鉄鋼面耐候性塗料塗り(DP)

[7.8.2～4][表7.8.1～3]

下地の種類	新規塗りの種別	塗り替えの種別	備 考
鉄面	※A種 ・B種	・A種 ※B種	JIS K 5659
亜鉛めっき面	※A種 ・B種	・A種 ※B種	JIS K 5659
コンクリート、押出成形セメント板面	※A種 ・B種	・A種 ※B種	JIS K 5658

下塗りJASS 18 M-109

⑤つや有合成樹脂エマルションペイント塗り(EP-G)

[7.9.2][表7.9.1]
新規の塗りの種別 ・A種 ※B種
塗替えの種別 ・A種 ※B種
下塗りJIS K 5663 中塗り及び上塗りJIS K 5660

6 合成樹脂エマルションペイント塗り(EP)

[7.10.2][表7.10.1]
新規の塗りの種別 ・A種 ※B種
下塗り、中塗り及び上塗りJIS K 5663

7 合成樹脂エマルション模様塗料塗り(EP-T)

[7.11.2][表7.11.1]
新規の塗りの種別 ・A種 ※B種
塗替えの場合

既存塗膜	下地調整	種別
合成樹脂エマルション模様塗り	※RB種	※A種
	・RC種	※C-3種
平滑な塗料塗り	※RB種	・A種 ・B種
	・RC種	・C-1種 ・C-2種

下塗り、中塗り及び上塗りJIS K 5663

8 ウレタン樹脂ワニス塗り(UC)

[7.12.2][表7.12.1]
・A種 ※B種
1液形JASS 18 M-301 2液形JASS 18 M-502

⑨オイルステイン塗り(OS)

[7.13.2][表7.13.1]
ワトコオイル製品同等品とする。

10 木材保護塗料塗り(WP)

[7.14.2][表7.14.1]
・A種 ※B種
JASS 18 M-307

11 ポリウレタン樹脂塗装(2-UC)

フローリングブロック面の塗り種別 ・A種 ※B種

8 耐震改修工事

『耐震補強工事構造特記仕様書』による。

⑨環境配慮(グリーン)改修工事

1 一般事項

アスベスト含有吹付け材の処理工事の方法 [9.1.3]
・封じ込め処理 ・囲い込み処理除去工法 ・除去工法
アスベスト含有建材除去後の仕上げ工事 ・図示
分析によるアスベスト(ｱｸﾁﾉﾗｲﾄ、ｱﾓｻｲﾄ、ｱﾝｿﾌｨﾗｲﾄ、ｸﾘｿﾀｲﾙ、ｸﾛｼﾝﾄﾞﾗｲﾄ、ﾄﾚﾓﾗｲﾄ)含有の調査
・行う(下表による) ・行わない

材料名	調査方法	1材料あたりの試料数
	・JIS A 1481による	※3

2 アスベスト含有吹付け材囲い込み工事

吹付アスベストの施工数量調査を行う。

アスベスト粉塵濃度測定 ※行う

測定時期及び場所等については下表による。

測定時期	測定場所	測定点数(各処理作業室毎)	備 考
処理作業前	処理作業室内	2又は3点	
	施工区画周辺又は敷地境界	2点	全工区共通
処理作業中	処理作業室内	2点	
	セキュリティゾーン入口	1点	空気の流れを確認
	負圧・除塵装置の排出口(処理作業室外の場合) 施工区画周辺又は敷地境界	1点 4方向各1点	除塵装置の性能確認
処理作業後	処理作業室内	2点	
(隔離シート撤去前)	施工区画周辺又は敷地境界	4方向各1点	全工区共通

(注)処理作業室の面積が50㎡以下の場合は2点、300㎡までは3点とする。300㎡を超えるような場合は、監督員と協議する。
処理作業室内の養生完了後、第二種電気工事士による電気設備等の取外しを行う。

3 アスベスト含有吹付け材囲い込み工事

建築技術審査証明書を受けている工法および同等と認められる工法とする。なお、飛散防止処理工法の種別は除去処理工事である。
除去処理等によって生じた廃アスベスト等については特別産業廃棄物として適正に処理する。
アスベスト除去処理工事を適切に行う為、石綿作業主任者を配置する。(専任)
石綿作業主任者は石綿作業主任者技能講習者、又は平成18年3月以前の特定化学物質等作業主任者の有資格者とする。
廃アスベスト等適切に処理する為特別管理産業廃棄物管理責任者の資格を有する者を配置する。(専任)
アスベスト粉塵濃度測定を行う機関は、都道府県労働局に登録されている作業環境測定機関とする。
更に、アスベスト粉塵濃度測定における計数分析は作業環境測定士によるものとする。
関係官公署に届出を行う。 ・大気汚染防止法に関する届出 松戸市環境保全課
・労働安全衛生法に関する届出 柏労働基準監督署
本工事において大気汚染防止法、廃棄物の処理及び清掃に関する法律、労働安全衛生法、石綿障害予防規則等、石綿処理に関する諸法令を遵守すること。

軽鉄天井下地は、吊りボルトを使わないタイプ(核スタッド工法 65形@300)とし、既存天井面には触れない。
関係官公署に届出を行う。 ・大気汚染防止法に関する届出 松戸市環境保全課
・労働安全衛生法に関する届出 柏労働基準監督署
養生は作業範囲内壁面に垂直養生を行い、床面も水平養生を行う。
アスベスト粉塵濃度測定は工事着工前と竣工時に行い、内部点を実施する。外部については、2点を実施する。
―内部測定点内訳―
〈1階： 点、2階： 点、3階： 点〉
詳細納まり及び測定点については、監督職員と協議し決定すること。

4 アスベスト成形板の処理工事

処理を行うアスベスト成形板の仕様等 ・仕上表による [9.1.5]

材料名	厚さ(mm)	処理を行う範囲

施工調査
アスベスト成形板の撤去にあたり、あらかじめ事前の施工調査を次の事項について行う。
調査結果は図面により記録し、監督職員に提出する。
(1)アスベスト成形板使用部位の確認。
(2)アスベスト成形板の種別、厚さ等の確認。
(3)アスベスト成形板使用数量の確認。

⑤アスベスト含有仕上塗材の除去

アスベスト含有仕上塗材の除去に先立つ試験的一部除去作業の方法
(1)試験的除去の施工箇所は監督職員の指示による。施工面の範囲は□500㎜程度とする。
(2)試験的除去は剥離剤併用手工具ケレン工法にて実施。

アスベスト含有仕上塗材除去作業の方法 ⊙部分除去 ・全面除去
※外壁塗装含有

アスベスト含有仕上塗材部分除去作業
(1)部分除去箇所について監督職員と打合せの上、施工範囲を決めること。
(2)建設技術審査証明書をうけている工法及び同等と認められる工法とする。
なお、飛散防止処理工法の種別は除去処理工事である。
(集塵機付きﾃﾞｨｽｸｻﾝﾀﾞｰ工法同等とすること)
(3)除去処理等によって生じた廃アスベスト等については特別産業廃棄物として適正に処理する。
(4)アスベスト除去処理工事を適切に行う為、石綿作業主任者を配置する。(専任)
石綿作業主任者は石綿作業主任者技能講習終了者、又は平成18年3月以前の特定化学物質等作業主任者の有資格者とする。
(5)廃アスベスト等を適切に処理する為、特別管理産業廃棄物管理責任者の資格を有する者を配置する。(専任)
(6)アスベスト粉塵濃度測定を行う機関は、都道府県労働局に登録されている作業環境測定機関とする。
更に、アスベスト粉塵濃度測定における計数分析は作業環境測定士によるものとする。
(7)関係官公署に届出を行う。
(大気汚染防止法→松戸市環境保全課 労働安全衛生法→柏労働基準監督署)
(8)本工事において大気汚染防止法、廃棄物の処理及び清掃に関する法律、労働安全衛生法、石綿障害予防規則等、石綿処理に関する諸法令を遵守すること。

6 外断熱改修工事

断熱材の種類 [9.3.2]

材料名		厚さ(mm)
・ビーズ法ポリスチレンフォーム	・押出法ポリスチレンフォーム	
・硬質ウレタンフォーム	・フェノールフォーム	
・ロックウール	・グラスウール	

外装材の種類 [9.3.2]

	防火性能	

既存外壁仕上材の撤去 ・有り ・無し [9.3.3]
下地面の清掃及び下地調整 ※断熱材製造所の指定する仕様

通気層 ・有り(mm) ・なし [9.3.4]
試験施工、工法及び品質は、確認できる資料を提出し監督職員の承諾を受ける。
特記無き事項は、製造所の仕様による。

7 ガラス改修工事

複層ガラスの厚さ 建具表による [9.4.2]
断熱性・日射遮蔽性による区分 ※U3-1 ・U3-2

8 屋上緑化改修工事

特記事項は図示 [9.6.2]

9 透水性アスファルト舗装改修工事

路盤材料 [9.7.3][表9.7.3]
※再生クラッシャラン(RC-40)
・クラッシャラン(C-40)又はクラッシャランスラグ(CS-40)
透水性の高いものを使用する。

遮断層及び凍上抑制層の材料 [9.7.3]
・遮断層 ※川砂、海砂又は良質な山砂 ・
厚さは図示
・凍上抑制層 ※再生クラッシャラン ・クラッシャラン 切込み砂利 ・砂
厚さは図示

盛土に用いる材料 [9.7.3][表9.7.1]
・A種 ※B種 ・C種 ・D種

路床安定処理
※添加材料による安定処理 [9.7.3][表9.7.2]
種類 ・普通ポルトランドセメント ・フライアッシュセメントB種
・生石灰( ) ・消石灰( )
添加量 kg/?(目標CBR ※5以上 ・
路床土の支持力比試験 ※行う(※乱した土 ・乱さない土)
路床締固め度の試験 ※行う

アスファルト混合物 [9.7.6][表9.7.5]
車道部 ※改質アスファルトⅠ型
歩道部 ※ストレートアスファルト

透水性舗装 [9.7.9]
アスファルト混合物の抽出試験 ※行わない ・行う

10 その他

1 舗装工事

歩行者用通路コンクリート版の厚さ ※70mm ・図示 (22.5.2)(表22.5.1)

部 位	設計基準強度(N/mm2)	所定のスランプ(cm)	粗骨材の最大寸法(mm)
車路及び駐車場	24	8	砂利の場合25又は40 砕石の場合20又は25
歩行者用通路	18	8	砂利の場合25 砕石の場合20

・図示
砂利敷き (22.9.2)(表22.9.1)
種別 ・A種 ・B種

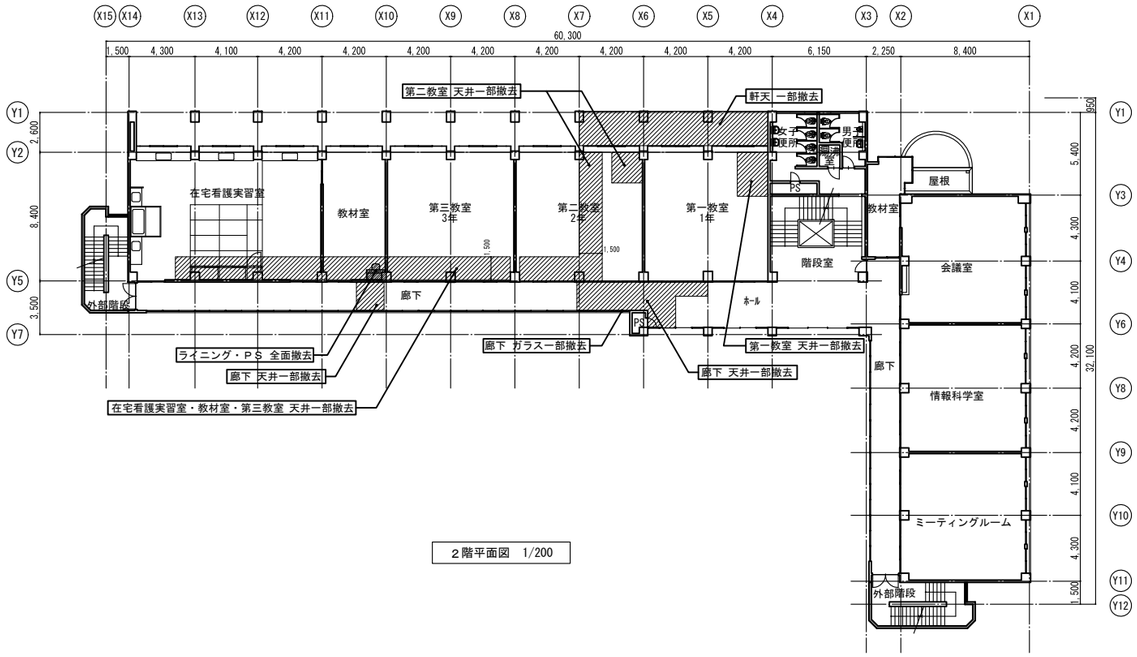
2 植栽工事

植樹 ・図示 (22.3.2)

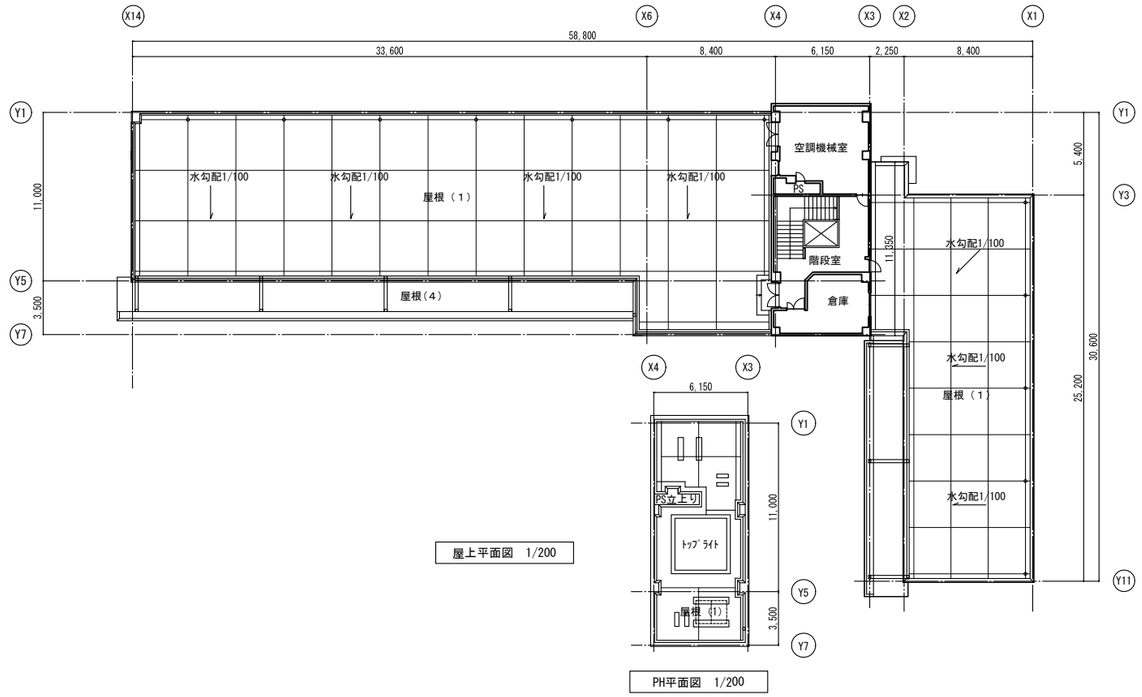
樹 種	寸 法	数 量	備 考

工事内容			施工区分 建築	電気	機械
開口部	鉄筋コンクリート、コンクリートブロックの 柱、梁、壁、床に設ける開口	解体、穴明け	○		○
		鉄筋補強	○		
		後施工ｽﾘｰﾌﾞ(雑壁部分)			○
		埋戻し、穴埋め(補強筋無し)			○
		埋戻し、穴埋め(補強筋有り)	○		
	軽量鉄骨下地天井、壁ボード類に設ける開口	開口補強	○		
		切込み (開口補強有り)	○	○	
		切込み (開口補強無し)		○	○
点検口	床、壁、天井		○		
	配管ピット、トレンチピット		○		
	既設配管、ダクト撤去に伴うアスベスト除去作業				○
トイレ	大便器・小便器				○
	紙巻器				○
	トイレ用手摺				
	洗面器(水栓含む)				○
	掃除用流し(水栓含む)				
	廊下流し台(排水トラップ含む)				
	廊下流し台用横水栓				
	トイレブース(手摺・紙巻器用下地補強含む)				
	設備機器用下地補強		○		
	化粧鏡				○
	換気扇				
	換気扇取付用アルミパネル				
	換気扇取付用壁枠				

工事名	松戸市立総合医療センター附属看護専門学校 給排水管改修工事		
図面名	特記仕様書 (4)		
作成年月日	令和7年2月21日	変更年月日	
縮 尺	No Scale	図面番号	A-24
設 計	株式会社 山岡設計事務所 千葉県知事登録 第1-2306-2686号 山岡 治 一級建築士大臣登録第272498号		
松戸市 街づくり部 建築保全課			

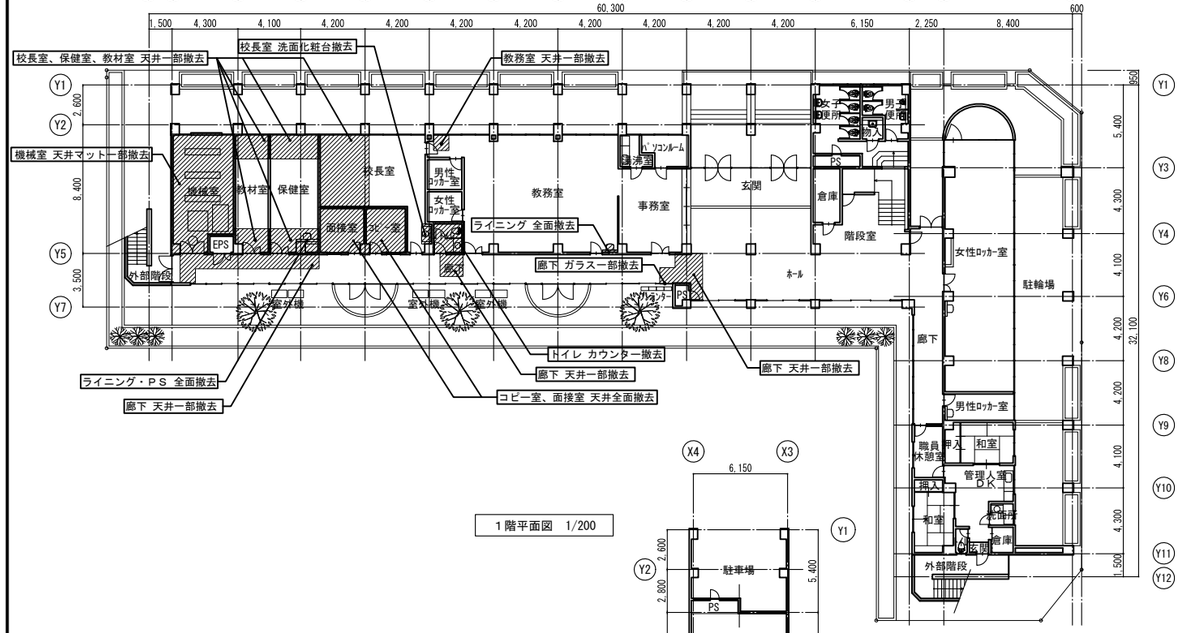


２階平面図　1/200



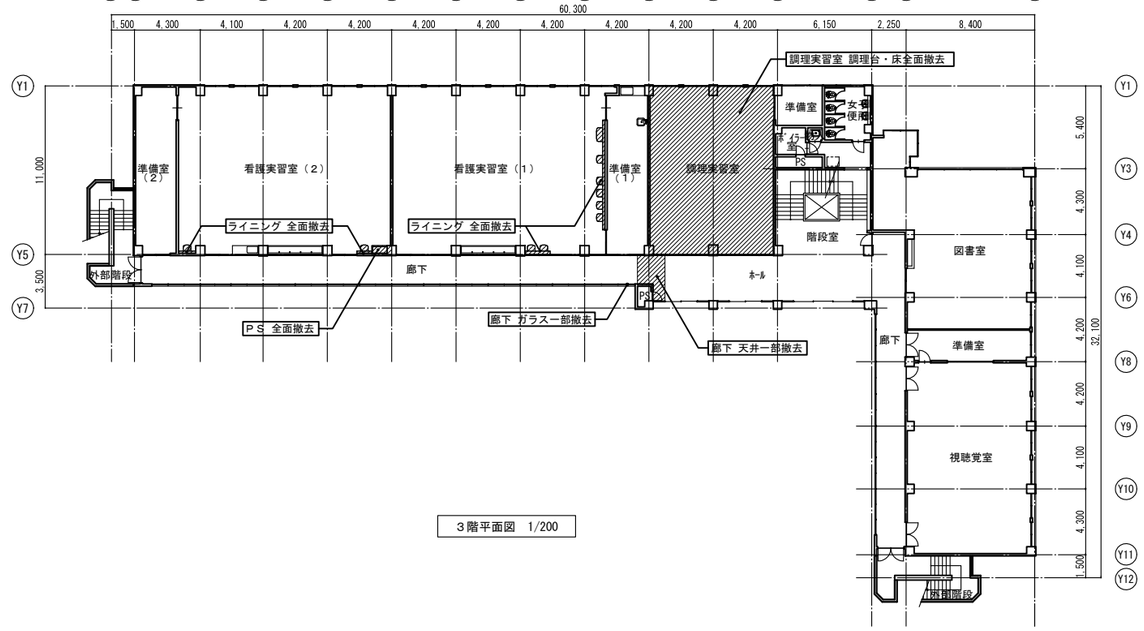
屋上平面図　1/200

PH平面図　1/200



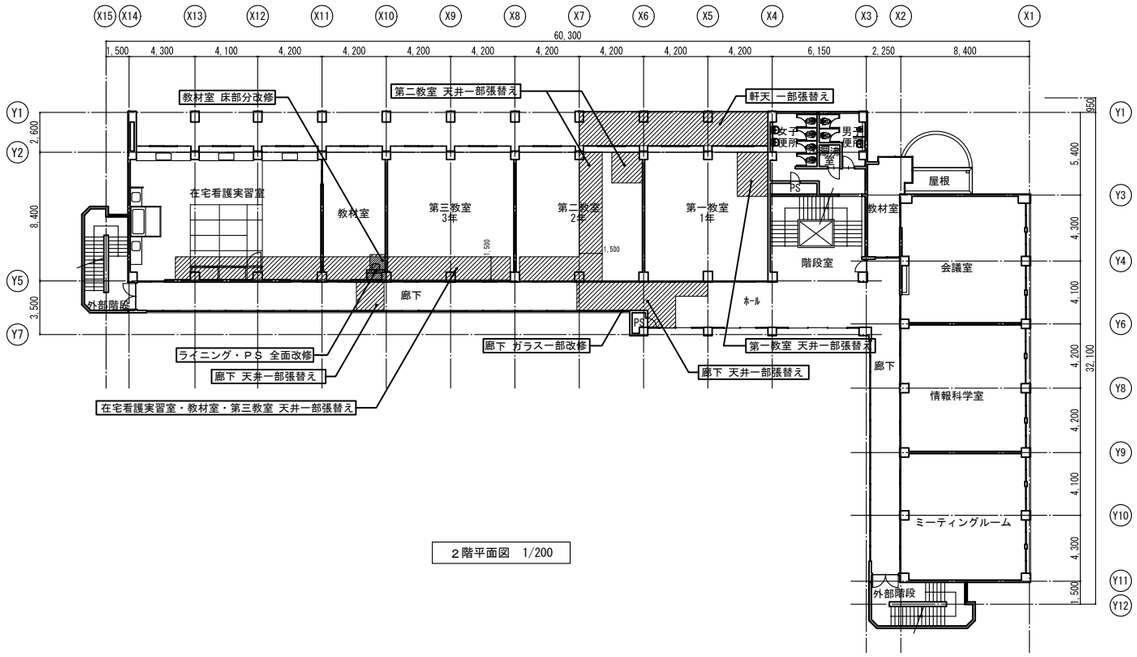
１階平面図　1/200

Ｂ１階平面図　1/200

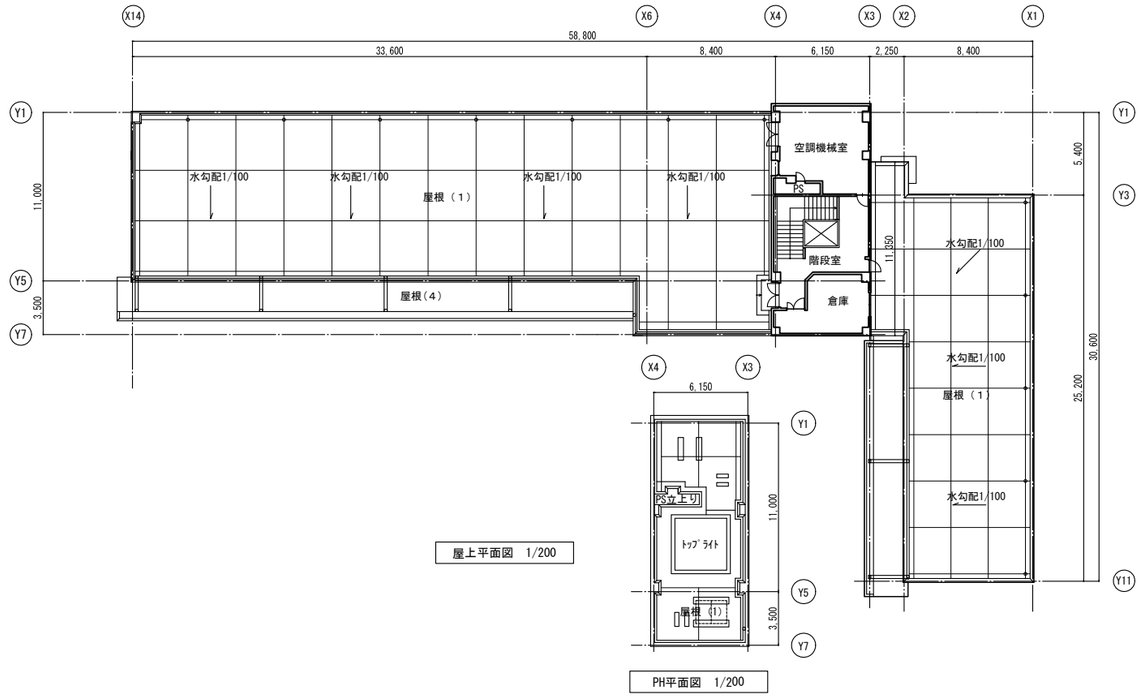


３階平面図　1/200

工事名	松戸市立総合医療センター附属看護専門学校 給排水管改修工事		
図面名	【改修前】各階平面図		
作成年月日	令和7年2月21日	変更年月日	
縮 尺	A1:1/200 A3:1/400	図面番号	A-25
設 計	株式会社　山岡設計事務所 千葉県知事登録　第1-2306-2686号 山岡　治 一級建築士大臣登録第272498号		
松戸市 街づくり部 建築保全課			

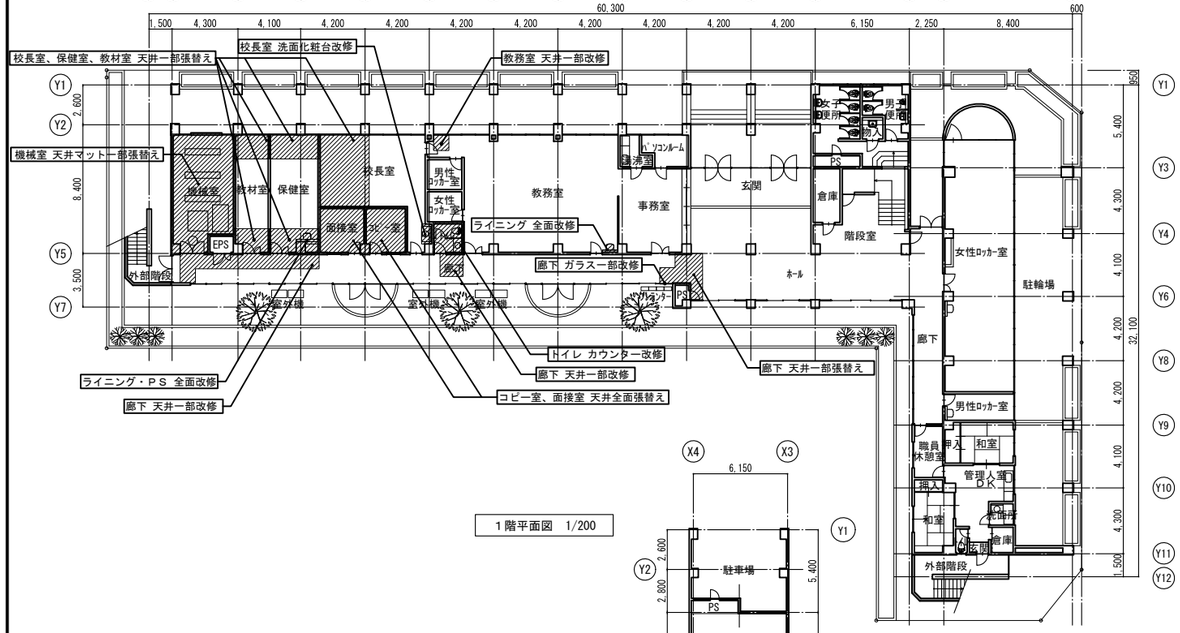


２階平面図　1/200

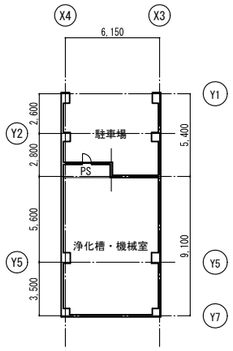


屋上平面図　1/200

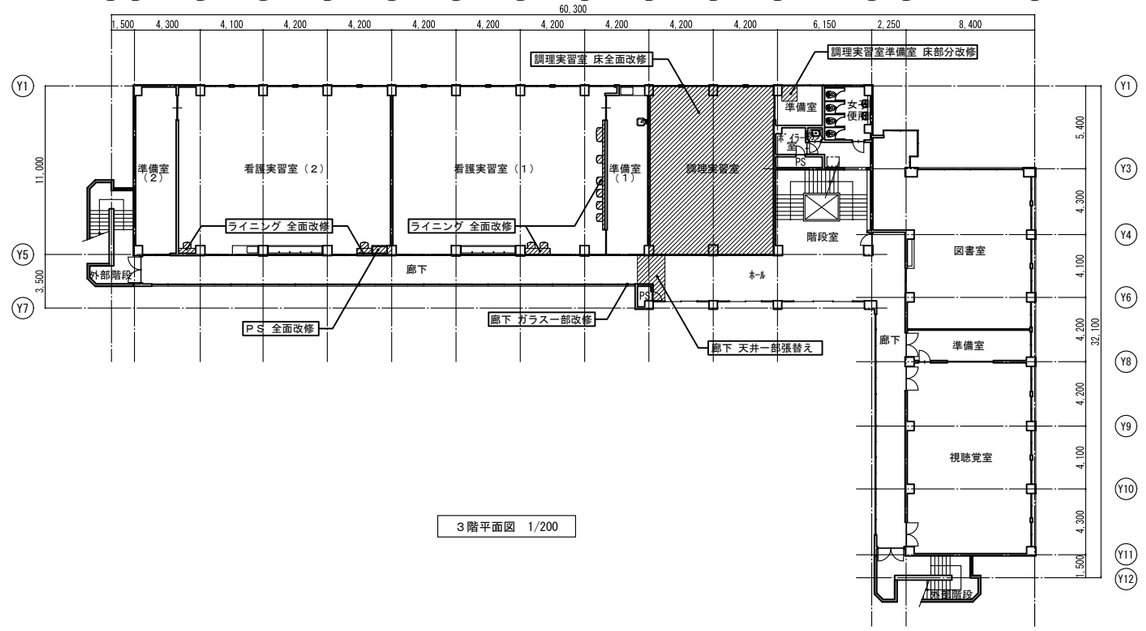
PH平面図　1/200



１階平面図　1/200



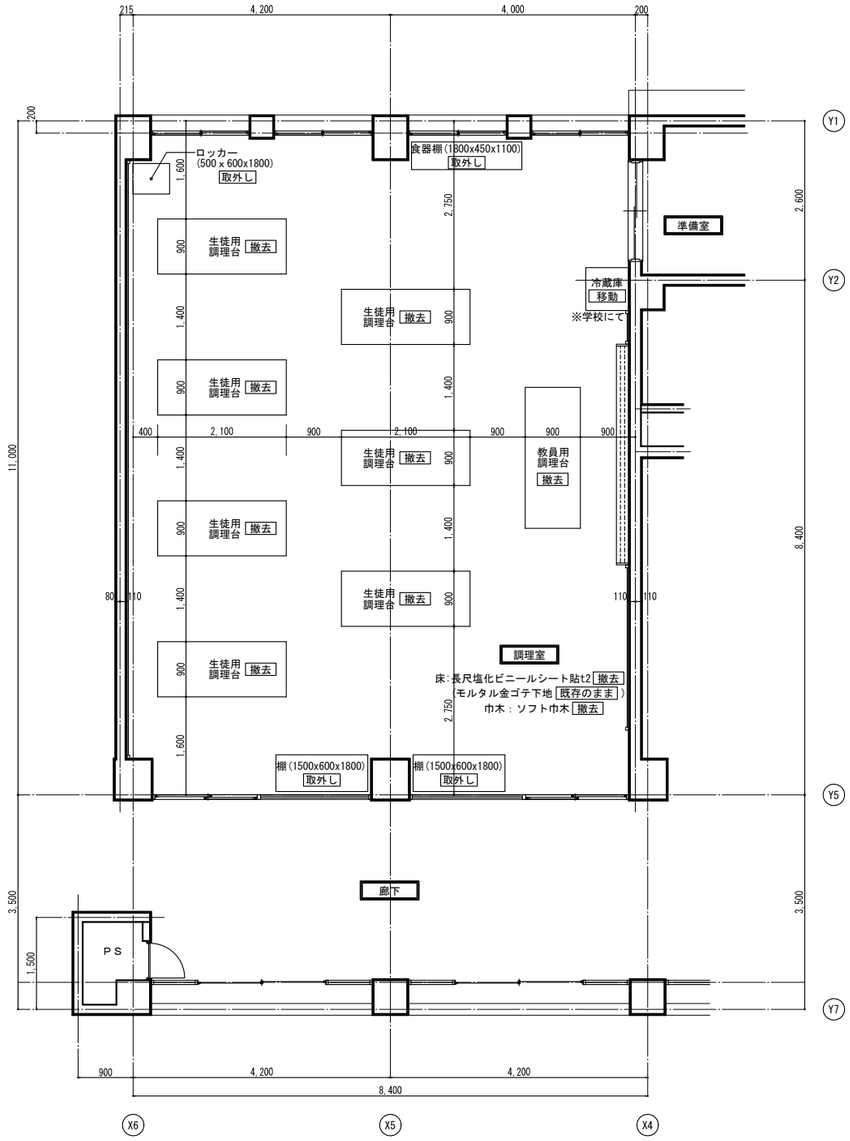
Ｂ１階平面図　1/200



３階平面図　1/200

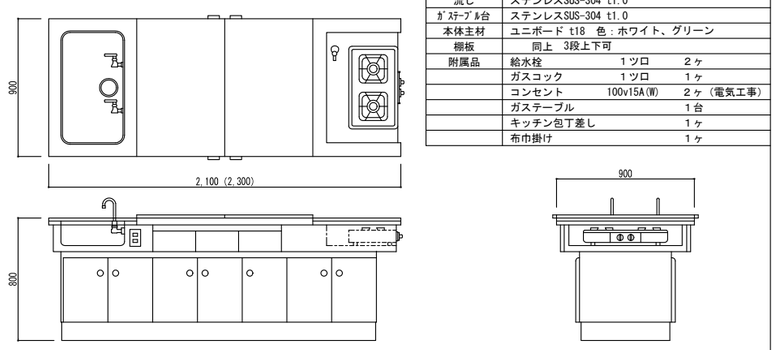
工事名	松戸市立総合医療センター附属看護専門学校 給排水管改修工事		
図面名	【改修後】各階平面図		
作成年月日	令和7年2月21日	変更年月日	
縮 尺	A1:1/200 A3:1/400	図面番号	A-26
設 計	株式会社　山岡設計事務所 千葉県知事登録　第1-2306-2686号 山岡　治 一級建築士大臣登録第272498号		
松戸市 街づくり部 建築保全課			

改修前

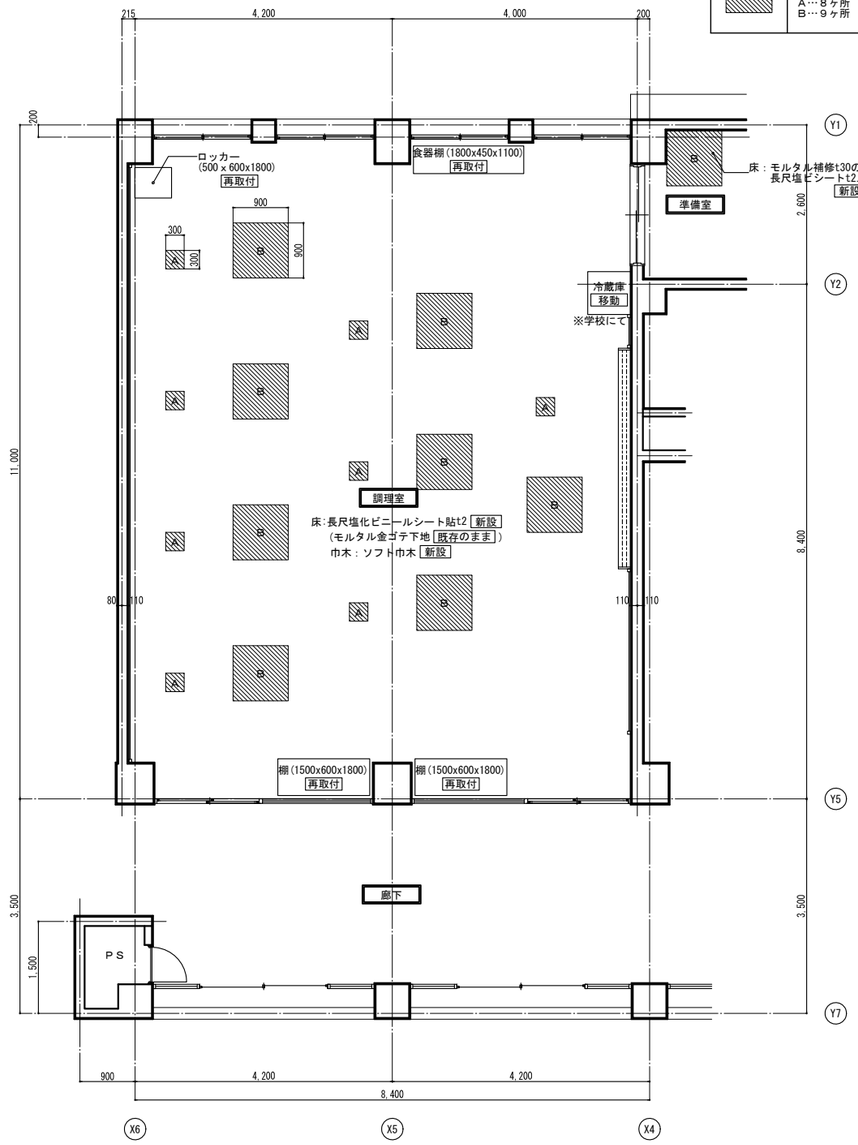


【改修前】３階調理室平面詳細図　S=1/50

生徒用調理台 教員用調理台	2100×900×800 2300×900×800	7　台 1　台	撤　去
		天板	メラミン化粧板貼り ウラ ステンレスSUS-304 t1.0
		流し	ステンレスSUS-304 t1.0
		ｶﾞｽﾃｰﾌﾞﾙ台	ステンレスSUS-304 t1.0
		本体主材	ユニボード t18　色：ホワイト、グリーン
		棚板	同上　3段上下可
		附属品	給水栓　1ツ口　2ヶ
			ガスコック　1ツ口　1ヶ
			コンセント　100v15A(W)　2ヶ（電気工事）
			ガステーブル　1台
			キッチン包丁差し　1ヶ
			布巾掛け　1ヶ



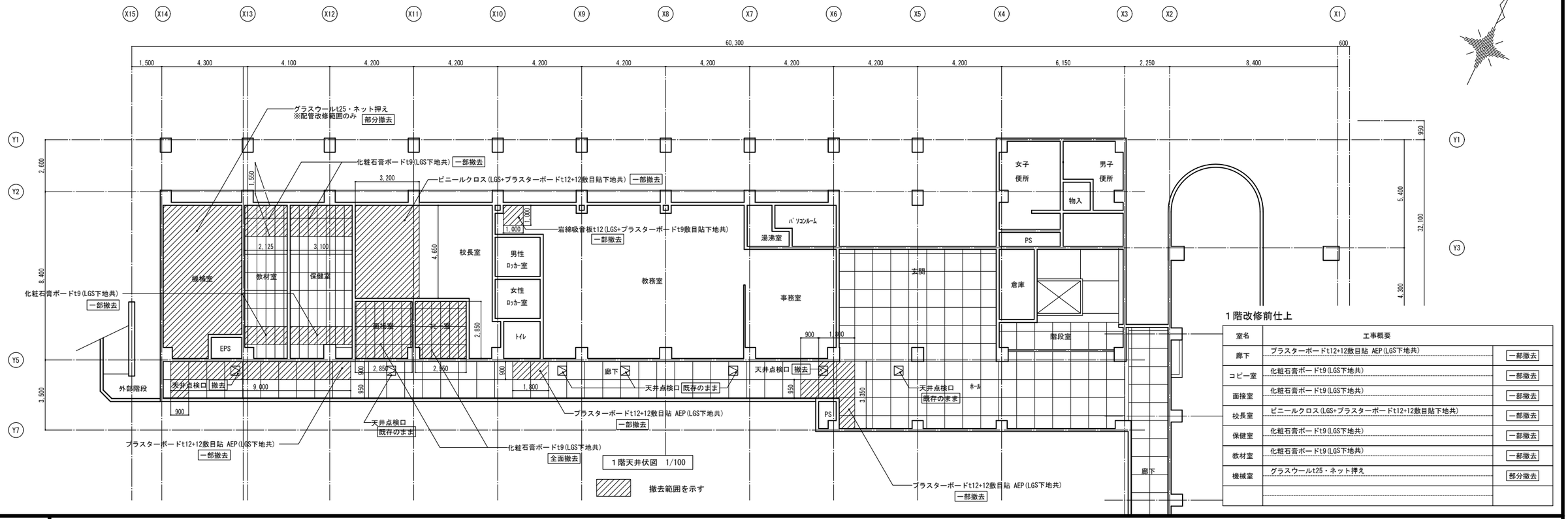
改修後



【改修後】３階調理室平面詳細図　S=1/50

工事名	松戸市立総合医療センター附属看護専門学校 給排水管改修工事		
図面名	【改修前・後】調理室平面詳細図・家具図		
作成年月日	令和7年2月21日	変更年月日	
縮　尺	A1:1/50 A3:1/100	図面番号	A-27
設　計	株式会社　山岡設計事務所 千葉県知事登録　第1-2306-2686号 山岡　治 一級建築士大臣登録第272498号		
松戸市 街づくり部 建築保全課			

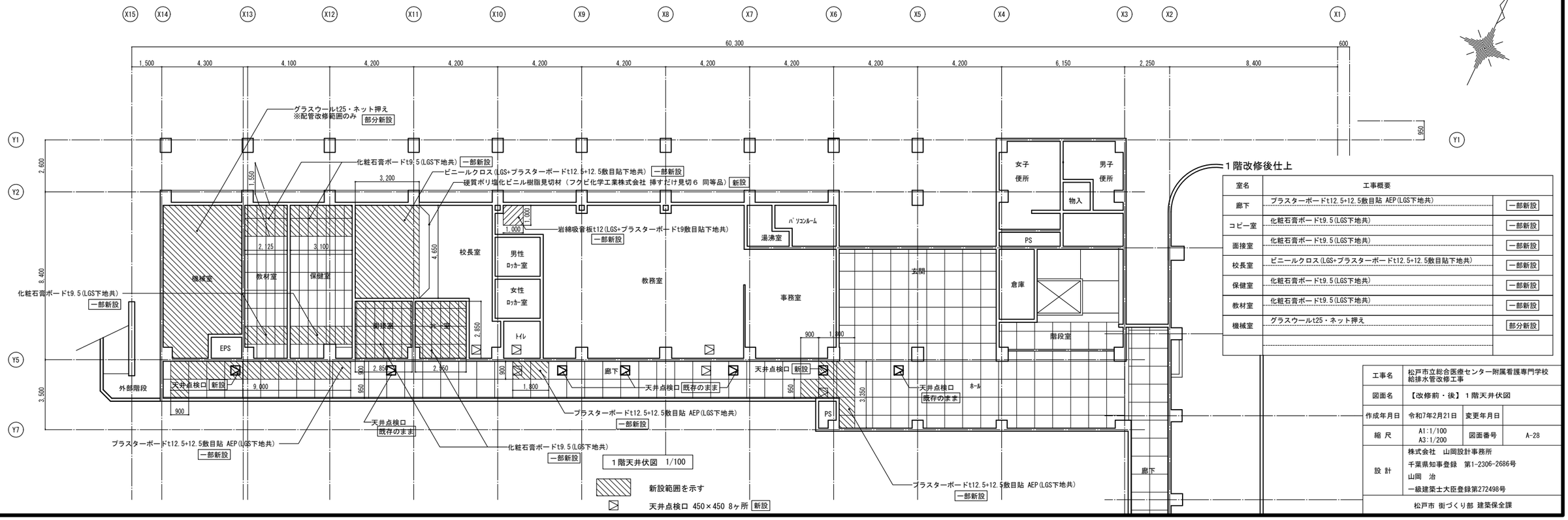
改修前



1階改修前仕上

室名	工事概要	
廊下	プラスターボードt12+12敷目貼 AEP(LGS下地共)	一部撤去
コピー室	化粧石膏ボードt9(LGS下地共)	一部撤去
面接室	化粧石膏ボードt9(LGS下地共)	一部撤去
校長室	ビニールクロス(LGS+プラスターボードt12+12敷目貼下地共)	一部撤去
保健室	化粧石膏ボードt9(LGS下地共)	一部撤去
教材室	化粧石膏ボードt9(LGS下地共)	一部撤去
機械室	グラスウールt25・ネット押え	部分撤去

改修後

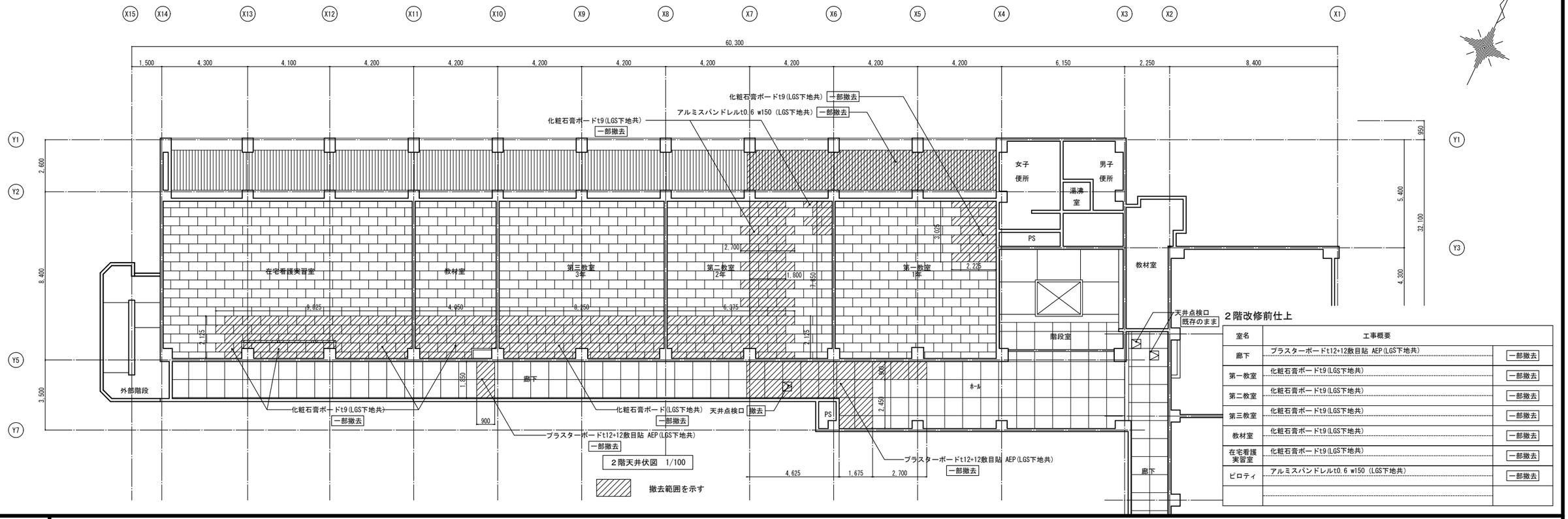


1階改修後仕上

室名	工事概要	
廊下	プラスターボードt12.5+12.5敷目貼 AEP(LGS下地共)	一部新設
コピー室	化粧石膏ボードt9.5(LGS下地共)	一部新設
面接室	化粧石膏ボードt9.5(LGS下地共)	一部新設
校長室	ビニールクロス(LGS+プラスターボードt12.5+12.5敷目貼下地共)	一部新設
保健室	化粧石膏ボードt9.5(LGS下地共)	一部新設
教材室	化粧石膏ボードt9.5(LGS下地共)	一部新設
機械室	グラスウールt25・ネット押え	部分新設

工事名	松戸市立総合医療センター附属看護専門学校 給排水管改修工事		
図面名	【改修前・後】 1階天井伏図		
作成年月日	令和7年2月21日	変更年月日	
縮 尺	A1:1/100 A3:1/200	図面番号	A-28
設 計	株式会社 山岡設計事務所 千葉県知事登録 第1-2306-2686号 山岡 治 一級建築士大臣登録第272498号		
松戸市 街づくり部 建築保全課			

改修前



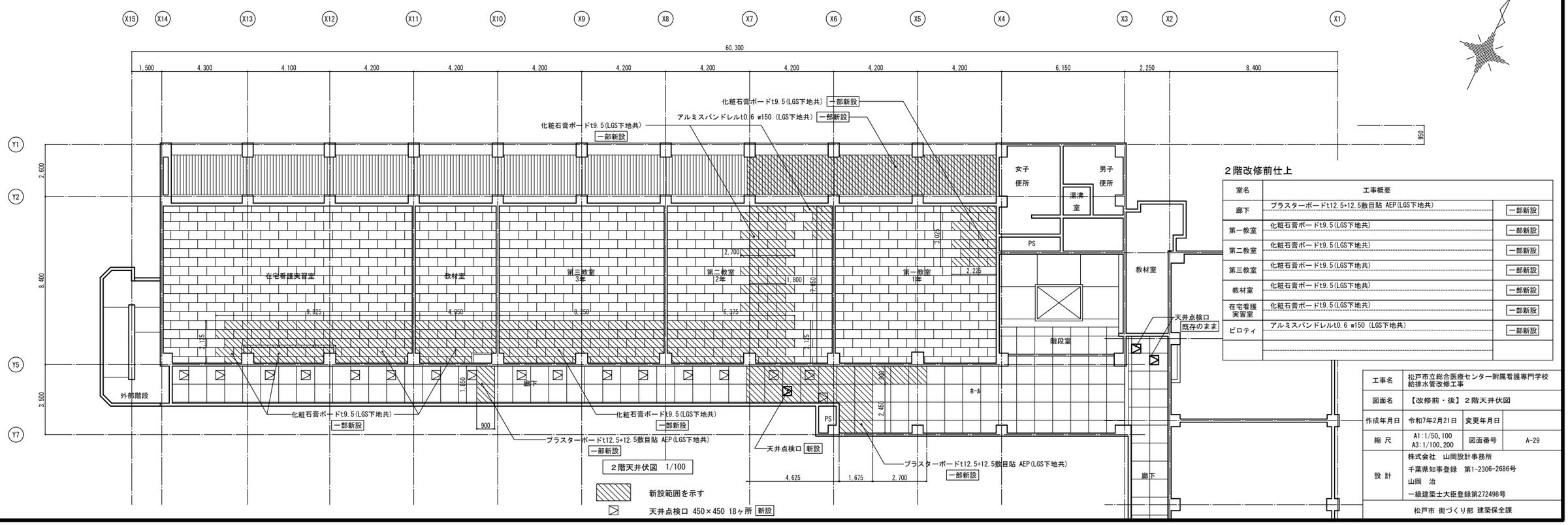
2階天井伏図 1/100

撤去範囲を示す

2階改修前仕上

室名	工事概要	
廊下	プラスターボードt12+12敷目貼 AEP(LGS下地共)	一部撤去
第一教室	化粧石膏ボードt9(LGS下地共)	一部撤去
第二教室	化粧石膏ボードt9(LGS下地共)	一部撤去
第三教室	化粧石膏ボードt9(LGS下地共)	一部撤去
教材室	化粧石膏ボードt9(LGS下地共)	一部撤去
在宅看護実習室	化粧石膏ボードt9(LGS下地共)	一部撤去
ピロティ	アルミスパンドレルt0.6 w150 (LGS下地共)	一部撤去

改修後



2階天井伏図 1/100

新設範囲を示す

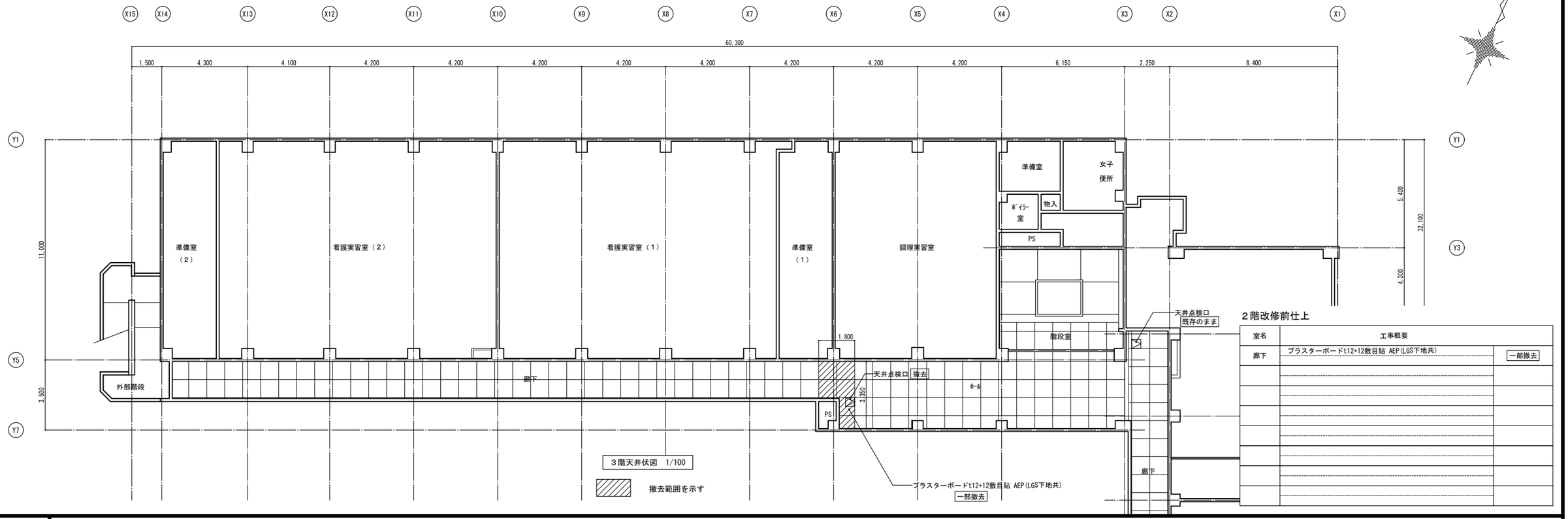
天井点検口 450×450 18ヶ所 新設

2階改修前仕上

室名	工事概要	
廊下	プラスターボードt12.5+12.5敷目貼 AEP(LGS下地共)	一部新設
第一教室	化粧石膏ボードt9.5(LGS下地共)	一部新設
第二教室	化粧石膏ボードt9.5(LGS下地共)	一部新設
第三教室	化粧石膏ボードt9.5(LGS下地共)	一部新設
教材室	化粧石膏ボードt9.5(LGS下地共)	一部新設
在宅看護実習室	化粧石膏ボードt9.5(LGS下地共)	一部新設
ピロティ	アルミスパンドレルt0.6 w150 (LGS下地共)	一部新設

工事名	松戸市立総合医療センター附属看護専門学校 給排水管改修工事		
図面名	【改修前・後】 2階天井伏図		
作成年月日	令和7年2月21日	変更年月日	
縮 尺	A1:1/50,100 A3:1/100,200	図面番号	A-29
設 計	株式会社 山岡設計事務所 千葉県知事登録 第1-2306-2686号 山岡 治 一級建築士大臣登録第272498号		
松戸市 街づくり部 建築保全課			

改修前



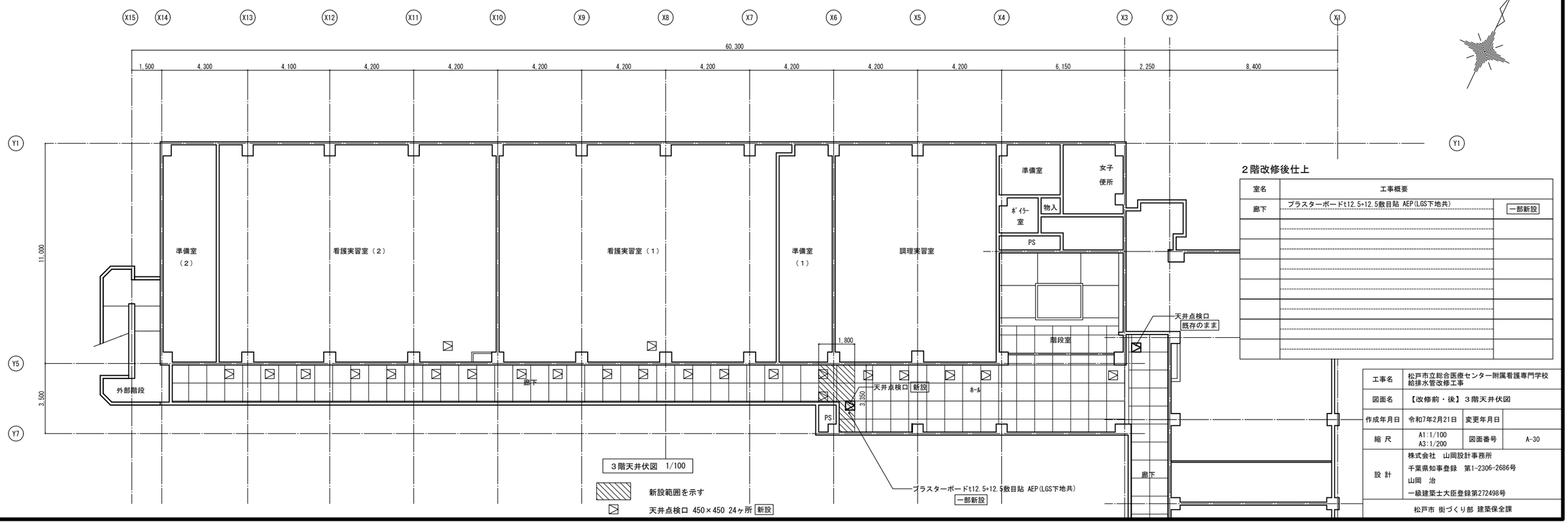
3階天井伏図 1/100

撤去範囲を示す

2階改修前仕上

室名	工事概要	
廊下	ﾌﾟﾗｽﾀｰﾎﾞｰﾄﾞt12+12敷目貼 AEP(LGS下地共)	一部撤去

改修後



3階天井伏図 1/100

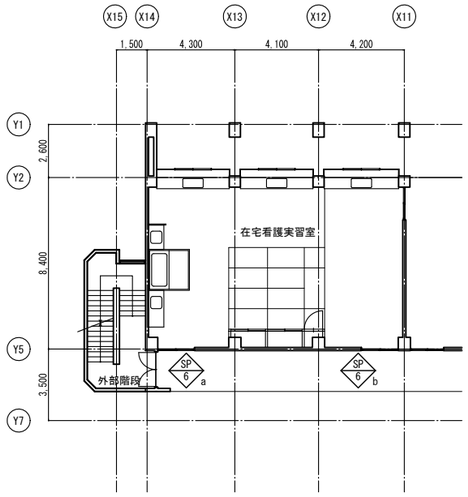
新設範囲を示す

天井点検口 450×450 24ヶ所 新設

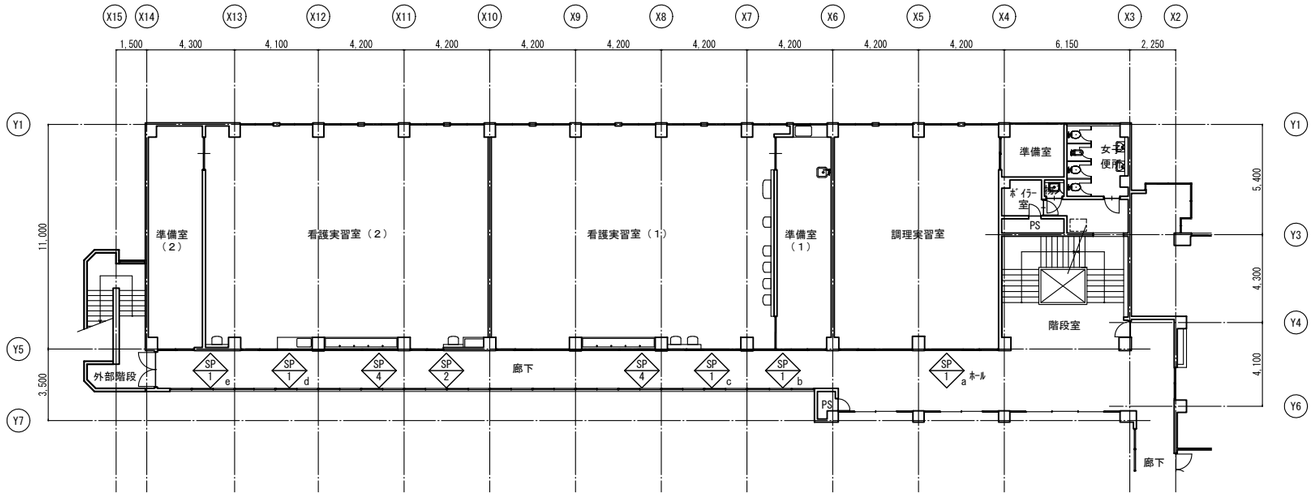
2階改修後仕上

室名	工事概要	
廊下	ﾌﾟﾗｽﾀｰﾎﾞｰﾄﾞt12.5+12.5敷目貼 AEP(LGS下地共)	一部新設

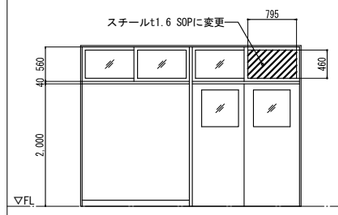
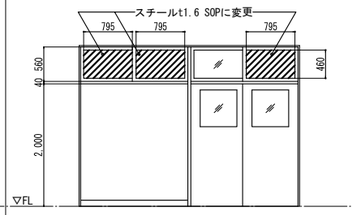
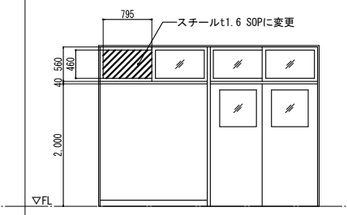
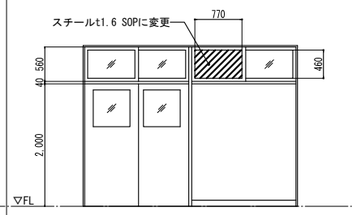
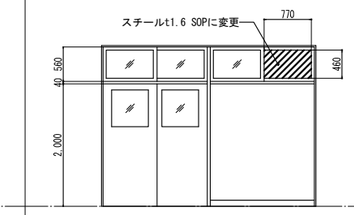
工事名	松戸市立総合医療センター附属看護専門学校 給排水管改修工事		
図面名	【改修前・後】３階天井伏図		
作成年月日	令和7年2月21日	変更年月日	
縮 尺	A1:1/100 A3:1/200	図面番号	A-30
設 計	株式会社　山岡設計事務所 千葉県知事登録　第1-2306-2686号 山岡　治 一級建築士大臣登録第272498号		
松戸市 街づくり部 建築保全課			

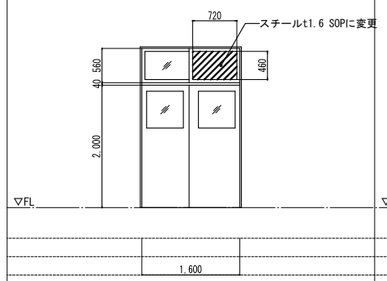
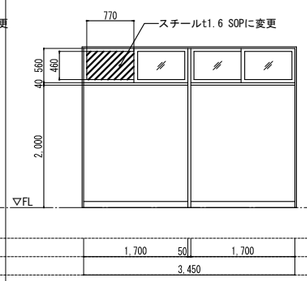
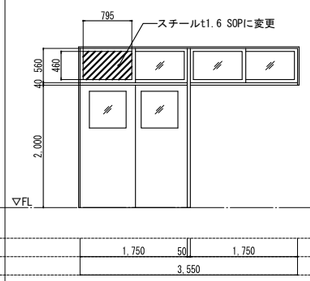
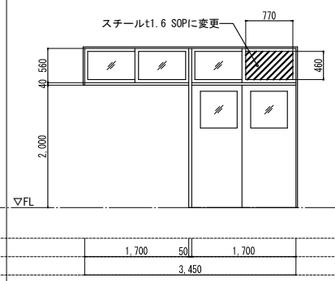


2階建具キープラン　1/200

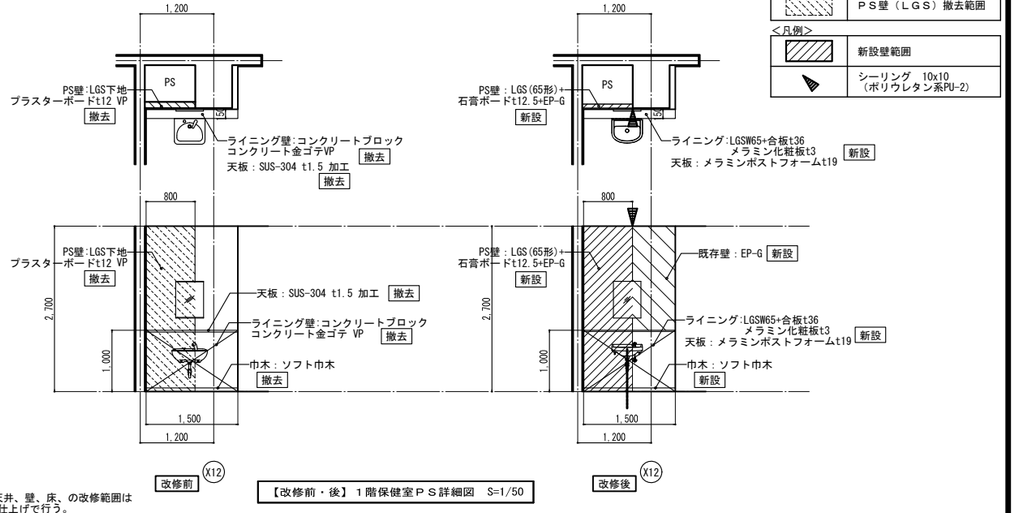


3階建具キープラン　1/200

記号 名称 個数	SP 1 a　改修　棚間付引違いパーティション　1ヶ所	SP 1 b　改修　棚間付引違いパーティション　1ヶ所	SP 1 c　改修　棚間付引違いパーティション　1ヶ所	SP 1 d　改修　棚間付引違いパーティション　1ヶ所	SP 1 e　改修　棚間付引違いパーティション　1ヶ所
姿　図					
使 用 場 所	3階　調理実習室	3階　準備室（1）看護実習室（1）	3階　看護実習室（1）	3階　看護実習室（2）	3階　看護実習室（2）
見　込					
仕　上	スチール	スチール	スチール	スチール	スチール
硝　子	透明ガラスt5、化粧鋼板貼	透明ガラスt5、化粧鋼板貼	透明ガラスt5、化粧鋼板貼	透明ガラスt5、化粧鋼板貼	透明ガラスt5、化粧鋼板貼
金物 / 備考					

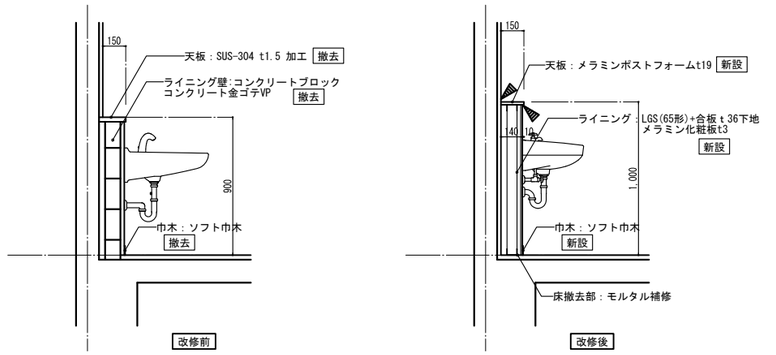
記号 名称 個数	SP 2　改修　棚間付引違いパーティション　1ヶ所	SP 4　改修　棚間付引違いパーティション　2ヶ所	SP 6 a　改修　棚間付引違いパーティション　1ヶ所	SP 6 b　改修　棚間付引違いパーティション　1ヶ所	
姿　図					
使 用 場 所	3階　看護実習室（2）	3階　看護実習室（1）（2）	2階　在宅看護実習室	2階　在宅看護実習室	
見　込					
仕　上	スチール	スチール	スチール	スチール	
硝　子	透明ガラスt5、化粧鋼板貼	透明ガラスt5、化粧鋼板貼	透明ガラスt5、化粧鋼板貼	透明ガラスt5、化粧鋼板貼	
金物 / 備考					

工事名	松戸市立総合医療センター附属看護専門学校 給排水管改修工事		
図面名	【改修】建具キープラン、建具表		
作成年月日	令和7年2月21日	変更年月日	
縮　尺	A1:1/50、150 A3:1/100、300	図面番号	A-31
設　計	株式会社　山岡設計事務所 千葉県知事登録　第1-2306-2686号 山岡　治 一級建築士大臣登録第272498号		
松戸市 街づくり部 建築保全課			



※ライニング撤去に伴う当該壁の取合う天井、壁、床、の改修範囲は
周囲100mm程度とし、既存仕上げに準じた仕上げで行う。
※手洗器・鏡の撤去・新設は機械設備工事とする

【改修前・後】１階保健室ＰＳ詳細図　S=1/50



シーリング 10x10
（シリコーン系SR-1）防カビ仕様

ライニング		
教室	長さ	箇所数
１階教務室	L=700	１ヶ
１階保健室	L=1,500	１ヶ
２階教材室	L=1,200	１ヶ
３階看護実習室（１）	L=7,200	１ヶ

※ライニング撤去に伴う当該壁の取合う
天井、壁、床、の改修範囲は周囲100mm程度とし、
既存仕上げに準じた仕上げで行う。
※手洗器の撤去・新設は機械設備工事とする

【改修前・後】１・２・３階各ライニング詳細図　S=1/20

※ライニング撤去に伴う当該壁の取合う天井、壁、床、の改修範囲は
周囲100mm程度とし、既存仕上げに準じた仕上げで行う。
※ライニングは２階教材室のみ
※手洗器の撤去・新設は機械設備工事とする

【改修前・後】２階教材室・３階看護実習室（２）ＰＳ詳細図　S=1/50

シーリング 10x10
（シリコーン系SR-1）防カビ仕様

ライニング		
教室	長さ	箇所数
実習室（１）	L=1,650	１ヶ
実習室（２）	L=900	２ヶ

※ライニング撤去に伴う当該壁の取合う
天井、壁、床、の改修範囲は周囲100mm程度とし、
既存仕上げに準じた仕上げで行う。
※手洗器・鏡の撤去・新設は機械設備工事とする

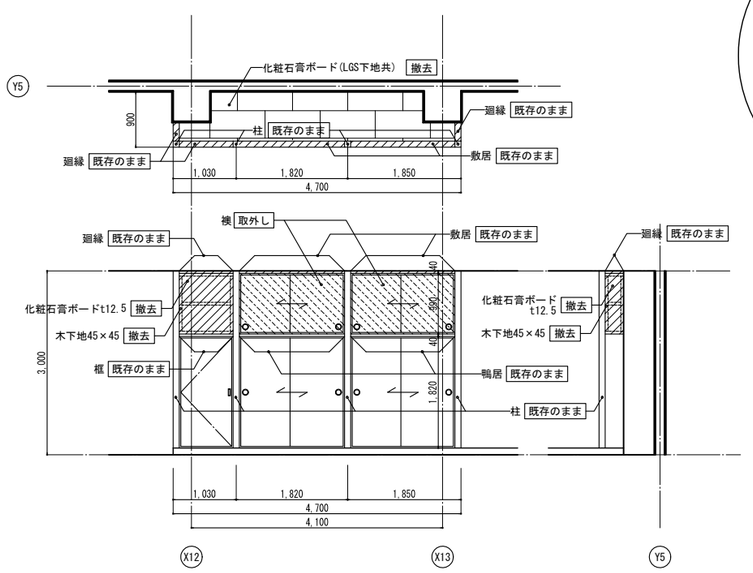
【改修前・後】３階看護実習室（１）（２）ライニング詳細図　S=1/20

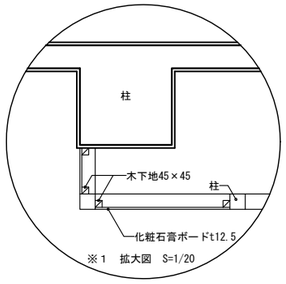
【改修前・後】１階校長室・トイレ平面詳細図　S=1/50

【改修後】２階教材室　床補修図　S=1/30

※機械工事にて給水管・ガス栓撤去に伴モルタル斫りを行う。

工事名	松戸市立総合医療センター附属看護専門学校 給排水管改修工事		
図面名	【改修前・後】各部詳細－１		
作成年月日	令和7年2月21日	変更年月日	
縮 尺	A1:1/20・30・50 A3:1/40・60・100	図面番号	A-32
設 計	株式会社　山岡設計事務所 千葉県知事登録　第1-2306-2686号 山岡　治 一級建築士大臣登録第272498号		
松戸市 街づくり部 建築保全課			

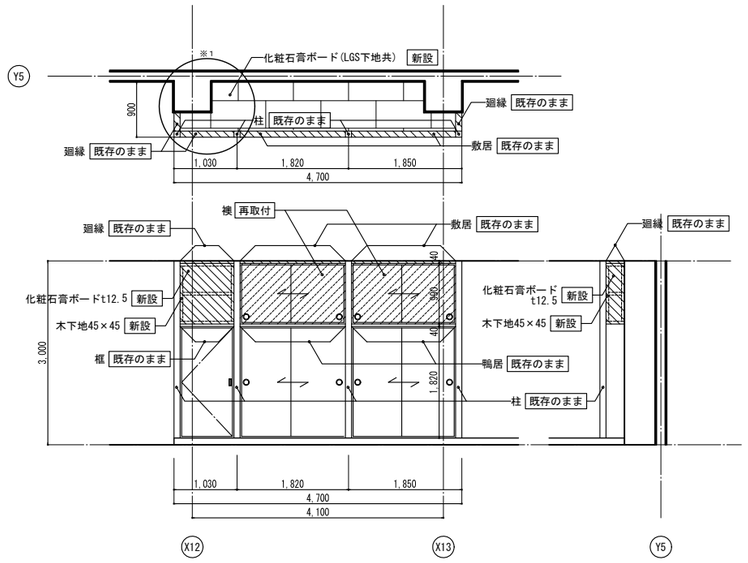




取外し範囲

撤去範囲

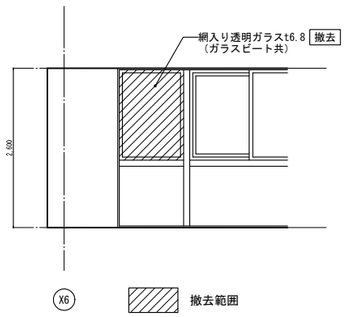
【改修前】在宅看護実習室 押入詳細図 S=1/50



再取付範囲

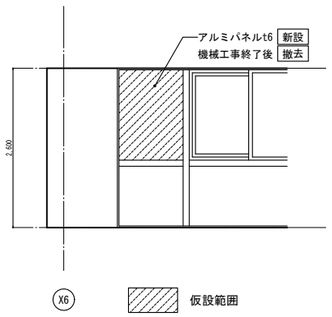
新設範囲

【改修後】在宅看護実習室 押入詳細図 S=1/50



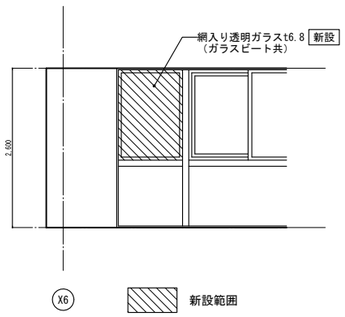
撤去範囲

改修前



仮設範囲

工事中

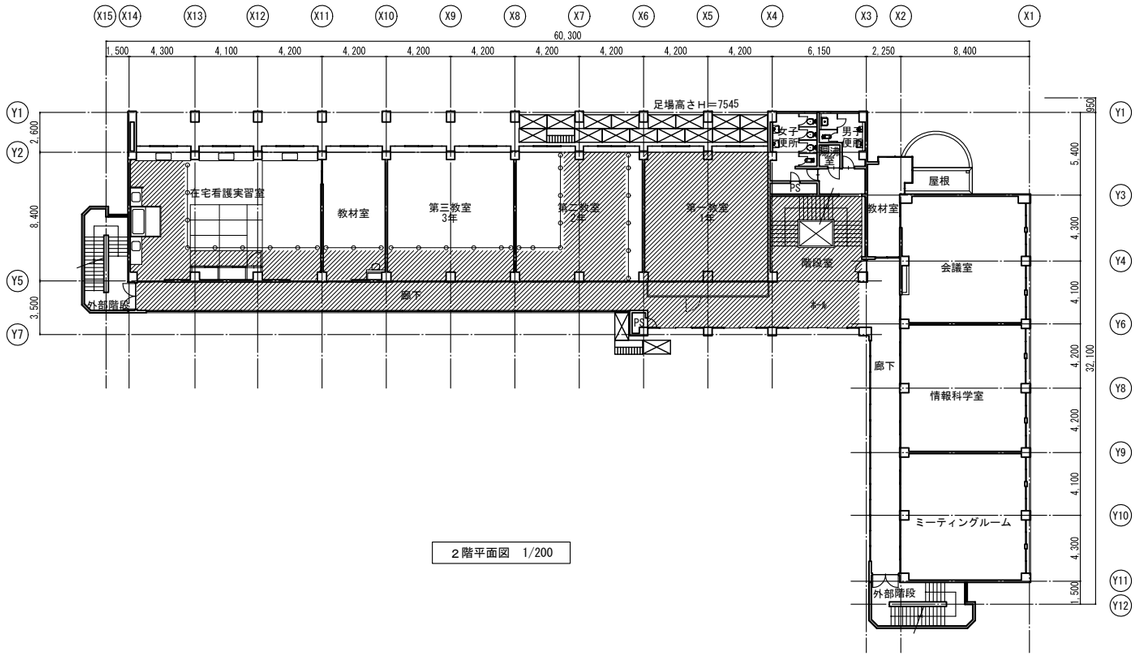


新設範囲

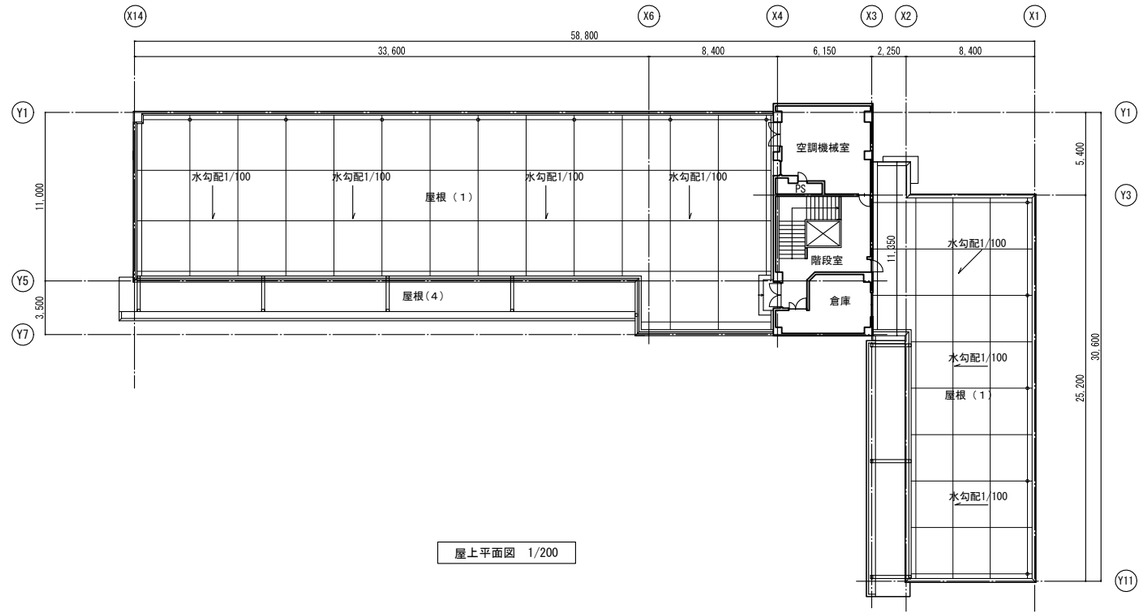
改修後

【改修前・後】各階廊下 (X6-7間) 建具仮設詳細図 S=1/50

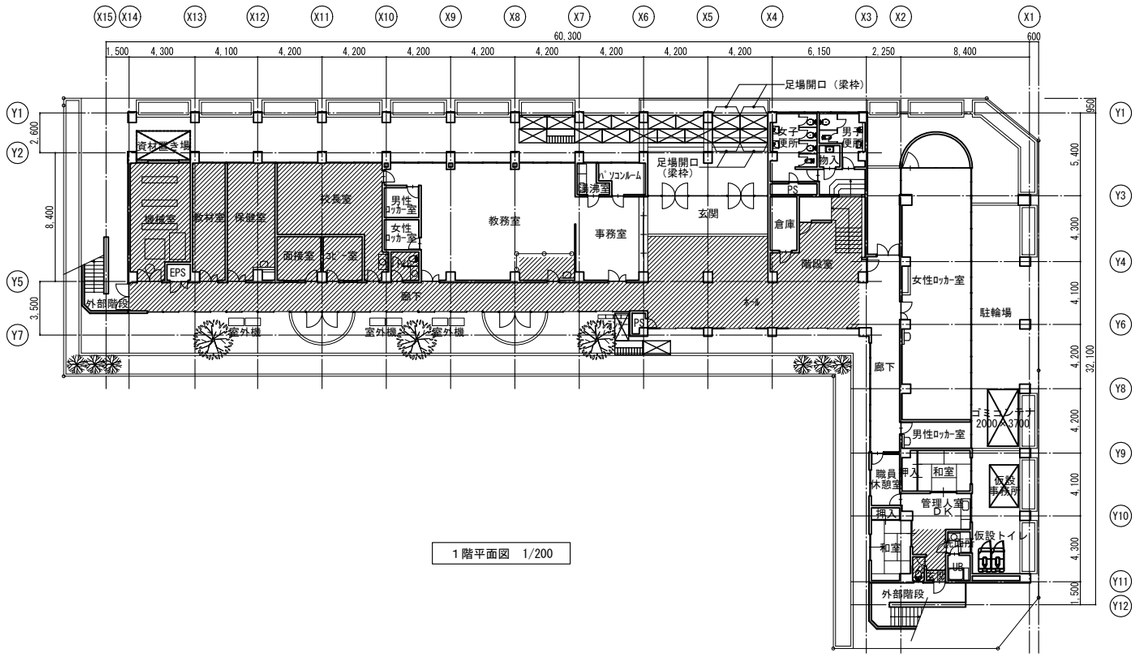
工事名	松戸市立総合医療センター附属看護専門学校 給排水管改修工事		
図面名	【改修前・後】各部詳細－２		
作成年月日	令和7年2月21日	変更年月日	
縮 尺	A1:1/50 A3:1/100	図面番号	A-33
設 計	株式会社 山岡設計事務所 千葉県知事登録 第1-2306-2686号 山岡 治 一級建築士大臣登録第272498号		
松戸市 街づくり部 建築保全課			



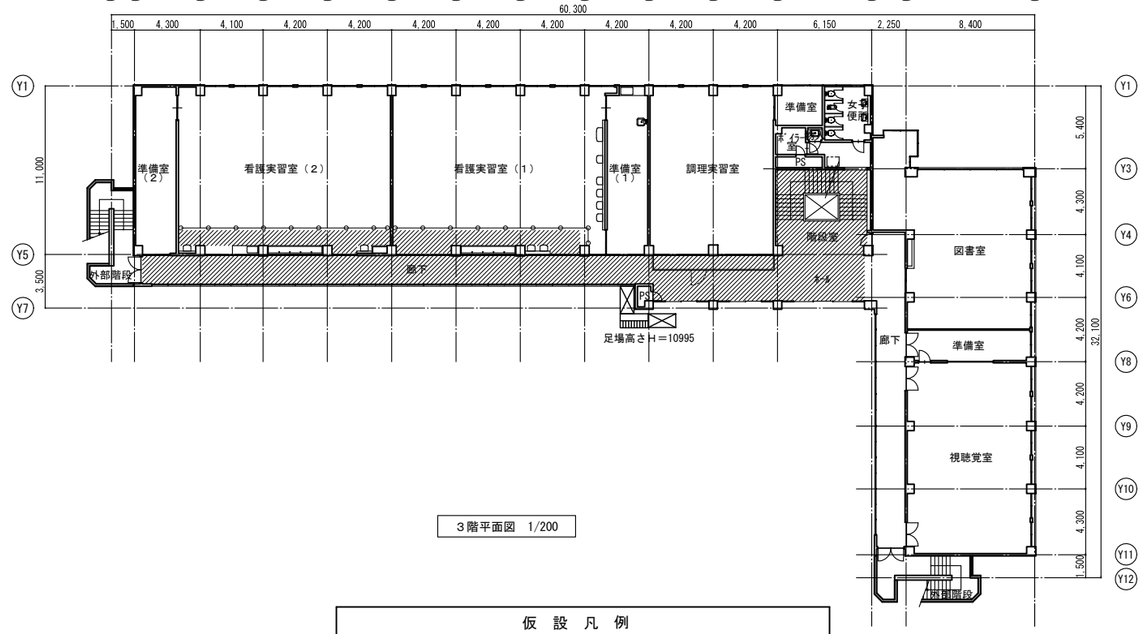
2階平面図　1/200



屋上平面図　1/200



1階平面図　1/200



3階平面図　1/200

仮設凡例

	外部足場：枠組足場W914.610　ネット養生シート(防炎1類)(機械工事)
	外部足場：枠組足場W914　階段付き　ネット養生シート(防炎1類)(機械工事)
	施工箇所、搬入路床：ビニールシート張養生
仮間	仮設間仕切壁：LGS65下地石膏ボードt9.5貼（片面） 木製片開き扉800×1,800（2箇所）
	カラーコーン、コーンバー

工事名	松戸市立総合医療センター附属看護専門学校 給排水管改修工事		
図面名	仮設計画図（参考図）		
作成年月日	令和7年2月21日	変更年月日	
縮尺	A1:1/200 A3:1/400	図面番号	A-34
設計	株式会社　山岡設計事務所 千葉県知事登録　第1-2306-2686号 山岡　治 一級建築士大臣登録第272498号		
松戸市 街づくり部 建築保全課			

松戸市立総合医療センター附属看護専門学校
給排水管改修電気設備工事

図面番号	図　面　名　称	縮　　尺	備　　考
E-01	案内図・配置図・工事概要	1/300 1/2500	
E-02	電気設備工事特記仕様書	No-scale	
E-03	受変電設備単線結線図（改修後）	No-scale	
E-04	盤図１（改修前・改修後）	No-scale	
E-05	盤図２（改修前・改修後）	No-scale	
E-06	盤図３（改修前・改修後）・照明器具姿図	No-scale	
E-07	盤図４（改修前・改修後）・照明器具姿図	No-scale	
E-08	電灯設備１階平面図（改修前）	1/100	
E-09	電灯設備２階平面図（改修前）	1/100	
E-10	電灯設備３階平面図（改修前）	1/100	
E-11	電灯設備屋上平面図（改修前）	1/100	
E-12	電灯設備１階平面図（改修後）	1/100	
E-13	電灯設備２階平面図（改修後）	1/100	
E-14	電灯設備３階平面図（改修後）	1/100	
E-15	電灯設備屋上平面図（改修後）	1/100	
E-16	動力・弱電設備１階平面図（改修前）	1/50	
E-17	動力・弱電設備２階平面図（改修前）	1/50	
E-18	動力・弱電設備３階平面図（改修前）	1/50	
E-19	動力・弱電設備屋上平面図（改修前）	1/100	
E-20	動力・弱電設備１階平面図（改修後）	1/100	
E-21	動力・弱電設備２階平面図（改修後）	1/100	
E-22	動力・弱電設備３階平面図（改修後）	1/100	
E-23	動力設備屋上平面図（改修後）	1/100	
E-24	電灯設備１階便所平面図（改修前・改修後）	1/50	
E-25	電灯設備２階便所平面図（改修前・改修後）	1/50	
E-26	電灯設備３階便所平面図（改修前・改修後）	1/50	

工事名	松戸市立総合医療センター附属看護専門学校 給排水管改修電気設備工事		
図面名	図面リスト		
作成年月日	令和7年1月31日	変更年月日	
縮 尺	A1:No-scale A3:No-scale	図面番号	E-00
設 計	株式会社　山岡設計事務所 千葉県知事登録　第1-2306-2686号 山岡　治 一級建築士大臣登録第272498号		
松戸市 街づくり部 建築保全課			

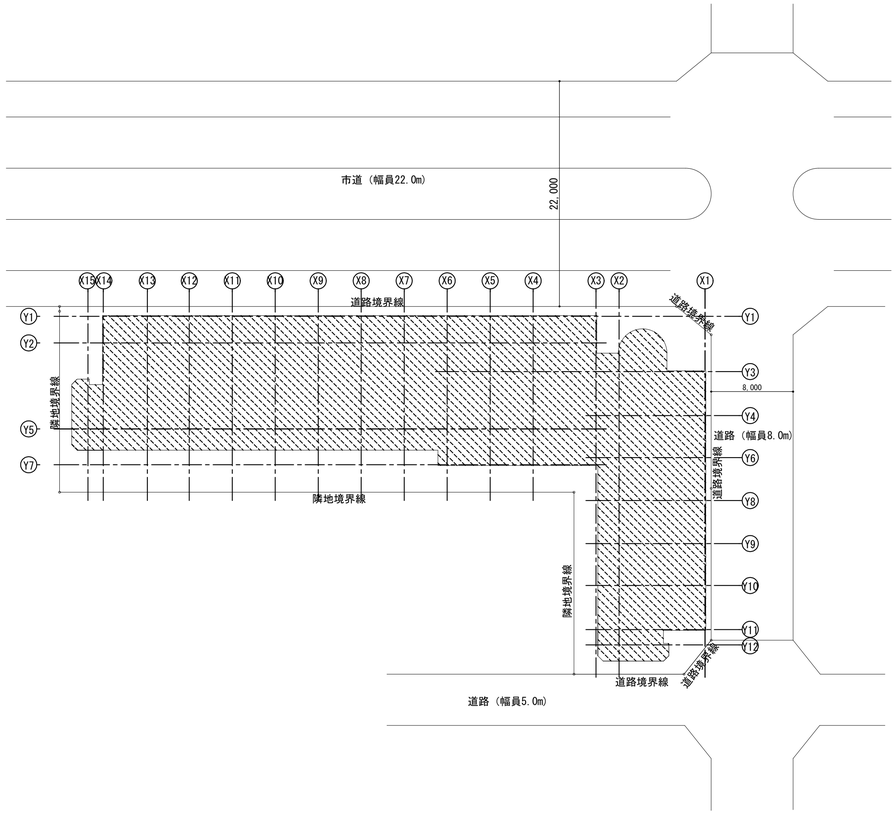
真北



松戸市上本郷４．１８２番地
（松戸市立総合医療センター附属看護専門学校）

案内図　1/2500

工事場所を示す



配置図　1/300

工事場所を示す

【工事概要】

松戸市立総合医療センター附属看護専門学校給排水管改修工事に伴う電気設備工事を行う。

１．電灯設備

便所改修に伴い、既設照明器具、配線器具、配管配線を撤去する。

新設間仕切に合わせ、照明器具、配線器具、配線を新設する。

天井回収に伴い、既設照明器具、配線器具を撤去する。

配管配線は既設のままとするが、一部の配線は撤去新設する。

回路増設の為、既設電灯盤を改修する。

２．動力設備

給水設備改修に伴い、揚水ポンプ電源、電極を撤去する。

P-1盤を改修し、新設加圧ポンプユニットに電源を供給する。

LM-1A盤を改修、P-1への幹線を撤去新設する。

３．受変電設備

既設MCCB3P225AF125ATを撤去し、MCCB3P250AF250ATを新設する。

４．拡声設備

天井改修に伴い、スピーカ、アッテネータを撤去新設する。

５．テレビ共同受信設備

天井改修に伴い、テレビユニットを撤去新設する。

６．火災報知設備

管理人室の感知器を撤去新設する。

７．防犯・入退室管理設備

工事は機械警備業者に依頼し、パッシブセンサーを取外し再取付する。

８．仮設工事

仮設トイレに照明用電源を供給する。

工事名	松戸市立総合医療センター附属看護専門学校 給排水管改修工事		
図面名	案内図・配置図・工事概要		
作成年月日	令和7年1月31日	変更年月日	
縮 尺	A1:1/300、1/2500 A3:1/600、1/5000	図面番号	E-01
設 計	株式会社　山岡設計事務所 千葉県知事登録　第1-2306-2686号 山岡　治 一級建築士大臣登録第272498号		
松戸市 街づくり部 建築保全課			

工事名称　松戸市立総合医療センター附属看護専門学校給排水管改修工事

仕　様　書

第１　工事概要

1. 工事場所　松戸市上本郷４，１８２番地
2. 敷地面積　1,379.7㎡
3. 主要用途　専門学校
4. 建物概要

建　物　名　称	構　造	階　数	建築面積(㎡)	延べ面積(㎡)	消防法令別表第一
松戸市立総合医療センター附属看護専門学校	RC造	地上4階	930.87	2,516.03	7項

5. 工事項目

建物別及び屋外 ＼ 工事種目	工事種別				屋外
受変電設備	一式	一式	一式	一式	一式
低圧幹線設備	一式	一式	一式	一式	
通信幹線設備	一式	一式	一式	一式	
電灯設備	一式	一式	一式	一式	
動力設備	一式	一式	一式	一式	
拡声設備	一式	一式	一式	一式	
テレビ共同受信設備	一式	一式	一式	一式	
電気時計設備	一式	一式	一式	一式	
電話設備	一式	一式	一式	一式	
インターホン設備	一式	一式	一式	一式	
火災報知設備	一式	一式	一式	一式	
防犯設備配管設備	一式	一式	一式	一式	
発電設備	一式	一式	一式	一式	
電力貯蔵設備	一式	一式	一式	一式	
雷保護設備					一式
構内配電線路					一式
構内通信線路	一式	一式	一式	一式	
誘導支援設備	一式	一式	一式	一式	一式
	一式	一式	一式	一式	一式

6. 部分引渡し　○　無　○　有（工期令和　年　月　日）
   指定部分　：

第２　工事仕様

1. 共通仕様（松戸市）
・工事発注に関する現場説明書(質疑に対する回答書を含む)、本特記仕様書及び図面に記載されていない事項は、すべて国土交通省大臣官房官庁営繕部監修の「公共建築工事標準仕様書(電気設備工事編)(令和7年版)」、「電気設備工事監理指針（令和4年版）」、「公共建築改修工事標準仕様書(電気工事編)（令和7年版）」、及び工事に関係ある法令規則（電気事業法、東京電力内外規程規程、構内交換機設備規程、電気法規等の技術基準、消防法、火災予防条例、建築基準法等）（最新版）に準じて施工を行うものとする。
・市監督職員の検査・立会いは、松戸市建築工事検査・立会い項目一覧表(電気設備工事編)による。
・図面及び仕様書に明記無くも、技術上当然行わなければならない工事は、請負金額の範囲内でこれを行うものとする。
・施工、製作は、工程表及び製作図を事前に提出し市監督職員の承諾を得たのち、これを施工するものとする。
・市監督職員の承認の有無にかかわらず、施工物件及び使用機材等に対して請負者は、本工事請負契約に準じて
　その責任を負うものとする。
・本工事に必要な手続き費用等については請負者が遅滞なく行うものとする。なお各種試験費、手続き費用等
　については請負者が負担するものとする。
・現場納まり、取り合い等の照係で配管、配線の位置、方法器具の位置変更等については、施工図により市監督職員と
　打ち合わせの上請負金額内において、これを行うものとする。
・設計図に記するものの以外で建築工事、機械設備工事等の関連工事等については、市監督職員の指示に従って、
　双方請負業者において協議連絡を密にし、工事の円滑なる進捗を期するものとする。
・電子納品については営繕工事電子納品要領（最新版）を参照のこと。また貸与するデータを本工事における施工図
　又は完成図の作成以外に使用してはならない。
・JIS マーク表示のある機材を使用する場合、品質及び性能を有することの証明となる資料の提出を省略する。

2. 特記仕様

章	項　目	特　記　事　項
一般事項	電気工作物の種類	○　事業用電気工作物(自家用電気工作物)　○　一般用電気工作物
	電気保安技術者	事業用電気工作物に係る工事の場合は、建物の設置者が定めた電気主任技術者の業務を補佐する監督職員の指示にしたがい、当該現場における電気工作物の保安業務を行うものとする。
	施工従事者	電気工作物においては法令で定める電気工事士とする。契約電力 500kW以上の電気工作物においても、第1種電気工事士により施工を行うものとする。
	化学物質を放散させる建築材料等	1. 本工事の建物内部に使用する材料等は、設計図書に規定する所要の品質及び性能を有すると共に、次の1)から4)を満たすものとする。 1)合板、木質系フローリング、構造用パネル、集成材、単板積層材、MDF、パーティクルボード、その他の木質建材、ユリア樹脂板、壁紙、接着剤、保温材、緩衝材、断熱材、塗料、仕上塗材は、アセトアルデヒド及びスチレンを発散しない又は発散が極めて少ない材料で、設計図書に規定する「ホルムアルデヒドの放散量」の区分に応じた材料を使用する。 2)接着剤及び塗料は、トルエン、キシレン及びエチルベンゼンの含有量が少ない材料を使用する。 3)接着剤は、可塑剤(フタル酸ジ－ｎ－ブチル及びフタル酸ジ－2－エチルヘキシル等を含有しない難揮発性の可塑剤を除く)が添加されていない材料を使用する。 4）1)の材料を使用して作られた家具、書架、実験台、その他の什器類等は、ホルムアルデヒド、アセトアルデヒド及びスチレンを発散しないか、発散が極めて少ない材料を使用したものとする。 2. 設計図書に規定する「ホルムアルデヒドの放散量」の区分においては、「規制対象外」とは、次の1)又は2)に該当する材料を指し、同区分「第三種」とは次の3)又は4)に該当する材料を指す。 1)建築基準法施工令第20条の7第1項に定める第一種、第二種及び第三種ホルムアルデヒド発散建築材料以外の材料 2)建築基準法施工令第20条の7第4項の規定により国土交通大臣の認定を受けた材料 3)建築基準法施工令第20条の7第1項に定める第三種ホルムアルデヒド発散建築材料 4)建築基準法施工令第20条の7第3項の規定により国土交通大臣の認定を受けた材料
	材料、機材の品質等	1. 本工事に使用する機材は、設計図書に定める品質及び性能を有するもの又は同等以上のものとする。ただし、同等以上のものとする場合は、予め監督職員の承諾を受ける。 2. 下記の表に機材名が記載された製造業者等は、次の 1)から 6)までの全ての事項を満たすものとし、この証明となる資料又は外部機関が発行する品質及び性能等が評価されたことを示す書面を提出して監督職員の承諾を受ける。ただし、製造業者名等が記載されているものは、証明となる資料等の提出を省略することができる。 1)品質及び性能に関する試験データが整備されていること。 2)生産施設及び品質の管理が適切に行われていること。 3)安定的な供給が可能であること。 4)法令等で定められる場合は、その許可、認可、認定又は免許を取得していること。 5)製造又は施工の実績があり、その信頼性があること。 6)販売、保守等の営業体制が整えられていること。

（表）

機　材　名	製造業者等名
蛍光灯器具(防爆照明器具及び防災用照明器具を除く。)	
LED照明(一般屋内用に限る。)	
照明制御装置	
可変速運転用インバータ装置	
分電盤	
制御盤	
キュービクル式配電盤	
高圧スイッチギア(CB形)	
高圧スイッチギア(PW形)	
高圧交流遮断器	
高圧進相コンデンサ	
高圧限流ヒューズ	
高圧負荷開閉器	
高圧変圧器(特定機器)	
交流無停電電源装置	
太陽光発電装置(パワーコンディショナ及び系統連系保護装置)	
監視カメラ装置	
中央監視制御(監視制御装置)	

（表記以外に品質等の確認が必要な機材がある場合は記載する。）

章	項　目	特　記　事　項
一般事項	ワンデーレスポンス	本工事は、ワンデーレスポンス対象工事である。
	適用区分	建築基準法に基づき定まる風圧力及び積雪荷重の算定には、次の条件を用いる。 ○　風圧力 　風速　(Vo=　　m/s) 　地表面速度区分　(○Ⅰ　○Ⅱ　○Ⅲ　○Ⅳ) ○　積雪荷重 　建設省告示第1455号における区域　別表（　　）
	工事用水	構内の既存施設　○　利用できない　○　利用できる(　○　有償　○　無償) (小メーターを付ける)
	工事用電力	構内の既存施設　○　利用できない　○　利用できる(　○　有償　○　無償)
	監督職員事務所	○　設ける　○　設けない
	工事用仮設物	構内につくることが　○　できる　○　できない
	官公署等への手続	工事に必要な官公署への手続きは受注者が代行し、速やかに行う。
	足場・その他	○　別契約の関係業者が定置したものは、無償で使用できる。 ○　本工事で設置する。 「手すり先行工法に関するガイドライン」に基づく足場の設置に当たっては、同ガイドラインの別紙１「手すり先行工法による足場の組立て等に関する基準」における2)(2)手すり設置方式又は(3)手すり先行専用足場方式により行う。 ○　内部足場等（○　A種　○　B種） ○　外部足場等（○　種　○　種） ○　機械設備工事　○　建築工事　で設置する。
	工事写真	国土交通省大臣官房官庁営繕部制定の「営繕工事写真撮影要領(最新版)」及び社団法人公共建築協会編集-工事写真の撮り方（建築設備編）（最新版）による。
	完成図等及び提出部数	松戸市建築工事提出書類一覧表による
	引渡しを要するもの	○　なし　○　あり(　　) 特別管理産業廃棄物　○　なし　○　あり(PCB使用機器:　　) PCB使用機器は関係法令により適切に処理し、建物管理者に引き渡す。
	環境への配慮	1. 松戸市で定める「松戸市グリーン購入等に係る基本方針」に基づき環境に配慮した物品を優先的に使用する。 2. 「国等による環境物品等の調達の推進等に関する法律」の特定調達品目の判断基準は「環境物品等の調達の推進に関する基本方針」(平成28年2月)による。ただし、東日本大震災の影響により、特定調達物品の使用が困難な場合には、監督職員と協議するものとする。 3. 環境物品等の調達の推進に関する基本方針における公共工事の配慮事項「資材(材料及び機材を含む)の梱包及び容器は、可能な限り簡易であって、再生利用の容易さ及び廃棄時の負担軽減に配慮されていること。」）に留意すること。
	環境対策	受注者は、環境保全対策関係法令に従い、工事現場地域の保全と円滑な工事施工を図ること。 建設機械は、排出ガス対策型、低騒音型の建設機械を使用すること。
	室内空気中化学物質の測定	○　施工完了時に室内空気中の揮発性有機化学物質の濃度を測定し、報告すること。 ○　ホルムアルデヒド、トルエン、キシレン、パラジクロロベンゼン、エチルベンゼンスチレン ○　ホルムアルデヒド、トルエン、キシレン、エチルベンゼン、スチレン 測定はパッシブ型採集機器により行う。測定対象室及び測定箇所数は協議による。 測定値が厚生労働省指針値を超えた場合は、換気後再測定し報告書を提出すること。
	保険	本工事については、工事目的物及び工事材料を次に示す内容で火災保険、組立保険その他の保険に附すること。 1)被保険者　発注者、受注者及びその全下請負人 2)保険金額　請負代金全額 3)保険期間　工事着手のときから工事引渡しまでの期間 なお、保険契約を締結したときは、その証券又はこれに代わるものを直ちに監督職員に提示すること。
	工事実績情報の登録	本工事の最終請負代金(消費税込)が500万円以上となる場合には、工事実績情報システム(CORINS)に基づき、工事実績データを作成する。 また、作成した内容について監督職員の確認を受けた後、以下に示す期間内に(一財)日本建設情報総合センターに所定の手続により登録するとともに、登録内容確認書の写しを提出する。 1)工事受注時　契約締結後10日以内 2)登録内容の変更時　契約事項の確定日から10日以内 3)工事完成時　工事完成後10日以内
	工事現場管理	受注者は、工事の施工にあたっては、次の事項を遵守すること。 1)不法・違反無線局(不法パーソナル無線)を設置したトラック、ダンプカー等を工事現場に立ち入らせないこと。
	過積載による違法運行の防止	受注者は、工事の施工にあたっては、次の事項を遵守すること。 1)積載重量制限を超過して土砂を積み込ませ、また積み込ませないこと。 2)さし枠装着車、不表示車等に土砂を積み込ませ、また積み込ませないこと。 3)過積載車両、さし枠装着車、不表示車等から土砂等の引き渡しを受けるなど、過積載を助長することのないようにすること。 4)取引関係のあるダンプカー事業者が過積載を行い、又はさし枠装着車、不表示車等を土砂運搬に使用している場合は、早急に不正状態を解消する措置を講ずること。 5)建設発生土の処理及び骨材等の購入にあたって、下請事業者及び骨材等納入者の利益を不当に害することのないようにすること。 6)以上のことにつき、下請事業者にも十分指導すること。
	創意工夫等の実施	受注者は、工事施工において、自ら立案実施した創意工夫に関する項目、又は地域社会への貢献として評価できる項目に関する事項について、工事完了時までに所定の書式により提出することができる。
	安全対策	受注者相互の緊密な連絡調整を図り、協力して工事を安全円滑に実施することを目的とする「工事関係者連絡会議」を設置すること。 発注者が行う審査、検討、安全点検等に協力すること。
	他工事との取合い	別表1 工事区分表による。
	中間検査	○中間検査を実施する。 （回数　１回、　実施時期　監督員との協議により決定　　） 中間検査の範囲 （　　）
	条件明示項目	○　施工可能期間 　月　日～　月　日（期間中も行事等により、短期の施工不能日あり） ○　改修工事の部分使用 　月　日まで に下記部分について、部分使用するので協力すること。 部分使用箇所（　　）
		○　施工条件の明示
	デジタル工事写真の小黒板情報電子化	デジタル工事写真の小黒板情報電子化は、受発注者双方の業務効率化を目的に、被写体画像の撮影と同時に工事写真における小黒板の記載情報の電子的記入および、工事写真の信憑性確認を行うことにより、現場撮影の省力化、写真整理の効率化、工事写真の改ざん防止を図るものである。 本工事でデジタル工事写真の小黒板情報電子化を行う場合は、工事契約後、監督職員の承諾を得たうえでデジタル工事写真の小黒板情報電子化対象工事(以降、「対象工事」と称する)とすることができる。対象工事では、以下の1)から4)の全てを実施することとする。 1)対象機器の導入 受注者は、デジタル工事写真の小黒板情報電子化の導入に必要な機器・ソフトウェア等(以降「使用機器」と称する)については、営繕工事写真撮影要領２．(３)に示す項目の電子的記入ができること、かつ信憑性確認(改ざん検知機能)を有するものを使用することとする。なお、信憑性確認(改ざん検知機能)は、「電子政府における調達のために参照すべき暗号のリスト(CRYPTREC 暗号リスト)」 URL「https://www.cryptrec.go.jp/list.html」に記載している技術を使用していること。また、受注者は監督職員に対し、工事着手前に本工事での使用機器について提示するものとする。 なお、使用機器の事例として、 URL「http://www.cals.jacic.or.jp/CIM/sharing/index.html」記載の「デジタル工事写真の小黒板情報電子化対応ソフトウェア」を参照されたい。ただし、この使用機器の事例からの選定に限定するものではない。 2)デジタル工事写真における小黒板情報の電子的記入 受注者は、1)の使用機器を用いてデジタル工事写真を撮影する場合は、被写体と小黒板情報を電子画像として同時に記録してもよい。小黒板情報の電子的記入を行う項目は、営繕工事撮影要領２．(３)撮影方法」による。 ただし、対象工事において、高温多湿、粉じん等の現場条件の影響により、対象機器の使用が困難な工種については、使用機器の利用を限定するものではない。

章	項　目	特　記　事　項
一般事項	デジタル工事写真の小黒板情報電子化（つづき）	3)小黒板情報の電子的記入の取扱い 本工事の工事写真の取扱いは、営繕工事写真撮影要領に準ずるが、2)に示す小黒板情報の電子的記入については、同要領４．で規定されている写真編集には該当しない。 4)小黒板情報の電子的記入を行った写真の納品 受注者は、2)に示す小黒板情報の電子的記入を行った写真(以下、「小黒板情報電子化写真」と称する)を、工事完成時に監督職員へ納品するものとする。 なお納品時に、受注者は URL(http://www.cals.jacic.or.jp/CIM/sharing/index.html)のチェックシステム(信憑性チェックツール)又はチェックシステム(信憑性チェックツール)を搭載した写真管理ソフトウェアや工事写真ビューアソフトを用いて、小黒板情報電子化写真の信憑性確認を行い、その結果を併せて監督職員へ「工事打合せ簿」等により提出するものとする。なお、提出された信憑性確認の結果を、監督職員が確認することがある。
	その他	本工事に含まれる建築工事、電気・機械設備工事は、国土交通省大臣官房官庁営繕部監修の標準仕様書(令和7年版)に準拠して行う。 情報政策課が設置した機器(アクセスポイント、サーバラック等)がある場合は、取扱いを監督職員と協議すること。
共通事項	金属製露出管路（亜鉛メッキ面）の塗装	○汚れ、付着物及び油類を除去し、塗装(調合ペイント2回塗り)を行う。 ○配線室以外の管路は、汚れ、付着物及び油類を除去し、塗装(調合ペイント2回塗り)を行う。
	厚鋼電線管及び同附属品	電線管外面の仕上げは、　●　溶融亜鉛メッキ　○　製造者標準　とする。 電線管内面の仕上げは、　●　溶融亜鉛メッキ　○　製造者標準　とする。 電線管付属品は、　●　上記と同等の防食性能を有する防水形　○　標準品　とする。
	フロアーブレートフロアーカバー	特記あるもの及び特殊なものを除き　○　鋳金製　○　アルミ合金製　○　ステンレス製 〃　○　水平高低調整式(空転防止リング付)
	0A用インナーコンセント	○　樹脂製　○　アルミ合金製
	フラッシュプレート呼び線保温・結露防止	特記あるもの及び特殊なものを除き　○　樹脂製　○　アルミ合金製　○　ステンレス製 長さ1m以上の入線しない管路には、1.2mm以上のビニール被覆鉄線を挿入する。 建築工事にてFP板(スタイロホーム等)打ち込みの箇所に取付ける位置ボックス等は、保温、結露防止処理を行う。
	合成樹脂製可とう電線管	合成樹脂製可とう電線管(PF)は、一重管とする。
	屋外プルボックスはつり	○　溶融亜鉛メッキ製　●　ステンレス製　　防水形とする。 既存のコンクリート床、壁などの配管貫通部の穴開けは、原則としてダイヤモンドカッタによる。
	アンカー	既存躯体に穿孔する場合は、金属の探知により電源の供給が停止できる付属装置等を使用する。
	再使用機器	取り外し再使用機器は、清掃および絶縁抵抗測定のうえ取り付けを行う。ただし、絶縁劣化等により再使用に耐えない場合は、監督職員に報告する。
	耐震措置	設備機器の固定は、次に示す事項を除き「建築設備耐震設計・施工指針 2014年版」(独立行政法人建築研究所監修)による。 1)設計用水平地震力 機器の重量(kgf)に、設計用標準水平震度を乗じたものとする。なお、特記なき場合、設計用標準水平震度は、次による。

設計用水平震度○

設置場所	機器種別	特定の施設		一般の施設	
		重要機器	一般機器	重要機器	一般機器
上層階(注1) 屋上及び塔屋	機　器	2.0	2.0	2.0	1.5
	防振支持の機器	2.0	2.0	2.0	1.5
	水 槽 類(※1)	2.0	1.5	1.5	1.0
中　間　階	機　器	1.5	1.0	1.0	0.6
	防振支持の機器	1.5	1.5	1.5	1.0
	水 槽 類(※1)	1.5	1.0	1.0	0.6
地下階・1階	機　器	1.0	0.6	0.6	0.4
	防振支持の機器	1.0	1.0	1.0	0.6
	水 槽 類(※1)	1.5	1.0	1.0	0.6

【備考】　(※1):水槽類には、オイルタンク等を含む。

(注1)重要機器は次による。
○　配電盤　○　発電装置(防災用)　○　交流無停電電源装置
○　直流電源装置　○　電話交換機　○　火災報知器受信機
○　中央監視制御装置
(注2)上層階の定義は次による。
6階建以下の場合は最上階、7～9階建の場合は上層2階、10階～12階建の場合は上層3層、13階建以上の場合は上層4階とする。

2)設計用鉛直地震力
設計用水平地震力の1/2とし、水平地震力と同時に働くものとする。

工事前の絶縁抵抗測定	改修する回路の絶縁抵抗は、比較のため工事の前後で測定すること。
施工調査	事前調査　●　本工事　○　別途 調査項目　●　既存資料調査 調査範囲　○　図示　○ 調査方法　○　図示　○
	○　はつり工事は、事前に走査式埋設物調査を行い、監督職員に報告を行う。

章	項　目	特　記　事　項
その他共通事項（松戸市）	金属管工事	屋外露出配管等の支持金物は原則としてステンレス製とする。
	塗装	塗装色は、特別の指示が無い場合は、マンセル7.5Y9/1とする。（JIS K 5516）
	電圧測定	電灯/動力の改修する電源の電圧測定は、比較のため工事の前後で測定すること。
	動力電源の相確認	三相三線式の改修する電源の回転方向は、比較のため工事の前後で測定すること。
	一般照明の照度測定	1．一般照明の照度測定箇所数は監督職員の指示による。 2．測定方法及び測定点はJIS C 7612に準拠し改修工事の場合は工事の前後で測定すること。 3．学校については文部科学省「学校環境衛生基準」による。
	接地線	ELCB用の接地線の色別は緑/黄のEM-IE電線等を使用すること。
	用途表示	用途表示は、標準仕様書によるもののほか、プルボックス、位置ボックスに設けること。

章	項　目	特　記　事　項
受変電設備	電気方式	高圧　○　三相3線式　6kV 低圧　○　三相3線式　200V　○　三相　線式　V ○　単相3線式　200V/100V　○　単相　線式　V ○　CB形(5サイクル以内)　○　PF-S形
	主遮断機	
	設備容量	変圧器総容量　kVA　(うち本工事に係るもの　kVA)
	進相コンデンサ	○　高圧　kVar　○　低圧　自動力率制御(　○　あり　○　なし)
	配電盤	○　屋内形　○　屋外形
	絶縁ゴムマット	W1000×L1.0×t
	その他	1)変圧器は　○　油入形　○　モールド形　変圧器とする。 2)高圧交流負荷開閉器(LBS)はストライカ式とする。 3)変圧器の8種接地線には、漏電警報器(ELR)を設置する。 4)DS・LBS等の充電部が露出する機器には、十分な強度を有する透明アクリル板保護扉を設ける。
電灯設備	電気方式	幹線　○　単相3線式　200V/100V　○　直流2線式　100V 分岐　○　単相2線式　100V　○　直流2線式　100V ○　単相2線式　200V
	ハイテンションアウトレット	○　外部固定式　○　内部固定式　○　回転形又は上下動形　○　アップ形
	非常照明器具	○　電池内蔵形　○　電池別置形
	配線器具	○　タンブラスイッチは　○　ワイド形　○　大角形 ○　壁付コンセントは(2口は複式で可)　○　ワイド形　○　大角形
	非常用の照明装置の照度測定箇所数	測定数　：　監督職員の指示による。
動力設備	電気方式	幹線　○　三相3線式　200V　○　相　線式　V 分岐　○　三相3線式　200V　○　相　線式　V
	機器への接続	本工事制御盤より別途電動機等への配線接続は　○　本工事　○　別途工事
構内配電線路	電気方式	○　高圧　三相3線式　6kV ○　低圧　○　三相3線式　200V　○　三相　線式　V ○　単相3線式　200V/100V　○　単相　線式　V ○　単相　線式　V
	電線方式	○　地中線式　○　架空線式
	地中線路の余長	マンホール、ハンドホール内で各系統2箇所以上(1巻程度)ケーブルの余長を設ける。
	地中管の材質	○　厚鋼電線管(防食テープ1/2重ね2回巻き、4層)　●　波付硬質ポリエチレン管 ○　防水鋳鉄管
	装柱機材	※地中部分は防食テープはJIS Z-1901を使用し、地上立ち上がり部分は GL+300mmまで対候性のあるテープ等で処理を行う。 ○　耐塩形(ケーブル端末処理材とも)　○　重耐塩形
	外灯接地	○　1基毎単独　○　共用(ケーブル1芯使用)
	区分開閉器等	1)架空引込　高圧気中負荷開閉器(PAS)、(SOG+OGR)付収納箱(スチンレス製)
	その他	2)地中引込　地中線用高圧ガス負荷開閉器(UGS)(SOG+OGR)付 地中線には、ケーブル埋設標及び埋設標識シート(高圧は管理者名入り)を設ける。 埋設標　○　鉄製　○　コンクリート製 標識シート　○　(GL-300　○　2倍折り)
構内通信線路	配線方式	○　地中線式　○　架空線式
	地中線路の余長	マンホール、ハンドホール内で各系統2箇所以上(1巻程度)ケーブルの余長を設ける。
	地中管の材質	○　厚鋼電線管(防食テープ1/2重ね2回巻き、4層)　●　波付硬質ポリエチレン管 ○　防水鋳鉄管
	その他	※地中部分は防食テープはJIS Z-1901を使用し、地上立ち上がり部分は GL+300mmまで対候性のあるテープ等で処理を行う。 地中線には、ケーブル埋設標及び埋設標識シートを設ける。 埋設標　○　鉄製　○　コンクリート製 標識シート　○　(GL-300　○　2倍折り)
別表1	接地極	接地極の材料は原則として下記による。なお、接地棒EB(14φ)の長さは1,500mm以上とし、10Ωは平板(W=30)、L=900、14Ωは平板(W=40)、L=1200とじても差し支えない。(ただし、雷保護用は除く。)

接地の種類	記　号	接地抵抗値	接　地　極
共同接地	$E_{A,B}$	10Ω以下	EB(14φ)　×　3連－2組
共同接地	$E_{A,C,D}$	10Ω以下	EB(14φ)　×　3連－2組
A種接地	E_A	10Ω以下	EB(14φ)　×　3連－2組
B種接地	E_B	150/1Ω以下※	EB(14φ)　×　3連－ 組
C種接地	E_C	10Ω以下	EB(14φ)　×　3連－2組
D種接地	E_D	100Ω以下	EB(10φ)　×　1（L=1000mm）
高圧避雷器用	E_{LH}	10Ω以下	EB(14φ)　×　3連－2組
低圧避雷器用	E_{LL}	10Ω以下	EB(14φ)　×　3連－2組
雷保護用	E_{LA}	Ω以下	○（　　） ○ EB(14φ)　×　3連－2組
電話引込口の保安器用	E_{Et}	100Ω以下	EB(14φ)　×　3連－2組
交換装置用	E_T	10Ω以下	EB(14φ)　×　3連－2組
通信用(10Ω)	E_{At}	10Ω以下	EB(14φ)　×　3連－2組
通信用(100Ω)	E_{Dt}	100Ω以下	EB(10φ)　×　1（L=1000mm）
測定用	E_M	－	EB(10φ)　×　1（L=1000mm）

※　接地抵抗値は、電気事業者と協議のうえ決定すること。

工事区分表　図面に記載のなき場合、各工事との取り合いは原則として下記による。

	工事内容		施工区分 建築	電気	機械
開口部	はり、床、壁貫通部	鉄筋補強	●	○	○
		スリーブ、型枠	●	●	●
	埋込形(分電盤、端子盤、プルボックス)	鉄筋補強	●	○	○
	風道、埋込形消火栓ボックス、吹出口、吸込口換気扇、大便器等	スリーブ、型枠	●	●	●
	軽量鉄骨下地天井、壁ボード類の切り込み	補強とも	●	○	○
		補強のない場合	○	●	●
	スリーブ穴埋め、型枠穴埋め		●	●	●
	鉄骨、PC板等への穴開け、補強、スリーブ入れ(工場加工)		●	○	○
基礎	屋内　配電盤、制御盤、発電機、キュービクル受水槽、サービスタンク	躯体と一体のもの	●	／	／
		上記以外	○	●	●
	屋外　配電盤、制御盤、キュービクル受水槽、消火水槽	鉄筋基礎	○	●	●
		無筋基礎	○	○	○
	屋上　テレビアンテナ、避雷針、高架水槽クーリングタワー、消火栓補給水槽	躯体と一体のもの	●	○	○
		上記以外	○	●	●
	架台、アンカーボルト		○	●	●
点検口	床、天井、壁		●	○	○
	配線ピット、トレンチピット		●	○	○
			／	／	／
配管配線	機器付属の制御盤(接地共)	一次側	○	●	○
		二次側	●	●	●
	制御盤と動力盤の間(接地共)	電源供給	○	●	○
		操作　配管	○	○	○
		回路　配線(　)	○	○	○
	天井吊り型FCU及び全熱交換形換気(接地共)	電源供給	○	●	○
		操作　配管	○	○	○
		回路　配線(　)	○	○	○
	煙感知器から連動制御盤を経て防火ダンパーに至る配管配線		○	●	○
その他	防油提		●	○	○
	インサート、吊りボルト		●	●	●
	換気扇枠		○	○	○
	外部取り付けギャラリー（ダクト、チャンバー接続フランジを含む）		●	○	○

章	項　目	特　記　事　項
別表1	機器取付高	図面に記載のなき場合、機器の取付高さは原則として下記による。

	名　称	測　点	取付高(mm)
共通	取引用計器	地上～上端	1,800～2,000
	引込開閉器	床上～上端	1,800～2,200
	警報盤	床上～中心	1,500
電力	分電盤	床上～中心	1,500
	タンブラスイッチ	〃	1,300
	〃　(多機能トイレ)	〃	1,100
	コンセント(一般)	〃	300
	〃　(和室)	〃	150
	〃　(台上)	台上～中心	150
	〃　(車椅子用)	床上～中心	900
	〃　(車庫)	〃	800～1,300
	ブラケット(一般)	〃	2,100
	〃　(踊場)	〃	2,500
	〃　(鏡上)	鏡端～中心	150
	避難口誘導灯	床上～下端	1,500以下
	廊下通路誘導灯	床上～上端	1,000以下
	接地用端子箱	床上～中心	500
	避雷　〃	床上～下端	800
	接地極埋設標	地上～中心	600
	給油ボックス	地上～給油口	1,000
動力	壁掛形制御盤	床上～中心	1,500
	手元開閉器	〃	1,500
	操作スイッチ・押ボタン	〃	1,300
電話	室内端子盤(廊下・室内)	床上～下端	300
	中間端子盤(EPS・電気室)	床上～中心	1,500
	集合保安器箱	〃	(天井高)×0.9
	壁付アウトレットボックス		
	〃　(一般)	床上～中心	300
	〃　(和室)	〃	150
	壁付電話機	〃	1,300
時計・拡声	壁掛形親時計	床上～中心	1,500
	子時計	〃	(天井高)×0.9
	壁掛形スピーカー	〃	〃
	アッテネーター	〃	1,300
表示	表示盤	床上～中心	(天井高)×0.9
	ベル	〃	〃
	ブザー	〃	〃
	壁付表信器	〃	1,300
	押ボタン	〃	〃
	呼出ボタン(多機能トイレ)	〃	900(400)
	復帰ボタン(多機能トイレ)	〃	1,300
	廊下表示灯(多機能トイレ)	〃	2,000
インターホン	壁付インターホン	床上～中心	1,500
	〃　(多機能トイレ)	〃	1,100
	壁付位置ボックス (壁付インターホンを除く)		
	〃　(一般)	床上～中心	300
	〃　(和室)	〃	150
テレビ共同受信	機器収容箱	床上～中心	1,800
	テレビアウトレット(一般)	〃	300
	テレビアウトレット(和室)	〃	150
火災報知	受信機	床上～操作部	800～1,500
	副受信機	〃	〃
	機器収容箱	床上～中心	〃
	発信器	〃	〃
	警報ベル	〃	(天井高)×0.9
	表示灯	〃	(天井高)×0.8
施工図等の取扱い			

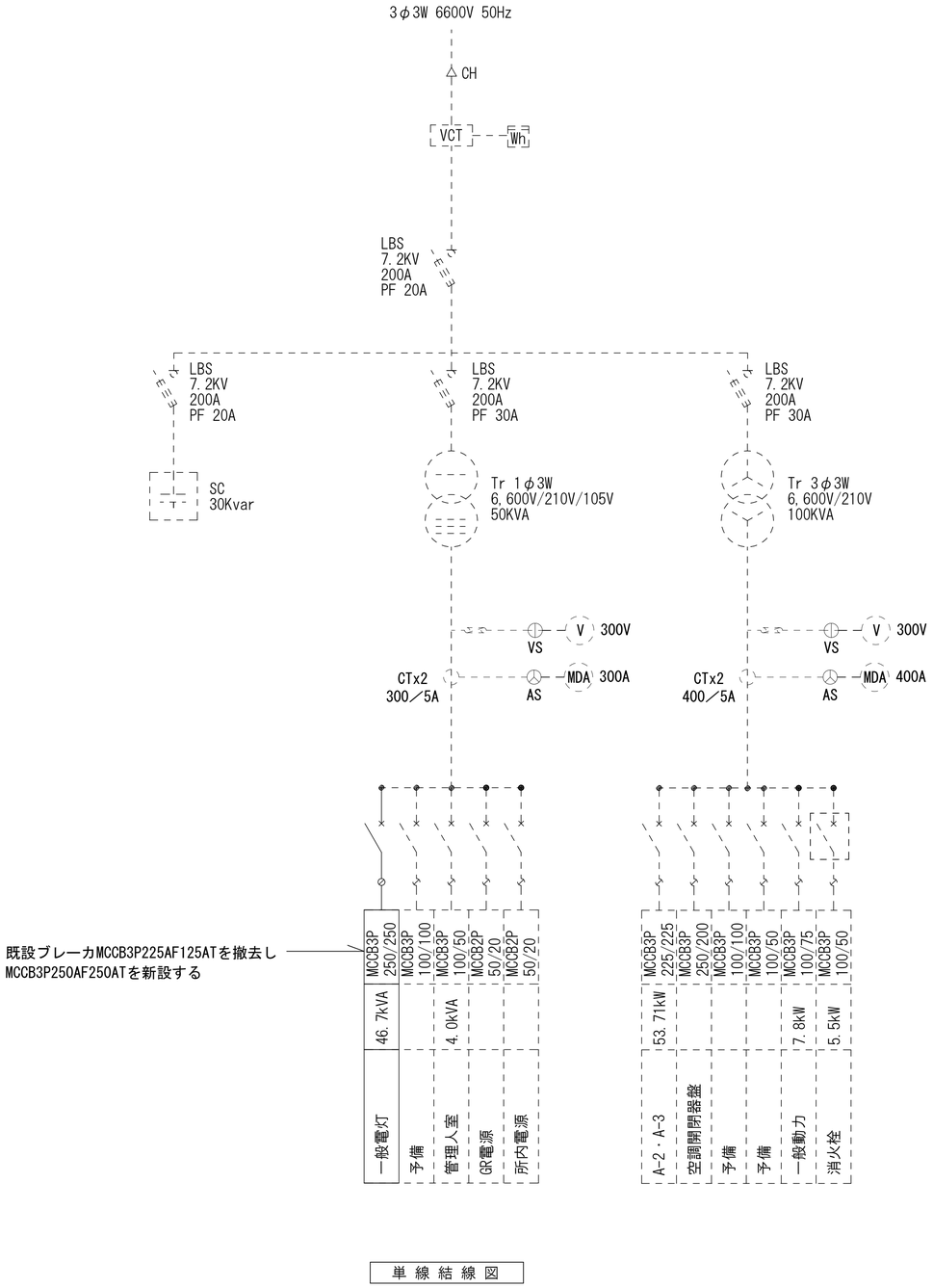
備考
1)(天井高)×0.9及び(天井高)×0.8は、天井高が2,500～3,000の場合適用する。
2)天井高3,000mm以上の場合及び上記取付高さにおいて、機器の使用に支障が生じる場合は、監督職員と協議する。

注意
1)呼出しボタン(身障者用)の取付高さ(400)は、床に転倒した時を考慮した高さを示す。

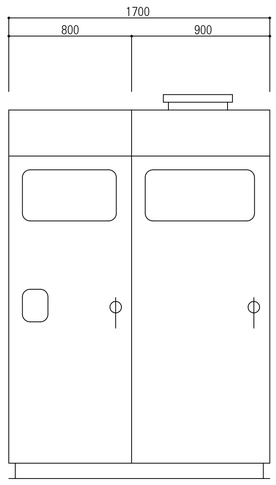
施工図等の著作権に係る当該建物に限る使用権は、発注者に移譲するものとする。

工事名	松戸市立総合医療センター附属看護専門学校 給排水管改修工事
図面名	電気設備工事特記仕様書
作成年月日	令和7年1月31日　変更年月日
縮　尺	No－Scale　図面番号　E-02
設　計	株式会社　山岡設計事務所 千葉県知事登録　第1-2306-2686号 山岡　治 一級建築士大臣登録第272498号
	松戸市 街づくり部 建築保全課

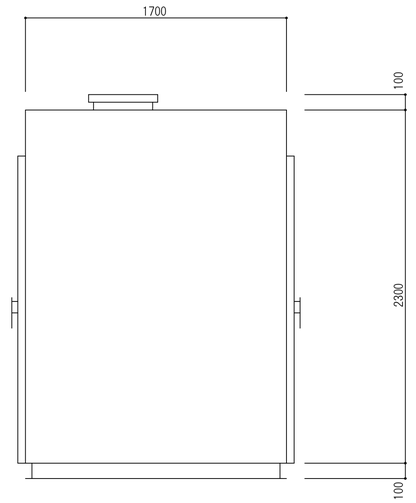
改修後



単線結線図



正面図（No-scale）



側面図（No-scale）

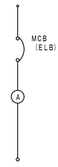
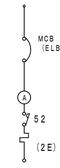
工事名	松戸市立総合医療センター附属看護専門学校 給排水管改修工事		
図面名	受変電設備単線結線図（改修後）		
作成年月日	令和7年1月31日	変更年月日	
縮尺	A1:No-scale A3:No-scale	図面番号	E-03
設計	株式会社　山岡設計事務所 千葉県知事登録　第1-2306-2686号 山岡　治 一級建築士大臣登録第272498号		
松戸市 街づくり部 建築保全課			

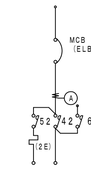
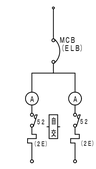
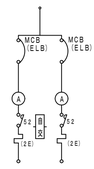
改修前後

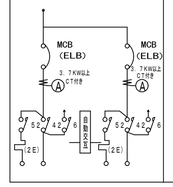
動力制御盤

制御盤名称（形状）	幹線 NO	幹線 電線・サイズ（容量計）	主開閉器（AF／AT）	機器 番号	機器 区分	機器 名称	機器 定格出力（KW）	電源 種別	電源 相	電源 電圧（V）	制御盤 主回路	制御盤 分岐開閉器（AF/AT）	制御盤 起動押ボタン	制御盤 運転表示	制御盤 故障表示	制御盤 警報表示	制御盤 コンデンサー	運転 操作制御方法	運転 操作制御 スイッチ	遠方監視盤(警報盤) 操作	遠方監視盤(警報盤) 運転表示	遠方監視盤(警報盤) 故障表示	遠方監視盤(警報盤) 警報表示	備考
LM-1A 鋼板製・埋込型 改修前 箱体は既設使用	AC 3φ3W200V	CV38゛-3C				浄化槽	3.05	一般	3	200	A	MCCB3P 50/30												IV5.5゛x3 E2.0(E25)
						P-1	2.7	一般	3	200	A	MCCB3P 50/30												IV5.5゛x3(E25)
						4F空調機械室	12.46	一般	3	200	A	MCCB3P 100/75												IV14゛x3 E8゛(E31) 撤去範囲
						合計	18.21																	
⇓																								
改修後	AC 3φ3W200V	CV38゛-3C				浄化槽（未使用）		一般	3	200	A	MCCB3P 50/30												IV5.5゛x3 E2.0(E25)
						P-1	7.8	一般	3	200	A	MCCB3P 60/60												EM-CET14゛ (コロガシ)
						4F空調機械室（未使用）		一般	3	200	A	MCCB3P 100/75												IV14゛x3 E8゛(E31) 新設範囲
						合計	7.8																	
P-1 鋼板製・自立型 改修前 箱体は既設使用	AC 3φ3W200V	IV5.5゛x3	MCCB3P 50/30			揚水ﾎﾟﾝﾌﾟNo.1	2.2	一般	3	200	F	ELCB3P 50/20		○		○		9	G4				○	IV2.0x3 E1.6(G22)
						揚水ﾎﾟﾝﾌﾟNo2	2.2	一般	3	200		ELCB3P 50/20		○		○		9	G4				○	IV2.0x3 E1.6(G22)
						滅菌機	0.1	一般	3	200	C	ELCB3P 50/10		○		○			揚水ﾎﾟﾝﾌﾟ連動					IV1.6x3 E1.6(G22)
						2Fﾄﾞﾗﾌﾄﾁｬﾝﾊﾞｰ	0.4	一般	3	200	A	MCCB3P 50/20												IV2.0x3 E1.6(G22) 撤去範囲
						操作電源		一般	1	200	B	MCCB2P 50/10												
						合計	2.7																	
			せﾊﾟﾚｰﾀ																					
	AC 3φ3W200V	FP14゛-3C				消火栓ﾎﾟﾝﾌﾟ	5.5	一般	3	200	D	MCCB3P 50/50	○	○		○		8-1					○	FP8゛-3Cx2 E8゛(G42)
			○ FD			操作電源		一般	1	200	B	MCCB2P 50/10												
						合計	5.5																	
⇓																								
改修後	AC 3φ3W200V	EM-CET14゛	MCCB3P 100/60			加圧ﾎﾟﾝﾌﾟﾕﾆｯﾄ	3.7x2	一般	3	200	A	ELCB3P 100/60												EM-CE8゛-3C E5.5゛(G28)
						2Fﾄﾞﾗﾌﾄﾁｬﾝﾊﾞｰ	0.4	一般	3	200	A	MCCB3P 50/20												IV2.0x3 E1.6(G22) 新設範囲
						操作電源		一般	1	200	B	MCCB2P 50/10												
						合計	7.8																	
			せﾊﾟﾚｰﾀ																					
	AC 3φ3W200V	FP14゛-3C				消火栓ﾎﾟﾝﾌﾟ	5.5	一般	3	200	D	MCCB3P 50/50	○	○		○		8-1					○	FP8゛-3Cx2 E8゛(G42)
			○ FD			操作電源		一般	1	200	B	MCCB2P 50/10												
						合計	5.5																	

主回路

A 電源送り	B 電源送り	C 単式直入起動
		

D 単式Y－Δ起動	E 単式自動交互直入起動	F 複式自動交互直入起動
		

G 複式自動交互Y－Δ起動


（注記）

1. 機器区分　E・・電気設備　P・・衛生設備　A・・空調設備
   T・・ELV、冷凍機他

2. 電源種別　ー般・・ー般電源　E・・非常電源、予備電源

3. ブレーカー　MCCB・・配線用遮断器　MMCB・・配線用遮断器（モーター用）
   ELCB・・漏電遮断器　MELB・・漏電遮断器（モーター用）

4. 特記無きELCBの仕様は下記とする
   感度電流　30mA
   最大動作時間　0.1S

5. 運転（操作制御方法・操作制御スイッチ）の番号は、公共建築工事標準図（電気設備工事編）制御盤による

工事名	松戸市立総合医療センター附属看護専門学校給排水管改修工事		
図面名	盤図１（改修前・改修後）		
作成年月日	令和7年1月31日	変更年月日	
縮尺	A1:No-scale A3:No-scale	図面番号	E-04
設計	株式会社　山岡設計事務所 千葉県知事登録　第1-2306-2686号 山岡　治 一級建築士大臣登録第272498号		
松戸市 街づくり部 建築保全課			

改修前後

電灯分電盤

1階電灯分電盤 (LM-1A) 鋼鈑・埋込型 改修前

盤名称 (形 状) 幹線番号	主回路 B 幹線サイズ 主開閉器	電気方式 1φ3W 電源電圧 200/100	回路番号	MCCB 2P 50/20	MCCB 1P 50/20	ELCB 2P 50/20	負荷容量 (VA) 電灯	コンセント	その他	付属機器	負荷名称
1階電灯分電盤 (LM-1A)											
鋼鈑・埋込型		CV100		3P 100/100					21110		2F電源 L-2A
改修前				3P 100/100					20810		3F電源 L-3
			Ⓐ	○					300		自動火報報知・ｶﾞｽ漏れ感知
			Ⓑ	○					200		警報盤・視聴覚室ｱﾝﾌﾟ用
		ELCB3P 100/100									
			①	○			2260				電灯 ﾛｯｶｰ室・廊下
			②	○			2280				電灯 職員室
			③	○			1520				電灯 校長室
			④	○							予備
			①		○		1280				電灯 ｺﾋﾞｰ室・他
			②		○		1100				電灯 階段・倉庫
			③		○		280				便所 電灯
			④		○			200			ﾎﾞﾀﾝ電話専用
			⑤		○			180			ｺﾝｾﾝﾄ ｱﾝﾌﾟ・時計
			⑥		○			1100			ｺﾝｾﾝﾄ 事務室
			⑦		○			1000			ｺﾝｾﾝﾄ 職員室
			⑧		○			1200			ｺﾝｾﾝﾄ 校長室
			⑨		○			1000			ｺﾝｾﾝﾄ ｺﾋﾞｰ室
			⑩		○			1100			ｺﾝｾﾝﾄ 湯沸室
			⑪		○			600			ｺﾝｾﾝﾄ ﾛｯｶｰ室・他
			⑫		○		1150				電灯 事務室・他
			⑬		○		1400				電灯 校長室
			⑭		○		400				電灯・ｺﾝｾﾝﾄ 浄化槽
			⑮		○				531		ﾌｧﾝｺｲﾙ 事務室・他
			⑯		○				100		総合警備
			⑰		○			1000		Mg+COS	電灯 外灯
			⑱		○			1150		Mg+COS	電灯 外灯
		合計20,831VA					11670	8530	631		
		総計63,251VA									
		ED									

改修後

盤名称 (形 状) 幹線番号	主回路 B 幹線サイズ 主開閉器	電気方式 1φ3W 電源電圧 200/100	回路番号	MCCB 2P 50/20	MCCB 1P 50/20	ELCB 2P 50/20	負荷容量 (VA) 電灯	コンセント	その他	付属機器	負荷名称
⇓											
改修後		CV100		3P 100/100					27130		2F電源 L-2A
				3P 100/100					22860		3F電源 L-3
			Ⓐ	○					300		自動火報報知・ｶﾞｽ漏れ感知
			Ⓑ	○					200		警報盤・視聴覚室ｱﾝﾌﾟ用
		ELCB3P 100/100									
			①	○			2260				電灯 ﾛｯｶｰ室・廊下
			②	○			2280				電灯 職員室
			③	○			1520				電灯 校長室
			④	○							予備
			①		○		1280				電灯 ｺﾋﾞｰ室・他
			②		○		1100				電灯 階段・倉庫
			③		○		280				便所 電灯
			④		○			200			ﾎﾞﾀﾝ電話専用
			⑤		○			180			ｺﾝｾﾝﾄ ｱﾝﾌﾟ・時計
			⑥		○			1100			ｺﾝｾﾝﾄ 事務室
			⑦		○			1000			ｺﾝｾﾝﾄ 職員室
			⑧		○			1200			ｺﾝｾﾝﾄ 校長室
			⑨		○			1000			ｺﾝｾﾝﾄ ｺﾋﾞｰ室
			⑩		○			1100			ｺﾝｾﾝﾄ 湯沸室
			⑪		○			600			ｺﾝｾﾝﾄ ﾛｯｶｰ室・他
			⑫		○		1150				電灯 事務室・他
			⑬		○		1400				電灯 校長室
			⑭		○		400				電灯・ｺﾝｾﾝﾄ 浄化槽
			⑮		○				531		ﾌｧﾝｺｲﾙ 事務室・他
			⑯		○				100		総合警備
			⑰		○			1000		Mg+COS	電灯 外灯
			⑱		○			1150		Mg+COS	電灯 外灯
		新設範囲 (盤内にスペースが無い為、別置露出箱にて増設)									
			⑲	○				1210			男子便所洗浄便座他
			⑳	○				1200			女子便所洗浄便座他
			㉑	○				1210			女子便所洗浄便座
			㉒	○				1200			女子便所洗浄便座
			㉓	○				1200			女子便所洗浄便座
			㉔	○							予備
			㉕	○				(1100)			予備(2期工事負荷)
			㉖	○				(1100)			予備(2期工事負荷)
			㉗	○				600			教務室洗面電気温水器
			㉘	○							予備
		合計29,381VA					11670	17350	631		
		総計79,871VA									
		ED									

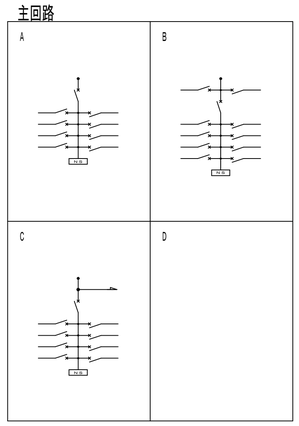
2階東側電灯分電盤 (L-2A) 鋼鈑・埋込型 改修前

盤名称 (形 状) 幹線番号	主回路 A 幹線サイズ 主開閉器	電気方式 1φ3W 電源電圧 200/100	回路番号	MCCB 2P 50/50	MCCB 1P 50/20	ELCB 2P 50/20	負荷容量 (VA) 電灯	コンセント	その他	付属機器	負荷名称
2階東側電灯分電盤 (L-2A)											
鋼鈑・埋込型		CV60		3P 50/50					3050		実験室専用盤 L-2B
改修前		ELCB3P 100/100									
			①	○			2760				電灯 会議室・CR
			②	○			2760				電灯 CR
			③	○			2020				電灯 実験室
			④	○			1280				電灯 廊下
			⑨		○			1000			情報科学室ｺﾝﾋﾟｭｰﾀ
			⑩		○			1000			情報科学室ｺﾝﾋﾟｭｰﾀ
			⑥	○							予備
			①		○		650				ﾄｲﾚｴﾘｱ
			②		○			1200			ｺﾝｾﾝﾄ CR
			③		○			1000			ｺﾝｾﾝﾄ 湯沸器専用
			④		○				720		ｸﾘｰﾝﾋｰﾀｰ
			⑤		○				1280		ｸﾘｰﾝﾋｰﾀｰ
			⑥		○				740		ｻｲｸﾙﾌｧﾝ
			⑦		○			650			ﾌｧﾝｺｲﾙ会議室
			⑧		○			1000			既設ｺﾝﾋﾟｭｰﾀ
		合計18,060VA					9470	5850	2740		
		総計21,110VA									
		ED									

改修後

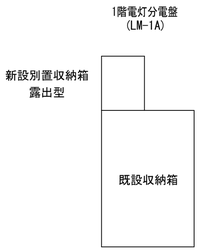
盤名称 (形 状) 幹線番号	主回路 A 幹線サイズ 主開閉器	電気方式 1φ3W 電源電圧 200/100	回路番号	MCCB 2P 50/50	MCCB 1P 50/20	ELCB 2P 50/20	負荷容量 (VA) 電灯	コンセント	その他	付属機器	負荷名称
⇓											
改修後		CV60		3P 50/50					3050		実験室専用盤 L-2B
		ELCB3P 100/100									
			①	○			2760				電灯 会議室・CR
			②	○			2760				電灯 CR
			③	○			2020				電灯 実験室
			④	○			1280				電灯 廊下
			⑨		○			1000			情報科学室ｺﾝﾋﾟｭｰﾀ
			⑩		○			1000			情報科学室ｺﾝﾋﾟｭｰﾀ
			⑥	○							予備
			①		○		650				ﾄｲﾚｴﾘｱ
			②		○			1200			ｺﾝｾﾝﾄ CR
			③		○			1000			ｺﾝｾﾝﾄ 湯沸器専用
			④		○				720		ｸﾘｰﾝﾋｰﾀｰ
			⑤		○				1280		ｸﾘｰﾝﾋｰﾀｰ
			⑥		○				740		ｻｲｸﾙﾌｧﾝ
			⑦		○			650			ﾌｧﾝｺｲﾙ会議室
			⑧		○			1000			既設ｺﾝﾋﾟｭｰﾀ
		新設範囲									
			⑪	○				1210			男子便所洗浄便座他
			⑫	○				1200			女子便所洗浄便座他
			⑬	○				1210			女子便所洗浄便座
			⑭	○				1200			女子便所洗浄便座
			⑮	○				1200			女子便所洗浄便座
			⑯	○							予備
		合計24,080VA					9470	11870	2740		
		総計27,130VA									
		ED									

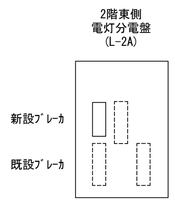
主回路



(注記)

1. 回路番号種別
   - Ⓐ ・・・ 1Φ2W 100V (主幹1次側で分岐)
   - ◇① ・・・ 1Φ2W 200V
   - ① ・・・ 1Φ2W 100V
   - 1 ・・・ 1Φ3W 100-200V
2. ▲ はリモコンリレーを示す。
3. 特記無きELCBの仕様は下記とする
   - 感度電流 30mA
   - 最大動作時間 0.1S





工事名	松戸市立総合医療センター附属看護専門学校 給排水管改修工事		
図面名	盤図２ (改修前・改修後)		
作成年月日	令和7年1月31日	変更年月日	
縮 尺	A1:No-scale A3:No-scale	図面番号	E-05
設 計	株式会社 山岡設計事務所 千葉県知事登録 第1-2306-2686号 山岡 治 一級建築士大臣登録第272498号		
松戸市 街づくり部 建築保全課			

改修前後

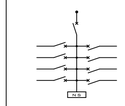
電灯分電盤

盤名称（形 状）幹線番号	主回路 B 幹線サイズ 主開閉器	電気方式 1φ3W 電源電圧 200/100	回路番号	MCCB 2P 50/20	MCCB 1P 50/20	ELCB 2P 50/20	負荷容量（VA）電灯	コンセント	その他	付属機器	負荷名称
3階電灯分電盤 (L-3)	ELCB3P 100/100										
鋼鈑・埋込型	CV38'		①	○			2900				電灯 図書室
改修前			②	○			1420				電灯 調理実習室
			③	○			1780				電灯 実習室
			④	○			2020				電灯 実習室
			⑤	○			1100				廊下 電灯
			⑥	○							予備
			①		○			960			ｺﾝｾﾝﾄ 図書室
			②		○			1100			ｺﾝｾﾝﾄ 視聴覚室
			③		○			960			ｺﾝｾﾝﾄ 調理実習室
			④		○			1100			ｺﾝｾﾝﾄ 実習室
			⑤		○			900			ｺﾝｾﾝﾄ 実習室
			⑥		○				1000		ﾌｧﾝｺｲﾙ 図書室
			⑦		○				850		ﾌｧﾝｺｲﾙ 視聴覚室
			⑧		○				1320		ｸﾘｰﾝﾋｰﾀｰ
			⑨		○				400		ｻｲｸﾙﾌｧﾝ
			⑩		○			400			調理実習室実習机
			⑪		○			400			調理実習室実習机
			⑫		○			400			調理実習室実習机
			⑬		○			400			調理実習室実習机
負荷変更			⑭		○			200			ｺﾝｾﾝﾄ 図書室
			⑮		○			200			空調機械室
			⑯		○				1000		自販機・TVﾌﾞｰｽﾀｰ
	合計20,810VA						9220	7020	4570		
	ED										
⇓											
改修後	ELCB3P 100/100										
	CV38'		①	○			2900				電灯 図書室
			②	○			1420				電灯 調理実習室
			③	○			1780				電灯 実習室
			④	○			2020				電灯 実習室
			⑤	○			1100				廊下 電灯
			⑥	○							予備
			①		○			960			ｺﾝｾﾝﾄ 図書室
			②		○			1100			ｺﾝｾﾝﾄ 視聴覚室
			③		○			960			ｺﾝｾﾝﾄ 調理実習室
			④		○			1100			ｺﾝｾﾝﾄ 実習室
			⑤		○			900			ｺﾝｾﾝﾄ 実習室
			⑥		○				1000		ﾌｧﾝｺｲﾙ 図書室
			⑦		○				850		ﾌｧﾝｺｲﾙ 視聴覚室
			⑧		○				1320		ｸﾘｰﾝﾋｰﾀｰ
			⑨		○				400		ｻｲｸﾙﾌｧﾝ
			⑩		○			1210			女子便所洗浄便座他
			⑪		○			1200			女子便所洗浄便座
			⑫		○			1200			女子便所洗浄便座
			⑬		○						予備
負荷変更			⑭		○			200			ｺﾝｾﾝﾄ 図書室
			⑮		○			200			空調機械室
新設範囲			⑯		○				1000		自販機・TVﾌﾞｰｽﾀｰ
			⑰	○				(40)			予備(2期工事負荷)
			⑱	○							予備
	合計22,860VA						9220	9070	4570		
	ED										

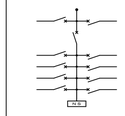
盤名称（形 状）幹線番号	主回路 A 幹線サイズ 主開閉器	電気方式 1φ3W 電源電圧 200/100	回路番号	MCCB 2P 50/20	MCCB 1P 50/20	ELCB 2P 50/20	負荷容量（VA）電灯	コンセント	その他	付属機器	負荷名称
L-1B 樹脂・露出型 既設	ELCB3P 50/30 IV8'		①	○			1100				電灯
			②	○				500			ｺﾝｾﾝﾄ
			③	○				700			ｺﾝｾﾝﾄ
			④	○							予備
			⑤	○				1000			ｴｱｺﾝ
			⑥	○				1000			ｴｱｺﾝ
	合計4,300VA						1100	3200			
	ED										

主回路

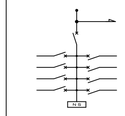
A



B



C

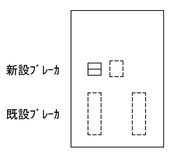


D

(注記)

1. 回路番号種別
   - Ⓐ ・・・ 1Φ2W 100V（主幹1次側で分岐）
   - ① ・・・ 1Φ2W 200V
   - ① ・・・ 1Φ2W 100V
   - ⚠ ・・・ 1Φ3W 100-200V
2. ▲ はリモコンリレーを示す。
3. 特記無きELCBの仕様は下記とする
   - 感度電流 30mA
   - 最大動作時間 0.1S

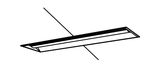
3階電灯分電盤 (L-3)



照明器具姿図

A402 ベースライト40形 下面開放型 W300 単体 31.9W

LRS20−4−48LN　開口300x1257



A202 ベースライト20形 下面開放型 W300 単体 11.6W

開口300x639

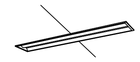


一般タイプ、16001mタイプ
消費電力11．6W、定格出力型、電圧100～242V
本体：亜鉛鋼板
反射板、鋼板（高反射白色粉体塗装）
ライトバー（カバー）：ポリカーボネート（乳白）
光束維持時間40000時間（光束維持率85%）
昼白色（5000K）、Ra83、電源装置はライトバー側に内蔵

参考型番 XFX210VENLE9

B401 ベースライト40形 下面開放型 W190 16.3W

開口190x1257

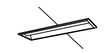


リニューアル専用、一般タイプ、25001mタイプ
消費電力16．3W、定格出力型、電圧100～242V
本体：亜鉛鋼板
反射板：鋼板（高反射白色粉体塗装）
ライトバー（カバー）：ポリカーボネート（乳白）
光源寿命40000時間（光束維持率85%）
昼白色（5000K）、Ra83、電源装置はライトバー側に内蔵

参考型番 XFX429RENLE9

B201 ベースライト20形 下面開放型 W150 単体 6W

開口150x617



一般タイプ、8001mタイプ
消費電力6W、定格出力型、電圧100～242V
本体：亜鉛鋼板
反射板：鋼板（高反射白色粉体塗装）
ライトバー（カバー）：ポリカーボネート（乳白）
光源寿命40000時間（光束維持率85%）
昼白色（5000K）、Ra83、電源装置はライトバー側に内蔵

参考型番 埋込XFX200PENLE9

G406 スクエアベースライト 埋込 乳白パネル 169W

開口1257x1257

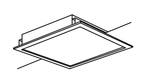


口1200タイプ 調光可能タイプ（約25～100%）
定格出力型、電圧100～242V
光束維持時間：40000時間（光束維持率85%）
本体：亜鉛鋼板（ホワイト）
枠：鋼板（高反射白色粉体塗装）
パネル：アクリル（乳白）
昼白色（5000K）、Ra83

参考型番 NNF45850CLT9

G404 スクエアベースライト FHP45形×4灯相当 乳白パネル

LRS9−6−84LN



C401 ベースライト埋込型40形 黒板灯 20.6W

LRS8−4−26LN　開口220x1235



E201 ベースライト20形 富士型 W150 5.9W



一般タイプ、8001mタイプ
消費電力5．9W、定格出力型、電圧100～242V
本体：鋼板（白色粉体塗装）
ライトバー（カバー）：ポリカーボネート（乳白）
光束維持時間40000時間（光束維持率85%）
昼白色（5000K）、Ra83
電源装置はライトバー側に内蔵

参考型番 XFX200AENLE9

E402 ベースライト直付型40形 スリムベース 25.0W

LSS6−4−37LN



F401 ベースライト40形コーナーライト W120 13.1W



一般タイプ、2000lmタイプ
消費電力13．1W、定格出力型、電圧100～242V
本体：亜鉛鋼板、反射板：鋼板（高反射白色粉体塗装）
ライトバー（カバー）：ポリカーボネート（乳白）
光束維持時間40000時間（光束維持率85%）
昼白色（5000K）、Ra83
電源装置はライトバー側に内蔵

参考型番 XFX410CENLE9

G201 LEDブラケット 20形直管蛍光灯1灯器具相当



昼白色（5000K）、Ra83
器具光束1100lm、消費電力12W、電圧100V
天井直付型・壁直付型
スイッチ付、抵抗タイプ、側面化粧タイプ
カバー：プラスチック（乳白）
W=580 H=65 出しろ64

参考型番 LGB85037LE1

工事名	松戸市立総合医療センター附属看護専門学校 給排水管改修工事		
図面名	盤図3（改修前・改修後）・照明器具姿図		
作成年月日	令和7年1月31日	変更年月日	
縮 尺	A1:No-scale A3:No-scale	図面番号	E-06
設 計	株式会社 山岡設計事務所 千葉県知事登録 第1-2306-2686号 山岡 治 一級建築士大臣登録第272498号		
松戸市 街づくり部 建築保全課			

改修後

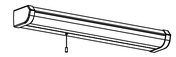
電灯分電盤

盤名称（形 状）幹線番号	主回路 B 幹線サイズ 主開閉器	電気方式 1φ3W 電源電圧 200/100	回路番号	MCCB 2P 50/20	MCCB 1P 50/20	ELCB 2P 50/20	負荷容量（VA） 電灯	コンセント	その他	付属機器	負荷名称
1階電灯分電盤 (LM-1A)	CV100'	3P 100/100							27130		2F電源 L-2A
鋼鈑・埋込型		3P 100/100							22860		3F電源 L-3
既設			Ⓐ	○					300		自動火報報知・ｶﾞｽ漏れ感知
			Ⓑ	○					200		警報盤・視聴覚室ｱﾝﾌﾟ用
	ELCB3P 100/100										
			①	○			2260				電灯 ﾛｯｶｰ室・廊下
			②	○			2280				電灯 職員室
			③	○			1520				電灯 校長室
			④	○							予備
			①		○		1280				電灯 ｺﾋﾞｰ室・他
			②		○		1100				電灯 階段・倉庫
			③		○		280				便所 電灯
			④		○			200			ﾎﾞﾀﾝ電話専用
			⑤		○			180			ｺﾝｾﾝﾄ ｱﾝﾌﾟ・時計
			⑥		○			1100			ｺﾝｾﾝﾄ 事務室
			⑦		○			1000			ｺﾝｾﾝﾄ 職員室
			⑧		○			1200			ｺﾝｾﾝﾄ 校長室
			⑨		○			1000			ｺﾝｾﾝﾄ ｺﾋﾞｰ室
			⑩		○			1100			ｺﾝｾﾝﾄ 湯沸室
			⑪		○			600			ｺﾝｾﾝﾄ ﾛｯｶｰ室・他
			⑫		○		1150				電灯 事務室・他
			⑬		○		1400				電灯 校長室
			⑭		○		400				電灯・ｺﾝｾﾝﾄ 浄化槽
			⑮		○				531		ﾌｧﾝｺｲﾙ 事務室・他
			⑯		○				100		総合警備
			⑰		○			1000		Mg+COS	電灯 外灯
			⑱		○			1150		Mg+COS	電灯 外灯
			⑲	○				1210			男子便所洗浄便座他
			⑳	○				1200			女子便所洗浄便座他
			㉑	○				1210			女子便所洗浄便座
			㉒	○				1200			女子便所洗浄便座
			㉓	○				1200			女子便所洗浄便座
			㉔	○							予備
			㉕	○				1100			校長室洗面電気温水器
			㉖	○				1100		今回工事負荷	トイレ電気温水器
			㉗	○				600			教務室洗面電気温水器
			㉘	○							予備
合計29,651VA							11670	17350	631		
総計80,141VA											
○ ED											

盤名称（形 状）幹線番号	主回路 B 幹線サイズ 主開閉器	電気方式 1φ3W 電源電圧 200/100	回路番号	MCCB 2P 50/20	MCCB 1P 50/20	ELCB 2P 50/20	負荷容量（VA） 電灯	コンセント	その他	付属機器	負荷名称
2階東側電灯分電盤 (L-2A)	CV60'	3P 50/50							3050		実験室専用盤 L-2B
鋼鈑・埋込型	ELCB3P 100/100										
既設			①	○			2760				電灯 会議室・CR
			②	○			2760				電灯 CR
			③	○			2020				電灯 実験室
			④	○			1280				電灯 廊下
			⑨		○			1000			情報科学室ｺﾝﾋﾟｭｰﾀ
			⑩		○			1000			情報科学室ｺﾝﾋﾟｭｰﾀ
			⑥	○							予備
			①		○		650				ﾄｲﾚｴﾘｱ
			②		○			1200			ｺﾝｾﾝﾄ CR
			③		○			1000			ｺﾝｾﾝﾄ 湯沸器専用
			④		○				720		ｸﾘｰﾝﾋｰﾀｰ
			⑤		○				1280		ｸﾘｰﾝﾋｰﾀｰ
			⑥		○				740		ｻｲｸﾙﾌｧﾝ
			⑦		○			650			ﾌｧﾝｺｲﾙ会議室
			⑧		○			1000			既設ｺﾝﾋﾟｭｰﾀ
			⑪	○				1210			男子便所洗浄便座他
			⑫	○				1200			女子便所洗浄便座他
			⑬	○				1210			女子便所洗浄便座
			⑭	○				1200			女子便所洗浄便座
			⑮	○				1200			女子便所洗浄便座
			⑯	○							予備
合計24,080VA							9470	11870	2740		
総計27,130VA											
○ ED											
3階電灯分電盤 (L-3)	ELCB3P 100/100 CV38'										
鋼鈑・埋込型			①	○			2900				電灯 図書室
既設			②	○			1420				電灯 調理実習室
			③	○			1780				電灯 実習室
			④	○			2020				電灯 実習室
			⑤	○			1100				廊下 電灯
			⑥	○							予備
			①		○			960			ｺﾝｾﾝﾄ 図書室
			②		○			1100			ｺﾝｾﾝﾄ 視聴覚室
			③		○			960			ｺﾝｾﾝﾄ 調理実習室
			④		○			1100			ｺﾝｾﾝﾄ 実習室
			⑤		○			900			ｺﾝｾﾝﾄ 実習室
			⑥		○				1000		ﾌｧﾝｺｲﾙ 図書室
			⑦		○				850		ﾌｧﾝｺｲﾙ 視聴覚室
			⑧		○				1320		ｸﾘｰﾝﾋｰﾀｰ
			⑨		○				400		ｻｲｸﾙﾌｧﾝ
			⑩		○			1210			女子便所洗浄便座他
			⑪		○			1200			女子便所洗浄便座
			⑫		○			1200			女子便所洗浄便座
			⑬		○						予備
			⑭		○			200			ｺﾝｾﾝﾄ 図書室
			⑮		○			200			空調機械室
			⑯		○				1000		自販機・TVﾌﾞｰｽﾀｰ
			⑰	○				40		今回工事負荷	看護実習室自動水栓
			⑱	○							予備
合計22,860VA							9220	9070	4570		
○ ED											

照明器具姿図

H201 ＬＥＤブラケット ２０形直管蛍光灯１灯器具相当



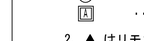
直管形LEDﾗﾝﾌﾟ 搭載ﾍﾞｰｽﾗｲﾄ Ra83
本体:鋼板 白色塗装仕上
光源寿命:40,000時間

参考型番 ＥＬ－ＬＦＶ２００５１＋ＬＤＬ２０

J201 ＬＥＤウォールライト ２０形 14.9W

公共型番 ＬＢＦ３ＭＰ／ＲＰ－２－１３－ＬＮ

K101 ＬＥＤブラケット １５形直管蛍光灯１灯器具相当



昼白色（５０００Ｋ）、Ｒａ８３
器具光束８４０ｌｍ、消費電力９．５Ｗ、電圧１００Ｖ
天井直付型・壁直付型
スイッチ付、拡散タイプ、両面化粧タイプ
カバー：プラスチック（乳白）
Ｗ＝４５０ Ｈ＝６５ 出し５６４

参考型番 ＬＧＢ８５０４４ＬＥ１

L202 ＬＥＤベースライト直付型２０形 11.6W

公共型番 ＬＳＳ１－２－１５ＬＮ

D100 ＬＥＤダウンライト １００形 7W

開口１５０φ



公共型番 ＬＲＳ１－０８ＬＮ

D150 ＬＥＤダウンライト １５０形 11.6W

開口１５０φ



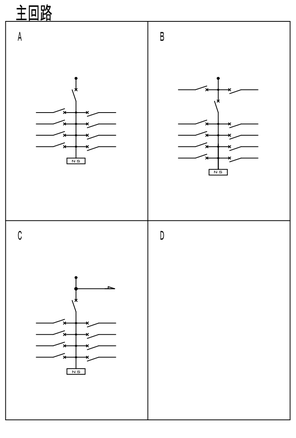
公共型番 ＬＲＳ１－１３ＬＮ

F60 ＬＥＤシーリングライト ６０形電球１灯器具相当 6W

昼白色（５０００Ｋ）、Ｒａ８３
器具光束５８０ｌｍ、消費電力６Ｗ、電圧１００Ｖ
天井面・壁面取付専用
カバー：プラスチック（ホワイト）
送り用端子台付

参考型番 ＬＧＢ５１６５３ＬＥ１

主回路

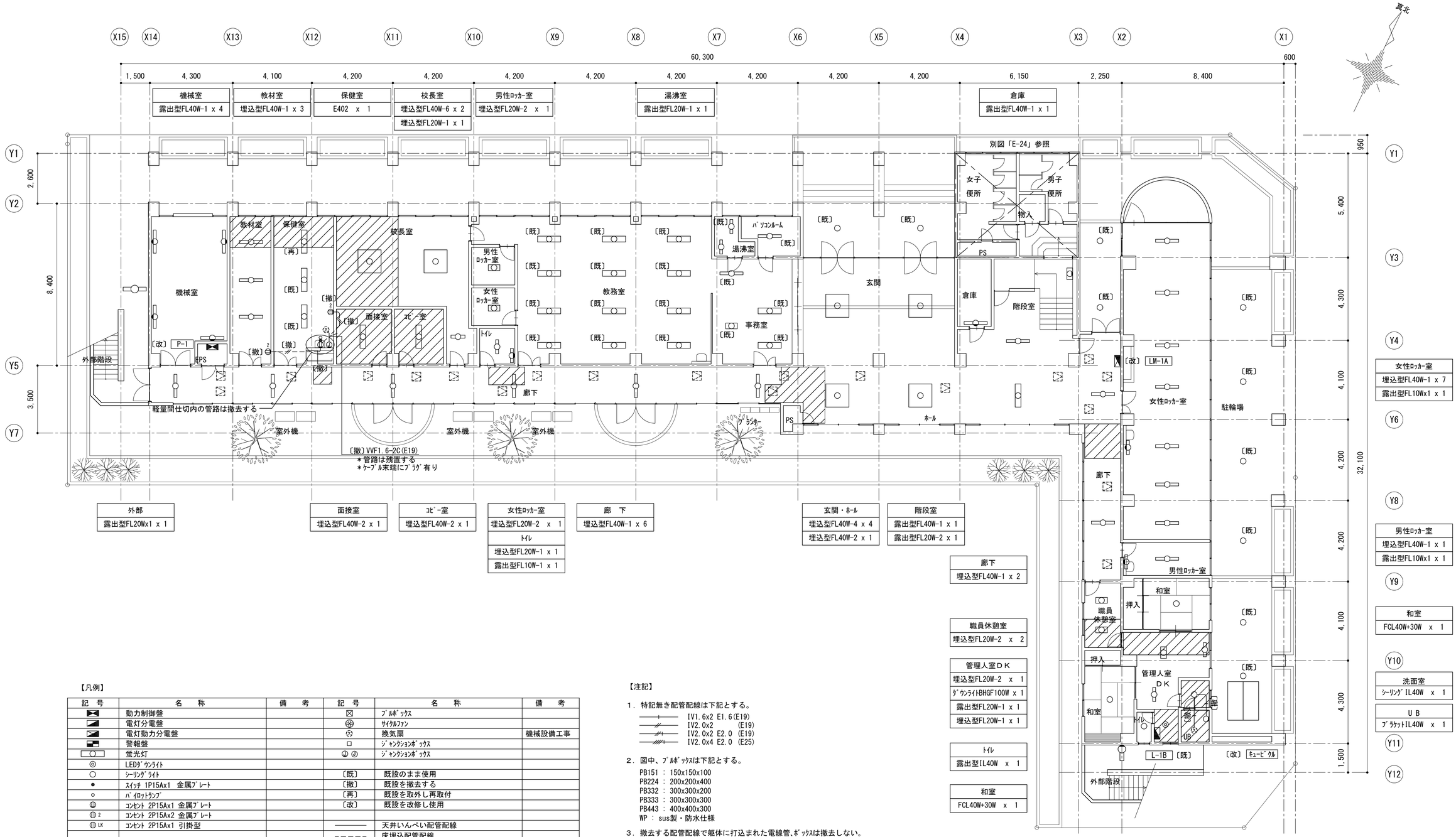


(注記)

1. 回路番号種別
   - Ⓐ ・・・ 1Φ2W 100V (主幹1次側で分岐)
   - ① ・・・ 1Φ2W 200V
   - ① ・・・ 1Φ2W 100V
   - 3 ・・・ 1Φ3W 100-200V
2. ▲ はリモコンリレーを示す。
3. 特記無きELCBの仕様は下記とする
   感度電流 30mA
   最大動作時間 0.1S

工事名	松戸市立総合医療センター附属看護専門学校 給排水管改修電気設備工事		
図面名	盤図４（改修後）・照明器具姿図		
作成年月日	令和6年1月31日	変更年月日	
縮 尺	A1:No-scale A3:No-scale	図面番号	E-07
設 計	株式会社 山岡設計事務所 千葉県知事登録 第1-2306-2686号 山岡 治 一級建築士大臣登録第272498号		
松戸市 街づくり部 建築保全課			

改修前



外部
露出型FL20Wx1 x 1

面接室
埋込型FL40W-2 x 1

コピー室
埋込型FL40W-2 x 1

女性ロッカー室
埋込型FL20W-2 x 1
トイレ
埋込型FL20W-1 x 1
露出型FL10W-1 x 1

廊　下
埋込型FL40W-1 x 6

玄関・ホール
埋込型FL40W-4 x 4
埋込型FL40W-2 x 1

階段室
露出型FL40W-1 x 1
露出型FL20W-2 x 1

廊下
埋込型FL40W-1 x 2

職員休憩室
埋込型FL20W-2 x 2

管理人室ＤＫ
埋込型FL20W-2 x 1
ﾀﾞｳﾝﾗｲﾄBHGF100W x 1
露出型FL20W-1 x 1
埋込型FL20W-1 x 1

トイレ
露出型IL40W x 1

和室
FCL40W+30W x 1

外部階段
露出型FL20Wx1 x 1

女性ロッカー室
埋込型FL40W-1 x 7
露出型FL10Wx1 x 1

男性ロッカー室
埋込型FL40W-1 x 1
露出型FL10Wx1 x 1

和室
FCL40W+30W x 1

洗面室
ｼｰﾘﾝｸﾞIL40W x 1

ＵＢ
ﾌﾞﾗｹｯﾄIL40W x 1

【凡例】

記　号	名　　称	備　　考	記　号	名　　称	備　　考
	動力制御盤			ﾌﾟﾙﾎﾞｯｸｽ	
	電灯分電盤			ｻｲｸﾙﾌｧﾝ	
	電灯動力分電盤			換気扇	機械設備工事
	警報盤		□	ｼﾞｬﾝｸｼｮﾝﾎﾞｯｸｽ	
	蛍光灯		Ⓙ Ⓙ	ｼﾞｬﾝｸｼｮﾝﾎﾞｯｸｽ	
◎	LEDﾀﾞｳﾝﾗｲﾄ				
○	ｼｰﾘﾝｸﾞﾗｲﾄ		〔既〕	既設のまま使用	
●	ｽｲｯﾁ 1P15Ax1 金属ﾌﾟﾚｰﾄ		〔撤〕	既設を撤去する	
○	ﾊﾟｲﾛｯﾄﾗﾝﾌﾟ		〔再〕	既設を取外し再取付	
ⓤ	ｺﾝｾﾝﾄ 2P15Ax1 金属ﾌﾟﾚｰﾄ		〔改〕	既設を改修し使用	
ⓤ2	ｺﾝｾﾝﾄ 2P15Ax2 金属ﾌﾟﾚｰﾄ				
ⓤLK	ｺﾝｾﾝﾄ 2P15Ax1 引掛型		————	天井いんぺい配管配線	
			－－－－－	床埋込配管配線	
			----------	露出配管配線	
			—·—·—	天井ｺﾛｶﾞｼ配線	□:ｼﾞｬﾝｸｼｮﾝﾎﾞｯｸｽ
			——0——	空配管	
			<------□	一種金属線ぴ(特記無きはA型)　　く:ｺｰﾅｰﾎﾞｯｸｽ	
				立上げ、引下げ、素通し	
			—ㄷ—ɔ—	保護管　突出し	

【注記】

1．特記無き配管配線は下記とする。
- IV1.6x2 E1.6(E19)
- IV2.0x2 (E19)
- IV2.0x2 E2.0 (E19)
- IV2.0x4 E2.0 (E25)

2．図中、ﾌﾟﾙﾎﾞｯｸｽは下記とする。
PB151 : 150x150x100
PB224 : 200x200x400
PB332 : 300x300x200
PB333 : 300x300x300
PB443 : 400x400x300
WP : sus製・防水仕様

3．撤去する配管配線で躯体に打込まれた電線管､ﾎﾞｯｸｽは撤去しない。
再使用出来る場合は使用する。

4．〔既〕・〔再〕・〔改〕の記載なき照明器具は撤去する。

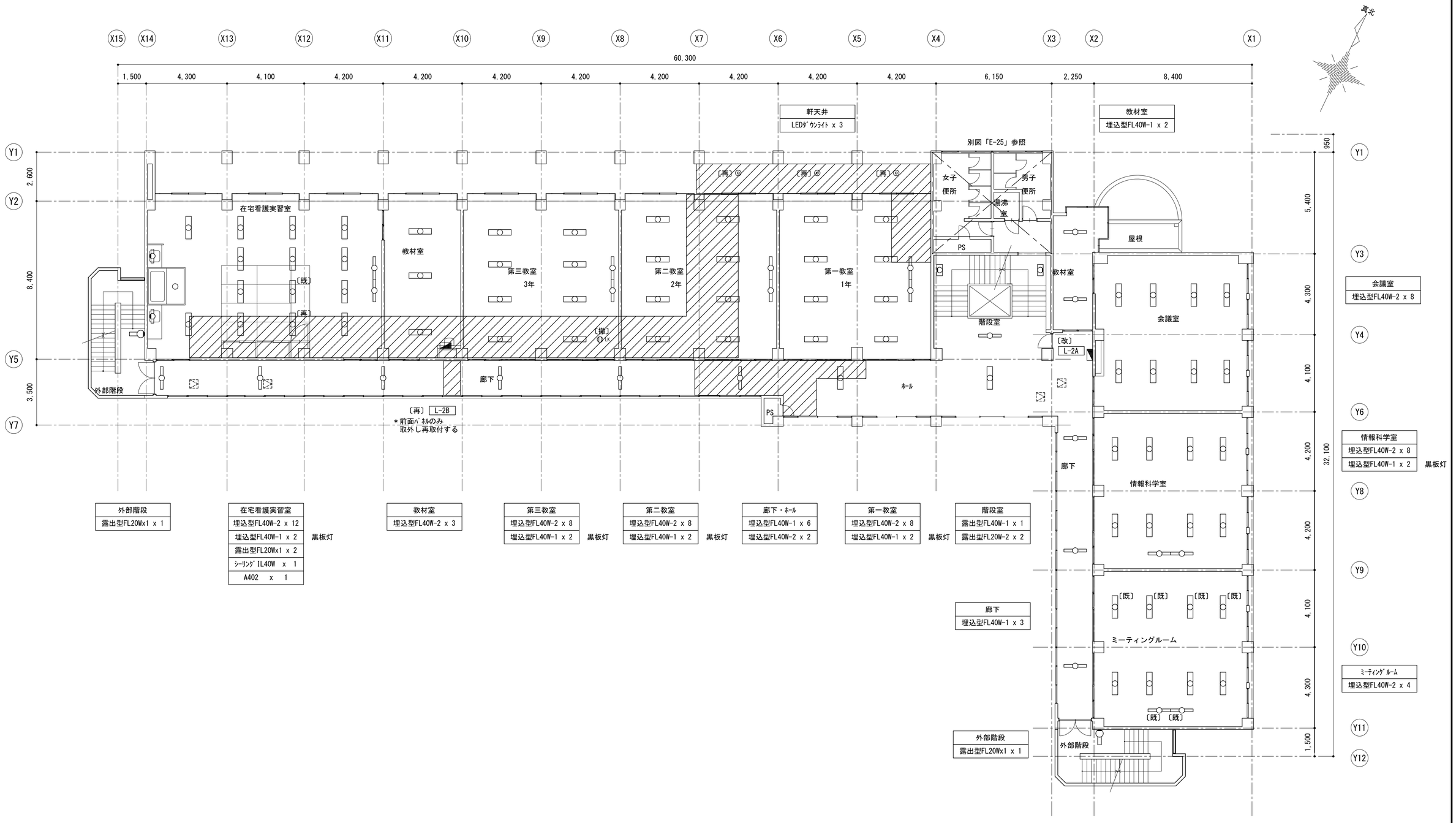
：天井点検口 450x450 (既設)

：天井撤去範囲

１階平面図　1/100

工事名	松戸市立総合医療センター附属看護専門学校 給排水管改修工事		
図面名	電灯設備１階平面図（改修前）		
作成年月日	令和7年1月31日	変更年月日	
縮　尺	A1:1/100 A3:1/200	図面番号	E-08
設　計	株式会社　山岡設計事務所 千葉県知事登録　第1-2306-2686号 山岡　治 一級建築士大臣登録第272498号		
松戸市 街づくり部 建築保全課			

改修前



外部階段
露出型FL20Wx1 x 1

在宅看護実習室
埋込型FL40W-2 x 12
埋込型FL40W-1 x 2
露出型FL20Wx1 x 2
ｼｰﾘﾝｸﾞIL40W x 1
A402 x 1

黒板灯

教材室
埋込型FL40W-2 x 3

第三教室
埋込型FL40W-2 x 8
埋込型FL40W-1 x 2

黒板灯

第二教室
埋込型FL40W-2 x 8
埋込型FL40W-1 x 2

黒板灯

廊下・ﾎｰﾙ
埋込型FL40W-1 x 6
埋込型FL40W-2 x 2

第一教室
埋込型FL40W-2 x 8
埋込型FL40W-1 x 2

黒板灯

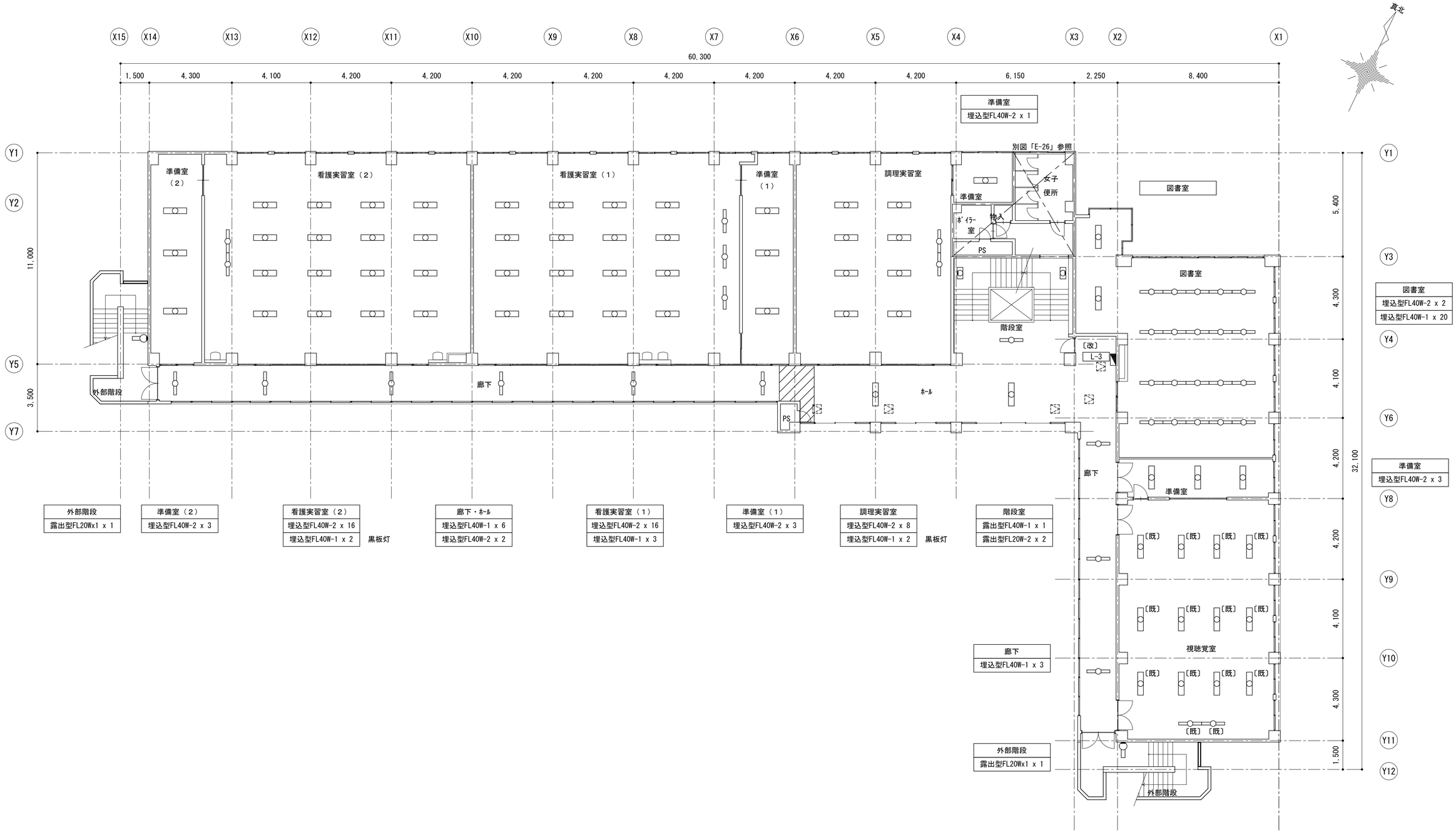
階段室
露出型FL40W-1 x 1
露出型FL20W-2 x 2

：天井点検口 450x450（既設）

２階平面図 1/100

工事名	松戸市立総合医療センター附属看護専門学校 給排水管改修工事		
図面名	電灯設備２階平面図（改修前）		
作成年月日	令和7年1月31日	変更年月日	
縮 尺	A1:1/100 A3:1/200	図面番号	E-09
設 計	株式会社 山岡設計事務所 千葉県知事登録 第1-2306-2686号 山岡 治 一級建築士大臣登録第272498号		
松戸市 街づくり部 建築保全課			

改修前



外部階段
露出型FL20Wx1 x 1

準備室（２）
埋込型FL40W-2 x 3

看護実習室（２）
埋込型FL40W-2 x 16
埋込型FL40W-1 x 2

黒板灯

廊下・ﾎｰﾙ
埋込型FL40W-1 x 6
埋込型FL40W-2 x 2

看護実習室（１）
埋込型FL40W-2 x 16
埋込型FL40W-1 x 3

準備室（１）
埋込型FL40W-2 x 3

調理実習室
埋込型FL40W-2 x 8
埋込型FL40W-1 x 2

黒板灯

階段室
露出型FL40W-1 x 1
露出型FL20W-2 x 2

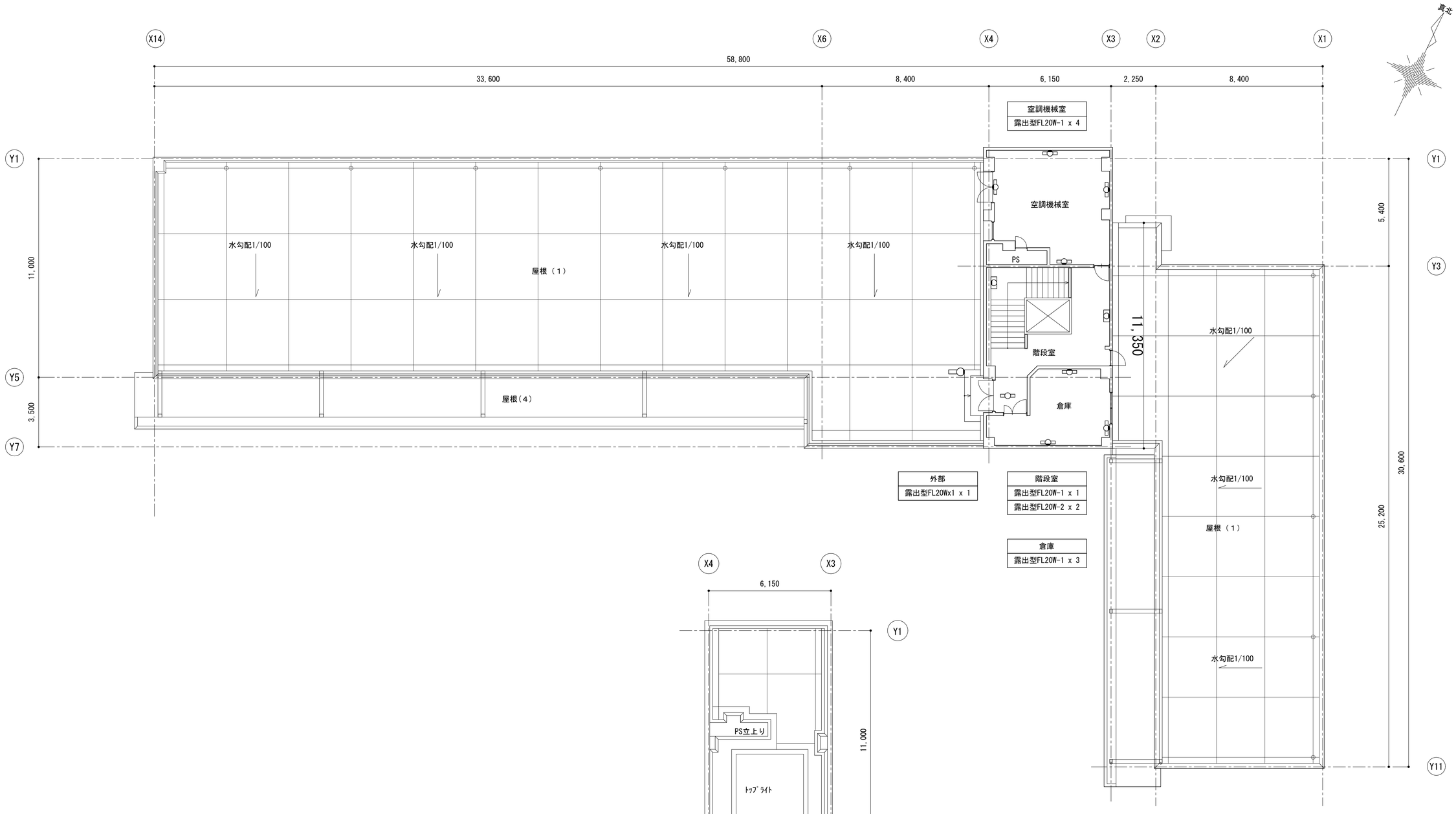
３階平面図　1/100

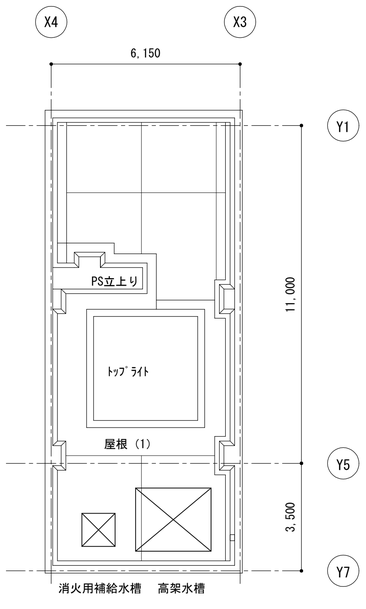
：天井点検口 450x450（既設）

：天井撤去範囲

工事名	松戸市立総合医療センター附属看護専門学校 給排水管改修工事		
図面名	電灯設備３階平面図（改修前）		
作成年月日	令和7年1月31日	変更年月日	
縮 尺	A1:1/100 A3:1/200	図面番号	E-10
設 計	株式会社　山岡設計事務所 千葉県知事登録　第1-2306-2686号 山岡　治 一級建築士大臣登録第272498号		
松戸市 街づくり部 建築保全課			

改修前



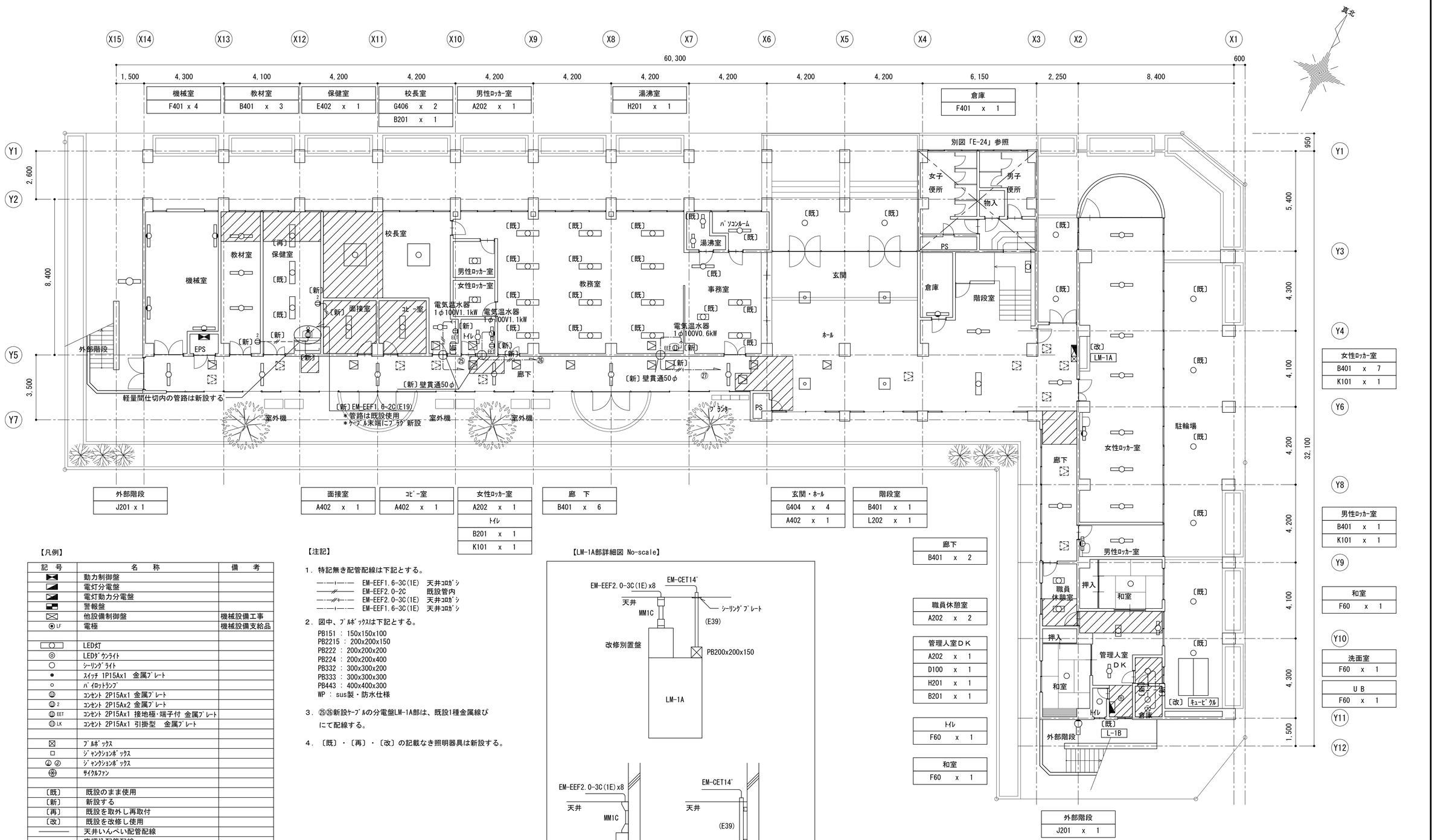


PH平面図　1/100

屋上平面図　1/100

工事名	松戸市立総合医療センター附属看護専門学校 給排水管改修工事		
図面名	電灯設備屋上平面図（改修前）		
作成年月日	令和7年1月31日	変更年月日	
縮 尺	A1:1/100 A3:1/200	図面番号	E-11
設 計	株式会社　山岡設計事務所 千葉県知事登録　第1-2306-2686号 山岡　治 一級建築士大臣登録第272498号		
松戸市 街づくり部 建築保全課			

改修後



１階平面図 1/100

【凡例】

記号	名称	備考
	動力制御盤	
	電灯分電盤	
	電灯動力分電盤	
	警報盤	
	他設備制御盤	機械設備工事
LF	電極	機械設備支給品
	LED灯	
	LEDﾀﾞｳﾝﾗｲﾄ	
	ｼｰﾘﾝｸﾞﾗｲﾄ	
●	ｽｲｯﾁ 1P15Ax1 金属ﾌﾟﾚｰﾄ	
○	ﾊﾟｲﾛｯﾄﾗﾝﾌﾟ	
ⓤ	ｺﾝｾﾝﾄ 2P15Ax1 金属ﾌﾟﾚｰﾄ	
ⓤ 2	ｺﾝｾﾝﾄ 2P15Ax2 金属ﾌﾟﾚｰﾄ	
ⓤ EET	ｺﾝｾﾝﾄ 2P15Ax1 接地極・端子付 金属ﾌﾟﾚｰﾄ	
ⓤ LK	ｺﾝｾﾝﾄ 2P15Ax1 引掛型 金属ﾌﾟﾚｰﾄ	
⊠	ﾌﾟﾙﾎﾞｯｸｽ	
□	ｼﾞｬﾝｸｼｮﾝﾎﾞｯｸｽ	
ⓙ ⓙ	ｼﾞｬﾝｸｼｮﾝﾎﾞｯｸｽ	
	ｻｲｸﾙﾌｧﾝ	
〔既〕	既設のまま使用	
〔新〕	新設する	
〔再〕	既設を取外し再取付	
〔改〕	既設を改修し使用	
———	天井いんぺい配管配線	
－ － － －	床埋込配管配線	
----------	露出配管配線	
—·—·—	天井ｺﾛｶﾞｼ配線	
<------□	一種金属線ぴ(特記無きはA型) く:ｺｰﾅｰﾎﾞｯｸｽ	□:ｼﾞｬﾝｸｼｮﾝﾎﾞｯｸｽ
—0—	空配管	
	立上げ、引下げ、素通し	
—c—›	保護管 突出し	

【注記】

1．特記無き配管配線は下記とする。

—·—i—·—	EM-EEF1.6-3C(1E)	天井ｺﾛｶﾞｼ
———//———	EM-EEF2.0-2C	既設管内
—·—//—·—	EM-EEF2.0-3C(1E)	天井ｺﾛｶﾞｼ
—·—i—·—	EM-EEF1.6-3C(1E)	天井ｺﾛｶﾞｼ

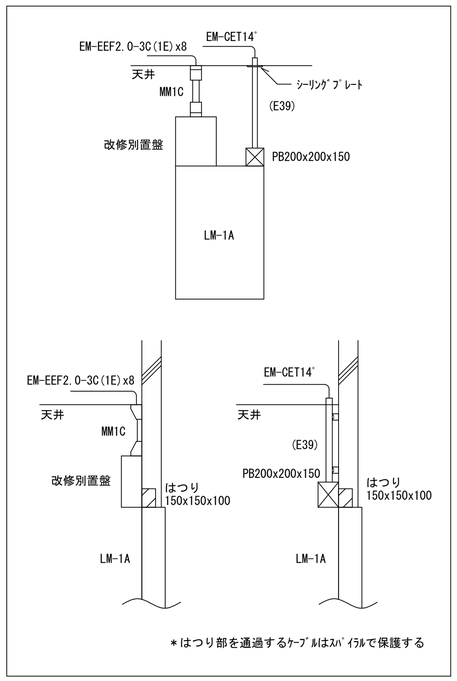
2．図中、ﾌﾟﾙﾎﾞｯｸｽは下記とする。

PB151 : 150x150x100
PB2215 : 200x200x150
PB222 : 200x200x200
PB224 : 200x200x400
PB332 : 300x300x200
PB333 : 300x300x300
PB443 : 400x400x300
WP : sus製・防水仕様

3．㉕㉖新設ｹｰﾌﾞﾙの分電盤LM-1A部は、既設1種金属線ぴにて配線する。

4．〔既〕・〔再〕・〔改〕の記載なき照明器具は新設する。

【LM-1A部詳細図 No-scale】



＊はつり部を通過するｹｰﾌﾞﾙはｽﾊﾟｲﾗﾙで保護する

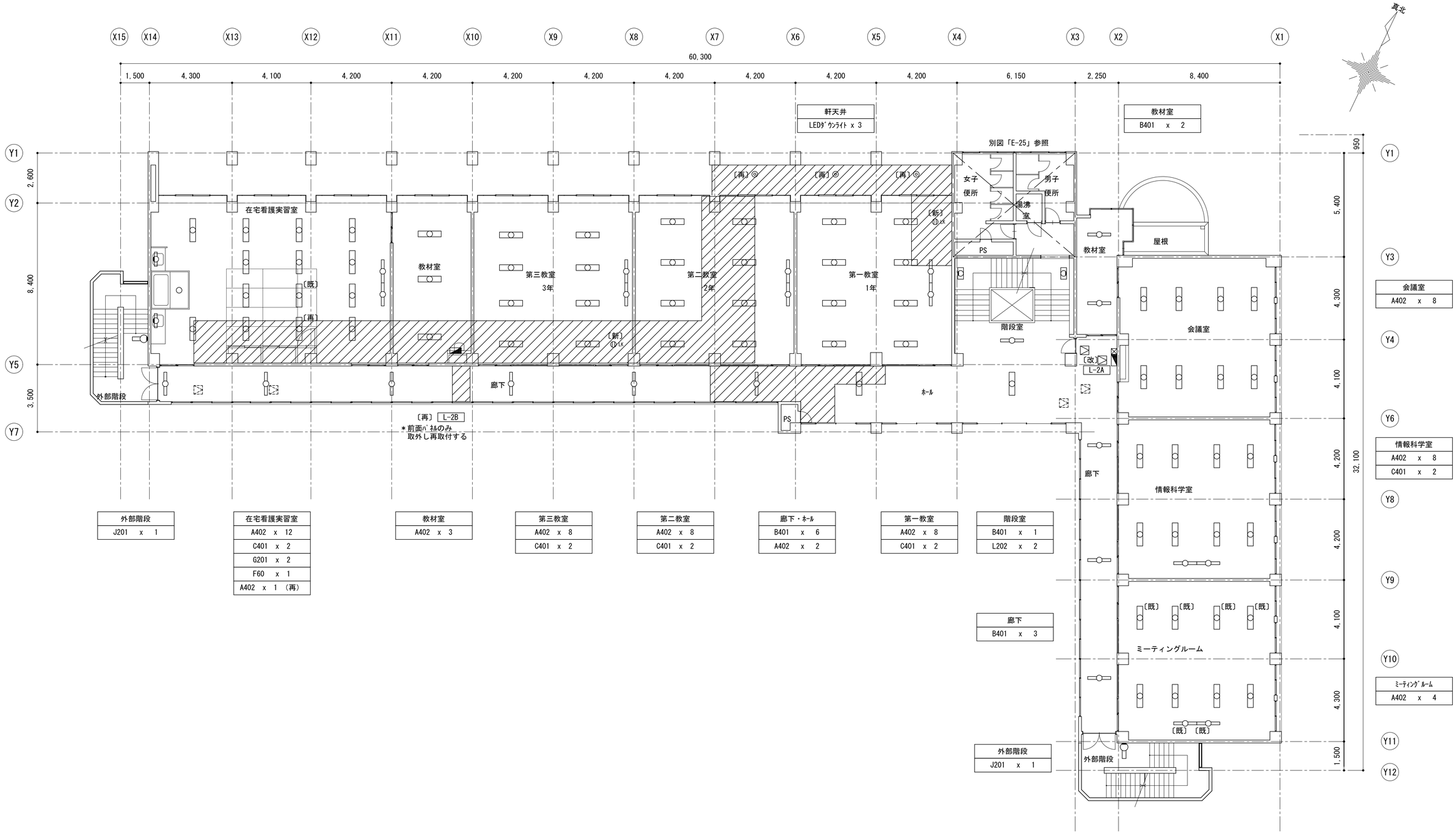
：天井点検口 450x450（建築工事新設）

：天井点検口 450x450（既設）

：天井新設範囲

工事名	松戸市立総合医療センター附属看護専門学校 給排水管改修工事		
図面名	電灯設備１階平面図（改修後）		
作成年月日	令和7年1月31日	変更年月日	
縮尺	A1:1/100 A3:1/200	図面番号	E-12
設計	株式会社 山岡設計事務所 千葉県知事登録 第1-2306-2686号 山岡 治 一級建築士大臣登録第272498号		
松戸市 街づくり部 建築保全課			

改修後



外部階段
J201 x 1

在宅看護実習室
A402 x 12
C401 x 2
G201 x 2
F60 x 1
A402 x 1 （再）

教材室
A402 x 3

第三教室
A402 x 8
C401 x 2

第二教室
A402 x 8
C401 x 2

廊下・ﾎｰﾙ
B401 x 6
A402 x 2

第一教室
A402 x 8
C401 x 2

階段室
B401 x 1
L202 x 2

廊下
B401 x 3

外部階段
J201 x 1

会議室
A402 x 8

情報科学室
A402 x 8
C401 x 2

ﾐｰﾃｨﾝｸﾞﾙｰﾑ
A402 x 4

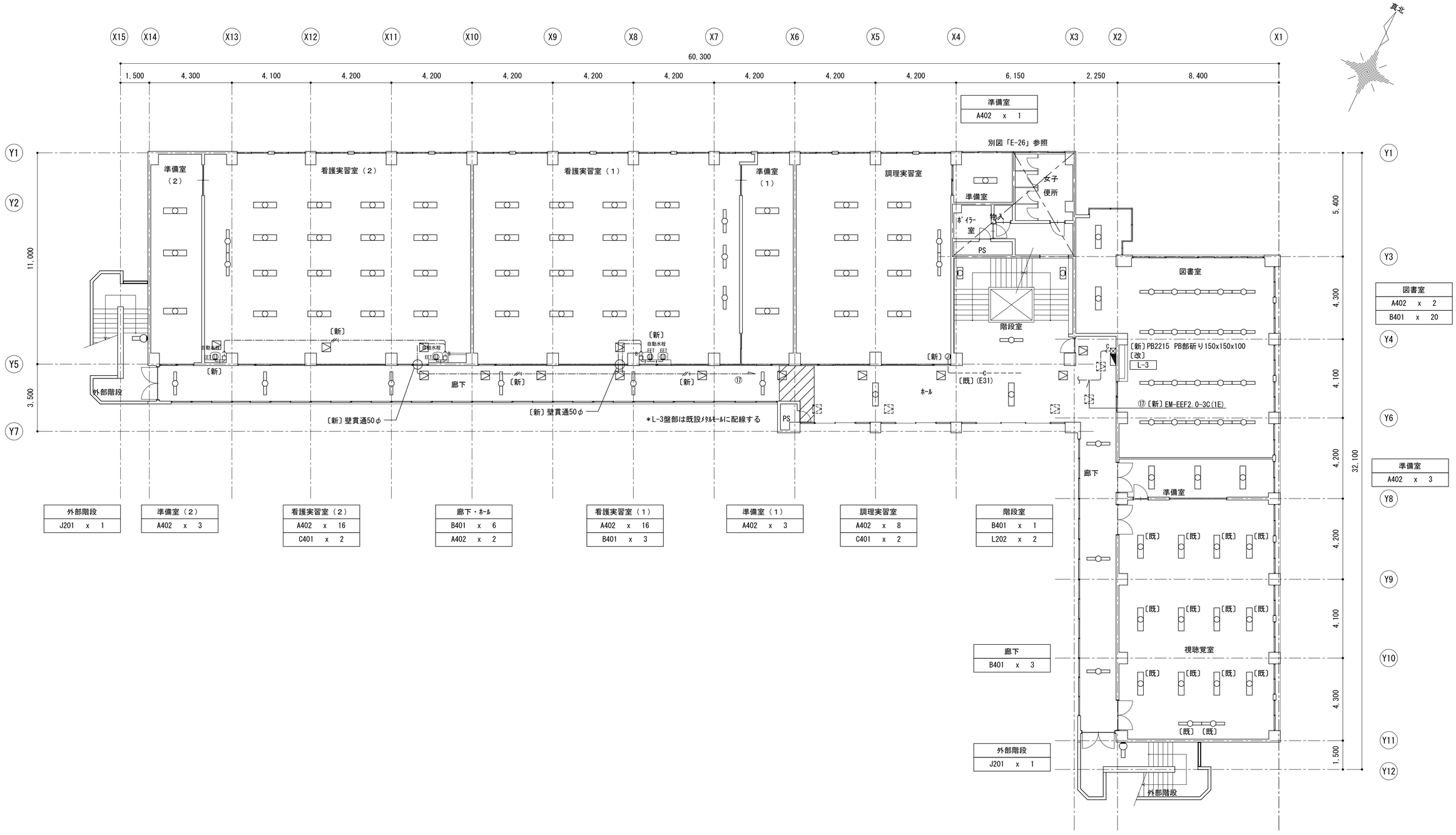
２階平面図 1/100

：天井点検口 450x450（建築工事新設）

：天井点検口 450x450（既設）

工事名	松戸市立総合医療センター附属看護専門学校 給排水管改修工事		
図面名	電灯設備２階平面図（改修後）		
作成年月日	令和7年1月31日	変更年月日	
縮 尺	A1:1/100 A3:1/200	図面番号	E-13
設 計	株式会社 山岡設計事務所 千葉県知事登録 第1-2306-2686号 山岡 治 一級建築士大臣登録第272498号		
松戸市 街づくり部 建築保全課			

改修後



図書室	
A402	x 2
B401	x 20

準備室	
A402	x 3

外部階段	
J201	x 1

準備室（２）	
A402	x 3

看護実習室（２）	
A402	x 16
C401	x 2

廊下・ﾎｰﾙ	
B401	x 6
A402	x 2

看護実習室（１）	
A402	x 16
B401	x 3

準備室（１）	
A402	x 3

調理実習室	
A402	x 8
C401	x 2

階段室	
B401	x 1
L202	x 2

廊下	
B401	x 3

外部階段	
J201	x 1

３階平面図　1/100

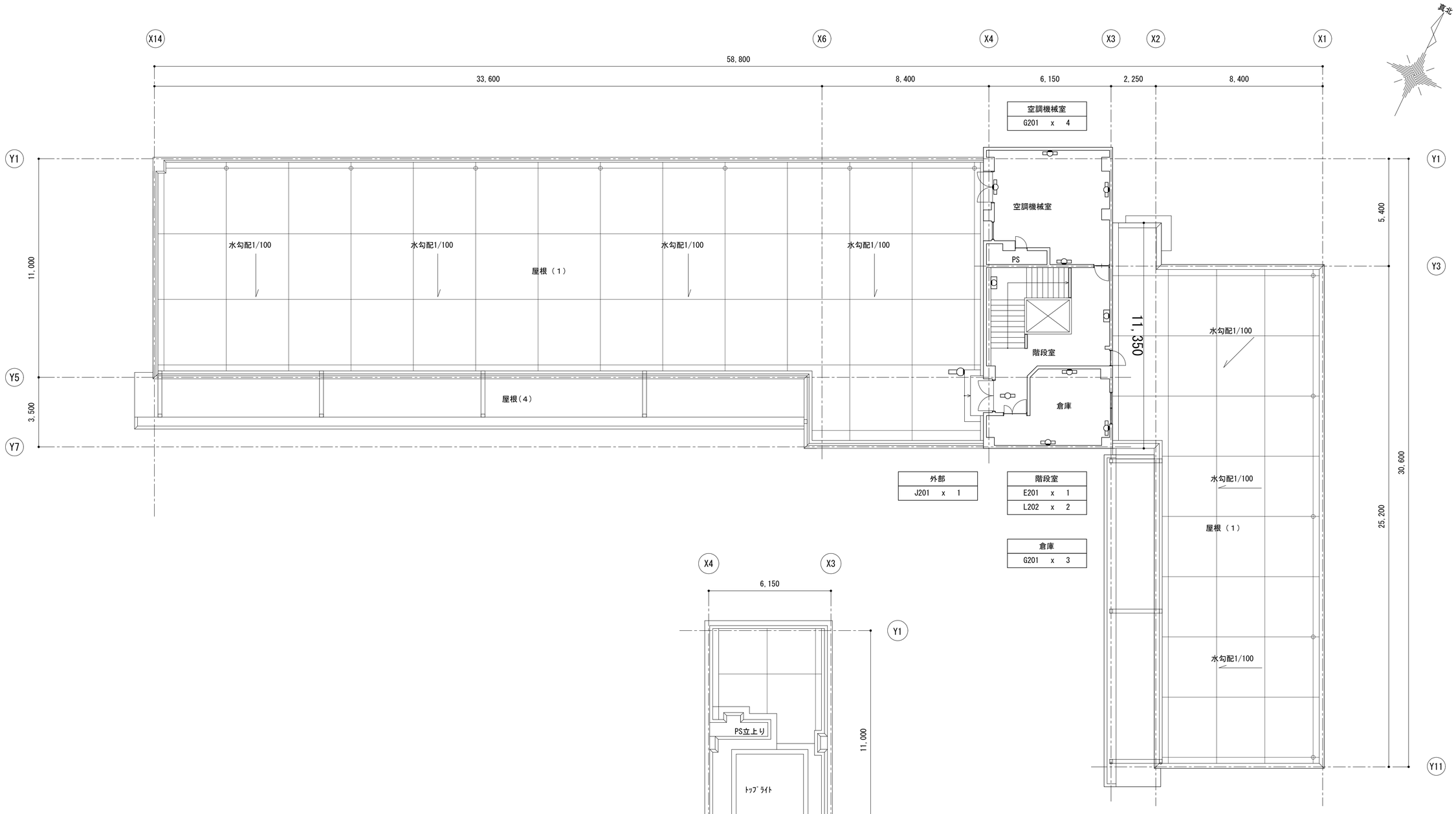
：天井点検口 450x450（建築工事新設）

：天井点検口 450x450（既設）

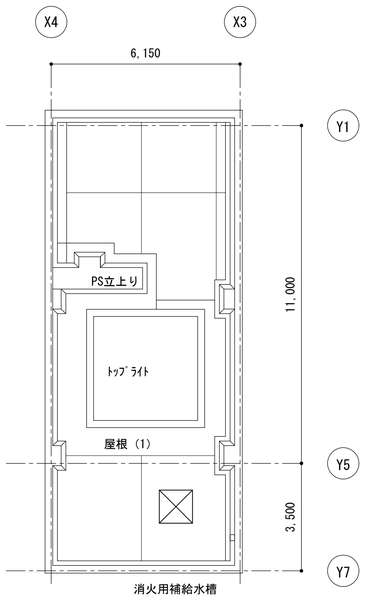
：天井新設範囲

工事名	松戸市立総合医療センター附属看護専門学校 給排水管改修工事		
図面名	電灯設備３階平面図（改修後）		
作成年月日	令和7年1月31日	変更年月日	
縮 尺	A1:1/100 A3:1/200	図面番号	E-14
設 計	株式会社　山岡設計事務所 千葉県知事登録　第1-2306-2686号 山岡　治 一級建築士大臣登録第272498号		
松戸市 街づくり部 建築保全課			

改修後



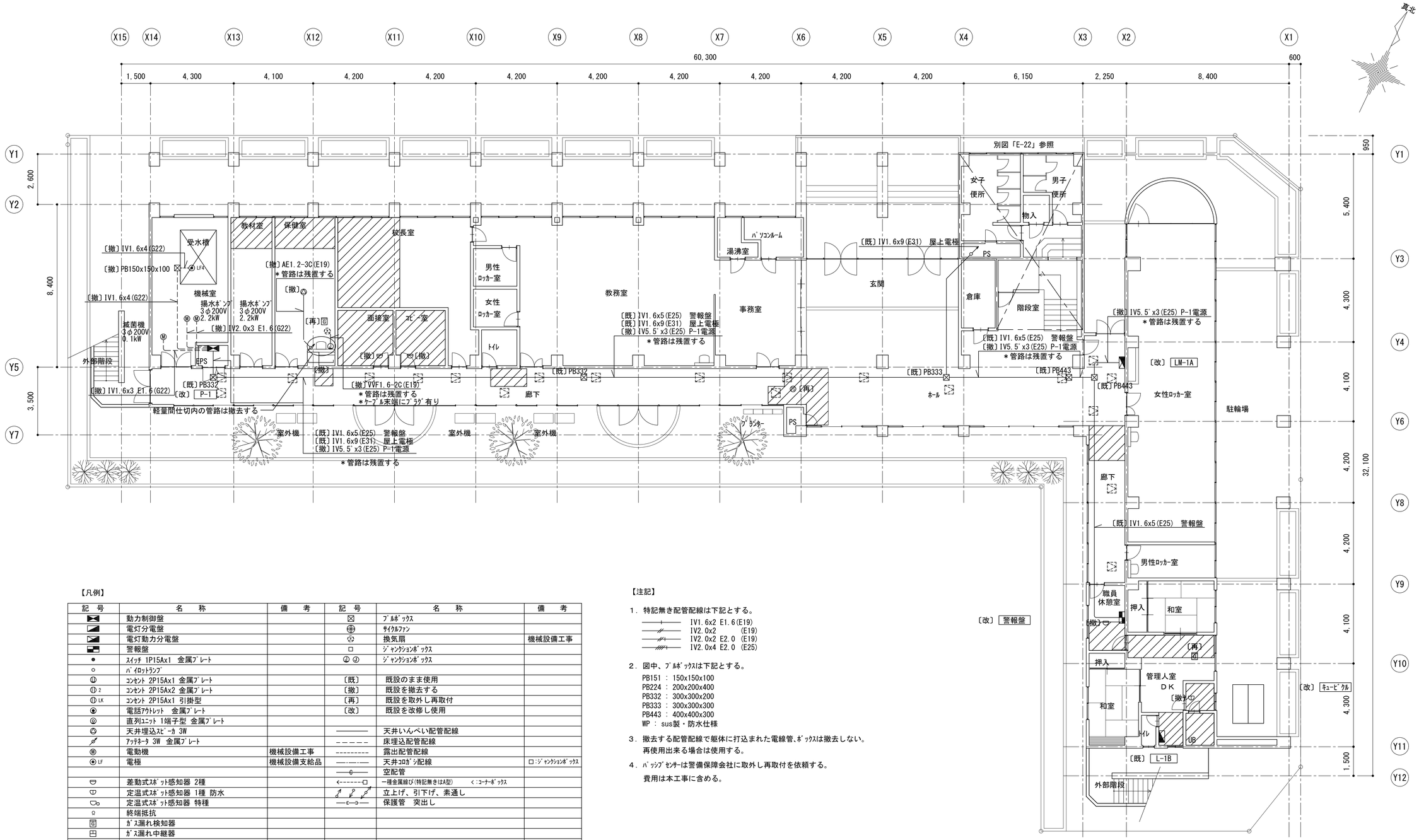
屋上平面図　1/100



PH平面図　1/100

工事名	松戸市立総合医療センター附属看護専門学校 給排水管改修工事		
図面名	電灯設備屋上平面図（改修後）		
作成年月日	令和7年1月31日	変更年月日	
縮 尺	A1:1/100 A3:1/200	図面番号	E-15
設 計	株式会社　山岡設計事務所 千葉県知事登録　第1-2306-2686号 山岡　治 一級建築士大臣登録第272498号		
松戸市 街づくり部 建築保全課			

改修前



【凡例】

記　号	名　　称	備　　考	記　号	名　　称	備　　考
▶◀	動力制御盤		⊠	ﾌﾞﾙﾎﾞｯｸｽ	
◢	電灯分電盤		㊥	ｻｲｸﾙﾌｧﾝ	
◢	電灯動力分電盤		㊥	換気扇	機械設備工事
◪	警報盤		□	ｼﾞｬﾝｸｼｮﾝﾎﾞｯｸｽ	
●	ｽｲｯﾁ 1P15Ax1 金属ﾌﾟﾚｰﾄ		④ ④	ｼﾞｬﾝｸｼｮﾝﾎﾞｯｸｽ	
○	ﾊﾟｲﾛｯﾄﾗﾝﾌﾟ				
ⓤ	ｺﾝｾﾝﾄ 2P15Ax1 金属ﾌﾟﾚｰﾄ		〔既〕	既設のまま使用	
ⓤ2	ｺﾝｾﾝﾄ 2P15Ax2 金属ﾌﾟﾚｰﾄ		〔撤〕	既設を撤去する	
ⓤLK	ｺﾝｾﾝﾄ 2P15Ax1 引掛型		〔再〕	既設を取外し再取付	
◉	電話ｱｳﾄﾚｯﾄ 金属ﾌﾟﾚｰﾄ		〔改〕	既設を改修し使用	
ⓒ	直列ﾕﾆｯﾄ 1端子型 金属ﾌﾟﾚｰﾄ				
ⓒ	天井埋込ｽﾋﾟｰｶ 3W		————	天井いんぺい配管配線	
ⓒ	ｱｯﾃﾈｰﾀ 3W 金属ﾌﾟﾚｰﾄ		– – – –	床埋込配管配線	
Ⓜ	電動機	機械設備工事	----------	露出配管配線	
⦿ LF	電極	機械設備支給品	—·—·—	天井ｺﾛｶﾞｼ配線	□:ｼﾞｬﾝｸｼｮﾝﾎﾞｯｸｽ
			——0——	空配管	
▽	差動式ｽﾎﾟｯﾄ感知器 2種		←------□	一種金属線ぴ(特記無きはA型)　く:ｺｰﾅｰﾎﾞｯｸｽ	
▽	定温式ｽﾎﾟｯﾄ感知器 1種 防水			立上げ、引下げ、素通し	
▽	定温式ｽﾎﾟｯﾄ感知器 特種		—ε—ɔ—	保護管　突出し	
Ω	終端抵抗				
G	ｶﾞｽ漏れ検知器				
中	ｶﾞｽ漏れ中継器				
◎	ﾊﾞｯｼﾝﾌﾟｾﾝｻｰ				

【注記】

1．特記無き配管配線は下記とする。

———+———	IV1.6x2 E1.6(E19)
———//———	IV2.0x2 (E19)
———//+———	IV2.0x2 E2.0 (E19)
———///+———	IV2.0x4 E2.0 (E25)

2．図中、ﾌﾞﾙﾎﾞｯｸｽは下記とする。

PB151 : 150x150x100
PB224 : 200x200x400
PB332 : 300x300x200
PB333 : 300x300x300
PB443 : 400x400x300
WP : sus製・防水仕様

3．撤去する配管配線で躯体に打込まれた電線管､ﾎﾞｯｸｽは撤去しない。
再使用出来る場合は使用する。

4．ﾊﾞｯｼﾝﾌﾟｾﾝｻｰは警備保障会社に取外し再取付を依頼する。
費用は本工事に含める。

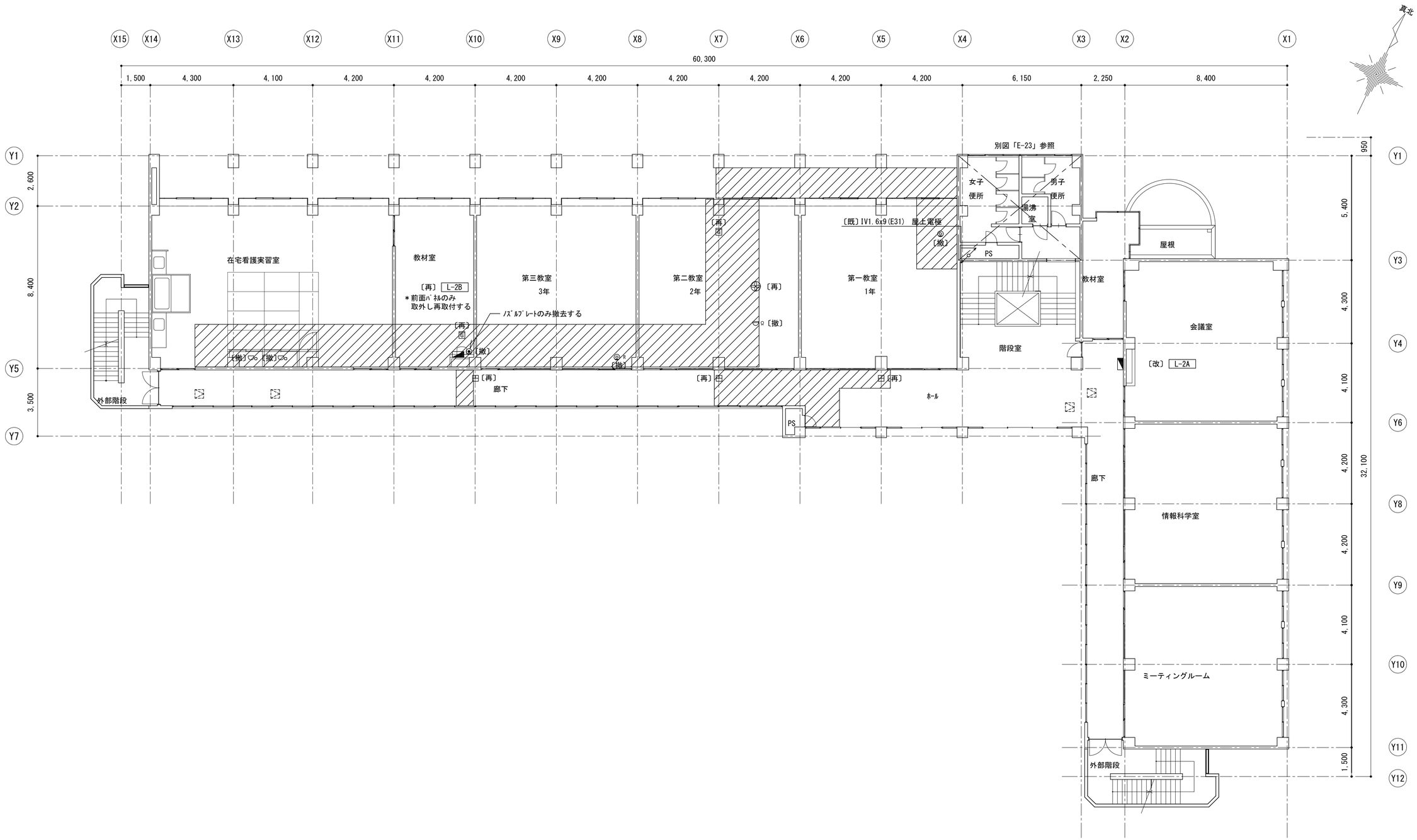
：天井点検口 450x450（既設）

：天井撤去範囲

1階平面図　1/100

工事名	松戸市立総合医療センター附属看護専門学校 給排水管改修工事		
図面名	動力・弱電設備１階平面図（改修前）		
作成年月日	令和7年1月31日	変更年月日	
縮　尺	A1:1/100 A3:1/200	図面番号	E-16
設　計	株式会社　山岡設計事務所 千葉県知事登録　第1-2306-2686号 山岡　治 一級建築士大臣登録第272498号		
松戸市 街づくり部 建築保全課			

改修前

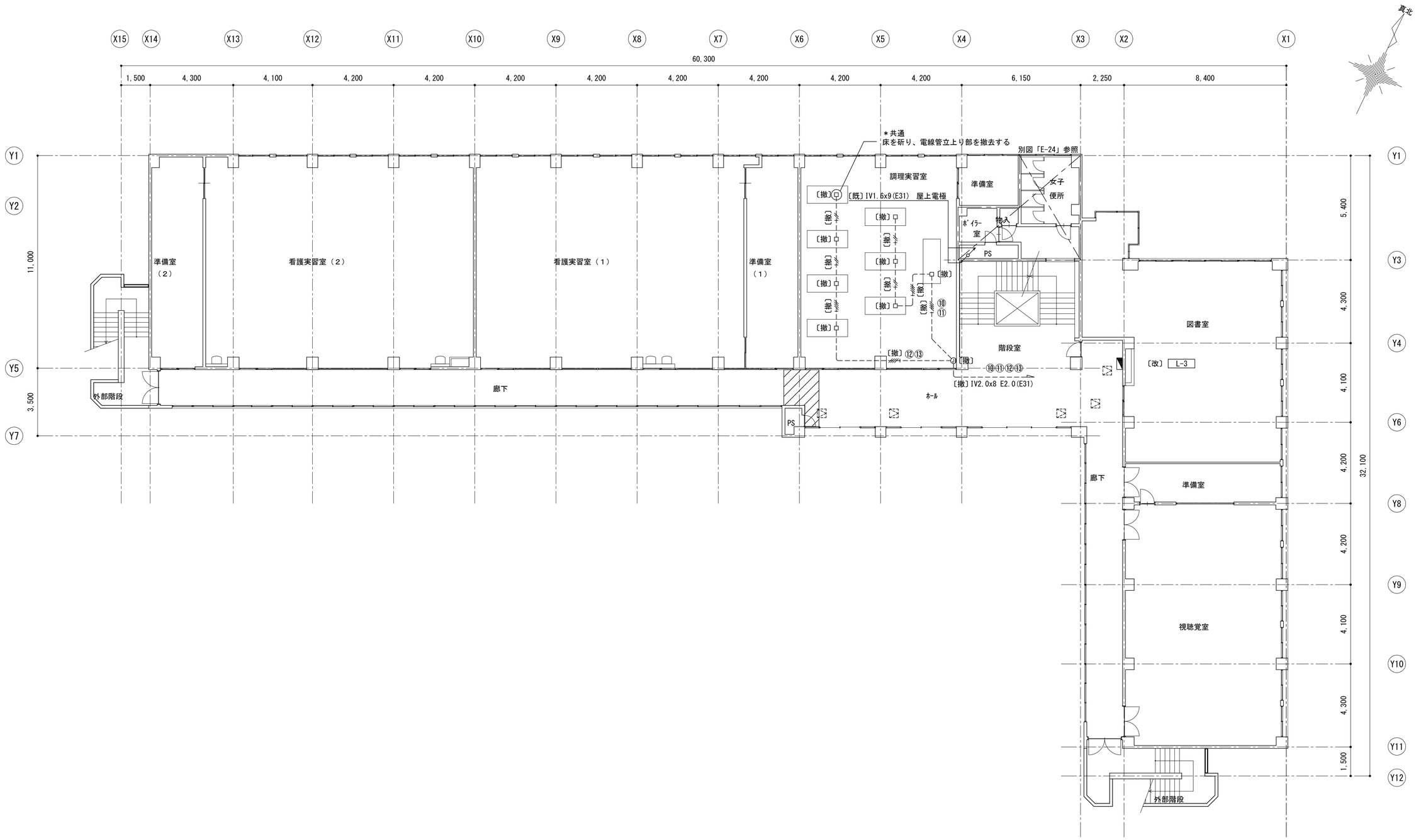


２階平面図　1/100

：天井点検口 450x450（既設）

工事名	松戸市立総合医療センター附属看護専門学校 給排水管改修工事		
図面名	動力・弱電設備２階平面図（改修前）		
作成年月日	令和7年1月31日	変更年月日	
縮 尺	A1:1/100 A3:1/200	図面番号	E-17
設 計	株式会社　山岡設計事務所 千葉県知事登録　第1-2306-2686号 山岡　治 一級建築士大臣登録第272498号		
松戸市 街づくり部 建築保全課			

改修前



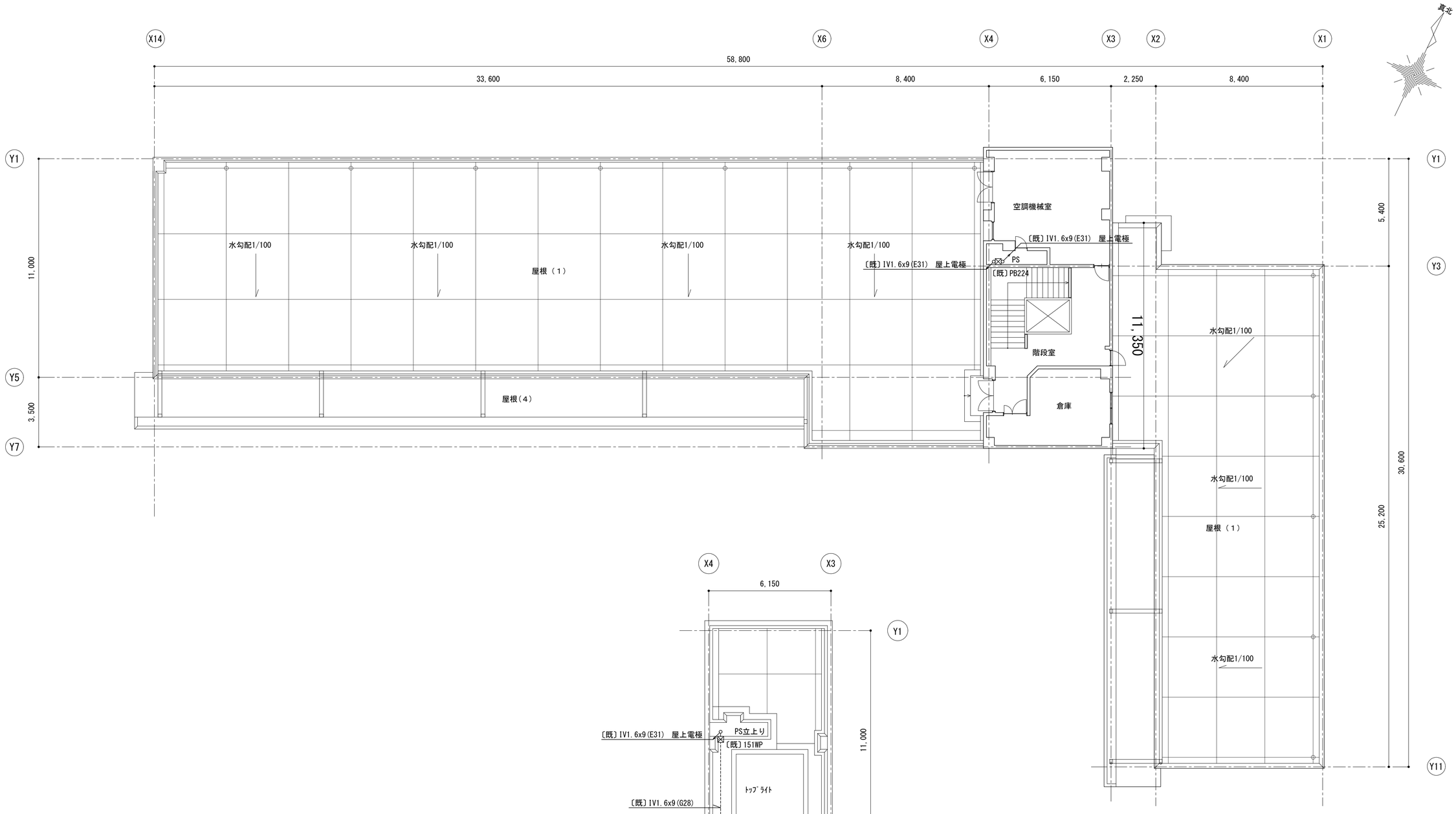
３階平面図　1/100

：天井点検口 450x450（既設）

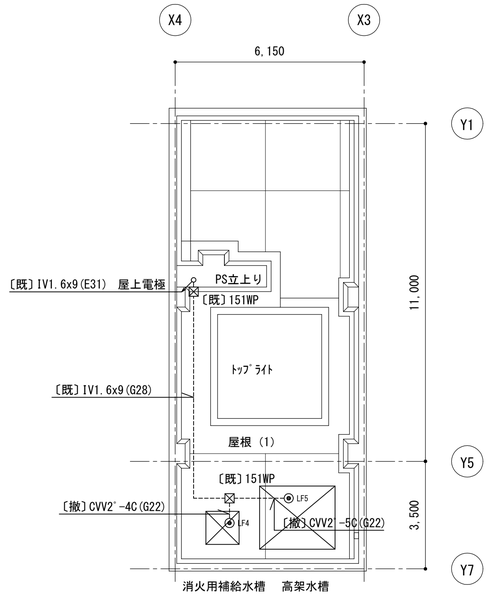
：天井撤去範囲

工事名	松戸市立総合医療センター附属看護専門学校 給排水管改修工事		
図面名	動力・弱電設備３階平面図（改修前）		
作成年月日	令和7年1月31日	変更年月日	
縮 尺	A1:1/100 A3:1/200	図面番号	E-18
設 計	株式会社　山岡設計事務所 千葉県知事登録　第1-2306-2686号 山岡　治 一級建築士大臣登録第272498号		
松戸市 街づくり部 建築保全課			

改修前



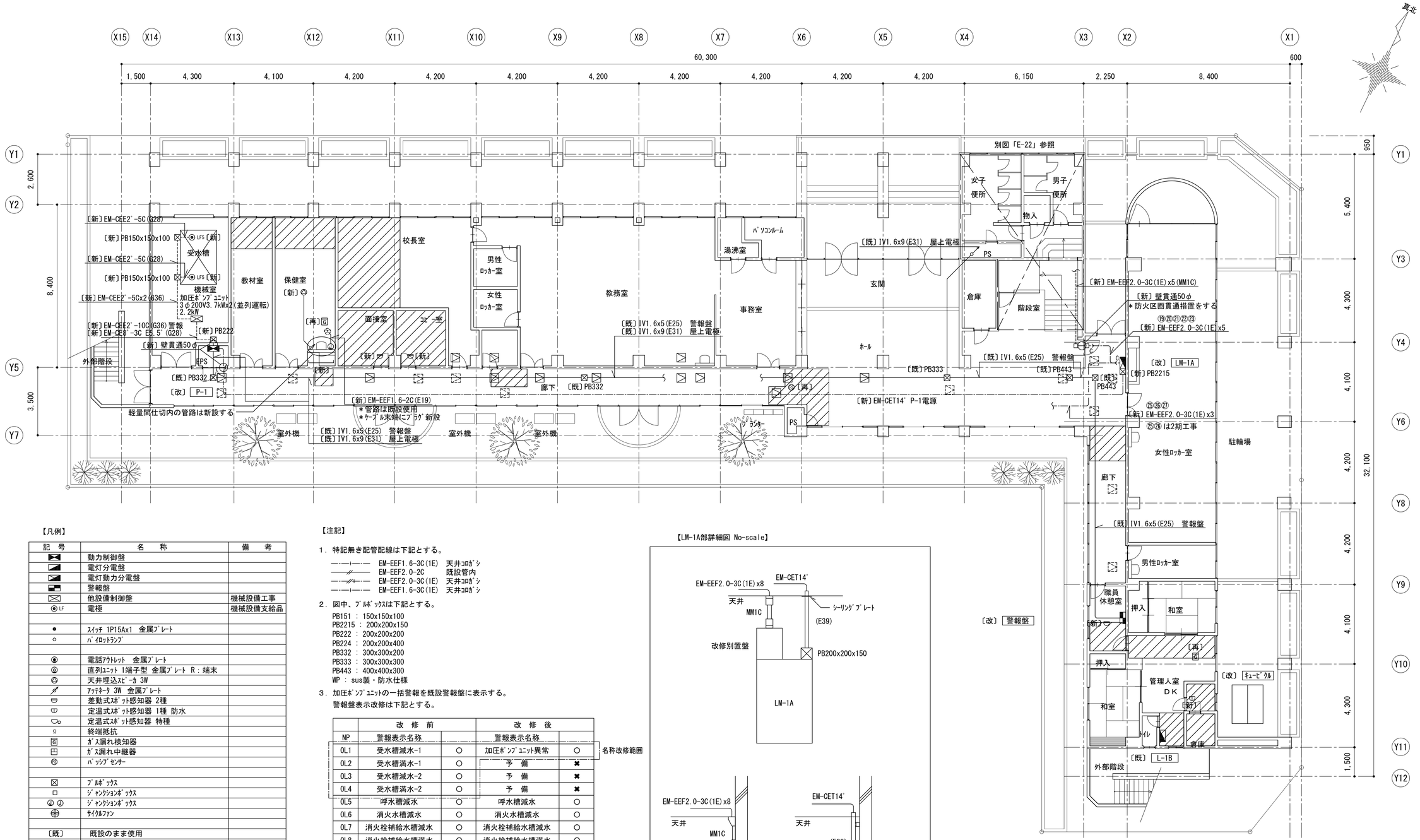
屋上平面図　1/100



PH平面図　1/100

工事名	松戸市立総合医療センター附属看護専門学校 給排水管改修工事		
図面名	動力設備屋上平面図（改修前）		
作成年月日	令和7年1月31日	変更年月日	
縮 尺	A1:1/100 A3:1/200	図面番号	E-19
設 計	株式会社　山岡設計事務所 千葉県知事登録　第1-2306-2686号 山岡　治 一級建築士大臣登録第272498号		
松戸市 街づくり部 建築保全課			

改修後



【凡例】

記　号	名　　称	備　　考
	動力制御盤	
	電灯分電盤	
	電灯動力分電盤	
	警報盤	
	他設備制御盤	機械設備工事
LF	電極	機械設備支給品
●	ｽｲｯﾁ 1P15Ax1 金属ﾌﾟﾚｰﾄ	
○	ﾊﾟｲﾛｯﾄﾗﾝﾌﾟ	
	電話ｱｳﾄﾚｯﾄ 金属ﾌﾟﾚｰﾄ	
	直列ﾕﾆｯﾄ 1端子型 金属ﾌﾟﾚｰﾄ R：端末	
	天井埋込ｽﾋﾟｰｶ 3W	
	ｱｯﾃﾈｰﾀ 3W 金属ﾌﾟﾚｰﾄ	
	差動式ｽﾎﾟｯﾄ感知器 2種	
	定温式ｽﾎﾟｯﾄ感知器 1種 防水	
	定温式ｽﾎﾟｯﾄ感知器 特種	
Ω	終端抵抗	
G	ｶﾞｽ漏れ検知器	
中	ｶﾞｽ漏れ中継器	
	ﾊﾟｯｼﾌﾞｾﾝｻｰ	
	ﾌﾟﾙﾎﾞｯｸｽ	
□	ｼﾞｬﾝｸｼｮﾝﾎﾞｯｸｽ	
㋨ ㋭	ｼﾞｬﾝｸｼｮﾝﾎﾞｯｸｽ	
	ｻｲｸﾙﾌｧﾝ	
〔既〕	既設のまま使用	
〔新〕	新設する	
〔再〕	既設を取外し再取付	
〔改〕	既設を改修し使用	
————	天井いんぺい配管配線	
－ － － －	床埋込配管配線	
----------	露出配管配線	
—·—·—	天井ｺﾛｶﾞｼ配線	
<------□	一種金属線ぴ(特記無きはA型) く：ｺｰﾅｰﾎﾞｯｸｽ	□：ｼﾞｬﾝｸｼｮﾝﾎﾞｯｸｽ
——0——	空配管	
	立上げ、引下げ、素通し	
—C—J—	保護管 突出し	

【注記】

1．特記無き配管配線は下記とする。

—·—|—·— EM-EEF1.6-3C(1E) 天井ｺﾛｶﾞｼ
————//———— EM-EEF2.0-2C 既設管内
—·—//—·— EM-EEF2.0-3C(1E) 天井ｺﾛｶﾞｼ
—·—|—·— EM-EEF1.6-3C(1E) 天井ｺﾛｶﾞｼ

2．図中、ﾌﾟﾙﾎﾞｯｸｽは下記とする。

PB151 ： 150x150x100
PB2215 ： 200x200x150
PB222 ： 200x200x200
PB224 ： 200x200x400
PB332 ： 300x300x200
PB333 ： 300x300x300
PB443 ： 400x400x300
WP ： sus製・防水仕様

3．加圧ﾎﾟﾝﾌﾟﾕﾆｯﾄの一括警報を既設警報盤に表示する。
警報盤表示改修は下記とする。

	改　修　前		改　修　後		
NP	警報表示名称		警報表示名称		
OL1	受水槽減水-1	○	加圧ﾎﾟﾝﾌﾟﾕﾆｯﾄ異常	○	名称改修範囲
OL2	受水槽満水-1	○	予　備	✖	
OL3	受水槽減水-2	○	予　備	✖	
OL4	受水槽満水-2	○	予　備	✖	
OL5	呼水槽減水	○	呼水槽減水	○	
OL6	消火水槽減水	○	消火水槽減水	○	
OL7	消火栓補給水槽減水	○	消火栓補給水槽減水	○	
OL8	消火栓補給水槽満水	○	消火栓補給水槽満水	○	
OL9	消火栓過電流	○	消火栓過電流	○	
OL10	浄化槽異常	✖	予　備	✖	

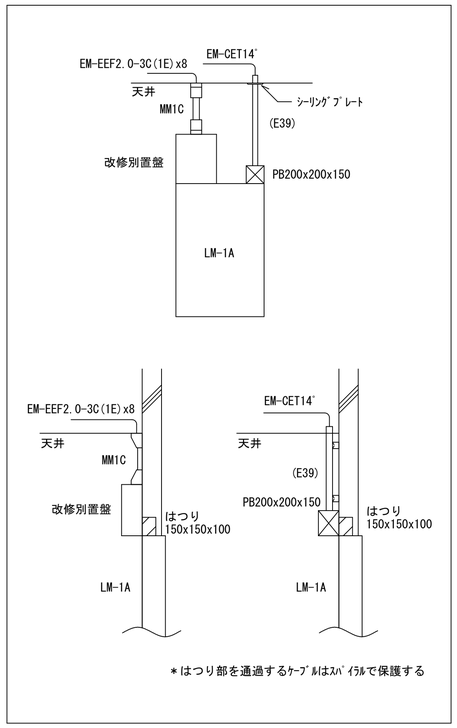
○ 警報有り　✖ 警報無し

4．受水槽の仮設使用時、新設電極（機械設備支給）を設置する。

5．ﾊﾟｯｼﾌﾞｾﾝｻｰは警備保障会社に取外し再取付を依頼する。
費用は本工事に含める。

6．㉕㉖新設ｹｰﾌﾞﾙの分電盤LM-1A部は、既設1種金属線ぴにて配線する。

【LM-1A部詳細図 No-scale】



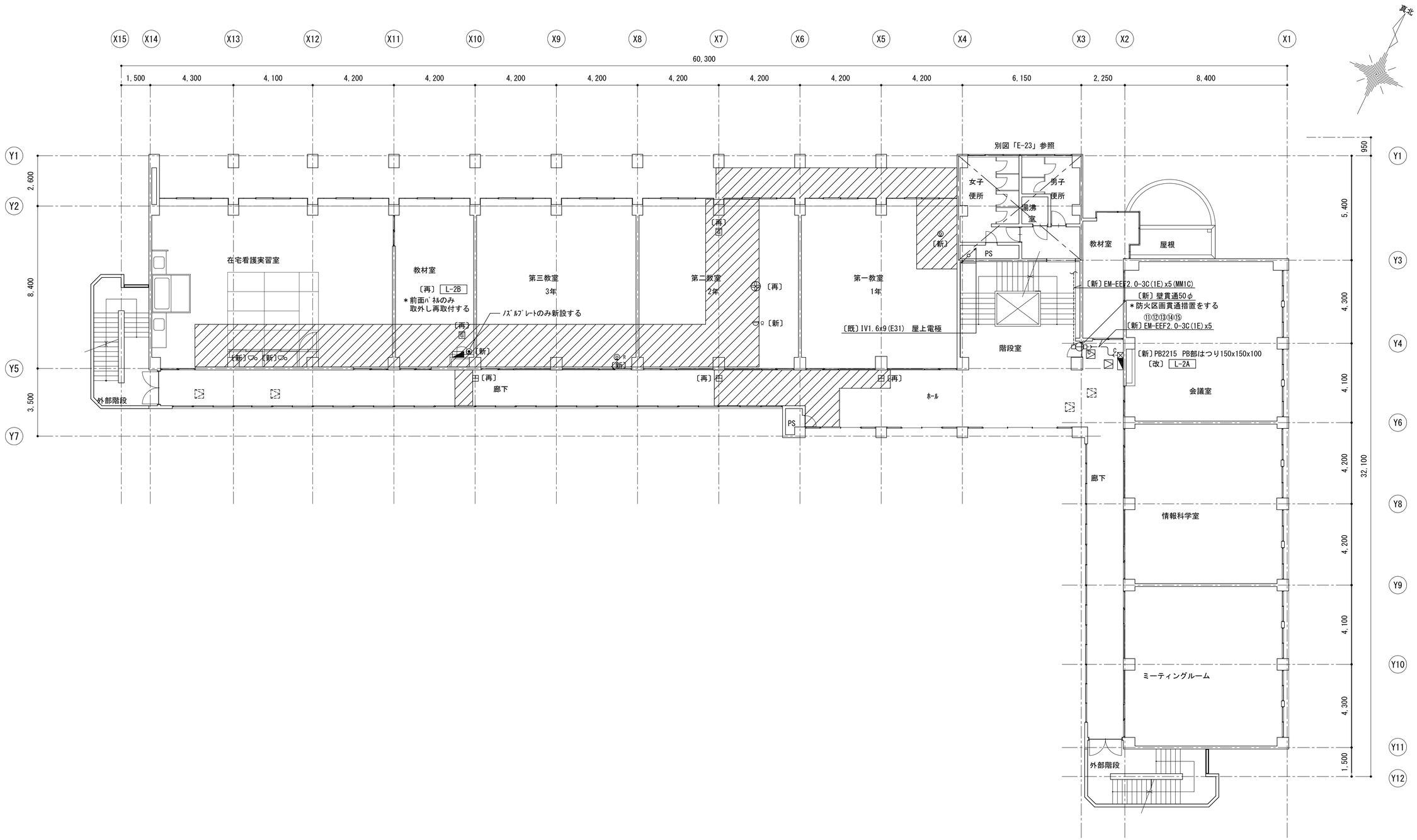
＊はつり部を通過するｹｰﾌﾞﾙはｽﾊﾟｲﾗﾙで保護する

１階平面図　1/100

：天井点検口 450x450（建築工事新設）
：天井点検口 450x450（既設）
：天井新設範囲

工事名	松戸市立総合医療センター附属看護専門学校 給排水管改修工事		
図面名	動力・弱電設備１階平面図（改修後）		
作成年月日	令和7年1月31日	変更年月日	
縮　尺	A1:1/100 A3:1/200	図面番号	E-20
設　計	株式会社　山岡設計事務所 千葉県知事登録　第1-2306-2686号 山岡　治 一級建築士大臣登録第272498号		
松戸市 街づくり部 建築保全課			

改修後



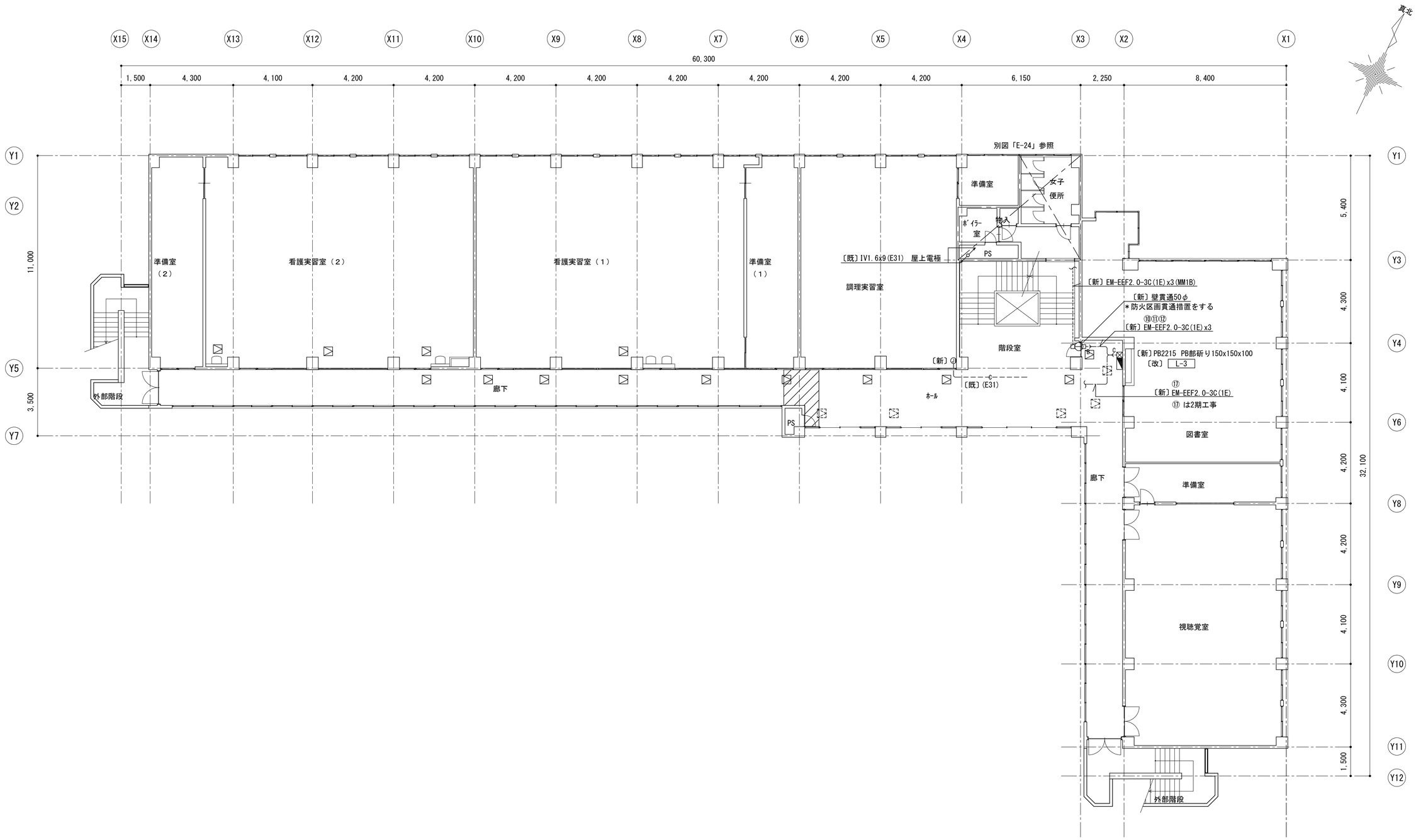
２階平面図　1/100

：天井点検口 450x450（建築工事新設）

：天井点検口 450x450（既設）

工事名	松戸市立総合医療センター附属看護専門学校 給排水管改修工事		
図面名	動力・弱電設備２階平面図（改修後）		
作成年月日	令和7年1月31日	変更年月日	
縮 尺	A1:1/100 A3:1/200	図面番号	E-21
設 計	株式会社　山岡設計事務所 千葉県知事登録　第1-2306-2686号 山岡　治 一級建築士大臣登録第272498号		
松戸市 街づくり部 建築保全課			

改修後



３階平面図　1/100

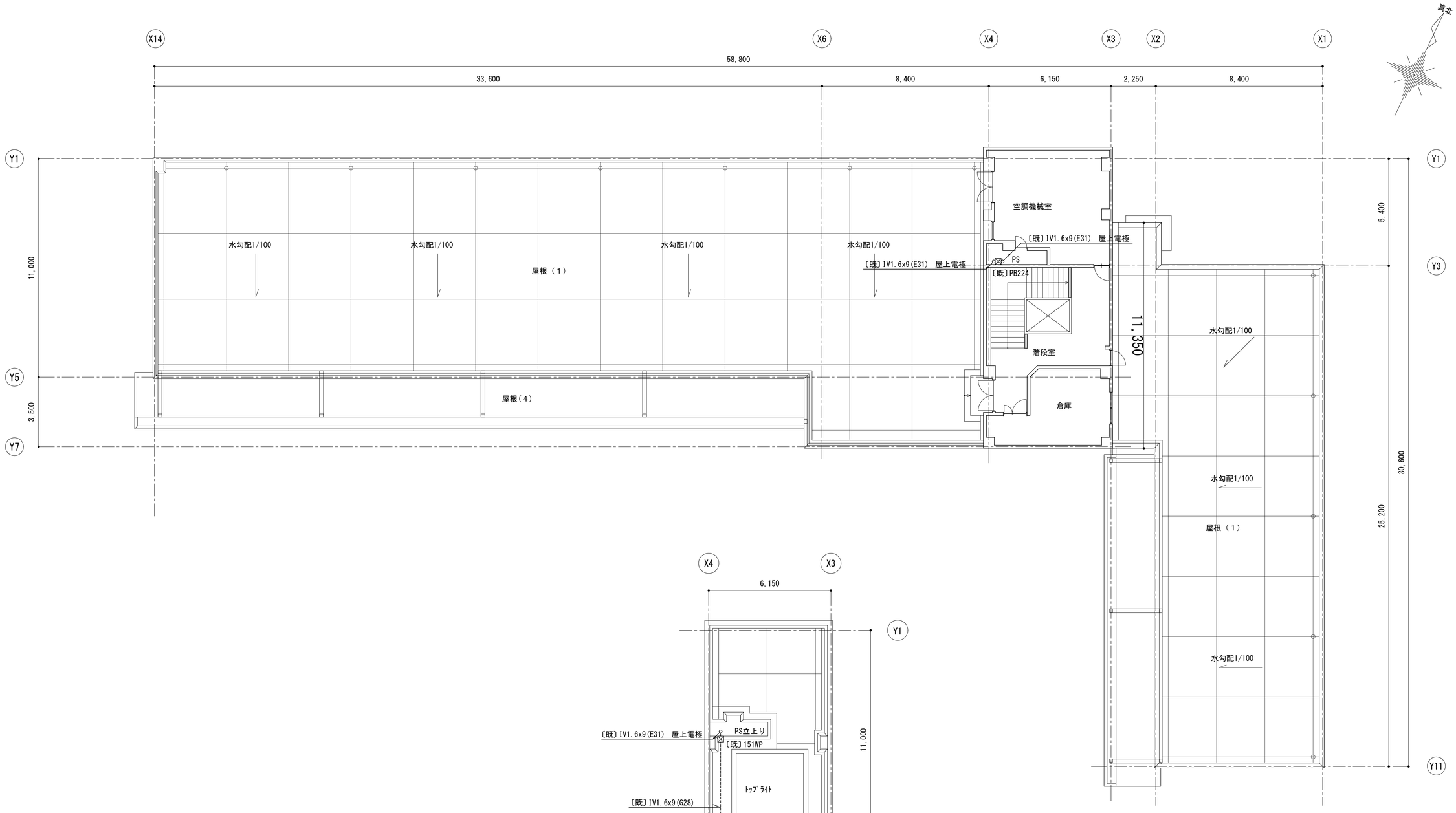
：天井点検口 450x450（建築工事新設）

：天井点検口 450x450（既設）

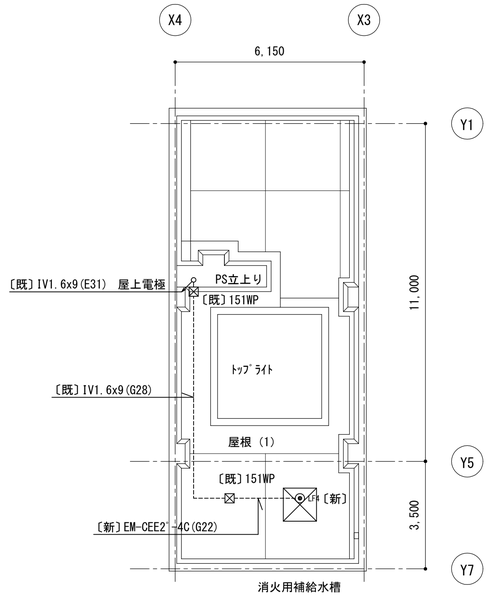
：天井新設範囲

工事名	松戸市立総合医療センター附属看護専門学校 給排水管改修工事		
図面名	動力・弱電設備３階平面図（改修後）		
作成年月日	令和7年1月31日	変更年月日	
縮 尺	A1:1/100 A3:1/200	図面番号	E-22
設 計	株式会社　山岡設計事務所 千葉県知事登録　第1-2306-2686号 山岡　治 一級建築士大臣登録第272498号		
松戸市 街づくり部 建築保全課			

改修後



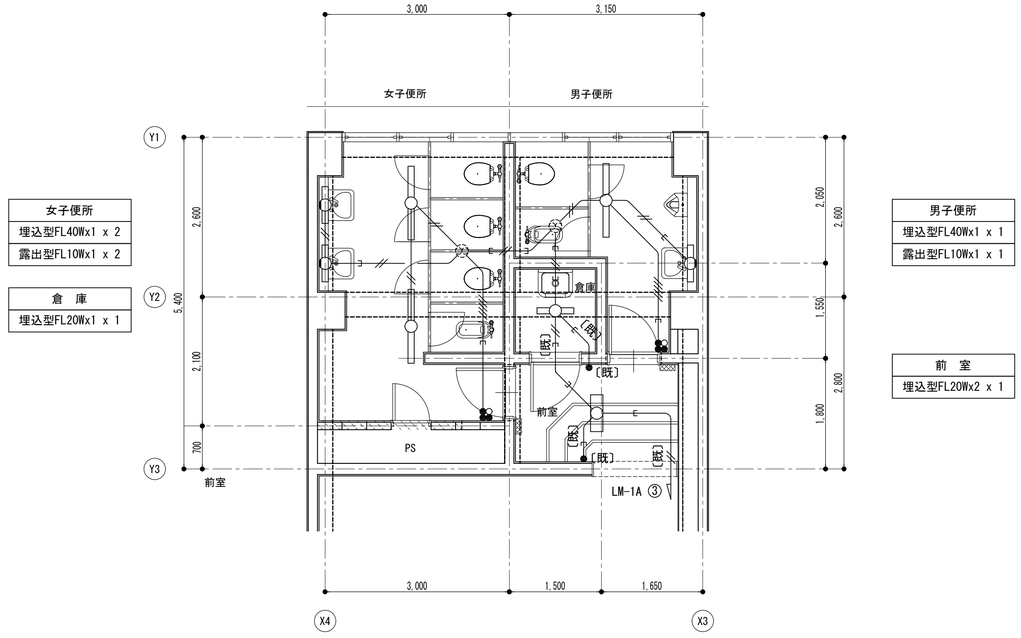
屋上平面図　1/100



PH平面図　1/100

工事名	松戸市立総合医療センター附属看護専門学校 給排水管改修工事		
図面名	電灯・動力設備屋上平面図（改修後）		
作成年月日	令和7年1月31日	変更年月日	
縮 尺	A1:1/100 A3:1/200	図面番号	E-23
設 計	株式会社　山岡設計事務所 千葉県知事登録　第1-2306-2686号 山岡　治 一級建築士大臣登録第272498号		
松戸市 街づくり部 建築保全課			

改修前



女子便所
埋込型FL40Wx1 x 2
露出型FL10Wx1 x 2

倉　庫
埋込型FL20Wx1 x 1

男子便所
埋込型FL40Wx1 x 1
露出型FL10Wx1 x 1

前　室
埋込型FL20Wx2 x 1

【改修前】　１階便所平面図　　S=1/50

【凡例】

記　号	名　　称	備　　考
	蛍光灯　天井付	
	蛍光灯　壁付	
○	白熱灯　天井付	
●	ｽｲｯﾁ　1P15Ax1　金属ﾌﾟﾚｰﾄ	
○	ﾊﾟｲﾛｯﾄﾗﾝﾌﾟ	
✲	換気扇	機械設備工事
〔既〕	既設のまま使用	
————	天井いんぺい配管配線	
——ε 3——	保護管　突出し	

【注記】

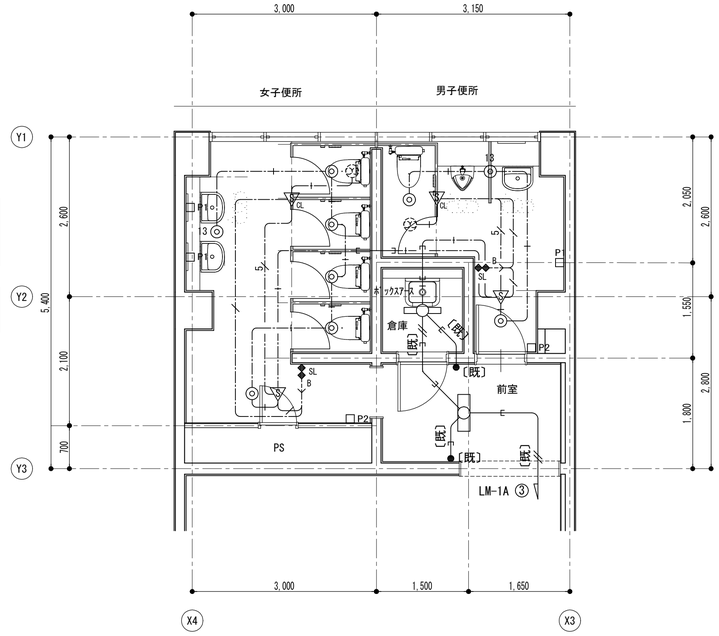
１．特記無き配管配線は下記とする。

————	IV1.6x2	(E19)
———//———	IV2.0x2	(E19)
———///———	IV2.0x4	(E25)
———////———	IV2.0x5	(E25)

２．〔既〕無き配線、機器は全て撤去とする。

３．撤去する配管配線で躯体に打込まれた電線管､ﾎﾞｯｸｽは撤去しない。
　　再使用出来る場合は使用する。

改修後



女子便所
D100　x　5
D150　x　1

倉　庫
B201　x　1

男子便所
D100　x　2
D150　x　1

前　室
A202　x　1

【改修後】１階便所平面詳細図　S=1/50

【凡例】

記　号	名　　称	備　　考
	LED灯　天井付型	
◎	LED灯　ﾀﾞｳﾝﾗｲﾄ	
●	ｽｲｯﾁ　1P15Ax1　金属ﾌﾟﾚｰﾄ	
▽	ｾﾝｻｰｽｲｯﾁ　親器　8A　広角検知	参考型番WTK24818
▽CL	ｾﾝｻｰｽｲｯﾁ　子器　換気扇連動用	参考型番WTK29318
◆◆ SL	操作ﾕﾆｯﾄ　15A　250V　2回路用　金属ｶﾞｰﾄﾞﾌﾟﾚｰﾄ	参考型番WTC5822W
EET	ｺﾝｾﾝﾄ　2P15Ax1　接地極・端子付　抜止型　金属ﾌﾟﾚｰﾄ	
□ P	ﾌﾞﾗﾝｸﾌﾟﾚｰﾄ　金属　角型　P1:1個用、P2:2個用	
□ AV	自動水栓	機械設備工事
✲	換気扇	機械設備工事
▨	壁貫通　特記無きは50φx1	
〔既〕	既設のまま使用	
←-----□	一種金属線ぴ(特記無きはA型)　く：ｺｰﾅｰﾎﾞｯｸｽ	□:ｼﾞｬﾝｸｼｮﾝﾎﾞｯｸｽ
————	天井いんぺい配管配線	
——·—·—ε—	天井ころがし配線	
——ε 3——	保護管　突出し	
↗ ↑ ↘	立上げ、引下げ、素通し	

【注記】

１．特記無き配管配線は下記とする。

——·—·—ε—	EM-EEF1.6-2C	(PF16)
——·—I—ε—	EM-EEF1.6-3C(1E)	(PF16)
——·—//—ε—	EM-EEF1.6-3C	(PF16)
——·—S//—ε—	EM-EEF1.6-3C(1E)+2C	(PF22)
——·—//—I—ε—	EM-EEF2.0-3C(1E)	(PF22)

既設配管配線は改修前注記を参照とする

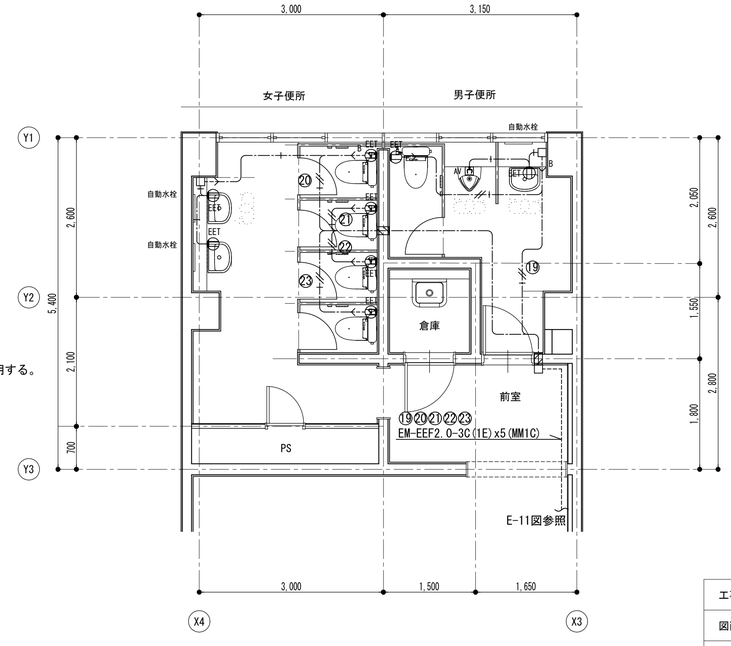
２．〔既〕無きは、全て新設とする。

３．間仕切り内はPF管にて保護する。

４．躯体に打ち込まれた既設配管で再使用できる場合は使用する。

５．壁貫通箇所は鉄筋探査し、鉄筋を切断しない。

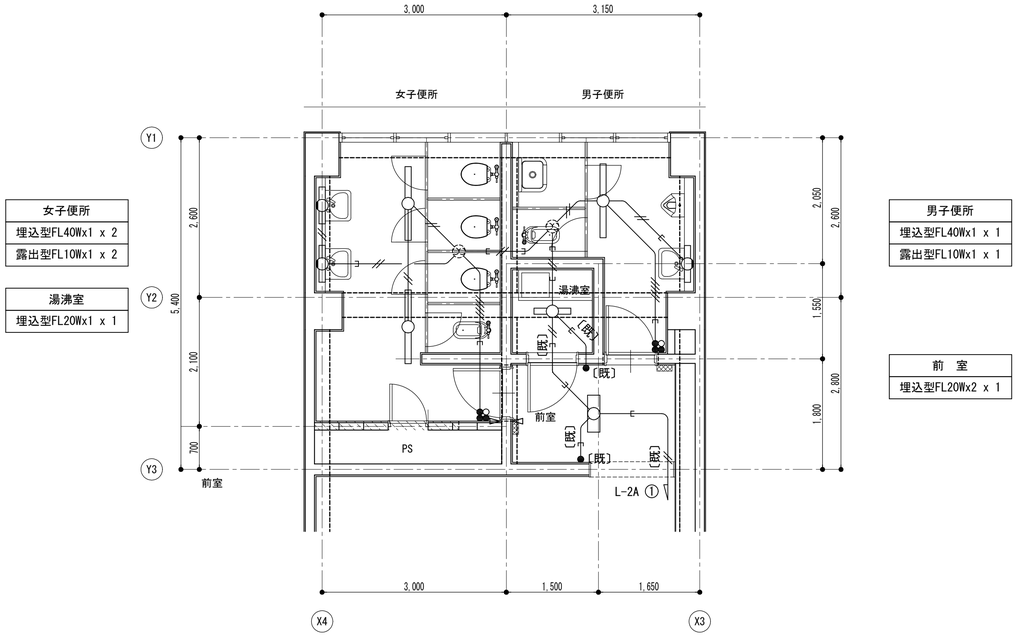
６．壁貫部配線はPF管にて保護する。



【改修後】１階便所平面詳細図　S=1/50

工事名	松戸市立総合医療センター附属看護専門学校 給排水管改修工事		
図面名	電灯設備１階便所平面図（改修前・改修後）		
作成年月日	令和7年1月31日	変更年月日	
縮　尺	A1:1/50 A3:1/100	図面番号	E-24
設　計	株式会社　山岡設計事務所 千葉県知事登録　第1-2306-2686号 山岡　治 一級建築士大臣登録第272498号		
松戸市 街づくり部 建築保全課			

改修前



女子便所
埋込型FL40Wx1 x 2
露出型FL10Wx1 x 2

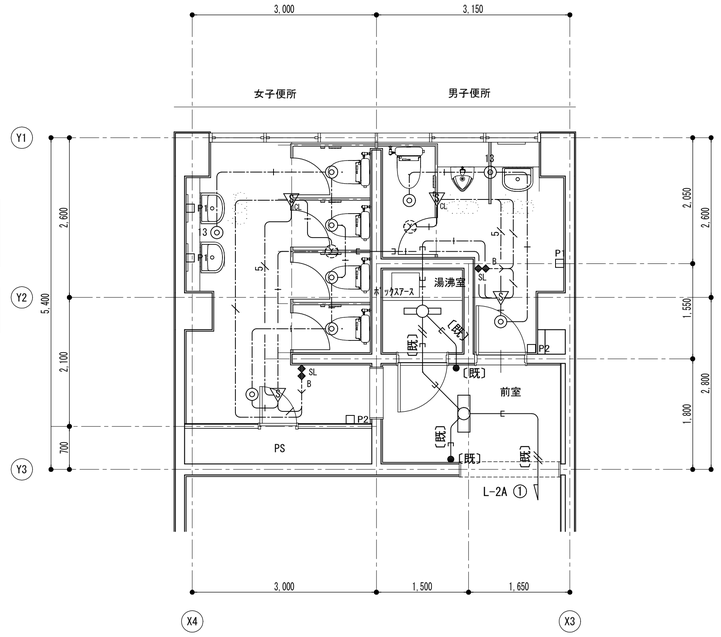
湯沸室
埋込型FL20Wx1 x 1

男子便所
埋込型FL40Wx1 x 1
露出型FL10Wx1 x 1

前　室
埋込型FL20Wx2 x 1

【改修前】　２階便所平面図　　S=1/50

改修後



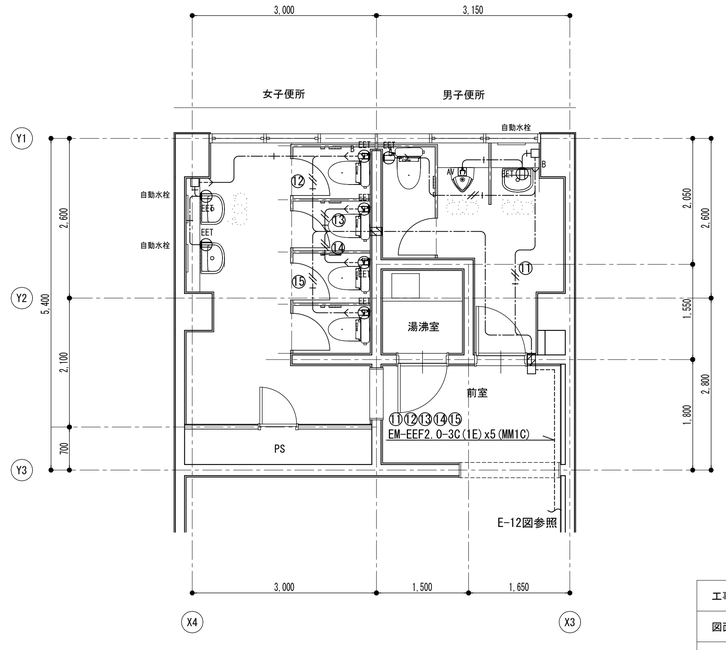
女子便所
D100　x　5
D150　x　1

湯沸室
B201　x　1

男子便所
D100　x　2
D150　x　1

前　室
A202　x　1

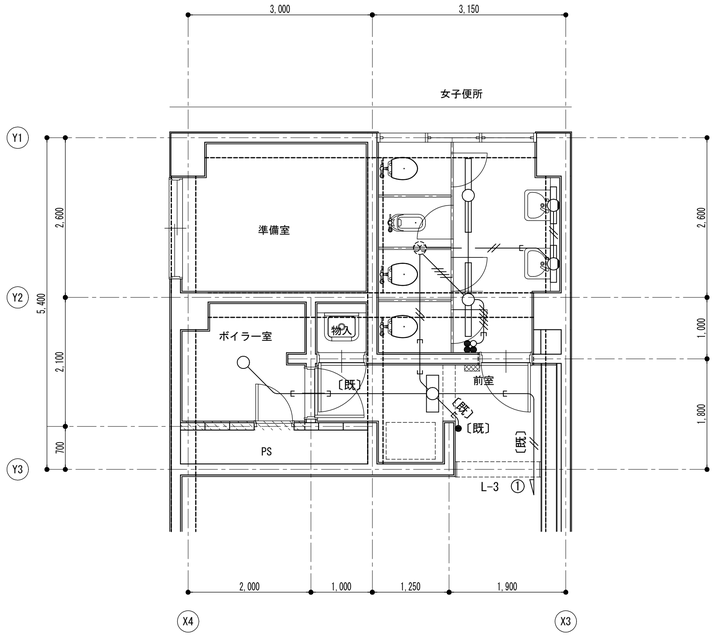
【改修後】２階便所平面詳細図　S=1/50



【改修後】２階便所平面詳細図　S=1/50

工事名	松戸市立総合医療センター附属看護専門学校 給排水管改修工事		
図面名	電灯設備２階便所平面図（改修前・改修後）		
作成年月日	令和7年1月31日	変更年月日	
縮 尺	A1:1/50 A3:1/100	図面番号	E-25
設 計	株式会社　山岡設計事務所 千葉県知事登録　第1-2306-2686号 山岡　治 一級建築士大臣登録第272498号		
松戸市 街づくり部 建築保全課			

改修前



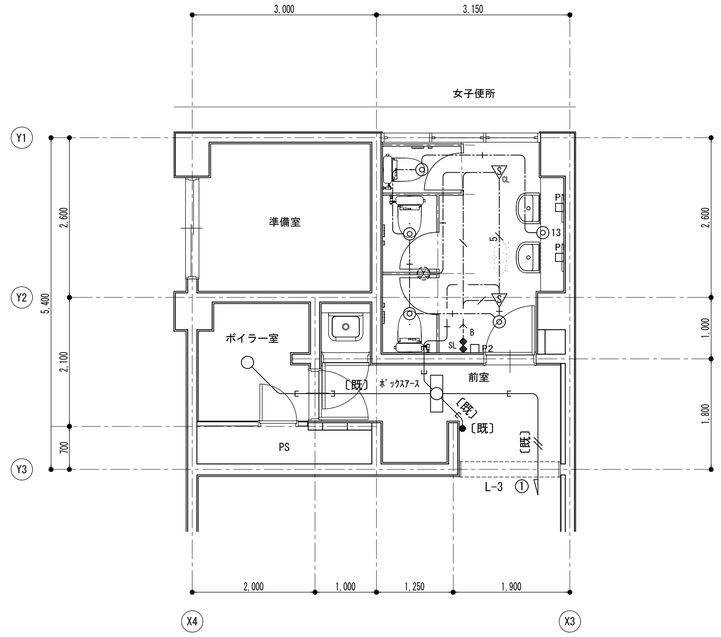
ボイラー室
露出型IL40Wx1 x 1

女子便所
埋込型FL40Wx1 x 2
露出型FL10Wx1 x 2

前　室
埋込型FL20Wx2 x 1

【改修前】　３階便所平面図　　S=1/50

改修後

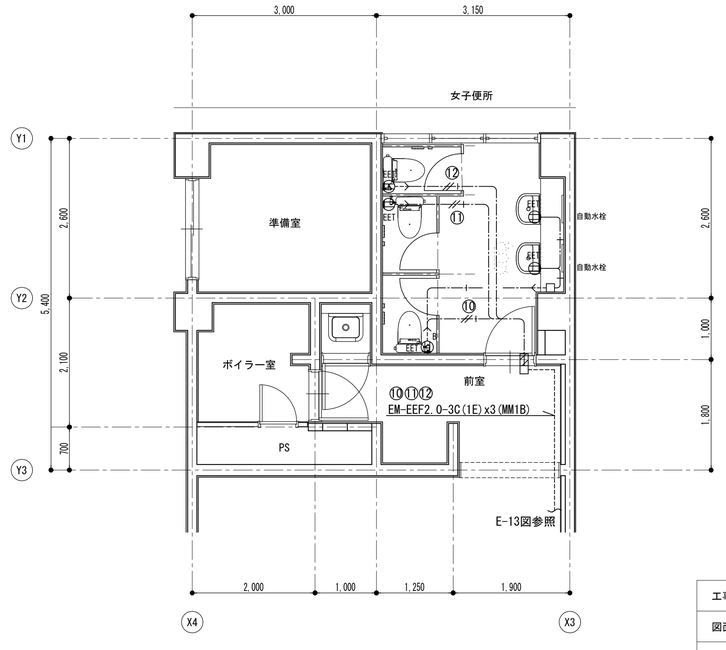


ボイラー室
F60　x　1

女子便所
D100　x　4
D150　x　1

前　室
A202　x　1

【改修後】３階便所平面詳細図　S=1/50



【改修後】３階便所平面詳細図　S=1/50

工事名	松戸市立総合医療センター附属看護専門学校 給排水管改修工事		
図面名	電灯設備３階便所平面図（改修前・改修後）		
作成年月日	令和7年1月31日	変更年月日	
縮 尺	A1:1/50 A3:1/100	図面番号	E-26
設 計	株式会社　山岡設計事務所 千葉県知事登録　第1-2306-2686号 山岡　治 一級建築士大臣登録第272498号		
松戸市 街づくり部 建築保全課			

《 松戸市建築工事提出書類等一覧表 》（2025.7）

１．工事名称　　松戸市立総合医療センター附属看護専門学校給排水管改修工事

２．工事場所　　松戸市上本郷４，１８２番地

３．工　　期　　令和　　年　　月　　日　から　令和　８年１０月３０日　まで

４．CADデータの貸与　　■有　　□無

※1.基準等にある「建」とは「公共建築工事標準仕様書(建築工事編)令和7年版」を指す。
※2.基準等にある「電」とは「公共建築工事標準仕様書(電気設備工事編)令和7年版」を指す。
※3.基準等にある「機」とは「公共建築工事標準仕様書(機械設備工事編)令和7年版」を指す。
※4.基準等にある「請負契約〇〇条」は「工事請負契約書」を指す。

	摘　要	様式	部数	基準等	提出責任者 ※記入無は 現場代理人
工事着工前に提出	■工事実績情報（工事カルテ）の登録 （受注登録工事カルテ受領書、受注登録データ） ※契約額が500万円以上（契約後10日以内に登録） 【契約後14日以内】	報告	1	建1.1.4 電1.1.4 機1.1.4 松戸市建設工事適正化指導要綱	
	■電気保安技術者通知書 （資格者証の写し） 【契約後14日以内】	承諾	1	建1.3.3 電1.3.2 機1.3.2	
	■施工体制台帳･下請業者選定通知書･施工体系図 【下請契約後14日以内に提出(下請契約がない場合不要)】	報告	2	請負契約第7条 建1.1.5 電1.1.5 機1.1.5 松戸市建設工事適正化指導要綱	代表者
	■実施工程表 ※建築・電気・機械などの関連工事工程も記載 【初回打合せ後速やかに】	承諾	1	建1.2.1 電1.2.1 機1.2.1	
	■総合施工計画書 １．組織表(現場代理人、主任技術者、工事用電力設備の保安責任者など)、緊急連絡体制、仮設計画図 ２．工事概要、建物概要、予想される災害・公害対策、出入口の管理、危険箇所の点検方法、火災予防、養生・片付け、工事の保険、関係官公署その他の関係機関への届出等一覧表など 【初回打合せ後速やかに】	報告	1	建1.2.2 電1.2.2 機1.2.2	

	摘　要	様式	部数	基準等	提出責任者 ※記入無は 現場代理人
工事中に提出	■設計図書の照査報告書 【適宜】	報告	1	請負契約第19条	代表者
	■工種別施工計画書 ※資格者名簿・資格者証、使用資機材、使用材料・機材品質証明書などを添付	承諾	1	建1.2.2 電1.2.2 機1.2.2	主任技術者 及び現場代理人
	■施工図等（施工図、製作図、カタログ等） ※施工図、製作図は主任・現場が全ての図面に記名	承諾	1	建1.2.3 電1.2.3 機1.2.3	主任技術者 及び現場代理人
	■発生材処理計画書 産廃業者と契約書の写し（単価記載） 産廃業者の許可書の写し 再資源利用（促進）計画書 建設副産物情報交換システム工事登録証明書 ※登録は契約額が100万円以上 【廃棄物搬出前】	報告	1	建1.3.11 電1.3.9 機1.3.9	
	■月報（出来高・進捗表） 【月初め7日以内】	報告	1		
	■定例打合せ記録 【適宜】	報告	1		
	■詳細工程表（月間工程表） ※年末年始・GW・夏季等については、 安全管理措置、警備体制、緊急連絡先を記載 【前月末日まで】	報告	1	建1.2.1 電1.2.1 機1.2.1	
	□地業（既製ｺﾝｸﾘｰﾄ杭等）工事結果報告書	報告	1	建1.5.4	主任技術者 及び現場代理人
	■試験結果報告書	報告	1	建1.4.5 建1.5.6 電1.4.5 電1.5.4 機1.4.6 機1.5.5	主任技術者 及び現場代理人
	□発生土処理報告書	報告	1		
	■発生材処理報告書 産廃業者ﾏﾆﾌｪｽﾄの写し（E票） 再資源利用（促進）実施書 建設副産物情報交換システム工事登録証明書 【処分後】	報告	1	建1.3.11 電1.3.9 機1.3.9	
	■出来高検査 １出来高検査願 ２出来高報告書	報告	1	請負契約第39条	
	■現場休止届（年末年始・GW・夏季等） ※安全管理措置、警備体制、緊急連絡先を記載	報告	1		

	摘　要	様式	部数	基準等	提出責任者 ※記入無は 現場代理人
完成後に提出	■関係官公署その他の関係機関への届出等 【工事完了後速やかに】	報告	1		
	■しゅん工届 【工事完了後速やかに】		1	建1.6.1 電1.6.1 機1.6.1	
	■自主検査記録（現場代理人以外の検査とする） 【工事完了後速やかに】	報告	1		
	■工事写真（建築工事写真撮影基準に準拠）			建1.2.4 電1.2.4	代表者
	■１工事記録写真	写真帳	1	機1.2.4	
	■２完成写真 【工事完了後速やかに】	写真帳	1		
	■完成図 ＰＤＦ，ＣＡＤデータ	ＣＤもしくはＤＶＤ	2	建1.7.2 電1.7.2 機1.7.2	
	■電子納品 電子媒体 電子媒体納品書	ＣＤもしくはＤＶＤ	2 1	※松戸市建築事業に係る電子納品運用ガイドライン（案）	
	■工事実績情報（工事カルテ）の登録 （竣工登録工事カルテ受領書、竣工登録データ） ※500万以上	報告書	1	建1.1.4 電1.1.4 機1.1.4	
	■引渡し関係 ■１予備品等引渡通知書（リスト共） ■２キーボックス		3		
	□防水工事に関する保証書 各種防水仕様による保証書（特記仕様による） 元請業者、製造業者及び防水施工業者の連名	保証書	3		
	■保全に関する資料 □１建築物等の利用に関する説明書 ■２保守に関する説明書（機器取扱説明書を含む） □３機器性能試験成績書 ■４官公署届出書類	原則、 ＣＤもしくはＤＶＤ	 2 2 1 1	建1.7.3 電1.7.3 機1.7.3	
	□５総合試運転報告書		1	電1.7.3	
	□６総合試運転調整報告書		1	機1.7.3	

《 松戸市建築工事検査・立会い一覧表 》機械設備工事編（2025.7）

１．工事名称　　松戸市立総合医療センター附属看護専門学校給排水管改修工事

２．工事場所　　松戸市上本郷４，１８２番地

３．工　　期　　令和　　年　　月　　日　から　令和　８年１０月３０日　まで

標　仕：公共建築工事標準仕様書(機械設備工事編)令和7年版
改標仕：公共建築改修工事標準仕様書(機械設備工事編)令和7年版

No	検査・立会い項目	基準等	備　考
1	検査		
	■１　品質管理検査(必要に応じて)	標　仕:1 編 1.3.4 改標仕:1 編 1.3.4	
	■２　機材の検査(承諾済は除く)	標　仕:1 編 1.4.4 改標仕:1 編 1.4.5	
	■３　一工程の施工の確認及び報告による検査	標　仕:1 編 1.5.3 改標仕:1 編 1.6.4	
	■４　監督職員の指示による検査	標　仕:1 編 1.5.4(2) 改標仕:1 編 1.6.5(2)	
2	立会い		
	■１　主要機器設置施工の立会い	標　仕:1 編 1.5.8(1)(ｲ) 改標仕:1 編 1.6.9(1)(ｲ)	
	■２　施工後に検査が困難な箇所の施工立会い	標　仕:1 編 1.5.8(1)(ｳ) 改標仕:1 編 1.6.9(1)(ｳ)	
	□３　総合調整立会い	標　仕:1 編 1.5.8(1)(ｴ) 改標仕:1 編 1.6.9(1)(ｴ)	
	■４　監督職員の指示による立会い	標　仕:1 編 1.5.8(1)(ｵ) 改標仕:1 編 1.6.9(1)(ｵ)	
	□５　ステンレス鋼管手動溶接時の立会い	標　仕:2 編 2.5.7(2)(ｲ) 改標仕:2 編 2.3.7(2)(ｲ)	
	□６　主要機器搬入時の立会い		

《 松戸市建築工事検査・立会い一覧表 》建築工事編（2025.7）

１．工事名称　　松戸市立総合医療センター附属看護専門学校給排水管改修工事

２．工事場所　　松戸市上本郷４，１８２番地

３．工　　期　　令和　７年　　月　　日　から　令和　８年１０月３０日　まで

標　仕：公共建築工事標準仕様書(建築工事編)令和7年版
改標仕：公共建築改修工事標準仕様書(建築工事編)令和7年版

No	検査・立会い項目	基準等	備　考
1	検査		
	■１　品質管理検査(必要に応じて)	標　仕　1. 3.6	
		改標仕　1 .3.6	
	■２　材料の検査(承諾済は除く)	標　仕　1. 4.4	
		改標仕　1. 4.4	
	■３　施工の検査等	標　仕　1. 5.5	
		改標仕　1. 7.5	
	□４　敷地の状況確認及び縄張り	標　仕　2. 2.1	
	□５　ベンチマーク	標　仕　2. 2.2	
	□６　遣方	標　仕　2. 2.3	
	□７　根切り	標　仕　3. 2.1	
		改標仕　8.28.3	
	□８　地業工事　掘削深さ及び支持層	標　仕　4. 5.5	
	（ｱｰｽｽﾄﾞﾘﾙ工法、ﾘﾊﾞｰｽ工法、ｵｰﾙｹｰｼﾝｸﾞ工法）		
	■９　配筋検査	標　仕　5. 1.3	
		改標仕　8. 3.1	
	□10　コンクリート打ち込み後補修	標　仕　6. 9.6	
		改標仕　8. 8.6	
	□11　高力ボルト締付確認の記録	標　仕　7. 4.8	
		改標仕　8.14.8	
		改標仕　8.20.7	
	□12　鉄骨建方	標　仕　7.10.5	
	□13　鉄骨現場組立て	改標仕　8.19.3	
	□14　鋼板巻組立て	改標仕　8.23.6	
	□15　防水層の施工	標　仕　9. 1.3	
		改標仕　3. 1.3	
	□16　タイル張施工後の接着力試験不合格の場合	標　仕 11. 1.7	
		改標仕　4. 4.8	
		改標仕　6.16.2	
	■17　部分使用		
	■18　出来高		
2	立会い		
	■１　材料の検査に伴う試験	標　仕　1. 4.5	
		改標仕　1. 4.5	
	■２　監督職員の指示による立会い	標　仕　1. 5.8	
		改標仕　1. 7.8	
	□３　地業工事の試験による立会い	標　仕　4. 2.1	
	（杭又は支持地盤の位置及び土質の試験）	改標仕　8.28.4	

《 松戸市建築工事検査・立会い一覧表 》電気設備工事編（2025.7）

１．工事名称　　松戸市立総合医療センター附属看護専門学校給排水管改修工事

２．工事場所　　松戸市上本郷４，１８２番地

３．工　　期　　令和　　年　　月　　日　から　令和　８年　１０月　３０日　まで

標　仕：公共建築工事標準仕様書(電気設備工事編)令和7年版
改標仕：公共建築改修工事標準仕様書(電気設備工事編)令和7年版

No	検査・立会い項目	基準等	備　考
1	検査		
	■１　品質管理検査(必要に応じて)	標　仕１編1.3.4	
		改標仕１編1.3.4	
	■２　機材の検査(承諾済は除く)	標　仕１編1.4.4	
		改標仕１編1.4.5	
	■３　一工程の施工の確認及び報告による検査	標　仕１編1.5.2	
		改標仕１編1.6.3	
	■４　監督職員の指示による検査	標　仕１編1.5.3	
		改標仕１編1.6.4	
2	立会い		
	■１　監督職員の指示による立会い	標　仕１編1.5.6	
		改標仕１編1.6.7	
	■２　照明器具の取付け	標　仕２編2.18.1	
	■３　電線・ケーブル相互の接続及び端末処理	標　仕２編2.18.1等	
	■４　同上接続部の絶縁処理	標　仕２編2.18.1等	
	□５　接地線の構造体への接続	標　仕２編2.18.1等	
	■６　金属管、合成樹脂管、ケーブルラック、金属製可とう電線管等のふ設	標　仕２編2.18.1等	
	□７　壁埋込盤類キャビネットの取付け	標　仕２編2.18.1等	
	■８　主要機器及び盤類の設置	標　仕２編2.18.1等	
	■９　防火区画貫通部の耐火処理及び外壁貫通部の防水処理	標　仕２編2.18.1等	
	□10　接地極の埋設	標　仕２編2.18.1等	
	□11　電柱の建柱位置及び建柱	標　仕２編2.18.1等	
	□12　地中電線路のふ設	標　仕２編2.18.1等	
	□13　現場打マンホール、ハンドホールの配筋等	標　仕２編2.18.1等	
	□14　総合調整	標　仕２編2.18.1等	
	■15　電線・ケーブルのふ設	標　仕３編2.3.1 等	
	■16　電線・ケーブルの機器への接続	標　仕３編2.3.1 等	
	□17　基礎の位置、地業、配筋等	標　仕３編2.3.1 等	
	□18　基礎ボルトの位置及び取付け	標　仕３編2.3.1 等	
	□19　UTPケーブルの成端	標　仕６編2.28.1等	
	□20　収納架の固定	標　仕６編2.28.1等	
	■21　照明器具、主要機器及び盤類の取外し	改標仕２編2.19.1	
	■22　分電盤、制御盤等の改造	改標仕２編2.19.1	
	□23　重量物の解体、搬入、搬出組立て	改標仕２編2.19.1等	
	■24　事前確認及び停復電操作	改標仕３編2.4.1 等	
	■25　既設電線・ケーブルの切断	改標仕３編2.4.1 等	